

平成 30 年度
A セメスター (A1・A2)
科目紹介
時間割表

東京大学教養学部前期課程

平成30年度 教養学部前期課程 授業等日程

◆9月～1月 授業等日程◆

- 授業期間 9月25日(火)～1月29日(火)
- 授業休止日 11月22日(木)全日：駒場祭準備のため
11月26日(月)午前：駒場祭片付けのため
12月28日(金)全日：調整のため
1月18日(金)午後：大学入試センター試験準備のため
- 持出専門科目試験日 1月30日(水)～2月5日(火)
- 祝休日等利用日 11月17日(土)：定期試験予備日(タームのみ)

[セメスター科目]

◎授業日 (Aセメスター) ※11/14, 11/16, 1/7午後はセメスター科目の授業はなし

		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回
月曜日	AM	10/1	10/15	10/22	10/29	11/5	11/8	11/12	11/19	12/3	12/10	12/17	12/26	1/7
	PM									11/26	12/3	12/10	12/17	12/26
火曜日	AM	9/25	10/2	10/9	10/16	10/23	10/30	11/6	11/20	11/27	12/4	12/11	12/18	1/8
	PM													
水曜日	AM	9/26	10/3	10/10	10/17	10/24	10/31	11/7	11/21	11/28	12/5	12/12	12/19	1/9
	PM													
木曜日	AM	9/27	10/4	10/11	10/18	10/25	11/1	11/15	11/29	12/6	12/13	12/20	12/27	1/10
	PM													
金曜日	AM	9/28	10/5	10/12	10/19	10/26	11/2	11/9	11/30	12/7	12/14	12/21	12/25	1/11
	PM													

- 振替授業日 11月8日(木)は、木曜日の授業は行わずに月曜日の授業を行う。
12月25日(火)は、火曜日の授業は行わずに金曜日の授業を行う。
12月26日(水)は、水曜日の授業は行わずに月曜日の授業を行う。
- 補講日 11月13日(火)全日, 1月4日(金)全日, 1月15日(火)全日, 1月18日(金)午前
- 定期試験 1月16日(水)～1月29日(火) ※1月18日(金)及び土・日を除く

[ターム科目]

◎授業日 (A1ターム)

週1コマ		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回						
月曜日	AM	10/1	10/15	10/22	10/29	11/5	11/8	11/12						
	PM													
火曜日	AM	9/25	10/2	10/9	10/16	10/23	10/30	11/6						
	PM													
水曜日	AM	9/26	10/3	10/10	10/17	10/24	10/31	11/7						
	PM													
木曜日	AM	9/27	10/4	10/11	10/18	10/25	11/1	11/15						
	PM													
金曜日	AM	9/28	10/5	10/12	10/19	10/26	11/2	11/9						
	PM													
週2コマ		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回
月・木曜日	AM	9/27	10/1	10/4	10/11	10/15	10/18	10/22	10/25	10/29	11/1	11/5	11/8	11/12
	PM													
火・金曜日	AM	9/25	9/28	10/2	10/5	10/9	10/12	10/16	10/19	10/23	10/26	10/30	11/2	11/6
	PM													

- 振替授業日 11月8日(木)は、木曜日の授業は行わずに月曜日の授業を行う。
- 補講日 11月13日(火)全日
- 定期試験 11月14日(水), 11月16日(金), 11月17日(土) (11月17日は予備日)

◎授業日 (A2ターム) ※1/21午後はターム科目の授業はなし

週1コマ		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回						
月曜日	AM	11/19	12/3	12/10	12/17	12/26	1/7	1/21						
	PM		11/26	12/3	12/10	12/17	12/26	1/7						
火曜日	AM	11/20	11/27	12/4	12/11	12/18	1/8	1/22						
	PM													
水曜日	AM	11/21	11/28	12/5	12/12	12/19	1/9	1/16						
	PM													
木曜日	AM	11/29	12/6	12/13	12/20	12/27	1/10	1/17						
	PM													
金曜日	AM	11/30	12/7	12/14	12/21	12/25	1/11	1/25						
	PM													
週2コマ		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回
月・木曜日	AM	11/19	11/29	12/3	12/6	12/10	12/13	12/17	12/20	12/26	12/27	1/7	1/10	1/17
	PM		11/26	11/29	12/3	12/6	12/10	12/13	12/17	12/20	12/26	12/27	1/7	1/10
火・金曜日	AM	11/20	11/27	11/30	12/4	12/7	12/11	12/14	12/18	12/21	12/25	1/8	1/11	1/22
	PM													

- 振替授業日 12月25日(火)は、火曜日の授業は行わずに金曜日の授業を行う。
12月26日(水)は、水曜日の授業は行わずに月曜日の授業を行う。
- 補講日 1月4日(金)全日, 1月15日(火)全日, 1月18日(金)午前
- 定期試験 1月23日(水)～1月29日(火) ※1月25日(金)及び土・日を除く

	授業時間 (105分)	定期試験時間 (90分)
1時限	8時30分～10時15分	8時40分～10時10分
2時限	10時25分～12時10分	10時35分～12時05分
3時限	13時00分～14時45分	13時10分～14時40分
4時限	14時55分～16時40分	15時05分～16時35分
5時限	16時50分～18時35分	17時00分～18時30分
6時限	18時45分～20時30分	18時55分～20時25分

は じ め に

この冊子には、平成30年度のAセメスターに教養学部前期課程の1・2年生に対して開講される講義内容の概要（『科目紹介』）と、学年・科類・専門学部ごとの時間割（『時間割表』）が記載されています。

『科目紹介』では、時間割ごとに講義に関する情報を記載していますが、より詳しい情報は、UTAS (<https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/>) のシラバスで公開していますので、履修を検討している講義については必ず参照してください。それぞれの講義内容をよく比較して、各自履修計画を立ててください。なお、こちらは『履修の手引き』のI-4に掲載されている、(表2)「前期課程で各科類の学生が取得すべき必要最低単位数」の順に記されています。

『時間割表』は、「科類別時間割表」「総合科目等時間割表」「専門科目時間割表」に分かれています。受講するクラスが指定されている科目は、科類ごとに「科類別時間割表」に、受講するクラスが指定されていない総合科目、主題科目及び展開科目は、「総合科目等時間割表」に、各種情報が記載されています。

入学時に配付された『履修の手引き』を参照して、前期課程の修了要件を満たすためにはどの科目群からどの程度の単位の履修が必要か、進学志望の学部・学科等の要望科目・要求科目はどうなっているか、将来進むべき専門分野の基礎知識を十分につけ、あわせて幅広く深い教養を身につけるためにはどのような組み合わせで講義を履修するのがよいかなどを十分に考えて、バランスよく履修計画を立ててください。

【重要】平成26年度以前の入学者へ

平成27年度以降の入学者を対象に、教養学部前期課程の新しいカリキュラムが始まりました。本冊子に記載されている各科目の情報は、新しいカリキュラムの情報に基づいています。一方で、平成26年度以前に入学した皆さんには、入学時に配付された『履修の手引き』に記載されているカリキュラム（以下、旧カリキュラムという。）が適用されます。そのため、本冊子を利用するにあたっては、新しいカリキュラムと旧カリキュラムとの基本的な違いや、各科目の対応関係を理解しておくことが重要です。例えば、旧カリキュラムで開講されていた科目の一部は新しいカリキュラムは開講されません。その場合、新しいカリキュラムの対応する科目を履修することで、旧カリキュラムの該当科目を履修したとみなす、「科目の読み替え」を原則として行います。

こうした情報の詳細は、すでに配付した『平成26年度以前の入学者のための履修の手引き（補遺）』に記載していますので、必ずこれを熟読した上で、履修計画を立ててください。

教室の変更について

講義を受講する学生が、教室の収容人数を大幅に超え、多数の学生が椅子に座ることのできないケースが、近年目立ってきています。この問題を解決するために、教員からの教室変更の要望があり次第、随時教室の変更を行っています。

したがって、授業期間開始から履修科目確認・訂正期間終了時までは、特に掲示・UTASを確認して、教室変更の情報に十分注意してください。

また、履修科目確認・訂正期間以降についても、空調の故障等の原因により、急遽教室変更が生じることがありますので、教室変更の情報は随時確認するようにしてください。

目 次

1. 科目紹介

基礎科目

外国語	4
身体運動・健康科学実習	22
社会科学	24
人文科学	27
基礎実験	30
数理科学	32
物質科学	37
生命科学	41

展開科目

社会科学ゼミナール	42
人文科学ゼミナール	44
自然科学ゼミナール	48

総合科目

総合科目L 言語・コミュニケーション	54
総合科目A 思想・芸術	140
総合科目B 国際・地域	144
総合科目C 社会・制度	151
総合科目D 人間・環境	155
総合科目E 物質・生命	171
総合科目F 数理・情報	180

主題科目

学術フロンティア講義	186
全学自由研究ゼミナール	193
全学体験ゼミナール	226
国際研修	253

PEAK科目	258
--------	-----

2. 時間割表

科類別時間割表

1年文科一・二類	269
1年文科三類	272
1年理科一類	275
1年理科二・三類	278

総合科目等時間割表	281
-----------	-----

専門科目一覧表	300
---------	-----

教職科目一覧表	333
---------	-----

専門科目時間割表	334
----------	-----

3. 教室配置図・地図	366
-------------	-----

Aセメスター（A1・A2ターム）科目紹介

p.3より、Aセメスター（A1・A2ターム）に開講される科目の科目紹介（シラバス）が掲載されていますので、履修計画を立てる際の参考にしてください。シラバスは本冊子以外にも、UTASにログインの上、画面上「シラバス」メニューから「(シラバス参照)」を選択することでも参照ができます。UTAS上のシラバスは本冊子の科目紹介よりも多くの情報が掲載されていますので、履修を考えている授業については、UTAS上のシラバスも併せて参照するようにしてください。具体的には、「授業計画」「学習上のアドバイス」などの項目は、UTAS上のシラバスのみに掲載されています。

科目紹介（シラバス）例（科目ごとに掲載されている項目・情報は異なります）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
①	②	東大概論	駒場 太郎	③	④	⑤	⑥	⑦
講義題目 目標概要 評価方法 ⑧ 教科書 ガイダンス								

①時間割コード

それぞれの授業に割り振られている固有の番号です。UTASでシラバスを参照する際になどに使用します。

②開講区分

授業が開講される期間を示します。それぞれの表示は以下の期間での開講を表します。

開講区分	正式名称	授業の開講期間
A	Aセメスター	概ね9～1月
A1	A1ターム	概ね9～11月
A2	A2ターム	概ね11～1月

授業日の詳細については、表紙裏の授業等日程を参照してください。

③所属

教養学部（総合文化研究科）が開講する授業は、開講元の部会名又は学科（専攻）が掲載されています。

他学部・研究科等が開講する授業は、当該学部・研究科等の名前が掲載されています。

④曜限

授業が行われる曜限が掲載されています。「集中講義」と記載されている授業は、特定の日程や授業期間外に行われることがありますので、授業内容を確認してください。

⑤単位

当該授業に合格した場合に得られる単位数が掲載されています。当項目の掲載がない科目については、『履修の手引き』p.6に掲載されている内容に従います。

⑥教室

授業が行われる教室が掲載されています。表記と対応する号館・建物は以下のとおりです。

教室名称	建物名称
101～192	1号館
511～534	5号館
721～762	7号館
900	講堂
10-101～10-308	10号館
1101～1109	11号館
1211～1233	12号館
1311～1341	13号館

教室名称	建物名称
KALS	17号館2階
E21～E49	情報教育棟
K101～K502（下2桁目が0）	21KOMCEE West
K011～K214（下2桁目が1）	21KOMCEE East
学際交流ホール	アドミニストレーション棟3階
18号館ホール	18号館1階
音楽実習室	コミュニケーションプラザ北館

駒場キャンパスの建物配置図についてはp.366を参照してください。教室欄に「シラバス参照」と記載されている授業は、上表以外の教室や駒場キャンパス以外の場所で開講される授業のため、正しい開講場所をシラバスやガイダンス等で確認してください。

また、初回のみ通常と異なる教室で行われる授業や、授業開始後に教室変更が行われる授業がありますので、シラバスや掲示板・教養学部前期課程HPのお知らせを随時確認し、実際に授業が行われる教室を正確に把握するようにしてください。

⑦対象

授業の対象となる科類やクラスが掲載されています。欄内の数字は組番号を表し、複数クラスが対象の場合は「6, 16-18, 20」のように範囲を示しています（この場合は17組も対象クラスに含みます）。「奇数」「偶数」と記載のある場合には、学生証番号末尾の数字の奇数・偶数で対象学生を示しています。本項目で指定されていない科類・クラス等に所属している学生は当該授業の履修登録を行うことができないので、注意してください。

⑧科目紹介の内容

具体的な科目紹介の内容が掲載されています。授業によっては、履修にあたっての注意点等が挿入されていることがあります。不明な点は教務課に必ず確認の上、履修登録を行うようにしてください。

英語の履修について

既修外国語の英語は各科目1単位または2単位で、計5単位の科目群であり、英語一列（教養英語）・英語二列S（アカデミック・ディスカッション）・英語二列W（アカデミック・ライティング）に分けられる（その他に総合科目L系列3単位）。

英語一列（教養英語）は共通教科書とこれに関連する音声教材を使用する習熟度別の授業である。英語二列Sも同じく習熟度別の授業であり、文科生、理科生ともFLOW（Fluency-Oriented Workshop）のプログラムにより実施する。英語二列Wは、文科生はALESA（Active Learning of English for Students of the Arts）、理科生はALESS（Active Learning of English for Science Students）のプログラムにより実施する。

- 本冊子においては、4ページから「英語一列」「英語二列S」「英語二列W」のシラバスが掲載されている。
- 「英語一列」「英語二列S」「英語二列W」は所属クラスに応じてあらかじめ指定された授業を履修する。「英語一列」「英語二列S」は習熟度別にクラスが分けられている。
- 「英語一列」「英語二列S」「英語二列W」の3科目をそれぞれどのターム・セメスターに履修するかについては、所属クラスにより異なり、下表の4つのグループにあらかじめ分けられる。「(クラス指定総合科目L)」と記載されている部分については、総合科目L系列「英語中級」が所属クラスに対するクラス指定の授業として開講される。

所属クラス	ターム・セメスター			
	1S1	1S2	1A1	1A2
	1S		1A	
文一二 (1-3, 5, 7, 11-12, 14, 16, 18, 24, 26) 文三 (1-3, 10, 14-15) 理一 (1-5, 14, 23, 25, 34-35) 理二三 (1-4, 9-10, 15, 17)	英語一列①	英語二列S	(クラス指定総合科目L)	英語一列②
	(クラス指定総合科目L)		英語二列W	
文一二 (4, 6, 13, 17, 25) 文三 (4-5, 9, 18) 理一 (6-8, 15-16, 21-22, 24, 29-33) 理二三 (5-6, 11, 16, 21)	英語一列①	(クラス指定総合科目L)	英語二列S	英語一列②
	英語二列W		(クラス指定総合科目L)	
文一二 (9-10, 15, 19-20, 27) 文三 (6, 11-12, 16, 19) 理一 (9-10, 19-20, 26, 28, 36-37) 理二三 (7, 13, 18, 20, 22)	英語二列S	英語一列①	英語一列②	(クラス指定総合科目L)
	(クラス指定総合科目L)		英語二列W	
文一二 (8, 21-23, 28) 文三 (7-8, 13, 17, 20) 理一 (11-13, 17-18, 27, 38-39) 理二三 (8, 12, 14, 19, 23-24)	(クラス指定総合科目L)	英語一列①	英語一列②	英語二列S
	英語二列W		(クラス指定総合科目L)	

外国語 (英語一列・特別クラス・特修クラス)

英語一列 (教養英語)・特別クラス・特修クラス

《英語一列② (教養英語)》

目標・概要 「教養英語」は、本学教養学部の英語部会教員が教養課程における英語学習のために作成した、理科生、文科生を問わず学生の知的関心に応える高度で分野横断的な内容をもつ教科書『教養英語読本』と、これに関連したリスニング教材を使用して行う授業である。リスニング教材 (音声) およびスクリプトは下記「関連ホームページ」で配信する。クラスは、学生の習熟度に合わせて三段階に分かれており、それぞれのグループの学生にもっとも適した進度や授業方法を採用する。その際、全クラスで共通して学習する部分を一定量設けて試験範囲とし、これに実力問題を加えた統一定期試験を実施する。

授業の方法 ・「教養英語」が行われる時間帯には、それぞれ複数のクラスが設けられている。各クラスの教室割当は教務課掲示板に掲示する (他の語学クラスとは違うので注意すること)。
・「教養英語」では、習熟度に応じて三つのグループを設定している。

グループ1：約300名。授業は英語で行われる。指定された共通部分以外のテキストの範囲もカバーし、テキストの内容理解に加え、作文・ディスカッションなど応用的な活動も含まれる。

グループ2：約900名。授業は原則として日本語で行われる。指定された共通部分以外のテキストの範囲もカバーし、テキストの正確な読解に加え、作文・ディスカッションなど各教員の個性を生かした応用的な活動も含まれる。

グループ3：約1800名。授業は原則として日本語で行われる。指定された共通部分をカバーし、語彙・文法等を重視しながら読解力の養成を目指す。それを元にした発展的な活動を含むこともある。

・具体的な授業スケジュール (教材の選択、利用方法、必要な準備など) は、授業開始後に各クラスで教員から伝達される。

成績評価方法 定期試験 (統一試験) および平常点

教科書 次の教科書を使用する。

書名 : 教養英語読本Ⅱ

著者 (訳者) : 東京大学教養学部英語部会 (編)

出版社 : 東京大学出版会

関連ホームページ <http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/efas/>

《英語特別クラス》

非英語圏からの留学生、及び入試の外国語を英語以外で受験した者で、かつ英語の履修を希望する者は、英語部会の許可を得て「英語特別クラス」の履修で「英語一列②」「英語二列」「総合科目L系列 英語中級」の単位に充当することができる。履修希望者は第一週のガイダンス (日時、場所は掲示を参照) に出席すること。

《英語特修クラス (第3学期終了時点で平均合格していない進学内定者《平均点が40点以上50点未満》対象)》 ※2014年度以前入学者対象

すでに学んだ英語科目の授業内容を復習し、不足部分を補いつつ、英語の運用能力を高めることを目指す。詳しくはUTAS上のシラバス及び教養学部前期課程HPの教務課のお知らせを参照のこと。

授業科目名	担当教員	教室	開講	曜限	対象クラス
英語一列②	教養英語担当教員	各教室	A1	火3	1年文一二 (27-28) 文三 (19-20) 理一 (9-13) 理二三 (7-8)
				火4	1年文一二 (15) 文三 (6-8) 理一 (36-39) 理二三 (20, 22-24)
				水2	1年文一二 (8-10) 文三 (16-17) 理一 (17-20) 理二三 (12-14)
				水3	1年文一二 (19-23) 文三 (11-13) 理一 (26-28) 理二三 (18-19)
			A2	火3	1年文一二 (24-26) 文三 (18) 理一 (1-8) 理二三 (1-6)
				火4	1年文一二 (11-14) 文三 (1-5) 理一 (29-35) 理二三 (21)
				水2	1年文一二 (1-7) 文三 (14-15) 理一 (14-16, 22) 理二三 (9-11)
				水3	1年文一二 (16-18) 文三 (9-10) 理一 (21, 23-25) 理二三 (15-17)
英語特修	HONES SHEILA ANNE	シラバス参照	A	集中	2014年度以前入学の2年生

外国語（英語二列S）

Fluency-Oriented Workshop (FLOW)					
授業の目標・概要 The course aims to build students' confidence and ability to engage fluently and critically in a classroom discussion, to be aware of their weaknesses, and to have the tools to improve autonomously.					
成績評価方法 Grades are based on active participation in class activities and on related assignments.					
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること					
時間割コード	開講	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50381	A 1	火3	BROOKS Britton	149	1年 文一二(25)文三(18)理一(6-8)理二三(5-6)
50379	A 1	火3	BUENO Alex Falcon	118	1年 文一二(25)文三(18)理一(6-8)理二三(5-6)
50380	A 1	火3	CAREY Anne Marie	119	1年 文一二(25)文三(18)理一(6-8)理二三(5-6)
50388	A 1	火3	SEDDON Ryan John	153	1年 文一二(25)文三(18)理一(6-8)理二三(5-6)
50384	A 1	火3	SHOKOUHI Marjan	116	1年 文一二(25)文三(18)理一(6-8)理二三(5-6)
50377	A 1	火3	WEITEMIER Adam	117	1年 文一二(25)文三(18)理一(6-8)理二三(5-6)
50387	A 1	火3	ウー ジン	152	1年 文一二(25)文三(18)理一(6-8)理二三(5-6)
50390	A 1	火3	シンドレイエーバ ガリーナ	518	1年 文一二(25)文三(18)理一(6-8)理二三(5-6)
50376	A 1	火3	テラシマ アレクサンドラ	120	1年 文一二(25)文三(18)理一(6-8)理二三(5-6)
50383	A 1	火3	ナオミ バーマン	K501	1年 文一二(25)文三(18)理一(6-8)理二三(5-6)
50389	A 1	火3	ネルソン シャリティー	E38	1年 文一二(25)文三(18)理一(6-8)理二三(5-6)
50378	A 1	火3	ハンセン キャサリン	K302	1年 文一二(25)文三(18)理一(6-8)理二三(5-6)
50385	A 1	火3	ホールマン フランシス キャンドラー	10-202	1年 文一二(25)文三(18)理一(6-8)理二三(5-6)
50386	A 1	火3	モレノ ペナランダ ラケル	534	1年 文一二(25)文三(18)理一(6-8)理二三(5-6)
50466	A 1	火4	BUENO Alex Falcon	118	1年 文一二(13)文三(4-5)理一(29-33)理二三(21)
50459	A 1	火4	CAREY Anne Marie	119	1年 文一二(13)文三(4-5)理一(29-33)理二三(21)
50452	A 1	火4	DOYLE Aaron	516	1年 文一二(13)文三(4-5)理一(29-33)理二三(21)
50451	A 1	火4	LEE Albert	K402	1年 文一二(13)文三(4-5)理一(29-33)理二三(21)
51539	A 1	火4	SHOKOUHI Marjan	116	1年 文一二(13)文三(4-5)理一(29-33)理二三(21)
50460	A 1	火4	WEITEMIER Adam	117	1年 文一二(13)文三(4-5)理一(29-33)理二三(21)
50463	A 1	火4	ウー ジン	152	1年 文一二(13)文三(4-5)理一(29-33)理二三(21)
50454	A 1	火4	シンドレイエーバ ガリーナ	518	1年 文一二(13)文三(4-5)理一(29-33)理二三(21)
50457	A 1	火4	ジェームズ エリンガー	K303	1年 文一二(13)文三(4-5)理一(29-33)理二三(21)
50464	A 1	火4	テラシマ アレクサンドラ	120	1年 文一二(13)文三(4-5)理一(29-33)理二三(21)
50465	A 1	火4	ナオミ バーマン	K501	1年 文一二(13)文三(4-5)理一(29-33)理二三(21)
50455	A 1	火4	ホールマン フランシス キャンドラー	10-202	1年 文一二(13)文三(4-5)理一(29-33)理二三(21)
50462	A 1	火4	マニナン ジョン	515	1年 文一二(13)文三(4-5)理一(29-33)理二三(21)
50456	A 1	火4	モレノ ペナランダ ラケル	534	1年 文一二(13)文三(4-5)理一(29-33)理二三(21)
50461	A 1	火4	木村 大輔	K401	1年 文一二(13)文三(4-5)理一(29-33)理二三(21)
50595	A 1	水2	BROOKS Britton	119	1年 文一二(4,6)理一(15-16,22)理二三(11)
50596	A 1	水2	BUENO Alex Falcon	114	1年 文一二(4,6)理一(15-16,22)理二三(11)
50597	A 1	水2	Kartika Diana	K303	1年 文一二(4,6)理一(15-16,22)理二三(11)

時間割コード	開講	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50583	A 1	水2	LEE Albert	K402	1年 文一二(4,6)理一(15-16,22)理二三(11)
50585	A 1	水2	ROBB Nigel	K301	1年 文一二(4,6)理一(15-16,22)理二三(11)
50587	A 1	水2	SEDDON Ryan John	118	1年 文一二(4,6)理一(15-16,22)理二三(11)
50590	A 1	水2	WEITEMIER Adam	116	1年 文一二(4,6)理一(15-16,22)理二三(11)
50588	A 1	水2	テラシマ アレクサンドラ	120	1年 文一二(4,6)理一(15-16,22)理二三(11)
50592	A 1	水2	ディーエル グレゴリー ロジャース	534	1年 文一二(4,6)理一(15-16,22)理二三(11)
50584	A 1	水2	ナオミ バーマン	K401	1年 文一二(4,6)理一(15-16,22)理二三(11)
50589	A 1	水2	ハンセン キャサリン	K302	1年 文一二(4,6)理一(15-16,22)理二三(11)
50594	A 1	水2	ホールマン フランシス キャンドラー	517	1年 文一二(4,6)理一(15-16,22)理二三(11)
50586	A 1	水2	ユウ ジョアン	115	1年 文一二(4,6)理一(15-16,22)理二三(11)
50591	A 1	水2	沈 尚玉	10-202	1年 文一二(4,6)理一(15-16,22)理二三(11)
50668	A 1	水3	BROOKS Britton	119	1年 文一二(17)文三(9)理一(21,24)理二三(16)
50675	A 1	水3	BUENO Alex Falcon	114	1年 文一二(17)文三(9)理一(21,24)理二三(16)
50676	A 1	水3	Kartika Diana	K303	1年 文一二(17)文三(9)理一(21,24)理二三(16)
50674	A 1	水3	ROBB Nigel	K301	1年 文一二(17)文三(9)理一(21,24)理二三(16)
50678	A 1	水3	WEITEMIER Adam	116	1年 文一二(17)文三(9)理一(21,24)理二三(16)
50671	A 1	水3	シンドレイエーバ ガリーナ	515	1年 文一二(17)文三(9)理一(21,24)理二三(16)
50670	A 1	水3	ジェームズ エリンガー	K402	1年 文一二(17)文三(9)理一(21,24)理二三(16)
50666	A 1	水3	ディーエル グレゴリー ロジャース	10-102	1年 文一二(17)文三(9)理一(21,24)理二三(16)
50667	A 1	水3	ナオミ バーマン	K401	1年 文一二(17)文三(9)理一(21,24)理二三(16)
50677	A 1	水3	ネルソン シャリティー	E25	1年 文一二(17)文三(9)理一(21,24)理二三(16)
50673	A 1	水3	ハンセン キャサリン	K302	1年 文一二(17)文三(9)理一(21,24)理二三(16)
50665	A 1	水3	ユウ ジョアン	115	1年 文一二(17)文三(9)理一(21,24)理二三(16)
50672	A 1	水3	沈 尚玉	10-202	1年 文一二(17)文三(9)理一(21,24)理二三(16)
60048	A 2	火3	BROOKS Britton	149	1年 文一二(28)文三(20)理一(11-13)理二三(8)
60049	A 2	火3	BUENO Alex Falcon	118	1年 文一二(28)文三(20)理一(11-13)理二三(8)
60050	A 2	火3	CAREY Anne Marie	119	1年 文一二(28)文三(20)理一(11-13)理二三(8)
60052	A 2	火3	SEDDON Ryan John	153	1年 文一二(28)文三(20)理一(11-13)理二三(8)
60043	A 2	火3	SHOKOUHI Marjan	116	1年 文一二(28)文三(20)理一(11-13)理二三(8)
60044	A 2	火3	WEITEMIER Adam	117	1年 文一二(28)文三(20)理一(11-13)理二三(8)
60047	A 2	火3	ウー ジン	152	1年 文一二(28)文三(20)理一(11-13)理二三(8)
60046	A 2	火3	シンドレイエーバ ガリーナ	518	1年 文一二(28)文三(20)理一(11-13)理二三(8)
60045	A 2	火3	テラシマ アレクサンドラ	120	1年 文一二(28)文三(20)理一(11-13)理二三(8)
60051	A 2	火3	ナオミ バーマン	K501	1年 文一二(28)文三(20)理一(11-13)理二三(8)
60055	A 2	火3	ネルソン シャリティー	E38	1年 文一二(28)文三(20)理一(11-13)理二三(8)
60057	A 2	火3	ハンセン キャサリン	K302	1年 文一二(28)文三(20)理一(11-13)理二三(8)
60054	A 2	火3	ホールマン フランシス キャンドラー	10-202	1年 文一二(28)文三(20)理一(11-13)理二三(8)
60056	A 2	火3	モレノ ペナランダ ラケル	534	1年 文一二(28)文三(20)理一(11-13)理二三(8)

時間割コード	開講	曜限	担当教員	教室	対象クラス
60107	A 2	火4	BUENO Alex Falcon	118	1年 文三(7-8)理一(38-39)理二三(23-24)
60106	A 2	火4	CAREY Anne Marie	119	1年 文三(7-8)理一(38-39)理二三(23-24)
60105	A 2	火4	DOYLE Aaron	516	1年 文三(7-8)理一(38-39)理二三(23-24)
60101	A 2	火4	LEE Albert	K402	1年 文三(7-8)理一(38-39)理二三(23-24)
60264	A 2	火4	SHOKOUHI Marjan	116	1年 文三(7-8)理一(38-39)理二三(23-24)
60110	A 2	火4	WEITEMIER Adam	117	1年 文三(7-8)理一(38-39)理二三(23-24)
60094	A 2	火4	ウー ジン	152	1年 文三(7-8)理一(38-39)理二三(23-24)
60097	A 2	火4	シンドレイエーバ ガリーナ	518	1年 文三(7-8)理一(38-39)理二三(23-24)
60104	A 2	火4	ジェームズ エリンガー	K303	1年 文三(7-8)理一(38-39)理二三(23-24)
60096	A 2	火4	テラシマ アレクサンドラ	120	1年 文三(7-8)理一(38-39)理二三(23-24)
60109	A 2	火4	ナオミ パーマン	K501	1年 文三(7-8)理一(38-39)理二三(23-24)
60102	A 2	火4	ホールマン フランシス キャンドラ	10-202	1年 文三(7-8)理一(38-39)理二三(23-24)
60100	A 2	火4	マニナン ジョン	515	1年 文三(7-8)理一(38-39)理二三(23-24)
60099	A 2	火4	モレノ ペナランダ ラケル	534	1年 文三(7-8)理一(38-39)理二三(23-24)
60103	A 2	火4	木村 大輔	K401	1年 文三(7-8)理一(38-39)理二三(23-24)
60131	A 2	水2	BROOKS Britton	119	1年 文一二(8)文三(17)理一(17-18)理二三(12,14)
60144	A 2	水2	BUENO Alex Falcon	114	1年 文一二(8)文三(17)理一(17-18)理二三(12,14)
60133	A 2	水2	Kartika Diana	K303	1年 文一二(8)文三(17)理一(17-18)理二三(12,14)
60142	A 2	水2	LEE Albert	K402	1年 文一二(8)文三(17)理一(17-18)理二三(12,14)
60141	A 2	水2	ROBB Nigel	K301	1年 文一二(8)文三(17)理一(17-18)理二三(12,14)
60139	A 2	水2	SEDDON Ryan John	118	1年 文一二(8)文三(17)理一(17-18)理二三(12,14)
60136	A 2	水2	WEITEMIER Adam	116	1年 文一二(8)文三(17)理一(17-18)理二三(12,14)
60137	A 2	水2	テラシマ アレクサンドラ	120	1年 文一二(8)文三(17)理一(17-18)理二三(12,14)
60132	A 2	水2	ディーエル グレゴリー ロジャース	534	1年 文一二(8)文三(17)理一(17-18)理二三(12,14)
60129	A 2	水2	ナオミ パーマン	K401	1年 文一二(8)文三(17)理一(17-18)理二三(12,14)
60130	A 2	水2	ハンセン キャサリン	K302	1年 文一二(8)文三(17)理一(17-18)理二三(12,14)
60134	A 2	水2	ホールマン フランシス キャンドラ	517	1年 文一二(8)文三(17)理一(17-18)理二三(12,14)
60135	A 2	水2	ユウ ジョアン	115	1年 文一二(8)文三(17)理一(17-18)理二三(12,14)
60138	A 2	水2	沈 尚玉	10-202	1年 文一二(8)文三(17)理一(17-18)理二三(12,14)
60182	A 2	水3	BROOKS Britton	119	1年 文一二(21-23)文三(13)理一(27)理二三(19)
60183	A 2	水3	BUENO Alex Falcon	114	1年 文一二(21-23)文三(13)理一(27)理二三(19)
60186	A 2	水3	Kartika Diana	K303	1年 文一二(21-23)文三(13)理一(27)理二三(19)
60189	A 2	水3	ROBB Nigel	K301	1年 文一二(21-23)文三(13)理一(27)理二三(19)
60179	A 2	水3	WEITEMIER Adam	116	1年 文一二(21-23)文三(13)理一(27)理二三(19)
60178	A 2	水3	シンドレイエーバ ガリーナ	515	1年 文一二(21-23)文三(13)理一(27)理二三(19)
60185	A 2	水3	ジェームズ エリンガー	K402	1年 文一二(21-23)文三(13)理一(27)理二三(19)
60184	A 2	水3	ディーエル グレゴリー ロジャース	10-102	1年 文一二(21-23)文三(13)理一(27)理二三(19)
60190	A 2	水3	ナオミ パーマン	K401	1年 文一二(21-23)文三(13)理一(27)理二三(19)

時間割コード	開講	曜限	担当教員	教室	対象クラス
60188	A 2	水3	ネルソン シャリティー	E25	1年 文一二(21-23)文三(13)理一(27)理二三(19)
60187	A 2	水3	ハンセン キャサリン	K302	1年 文一二(21-23)文三(13)理一(27)理二三(19)
60180	A 2	水3	ユウ ジョアン	115	1年 文一二(21-23)文三(13)理一(27)理二三(19)
60191	A 2	水3	沈 尚玉	10-202	1年 文一二(21-23)文三(13)理一(27)理二三(19)

外国語 (英語二列W)

Active Learning of English for Students of the Arts (ALESA)	開講区分	A
<p>目標・概要 This course introduces students to the skill of building an effective written argument in English supported by sources and evidence and to the conventions of formal writing. By the end of the course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> - be able to present a clear position which is supported by evidence and addresses alternative points of view; - understand the organisation and rhetorical features of an argumentative essay; - be familiar with basic stylistic conventions of academic writing. <p>授業の方法 Class activities will include reading and analyzing argumentative writing in English; developing a position on a issue on the basis of individual research; engaging in a variety of pre-writing exercises; drafting and revising an essay; and using peer feedback to improve students' own and others' work in discussion and written comments.</p> <p>The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and discussion.</p> <p>成績評価方法 Grades are based on writing assignments, discussion, and participation in class activities.</p> <p>関連ホームページ http://ale.c.u-tokyo.ac.jp/</p> <p>※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること</p>		

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50044	月2	BUENO Alex Falcon	117	1年 文一二(1-3,26-27)文三(1-3,12,19)
50046	月2	DOYLE Aaron	516	1年 文一二(1-3,26-27)文三(1-3,12,19)
50039	月2	Kartika Diana	K301	1年 文一二(1-3,26-27)文三(1-3,12,19)
50043	月2	SHOKOUHI Marjan	116	1年 文一二(1-3,26-27)文三(1-3,12,19)
50040	月2	ディーエル グレゴリー ロジャース	534	1年 文一二(1-3,26-27)文三(1-3,12,19)
50041	月2	ナオミ バーマン	K303	1年 文一二(1-3,26-27)文三(1-3,12,19)
50045	月2	ハンセン キャサリン	K302	1年 文一二(1-3,26-27)文三(1-3,12,19)
50042	月2	ホールマン フランシス キャンドラー	515	1年 文一二(1-3,26-27)文三(1-3,12,19)
50037	月2	片山 晶子	E25	1年 文一二(1-3,26-27)文三(1-3,12,19)
50038	月2	沈 尚玉	10-102	1年 文一二(1-3,26-27)文三(1-3,12,19)
50257	火1	DOYLE Aaron	516	1年 文三(14-15)
50258	火1	Kartika Diana	K301	1年 文三(14-15)
50259	火1	ディーエル グレゴリー ロジャース	10-102	1年 文三(14-15)
50361	火3	ディーエル グレゴリー ロジャース	E41	1年 文一二(7)
50362	火3	ユウ ジョアン	114	1年 文一二(7)
51538	火4	BROOKS Britton	149	1年 文一二(10,20)
50441	火4	Kartika Diana	K301	1年 文一二(10,20)
50440	火4	ネルソン シャリティー	E38	1年 文一二(10,20)
50442	火4	ハンセン キャサリン	K302	1年 文一二(10,20)
50438	火4	ユウ ジョアン	114	1年 文一二(10,20)
50819	木2	DOYLE Aaron	516	1年 文一二(5,9)
50820	木2	ハンセン キャサリン	10-202	1年 文一二(5,9)
50821	木2	ユウ ジョアン	115	1年 文一二(5,9)
50901	木3	BROOKS Britton	K401	1年 文一二(18-19,24)文三(6,16)
50894	木3	BUENO Alex Falcon	117	1年 文一二(18-19,24)文三(6,16)
50896	木3	DOYLE Aaron	516	1年 文一二(18-19,24)文三(6,16)

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50893	木3	Kartika Diana	K301	1年 文一二(18-19,24)文三(6,16)
50899	木3	SHOKOUHI Marjan	K302	1年 文一二(18-19,24)文三(6,16)
50897	木3	ネルソン シャリティー	E25	1年 文一二(18-19,24)文三(6,16)
50895	木3	ハンセン キャサリン	10-202	1年 文一二(18-19,24)文三(6,16)
50902	木3	ユウ ジョアン	115	1年 文一二(18-19,24)文三(6,16)
50898	木3	笹山 尚子	E35	1年 文一二(18-19,24)文三(6,16)
50900	木3	沈 尚玉	10-102	1年 文一二(18-19,24)文三(6,16)
50903	木3	野沢 恵美子	116	1年 文一二(18-19,24)文三(6,16)
51035	金1	BROOKS Britton	119	1年 文一二(11-12,14)文三(10)
51030	金1	DOYLE Aaron	516	1年 文一二(11-12,14)文三(10)
51037	金1	SHOKOUHI Marjan	114	1年 文一二(11-12,14)文三(10)
51032	金1	ディーエル グレゴリー ロジャース	534	1年 文一二(11-12,14)文三(10)
51036	金1	ネルソン シャリティー	E25	1年 文一二(11-12,14)文三(10)
51033	金1	ホールマン フランシス キャンドラー	515	1年 文一二(11-12,14)文三(10)
51038	金1	片山 晶子	E35	1年 文一二(11-12,14)文三(10)
51029	金1	沈 尚玉	10-202	1年 文一二(11-12,14)文三(10)
51031	金1	野沢 恵美子	116	1年 文一二(11-12,14)文三(10)
51120	金3	BROOKS Britton	119	1年 文一二(15-16)文三(11)
51116	金3	DOYLE Aaron	516	1年 文一二(15-16)文三(11)
51119	金3	SHOKOUHI Marjan	114	1年 文一二(15-16)文三(11)
51115	金3	ディーエル グレゴリー ロジャース	534	1年 文一二(15-16)文三(11)
51117	金3	ネルソン シャリティー	E25	1年 文一二(15-16)文三(11)
51118	金3	沈 尚玉	515	1年 文一二(15-16)文三(11)

外国語（英語二列W）

Active Learning of English for Science Students (ALESS)	開講区分	A
授業の目標・概要 In this course, students learn about formal scientific writing and style in English; the organization, language, and rhetoric of scientific papers; and the process of writing and preparing formal papers through peer review and revision. 成績評価方法 Grades are based on writing a research paper, giving a presentation, weekly written assignments, and on participation in class activities. ※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること		

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50069	月2	SEDDON Ryan John	118	1年 理一(1-4,35-36)
50067	月2	ウー ジン	K401	1年 理一(1-4,35-36)
50064	月2	シンドレイエーバ ガリーナ	517	1年 理一(1-4,35-36)
50065	月2	タヴァレス ヴァスケス ジェーゴ	KALS	1年 理一(1-4,35-36)
50062	月2	テラシマ アレクサンドラ	120	1年 理一(1-4,35-36)
50066	月2	マニナン ジョン	K201	1年 理一(1-4,35-36)
50063	月2	モレノ ペナランダ ラケル	10-202	1年 理一(1-4,35-36)
50068	月2	木村 大輔	K501	1年 理一(1-4,35-36)
50119	月3	CAREY Anne Marie	516	1年 理一(23,25-26,28,34,37)
50109	月3	LEE Albert	518	1年 理一(23,25-26,28,34,37)
50108	月3	ROBB Nigel	10-202	1年 理一(23,25-26,28,34,37)
50120	月3	SEDDON Ryan John	118	1年 理一(23,25-26,28,34,37)
50118	月3	WEITEMIER Adam	115	1年 理一(23,25-26,28,34,37)
50110	月3	ウー ジン	K401	1年 理一(23,25-26,28,34,37)
50111	月3	シンドレイエーバ ガリーナ	K301	1年 理一(23,25-26,28,34,37)
50117	月3	ジェームズ エリンガー	K302	1年 理一(23,25-26,28,34,37)
50114	月3	テラシマ アレクサンドラ	120	1年 理一(23,25-26,28,34,37)
50115	月3	ナオミ バーマン	KALS	1年 理一(23,25-26,28,34,37)
50112	月3	マニナン ジョン	K201	1年 理一(23,25-26,28,34,37)
50113	月3	モレノ ペナランダ ラケル	E25	1年 理一(23,25-26,28,34,37)
50183	月4	CAREY Anne Marie	516	1年 理一(19)理二三(13,15)
50182	月4	LEE Albert	518	1年 理一(19)理二三(13,15)
50185	月4	ROBB Nigel	10-102	1年 理一(19)理二三(13,15)
50187	月4	WEITEMIER Adam	115	1年 理一(19)理二三(13,15)
50188	月4	ジェームズ エリンガー	K302	1年 理一(19)理二三(13,15)
50181	月4	マニナン ジョン	K201	1年 理一(19)理二三(13,15)
50184	月4	モレノ ペナランダ ラケル	E25	1年 理一(19)理二三(13,15)
50186	月4	ユウ ジョアン	116	1年 理一(19)理二三(13,15)
50268	火1	LEE Albert	114	1年 理二三(17-18)
50266	火1	ROBB Nigel	10-202	1年 理二三(17-18)
50267	火1	SEDDON Ryan John	118	1年 理二三(17-18)

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50265	火1	ジェームズ エリンガー	K201	1年 理二三(17-18)
50544	水1	CAREY Anne Marie	516	1年 理一(5,9-10)
50545	水1	SEDDON Ryan John	118	1年 理一(5,9-10)
50541	水1	ウー ジン	K401	1年 理一(5,9-10)
50539	水1	ジェームズ エリンガー	K201	1年 理一(5,9-10)
50538	水1	タヴァレス ヴァスケス ジェーゴ	KALS	1年 理一(5,9-10)
50543	水1	ホールマン フランシス キャンドラー	517	1年 理一(5,9-10)
50540	水1	マニナン ジョン	E25	1年 理一(5,9-10)
50849	木2	LEE Albert	517	1年 理一(14,20)理二三(20)
50850	木2	WEITEMIER Adam	116	1年 理一(14,20)理二三(20)
50844	木2	ウー ジン	K401	1年 理一(14,20)理二三(20)
50846	木2	ジェームズ エリンガー	K501	1年 理一(14,20)理二三(20)
50848	木2	タヴァレス ヴァスケス ジェーゴ	KALS	1年 理一(14,20)理二三(20)
50847	木2	マニナン ジョン	K201	1年 理一(14,20)理二三(20)
50843	木2	木村 大輔	K302	1年 理一(14,20)理二三(20)
51148	金3	CAREY Anne Marie	116	1年 理二三(9-10)
51146	金3	ROBB Nigel	10-202	1年 理二三(9-10)
51145	金3	シンドレイエーバ ガリーナ	518	1年 理二三(9-10)
51147	金3	モレノ ペナランダ ラケル	K401	1年 理二三(9-10)
51149	金3	木村 大輔	K501	1年 理二三(9-10)
51192	金4	CAREY Anne Marie	116	1年 理二三(1-4,7,22)
51194	金4	ROBB Nigel	10-202	1年 理二三(1-4,7,22)
51195	金4	シンドレイエーバ ガリーナ	518	1年 理二三(1-4,7,22)
51197	金4	テラシマ アレクサンドラ	114	1年 理二三(1-4,7,22)
51193	金4	ナオミ バーマン	K201	1年 理二三(1-4,7,22)
51198	金4	モレノ ペナランダ ラケル	K401	1年 理二三(1-4,7,22)

英語以外の外国語

ドイツ語		開講区分	A
授業の目標・概要	Sセメスターに引き続いて、共通教材『Einblicke』(東京大学教養学部ドイツ語部会編)を用いて、文法と読解を中心に、会話練習を交えながら総合的にドイツ語を学習する。 なお、L系列の科目も積極的に履修することを勧める。		
成績評価方法	平常点および試験によって行う。		
教科書	次の教科書を使用する。		
	書名 : ドイツ語共通教科書『Einblicke』		
	著者(訳者) : 東京大学教養学部ドイツ語部会編		
関連ホームページ	http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	授 業 科 目 名	担当教員	教 室	対象クラス
50074	月2	ドイツ語一列②	大石 紀一郎	10-303	1年 理一(30)
50121	月3	ドイツ語一列②	三宅 晶子	106	1年 理一(29)
50171	月4	ドイツ語一列②	高橋 亮介	104	1年 文三(14)
50246	火1	ドイツ語一列②	畠山 寛	102	1年 文一二(1)文三(1) 理一(1)理二三(1)
50367	火3	ドイツ語一列②	足立 信彦	155	1年 文一二(22)
50414	火3	ドイツ語一列②	久保 哲司	1212	1年 理一(31)
50487	火4	ドイツ語一列②	斉藤 渉	1311	1年 理一(27)
50488	火4	ドイツ語一列②	日名 淳裕	1341	1年 理一(28)
50615	水2	ドイツ語一列②	畠山 寛	102	1年 文一二(21)
50633	水2	ドイツ語一列②	田中 純	153	1年 理二三(17)
50703	水3	ドイツ語一列②	竹峰 義和	155	1年 理一(32)
50728	水4	ドイツ語一列②	森 芳樹	154	1年 文三(15)
50729	水4	ドイツ語一列②	稲葉 治朗	149	1年 文三(16)
50826	木2	ドイツ語一列②	長木 誠司	105	1年 文一二(20)
50971	木4	ドイツ語一列②	工藤 達也	112	1年 理二三(18)
50972	木4	ドイツ語一列②	識名 章喜	102	1年 理二三(19)
51191	金4	ドイツ語一列②	石原 あえか	10-308	1年 理一(33)
51201	金4	ドイツ語一列②	一條 麻美子	102	1年 理二三(20)
50706	水3	ドイツ語特修	高橋 亮介	516	2年 文科 理科
50746	水4	ドイツ語特修	田中 純	153	2年 文科 理科

フランス語		開講区分	A
授業の目標・概要	<p>文芸生クラス、理芸生クラスとも、一列・二列を通じて文法および講読の基礎を固める。 文芸生は、これに加えて演習を履修し、発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。 理芸生には、文芸生の演習に相当するものとして、国際コミュニケーション「フランス語初級(演習)」が自由選択できるので、積極的に参加してほしい。</p>		
成績評価方法	平常点(出席・授業への参加態度および小テストなど)と定期試験で総合的に評価する。		
教科書	授業中に指示をする。		
関連ホームページ	http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	授 業 科 目 名	担当教員	教 室	対象クラス
50050	月2	フランス語一列②	飛嶋 隆信	162	1年 文一二(24)
50076	月2	フランス語一列②	大森 晋輔	122	1年 理一(37)
50122	月3	フランス語一列②	泉 美知子	101	1年 理一(38)
50123	月3	フランス語一列②	星埜 守之	157	1年 理一(39)
50166	月4	フランス語一列②	大森 晋輔	122	1年 文一二(23)
50485	火4	フランス語一列②	鈴木 順子	1222	1年 文一二(26)
50730	水4	フランス語一列②	増田 一夫	155	1年 文三(17)
50829	木2	フランス語一列②	原 和之	158	1年 文三(19)
50856	木2	フランス語一列②	三浦 篤	113	1年 理一(35)
50857	木2	フランス語一列②	中野 知律	101	1年 理一(36)
50860	木2	フランス語一列②	中田 健太郎	164	1年 理二三(22)
50905	木3	フランス語一列②	篠原 学	101	1年 文一二(25)
50906	木3	フランス語一列②	郷原 佳以	151	1年 文一二(27)
50907	木3	フランス語一列②	山田 広昭	158	1年 文一二(28)
50908	木3	フランス語一列②	森元 庸介	112	1年 文三(18)
50909	木3	フランス語一列②	坂本 さやか	152	1年 文三(20)
50945	木4	フランス語一列②	ビゼ	10-102	1年 文一二(2)文三(2) 理一(2)理二三(2)
50973	木4	フランス語一列②	篠原 学	101	1年 理二三(23)
51143	金3	フランス語一列②	鈴木 順子	113	1年 理一(34)
51152	金3	フランス語一列②	飛嶋 隆信	162	1年 理二三(21)
51153	金3	フランス語一列②	斎藤 かぐみ	158	1年 理二三(24)
50707	水3	フランス語特修	郷原 佳以	108	2年 文科 理科

中国語		開講区分	A
授業の目標・概要	<p>中国語の要である発音をしっかりと身につけた上で、文法の基礎を一年かけて一通り学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●文科生は選択必修科目の演習をあわせて履修し、コミュニケーション能力を養成する。クラス別に開講するので、自分のクラスの演習を履修すること。 ●理科生には、選択科目の「初級演習」を開講しているので、一列で習ったことをもとにコミュニケーション能力を高めることが望ましい。(火2と木5に開講) 		
成績評価方法	期末の筆記試験や小テストの結果など。		
教科書	次の教科書を使用する。		
	書名 : 基礎汉语		
	著者(訳者) : 楊凱榮・吉川雅之・張麗群		
	出版社 : 白帝社		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	授 業 科 目 名	担当教員	教 室	対象クラス
50163	月4	中国語一列②	白 春花	162	1年 文一二(17)
50169	月4	中国語一列②	河野 直恵	166	1年 文三(11)
50170	月4	中国語一列②	楊 凱榮	158	1年 文三(12)
50261	火1	中国語一列②	山影 統	112	1年 理一(22)
50366	火3	中国語一列②	吉川 雅之	1222	1年 文一二(19)
50486	火4	中国語一列②	伊藤 徳也	524	1年 文三(13)
50553	水1	中国語一列②	波多野 真矢	107	1年 理一(24)
50618	水2	中国語一列②	瀬地山 角	108	1年 文三(10)
50624	水2	中国語一列②	青木 正子	157	1年 理一(26)
50631	水2	中国語一列②	波多野 真矢	107	1年 理二三(15)
50632	水2	中国語一列②	相原 まり子	166	1年 理二三(16)
50823	木2	中国語一列②	岩月 純一	107	1年 文一二(14)
50824	木2	中国語一列②	下出 宣子	122	1年 文一二(15)
50854	木2	中国語一列②	松本 秀士	112	1年 理一(25)
50887	木3	中国語一列②	下出 宣子	122	1年 文一二(16)
50924	木3	中国語一列②	大橋 義武	154	1年 理二三(14)
50946	木4	中国語一列②	毛 興華	158	1年 文一二(3)文三(3) 理一(3)理二三(3)
50950	木4	中国語一列②	渡辺 剛	150	1年 文一二(18)
51047	金1	中国語一列②	小方 伴子	158	1年 理一(19)
51061	金2	中国語一列②	谷垣 真理子	157	1年 理二三(13)
51137	金3	中国語一列②	田原 史起	154	1年 理一(20)
51140	金3	中国語一列②	李 彦銘	112	1年 理一(23)理二三(14-15)(TLP)
51190	金4	中国語一列②	石井 剛	101	1年 理一(21)
50708	水3	中国語特修	小野 秀樹	517	2年 文科 理科

ロシア語		開講区分	A
授業の目標・概要	<p>初修ロシア語の1年目はロシア語の文字からはじめて、ロシア語の基礎文法を修得する。1年を終えるころには簡単なロシア語テキストが自在に読める能力の獲得をめざす。</p> <p>文系・理系を問わず、共通教科書を使用する。</p> <p>S セメスターに学んだ文法の基本を発展させ、さらに新しい文法項目を学ぶとともに、テキストによって読解の基礎をつける。</p>		
成績評価方法	<p>定期試験と平常点。 適宜小テストを行うことがある。</p>		
教科書	<p>次の教科書を使用する。</p> <p>書名 : Изучаем русский язык с нуля (ロシア語をはじめよう)</p> <p>著者(訳者) : 西中村浩・朝妻恵理子</p> <p>出版社 : 朝日出版社</p>		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	授 業 科 目 名	担当教員	教 室	対象クラス
50247	火1	ロシア語一列②	渡邊 日日	105	1年 文一二(4)文三(4) 理一(4-5)理二三(4)(TLP)
50489	火4	ロシア語一列②	西中村 浩	1322	1年 理二三(4)
50830	木2	ロシア語一列②	安岡 治子	155	1年 理一(4)
50831	木2	ロシア語一列②	濱田 華練	106	1年 理一(5)
51109	金3	ロシア語一列②	濱田 華練	106	1年 文一二(4)
51121	金3	ロシア語一列②	安岡 治子	155	1年 文三(4)
50709	水3	ロシア語特修	渡邊 日日	118	2年 文科 理科

※TLP履修者は、対象クラスでTLPと指定されている授業を履修すること。なお、総合科目L系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

スペイン語		開講区分	A
授業の目標・概要	スペイン語初修は、共通教科書を用い、1年間かけて、日常使われるスペイン語を理解し、簡単な文章を読んだり書いたり、またスペイン語でコミュニケーションをとるために必要な文法体系全体を学習する。Sセメスターでは、内容を一列(文法)と二列(講読)に分け、Aセメスターでは一列で文法・講読の両方を扱う。文系では、外国人教員が担当するクラス指定の演習を設け、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、会話練習、文法の応用練習などを行う。また、スペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシブクラスを週2回開講する。そのほかに、初級作文や初級会話の科目を開講しており、これらを履修することによりスペイン語の運用能力をさらに高めることができる。		
成績評価方法	各担当教員に任されている。		
教科書	次の教科書を使用する。		
	書名 : スペイン語初級		
	著者(訳者) : 東京大学教養学部スペイン語部会		
	出版社 : 朝日出版社		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	授 業 科 目 名	担当教員	教 室	対象クラス
50078	月2	スペイン語一列②	栗林 ゆき絵	151	1年 理二三(10)
50168	月4	スペイン語一列②	三浦 麻衣子	107	1年 文三(9)
50190	月4	スペイン語一列②	和田 佳浦	121	1年 理二三(12)
50264	火1	スペイン語一列②	藤田 護	108	1年 理二三(9)
50409	火3	スペイン語一列②	深澤 晴奈	K114	1年 文三(7)
50510	火5	スペイン語一列②	深澤 晴奈	K114	1年 理二三(8)
50552	水1	スペイン語一列②	深澤 晴奈	K113	1年 理一(16)
50623	水2	スペイン語一列②	深澤 晴奈	K113	1年 理一(11)
50630	水2	スペイン語一列②	久住 真由	113	1年 理二三(7)
50656	水3	スペイン語一列②	久住 真由	113	1年 文一二(13)
50727	水4	スペイン語一列②	石橋 純	511	1年 文三(8)
50735	水4	スペイン語一列②	渡辺 暁	105	1年 理一(17)
50736	水4	スペイン語一列②	深澤 晴奈	K113	1年 理一(18)
50840	木2	スペイン語一列②	愛場 百合子	157	1年 理一(10)
50851	木2	スペイン語一列②	倉田 量介	108	1年 理一(15)
50886	木3	スペイン語一列②	倉田 量介	108	1年 文一二(11)
50914	木3	スペイン語一列②	若林 大我	106	1年 理一(12)
50915	木3	スペイン語一列②	川上 英	104	1年 理一(14)
50923	木3	スペイン語一列②	中島 聡子	113	1年 理二三(11)
50948	木4	スペイン語一列②	川上 英	104	1年 文一二(12)
50959	木4	スペイン語一列②	若林 大我	106	1年 理一(9)
50960	木4	スペイン語一列②	中島 聡子	113	1年 理一(13)
51028	金1	スペイン語一列②	松浦 芳枝	157	1年 文一二(10)
51111	金3	スペイン語一列②	有田 美保	104	1年 文一二(7)

時間割コード	曜限	授 業 科 目 名	担当教員	教 室	対象クラス
51112	金3	スペイン語一列②	内田 兆史	105	1年 文一ニ(8)
51179	金4	スペイン語一列②	内田 兆史	105	1年 文一ニ(9)
50710	水3	スペイン語特修	川崎 義史	157	2年 文科 理科

韓国朝鮮語	開講区分	A
授業の目標・概要	<p>●1年生初修クラス Sセメスターに引き続き、共通教材『ことばの架け橋』を通じて文法と語彙を学んでいき、教科書を終えた後には、さまざまな教材を用いて一年間に学んだ文法知識の応用練習を行います。これらによってAセメスターの授業では、基礎文法を完全に習得した上で、辞書を引きながら新聞・雑誌記事を読める程度、また基本的な内容ならば自分の考えや意見を正確に表現できる程度の力を身につけることを目指します。 文科生はこのほか総合科目L系列において、韓国人数員が担当する「初級（演習）②」を履修し、基礎知識の応用をはかっていきます。理科生には、文科生の「初級（演習）②」に相当する「初級（演習）」が設けられているので、積極的に参加してください。</p> <p>●特修クラス これまでに学んだ内容の復習によって、韓国朝鮮語の基本的な能力を身に付けることを目指します。詳しくはUTAS上のシラバスを参照してください。</p>	
成績評価方法 定期試験と平常点（出席、小テスト、課題など） 教科書 次の教科書を使用する。 書名 :『ことばの架け橋』（再改訂試用版） 著者（訳者）：生越直樹・曹喜澈・三ツ井崇 関連ホームページ http://phiz.c.u-tokyo.ac.jp/~korea/korea_junior.html ※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASも参照すること		

時間割コード	曜限	授 業 科 目 名	担当教員	教 室	対象クラス
50070	月2	韓国朝鮮語一列②	永原 歩	1212	1年 理一(6)
50359	火3	韓国朝鮮語一列②	生越 直樹	1211	1年 文一二(5)文三(5)
50490	火4	韓国朝鮮語一列②	三ツ井 崇	1321	1年 理二三(5)
50747	水4	韓国朝鮮語特修	生越 直樹	103	2年 文科 理科

イタリア語	開講区分	A
<p>授業の目標・概要</p>	<p>●1年生初修クラス 一列二列では、Sセメスターの終わりまでに、初級文法を一通り習得します。Aセメスターでは、それを応用しながら、比較的平易な現代文を中心としたテキストの読解と、接続法・条件法等の文法知識の整理を行います。テキストとして、東京大学イタリア語教材編集委員会編の文法教科書『イタリア語のスタート Italiano... in partenza!』（白水社）を適宜参照しながら、中級読解教科書『ピアッツァ』（東京大学出版会）を主に使用します。あわせて、ネイティヴスピーカの教員による、文法知識の定着と自然なイタリア語の習得のための演習が必修科目として開講されています。「国際コミュニケーション」として、初級の会話・作文、表現練習・インテンシヴも開講されているので、積極的に受講してください。</p> <p>●既修クラス 総合科目L系列「国際コミュニケーション」科目の中・上級科目を既修者の単位として認定しています。</p> <p>●授業計画 1年生初修 — Aセメスター前半 初級文法まとめ Aセメスター後半 講読中心</p> <p>●学習上のアドバイス 時間割上可能で意欲的な学習者には、総合科目L系列「国際コミュニケーション」で開講される選択科目「初級会話」「初級作文」「中級読解」「初級・中級表現練習」等の受講をあわせてすすめます。授業には積極的に参加し、有効な学習としてください。</p>	
<p>成績評価方法 平常点とセメスター末の筆記試験</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 『Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 文法と練習』 著者(訳者) : 東京大学イタリア語教材編集委員会編 出版社 : 白水社</p> <p>※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASも参照すること</p>		

時間割コード	曜限	授 業 科 目 名	担当教員	教 室	対象クラス
50060	月2	イタリア語一列②	村松 真理子	103	1年 文三(6)
50360	火3	イタリア語一列②	池上 俊一	107	1年 文一二(6)
50491	火4	イタリア語一列②	宮坂 真紀	155	1年 理二三(6)
50621	水2	イタリア語一列②	宮坂 真紀	155	1年 理一(8)
50958	木4	イタリア語一列②	山崎 彩	1212	1年 理一(7)
50711	水3	イタリア語特修	村松 真理子	K501	2年 文科 理科

日本語

[注意事項]

- 日本語を、前期課程外国語科目の既修外国語、或は、[既修・既修選択]の初修外国語相当として選択した学生は、基礎科目一列② [必修科目] の授業に初回授業から必ず出席すること。
- 新カリキュラムにおける日本語科目（基礎科目一列、二列C、二列P、総合科目L系列）の履修方法等について、基礎科目一列②の初回授業で説明があるので、必ず出席し説明を受けること。
- 総合科目L系列科目(A1, A2)の登録について、UTASや授業での指示に留意し従うこと。

- 基礎科目 日本語一列② 1年生 既修外国語（初修扱い外国語）
『テーマで考え議論する日本語 後半 -Active Learning in Academic Japanese -』

文理横断的なテーマに関して、文献リサーチ、読解・聴解、資料収集、調査、協働タスク、ディスカッション、プレゼンテーション、要旨・レジメ執筆等、様々な能動的な協働活動を通して、日本語の諸技能の習得・上達を目指しつつ、現象・問題や他者の意見を適切に理解する力、資料を分析しデータや論拠に基づき考え述べる力、自分の意見を構築し伝える力、議論し合う力、能動的学習力を養う。

総合科目L系列においては、相互に相補的な授業活動を行う。日本語科目カリキュラム全体・総合科目カリキュラム全体として、様々な分野・目的での四技能の習得・上達にバランス良く資するための授業を設定し、各々の総合科目L系列授業において、それぞれ特徴をもつ授業活動を行う。各授業の特徴・焦点目標については、UTASの各シラバス参照。

総合科目L系列(一部)において、一列授業で扱うテーマ・内容・活動と連動しつつ、相互に相補的な活動を行う。『基礎科目 日本語一列』で扱うテーマやそのテーマでの読解・聴解・協働タスク・ディスカッション等の活動と連動して、一方で、正確な精読、構文・語彙習得（要約・文作・文章構成等、ライティングを含む）のための活動を行い、一方で、アクティブラーニングの発表・プレゼンテーション・発音演習やレポート執筆・論文執筆等、それぞれに特徴をもつ授業活動を行う。

- 総合科目L系列『日本語上級』A1 ターム
「テーマで考え議論する日本語 2: 精読、構文・語彙習得・ライティング中心」
「論文執筆・アカデミックライティング（準備編）」
「アカデミックプレゼンテーションのための発音」
「文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える その3」
- 総合科目L系列『日本語上級』A2 ターム
「テーマで考え議論する日本語 2: レポート執筆・発表プレゼンテーション中心」
「論文執筆・アカデミックライティング（実践編）」
「アカデミックプレゼンテーションのための発音」
「文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える その3」

授業の目標・概要

成績評価方法 「成績評価方法」は、科目・授業列により異なるので、UTAS上のそれぞれの科目のページを参照すること。
全般的に、毎回の授業活動(および予習・復習)を重視し、出席、授業活動参加、ディスカッション、クイズ、宿題等の課題、発表、試験、レポート等を総合して評価する。詳細については第一回目の授業で配布するシラバスで説明する。

教科書 各授業のUTASシラバスを参照すること。

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASも参照すること

時間割コード	開講	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
50288	A	火2	日本語一列②	藤井 聖子	10-205	1年 文科 理科
51066	A	金2	日本語一列②	藤井 聖子	10-205	1年 文科 理科

身体運動・健康科学実習Ⅱ

身体運動・健康科学実習Ⅱ		開講区分	A
目標概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。		
授業計画	第1回 教室で教科書を用いた授業（教室は9号館前の掲示を参照）、種目選択 第2回から 選択した種目での授業 学期中に2度 身体運動の科学的理解を目的とした共通授業を行う。 12月に体力テストを行う。 体育館種目が別の場所に移動し、外種目を体育館で行うこともあるので、9号館前の掲示板を見ること。		
授業の方法	第1回目の授業で、種目選択を行う。スポーツコース（テニス、サッカー等）、フィットネスコース、サイエンスコースから選択する。その曜限に開設されている種目と説明は http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp を参照のこと。 種目選択以降は、各種目に分かれて行う。 基本的には自分の身体を動かして、実習することが第一であるが、各種目により様々なアプローチがなされる。 学期中に2回、身体運動の科学的理解を目的とした共通授業を、通常とは別の場所で行う。教室での授業、身体運動の科学的理解のための授業だけでなく、通常の授業でも教科書『教養としての身体運動・健康科学』を用いるので、毎回持ってくる。毎回の授業における心拍数、体力テストの結果等も教科書に記入する。 通常授業での説明、科学的理解のための共通授業、体力テスト等によって、学期末にレポートを提出する。		
成績評価方法	1 出席 身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 2 達成度 各自が選択履修している授業について、学習達成度の評価を行う。 3 体力テスト 12月に行い、評価に含める。 4 レポート 通常授業での説明、共通授業、体力テストの結果等を受けて、学期末にレポートを提出する。 5 その他 授業中にどのような態度で参加し、どのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。		
教科書	次の教科書を使用する。 書名 : 教養としての身体運動・健康科学 著者(訳者) : 東京大学身体運動科学研究室 出版社 : 東京大学出版会		
履修上の注意	種目選択後の種目変更は、特別な事情（病気、怪我など）が無い限り認めない。		
学習上のアドバイス	盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。		
関連ホームページ	http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp		
※講義の詳細については、UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50059	月2	実技担当	1年 文三(4,11,16)理一(5,10-11,15,20-21,25-26)
50365	火3	実技担当	1年 文一二(12)理一(14,17-19,27-28,34-37)
50437	火4	実技担当	1年 文一二(1-5,8)文三(17-18)理二三(1-3,7-8,12,14,16,18)
50655	水3	実技担当	1年 文一二(7,14-15)文三(8)理一(7-8,12,30,39)
50725	水4	実技担当	1年 文一二(16,26-28)文三(9)理一(9,13,16)理二三(17,20,22)
50822	木2	実技担当	1年 文一二(6)理一(1-3,31-33)理二三(4-6,9-11,15,24)
50885	木3	実技担当	1年 文一二(9,23)文三(1-3,12,14-15)理一(4,6)理二三(13,19,21,23)
51113	金3	実技担当	1年 文一二(10-11,13,17-20)文三(5-7,10)
51180	金4	実技担当	1年 文一二(21-22,25)文三(13,19-20)理一(22-24,29,38)

身体運動・健康科学実習Ⅱ（メディカルケア）

スポーツ・身体運動実習（メディカルケア）	開講区分	A
<p>目標概要 週1回の授業を通じて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。 <p>授業計画 第1回目の授業は、クラス指定された身体運動・健康科学実習の曜限で受講する。第2回目以降からこの曜限で受講する。各自の状態に合わせて、実習を行う。</p> <p>授業の方法 基本的には自分の身体を動かして、実習することが第一であるが、各自の状態により様々なアプローチがなされる。教科書『教養としての身体運動・健康科学』を用いるので、毎回持ってくる。学期末にレポートを提出する。</p> <p>成績評価方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 出席 身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 2 達成度 各自の学習達成度について評価を行う。 3 レポート 授業での説明、実習内容、その結果等を受けて、学期末にレポートを提出する。 4 その他 授業中にどのような態度で参加し、どのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。 <p>教科書 次の教科書を使用する。</p> <p>書名 : 教養としての身体運動・健康科学 著者（訳者） : 東京大学身体運動科学研究室 出版社 : 東京大学出版会</p> <p>履修上の注意 第1回目の授業は、クラス指定された身体運動・健康科学実習の曜限で受講する。そこで今後の指示を受け、第2回目以降から別の曜限（月1、月5、火1、水1のいずれか）で受講する。 クラス指定された曜限で他の授業を受講する場合のみ、教務登録は実際にメディカルケアコースを受講する曜限に変更する。その際には、教務課で配布する履修認定カード（3枚綴り）に必要事項を記入した上で、許可サイン欄に授業担当教員のサインをもらい、1枚目を教員に提出、2枚目を教務課に提出すること。ただし、クラス指定された曜限に他の授業を入れない場合は、教務登録はクラス指定された曜限のままでよい。</p> <p>学習上のアドバイス 盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。</p> <p>関連ホームページ http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp</p> <p>※講義の詳細については、UTASも参照すること</p>		

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50018	月1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（メディカルケア3）	実技担当	1年 文科 理科
50207	月5	身体運動・健康科学実習Ⅱ（メディカルケア1）	実技担当	1年 文科 理科
50269	火1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（メディカルケア3）	実技担当	1年 文科 理科
50560	水1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（メディカルケア2）	実技担当	1年 文科 理科

社会科学

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50133	A	法Ⅱ	北村 朋史	教養学部(前期課程) 法・政治	月3	1313	1年 文二 文三 2年 文二 文三
<p>講義題目 国際社会と法</p> <p>目標概要 国際社会には、国内におけるような集権的な統治機関が存在しない。そうした社会において妥当する法とはどのような特徴を有し、どのように機能しているのだろうか。本授業では、近年の具体的な国際紛争事例にも触れながら、国家管轄権、国家領域、海洋の利用、国際通商、武力の行使等にかかわる法について解説し、国際社会における法の役割と限界について考察する。</p> <p>評価方法 定期試験によって評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
50535	A	法Ⅱ	成瀬 剛	教養学部(前期課程) 法・政治	水1	1225	1年 文一(1-3,22-28) 2年 文一
<p>講義題目 法学入門—刑事法の視点から</p> <p>目標概要 【文一のみ履修可】 法Ⅰの授業で法律・法学についての基本的な知識を習得したことを前提に、実際に判例や論文などを読むことを通して、法学を学ぶための基礎的な思考方法をもう一步踏み込んで修得することを目標とします。法Ⅰが民事法中心であったことを踏まえ、このクラスでは刑事法のテーマを中心に取り上げる予定です。 なお、13回の授業のうち2回（このクラスでは第8回と第9回）はフィッシャー先生による英語の授業です。その2回の内容は、『The origin and nature of the common law, and its role in contemporary legal issues (コモンローの起源と性質、及び、現代的な法的問題における役割)』です。 ※コモンローとは、制定法主義に立つ大陸法に対して、イギリス及びその法制を継受したアメリカ等の諸国の判例法体系を意味します。</p> <p>評価方法 定期試験により評価します。フィッシャー先生担当の2回の授業についても、試験を行います。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50536	A	法Ⅱ	福岡 安都子	教養学部(前期課程) 法・政治	水1	1106	1年 文一(4-14) 2年 文一
<p>講義題目 公法学のテキストを読む</p> <p>目標概要 【文一のみ履修可】 「法Ⅰ」で法学につき基礎的知識を習得したことを前提に、引き続き、公法学分野の具体的素材とその読解を通じて、解釈の力を養うことを目指す。</p> <p>評価方法 基本的に定期試験に基づいて行いますが、授業における各種フィードバックの内容も加味します。 なお、フィッシャー先生担当の2回の授業についても試験を行います。詳細は授業の際に通知します。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
50537	A	法Ⅱ	後藤 元	教養学部(前期課程) 法・政治	水1	1331	1年 文一(15-21) 2年 文一
<p>講義題目 ビジネスローと法解釈・立法</p> <p>目標概要 【文一のみ履修可】 この授業では、商法・会社法・消費者保護法・事業規制法などのビジネスローと総称される企業活動に関係する法分野を素材に、法律の解釈の方法や判例の読み方、制度改正を巡る議論への接し方、経済学等の他の社会科学の重要性などについて学習します。 なお、13回の授業のうち2回はJames Fisher准教授による英語の授業です。</p> <p>評価方法 定期試験により評価する。</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50134	A	政治Ⅱ	伊藤 武	教養学部(前期課程) 法・政治	月3	900	1年 文一 2年 文一
<p>講義題目 比較政治学入門</p> <p>目標概要 本講義は、専門課程における政治学系科目の基礎として、比較政治学の基本的な考え方を身に付けることを目的とします。 比較政治学は、国際政治学や政治思想史・政治理論と並ぶ政治学の重要な分野です。同時代や過去の多様な政治現象について、比較分析の手法と政治学理論を用いて考察することを通じて、特定の国や事例を見るだけでは分からない共通のメカニズム、事例の固有の特徴、そして新しい理論を導き出すことを目指した研究分野です。 本講義では、先進国だけでなく途上国も含んだより広い地域、新しい研究動向を踏まえたテーマも対象とします。選挙や政党政治、議会政治・執政政治など従来重要とされてきた領域に加えて、司法政治や規制政治など新しい領域も扱います。 さまざまな政治制度や社会経済的制度が、政治家や官僚、国民など政治に関わる多様なプレイヤーにどのようなインセンティブ（誘因）を与えるか、それぞれ良い政治の実現を求めるプレイヤーが集まっても結果が望むようなものにならないのはなぜか、一見非常に似た政治的条件を持つ国で同じ政治改革の結果が異なるのはなぜかなど、現実の政治を考える上でも意義深い問題を考えていきます。 授業の解説は基本的なレベルから行いますが、必要に応じて発展的内容も扱います。受講者の方は、それぞれの多様な関心に応じて取り組んで下さい。</p> <p>評価方法 ・定期試験 ・プレゼンテーション、小テスト、レポートなどの内容を付加的に考慮する場合があります。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 政治学の第一歩 著者（訳者）：砂原庸介，稗田健志，多湖 淳 出版社 : 有斐閣 ISBN : 978-4-641-15025-6 (教科書は必ず入手してください。)</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50561	A	政治Ⅱ	荻田 真司	教養学部(前期課程) 法・政治	水1	525	1年 文二 文三 2年 文二 文三
<p>講義題目 デモクラシーと現代政治学</p> <p>目標概要 この講義では、現代政治学のいくつかの基本的な概念に関する議論を検討することで、政治学的な語彙を使った政治理解の一端を学ぶことを目標とする。 前半では、近代政治原理の最も中心的な要素である「デモクラシー」の持つ諸特質を考察し、現実世界のデモクラシーの多様性を理解するとともに、その現代的な諸問題について認識を深めることを目的とする。 後半では、現代政治学の歩みを振り返りつつ、政治を認識する様々な方法について考察するとともに、その対象となる「政治的なもの」についての理解を深めていく</p> <p>評価方法 定期試験により評価する</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50135	A	経済Ⅱ	丸山 真人	教養学部(前期課程) 経済・統計	月3	1225	1年 文科 2年 文科
<p>講義題目 人間の経済と資本の論理</p> <p>目標概要 人間の経済の根底には市場化に馴染まないものが実在しており、それを分析するためには、生命系のパラダイムに依拠するエントロピー経済学と、非市場の人間関係を究明してきた経済人類学の知見が必要である。ところで、現代資本主義は自然環境のみならず、社会関係や人間自身までも擬制的に資本化し、人間生活の全体を市場関係で覆い尽くそうとしている。このような現象の背後には資本の運動法則が存在しており、それを解明するには「資本論」のアプローチが不可欠である。本講義では、これらの学問的遺産を踏まえうえて、人間の経済を資本の論理から解放する方途を探求することを課題とする。</p> <p>評価方法 定期試験</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50516	A	経済Ⅱ	竹野 太三	教養学部(前期課程) 経済・統計	火5	900	1年 文科 2年 文科
<p>講義題目 経済Ⅱ 価格理論</p> <p>目標概要 本講義では、経済学に興味を持つ前期課程文科生を対象に、価格理論の解説を行います。主として個人や単一企業レベルにおける意志決定過程の考察を基に、完全競争市場や不完全競争市場で達成される均衡の特性の分析を試みることに加え、厚生経済の第一、および第二定理に示される知見を紹介することを目的とします。従って、市場全体、或いは経済全体の特性を示す指標（例えば失業率やインフレ率、経済成長率など）に関わる分析をするマクロ経済学の解説は、本講義では行いません。なお、ミクロ経済学、マクロ経済学のいずれを先に学ぶかは重要ではありません。（履修計画の参考まで。）</p> <p>評価方法 持ち込み不可の定期試験によります。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 経済学の基礎 価格理論 著者(訳者) : 竹野太三 出版社 : 東京大学出版会 ISBN : 978-4-13-042146-1</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
50136	A	社会Ⅱ	井上 彰	教養学部(前期課程) 社会・社会思想史	月3	K212	1年 文科 2年 文科
<p>講義題目 分析的政治哲学入門</p> <p>目標概要 本授業では、現代英米圏を中心に、政治理論においてメインストリームを形成している「分析的政治哲学」について学習する。分析的政治哲学とは、19世紀に生まれ、20世紀初頭から飛躍的な発展を遂げた分析哲学の道具立てを用いて、政治哲学上の鍵概念である「正義」「自由」「平等」等の構成要件を解明し、それらの主題や適用範囲を明らかにする学問領域である。本授業では、20世紀を代表する分析的政治哲学者であるJ・ロールズの議論をおさえたうえで、そこから発展した様々な論争の検討を通じて、分析的政治哲学の主題や鍵概念の適用範囲をめぐる議論についてわかりやすく解説する。その射程は、グローバル正義論や地球環境（排出権）問題、そして移民問題といった具体的な論点も含まれる。</p> <p>評価方法 筆記試験の点数に、授業中に複数回課す小レポートの点数を加えて評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50562	A	数学Ⅰ	山本 昌宏	教養学部(前期課程) 数学	水1	761	1年 文科 2年 文科
<p>講義題目 数学Ⅰ</p> <p>目標概要 文科生向けに一変数関数の微分法と積分法に関する基礎的内容を扱う科目である。社会科学に関連する題材を織り交ぜ、数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。</p> <p>評価方法 定期試験による。</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50563	A	数学Ⅱ	寺田 至	教養学部(前期課程) 数学	水1	743	1年 文科 2年 文科
<p>講義題目 数学Ⅱ</p> <p>目標概要 文科生向けの、ベクトルと行列に関する基礎的な内容や、計算法を理解するための科目である。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目を履修した後に、より進んだ内容を総合科目「数理科学概論Ⅱ」で学ぶことができる。</p> <p>評価方法 定期試験による。</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50137	A	哲学Ⅱ	乗立 雄輝	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	月3	532	1年 文科 2年 文科
<p>講義題目 この世界が存在するという事について考える</p> <p>目標概要 (彼が初めてというわけではありませんが) ライブニッツが発して以来、現在に至るまでさまざまな哲学者や科学者たちの頭を悩ませ続けている「なぜ、何もないのではなく、何かがあるのか?」という問いを考察します。この問いを、最も根源的かつ重要な問いだと主張する哲学者もいる一方で、問いとして適切ではない、もしくは、考えるのが無駄な疑似問題だと批判する哲学者も少なくありません。しかし、この問いが妥当な問いなのかどうかを批判的に検証することも含めて、この問いを考察することは、この問いが関わる領域の広さゆえに、哲学的思考に必要な基本的な諸概念群を理解し、その諸概念を用いながらさまざまな問題を考えていくきっかけとなります。この講義では、この問いを考えていく中で、存在と無をめぐる問題、因果の問題、「説明する」とはどういうことなのか、原因と理由(根拠)の差異、可能性・偶然性・必然性をめぐる議論といった、これまで哲学者たちが悪戦苦闘してきた諸概念について学ぶと同時に、それらの諸概念を使って、参加者のみなさんが「なぜ、何もないのではなく、何かがあるのか?」という問いへの(この問いそのものの否定の可能性も含めた)応答を試みてほしいと考えます。</p> <p>評価方法 定期試験によって評価します。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
50517	A	哲学Ⅱ	山本 芳久	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	火5	1323	1年 文科 2年 文科
<p>講義題目 哲学の原典を読む</p> <p>目標概要 西洋哲学の基礎を、その原点に即しながら学ぶ。具体的には、古代ギリシアの哲学者アリストテレスの『ニコマコス倫理学』と、西洋中世の哲学者トマス・アクィナスの『神学大全』を中心に、基本的なテキストを抜粋し、日本語で丁寧に読解していく。関連する範囲で、他の哲学者のテキストも読解する。</p> <p>評価方法 試験。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : トマス・アクィナス 理性と神秘 著者(訳者) : 山本芳久 出版社 : 岩波新書 ISBN : 978-4004316916</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50138	A	倫理Ⅱ	田中 智彦	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	月3	K214	1年 文科 2年 文科
<p>講義題目 〈いのち〉と〈ひと〉のいまを問う</p> <p>目標概要 In order to have a sense of who we are, we have to have a notion of how we have become, and of where we are going. Charles Taylor</p> <p>私たちは今日、いのちとひとをめぐる倫理的にどのような状況にあるのだろうか。またその状況は、どのようにして今日あるようになったのだろうか。どのような明日をもたらさうのだろうか。この授業ではこうした問いについて考えてゆきたい。その過程において、私たちの生・病・老・死を取り囲んでいるいわば「4つのbio」——生権力(biopower)・生政治(biopolitics)・生命倫理(bioethics)・生命科学技術(biotechnology)——を歴史的・批判的に検討することになるだろう。したがって、倫理の諸理論を概説するという形はとらない。むしろ過去の、また現在の具体的な事例をとりあげ、そこにどのような問題を見いだすか、それらをどのように考えるかに関して一つの視座を示すことをつうじて、受講者一人ひとりが「ひととして限りあるいのちをいかに生きるべきか」という問いを自ら探究する手がかりを提供したいと思っている。</p> <p>評価方法 原則として〈レポート 75%〉〈授業参加度 25%〉で評価する。ただし、受講者数によってはレポートを試験に変更することもありうる。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50518	A	歴史Ⅰ	杉山 清彦	教養学部(前期課程) 歴史学	火5	K011	1年 文科 2年 文科
<p>講義題目 中央ユーラシアから見た世界史</p> <p>目標概要 近代以前の世界史の主な舞台となってきたのはユーラシア大陸である。その内陸域、すなわち中央ユーラシアの人びとこそが、世界の各地域を結びつけるとともに、地域を超えて世界史を動かしてきた。本講義では、東西交渉史の枠組みや、「中国やヨーロッパの周辺の異民族」といった見方からではなく、中央ユーラシアに視座を置いて、ユーラシア世界史の展開を概観する。それを通して、あまり知られていない中央ユーラシア史の通史を示すとともに、さらにそこから新しい世界史・地域史を照らし出すことを目標とする。</p> <p>評価方法 期末の論述試験を主とし、講義中随時課す小テスト・小レポートなどの評価を加味して判断する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
50139	A	歴史Ⅱ	山口 輝臣	教養学部(前期課程) 歴史学	月3	522	1年 文科 2年 文科
<p>講義題目 19・20世紀日本における天皇と宗教</p> <p>目標概要 明治維新150年が明けると、平成最後の年のはじまりである。天皇が変わる、元号が変わるといったことから、天皇という存在への関心が高まるのはもちろん、おそらくは退位から即位への一連の儀礼を通じて、それと宗教との関わりにも注目が集まることだろう。</p> <p>そうした眼前の出来事を歴史的な視野のなかで考える素材と方法を提供しようというのがこの授業である。すなわち19～20世紀に焦点を当てながら、その前後の時期を含め、「天皇と宗教」の変遷を検討するものだからである。</p> <p>本授業を通じて、受講生が、「天皇と宗教」をはじめ日本や近代といったことについて自らで考えていくための素材を得ること、さらにそうした材料をもとに受講生が考えていくことにより、歴史研究という営為を理解すること。本年度の授業の目標はこの点にある。</p> <p>評価方法 授業への参加状況と定期試験を1：4で評価する。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。</p> <p>書名 : 天皇の歴史09天皇と宗教</p> <p>著者（訳者）：小倉慈司・山口輝臣</p> <p>出版社 : 講談社学術文庫</p> <p>ISBN : 9784065126714</p> <p>上記は2018年8月刊行。2011年の元版でも構わないが、授業運営の方法上、必携とする。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
50140	A	ことばと文学Ⅱ	田口 一郎	教養学部(前期課程) 国文・漢文学	月3	109	1年 文科 2年 文科
<p>講義題目 中国古典文学略史</p> <p>目標概要 漢詩・漢文を読むうえで必要となる中国古典文学の歴史を概観する。</p> <p>唐から清末までの文学の特徴と変遷を理解し、基本的知識（作品・作者等）を身につける。</p> <p>評価方法 授業内試験による。</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50519	A	ことばと文学Ⅲ	出口 智之	教養学部(前期課程) 国文・漢文学	火5	159	1年 文科 2年 文科
<p>講義題目 日本近現代小説読解法</p> <p>目標概要 日本の近代～現代に書かれた複数の小説を取上げ、近代文学研究のための基礎的な術語や視点、概念を学びつつ、文学作品の分析や研究方法について概説する。とりわけ、前期課程の科目として、高校までの国語教育とは異なる専門的な文学研究の方法・考え方を身につけることを重視する。そのうえで、講義で解説する文学理論や批評理論等の基礎を理解し、それを手がかりにして自分で作品を読解する力を身につけてほしい。</p> <p>評価方法 学期末に提出するレポートによる。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。</p> <p>書名 : 青の炎</p> <p>著者（訳者）：貴志祐介</p> <p>出版社 : 角川文庫</p> <p>ISBN : 9784041979068</p> <p>このほか、吉田修一『初恋温泉』（集英社文庫、978-4087464344）も用いる予定である。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50141	A	ことばと文学Ⅳ	中尾 まさみ	教養学部(前期課程) 英語	月3	164	1年 文科 2年 文科
<p>講義題目 英語圏の現代詩を読む</p> <p>目標概要 20世紀後半以降に英語で書かれた詩をとりあげ、テキストを精密に読んで分析する方法を学ぶとともに、詩の言語のありようについて考えます。現代詩は、形式においても主題においても伝統的な詩のあり方を逸脱し、自由で多様な言語世界を展開しています。脱植民地化を経て「英語圏」と認識される地域も著しく拡大し、また新しいメディアに乗って急速に伝播した大衆文化の影響も見逃せません。その豊かさを知力・想像力を最大限に使ってじっくり味わうことを目指します。</p> <p>評価方法 授業参加（口頭発表、ディスカッション）と定期試験</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50142	A	心理Ⅱ	本吉 勇	教養学部(前期課程) 心理・教育学	月3	1323	1年 文科 2年 文科
<p>講義題目 心理学概論</p> <p>目標概要 人間は、環境から受け取った光や音の情報をもとに、外界のモノや出来事を認識し、過去の記憶や与えられた状況に応じて適切に反応し、また他の人間と相互作用することができる。このすぐれて知的な能力はすべて脳の情報処理によるものである。認知科学(cognitive science)とは、心理学・神経生理学・情報工学が密接に結びつきながら、その仕組みを解明し制御することをめざす巨大な学問領域である。</p> <p>本講義では、多くの錯覚デモや模擬実験を体験しながら、知覚、認識、記憶、感情、思考、社会性といった「人の心の基本的な仕組み及び働き」を支えている脳情報処理の原理原則と、その背後にある生理学的・計算論的メカニズムの基礎を学ぶ。それによって、進化と学習が生み出した優れた情報処理マシンとしての脳と人間を理解するための視点を身につけることをめざす。人工知能を含めた現代と未来の脳工学技術や「心理学の成り立ち」にも触れる。</p> <p>評価方法 出席および定期試験による。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
50564	A	心理Ⅱ	上原 泉	教養学部(前期課程) 心理・教育学	水1	1323	1年 文科 2年 文科
<p>講義題目 心理学概論</p> <p>目標概要 心理学の成り立ちと、人の心の基本的な仕組み及び働きについて、学ぶことを主な目標とする。個々の認知能力や心の在り様が人の生涯においてどのように発達し、また変わっていくのかという点も検討することで、本質的な理解につながっていくことを目指す。人の心は科学的に扱うことが難しい部分もあるため、ともしれば、人の心に関する一般的な理解において誤解が生じることがある。心理学の知見は、心理学ならではの実験や調査手法に基づいている。本講義内では、実験例や調査例も随時紹介していく。</p> <p>評価方法 持ち込み禁止の定期試験。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							

基礎実験

基礎実験

目標概要	<p>自然科学の学習に不可欠な基本的な知識・技能を習得する。</p> <p>1) 将来の自然科学の発展に対応できるように、自然科学諸分野の基礎的な実験方法と概念を理解できるようにする。</p> <p>2) 基礎講義の内容を、基礎実験によってよりよく理解できるようにする。</p> <p>3) 未知の自然現象の解明を目的とする研究実験に必要な観察力・姿勢を養い、みずから実験を計画する場合に不可欠な基本的技法を習得できるようにする。</p> <p>月曜から金曜の指定された曜日に週1回受講する。</p> <p>基礎実験は班に別れて行う。班分け、実施日程ならびに各班の実験種目ローテーションをKOMCEE Eastに掲示するので前もって確認しておくこと。</p>
授業の方法	<p>【実験開始と終了】</p> <p>13:00に実験を開始する。その時に、実験に関する説明・注意等をするので遅刻は厳禁である。化学実験では13:20以降の遅刻は必ず欠席扱いとなる。ただし、13:20以内の遅刻でも予習が不足していた場合、欠席扱いになることがあるので注意すること。物理学実験では13:30以降の遅刻は欠席扱いとなる。</p> <p>実験が終了し、データの解析を終えたら、実験ノートと実験報告書に必要な事項を書き、要求されているサンプル等を持って、試問を受けること。OKならばノートに検印を受ける。</p> <p>きちんと後片付けをしてすみやかに退室すること。内容が十分でない場合は、再実験、再解析を指示する。</p> <p>欠席：原則として、欠席に対する補充実験は認めない。</p> <p>遅刻：遅刻は大きく減点する。</p> <p>予習：必ず自分が受講する種目を予習しておくこと。予習してこない場合、実験の進行に支障を来す。グループで実験を行う場合、他のメンバーに大変迷惑をかけることになる。</p> <p>また、実験全体の流れを前もって把握しておくことは事故を回避するためにも必ず必要なことである。従って、予習を行ってこなかったものに対しては実験を行うことを認めない。</p> <p>早退：早退は欠席扱いとなる。</p> <p>後片付け：後片付けが悪い場合は減点とする。</p> <p>退室：実験を終了したら必ず終了時のチェック、試問を受けること。OKならばすみやかに退室する。</p> <p>【用意するもの】</p> <p>物理系種目：教科書『基礎物理学実験』、実験ノート(B5版)、グラフ用紙、計算機を用意すること。</p> <p>化学系種目：教科書『基礎化学実験』、実験ノート(B5版)、計算機、白衣、保護メガネを用意すること。</p> <p>【提出物】</p> <p>物理系実験：実験終了後、実験ノート、解析結果を提示し、試問を受け、最終実験日に実験ノートを提出する</p> <p>化学系実験：実験終了後、実験ノート、サンプル、グラフなどを提示し、実験報告を行い、1週間後に実験報告書を提出する</p>
成績評価方法	成績は、出席、予習、実験ノート、試問、後片付け、提出物（化学実験は実験報告書、物理学実験は実験ノート）で評価する。
教科書	<p>次の教科書を使用する。</p> <p>書名：『基礎物理学実験』、 『基礎化学実験』</p> <p>著者（訳者）：基礎物理学実験テキスト編集委員会、教養学部化学部会</p> <p>出版社：学術図書出版社、 東京化学同人</p>
履修上の注意	<p>過去ノートの持ち込みはカンニング行為とみなす</p> <p>携帯・スマホ・デジカメなどの記憶媒体の使用は禁止。</p> <p>使用は不正行為とみなし厳正に処分する。</p> <p>館内および外階段は全面禁煙とする。実験室内は飲食禁止。</p>
関連ホームページ	http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/chemistry/exp/index.html
※講義の詳細については、UTASも参照すること	

時間割コード	開講	曜 限	科目名	対象クラス
50096	A 1	月3, 月4	基礎実験 I (物理学)	1年 理一(1-3,5,7-9,12-14)
50411	A 1	火3, 火4	基礎実験 I (物理学)	1年 理一(20-25)
50697	A 1	水3, 水4	基礎実験 I (物理学)	1年 理一(4,6,29,31,33-35,38)
50912	A 1	木3, 木4	基礎実験 I (物理学)	1年 理一(10-11,15-19)
51141	A 1	金3, 金4	基礎実験 I (物理学)	1年 理一(26-28,30,32,36-37,39)
60003	A 2	月3, 月4	基礎実験 II (物理学)	1年 理一(1-3,5,7-9,12-14)

時間割コード	開講	曜 限	科目名	対象クラス
60059	A 2	火3, 火4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1年 理一(20-25)
60194	A 2	水3, 水4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1年 理一(4,6,29,31,33-35,38)
60206	A 2	木3, 木4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1年 理一(10-11,15-19)
60224	A 2	金3, 金4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1年 理一(26-28,30,32,36-37,39)
50097	A 1	月3, 月4	基礎実験Ⅰ(化学)	1年 理一(1-3,5,7-9,12-14)
50413	A 1	火3, 火4	基礎実験Ⅰ(化学)	1年 理一(20-25)
50699	A 1	水3, 水4	基礎実験Ⅰ(化学)	1年 理一(4,6,29,31,33-35,38)
50913	A 1	木3, 木4	基礎実験Ⅰ(化学)	1年 理一(10-11,15-19)
51532	A 1	金3, 金4	基礎実験Ⅰ(化学)	1年 理一(26-28,30,32,36-37,39)
60005	A 2	月3, 月4	基礎実験Ⅱ(化学)	1年 理一(1-3,5,7-9,12-14)
60061	A 2	火3, 火4	基礎実験Ⅱ(化学)	1年 理一(20-25)
60195	A 2	水3, 水4	基礎実験Ⅱ(化学)	1年 理一(4,6,29,31,33-35,38)
60208	A 2	木3, 木4	基礎実験Ⅱ(化学)	1年 理一(10-11,15-19)
60225	A 2	金3, 金4	基礎実験Ⅱ(化学)	1年 理一(26-28,30,32,36-37,39)
50124	A 1	月3, 月4	基礎物理学実験	1年 理二三(1-4,6-8) 奇数
50416	A 1	火3, 火4	基礎物理学実験	1年 理二三(11,13,15,17) 奇数
50704	A 1	水3, 水4	基礎物理学実験	1年 理二三(14,21,23-24) 奇数
50921	A 1	木3, 木4	基礎物理学実験	1年 理二三(5,9-10,20,22) 奇数
51150	A 1	金3, 金4	基礎物理学実験	1年 理二三(12,16,18-19) 奇数
60006	A 2	月3, 月4	基礎物理学実験	1年 理二三(1-4,6-8) 偶数
60062	A 2	火3, 火4	基礎物理学実験	1年 理二三(11,13,15,17) 偶数
60196	A 2	水3, 水4	基礎物理学実験	1年 理二三(14,21,23-24) 偶数
60209	A 2	木3, 木4	基礎物理学実験	1年 理二三(5,9-10,20,22) 偶数
60226	A 2	金3, 金4	基礎物理学実験	1年 理二三(12,16,18-19) 偶数
50125	A 1	月3, 月4	基礎化学実験	1年 理二三(1-4,6-8) 偶数
50417	A 1	火3, 火4	基礎化学実験	1年 理二三(11,13,15,17) 偶数
50705	A 1	水3, 水4	基礎化学実験	1年 理二三(14,21,23-24) 偶数
50922	A 1	木3, 木4	基礎化学実験	1年 理二三(5,9-10,20,22) 偶数
51151	A 1	金3, 金4	基礎化学実験	1年 理二三(12,16,18-19) 偶数
60007	A 2	月3, 月4	基礎化学実験	1年 理二三(1-4,6-8) 奇数
60063	A 2	火3, 火4	基礎化学実験	1年 理二三(11,13,15,17) 奇数
60197	A 2	水3, 水4	基礎化学実験	1年 理二三(14,21,23-24) 奇数
60210	A 2	木3, 木4	基礎化学実験	1年 理二三(5,9-10,20,22) 奇数
60227	A 2	金3, 金4	基礎化学実験	1年 理二三(12,16,18-19) 奇数

数理学

微分積分学②	開講区分	A
<p>目標概要 代数学、幾何学とともに、数学の根幹をなす解析学について、その基本的な考え方や方法を学ぶ。力学における運動方程式などに代表されるように、自然界の多くの現象が、微分積分学を用いて記述される。微分積分学は、あらゆる科学技術の基礎となっている。微分積分学は17世紀末に、ニュートンやライブニッツらによって創成された。ニュートンは量の変化の記述に注目し、速度、加速度などの物理量を表現するために微分概念を導入した。「微分積分学の基本定理」により、区分求積法によって定義される積分は、微分の逆操作であることが、明確に認識されるようになった。</p> <p>微分積分学では、極限をとること、無限和をとることなどの操作が重要な役割を果たす。このような微分積分学の基礎となる極限の厳密な定義は、19世紀後半から整えられていった。この授業では、「数理学基礎」で学んだ極限の扱いに基づき、微分積分学の基礎と応用を学ぶ。具体的な項目は以下の通りである。S2タームで項目1,2を扱い、Aセメスターで項目3~6を扱うことを目安とするが、担当教員によって、順序や内容に一部変更が加えられる場合がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一変数関数の微分 (微分の基本性質, テーラーの定理, テーラー展開) 2. 多変数関数の微分 (偏微分と全微分, 合成関数の微分の連鎖律) 3. 多変数関数の微分 (続き)(高階偏微分, 多変数のテーラーの定理とその応用) 4. 一変数関数の積分 (区分求積法, 微分積分学の基本定理) 5. 多変数関数の積分 (多重積分と累次積分, 多重積分の変数変換公式) 6. 無限級数と広義積分 (関数列の収束, 広義積分) <p>実数の連続性に基づく微分積分学の基礎の厳密な展開は、2年次Sセメスターの総合科目「解析学基礎」で学ぶことができる。将来、本格的に数学を使う分野に進学しようという場合は「解析学基礎」によって微分積分学の理論的基礎を修得することをすすめる。なお、「解析学基礎」は1年次Sセメスターでも履修することができる。また、2年次Sセメスターの総合科目として、「微分積分学」の直接的な続きにあたる「微分積分学統論」、および「微分積分学」で学んだ事項の応用にあたる「常微分方程式」、「ベクトル解析」が開講される。</p> <p>成績評価方法 この科目はS2タームに開講された「微分積分学①」と一体であり、成績はS2ターム末に行われた中間試験と、Aセメスター末の定期試験とを併せて評価する。担当教員によっては小テストやレポートの成績を加味する場合がある。</p> <p>教科書 各授業のシラバスを参照すること。</p> <p>関連ホームページ http://faculty.ms.u-tokyo.ac.jp/~sugaku/calculus.html</p> <p>※講義の詳細については、UTASも参照すること</p>		

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
51444	月2	山本 昌宏	724	1年 理二三(14-17)
51445	月2	林 修平	741	1年 理二三(18-20)
51446	月2	山浦 義彦	723	1年 理二三(21-24)
51450	月4	斎藤 毅	724	1年 理一(20-23)
51451	月4	WILLOX RALPH	723	1年 理一(24-27)
51452	月4	松田 茂樹	523	1年 理一(28-31)
51453	月4	高山 茂晴	741	1年 理一(32-35)
51454	月4	足助 太郎	721	1年 理一(36-39)
51461	火4	辻 雄	532	1年 理一(1,17-19)
51462	火4	大場 清	723	1年 理一(2,4,5,8)
51463	火4	斉藤 義久	724	1年 理一(3,11-13)
51464	火4	篠原 克寿	741	1年 理一(6-7,9-10)
51465	火4	大坪 紀之	523	1年 理一(14-16)
51472	水3	米田 剛	721	1年 理二三(1-7)
51473	水3	小木曾 啓示	523	1年 理二三(8-10)
51474	水3	岡崎 龍太郎	524	1年 理二三(11-13)

線型代数学②	開講区分	A
<p>目標概要 線型代数学の萌芽である行列は多変数の連立一次方程式を効率的、統一的に扱う手法として発明された。また、行列式は方程式の解がただ一つ存在するための条件として発見された。ベクトルの概念の起こりは古典力学にあり、その意味で線型代数学の歴史は古い。しかし行列の本質である線型性概念の真の威力が認識され、数学の一分野として線型代数学が確立したのは新しく、20世紀にはいつてのことであった。</p> <p>自然界や社会科学における現象は一般には複雑で一次方程式で表せることはまれだが、一次近似によりその本質的な部分をとらえることは常套手段であり、線型代数学の考え方は非常に有効である。また、量子力学や、フーリエ解析などに現れる無限次元のベクトル空間を扱うための基礎ともなっており、線型代数学の応用については枚挙にいとまがない。このように、線型代数学の考え方は現代数学や理論物理学においてはもちろんのこと、工学、農学、医学、経済学などにおいても基本的な考え方として浸透しており、応用範囲も広い。線型代数学は理論的には単純で明快であるが、その反面、抽象的な概念操作にある程度慣れないと理解しにくい面もある。線型代数学を身につけるには、演習などのさまざまな問題にあたり、理解を深めることが必要である。「数理学基礎」において学んだベクトルと線型写像に関する知識を前提とする。</p> <p>S2タームでUTASシラバス「授業計画」の項目1, 2を扱い、Aセメスターで項目3~6を扱うことを目安とするが、担当教員によって、順序や内容に一部変更が加えられる場合がある。</p> <p>成績評価方法 この科目はS2タームに開講された「線型代数学①」と一体であり、成績はS2ターム末に行われた中間試験と、Aセメスター末の定期試験とを併せて評価する。担当教員によっては小テストやレポートの成績を加味する場合がある。</p> <p>教科書 各授業のUTASシラバスを参照すること。</p> <p>関連ホームページ http://faculty.ms.u-tokyo.ac.jp/~sugaku/linear_algebra.html</p> <p>※講義の詳細については、UTASも参照すること</p>		

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50554	水1	高木 俊輔	721	1年 理二三(1-7)
50555	水1	村上 順	523	1年 理二三(8-10)
50556	水1	吉野 太郎	524	1年 理二三(11-13)
50557	水1	植野 義明	724	1年 理二三(14-17)
50558	水1	中山 能力	741	1年 理二三(18-20)
50559	水1	坂井 秀隆	723	1年 理二三(21-24)
50916	木3	梶原 健	724	1年 理一(20-23)
50917	木3	山崎 満	723	1年 理一(24-27)
50918	木3	田中 公	523	1年 理一(28-31)
50919	木3	下川 航也	741	1年 理一(32-35)
50920	木3	飯田 正敏	721	1年 理一(36-39)
51132	金3	戸瀬 信之	721	1年 理一(1,17-19)
51133	金3	大田 佳宏	723	1年 理一(2,4-5,8)
51134	金3	白石 潤一	724	1年 理一(3,11-13)
51135	金3	関口 英子	741	1年 理一(6-7,9-10)
51136	金3	北山 貴裕	523	1年 理一(14-16)

微分積分学演習・線型代数学演習

目標概要 数学は講義を聴いただけでは意味を理解することが難しく、自分の手を動かして計算や証明をやってみる必要がある。この2つの科目は微分積分学や線型代数学の講義と一体であり、練習問題を解くことによって講義に対する理解を助け、応用力を養う。講義内容に即した応用問題の他に、講義の理解を深めるための証明問題や、講義で触れられなかった内容に関する補足問題を適宜付け加えることもある。

成績評価方法 通常は定期試験を行わず、平常の出席点と対応する講義の試験結果とを組み合わせ、授業時間に発表した解答・提出レポート・小テストなどを適宜勘案した総合評価をもって成績とする。出席点が重視されるため、欠席を重ねると単位を出せなくなることもある。

教科書 各授業のUTASシラバスを参照すること。

関連ホームページ <http://faculty.ms.u-tokyo.ac.jp/~sugaku>

※講義の詳細については、UTASも参照すること

時間割コード	曜限	科目名	担当教員	教室	対象クラス
50127	月3	微分積分学演習	竹内 知哉	724	1年 理二三(14-17)
50128	月3	線型代数学演習	竹内 知哉	724	1年 理二三(14-17)
50129	月3	微分積分学演習	鮑 園園	741	1年 理二三(18-20)
50130	月3	線型代数学演習	鮑 園園	741	1年 理二三(18-20)
50131	月3	微分積分学演習	中村 勇哉	723	1年 理二三(21-24)
50132	月3	線型代数学演習	中村 勇哉	723	1年 理二三(21-24)
50500	火5	微分積分学演習	山本 昌宏	721	1年 理一(1,17-19)
50501	火5	線型代数学演習	寺田 至	721	1年 理一(1,17-19)
50502	火5	微分積分学演習	清野 和彦	723	1年 理一(2,4-5,8)
50503	火5	線型代数学演習	清野 和彦	723	1年 理一(2,4-5,8)
50504	火5	微分積分学演習	斉藤 義久	724	1年 理一(3,11-13)
50505	火5	線型代数学演習	寺杣 友秀	524	1年 理一(3,11-13)
50506	火5	微分積分学演習	牛腸 徹	741	1年 理一(6-7,9-10)
50507	火5	線型代数学演習	牛腸 徹	741	1年 理一(6-7,9-10)
50508	火5	微分積分学演習	竹内 知哉	523	1年 理一(14-16)
50509	火5	線型代数学演習	竹内 知哉	523	1年 理一(14-16)
50738	水4	微分積分学演習	牛腸 徹	721	1年 理二三(1-7)
50739	水4	線型代数学演習	牛腸 徹	721	1年 理二三(1-7)
50740	水4	微分積分学演習	小木曾 啓示	523	1年 理二三(8-10)
50741	水4	線型代数学演習	松井 千尋	523	1年 理二三(8-10)
50742	水4	微分積分学演習	中村 勇哉	524	1年 理二三(11-13)
50743	水4	線型代数学演習	中村 勇哉	524	1年 理二三(11-13)
50961	木4	微分積分学演習	斎藤 毅	724	1年 理一(20-23)
50962	木4	線型代数学演習	梶原 健	724	1年 理一(20-23)
50963	木4	微分積分学演習	WILLOX RALPH	723	1年 理一(24-27)
50964	木4	線型代数学演習	山崎 満	723	1年 理一(24-27)

時間割コード	曜限	科目名	担当教員	教室	対象クラス
50965	木4	微分積分学演習	間瀬 崇史	523	1年 理一(28-31)
50966	木4	線型代数学演習	田中 公	523	1年 理一(28-31)
50967	木4	微分積分学演習	清野 和彦	741	1年 理一(32-35)
50968	木4	線型代数学演習	清野 和彦	741	1年 理一(32-35)
50969	木4	微分積分学演習	足助 太郎	721	1年 理一(36-39)
50970	木4	線型代数学演習	足助 太郎	721	1年 理一(36-39)

数理学基礎 (補修)	開講区分	A
<p>目標概要 科学・技術の礎となる数理学の基礎的内容を学び、高等学校で学んだ数学から大学で学ぶ数学への橋渡しとする。</p> <p>講義は微分積分と線型代数の二つのテーマからなる。本科目の講義内容はS2タームから始まる「微分積分学」「線型代数学」に接続する。</p> <p>成績評価方法 各UTASシラバスを参照</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>関連ホームページ http://faculty.ms.u-tokyo.ac.jp/~sugaku/ms_sl.html</p> <p>※講義の詳細については、UTASも参照すること</p>		

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50208	月5	逆井 卓也	722	1年 理科 2年 理科
50767	水5	高木 俊輔	722	1年 理科 2年 理科

電磁気学 A	開講区分	A
<p>目標概要 電気・磁気の法則を電荷やその運動による電流が作り出す電磁場の法則として捉える事によって、電磁気現象を統一的に理解し、基礎方程式としてのマクスウェル方程式に至る。また、代表的な例題の解法を通じて、その内容と応用の理解を深める。主な項目は以下の通りであるが、実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に*印のついた項目は省略される場合がある。</p> <p>1. 序論：自然界の基本的力と電磁場、ローレンツ力、電荷の保存</p> <p>2. 静電場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クーロンの法則とガウスの法則 ・電位とその性質 ・静電場の微分方程式（ガウスの定理、ストークスの定理） ・導体系 ・静電場のエネルギーとストレス <p>3. 定常電流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オームの法則、連続の方程式 ・回路への応用（キルヒホフの法則） ・ジュール熱 <p>4. 定常電流による磁場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンペールの法則 ・静磁場の微分方程式 ・ベクトルポテンシャル ・ビオー・サヴァールの法則 ・円電流と等価磁石 ・単位系 <p>5. 電磁誘導とマクスウェル方程式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファラデー・レンツの法則 ・変位電流と連続の方程式 ・マクスウェル方程式 ・電磁場のエネルギーと仕事 ・平面電磁波 ・準定常電磁場と交流回路 <p>*6. 物質中の電磁場</p> <ul style="list-style-type: none"> * 考え方：分極電荷、磁化電流 * 誘電体、磁性体（常磁性、反磁性、強磁性） * 異なった物質の間の境界条件 * 物質中の電磁場エネルギー <p>成績評価方法 定期試験。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>※講義の詳細については、UTASも参照すること</p>		

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50619	水2	若本 祐一	524	1年 理一(1-6)
50625	水2	多田 司	531	1年 理一(30-33)
50626	水2	佐野 雅己	532	1年 理一(34-36)
50627	水2	大井 万紀人	721	1年 理一(37-39)
50628	水2	森松 治	533	1年 理二三(1-3,22,24)
50629	水2	下村 裕	523	1年 理二三(4,19-20)
50838	木2	下村 裕	523	1年 理一(7-9,28)
50852	木2	大川 祐司	524	1年 理一(19,21-22)
50853	木2	前田 京剛	741	1年 理一(23-24,26-27)

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50855	木2	富谷 光良	721	1年 理一(29)理二三(7,13)
50858	木2	和達 大樹	533	1年 理二三(8,14,18)
50859	木2	関野 恭弘	531	1年 理二三(12,16-17)
51184	金4	年吉 洋	523	1年 理一(10-11,18)
51186	金4	秋山 英文	533	1年 理一(12-13,20)
51187	金4	町田 友樹	721	1年 理一(14-15,25)
51188	金4	國場 敦夫	723	1年 理一(16-17)理二三(5,23)
51199	金4	藤山 茂樹	724	1年 理二三(6,9-10)
51200	金4	大谷 宗久	524	1年 理二三(11,15,21)

電磁気学 B	開講区分	A
<p>目標概要 入学試験で物理学を選択しなかった学生で希望する者を対象とする。 高等学校で未履修であること前提とした講義を行う。 講義では演習、宿題等を十分に課する。 目的は大学レベルの電磁気学を習得してもらう事である。入試において物理学を選択したものは受講資格がない。主な内容は以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 序論：自然界の基本的力と電磁場、ローレンツ力、電荷の保存 2. 静電場 <ul style="list-style-type: none"> ・クーロンの法則とガウスの法則 ・電位とその性質 ・静電場の微分方程式（ガウスの定理、ストークスの定理） ・導体系、導体に働く力、静電場のエネルギーとストレス 演習 3. 定常電流 <ul style="list-style-type: none"> ・オームの法則、連続の方程式 ・回路への応用（キルヒホフの法則） ・ジュール熱 4. 定常電流による磁場 <ul style="list-style-type: none"> ・アンペールの法則 ・ビオー・サヴァールの法則 ・電流に働く力 ・円電流と等価磁石 ・磁場のエネルギー ・単位系 5. 時間的に変動する電磁場 <ul style="list-style-type: none"> ・ファラデー・レンツの電磁誘導の法則 ・交流回路 6. 変位電流とマクスウェル方程式 <ul style="list-style-type: none"> ・変位電流と電荷の保存 ・マクスウェル方程式（積分形） ・平面電磁波 演習 <p>成績評価方法 定期試験。 教科書 教科書は使用しない。</p> <p>※講義の詳細については、UTASも参照すること</p>		

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50620	水2	陶山 明	741	1年 理一(1-6,30-39)理二三(1-4,19-20,22,24)
50839	木2	菊川 芳夫	521	1年 理一(7-9,19,21-24,26-29)理二三(7-8,12-14,16-18)
51185	金4	齋藤 晴雄	K402	1年 理一(10-18,20,25)理二三(5-6,9-11,15,21,23)

構造化学	開講区分	A
<p>目標概要 物質の多様な構造や性質、反応を体系的に理解するには、原子や分子に基づいた化学的な考察が不可欠である。本講義では、初歩的な量子論に基づいて、原子の構造や周期律、分子の化学結合の基礎を学ぶ。理論的な基礎だけでなく、契機となった実験結果や身近な物質・現象を通して理解を深めることを目指す。各教員が共通して取り上げる具体的な項目は、下記の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 量子論の必要性 <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子の発光スペクトル (離散的なエネルギー準位, Bohr原子) ・ 電子の粒子性と波動性 (電子回折, 物質波) 2. 量子論の基礎 <ul style="list-style-type: none"> ・ Schrödinger方程式 (原子・分子の量子論の出発点) ・ 1次元箱中の電子 (ポリエンの吸収スペクトルと色) ・ 2原子分子の振動 (振動スペクトルと分子構造) 3. 原子の構造と性質 <ul style="list-style-type: none"> ・ 水素原子 (量子数, エネルギー準位, 原子軌道) ・ Pauliの排他原理 (電子スピン) ・ 多電子原子 (元素の周期律と構成原理) 4. 化学結合と分子 <ul style="list-style-type: none"> ・ 水素分子イオン (分子軌道, 化学結合) ・ 2原子分子 (分子の性質と電子構造) <p>成績評価方法 ※各授業のUTASシラバスを参照すること</p> <p>教科書 その他。 ※各授業のUTASシラバスを参照すること</p> <p>※講義の詳細については、UTASも参照すること</p>		

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50071	月2	青木 優	523	1年 理一(7,9,22,31)
50075	月2	立川 仁典	524	1年 理一(32-34,38)
50077	月2	村田 昌之	531	1年 理二三(1-6,13)
50099	月3	安池 智一	523	1年 理一(4,6,10,30)
50126	月3	豊田 太郎	524	1年 理二三(10-12)
50260	火1	河野 淳也	524	1年 理一(11-12,24)
50262	火1	青木 優	523	1年 理一(27-29,35)
50263	火1	十代 健	531	1年 理二三(7-8,15)
50415	火3	横川 大輔	531	1年 理二三(9,14,19,20)
50418	火3	小安 喜一郎	532	1年 理二三(21-24)
50701	水3	澁田 靖	531	1年 理一(15-18)
50702	水3	中田 真秀	532	1年 理一(19-20,36)
50734	水4	齊藤 圭亮	531	1年 理一(14,21,25)
50737	水4	山口 和也	532	1年 理一(23,26,37,39)
50910	木3	横川 大輔	531	1年 理一(1-3,5,8,13)
50925	木3	瀬川 浩司	532	1年 理二三(16-18)

生命科学Ⅱ	開講区分	A
<p>目標概要 細胞生物学を中心に細胞の構造と機能の初歩を講義する。内容はほぼ以下の通りであるが、講義の具体的な進め方は教員によって多少異なることもある。開講時の説明をよく聞くこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞内輸送 2. 細胞骨格と細胞運動 3. 細胞間・細胞内情報伝達 4. 神経伝達と機能 5. 細胞周期 6. 動物・植物の発生 7. 遺伝子の発現制御 8. ゲノムと進化 9. 生物多様性 <p>成績評価方法 定期試験に加え、小テスト・レポートなどを加味し総合的に評価する。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。</p> <p>書名 : 理系総合のための生命科学－分子・細胞・個体から知る“生命”のしくみ－第三版 著者（訳者）：東京大学生命科学教科書編集委員会 編 出版社 : (株) 羊土社 ISBN : 978-4-7581-2039-5</p> <p>※講義の詳細については、UTASも参照すること</p>		

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50189	月4	渡邊 雄一郎	1101	1年 理二三(9-10,14,16)
50191	月4	豊島 陽子	1102	1年 理二三(17-18,21-22)
51048	金1	道上 達男	523	1年 理二三(8,11-12,15)
51049	金1	佐藤 健	524	1年 理二三(19-20,23-24)
51144	金3	太田 邦史	524	1年 理二三(1-7,13)

社会科学ゼミナール

※社会科学ゼミナールの各科目は、2014年度以前の入学者は履修することができないので、注意すること。

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51282	A	社会科学ゼミナール (法・政治)	新田 一郎	法学部	月5	117	1年 文科 理科
<p>講義題目 戸籍の社会史</p> <p>目標概要 明治～昭和初期の或る一群の戸籍を題材に、資料からいかに問題を析出するか、いかにして調べを進めてゆくかを、さまざまな留意点とともに例示的に学ぶ。戸籍の表面には或る具体的な人間関係が、背景をなす社会制度・法制度に条件づけられて投射されている。表面と背景、それぞれの細部に徹底的にこだわり、戸籍において交錯する「個人」と「制度」を多面的かつ立体的に把握することをめざす。</p> <p>履修希望者が15名を大きく超えた場合は、小テストを課して選考することがあるので、初回授業に必ず出席すること。受講許可は第2回目までに掲示によって告知する。</p> <p>評価方法 授業中のパフォーマンスおよび期末レポートによる。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
51283	A	社会科学ゼミナール (法・政治)	宍戸 常寿	法学部	火2	515	1年 文科 理科
<p>講義題目 古典で読む憲法</p> <p>目標概要 現代立憲主義の源流となる西洋政治思想の古典を読み、理解を深める。</p> <p>評価方法 出席、報告、質疑応答等を総合的に判断する。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。</p> <p>書名 : 古典で読む憲法</p> <p>著者(訳者) : 曾我部真裕・見平典</p> <p>出版社 : 有斐閣</p> <p>ISBN : 978-4-641-13185-9</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
51256	A	社会科学ゼミナール (法・政治)	福岡 安都子	教養学部(前期課程) 法・政治	金2	117	1年 文科 2年 文科
<p>講義題目 シュトライス『ドイツ公法史入門』講読</p> <p>目標概要 ヨーロッパを代表する公法史家ミヒャエル・シュトライス (Michael Stolleis, 1941-) の近著、『ドイツ公法史入門』(Öffentliches Recht in Deutschland: Eine Einführung in seine Geschichte 16.-21. Jahrhundert, C.H. Beck 2014) を講読する。</p> <p>シュトライスの中核的な業績に17世紀から現代に至るドイツにおける公法の発展を通史的に描く四巻本の大著があるが、その精髓を一冊にまとめたのが本書であり、憲法、行政法、租税法といった広い意味での公法とそれについての学問がドイツにおいてどのように発展してきたかについて俯瞰図を提供してくれる。成文憲法成立以前の“憲法”がどのようなものであったのかであるとか、大きな歴史的事件を通じて法がどのように変化していくのかなど、外国の読者にとっても興味深い点を多く含んでいることは、本書が既に英語やフランス語を含む各国語に翻訳されていることからもうかがわれる。</p> <p>著者一流の明晰なドイツ語で書かれた本文は、初めてドイツ語で何か学問的なものを読んでみたいという者に非常に好適と言えよう。もちろん、ドイツ語未履修の者が、英訳版 (Public Law in Germany: A Historical Introduction from the 16th to the 21st Century, Oxford University Press, 2017) などの助けを借りつつゼミに参加することも妨げない。</p> <p>参加希望者は第一回目の授業の際に初年次ゼミナール文科の小論文を持参し提出すること。学年又は所属科類の関係で初年次ゼミナール文科を履修していない場合には、同科目の課題である小論文と同等のもの(社会科学のいずれかの分野におけるテーマで、履修を希望する授業の内容と関連するものを一つ選び、それについて、既存の研究や議論を可能な範囲で踏まえた上で検討し、かつ自身の考えを加えて、約4000字程度にまとめたもの)を第一回目の授業までに作成し、第一回目の授業の際に提出すること。</p> <p>評価方法 全回出席を前提に、講読の準備程度や小論文の成果に基づき総合的に評価する。</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>書名 : Öffentliches Recht in Deutschland. Eine Einführung in seine Geschichte. 16.-21. Jahrhundert</p> <p>著者(訳者) : Michael Stolleis</p> <p>出版社 : C. H. Beck</p> <p>ISBN : 978-3-406-65943-0</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50289	A	社会科学ゼミナール (国際関係)	古城 佳子	教養学部(前期課程) 国際関係	火2	114	1年 文科 2年 文科
<p>講義題目 国境なき国際政治を考える</p> <p>目標概要 現在の国際関係において、主権国家だけでは対応できない課題が増加している。これらの問題は、グローバル・イシューと呼ばれている。これらの問題に対応していくには、主権国家の能力に限界があることが指摘されている。この問題をいち早く指摘し非国家主体の影響力を論じたストレンジ『国家の退場—グローバル経済の新しい主役たち』(櫻井公人訳、1998年)を読んだ上で、更に文献を読み進み、グローバル・イシューへの対応を検討する。</p> <p>受講者数は20名を上限とする。受講希望者は必ず第1回目の授業に出席すること。</p> <p>評価方法 授業への参加度と課題の小論文により評価する。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 『国家の退場—グローバル経済の新しい主役たち』 著者(訳者) : ストレンジ(櫻井公人訳) 出版社 : 岩波書店 絶版になっているので、文献は用意する</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
50290	A	社会科学ゼミナール (社会・社会思想史)	橋本 摂子	教養学部(前期課程) 社会・社会思想史	火2	118	1年 文科 2年 文科
<p>講義題目 質的調査の方法</p> <p>目標概要 社会調査は、量的調査と質的調査の二つに大別されるが、本授業では、質的調査(聞き取り調査、参与観察法、ドキュメント分析、ライフストーリー分析、等)の方法、および質的データの分析手法について習得する。 社会調査士【F】科目。</p> <p>評価方法 授業中に与えられる諸課題、レポート等。</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							

人文科学ゼミナール

※人文科学ゼミナールの各科目は、「方法基礎」単位未取得の学生を除いて、2014年度以前の入学者は履修することができないので、注意すること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50768	A	人文科学ゼミナール (哲学・科学史)	岡本 拓司	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	水5	115	1年 文科 2年 文科
<p>講義題目 ポツダム宣言受諾の過程に関する近年の研究を読み、戦前期日本の諸様相に関する理解を深める</p> <p>目標概要 戦争を終了させることができるのは交戦国のうち降伏を決意した側である。通常、優勢である国が降伏を決意することはないため、戦争を終結させるか否かを決定するのは敗北しつつある側である。何を敗北とみなし、何を戦争終結の理由とするかは、国や状況、時代によって異なるが、第二次世界大戦当時の日本では、こうした判断はどのようになされたのであろうか。このときの判断には、明治維新の際の建国の理念や、それ以降に日本が経験した出来事のほとんどすべてが影響を及ぼしていた。ポツダム宣言受諾の過程に関する近年の研究を読み、近代の日本が経験した唯一の敗戦がどのように成立したか、そこから読み取れるものは何かを考察する。適宜映画も利用し、またドイツの事例も参照する。</p> <p>評価方法 レポートを2回程度課す。これに演習中の発表の内容を加味する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
50291	A	人文科学ゼミナール (歴史学)	岩本 通弥	教養学部(前期課程) 歴史学	火2	120	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 柳田民俗学の知と社会構想</p> <p>目標概要 日本政治思想史の川田稔によって執筆された『柳田国男一知と社会構想の全貌』ちくま新書、2016年を、輪読のテキストとして使用することによって、狭義の民俗学の枠を超えた、いわゆる柳田学の全体像を概観する。柳田の知の体系化と社会構想が、なぜ「民俗学」なのかを、考える。</p> <p>なお、履修希望者が20名を超えた場合は、小論文の試験を実施して選考するので、初回授業に必ず出席すること。受講許可は第2回目までに掲示によって告知する。</p> <p>評価方法 授業の参加度と期末レポート</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 柳田国男一知と社会構想の全貌 著者(訳者) : 川田稔 出版社 : 筑摩書房 ISBN : 978-4480069283</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
51281	A	人文科学ゼミナール (歴史学)	福田 正宏	文学部	火3	K303	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 考古学入門：考古資料を読み解く</p> <p>目標概要 考古学には、二つのおもしろさがあると思う。一つは、遺跡の発掘により知られていなかった歴史を掘り起こすこと、もう一つは、遺跡に遺されたモノの由来や特徴を徹底的に調べあげて、人間の営為を解き明かすことである。考古学者たちは、世界中の遺跡で、人類がどのように道具を使ったのか、何を食べたのか、あるいは何を求めたのかを、あらゆる方法を用いて考える。古今東西の文献を渉猟することもあれば、年代測定や動植物遺体の同定などに関連した理化学的データにあたることもある。だが、遺跡にのこされた生々しい「人間臭さ」を、文字化された情報や数値化されたモデルだけから読み取ることは難しい。だからこそ、考古学者はわざわざ現地へ赴き、歩き回り、土に触れ、遺物と対峙するのである。</p> <p>この授業では、開学以来の東京大学による考古学研究を紹介するとともに、実際に遺跡や遺物に触れることで、現代考古学の分析・思考過程の一端を伝えたい。実技をとまうので、履修希望者が15名を超えた場合は、初回授業内で簡単なレポートを作成・提出してもらい、それをもとに選考を行う。受講許可は第2回授業までに掲示によって告知する。</p> <p>評価方法 参加状況(50%)、ミニレポート(1回:10%)、最終レポート(40%)の内容から評価する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50769	A	人文科学ゼミナール (歴史学)	岡田 泰平	教養学部(前期課程) 歴史学	水5	116	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 史学史を読む——近現代アジア史の視点から——</p> <p>目標概要 とりわけマルクス主義が、大きな物語としての力を失ってきてからは、「歴史」の書き方が模索されてきました。本授業では、歴史学とは何か、という古い問いを、近現代アジア史を中心に考えていきます。中国や朝鮮半島の歴史という分厚い業績があり自律した歴史分野ではなく、むしろ日本の歴史学では周辺の地域を主たる対象とします。20世紀の歴史学の流れを、近現代アジア史を対象として捉えていくことを目的とします。基本的には、日本の戦後歴史学を跡付けることとなりますが、とりわけ80年代以降については、日本語訳された日本外の研究者の研究も扱っていきます。</p> <p>以下のようなテーマを主に考えていきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会史の基本的な概念である、階級、人種・エスニシティ、ジェンダーが日本における近現代アジア史研究にどのように現れ、どのように展開してきたか。 2. 90年代以降にいわゆる戦後補償運動が高揚した。その結果、近現代アジア史研究はどのように変わったのか。とりわけ、植民地の捉え方にどのような変化が生じたか。そしてまた、過去の植民地と現在の国民国家はどのように関係しているのか。 3. 「歴史家の機能は、過去を愛することでもなく、自分を過去から解放することでもなく、現在を理解する鍵として過去を征服し理解すること」(カー『歴史とは何か』33頁)だとすると、21世紀型グローバリズムの時代において、私たちにとっての課題とは、何であるのか。 <p>評価方法 ・受講者にもよりますが、たぶん2, 3回は課題文献についてのレジュメを切ってもらいます。 ・発言が重要ですので、なるべく出席してください。 ・期末課題は史学史を抑えつつ、自らの関心事に沿った課題で書いてもらいます。 です。出席点、レジュメ、期末課題で成績をつけます。</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行く。</p>							
50770	A	人文科学ゼミナール (文化人類学)	福島 真人	教養学部(前期課程) 文化人類学	水5	8-206	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 文化の衝突—諸文化の衝突、対立、ダイナミズム (学際的観点を中心に)</p> <p>目標概要 現代のグローバル化する社会において、多くの異なる価値体系や文化が共存することが求められている一方で、メディアなどでは連日そうした価値の対立を示す出来事が多く取り上げられている。それは民族紛争、宗教対立といった問題にとどまらず、たとえば福祉政策や科学技術をめぐる論争に至るまで、そうした対立、論争、そして紛争はあらゆるところに姿を現している。そしてその多くは、さまざまな形で、われわれのアイデンティティとよばれる、心理的性質にも関係している。しかし、たとえ現在対立をしている宗派や民族、あるいは思想、科学的論争も、過去において常にそうだったわけではないのは、歴史的な由来をたどってみると分かるはずである。他方、その対立が深刻化すると、いわゆる民主主義的討議といったものだけでは解決が難しくなるのは、宗教や民族紛争といったケースのみならず、より世俗的な論争にもいえることである。この背後には、こうした対立を生み出す、われわれの「価値」の構造というのが、単に表面上の理屈や理論に基づくだけでなく、われわれの身体自体に深く根ざすものであるという認識の必要性が存在する。</p> <p>このゼミでは、宗教から政治、科学技術にいたるこうした一連の価値の対立の構造と過程を、分野横断的に概観しながら、その中にある、共通のダイナミズムと解決の(不)可能性について、第三世界を中心に、その文化の多様性とダイナミズムを研究する文化人類学を中心に、随時歴史学や科学技術社会論(STS)の成果も取り入れつつ演習を行うものである。</p> <p>特にこの授業では、宗教、政治、科学といった異なる領域を横断的に支える価値/身体/所属する共同体といった構造が、いかにこうした対立を支え、そのダイナミズムが一見異なる領域の間に興味深い相似性を示すことを理解することをその最終的な目的とする。</p> <p>評価方法 授業期間中の発表 授業中のディスカッション レポート</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行く。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50292	A	人文科学ゼミナール (テキスト分析)	深澤 晴奈	教養学部(前期課程) スペイン語	火2	115	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 スペイン語テキスト分析</p> <p>目標概要 本コースは、初修スペイン語の文法知識を確認しながら中級レベルのニュース記事を読み取り・読解・解釈し、スペイン語の表現能力の向上を目標とするものである。テキストを用いて、スペイン語圏のニュースを題材に、文法、語彙、聞き取りの練習をおこなう。初級文法テキスト等を参考にしながらあらかじめ文法及び語彙の予習をしてきてもらい、授業では文章の訳を提示し各々の訳に対する解説をおこなうことによってスペイン語の知識のより確実な習得を目指す。加えて授業では音読やスペイン語作文にも取り組んでもらう。初級文法を終え、さらにより総合的なスペイン語能力の向上を目指している積極的な学生の参加を期待する。</p> <p>評価方法 積極的な授業への参加と質問・コメント及び提出課題への取り組みを通じて総合的に評価をおこなう。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Es noticia(ニュースを聞こう！中級スペイン語) 著者(訳者) : Satoko Nakajima, Sachi Sato, David Taranco 出版社 : 三修社 ISBN : 978-384-42016-6 C1087</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
50293	A	人文科学ゼミナール (テキスト分析)	品田 悦一	教養学部(前期課程) 国文・漢文学	火2	116	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 斎藤茂吉『赤光』を精読する</p> <p>目標概要 近代短歌史上の金字塔『赤光』を分担して精読し、茂吉という歌人の虚像を斥け、実像に迫る。</p> <p>評価方法 発表の出来映えと討論における発言を総合して成績評価を行なう。ただし、発表が不首尾だったなどの理由で補足レポートの提出を希望する場合は、これを妨げない。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 『赤光』 著者(訳者) : 斎藤茂吉 出版社 : 新潮文庫 ISBN : 978-4101494210 「私選茂吉秀歌500首」を配付する</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50294	A	人文科学ゼミナール (テキスト分析)	小林 宜子	教養学部(前期課程) 英語	火2	117	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 中世イングランドの詩と文化</p> <p>目標概要 中世の手書き写本に残された作者不詳の宗教詩や恋愛詩、中世後期を代表する詩人ジェフリー・チョーサーのバラードなど、中世イングランドの様々な短詩を、その背景となる文学的伝統や作品が生み出された当時の歴史的状況などを考察しながら精読する。原詩は中世の英語で書かれたものだが、教材には詩の現代英語訳や語注が添えられているので、中英語の知識は履修の前提とはならない。詩の読解と並行して、その文化的・社会的背景を知る手がかりとなるような資料や画像を参照するとともに、原詩の朗読や関連する音楽のCDを聴きながら、音の芸術としての詩に備わる言葉の響きやリズムへの感性を養い、人間の内面や季節の移ろい、信仰や霊性、死生観など、多様なテーマを捉えた詩的表現の豊かさを味わっていく。</p> <p>評価方法 授業中の発言と発表、課題のレポート、および定期試験の成績に基づいて総合的に評価する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50425	A	人文科学ゼミナール (テキスト分析)	田村 隆	教養学部(前期課程) 国文・漢文学	火3	KALS	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 山水会教科書で読む『源氏物語』葵巻</p> <p>目標概要 『源氏物語』葵巻を演習発表もしくは輪読形式で読み進める(受講者数による)。 旧制第一高等学校の国語・漢文系教員の懇話会は山水会と命名され、その名は新制東京大学教養学部を受け継がれて今日まで続いている。一高校長を務めた杉敏介『南山歌集』61頁に載る昭和6年5月起草の「一高山水会記」には、「予曰く水清くして山翠なり山水会と為す如何」とある。今学期は、山水会によって昭和28年に駒場で編まれた『源氏物語』の教科書(葵・賢木、矢鳥書房)をテキストに、当時の本文や注釈を基に今日の読まれ方とも比較しながら物語を味読することを目指したい。</p> <p>評価方法 演習発表時の資料と学期末のレポートによる。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51067	A	人文科学ゼミナール (データ分析)	矢田部 修一	教養学部(前期課程) 英語	金2	E25	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 Prologによる言語構造解析</p> <p>目標概要 プログラミング言語Prologを用いて日本語・英語などの言語の構造を解析するシステムを作ってみる。言語の構造には、人文・社会科学の研究対象としては珍しく、かっちりした規則によって捉えられる側面がある。その側面の一端を分析し、理解することがこの授業の中心的な目標である。そして、論理型プログラミング言語Prologの仕組みを理解し、それなりに使いこなせるようになることが副次的な目標である。</p> <p>評価方法 学期中に何度か提出してもらった宿題の出来具合に基づいて成績評価を行う。より詳しいことは初回の授業で説明する。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Prolog and Natural-Language Analysis (Digital Edition) 著者(訳者) : Pereira and Shieber 出版社 : Microtome Publishing URL : http://www.mtome.com/Publications/PNLA/prolog-digital.pdf</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
51068	A	人文科学ゼミナール (データ分析)	大森 拓哉	教養学部(前期課程) 心理・教育学	金2	K201	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 心理学統計法</p> <p>目標概要 物事を客観的に判断するための一つは、証拠となるデータを集め、分析することである。この授業では、人間行動や社会現象一般のデータを用い、的確な分析ができるようになるための基礎を学ぶ。その中でも特に「心理学で用いられる統計手法」および「統計に関する基礎的な知識」を学ぶ。講義は、EXCELを用いて、実際のデータの収集・分析・考察を講義と演習によって行う。演習は一人一台のPCを使用して行う。</p> <p>*履修希望者が40名を超えた場合は、授業初回時間内の小レポートにより選考するので、初回授業に必ず出席すること。受講許可は第2回目までに掲示によって告知する。</p> <p>評価方法 出席、授業中の課題、最終課題の合計点で評価する。 出席点20%、課題点80%</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
51164	A	人文科学ゼミナール (データ分析)	荒井 良雄	教養学部(前期課程) 人文地理学	金3	117	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 地域調査・地域分析の方法</p> <p>目標概要 地域を理解・解明するための調査法、分析法の入門的な講義・実習を行います。フィールド調査、地図の読解と作成、地域データの収集・分析、統計データの利用などの内容を含みます。授業の一部は実際にフィールドへ出かける野外実習にあてます。なお、履修希望者が20名を大きく越えた場合には、小論文の試験によって選考を行う場合がありますので、初回授業に必ず出席してください。選考を行った場合、受講許可は第2回目以前に掲示によって告知します。</p> <p>評価方法 実習の成果物(レポート)および最終レポート(各自がテーマを設定して作成)を総合的に評価します。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

自然科学ゼミナール

※自然科学ゼミナールの各科目は、2014年度以前の入学者は履修することができないので、注意すること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50195	A	自然科学ゼミナール (身体運動科学)	石井 直方	教養学部(前期課程) スポーツ・身体運動	月4	K402	1年 文科 理科
<p>講義題目 アドバンスト・フィットネス</p> <p>目標概要 定期的にトレーニングやスポーツを行っている学生やトレーニングに興味を持つ学生を対象に、最新のトレーニング科学の知識を講義と実習を通じて提供する（定員25名）。 *履修者の決定方法等については、UTASシラバス「履修上の注意」を参照すること。</p> <p>評価方法 出席、レポート、受講態度などから総合的に評点する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
51257	A	自然科学ゼミナール (生命科学)	和田 元	教養学部(前期課程) 生物	集中	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 身近な植物を通して、植物の生き方を考える</p> <p>目標概要 駒場キャンパスにどのような植物（草木や樹木）が生育しているのかを調べる。また、駒場キャンパスに生育している植物を実験材料として、器官、組織、細胞レベルでの形態を観察し、それらの形態は植物にとってどのような意味があり、生き方とどのような関係にあるのかについて考える。</p> <p>評価方法 レポート</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特定日に行う。 2018年10月1日12時20分から50分までの時間、21KOMCEE East 生命科学実験室</p>							
51258	A	自然科学ゼミナール (生命科学)	山道 真人	教養学部(前期課程) 生物	集中	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 野外生物学：生態と進化の数理モデル実習</p> <p>目標概要 基礎知識を学ぶ講義と、数理モデルの構築・解析・シミュレーションを組み合わせ、野外の生物群集と進化の動態に対する理解を深める。 休日を利用して実施する集中講義では、数理モデルを用いた個体群生態学・群集生態学・進化生態学・集団遺伝学の基礎を紹介し、実習にその知識を役立てることを期待する。休日を利用して実施する数理モデル実習では、野外の生物現象に基づいて数理モデルを構築し、シミュレーションを含めた解析を行う。休日を利用して実施するこれら講義・実習に参加できない場合は、履修できないので注意すること。 数理モデル実習のため、受講者数を15名程度に制限する。受講希望者が受講可能数を超える場合は、レポート課題により受講者を選抜する。その他、詳しい内容はガイダンスにおいて説明・指示する。ガイダンスは、10月2日（火曜）昼休みに、106教室で行なわれる。</p> <p>評価方法 グループ発表・参加姿勢</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名：数理生物学入門—生物社会のダイナミクスを探る 著者（訳者）：巖佐庸 出版社：共立出版 ISBN：978-4320054851</p> <p>ガイダンス 特定日に行う。 2018年10月2日 昼休みの時間帯、106教室</p>							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51291	A	自然科学ゼミナール (生命科学)	和田 洋一郎	アイソトープ 総合センター	金1	117	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 放射線影響と利用</p> <p>目標概要 アイソトープ総合センターにおいては、生命科学から数理科学まで広範な領域にわたって専任教員による研究が行われている。同時に、全学センターとして学内の放射線利用者への教育や、放射線を使った先端的研究支援を行い、学外に向けては原子力発電所事故の被災自治体や地元教育研究機関と協力して、除染・測定を含む学術的活動を継続的に行い、帰還を支援している。当センターはこれらの活動を通じて、被災地住民にとって真に重要な課題を明らかにし、これに取り組むために従来の学問の限界や枠組みを押し広げる努力を行っている。放射線影響、特に低線量の内部被ばくメカニズム解明やそれに対する防護については未知の点が多く、集学的な対応が必要であることから、その全貌を把握する系統的な機会は少ない。そこで、本講義においては可及的に多様な視点から放射線が生体に及ぼす現象を平易に解説することを目的とする。また、当センターは生体イメージングや、α線核種を用いた医薬品開発など、先端的なアイソトープ利用の拠点としての役割も果たしているため、最新の学問的潮流を踏まえて、放射線の有効利用の現状と次の展開についても解説する。特に、アイソトープ総合センターの教職員が取り組む研究とその成果をとりあげるにより、現実的な課題から最先端の科学研究に至るまで概観することを本講義の目的とする。</p> <p>「放射線影響と利用」では、(受講希望者が多数の場合には、)、受講を希望する理由書に基づき選抜を実施する。履修希望者は本講義の受講を希望する理由をA4用紙1枚程度に記載し、第1回講義の際に提出すること。選抜結果は、第2回講義前までに掲示する。</p> <p>評価方法 それぞれの講義のうち幾つかを選択した上でレポート提出を求め、最終回に予定している測定演習の成績と総合して理解度を判定、評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
50295	A	自然科学ゼミナール (化学)	平岡 秀一	教養学部(前期課程) 化学	火2	KALS	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 有機反応機構を考える</p> <p>目標概要 本ゼミナールはSセメスターに開講された「有機反応化学」を発展させ、実際に報告されている様々な有機化学反応を題材に、その反応機構を考える授業である。「有機反応化学」では、有機化合物の立体構造や安定性、基本的な有機反応とその反応機構を電子論的に考えられることを学んだが、本講義ではなぜそのような反応が起こるのか、もしくはある生成物がなぜ優先的に生成するのかを、軌道の相互作用、中間体もしくは遷移状態の安定性をもとに定性的に議論し、合理的な解釈へ至る方法を学ぶ。本授業はSセメスターに開講された「有機反応化学」で学んだ内容が必要になることがあるが、「有機反応化学」を履修していない学生でも、意欲があれば大いに歓迎する。過去に開講されたクラスでも「有機反応化学」未履修者が履修していたが、問題なく最後まで参加していた。なお、「有機反応機構を考える」では、受講希望者が多数の場合には、選抜を実施する。履修希望者は第1回目の講義に必ず出席すること。選抜結果は、第2回講義前までに掲示する。参考として、過去のクラスにおいて、受講者の選抜が行われたことはない。</p> <p>評価方法 出席および各回の講義における発表、質疑応答により評価する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
51285	A 1	自然科学ゼミナール (化学)	石北 央	工学部	水5	118	1年 理科 2年 理科
<p>講義題目 エネルギー変換の化学～理論からデバイスまで～</p> <p>目標概要 植物による光合成から太陽電池や燃料電池、光触媒に至るまでのエネルギー変換に関連した最先端でホットな化学についてみなさんと一緒に考えていきます。若手教員2名が、基礎的な事項からわかりやすく様々なアプローチで講義します。化学といっても、実際には物理、生物・バイオ、材料、環境等多岐分野に渡ります。そのような「これからの化学」を垣間見ることができます。</p> <p>【担当教員】 石北 央 (先端科学技術研究センター・工学部応用化学科) 高鍋和広 (工学部化学システム工学科)</p> <p>評価方法 出席、レポート</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51289	A	自然科学ゼミナール (数理学)	小木曾 啓示	数理科学研究科	火2	516	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 代数幾何学入門</p> <p>目標概要 代数幾何学の初歩を具体例とともに学ぶ。</p> <p>評価方法 レポートと出席、発表による。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。 書名 : Undergraduate Algebraic Geometry 著者(訳者) : Miles Reid 出版社 : London Mathematical Society</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
51290	A	自然科学ゼミナール (数理学)	加藤 晃史	数理科学研究科	月5	118	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 群と対称性</p> <p>目標概要 本ゼミナールでは、自然界に存在する様々な形態の対称性や周期性を数学的に記述する群の概念の基礎を学ぶ。また、将来、物質科学などでも必要になる結晶群や、群の行列表現と指標などにもふれる。具体例を通して、受講者が主体的に課題に取り組めるようにする。</p> <p>「群と対称性」では、(受講希望者が多数の場合には)、受講を希望する理由書に基づき選抜を実施する。履修希望者は本講義の受講を希望する理由をA4用紙1枚程度に記載し、第1回講義の際に提出すること。選抜結果は、第2回講義前までに掲示する。</p> <p>評価方法 出席・発表・質疑応答・レポート等により、内容の理解度およびゼミへの貢献度を総合的に評価する。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Algebra in Action: A Course in Groups, Rings, and Fields 著者(訳者) : Shahriar Shahriari 出版社 : American Mathematical Society ISBN : 978-1470428495 必要な部分についてはプリントを配布する予定</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
51280	A	自然科学ゼミナール (情報科学)	伊東 乾	情報学環	火4	学際交流 ホール	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 新しい学際情報学・・・ブロックチェーン、自動運転、セキュリティ</p> <p>目標概要 2010年代に入って急速に発展しつつある幾つかの「新しい情報分野」について、数理的な基礎、応用上のポイント、法的、経済的な面からの解決すべき問題、倫理的な課題など、文理横断的な観点から＜2020年代以降の必須学際情報学＞を念頭にカリキュラムを準備する。進んだ学生には自らの創意に基づいてソースコードに習熟するアドヴァンスト・コース班を分けて対処する考えだが、必修科目と同様の観点から初学者の理解を大切に考える。</p> <p>評価方法 メールで提出されるレポート</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51286	A	自然科学ゼミナール (基礎工学)	杉山 正和	工学部	木5	K402	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 半導体エネルギーデバイス：半導体の基礎物理から考えるLED, 太陽電池, パワートランジスタ</p> <p>目標概要 太陽電池、発光ダイオード、電車で電気自動車の電力制御、そしてスマートフォンなどの省電力デバイスにおいて高効率のエネルギー変換や情報処理を行っているのは半導体デバイスである。本科目では、半導体によりこのような機能を発現できるメカニズムを固体物理や熱力学の観点から学ぶ。</p> <p>評価方法 講義終了後に提出するレポートによる。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
51287	A 1	自然科学ゼミナール (基礎工学)	松田 雄二	工学部	水5	K301	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 未来の社会空間学概論</p> <p>目標概要 2050年には世界人口の3人に2人が都市居住者になることが予想されており、日本のみならず多くの中進国でも人口減少と高齢化社会が進行する。また温暖化によって、今以上に自然災害や資源問題が深刻化し、人々が暮らすために必要な空間や機能にリスクが上乗せされていくことになる。このような未来を考えた場合、わが国のみならず、グローバルな視点においても、社会基盤学、都市工学、建築学が果たすべき役割は大きい。</p> <p>本講義は、こうした近い未来に迫るであろう重要な課題を解決するべく、空間をデザイン・利用・制度設計するうえで必要となる重要な理論を体系的に学び、あわせて中長期的な課題解決をはかるうえでの求められる実践方法、検証方法などについても、考察を深めることを目的とする。</p> <p>評価方法 出席点とレポートの総合点で評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51288	A	自然科学ゼミナール (基礎工学)	山下 淳	工学部	集中	シラバス 参照	1年 文科 理科
<p>講義題目 知能ロボット入門 (集中講義：10月13日(土) 9:30～17:00・10月14日(日) 9:30～17:00)</p> <p>目標概要 宇宙開発で用いられるローバ(惑星探査車)に代表されるように、自律的に行動する知能ロボットは人間が直接アクセスできない場所などで活躍しています。 本講義では、センサ情報を用いて外界を認識し、知的に動作する知能ロボットの創り方について、実際のロボットを操作しながら学びます。授業の後半では、グループに分かれて製作した知能ロボットを用いてロボットコンテストを行い、創り上げたロボットの性能(=知能)を競いあいます。授業の最後には、製作した知能ロボットの工夫点などをまとめたプレゼンテーション実習を行うことによって、授業のふりかえりをを行います。 ロボット工学は、精密工学、航空宇宙工学、人工知能、情報科学、機構学、運動学、制御工学、計測工学などの幅広い内容を含む総合的な学問です。本授業は、ロボットの基礎知識の学習、知能ロボットの製作、ロボットコンテスト、プレゼンテーションなどを含んだ欲張りな内容です。多くのことを学習したい意欲的な受講生を歓迎します。</p> <p>本講義では、受講希望者が多数の場合には、受講を希望する理由書に基づき選抜を実施します。履修希望者は、受講希望理由書に必要事項を記載し、9月29日(土)までに電子メールで提出して下さい。選抜結果は、10月2日(火)までに電子メールでお知らせする予定です。</p> <p>受講希望理由書</p> <ul style="list-style-type: none"> 提出締切：2018年9月29日(土) 提出宛先：(UTASシラバス【授業の目標・概要】参照)(精密工学科 山下 淳) メールの件名は「知能ロボット入門受講希望」として下さい。 Word版：http://www.robot.t.u-tokyo.ac.jp/~yamashita/lecture/2018/introduction-robotics/application.docx PDF版：http://www.robot.t.u-tokyo.ac.jp/~yamashita/lecture/2018/introduction-robotics/application.pdf Text版：http://www.robot.t.u-tokyo.ac.jp/~yamashita/lecture/2018/introduction-robotics/application.txt <p>受講希望理由書は、http://www.robot.t.u-tokyo.ac.jp/~yamashita/lecture-j.html#2018introduction-robotics からダウンロードできます。</p> <p>受講希望理由書の必要事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 氏名(例：駒場 花子, こまば はなこ) 学年(例：1年生) 科類(例：理科I類) 学籍番号(例：123456A) 領域(推薦入学の場合)(例：領域3) メールアドレス(例：123456@abc.ac.jp) 受講希望理由(自由に記述して下さい) <p>評価方法 出席、講義の積極性、レポートなどから総合的に判断します。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
51284	A	自然科学ゼミナール (物理学)	鈴木 庸平	理学部	木4	114	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 地球惑星環境研究の最前線</p> <p>目標概要 我が国の学術水準は、科学の3大フロンティアである宇宙・地底・深海の極限環境から試料を直接採取し、地球や惑星の形成および生命の起源や進化を研究することが可能である。一方で、人類活動による地球温暖化や環境汚染、資源・エネルギーの持続的な利用、自然災害への対処等の問題についても、研究による解決策が求められている。本科目は、地球惑星環境について研究を行っている教員陣により、研究の最前線についてわかりやすく講義する。</p> <p>評価方法 出席とレポート</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

「英語中級」「英語上級」について

【科目概要】

「英語中級」は指定されたクラスのみが履修できるもの（指定クラス型）と全クラスに開かれたもの（全クラス型）がある。「英語上級」はすべて全クラス型である。1Sセメスター、1Aセメスターに開講される、指定クラス型の「英語中級」を履修し単位を取得することで、前期課程修了要件の総合科目L系列：既修外国語の取得に関する単位を充足することができる。（※ただし、英語以外を既修外国語として選択した者、英語を初修外国語相当として履修する者はこの限りではない。）

S2ターム、A2タームの授業を含む、いずれの授業もセメスター開始時に履修希望の登録を行い、希望者が多数の授業については抽選を行う。各セメスターに履修できるのは指定クラス型、全クラス型をそれぞれ1コマまでである。

○履修の削除について

全クラス型授業の登録は削除できない。指定クラス型の授業は、同じセメスターの全クラス型授業に登録を認められた場合のみ削除できる。

○2年生の履修について

2年生が抽選登録できるのは、全クラス型のみとなる。ただし、追加募集の対象となっている場合に限り、指定クラス型も履修することができる。

【抽選登録】

「英語中級」および「英語上級」はUTASで希望登録を行う。所定の期間中にUTASログイン後の【抽選対象科目希望登録】画面から希望する授業を登録する。

特定の授業に学生の希望が集中した場合に抽選が行われ、外れた学生は下位の希望順位の授業に振り分けられることになる。希望を登録していない授業に振り分けられることはない。ただし、希望したいいずれの授業にも振り分けられないことはある。

○追加募集について

学生数に余裕のある場合は追加募集を行う。追加募集授業の履修登録方法は、追加募集対象授業の発表時に指示する。追加募集の対象となっていない授業については、担当教員の許可を得ても履修登録は認められない。

（注意事項）

- ・総合科目L系列の英語には、「英語中級・セメスター制授業」、「英語中級・ターム制授業」、「英語上級・セメスター制授業」、「英語上級・ターム制授業」の4種類の授業がある。同一教員による同一種類の授業を複数履修することはできない。
- ・英語上級は各授業のシラバスに記載された習熟度レベルに到達した者を対象とする。
- ・Sセメスターの際には、抽選登録または追加募集登録する際に、初年次ゼミナールが自身のクラスに割り当てられる各2曜限には登録しないこと。
- ・TLP生は、TLP履修者用の科目と重複する曜限にも登録しないよう注意すること。
なお、一度当選した科目は履修登録を削除することはできない。

総合科目Ⅰ 言語・コミュニケーション

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	曜限	教室	対象
50369	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	RICINSCHI Dan	火3	158	1年 文一二(24,26) 理一(1-5)理二三(1-4)
60039	A 2					1年 文一二(27)文三(19) 理一(9-10)理二三(7)
<p>講義題目 Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims</p> <p>目標概要 This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources.</p> <p>The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of models and analogies.</p> <p>評価方法 Attendance and participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70%</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50370	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	小川 浩之	火3	156	1年 文一二(24,26) 理一(1-5)理二三(1-4)
<p>講義題目 <i>Cambridge History of the Cold War</i>を読むⅠ</p> <p>目標概要 Melvyn P. Leffler and Odd Arne Westad, eds., <i>The Cambridge History of the Cold War, Volume II: Crises and Détente</i> (Cambridge: Cambridge University Press, 2010) のフランスと地中海についての章を読み、1945～75年のフランスと地中海沿岸諸国をめぐる冷戦の歴史について学ぶ。1週間で読む英文は5～8ページ程度である。</p> <p>評価方法 授業での発表、質疑応答と議論への貢献、毎週提出する要旨から総合的に評価する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
60040	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	小川 浩之	火3	156	1年 文一二(27)文三(19) 理一(9-10)理二三(7)
<p>講義題目 <i>Cambridge History of the Cold War</i>を読むⅡ</p> <p>目標概要 Melvyn P. Leffler and Odd Arne Westad, eds., <i>The Cambridge History of the Cold War, Volume II: Crises and Détente</i> (Cambridge: Cambridge University Press, 2010) のインドシナと中東についての章を読み、1945～79年のインドシナと中東における冷戦の歴史について学ぶ。1週間で読む英文は5～8ページ程度である。</p> <p>評価方法 授業での発表、質疑応答と議論への貢献、毎週提出する要旨から総合的に評価する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50371	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	高橋 英海	火3	103	1年 文一二(24,26) 理一(1-5)理二三(1-4)
60036	A 2					1年 文一二(27)文三(19) 理一(9-10)理二三(7)
<p>講義題目 英語で世界を見聞きする</p> <p>目標概要 英語はいまや英米豪などの英語圏のみの言語ではなく、事実上の世界の共通語であり、世界への扉である。本授業では、世界の中の英米豪以外の地域、特にアジアや中東・アフリカ地域から発信されるニュースなどの視聴覚教材を見聞きしながら、世界への視野を広めるとともに英語の理解力を高める。</p> <p>評価方法 授業への参加度およびテストによる。</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50372	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	大井 赤亥	火3	150	1年 文一(24,26) 理一(1-5)理二三(1-4)
60037	A 2					1年 文一(27)文三(19) 理一(9-10)理二三(7)
<p>講義題目 現代政治思想の Orientation</p> <p>目標概要 19・20世紀から現代にかけての代表的な政治思想（イデオロギー）について、それらが生じてきた歴史的背景、掲げた目的、達成や現状について、英語圏で使用されている標準的な教科書を通して理解を深める。具体的には、20世紀の思想と体制を大きく規定した、①共産主義、②全体主義、③リベラリズム（「リベラルな平等」および新自由主義）、④デモクラシーを取りあげ、それらの内容を理解し、議論を行う。これらの思想内容に習熟することは、政治概念についての基本的教養をもたらすのみならず、現代世界の動向を把握するためのシティズンシップ教育としての目的も帯びている。</p> <p>評価方法 授業内でのプレゼンテーション（40%）、レポート（40%）、出席（20%）によって判断する。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Political Ideologies (Sixth Edition) 著者（訳者） : Andrew Heywood 出版社 : Palgrave, 2017</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>						
50373	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	牛村 圭	火3	108	1年 文一(24,26) 理一(1-5)理二三(1-4)
60042	A 2					1年 文一(27)文三(19) 理一(9-10)理二三(7)
<p>講義題目 英語で日本近現代史を読む</p> <p>目標概要 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。</p> <p>評価方法 発表を含めた平常点、学期中実施の語彙力試験、そして期末の筆記試験による。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50374	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	WONG Michelle	火3	10-308	1年 文一(24,26) 理一(1-5)理二三(1-4)
60038	A 2					1年 文一(27)文三(19) 理一(9-10)理二三(7)
<p>講義題目 TED Talks and Discussion</p> <p>目標概要 The primary goal of this course is to improve your confidence in using English to converse on a range of familiar and unfamiliar topics. Through watching TED Talk videos and doing various discussion activities, you will expand your vocabulary as well as develop communication strategies to express yourself more accurately and confidently.</p> <p>評価方法 50% Assignments 30% Vocabulary tests 20% Participation</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	曜限	教室	対象
50375	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	平林 祐子	火3	154	1年 文一二(24,26) 理一(1-5)理二三(1-4)
60041	A 2					1年 文一二(27)文三(19) 理一(9-10)理二三(7)
<p>講義題目 英語によるコミュニケーションの実践</p> <p>目標概要 英語で他人とコミュニケーションを取ること（自分の意思を伝え、相手の意思を理解する）、さらにそれを通じて共同で何らかの課題を達成することを、実践を通して学びます。今後の皆さんの人生においては、日常生活、学習／研究、ビジネスなど多様な場面で、英語によるコミュニケーションが必要になることが今よりもっと増えるでしょう。そのためのトレーニングとして、4つのスキル（reading, listening, speaking, writing）を使って、実際にありえる多様な場面でコミュニケーションを実践する科目です。</p> <p>評価方法 毎回の授業（宿題も含む）での実践と発表／提出物60%、最終回の試験40%。グループで作成するものについてはグループ全員を同じ評価とする。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Cutting Edge Third Edition 著者（訳者）: Sarah Cunningham, Peter Moor and Jonathan Bygrave 出版社 : Pearson Education Limited ISBN : 9781447936879</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50443	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	平林 祐子	火4	154	1年 文一二(11-12,14)文三(1-3) 理一(34-35)
60086	A 2					1年 文一二(15)文三(6) 理一(36-37)理二三(20,22)
<p>講義題目 英語によるコミュニケーションの実践</p> <p>目標概要 英語で他人とコミュニケーションを取ること（自分の意思を伝え、相手の意思を理解する）、さらにそれを通じて共同で何らかの課題を達成することを、実践を通して学びます。今後の皆さんの人生においては、日常生活、学習／研究、ビジネスなど多様な場面で、英語によるコミュニケーションが必要になることが今よりもっと増えるでしょう。そのためのトレーニングとして、英語の4つのスキル（reading, listening, speaking, writing）を使って、実際にありえる多様な場面でコミュニケーションを実践する科目です。</p> <p>評価方法 毎回の授業（宿題も含む）での実践と発表／提出物60%、最終回の試験40%。グループで作成するものについてはグループ全員を同じ評価とする。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Cutting Edge Third Edition 著者（訳者）: Sarah Cunningham, Peter Moor and Jonathan Bygrave 出版社 : Pearson Education Limited ISBN : 9781447936879</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50444	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	高橋 英海	火4	103	1年 文一二(11-12,14)文三(1-3) 理一(34-35)
60092	A 2					1年 文一二(15)文三(6) 理一(36-37)理二三(20,22)
<p>講義題目 英語で世界を見聞きする</p> <p>目標概要 英語はいまや英米豪などの英語圏のみの言語ではなく、事実上の世界の共通語であり、世界への扉である。本授業では、世界の中の英米豪以外の地域、特にアジアや中東・アフリカ地域から発信されるニュースなどの視聴覚教材を見聞きしながら、世界への視野を広めるとともに英語の理解力を高める。</p> <p>評価方法 授業への参加度およびテストによる。</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50445	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	小川 浩之	火4	156	1年 文一二(11-12,14)文三(1-3) 理一(34-35)
<p>講義題目 <i>Cambridge History of the Cold War</i>を読む I</p> <p>目標概要 Melvyn P. Leffler and Odd Arne Westad, eds., <i>The Cambridge History of the Cold War, Volume II: Crises and Détente</i> (Cambridge: Cambridge University Press, 2010) のフランスと地中海についての章を読み、1945～75年のフランスと地中海沿岸諸国をめぐる冷戦の歴史について学ぶ。1週間で読む英文は5～8ページ程度である。</p> <p>評価方法 授業での発表、質疑応答と議論への貢献、毎週提出する要旨から総合的に評価する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
60090	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	小川 浩之	火4	156	1年 文一二(15)文三(6) 理一(36-37)理二三(20,22)
<p>講義題目 Cambridge History of the Cold Warを読むⅡ</p> <p>目標概要 Melvyn P. Leffler and Odd Arne Westad, eds., <i>The Cambridge History of the Cold War, Volume II: Crises and Détente</i> (Cambridge: Cambridge University Press, 2010) のインドシナと中東についての章を読み、1945～79年のインドシナと中東における冷戦の歴史について学ぶ。1週間で読む英文は5～8ページ程度である。</p> <p>評価方法 授業での発表、質疑応答と議論への貢献、毎週提出する要旨から総合的に評価する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50446	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	WONG Michelle	火4	10-308	1年 文一二(11-12,14)文三(1-3) 理一(34-35)
60087	A 2					1年 文一二(15)文三(6) 理一(36-37)理二三(20,22)
<p>講義題目 TED Talks and Discussion</p> <p>目標概要 The primary goal of this course is to improve your confidence in using English to converse on a range of familiar and unfamiliar topics. Through watching TED Talk videos and doing various discussion activities, you will expand your vocabulary as well as develop communication strategies to express yourself more accurately and confidently.</p> <p>評価方法 50% Assignments 30% Vocabulary tests 20% Participation</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50447	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	牛村 圭	火4	108	1年 文一二(11-12,14)文三(1-3) 理一(34-35)
60091	A 2					1年 文一二(15)文三(6) 理一(36-37)理二三(20,22)
<p>講義題目 英語で日本近現代史を読む</p> <p>目標概要 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。</p> <p>評価方法 発表を含めた平常点、学期中実施の語彙力試験、そして期末の筆記試験による。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50448	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	RICINSCHI Dan	火4	158	1年 文一二(11-12,14)文三(1-3) 理一(34-35)
60093	A 2					1年 文一二(15)文三(6) 理一(36-37)理二三(20,22)
<p>講義題目 Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims</p> <p>目標概要 This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources.</p> <p>The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of models and analogies.</p> <p>評価方法 Attendance and participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70%</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50449	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	Williams David	火4	102	1年 文一二(11-12,14)文三(1-3) 理一(34-35)
60088	A 2					1年 文一二(15)文三(6) 理一(36-37)理二三(20,22)
講義題目 Critical Discussion and Thinking 目標概要 The purpose of this class is to build students' English language reading and thinking skills beyond simple description to a more critical and analytical point. Each week students will focus on one topic and critically examine and consider an English language text in a group. At the end of this course it is expected that students will be able to critically consider and assess a range of contemporary topics of domestic and international significance, and be able to reflect better on their own culture. Students will find that the skills acquired in this class will help them to express themselves in other areas of their academic studies; it is hoped the class will be an encouragement to see English language as an investment for the future. 評価方法 This course will be taught exclusively in English. Assessment for this class will be based on four aspects: (i) a series of role sheets filled out for the discussion circle (50% approx.) (ii) weekly vocabulary test (15%) (iii) one in-class presentation (15%) (iv) final examination (20%) 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50450	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	大井 赤亥	火4	150	1年 文一二(11-12,14)文三(1-3) 理一(34-35)
60089	A 2					1年 文一二(15)文三(6) 理一(36-37)理二三(20,22)
講義題目 現代政治思想の Orientation 目標概要 19・20世紀から現代にかけての代表的な政治思想（イデオロギー）について、それらが生じてきた歴史的背景、掲げた目的、達成や現状について、英語圏で使用されている標準的な教科書を通して理解を深める。具体的には、20世紀の思想と体制を大きく規定した、①共産主義、②全体主義、③リベラリズム（「リベラルな平等」および新自由主義）、④デモクラシーを取りあげ、それらの内容を理解し、議論を行う。これらの思想内容に習熟することは、政治概念についての基本的教養をもたらすのみならず、現代世界の動向を把握するためのシティズンシップ教育としての目的も帯びている。 評価方法 授業内でのプレゼンテーション（40%）、レポート（40%）、出席（20%）によって判断する。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Political Ideologies (Sixth Edition) 著者（訳者） : Andrew Heywood 出版社 : Palgrave, 2017 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50576	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	坪井 栄治郎	水2	112	1年 文一二(1-3,5,7)文三(14-15) 理一(14)理二三(9-10)
60146	A 2					1年 文一二(9-10)文三(16) 理一(19-20)理二三(13)
講義題目 こころの異常についての英文を読む 目標概要 こころの異常について書かれた英文を読むことを通して、そうした現象についての理解を深めるとともに、読解力の向上を図る。 評価方法 小試験の点数と授業中のperformance(質問された時の解答の出来、授業への参加・集中度)に最終授業時に行う試験の成績で評価。最終試験で6割、小試験と授業中のperformanceで4割の評価比率。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50577	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	三吉 美加	水2	158	1年 文一二(1-3,5,7)文三(14-15) 理一(14)理二三(9-10)
60150	A 2					1年 文一二(9-10)文三(16) 理一(19-20)理二三(13)
講義題目 短編作品を深読みする 目標概要 短編作品を精読した後、その背景にある社会的状況、歴史、文化などについて知識を深めていく。また、シンボリックなものについても検討し、さまざまな視点から作品を味わっていく。 評価方法 平常点（授業時の積極的姿勢とグループワーク時の発言、予習状況）40%、試験と小テスト60% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50578	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	平林 祐子	水2	152	1年 文一二(1-3,5,7)文三(14-15) 理一(14)理二三(9-10)
60145	A 2					1年 文一二(9-10)文三(16) 理一(19-20)理二三(13)
<p>講義題目 英語によるコミュニケーションの実践</p> <p>目標概要 英語で他人とコミュニケーションを取ること（自分の意思を伝え、相手の意思を理解する）、さらにそれを通じて共同で何らかの課題を達成することを、実践を通して学びます。今後の皆さんの人生においては、日常生活、学習／研究、ビジネスなど多様な場面で、英語によるコミュニケーションが必要になることが今よりもっと増えるでしょう。そのためのトレーニングとして、英語の4つのスキル（reading, listening, speaking, writing）を使って、実際にありえる多様な場面でのコミュニケーションを実践する科目です。</p> <p>評価方法 毎回の授業（宿題も含む）での実践と発表／提出物60%、最終回の試験40%。グループで作成するものについてはグループ全員を同じ評価とする。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Cutting Edge Third Edition 著者（訳者）：Sarah Cunningham, Peter Moor and Jonathan Bygrave 出版社 : Pearson Education Limited ISBN : 9781447936879</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50579	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	アルヴィ なほ子	水2	103	1年 文一二(1-3,5,7)文三(14-15) 理一(14)理二三(9-10)
60148	A 2					1年 文一二(9-10)文三(16) 理一(19-20)理二三(13)
<p>講義題目 /Frankenstein/を読む</p> <p>目標概要 Mary Shelleyの/Frankenstein/を読むことを通じて、英語の読解力を高め、また、/Frankenstein/の神話を持つ、人文学、科学両方に与えた今日の重要性について理解する。2018年は /Frankenstein/出版200周年の年で、世界各地で様々な学術的な催しが開かれ、また多くの大学の授業でも取り上げられている。まだ20才になる前にMary Shelleyが書いた1818年版を読むことで、英語の小説の読み方を学ぶだけでなく、10代の若い文学的な感性が当時の最新の技術や政治的状况に如何に敏感に反応したか、そしてその小説が文学という範囲を超えて読み継がれ、現代においてその重要性がますます認識されているかを考察する。</p> <p>評価方法 毎回の課題提出と授業中のアクティビティなど40%、レポート20%、試験40%とする予定です。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Frankenstein 1818 Text (Oxford World's Classics) 著者（訳者）：Mary Shelley 出版社 : Oxford UP ISBN : 978-0199537150 URL : http://www.rc.umd.edu/editions/frankenstein/1818_contents</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50580	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	高橋 英海	水2	150	1年 文一二(1-3,5,7)文三(14-15) 理一(14)理二三(9-10)
60147	A 2					1年 文一二(9-10)文三(16) 理一(19-20)理二三(13)
<p>講義題目 英語で世界を見聞きする</p> <p>目標概要 英語はいまや英米豪などの英語圏のみの言語ではなく、事実上の世界の共通語であり、世界への扉である。本授業では、世界の中の英米豪以外の地域、特にアジアや中東・アフリカ地域から発信されるニュースなどの視聴覚教材を見聞きしながら、世界への視野を広めるとともに英語の理解力を高める。</p> <p>評価方法 授業への参加度およびテストによる。</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50581	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	岩佐 将志	水2	156	1年 文一二(1-3,5,7)文三(14-15) 理一(14)理二三(9-10)
60149	A 2					1年 文一二(9-10)文三(16) 理一(19-20)理二三(13)

講義題目 英語で読み解く現代社会
目標概要 この授業では、現代社会の動向を社会的な視点から考察している英語文献を題材とし、英文読解の訓練を行う。ここで取り上げるのは、現代社会を「再創造 (Reinvention)」の論理が浸透する社会と捉え、独自の議論を展開している社会学者の著作である。本書では、現代の個人や組織が絶えず自らを作り変えるように迫られている様子が、さまざまな事例を通じて描かれる。本書を読み解くことを通じ、その洗練された議論に触れると同時に、そこで用いられる幅広い語彙や表現を習得することを目指す。

評価方法 授業内の発表、小テスト、期末エッセーから総合的に判断する。

教科書 次の教科書を使用する。
 書名 : Reinvention
 著者(訳者) : Anthony Elliott
 出版社 : Routledge
 ISBN : 9780415682848

ガイダンス 特に行わない。

50582	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	平沢 慎也	水2	151	1年 文一二(1-3,5,7)文三(14-15) 理一(14)理二三(9-10)
-------	-----	---------------------	-------	----	-----	---

講義題目 英語の自律的学習者になる方法を学ぶ：ミステリー短編 *Baby-sitting Ingrid* を題材に
目標概要 Larry Collins のミステリー短編 *Baby-sitting Ingrid* を読みます。主人公の麻薬取締捜査官 Kevin が、愛する女性 Ingrid を殺した麻薬密売人 Louie を追う執念の物語です。
 この講義の短期的な達成目標は、(1) 英語で書かれた文章を読んでいて出会った様々な表現について「おや、これはひょっとしてよくある言い回しでは?」と思えるようになること、(2) それが本当によくある言い回しであるかどうかを自分で調べられるようになること、(3) その言い回しを自分でも使ってみたい(または使えそうだ)と思えるようになること、の3つです。長期的な目標として見据えているのは、「どんな英文も単語の連なりではなくフレーズの連なりに見える」というレベルに達することです。

評価方法 毎週の課題提出 (30%) + 毎週の小テスト (70%)

教科書 プリントを配布する。

ガイダンス 特に行わない。

60151	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	平沢 慎也	水2	151	1年 文一二(9-10)文三(16) 理一(19-20)理二三(13)
-------	-----	---------------------	-------	----	-----	--

講義題目 英語の自律的学習者になる方法を学ぶ：アメリカのTVドラマ『奥さまは魔女』を題材に
目標概要 アメリカのTVドラマ Bewitched (邦題は『奥さまは魔女』)のエピソードを1つか2つ選んで、じっくり丁寧に見ます。人間の男性 Darrin が魔女 Samantha と結婚し、様々なトラブルに巻き込まれながらもなんだかんだ楽しく生きていくお話です。
 この講義の短期的な達成目標は、(1) 自分でドラマや映画を見て出会った様々な表現について「おや、これはひょっとしてよくある言い回しでは?」と思えるようになること、(2) それが本当によくある言い回しであるかどうかを自分で調べられるようになること、(3) その言い回しを自分でも使ってみたい(または使えそうだ)と思えるようになること、の3つです。長期的な目標として見据えているのは、「どんな英文も単語の連なりではなくフレーズの連なりに見える」というレベルに達することです。

評価方法 グループ発表 (30%) + 毎週の小テスト (70%)

教科書 プリントを配布する。

ガイダンス 特に行わない。

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50657	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	アルヴィ なほ子	水3	103	1年 文一二(16,18)文三(10) 理一(23,25)理二三(15,17)
60174	A 2					1年 文一二(19-20)文三(11-12) 理一(26,28)理二三(18)
<p>講義題目 /Frankenstein/を読む</p> <p>目標概要 Mary Shelleyの/Frankenstein/を読むことを通じて、英語の読解力を高め、また、/Frankenstein/の神話が持つ、人文学、科学両方に与えた今日の重要性について理解する。2018年は /Frankenstein/出版200周年の年で、世界各地で様々な学術的な催しが開かれ、また多くの大学の授業でも取り上げられている。まだ20才になる前にMary Shelleyが書いた1818年版を読むことで、英語の小説の読み方を学ぶだけでなく、10代の若い文学的な感性が当時の最新の技術や政治的状况に如何に敏感に反応したか、そしてその小説が文学という範囲を超えて読み継がれ、現代においてその重要性がますます認識されているかを考察する。</p> <p>評価方法 毎回の課題提出と授業中のアクティビティなど40%、レポート20% 試験40%とする予定です。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Frankenstein 1818 Text (Oxford World's Classics) 著者(訳者) : Mary Shelley 出版社 : Oxford UP ISBN : 978-0199537150 URL : http://www.rc.umd.edu/editions/frankenstein/1818_contents</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50658	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	西川 杉子	水3	150	1年 文一二(16,18)文三(10) 理一(23,25)理二三(15,17)
60176	A 2					1年 文一二(19-20)文三(11-12) 理一(26,28)理二三(18)
<p>講義題目 <i>History Today</i> を読む</p> <p>目標概要 イギリスで出版されている歴史の教養雑誌 <i>History Today</i> に収録された小論文を読み、世界各地域の文化・歴史を学ぶ。<i>History Today</i> については図書館に入っているのので、参考にとよい。</p> <p>評価方法 毎回の小テストおよび授業への参加度。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50659	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	平林 祐子	水3	152	1年 文一二(16,18)文三(10) 理一(23,25)理二三(15,17)
60173	A 2					1年 文一二(19-20)文三(11-12) 理一(26,28)理二三(18)
<p>講義題目 英語によるコミュニケーションの実践</p> <p>目標概要 英語で他人とコミュニケーションを取ること(自分の意思を伝え、相手の意思を理解する)、さらにそれを通じて共同で何らかの課題を達成することを、実践を通して学びます。今後の皆さんの人生においては、日常生活、学習/研究、ビジネスなど多様な場面で、英語によるコミュニケーションが必要になることが今よりもっと増えるでしょう。そのためのトレーニングとして、英語の4つのスキル (reading, listening, speaking, writing) を使って、実際にありえる多様な場面でのコミュニケーションを実践する科目です。</p> <p>評価方法 毎回の授業(宿題も含む)での実践と発表/提出物60%、最終回の試験40%。グループで作成するものについてはグループ全員を同じ評価とする。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Cutting Edge Intermediate Third Edition 著者(訳者) : Sarah Cunningham, Peter Moor and Jonathan Bygrave 出版社 : Pearson Education Limited ISBN : 9781447936879</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50660	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	平沢 慎也	水3	151	1年 文一二(16,18)文三(10) 理一(23,25)理二三(15,17)
<p>講義題目 英語の自律的学習者になる方法を学ぶ：アメリカのTVドラマ『奥さまは魔女』を題材に</p> <p>目標概要 アメリカのTVドラマ Bewitched(邦題は『奥さまは魔女』)のエピソードを1つか2つ選んで、じっくり丁寧に見ます。人間の男性 Darrin が魔女 Samantha と結婚し、様々なトラブルに巻き込まれながらもなんだか楽しく生きていくお話です。</p> <p>この講義の短期的な達成目標は、(1)自分でドラマや映画を見て出会った様々な表現について「おや、これはひょっとしてよくある言い回しでは？」と思えるようになること、(2)それが本当によくある言い回しであるかどうかを自分で調べられるようになること、(3)その言い回しを自分でも使ってみたい(または使えそうだと)思えるようになること、の3つです。長期的な目標として見据えているのは、「どんな英文も単語の連なりではなくフレーズの連なりに見える」というレベルに達することです。</p> <p>評価方法 グループ発表(30%) + 毎週の小テスト(70%)</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
60171	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	平沢 慎也	水3	151	1年 文一二(19,20)文三(11-12) 理一(26,28)理二三(18)
<p>講義題目 英語の自律的学習者になる方法を学ぶ：ミステリー短編 <i>Paranoia</i> を題材に</p> <p>目標概要 Stephen Frey のミステリー短編 <i>Paranoia</i> を読みます。主人公 Emily はアメリカ次期上院議員の妻。文字通りの「被害妄想」で、ある日、ウォール・ストリートでニューヨーク・タイムズのカメラマンが夫に向けたカメラを銃と勘違いし、「きゃあ!ピストル!」と叫んで大騒動を起こしてしまいます。そんな Emily がヨーロッパに行くために乗った飛行機で、横に座った男性がまたしてもどうやら銃を所持しているようです。これもやはり妄想なのか、それとも...というお話です。</p> <p>この講義の短期的な達成目標は、(1)英語で書かれた文章を読んでいて出会った様々な表現について「おや、これはひょっとしてよくある言い回しでは？」と思えるようになること、(2)それが本当によくある言い回しであるかどうかを自分で調べられるようになること、(3)その言い回しを自分でも使ってみたい(または使えそうだと)思えるようになること、の3つです。長期的な目標として見据えているのは、「どんな英文も単語の連なりではなくフレーズの連なりに見える」というレベルに達することです。</p> <p>評価方法 毎週の課題提出(30%) + 毎週の小テスト(70%)</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50661	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	坪井 栄治郎	水3	10-101	1年 文一二(16,18)文三(10) 理一(23,25)理二三(15,17)
60175	A 2					1年 文一二(19,20)文三(11-12) 理一(26,28)理二三(18)
<p>講義題目 ことばと認知</p> <p>目標概要 ことばと認知の関係について書かれた英文を読むことを通して、両者の関係についての理解を深めるとともに、読解力の向上を図る。</p> <p>評価方法 小試験の点数と授業中のperformance(質問された時の解答の出来、授業への参加・集中度)に最終授業時に行う試験の成績で評価。最終試験で6割、小試験と授業中のperformanceで4割の評価比率。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50662	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	三吉 美加	水3	158	1年 文一二(16,18)文三(10) 理一(23,25)理二三(15,17)
60172	A 2					1年 文一二(19,20)文三(11-12) 理一(26,28)理二三(18)
<p>講義題目 短編作品を深読みする</p> <p>目標概要 短編作品を精読した後、その背景にある社会的状況、歴史、文化などについて知識を深めていく。また、シンボリックなものについても検討し、さまざまな視点から作品を味わっていく。</p> <p>評価方法 平常点(授業時の積極的姿勢とグループワーク時の発言、予習状況) 40%、試験と小テスト 60%</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50663	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	加治屋 健司	水3	153	1年 文一二(16,18)文三(10) 理一(23,25)理二三(15,17)
60177	A 2					1年 文一二(19-20)文三(11-12) 理一(26,28)理二三(18)
<p>講義題目 英語で読む芸術理論</p> <p>目標概要 オックスフォード大学出版局の概説書シリーズの『芸術理論』を読みます。184ページの薄い本です。英語の語彙を増やすこと、一定量の英語を読むのに慣れること、英語を通して未知の対象を確実に学ぶことを目標とします。</p> <p>評価方法 小テストの結果と授業中の発言によって最終的な成績を付けます。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Art Theory: A Very Short Introduction 著者(訳者) : Cynthia Freeland 出版社 : Oxford University Press ISBN : 192804634</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50664	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	岩佐 将志	水3	156	1年 文一二(16,18)文三(10) 理一(23,25)理二三(15,17)
60170	A 2					1年 文一二(19-20)文三(11-12) 理一(26,28)理二三(18)
<p>講義題目 英語で読み解く現代社会</p> <p>目標概要 この授業では、現代社会の動向を社会学的な視点から考察している英語文献を題材とし、英文読解の訓練を行う。ここで取り上げるのは、現代社会を「再創造(Reinvention)」の論理が浸透する社会と捉え、独自の議論を展開している社会学者の著作である。本書では、現代の個人や組織が絶えず自らを作り変えるように迫られている様子が、さまざまな事例を通じて描かれる。本書を読み解くことを通じ、その洗練された議論に触れると同時に、そこで用いられる幅広い語彙や表現を習得することを目指す。</p> <p>評価方法 授業内の発表、小テスト、期末エッセイから総合的に判断する。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Reinvention 著者(訳者) : Anthony Elliott 出版社 : Routledge ISBN : 9780415682848</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50051	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	岩崎 徹	月2	149	1年 文一二(25,28) 文三(5,7,20) 理一(8,13)
<p>講義題目 元祖ミュージカル(サヴォイ・オペラ)の台本を読む</p> <p>目標概要 『オペラ座の怪人』の約100年前、ロンドンのサヴォイ劇場で初演されて以来、今でも英米を始め英語圏で人気の高い元祖ミュージカル的コミック・オペラがある。風刺の利いたウィリアム・ギルバートの台本(・歌詞)と、軽快で親しみやすいアーサー・サリヴァンの曲による一連の「サヴォイ・オペラ」は、ドイリー・カート歌劇団により100年以上上演されてきた伝統があるが、英米の主要大学、主要都市にある同好会によるアマチュアの上演も盛んだ。このレパートリーの中から、「芸術のための芸術」を標榜した19世紀末の「唯美主義」を痛快に皮肉った『ペイシェンス』を近年の上演映像を見ながら台本を読み、イギリス的ユーモアを味わう。勇ましい軍人たちに代わって、良家の令嬢たちに取り囲まれているのは、憂愁の詩人バンソーン。彼に強力なライバルが現われた。二人の争いの結末は? 台本、曲ともにサヴォイ・オペラ屈指の傑作。</p> <p>評価方法 試験の成績に出席、平常点を加味する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	曜限	教室	対象
50052	A	英語中級 (クラス指定 Semester 型)	志子田 祥子	月2	10-203	1年 文一二(25,28) 文三(5,7,20) 理一(8,13)
<p>講義題目 Let's Read and Discuss</p> <p>目標概要 The aim of this course is to help students improve their reading and communication skills in English, through a range of student-centred activities designed to stimulate responses and promote social interactions in the classroom, including pair/group work and discussion.</p> <p>We will read a contemporary British author Zadie Smith's novella, '<i>The Embassy of Cambodia</i>' (2013) as the core textbook. Set in Willesden, north-west London, it is an absorbing story about the life of a young migrant worker from the Ivory Coast, filled with resonant imagery.</p> <p>It is hoped that carefully reading this novella together will help students to develop their reading fluency and to learn to enjoy authentic texts, as well as will open up new horizons for students.</p> <p>評価方法 Active class participation and significant contribution (approx. 30%); successful completion of a series of activities and assignments, including presentations and vocabulary quizzes (approx. 70%).</p> <p>理由の如何にかかわらず、授業開始後30分以上の遅刻、および授業終了30分以前の早退は欠席とみなす。遅刻・早退2回で欠席1回とみなす。3回以上の欠席は不可。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。</p> <p>書名 : The Embassy of Cambodia 著者(訳者) : Zadie Smith 出版社 : Hamish Hamilton/ Penguin Books ISBN : 978-0-241-14652-1</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50053	A	英語中級 (クラス指定 Semester 型)	グレノン イザベル	月2	10-308	1年 文一二(25,28) 文三(5,7,20) 理一(8,13)
<p>講義題目 Professional presentation skills</p> <p>目標概要 The main objective of this course is to enable students to develop the skills necessary to properly organise, articulate and support their ideas, whether presented in written or oral form. These skills include the ability to give and reply to criticism, and to make effective use of PowerPoint.</p> <p>Although the class assignments will focus primarily on academic presentations, the skills developed throughout this class are applicable to other domains, such as the preparation of marketing pitches, job interviews, progress reports, and so on.</p> <p>This class combines a variety of in-class activities and homework (e.g. preparation of the script and PowerPoint for the formal presentations). Every student will be required to speak, one way or another, at every class.</p> <p>評価方法 Preparation 30% Presentations 70%</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	曜限	教室	対象
50054	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	堀越 庸一郎	月2	152	1年 文一二(25,28) 文三(5,7,20) 理一(8,13)
<p>講義題目 楽園はどこにある—Ronald Blythe, <i>Akenfield: Portrait of an English Village</i> (1969)を読む</p> <p>目標概要 あなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょうか。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、親密な人間関係のなかで、多少の悶着も厄介ごと、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、そういう居心地のいい楽園。そこで繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつかこんな薄汚れた都会を離れて、緑に囲まれたコテージに住み、そういう「本当に確実なもの、本当に大切なもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ている。</p> <p>『エイケンフィールド：あるイングランドの村の肖像 <i>Akenfield: Portrait of an English Village</i> (1969)』は、そういう「楽園」の実際の住民たちの談話を、作家ロナルド・ブライズ Ronald Blythe がまとめたものです。1960年代後半、戦後のイギリス社会が経験した大変革がようやく落ち着き、19世紀から続く大農業恐慌がようやく終わり、農村社会が豊かになり始めた頃、イングランドのある農村に住んでいた、実在の住民たちの声です。</p> <p>話し言葉を書き起こしたものが多くの部分を占めているので、そういった部分はアカデミックな硬い英語ではありません。むしろ、この時代や地域に独特の言い回しや方言がある程度書き込まれているので、そのへんが面白いところです。世の中には、公的な文書や研究書、あるいは文学作品などの「真面目な」文章よりも、小説やエッセイなどの「気楽な」文章の方が圧倒的に多いわけで、そういう硬くない英文を読むための読解力や知識の習得を目標のひとつとしています。それから、授業内容は基本的にテキストの精読になります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはそのテキストが「気楽な」エッセイであろうと「真面目な」研究論文であろうと、また千年前に書かれた古英語の文書だろうと、同じです。この「作法」をお伝えしたい、そういう授業です。</p> <p>評価方法 授業中の和訳に対する評価、および学期末レポート（3～4頁分の英文の和訳）。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50055	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	松本 和子	月2	10-201	1年 文一二(25,28) 文三(5,7,20) 理一(8,13)
<p>講義題目 はじめてのニュース英語</p> <p>目標概要 ニュース英語を繰り返し聞き、シャドイングを行うことで、ニュース番組で使われている「生の英語」の速さ・発音に慣れることを目指す。</p> <p>評価方法 シャドイング・授業参加・試験</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。</p> <p>書名 : Seeing the World through the News 3 著者（訳者） : Timoethy Knowles et al. 出版社 : Kinseido ISBN : 978-4-7647-4015-0</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50056	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	堀田 隆一	月2	153	1年 文一二(25,28) 文三(5,7,20) 理一(8,13)
<p>講義題目 英語を通じて見る言葉の変化</p> <p>目標概要 英語を中心に言葉の変化について論じる本を、グループで読み、議論する。英語や言語一般への向き合い方について、改めて考える機会としたい。</p> <p>評価方法 出席、指名された箇所の要約・発表課題、定期試験を総合して評価する。定期試験では、既読箇所について和訳、内容把握、意見論述を中心とした問題を出す。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。</p> <p>書名 : Language Change : Progress or Decay? (4th ed.) 著者（訳者） : Jean Aitchison 出版社 : Cambridge University Press ISBN : 9781107678927</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50057	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	サーギル ジェームズ クリストファー	月2	154	1年 文一二(25,28) 文三(5,7,20) 理一(8,13)
<p>講義題目 Writing Myth, Reading Culture: An Introduction to Folklore</p> <p>目標概要 This course will provide students with a foundation in working in English to conduct folkloric studies. Working through a series of comparative case studies, your class activities will be based around group discussions, screenings, in-class readings and student-led work - each designed to help develop your verbal, written and analytic skills in English language. Students will examine folklore from a cross-cultural perspective, exploring myths and legends from the geographical East and West. As well as assessing the role of folklore from both contemporary and historical viewpoints, the class will also introduce students to methodological approaches in the investigation of folklore. You will be required to write a research paper and give short presentations in English, as well as to undertake various homework tasks throughout the course (readings, creative assignments, compiling research etc.).</p> <p>評価方法 Attendance, Participation and Engagement: 20% Research Paper: 50% Presentation: 30%</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50058	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	メズールール ジェルマン	月2	K402	1年 文一二(25,28) 文三(5,7,20) 理一(8,13)
<p>講義題目 Introduction to Social Inequality Studies M2</p> <p>目標概要 This course will explore a range of social issues and situations faced by people in different societies around the world. Through learning and discussing these issues, students will develop their comprehension and communication skills in English.</p> <p>The course is designed to help you learn and understand important sociological issues, in English. You will learn new vocabulary, and also practice your English discussion and presentation skills.</p> <p>The exact topics covered will be decided in class, through discussions and votes, and could include:</p> <ul style="list-style-type: none"> Social Stratification Inequalities of Race and Ethnicity Gender Inequality Access to education etc. <p>Students will gain a better understanding of basic sociology, as well as use critical thinking to discuss possible solutions to some of the main social inequalities covered in the class.</p> <p>評価方法 25%: Digital Portfolio 25%: Presentation (2x12.5% or 1x25% depending on class size) 25%: Timed-essay in class 25%: Active participation and contribution to the class</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	曜限	教室	対象
50100	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	堀越 庸一郎	月3	152	1年 理一(15,22,27,31-32)
<p>講義題目 楽園はどこにある—Ronald Blythe, <i>Akenfield: Portrait of an English Village</i> (1969)を読む</p> <p>目標概要 あなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょうか。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、親密な人間関係のなかで、多少の悶着も厄介ごとも、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、そういう居心地のいい楽園。そこで繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつかこんな薄汚れた都会を離れて、緑に囲まれたコテージに住み、そういう「本当に確実なもの、本当に大切なもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ている。</p> <p>『エイケンフィールド：あるイングランドの村の肖像 <i>Akenfield: Portrait of an English Village</i> (1969)』は、そういう「楽園」の実際の住民たちの談話を、作家ロナルド・ブライズ Ronald Blythe がまとめたものです。1960年代後半、戦後のイギリス社会が経験した大変革がようやく落ち着き、19世紀から続く大農業恐慌がようやく終わり、農村社会が豊かになり始めた頃、イングランドのある農村に住んでいた、実在の住民たちの声です。</p> <p>話し言葉を書き起こしたものが多くの部分を占めているので、そういった部分はアカデミックな硬い英語ではありません。むしろ、この時代や地域に独特の言い回しや方言がある程度書き込まれているので、そのへんが面白いところです。世の中には、公的な文書や研究書、あるいは文学作品などの「真面目な」文章よりも、小説やエッセイなどの「気楽な」文章の方が圧倒的に多いわけで、そういう硬くない英文を読むための読解力や知識の習得を目標のひとつとしています。それから、授業内容は基本的にテキストの精読になります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはそのテキストが「気楽な」エッセイであろうと「真面目な」研究論文であろうと、また千年前に書かれた古英語の文書だろうと、同じです。この「作法」をお伝えしたい、そういう授業です。</p> <p>評価方法 授業中の和訳に対する評価、および学期末レポート（3～4頁分の英文の和訳）。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50101	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	小田 悠生	月3	107	1年 理一(15,22,27,31-32)
<p>講義題目 国際人口移動の基本概念と現代世界の諸課題</p> <p>目標概要 この授業では、平易な英語で書かれたテキスト、新聞記事、さらに専門的な論文を併用しながら、一般読者向けの報道から、入門者向けの概説書、難易度の高い専門書まで速読できる力を身につけます。中心とする指定教科書は、いわゆる「新書」相当のものであり、各自の専門分野・前提知識を問わず、アカデミックな文章を読解することができるようになることが目標です。</p> <p>リーディングのテーマは、国際人口移動です。移民とは誰を指すのかといった基本的問題に始まり、現代の世界において国境が持つ意味といった問題まで、様々な 이슈について考えてみましょう。</p> <p>評価方法 出席回数が三分の二を満たさない場合、単位は認めない。</p> <p>毎回の宿題提出：30% 授業内課題への取り組み：30% 定期試験：40%</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : International Migration: A Very Short Introduction. 2nd edition. 著者（訳者）：Khalid Koser 出版社 : Cambridge: Oxford UP, 2016. ISBN : 978-0198753773</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50102	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	石井 クンツ 昌子	月3	113	1年 理一(15,22,27,31-32)
<p>講義題目 英語で社会問題をディベートしよう Let's debate about social problems in English</p> <p>目標概要 この授業の最終目標は英語で自分の考えやアイデアを発表する能力を身につけることである。日本と米国の様々な社会問題についてディベートする。各トピックの議論への準備を周到にして、ディベートにより英語のリスニング、スピーキング、プレゼンテーション能力を養う。また、米国の社会問題を扱ったドキュメンタリー映画を視聴し、スモールグループディスカッションを行う。</p> <p>評価方法 出席率（欠席は3回までとし、4回以上の場合の評価は「不可」とする）、ディベートとデリバリー技術と内容、ディベートへの準備、ディベートとディスカッションへの積極的な参加、ディベートの勝敗、授業態度と英会話セッションへの参加</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50103	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	岩崎 徹	月3	149	1年 理一(15,22,27,31-32)
<p>講義題目 古典ミュージカルの台本を読む</p> <p>目標概要 シェイクスピアの『ロミオとジュリエット』の舞台を20世紀半ばのニューヨークに置き換えたミュージカル『ウェストサイド物語』は、今年が生誕100年にあたるレナード・バーンスタイン作曲、ジェローム・ロビンズ振付のダンスとともに最高レベルの作品で、現代の古典となった。授業では、アーサー・ロレンツの書いた舞台版の台本を映画版と比較しながら読む。シェイクスピアの原作との比較は翻訳を使用するが、シェイクスピアの台詞（原語）も随時参照する。『ウェストサイド』を批評するための英語資料も使用する。</p> <p>評価方法 試験の成績に出席、平常点を加味する。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Romeo and Juliet / West Side Story 著者(訳者) : Norris Houghton (introduction) 出版社 : Laurel-leaf Books</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50104	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	メズールール ジェルマン	月3	K402	1年 理一(15,22,27,31-32)
<p>講義題目 Introduction to Social Inequality Studies M3</p> <p>目標概要 This course will explore a range of social issues and situations faced by people in different societies around the world. Through learning and discussing these issues, students will develop their comprehension and communication skills in English. The course is designed to help you learn and understand important sociological issues, in English. You will learn new vocabulary, and also practice your English discussion and presentation skills. The exact topics covered will be decided in class, through discussions and votes, and could include: Social Stratification Inequalities of Race and Ethnicity Gender Inequality Access to education etc. Students will gain a better understanding of basic sociology, as well as use critical thinking to discuss possible solutions to some of the main social inequalities covered in the class.</p> <p>評価方法 25%: Digital Portfolio 25%: Presentation (2x12.5%) 25%: Timed-essay in class 25%: Active participation and contribution to the class</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50105	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	井上 博之	月3	10-303	1年 理一(15,22,27,31-32)
<p>講義題目 カート・ヴォネガット『スローターハウス5』を読む</p> <p>目標概要 アメリカ合衆国の作家カート・ヴォネガット (Kurt Vonnegut) の『スローターハウス5』(Slaughterhouse-Five、1969年)を講読します。多読と精読とを組み合わせてなるべく学期中の読了を目指し、ある程度の分量の英語を継続的に読む能力を身につけること、細部に注意を払って英文を精確に読めるようになること、会話文などから口語的な表現を学ぶこと、小説を読むおもしろさを実感してもらうことなどが授業の目標となります。あくまでも語学の授業なので今まであまり小説を読んでこなかった学生の受講も歓迎します。比較的平易な英語で書かれた小説ではありますが、2週目以降は毎回20ページほどのペースで進めていくので毎週の予習にある程度の時間がかかる授業であることは覚悟しておいてください(こちらからもできるかぎりのサポートはするつもりです)。受講希望者は初回の授業までにテキストを入手し、最初の章の書き出し4~5ページほどに目をとおしてきてください。時間があればジョージ・ロイ・ヒル監督による映画版(1972年)も授業中に扱います。</p> <p>評価方法 平常点(出席、予習、発表、議論への参加度など)が4割、数回行う小テストが3割、期末の持ち帰り試験あるいはレポートが3割を基本として総合的に判断します。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Slaughterhouse-Five 著者(訳者) : Kurt Vonnegut 出版社 : Dial Press ISBN : 978-0-385-33384-9</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	曜限	教室	対象
50106	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	志子田 祥子	月3	10-203	1年 理一(15,22,27,31-32)
<p>講義題目 Let's Read and Discuss</p> <p>目標概要 The aim of this course is to help students improve their reading and communication skills in English, through a range of student-centred activities designed to stimulate responses and promote social interactions in the classroom, including pair/group work and discussion.</p> <p>We will read a contemporary British author Zadie Smith's novella, 'The Embassy of Cambodia' (2013) as the core textbook. Set in Willesden, north-west London, it is an absorbing story about the life of a young migrant worker from the Ivory Coast, filled with resonant imagery.</p> <p>It is hoped that carefully reading this novella together will help students to develop their reading fluency and to learn to enjoy authentic texts, as well as will open up new horizons for students.</p> <p>評価方法 Active class participation and significant contribution (approx. 30%); successful completion of a series of activities and assignments, including presentations and vocabulary quizzes (approx. 70%).</p> <p>理由の如何にかかわらず、授業開始後30分以上の遅刻、および授業終了30分以前の早退は欠席とみなす。遅刻・早退2回で欠席1回とみなす。3回以上の欠席は不可。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。</p> <p>書名 : The Embassy of Cambodia 著者(訳者) : Zadie Smith 出版社 : Hamish Hamilton/ Penguin Books ISBN : 978-0-241-14652-1</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50174	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	井上 博之	月4	10-303	1年 理一(16-18) 理二三(5,23-24)
<p>講義題目 カート・ヴォネガット『スローターハウス5』を読む</p> <p>目標概要 アメリカ合衆国の作家カート・ヴォネガット (Kurt Vonnegut) の『スローターハウス5』(Slaughterhouse-Five、1969年)を講読します。多読と精読とを組みあわせてなるべく学期中の読了を目指し、ある程度の分量の英語を継続的に読む能力を身につけること、細部に注意を払って英文を精確に読めるようになること、会話文などから口語的な表現を学ぶこと、小説を読むおもしろさを実感してもらうことなどが授業の目標となります。あくまでも語学の授業なので今まであまり小説を読んでこなかった学生の受講も歓迎します。比較的平易な英語で書かれた小説ではありますが、2週目以降は毎回20ページほどのペースで進めていくので毎週の予習にある程度の時間がかかる授業であることは覚悟しておいてください(こちらからもできるかぎりのサポートはするつもりです)。受講希望者は初回の授業までにテキストを入手し、最初の章の書き出し4~5ページほどに目をとおしてきてください。時間があればジョージ・ロイ・ヒル監督による映画版(1972年)も授業中に扱います。</p> <p>評価方法 平常点(出席、予習、発表、議論への参加度など)が4割、数回行う小テストが3割、期末の持ち帰り試験あるいはレポートが3割を基本として総合的に判断します。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。</p> <p>書名 : Slaughterhouse-Five 著者(訳者) : Kurt Vonnegut 出版社 : Dial Press ISBN : 978-0-385-33384-9</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50175	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	佐藤 光	月4	153	1年 理一(16-18) 理二三(5,23-24)
<p>講義題目 英語の小説を聴きながら読む</p> <p>目標概要 朗読の音声を聞きながら、小説を読むことによって、聴解力と読解力の向上を目指します。小説は、説明文と日常会話から構成されているという意味で、外国語を学ぶためには最適の教材です。今回使用する教材には、20世紀初頭のアメリカを舞台として「善人」が多く登場します。善意が幸せを呼ぶこともあれば、裏目に出ることもあり、人生について考えてみたい人、心の洗濯をしてみたい人、「善人」は胡散臭いけれど、だから興味があるという人、そもそも英語で短編小説を読むという体験をしてみたい人、を歓迎します。</p> <p>評価方法 定期試験と授業時の質問に対する回答状況をふまえて、総合的に判断します。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。</p> <p>書名 : O.ヘンリー短篇集 出版社 : 朝日出版社 ISBN : 978-4-255-15126-7</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50176	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	石井 クンツ 昌子	月4	113	1年 理一(16-18) 理二三(5,23-24)
<p>講義題目 英語で社会問題をディベートしよう Let's debate about social problems in English</p> <p>目標概要 この授業の最終目標は英語で自分の考えやアイデアを発表する能力を身につけることである。日本と米国の様々な社会問題についてディベートする。各トピックの議論への準備を周到にして、ディベートにより英語のリスニング、スピーキング、プレゼンテーション能力を養う。また、米国の社会問題を扱ったドキュメンタリー映画を視聴し、スモールグループディスカッションを行う。</p> <p>評価方法 出席率(欠席は3回までとし、4回以上の場合の評価は「不可」とする)、ディベートとデリバリー技術と内容、ディベートへの準備、ディベートとディスカッションへの積極的な参加、ディベートの勝敗、授業態度と英会話セッションへの参加</p> <p>教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。</p>						
50177	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ナルト デリック	月4	103	1年 理一(16-18) 理二三(5,23-24)
<p>講義題目 Creative Thinking</p> <p>目標概要 Albert Einstein once said that "creative imagination" is central to scientific progress. Apple Co-Founder Steve Jobs, like many business leaders nowadays, likewise stressed that creativity differentiates average individuals and companies from exceptional ones. As important as creativity as said to be in today's competitive global economy, what the creative process requires or involves is usually left unexplained. This course, therefore, aims to familiarize participants with what creative thinking entails, why it is important, where it comes from, and how individuals can improve their critical faculties to enable them to thrive in our era of rapid technological, social, political and economic change. By the end of the course students, besides improving their English speaking, listening, and writing skills, will learn: -- how some of the greatest innovators in human history have applied creative thinking to achieve breakthroughs in the realms of science, business, and the arts -- how they can overcome thinking blocks, formulate effective questions, create the right environment for creative thinking, and turn their creative thoughts into action</p> <p>評価方法 Writing assignments: 30% (10% + 20%) Presentations: (2 x 20) 40% Participation: 30%</p> <p>教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。</p>						
50178	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	高橋 和子	月4	10-201	1年 理一(16-18) 理二三(5,23-24)
<p>講義題目 TOEFL/TOEICの後は、名作を英語で読もう</p> <p>目標概要 本授業では、授業前半でTOEFLやTOEICのreading問題を扱う。授業後半では、英語を学ぶ大学生ならば理科系・文科系に関わらず、一度は英語で読んでおきたい名作の名場面を取り上げる。随時、名作の中心場面の映像(映画)の視聴、ディスカッション・プレゼンテーションを取り入れることによって、バランスのとれた英語力育成を目標にする。</p> <p>評価方法 授業参加度: 60%、出席 (TOEFL/TOEICのreading問題、名作に対する課題を含む)、ディスカッション、プレゼンテーションの成果を含む。 定期試験・レポート: 40%</p> <p>教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	曜限	教室	対象
50179	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	グレノン イザベル	月4	10-308	1年 理一(16-18) 理二三(5,23-24)
<p>講義題目 Professional presentation skills</p> <p>目標概要 The main objective of this course is to enable students to develop the skills necessary to properly organise, articulate and support their ideas, whether presented in written or oral form. These skills include the ability to give and reply to criticism, and to make effective use of PowerPoint.</p> <p>Although the class assignments will focus primarily on academic presentations, the skills developed throughout this class are applicable to other domains, such as the preparation of marketing pitches, job interviews, progress reports, and so on.</p> <p>This class combines a variety of in-class activities and homework (e.g. preparation of the script and PowerPoint for the formal presentations). Every student will be required to speak, one way or another, at every class.</p> <p>評価方法 Preparation 30% Presentations 70%</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50180	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	加藤 恒昭	月4	155	1年 理一(16-18) 理二三(5,23-24)
<p>講義題目 科学エッセイを読む</p> <p>目標概要 <i>The Best American Science and Nature Writing 2017</i> に収録されている科学エッセイ (非専門家向けのエッセイ、分野は偏らないように選択) を読んでいくことを通じて、論述のための構文と文章構成および科学関連語彙に関する理解を深める。週2,000語 (4-5頁) 程度ずつ読み進んでいき、1-3週でひとつのエッセイを読み終わる。議論の流れを掴みつつ、大事な部分を丁寧に読んでいくことを心がける。該当箇所はプリントにて配布する (書籍の形で持っていたい場合は参考文献参照)。</p> <p>語彙力を補強するために、「東大英単」(UTASシラバス「参考書」参照) より自然科学で用いられることが多い語を選び、小テストを実施する。</p> <p>評価方法 予習報告状況、授業時間中の単語小テスト (UTASシラバス「授業の方法」参照)、学期末の筆記試験を20%、40%、40%ずつの割合で評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50250	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	サーギル ジェームズ クリストファー	火1	103	1年 文一二(21-23) 理一(21)理二三(16)
<p>講義題目 Ecologies of Capital: culture, space and society</p> <p>目標概要 This reading-based course provides students with an opportunity to engage in critical, cultural and geographic theory, exploring the relationship between geography, capitalism and culture through English language texts. The course will be organised around key ideas taken from the writings of Karl Marx (e.g. the commodity, fetishism, phantasmagoria), with each class used to explore a specific Marxist concept in relation to the spaces and cultures of capitalism. The course will make use of a series of interesting examples from popular culture as a basis for conducting discussions (in English) on capitalism's role in the shaping of class, gender and race. The course will introduce students to a range of thinkers from across the academic world, developing their knowledge of how and where critical and cultural theory can be applied in the analysis of contemporary capitalism. A number of short readings will provide opportunities for class discussion and will develop comprehension of the text itself. Students will be expected to read excerpts of texts and short articles in English on a weekly basis as preparation for in-class activities.</p> <p>評価方法 Attendance, Participation and Engagement: 20% Presentation: 30% Research Paper: 50%</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	曜限	教室	対象
50251	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	河合 祥一郎	火1	E42	1年 文一二(21-23) 理一(21)理二三(16)
<p>講義題目 オスカー・ワイルド原作の映画『理想の結婚』を観る／理解する</p> <p>目標概要 オスカー・ワイルド作『The Ideal Husband』(邦題「理想の結婚」)を授業で少しずつ観ながら原文を確認していきます。虫食いになったスクリプト(テキスト)を示すので、聞きとり穴埋め問題を行いながら、内容を確認します。自宅で予習してくる必要があるのも、映画を観る＝楽勝と誤解しないように。また、毎回授業の初めにTOEICの語彙の小テストを行い、語彙力を維持します。毎回発音指導を行い、そのための早口言葉を覚えてもらいます。</p> <p>評価方法 毎回の小テストとクラスでの取り組み姿勢を評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50252	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	松本 和子	火1	10-201	1年 文一二(21-23) 理一(21)理二三(16)
<p>講義題目 はじめてのニュース英語</p> <p>目標概要 ニュース英語を繰り返し聞き、シャドイングを行うことで、ニュース番組で使われている「生の英語」の速さ・発音に慣れることを目指す。</p> <p>評価方法 シャドイング・授業参加・試験</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Seeing the World through the News 3 著者(訳者) : Timothy Knowles et al. 出版社 : Kinseido ISBN : 978-4-7647-4015-0</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50253	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	平沢 慎也	火1	151	1年 文一二(21-23) 理一(21)理二三(16)
<p>講義題目 英語の自律的学習者になる方法を学ぶ：アメリカのTVドラマ Full House を題材に</p> <p>目標概要 アメリカのTVドラマ Full House のエピソードを2つ扱います。この講義の短期的な達成目標は、(1)自分でドラマや映画を見て出会った様々な表現について「おや、これはひょっとしてよくある言い回しでは？」と思えるようになること、(2)それが本当によくある言い回しであるかどうかを自分で調べられるようになること、(3)その言い回しを自分でも使ってみたい(または使えそう)と思えるようになること、の3つです。長期的な目標として見据えているのは、「どんな英文も単語の連なりではなくフレーズの連なりに見える」というレベルに達することです。</p> <p>評価方法 グループ発表(30%) + 毎週の小テスト(70%)</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50254	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	WILSON BRENDAN	火1	152	1年 文一二(21-23) 理一(21)理二三(16)
<p>講義題目 Reading and Listening Comprehension</p> <p>目標概要 The aim of this course is to improve practical comprehension skills for reading and listening.</p> <p>評価方法 At the end of the semester, there will be a test of students' reading and listening comprehension skills.</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50255	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	佐原 彩子	火1	153	1年 文一二(21-23) 理一(21)理二三(16)
<p>講義題目 New Windows on America: Reading the Atlantic Articles</p> <p>目標概要 The goal is to read articles in English (specifically articles from <i>The Atlantic Magazine</i>) to understand current issues of the U.S. in English. Students need to read an article a week to gain information in English and to be familiar with various issues in English. Through this course, students will improve their reading skills qualitatively as well as quantitatively through various activities in classes and at home.</p> <p>評価方法 Quizzes and Class Activities (including discussions (50%)/Two Essays (50%)</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	曜限	教室	対象
50256	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	山本 史郎	火1	157	1年 文一二(21-23) 理一(21)理二三(16)
<p>講義題目 英語を深く読む</p> <p>目標概要 哲学的議論、科学エッセイ、小説など様々のジャンルの英文を読み、そこに表現されている意味を読みつくし、contextやimplicationを探索し、レトリックを徹底的に分析する。文章に書かれていること、書かれていないことを読みつくすのが目標。</p> <p>評価方法 授業への参加と定期試験による。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50511	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	Williams David	火5	102	1年 理二三(12,14,19)
<p>講義題目 Intermediate Reading, Thinking & Discussion</p> <p>目標概要 The purpose of this class is to build students' English language reading and thinking skills beyond simple description to a more critical and analytical point. Taking a contemporary, thematic approach students will critically examine and consider authentic and semi-authentic texts in groups where texts will be revisited after in depth pre-class reading. The themes explored in class will be exclusively on contemporary British culture.</p> <p>At the end of this course it is expected that students will be able to critically consider and assess a wide range of contemporary topics of domestic and international significance. Students will find that the skills acquired in this class will assist in expressing themselves in other areas of their academic studies, and later in their professional lives.</p> <p>評価方法 Assessment for this class will be based on evidence of completed homework reading (40%), active class participation, two forum-based presentations (30%), and a final assessment (30%). In order to gain a top grade for this course students are expected to make an original and unique contribution to each class.</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50512	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	牛村 圭	火5	108	1年 理二三(12,14,19)
<p>講義題目 <i>New York Times</i> で世界を読む</p> <p>目標概要 <i>New York Times</i> に掲載された署名入り記事に注釈が付された教材を精読する。さまざまな今日の諸問題が、英語ではどのように表現されて論じられているかを知る機会とするにとどまらず、学生諸君の文理にわたる知的関心を高めることをも目指したい。</p> <p>評価方法 担当した訳文の発表を含めた平常点、学期中に実施の語彙力テスト、そして学期末の筆記試験による。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : ニューヨークタイムズの窓から 出版社 : 英宝社、2014年</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50513	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	藤尾 美佐	火5	10-201	1年 理二三(12,14,19)
<p>講義題目 世界で勝つための英語プレゼンテーション</p> <p>目標概要 英語コミュニケーションにおいて、プレゼンテーション(以下プレゼン)は不可欠なスキルである。また他のスキルと比べ、パフォーマンス的要素も強く、プレゼンスキルを学ぶことによって、英語の非母語話者であっても、母語話者以上のプレゼンターになることができる。本コースでは、英語のプレゼンに必要な基本的なスキル(プレゼンの構成、資料作成、英語のデリバリー、非言語コミュニケーション(ジェスチャー、アイコンタクトなど)の効果的な使い方)を学んだ後、授業内でグループ・プレゼンテーションを実施する。さらに、他のグループおよび自分自身のプレゼンのレビューを行うことにより、洞察を深めていく。授業は、英語と日本語の両方で行う(インストラクションにも極力英語を使用する予定)。</p> <p>評価方法 授業への積極的な参加・提出物・プレゼンテーション・レポート</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 20ステップで学ぶ 日本人だからこそできる英語プレゼンテーション 著者(訳者) : 藤尾 美佐 出版社 : DHC出版</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	曜限	教室	対象
50514	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	新田 万里江	火5	150	1年 理二三(12,14,19)
<p>講義題目 Reading American Cuisine and Identities</p> <p>目標概要 本クラスでは、Aセメスターを通してアメリカ研究者によって書かれたアメリカの食文化に関する学術論文と詩を読解する。学術論文及び詩の講読を通して英語の語彙や論理構造等の理解を深めることで、英文の読解力を高める。アメリカの食文化に関する論考を通して、アメリカ社会そして世界の中のアメリカの様々な問題を英語で読み考える力を養う。また、関連する史料や文学・映像作品を通してアメリカ研究の主要な概念を英語で学び、自ら応用する力を身につける。</p> <p>評価方法 グループディスカッション 40% ジャーナル 40% レポート 20%</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50515	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	RICINSCHI Dan	火5	158	1年 理二三(12,14,19)
<p>講義題目 English Lectures on General Physics</p> <p>目標概要 This course will provide lectures on a series of Physics topics selected to ensure a balance between presentation of basic concepts and terminology, diagrams and formulas as well as proper reasoning about the underlying principles and mechanisms, using adequate English language. Although mainly intended for students interested to major in sciences, effort is made to select stand-alone content, presented so that it could be accesible to those specializing in other areas as well.</p> <p>The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on two fronts: (i) comprehension of the studied Physics topics and (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various scientifically-valid perspectives, analyze problems, provide solutions and envision applications.</p> <p>評価方法 Attendance and participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70% While emphasis in evaluation will not be on the mastering of the Physics content itself, highest grades will require a good performance with respect to both (i) and (ii) objectives.</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50546	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	松本 和子	水1	10-201	1年 理一(7,12,33,38)
<p>講義題目 はじめてのニュース英語</p> <p>目標概要 ニュース英語を繰り返し聞き、シャドイングを行うことで、ニュース番組で使われている「生の英語」の速さ・発音に慣れることを目指す。</p> <p>評価方法 シャドイング・授業参加・試験</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Seeing the World through the News 3 著者(訳者) : Timothy Knowles et al. 出版社 : Kinseido ISBN : 978-4-7647-4015-0</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	曜限	教室	対象
50547	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	武田 将明	水1	150	1年 理一(7,12,33,38)
<p>講義題目 Critical Reading of Literary Texts</p> <p>目標概要 現代の英語圏文学を批評的に読む。批評的に読むためには、作品の書かれた背景を知ることが必要だが、何よりも一定の長さの英文をじっくりと読み、前後の文脈やレトリックにも注意しながら、文学作品特有の意味の広がりや理解し、感じ取ることが重要である。</p> <p>上記の目標を意識しながら、4篇の特徴の異なる作品を読むことで、英文読解のセンスを磨くことができるだろう。また、各自が批評的な読みを言語化するために、4本の英文エッセイを提出してもらい、その内容に基づいた英語のディスカッションも行いたい。事前に作品について深く考えることで、話すこと自体が得意でない人も議論に参加できるようになるはずである。</p> <p>最終的には、英語を用いて批評的な言葉を話し、書くことへの動機づけができれば、今後の専門的な学習にも役立つことだろう。</p> <p>評価方法 授業への貢献（出席だけではなく、講師の質問への解答や、学生からの良質な質問を元に貢献度を判定する、ディスカッションでの貢献もここに含まれる）30%、4本の英文エッセイ（150～250語程度）40%、定期試験 30%</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50548	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	オデイ ジョン	水1	K303	1年 理一(7,12,33,38)
<p>講義題目 Philosophy (Applied Ethics)</p> <p>目標概要 This is a content-oriented course that focuses on topics in Philosophy, and Applied Ethics in particular. We will first cover some of the major philosophical approaches to ethical issues, such as virtue theory, utilitarianism, and others. With this as background, students will be presented with an ethical issue, read about it, and present the arguments in class and lead a discussion. Possible topics include:</p> <ul style="list-style-type: none"> * Human Rights * Hunger and Poverty * War and Violence * Gender Roles and Morality * Racial and Ethnic Discrimination <p>評価方法 Weekly participation in class discussion, and one major class presentation.</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50549	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	小野瀬 宗一郎	水1	152	1年 理一(7,12,33,38)
<p>講義題目 20世紀の名演説を英語で読む</p> <p>目標概要 <i>The Penguin Book of Twentieth-Century Speeches</i> 所収の演説を講読・朗読し、英語の読解力と発音・アーティキュレーションの向上を目指す。</p> <p>評価方法 平常点（出席・授業態度）30% 小テスト 30% 最終課題 40%</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : <i>The Penguin Book of Twentieth-Century Speeches</i> 著者（訳者）: Brian MacArthur (ed.) 出版社 : Penguin ISBN : 140285008</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50550	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ダルグリーシュ プレガム	水1	115	1年 理一(7,12,33,38)
<p>講義題目 Ideas and Thinkers</p> <p>目標概要 Thought is the means by which we elaborate who we are, assert our membership of a culture, authorise institutions within society, and make claims upon each other. Indeed, without any philosophical reflection upon society and politics, life today would have neither rationale nor articulated meaning. It is thus precisely at the cross-roads between our daily practices and taken for granted ideas that this course is situated in terms of an examination and critical analysis of a range of texts at the core of the intellectual inheritance of the West.</p> <p>Objectives:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. reading, analysing and synthesising academic texts; 2. presenting, elaborating and defending arguments orally; 3. taking part in seminars and academic discussions; 4. structuring and organising ideas in a coherent and logical written form. <p>評価方法 Student presentation (individually or in groups, depending on student enrolment for the course) = 30%; Seminar participation = 30%; End of semester written short response paper = 40%.</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50551	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ナルト デリック	水1	103	1年 理一(7,12,33,38)
<p>講義題目 Creative Thinking</p> <p>目標概要 Albert Einstein once said that "creative imagination" is central to scientific progress. Apple Co-Founder Steve Jobs, like many business leaders nowadays, likewise stressed that creativity differentiates average individuals and companies from exceptional ones.</p> <p>As important as creativity as said to be in today's competitive global economy, what the creative process requires or involves is usually left unexplained. This course, therefore, aims to familiarize participants with what creative thinking entails, why it is important, where it comes from, and how individuals can improve their critical faculties to enable them to thrive in our era of rapid technological, social, political and economic change.</p> <p>By the end of the course students, besides improving their English speaking, listening, and writing skills, will learn:</p> <ul style="list-style-type: none"> -- how some of the greatest innovators in human history have applied creative thinking to achieve breakthroughs in the realms of science, business, and the arts -- how they can overcome thinking blocks, formulate effective questions, create the right environment for creative thinking, and turn their creative thoughts into action <p>評価方法 Writing assignments: 30% (10% + 20%) Presentations: (2 x 20) 40% Participation: 30%</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50832	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	グレノン イザベル	木2	10-303	1年 理一(6,11,30,39) 理二三(21)
<p>講義題目 Professional presentation skills</p> <p>目標概要 The main objective of this course is to enable students to develop the skills necessary to properly organise, articulate and support their ideas, whether presented in written or oral form. These skills include the ability to give and reply to criticism, and to make effective use of PowerPoint.</p> <p>Although the class assignments will focus primarily on academic presentations, the skills developed throughout this class are applicable to other domains, such as the preparation of marketing pitches, job interviews, progress reports, and so on.</p> <p>This class combines a variety of in-class activities and homework (e.g. preparation of the script and PowerPoint for the formal presentations). Every student will be required to speak, one way or another, at every class.</p> <p>評価方法 Preparation 30% Presentations 70%</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	曜限	教室	対象
50833	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	戸谷 陽子	木2	10-203	1年 理一(6,11,30,39) 理二三(21)
<p>講義題目 アカデミックプレゼンテーション</p> <p>目標概要 大学での授業をはじめ、研究会やパネルディスカッションなど、アカデミックな状況において、英語で口頭発表を行うための方法とスキルを学び、ワークショップ形式で実践することにより、実際に使える技術として身につける。</p> <p>評価方法 授業時の発表と課題提出、期末発表と最終ポートフォリオを総合的に評価する。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Giving Academic Presentations, Second Edition 2nd ed. 著者(訳者) : Susan M. Reinhart 出版社 : The University of Michigan Press ISBN : 9780472035090</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50834	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	平賀 優子	木2	152	1年 理一(6,11,30,39) 理二三(21)
<p>講義題目 英語発音演習—発音力から聴解力へ—</p> <p>目標概要 この授業では英語の発音力を磨いて聴解力の向上を目指します。発音練習(音読)は、模倣からのみでなく音声学の理論(特に、IPA: International Phonetic Alphabet)やシャドーイング、オーバーラッピングの手法を用いて行います。また、英語の学習の方法も随時紹介し、自学自習ができる能力を養成します。</p> <p>評価方法 定期試験、平常点</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 英語音声の基礎と聴解トレーニング 著者(訳者) : 杉森 幹彦他 出版社 : 金星堂</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50835	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	寺澤 盾	木2	151	1年 理一(6,11,30,39) 理二三(21)
<p>講義題目 プレゼンテーションの基礎</p> <p>目標概要 本授業では、英語によって明晰かつ説得力のあるプレゼンテーションを行うことを目標にする。そのために、まず、モデルとなるプレゼンテーションのビデオを視聴し、その後、発表原稿の作成の仕方を学んでいく。併せて、発表に関する質疑応答のスキル、発表をより効果的に行うためのハンドアウトや視覚的資料の使い方についても学んでいく。</p> <p>評価方法 授業への参加度、提出課題、プレゼンテーションなどを総合して評価する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50836	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	アンダル ジャクリーン	木2	103	1年 理一(6,11,30,39) 理二三(21)
<p>講義題目 Reading Texts</p> <p>目標概要 This presentation-based course will use British drama texts to improve students' ability to speak more effectively in English. The goal of this course is to develop intelligible pronunciation, stress and intonation patterns through the reading of texts. Students will be expected to assimilate a range of features linked to oral fluency in a contextualised manner. The course will help students to experiment with language in terms of tone of voice, register, jargon and rhythm. Texts will be utilised to provide an opportunity for reproducing authentic speech and to improve comprehension.</p> <p>評価方法 Grades will be based on individual or group presentations and written commentaries.</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50837	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	土屋 和代	木2	154	1年 理一(6,11,30,39) 理二三(21)
<p>講義題目 アメリカの黒人解放運動を読む</p> <p>目標概要 奴隷としての身分から解放されて以降も「二級市民」としての地位を押しつけられてきたアメリカ黒人たちが、自らの権利を求め立ち上がった運動の歴史について、米国を代表する神学者ジェームズ・H・コーンの著作を読み、学ぶ。黒人解放運動の特色を理解するとともに、1960年代の社会運動が今日のアメリカ社会にどのような影響を与えているのかを考察する。</p> <p>コーンの著作を通して、語彙、成句、パラグラフの構成や展開を学び、英文読解力を向上させる。また、関連する映画、ドキュメンタリーを視聴し、リスニング力を鍛えるとともに、背景となるアメリカの黒人解放運動と神学、20世紀の米国の歴史と文化についての理解を深める。</p> <p>評価方法 出席・授業への貢献20%、定期試験50%、コメント及びレポート30%</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50888	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	戸谷 陽子	木3	10-203	1年 文一二(17)文三(4,8)
<p>講義題目 アカデミックプレゼンテーション</p> <p>目標概要 大学での授業をはじめ、研究会やパネルディスカッションなど、アカデミックな状況において、英語で口頭発表を行うための方法とスキルを学び、ワークショップ形式で実践することにより、実際に使える技術として身につける。</p> <p>評価方法 授業時の発表と課題提出、期末発表と最終ポートフォリオを総合的に評価する。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。</p> <p>書名 : Giving Academic Presentations, Second Edition 2nd ed. 著者(訳者) : Susan M. Reinhart 出版社 : The University of Michigan Press ISBN : 9780472035090</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50889	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	アンダル ジャクリーン	木3	103	1年 文一二(17)文三(4,8)
<p>講義題目 Reading Drama Texts</p> <p>目標概要 This presentation-based course will use British drama texts to improve students' ability to speak more effectively in English. The goal of this course is to develop intelligible pronunciation, stress and intonation patterns through the reading of the text. Students will be expected to assimilate a range of features linked to oral fluency in a contextualised manner. The course will help students to experiment with language in terms of tone of voice, register, jargon and rhythm. Texts will be utilised to provide an opportunity for reproducing authentic speech and to improve comprehension.</p> <p>評価方法 Grades will be based on individual or group presentations and written commentaries.</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50890	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	中山 匡美	木3	10-303	1年 文一二(17)文三(4,8)
<p>講義題目 ニュース英語でインプットからアウトプットへ</p> <p>目標概要 日本の出来事、あるいは日本とも関係の深い世界的な出来事についてのニュースの英文を文字と音声で正しく理解し、ニュースで頻繁に使われる語彙や表現を自分の言葉として使えるようになることを目標とする。</p> <p>評価方法 3回以上欠席した学生は評価の対象とならない。授業への参加姿勢、小テスト、課題、定期試験を総合して評価する。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。</p> <p>書名 : 時事英語の総合演習—2018年度版— 著者(訳者) : 堀江洋文、加藤香織、小西和久、宮崎修二、内野泰子 出版社 : 朝日出版社 ISBN : 978-4-255-15626-2</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50891	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	久世 恭子	木3	149	1年 文一二(17)文三(4,8)
<p>講義題目 “Language Myths”と“Pygmalion”</p> <p>目標概要 言語に関する「神話」について言語学者が一般向けに解説するテキストを教材とし、読解力向上を目指すだけでなく、言語神話形成の背景にある社会問題や文化への関心も養う。また、内容に関連のある戯曲Pygmalionの読み合わせや映画My Fair Ladyの視聴などを取り入れることにより、文学的な作品の特徴にも触れる。</p> <p>評価方法 授業参加・発表20、小テスト20、課題10、筆記試験 50</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Language Myths 著者(訳者) : Laurie Bauer & Peter Trudgill (eds.) 出版社 : Penguin ISBN : 978-0-14-026023-6</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50892	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	菅原 克也	木3	150	1年 文一二(17)文三(4,8)
<p>講義題目 英語の短篇小説を読み味わう</p> <p>目標概要 キャサリン・マンスフィールドの短篇“The Garden Party”と“Bliss”をテキストとして、英語で書かれた文学作品(小説)の読み味わい方を学ぶ。英語の文章の理解や文脈の把握において、あえて日本語に訳すという手続きを取り入れる。単に「訳す」だけではなく、文学のテキストとしての意味の把握を目指す。</p> <p>評価方法 平常点(毎回の授業で何らかの課題の提出を求める) 30% 試験 70%</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
51039	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	広瀬 友紀	金1	E38	1年 文一二(13)文三(18) 理一(29)理二三(6)
<p>講義題目 読むこと聴くことによる情報収集の訓練</p> <p>目標概要 さまざまな社会問題や、科学的トピックを紹介するインターネット記事やドキュメンタリー映像教材をとおして、共通のトピックを軸にした複数の情報源から内容を読んで、聴いて理解する、情報の関連性を見いだす、知識を整理する、という訓練を繰り返します。</p> <p>評価方法 授業内外の課題・クイズの積み重ね</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
51040	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ポター サイモン	金1	107	1年 文一二(13)文三(18) 理一(29)理二三(6)
<p>講義題目 An Introduction to Ethics in Various Traditions</p> <p>目標概要 To provide an experience similar to learning from lectures at a top university in the English-speaking world, and to provide basic information and insights into important ethical concepts from various traditions, mostly religious, in the world.</p> <p>評価方法 The course grade will be determined according to the summation of scores earned on the in-class activities. The key criteria are relevant information and validity of argumentation.</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : An Interview with Pranavichara about the Subject of Ethics</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51041	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	佐藤 洋一	金1	10-303	1年 文一二(13)文三(18) 理一(29)理二三(6)
講義題目 Bridging comprehension and practice 目標概要 本コースでは、映像教材を用いて、英語圏の言語と文化の両方の理解を深めていくことを目指します。毎回の授業で英語圏の文化の理解に必要な、様々なトピックでの単語・熟語の学習を行います。また、題材となる教材の理解に必要な単語や熟語、文法項目の理解度チェックを行い、かつ学習した項目をベースに、実際の運用を考えていきます。 評価方法 本コースの評価方法は以下の通りです。 出席 20% 授業態度 20% 発表 20% 定期試験 40% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
51042	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	川崎 修一	金1	151	1年 文一二(13)文三(18) 理一(29)理二三(6)
講義題目 「学校では扱われない英語の文法や構文」に関する文献を読む 目標概要 本授業の目標は、一義的には学術的な英文を完璧に読むための読解力の養成である。また、学校文法で扱われることのない文法や構文などの言語現象に関する様々な文献を読み、英語についての洞察を深めることを第二の目標とする。 評価方法 小テスト (40%) と定期試験 (60%) 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
51043	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	清水 徹郎	金1	K303	1年 文一二(13)文三(18) 理一(29)理二三(6)
講義題目 Reading and Listening to <i>The New York Times</i> 目標概要 インターネット版 <i>The New York Times</i> から記事とビデオを選び、リスニングとリーディングの演習を行う。リスニングでは生の英語に慣れ、大意を把握できるようになることを目標とする。リーディングでは、用語・慣用表現に加えて、レトリックと論理の組み立てについても正確に読みとれるようになることを目指す。質疑・説明・ディスカッション等は、すべて英語で行う。授業の終わりに英語で短いコメントを書いて提出。また復習を兼ねた小テストを定期的に行い、語彙力の増進を図る。 評価方法 平常点 (出席、予習状況を含む総合的学習態度) 約25% + 小テスト他の合計約35% + 定期試験約40%をめやすとする。欠席・遅刻の多い場合 (欠席3回超、なお遅刻3回で欠席1回に換算) は、上記のめやすに関わらず「不可」の評価とする。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : The New York Times (Digital Subscription at the Academic Rate) 著者 (訳者) : The New York Times 出版社 : The New York Times 毎回予習用に通達するURLから教材記事へのアクセスは可能ですが、関連記事を読むにはデジタル版定期購読が必要なので、Academic Rateで1月までの定期購読を強く勧めます。https://www.nytimes.com/subscriptions/inyt/edu/lp8LXQ6.html?campaignId=6Y4QR ガイダンス 特に行わない。						
51122	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	遠藤 泰生	金3	102	1年 文三(9,13) 理一(24)理二三(8,11)
講義題目 海洋文化の歴史 目標概要 世界の大陸が探検踏査の対象となり、山や河が次々と「発見」されたのとは違い、海の底は人類にとって未踏のフロンティアで長くあり続けた。海の底に何があるのか、われわれが知ったのはそれほど昔のことではない。そもそも、海岸に出掛けて潮風にあたりといった文化が生まれたのだから、ごく最近のこと。そうした海洋文化の歴史を綴った研究書を読んでみる。歴史学・科学史・地域文化研究の専門書に慣れることに授業の目的をおく。不足している知識は、随時、授業で補う。 評価方法 授業への参加と語彙小テスト、および定期試験。 教科書 プリントを配布する。 書名 : Fathoming the Ocean: The Discovery and Exploration of the Deep Sea 著者 (訳者) : Helen M. Rozwadowski 出版社 : The Belknap Press of Harvard University Press ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51123	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ミルズ アンソニー	金3	10-303	1年 文三(9,13) 理一(24)理二三(8,11)
<p>講義題目 Reading, Listening and Discussion in English: Asperger Syndrome</p> <p>目標概要 In this course, you will develop your ability to understand written and spoken English. You will also have the chance to take part in discussion work. The course materials concentrate on the theme of autism in society, paying particular attention to Asperger Syndrome.</p> <p>評価方法 Grading will be based on a combination of scores for written work and classwork. There is no final test but you will write several short texts in class and at home, some of which will be graded. You will also write a final essay of approximately 500 words (in English) at the end of the course.</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : The Curious Incident of the Dog in the Night-Time 著者(訳者) : Haddon, Mark 出版社 : Vintage</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
51124	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	大橋 理枝	金3	103	1年 文三(9,13) 理一(24)理二三(8,11)
<p>講義題目 Rhetorical Criticism</p> <p>目標概要 コミュニケーション学の分野で扱われる「レトリック批評」の理論を学ぶと共に、それを応用して実際に作品を分析してみる。</p> <p>評価方法 二度のグループ発表及び授業中に行う小テストの結果で総合的に判断する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
51125	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	寺澤 盾	金3	151	1年 文三(9,13) 理一(24)理二三(8,11)
<p>講義題目 プレゼンテーションの基礎</p> <p>目標概要 本授業では、英語によって明晰かつ説得力のあるプレゼンテーションを行うことを目標にする。そのために、まず、モデルとなるプレゼンテーションのビデオを視聴し、その後、発表原稿の作成の仕方を学んでいく。併せて、発表に関する質疑応答のスキル、発表をより効果的に行うためのハンドアウトや視覚的資料の使い方についても学んでいく。</p> <p>評価方法 授業への参加度、提出課題、プレゼンテーションなどを総合して評価する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
51126	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	勅使河原 三保子	金3	153	1年 文三(9,13) 理一(24)理二三(8,11)
<p>講義題目 英語で提供された情報の理解と分析</p> <p>目標概要 話題性のある事柄や現代社会の諸問題をテーマとしたオンライン記事を読んだり動画を視聴したりすることにより、英語で提供された情報の理解と分析の訓練を行います。同じテーマでも異なる見解に立って書かれた記事を比較したり、主張の根拠となる資料に当たってみたりします。また、様々な訛りのある英語にも触れる機会を持ち、ある程度聞き取れるようになるよう、英語圏以外の訛りのある英語を話す話者の動画も扱います。</p> <p>評価方法 テーマごとに行う小テスト、グループ活動、課題</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51127	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	清水 徹郎	金3	K303	1年 文三(9,13) 理一(24)理二三(8,11)
<p>講義題目 Reading and Listening to <i>The New York Times</i></p> <p>目標概要 インターネット版 <i>The New York Times</i> から記事とビデオを選び、リスニングとリーディングの演習を行う。リスニングでは生の英語に慣れ、大意を把握できるようになることを目標とする。リーディングでは、用語・慣用表現に加えて、レトリックと論理の組み立てについても正確に読みとれるようになることを目指す。質疑・説明・ディスカッション等は、すべて英語で行う。授業の終わりに英語で短いコメントを書いて提出。また復習を兼ねた小テストを定期的に行い、語彙力の増進を図る。</p> <p>評価方法 平常点(出席、予習状況を含む総合的学習態度)約25%+小テスト他の合計約35%+定期試験約40%をめやすとする。欠席・遅刻の多い場合(欠席3回超、なお遅刻3回で欠席1回に換算)は、上記のめやすに関わらず「不可」の評価とする。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : The New York Times (Digital Subscription at the Academic Rate) 著者(訳者) : The New York Times 出版社 : The New York Times 毎回予習用に通達するURLから教材記事へのアクセスは可能ですが、関連記事を読むにはデジタル版定期購読が必要なので、Academic Rateで1月までの定期購読を強く勧めます。https://www.nytimes.com/subscriptions/inyt/edu/lp8LXQ6.html?campaignId=6Y4QR</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
51128	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ポター サイモン	金3	107	1年 文三(9,13) 理一(24)理二三(8,11)
<p>講義題目 An Introduction to Ethics in Various Traditions</p> <p>目標概要 To provide an experience similar to learning from lectures at a top university in the English-speaking world, and to provide basic information and insights into important ethical concepts from various traditions, mostly religious, in the world.</p> <p>評価方法 The course grade will be determined according to the summation of scores earned on the in-class activities. The key criteria are relevant information and validity of argumentation.</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : An Interview with Pranavichara about the Subject of Ethics</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
51173	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ミルズ アンソニー	金4	10-303	1年 文一二(4,6,8)文三(17)
<p>講義題目 Reading, Listening and Discussion in English: Asperger Syndrome</p> <p>目標概要 In this course, you will develop your ability to understand written and spoken English. You will also have the chance to take part in discussion work.</p> <p>The course materials concentrate on the theme of autism in society, paying particular attention to Asperger Syndrome.</p> <p>評価方法 Grading will be based on a combination of scores for written work and classwork. There is no final test but you will write several short texts in class and at home, some of which will be graded. You will also write a final essay of approximately 500 words (in English) at the end of the course.</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : The Curious Incident of the Dog in the Night-Time 著者(訳者) : Haddon, Mark 出版社 : Vintage</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
51174	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	勅使河原 三保子	金4	153	1年 文一二(4,6,8)文三(17)
<p>講義題目 英語で提供された情報の理解と分析</p> <p>目標概要 話題性のある事柄や現代社会の諸問題をテーマとしたオンライン記事を読んだり動画を視聴したりすることにより、英語で提供された情報の理解と分析の訓練を行います。同じテーマでも異なる見解に立って書かれた記事を比較したり、主張の根拠となる資料に当たってみたりします。また、様々な訛りのある英語にも触れる機会を持ち、ある程度聞き取れるようになるよう、英語圏以外の訛りのある英語を話す話者の動画も扱います。</p> <p>評価方法 テーマごとに行う小テスト、グループ活動、課題</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51175	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	武田 将明	金4	150	1年 文一二(4,6,8)文三(17)
<p>講義題目 Critical Reading of Literary Texts</p> <p>目標概要 現代の英語圏文学を批評的に読む。批評的に読むためには、作品の書かれた背景を知ることが必要だが、何よりも一定の長さの英文をじっくりと読み、前後の文脈やレトリックにも注意しながら、文学作品特有の意味の広がりを理解し、感じ取ることが重要である。 上記の目標を意識しながら、4篇の特徴の異なる作品を読むことで、英文読解のセンスを磨くことができるだろう。また、各自が批評的な読みを言語化するために、4本の英文エッセイを提出してもらい、その内容に基づいた英語のディスカッションも行いたい。事前に作品について深く考えることで、話すこと自体が得意でない人も議論に参加できるようになるはずである。 最終的には、英語を用いて批評的な言葉を話し、書くことへの動機づけができれば、今後の専門的な学習にも役立つことだろう。</p> <p>評価方法 授業への貢献（出席だけではなく、講師の質問への解答や、学生からの良質な質問を元に貢献度を判定する、ディスカッションでの貢献もここに含まれる）30%、4本の英文エッセイ（150～250語程度）40%、定期試験 30%</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
51176	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ポター サイモン	金4	107	1年 文一二(4,6,8)文三(17)
<p>講義題目 An Introduction to Ethics in Various Traditions</p> <p>目標概要 To provide an experience similar to learning from lectures at a top university in the English-speaking world, and to provide basic information and insights into important ethical concepts from various traditions, mostly religious, in the world.</p> <p>評価方法 The course grade will be determined according to the summation of scores earned on the in-class activities. The key criteria are relevant information and validity of argumentation.</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : An Interview with Pranavichara about the Subject of Ethics</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
51177	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	佐竹 晶子	金4	151	1年 文一二(4,6,8)文三(17)
<p>講義題目 Reading and Discussion: National Geographic</p> <p>目標概要 National Geographic が協力して編纂した教科書を使い、専門的な内容の文章を読むための基礎力をつけ、映像を使って聞き取りの練習をする。更に、教科書で得た知識や各自が調べた情報をもとに英語でディスカッションをする訓練をする。</p> <p>評価方法 毎週の課題と小テスト、授業の参加度70%、レポート30%</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Reading Explorer 5 著者（訳者） : Nancy Douglas, David Bohlke, Helen Huntley, Bruce rogers, and Paul MacIntyre 出版社 : National Geographic/Cengage Learning ISBN : 978-1-285-847000-9</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
51178	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	大橋 理枝	金4	103	1年 文一二(4,6,8)文三(17)
<p>講義題目 Rhetorical Criticism</p> <p>目標概要 コミュニケーション学の分野で扱われる「レトリック批評」の理論を学ぶと共に、それを応用して実際に作品を分析してみる。</p> <p>評価方法 二度のグループ発表及び授業中に行う小テストの結果で総合的に判断する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50210	A	英語中級	ナルト デリック	月5	103	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 “Success”: From Aristotle to Zuckerberg</p> <p>目標概要 In this course, we will study “success” principles as understood by Western thinkers and innovators ranging from philosophers in Classical Greece to contemporary business thinkers/professionals. The purpose of the course, besides being to expose students to life questions that date back to ancient times and the ideas of the most influential thought leaders of our own era, is to help participants formulate their own definition of “success,” set concrete and achievable goals, improve their levels of self-confidence and self-awareness, and become more effective in their personal, academic, and work lives.</p> <p>評価方法 Writing assignment: 20% Presentations: (2 x 15%) 30% Vocabulary quizzes: (2 x 10%) 20% Participation: 30%</p> <p>教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。</p>						
50211	A	英語中級	サーギル ジェームズ クリストファー	月5	154	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 Geographies of Horror</p> <p>目標概要 This comprehension-based course will introduce students to the role of geography in cinematic and literary horror, exploring the ways in which filmmakers and writers have tried to imagine the supernatural qualities of the world that surrounds them. Starting with a short introduction to cultural geography, the classes will move on to discuss specific English language examples of gothic, monstrous and ecological horror. You will be studying the works of a range of influential writers, including; M.R. James, H.P Lovecraft and Shirley Jackson. You will consider how the supernatural entities that appear in horror (ghosts, vampires, zombies etc.) can be seen to tell us about place and environment, expressing the complex relationship between people and the landscapes they inhabit. Using cultural geography as a backdrop for the course, students will examine the impact of horror on the way we think about and describe the threat of the natural world. A number of short readings will provide opportunities for class discussion in English, and develop comprehension of the texts that accompany the course. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class activities and presentations. Furthermore, this course aims to help you develop your analytical skills in working with English language texts and audio-visual materials.</p> <p>評価方法 Attendance, Participation and Engagement: 20% Research Paper: 50% Presentation: 30%</p> <p>教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。</p>						
50212	A	英語中級	SHOKOUHI Marjan	月5	149	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 Introduction to Literature and the Environment</p> <p>目標概要 This interdisciplinary course is aimed at teaching English via content, which includes a collection of literary and critical texts that address the interconnected relationship between culture and the environment. The course is designed to improve the students' proficiency in English while promoting critical thinking and raising consciousness towards current environmental issues. Students will acquire a better understanding of general and academic English by reading and analyzing literary texts enriched with cultural and environmental concepts. Practice opportunities are offered via classroom discussions, group work, and written assignments.</p> <p>評価方法 Grade evaluation is based on participation in class, homework assignments, and final essay/project submission.</p> <p>教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50297	A	英語中級	寺澤 盾	火2	151	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 プレゼンテーションの基礎</p> <p>目標概要 本授業では、英語によって明晰かつ説得力のあるプレゼンテーションを行うことを目標にする。そのために、まず、モデルとなるプレゼンテーションのビデオを視聴し、その後、発表原稿の作成の仕方を学んでいく。併せて、発表に関する質疑応答のスキル、発表をより効果的に行うためのハンドアウトや視覚的資料の使い方についても学んでいく。</p> <p>評価方法 授業への参加度、提出課題、プレゼンテーションなどを総合して評価する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50298	A	英語中級	アングル ジャクリーン	火2	103	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 Immigration In Japan</p> <p>目標概要 This introductory course to the study of labour migration focuses on the contemporary experience of Japan. Migration scholarship has frequently portrayed Japan as an exception when compared to other highly developed countries. This course examines whether this characterisation is valid and focuses on different forms of labour migration to the country, included undocumented migrant workers, female entertainers, trainees and Japanese-Brazilians. The course will examine the experiences of labour migrants from a variety of countries, including Korea, the Philippines, Indonesia, Nepal, Ghana and China.</p> <p>評価方法 Grades will be based on class participation, seminar presentations and a short essay.</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50771	A	英語中級	土屋 和代	水5	154	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 アメリカの女性解放運動</p> <p>目標概要 アメリカ合衆国の歴史を、ジェンダーをキーワードに学ぶ。特に第二次大戦後の女性解放運動の歴史を扱った文献を取り上げ、運動の特色とその重層的性格について学習する。英文読解力を向上させるとともに、関連する映画、ドキュメンタリー等を視聴し、背景となる20世紀米国の歴史、社会、文化についての理解を深める。</p> <p>評価方法 出席・授業への貢献度20%、定期試験50%、コメント及びレポート30%</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50773	A	英語中級	山本 史郎	水5	149	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 翻訳演習</p> <p>目標概要 本授業では、文学テキスト、実用的な文書など様々のジャンルの英語の文章を日本語に翻訳する。言うまでもなく、翻訳は、「英文解釈」でよく行われているように、単にある言語のテキストの構文・語彙を理解して、別の言語に移すというだけの作業ではない。誰が、誰に向かって、どのような目的で書いたのかということを含めて多様な角度からテキストを読み取る能力が必要とされる。実は、それこそが外国語を、読み、理解するというに他ならない。しかし、この外国語習得において当然のことが、一朝一夕に達成できるわけではない。本授業の目標は、翻訳の実践を通じて、受講者が「高度に英語を読むとはどういうことか？」ということ学び、将来の英語運用能力、及びより一般的な言語能力獲得のための礎を身に付けることにある。</p> <p>※この授業は、2014年度以前入学者のうち、英語一列②の単位未取得者には、読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。</p> <p>評価方法 課題の提出、出席、授業への貢献度などが30%程度、定期試験の結果が70%程度。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	曜限	教室	対象
51069	A	英語中級	ペティート ジョシュア	金2	105	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 Technological Hauntings 目標概要 This class will consider the relationship of the occult to modern forms of media, including photography, the telegraph, television, and film.</p> <p>※この授業は、2014年度以前入学者のうち、英語演習②の単位未取得者には、読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。</p> <p>評価方法 In-class worksheets, midterm and final examination 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。</p>						
51070	A	英語中級	広瀬 友紀	金2	E38	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 読むこと聴くことによる情報収集の訓練 目標概要 さまざまな社会問題や、科学的トピックを紹介するインターネット記事やドキュメンタリー映像教材をとおして、共通のトピックを軸にした複数の情報源から内容を読んで、聴いて理解する、情報の関連性を見いだす、知識を整理する、という訓練を繰り返します。</p> <p>※この授業は、2014年度以前入学者のうち、英語一列②の単位未取得者には、読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。</p> <p>評価方法 授業内外の課題・クイズの積み重ね 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。</p>						
51217	A	英語中級	ペティート ジョシュア	金5	105	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 Technological Hauntings 目標概要 This class with consider the relationship of the occult to modern forms of media, including photography, the telegraph, television, and film.</p> <p>※この授業は、2014年度以前入学者のうち、英語演習②の単位未取得者には、読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。</p> <p>評価方法 In-class worksheets, midterm and final examination 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。</p>						
50774	A	英語上級	ダルグリーシュ プレガム	水5	120	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 Ideas and Thinkers 目標概要 Thought is the means by which we elaborate who we are, assert our membership of a culture, authorise institutions within society, and make claims upon each other. Indeed, without any philosophical reflection upon society and politics, life today would have neither rationale nor articulated meaning. It is thus precisely at the cross-roads between our daily practices and taken for granted ideas that this course is situated in terms of an examination and critical analysis of a range of texts at the core of the intellectual inheritance of the West.</p> <p>Objectives: 1. Reading, analysing and synthesising academic texts; 2. Presenting, elaborating and defending arguments orally; 3. Taking part in seminars and academic discussions; 4. Structuring and organising ideas in a coherent and logical written form.</p> <p>評価方法 Student presentation (individually or in groups, depending on student enrolment for the course) = 30%; Seminar participation = 30%; End of semester written short response paper = 40%.</p> <p>教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51002	A	英語上級	野沢 恵美子	木5	K201	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 Contemporary Issues on Gender</p> <p>目標概要 This course is designed to help students understand, analyze, and discuss contemporary gender issues through active learning. Each week, students will explore relevant topics by critically engaging with small group discussions and mini presentations on the week's topic. Through these activities, students will connect concrete examples with theories introduced in reading assignments. Students will also be able to develop their discussion and presentation skills. At the end of the course, students will complete a final writing project and present it in front of the class.</p> <p>英語で講義を行います。</p> <p>評価方法 25% Participation 25% Final Writing Project 20% Presentations 30% Homework</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
51218	A	英語上級	ダルグリーシュ プレガム	金5	120	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 Ideas and Thinkers</p> <p>目標概要 Thought is the means by which we elaborate who we are, assert our membership of a culture, authorise institutions within society, and make claims upon each other. Indeed, without any philosophical reflection upon society and politics, life today would have neither rationale nor articulated meaning. It is thus precisely at the cross-roads between our daily practices and taken for granted ideas that this course is situated in terms of an examination and critical analysis of a range of texts at the core of the intellectual inheritance of the West.</p> <p>Objectives:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Reading, analysing and synthesising academic texts; 2. Presenting, elaborating and defending arguments orally; 3. Taking part in seminars and academic discussions; 4. Structuring and organising ideas in a coherent and logical written form. <p>評価方法 Student presentation (individually or in groups, depending on student enrolment for the course) = 30%; Seminar participation = 30%; End of semester written short response paper = 40%.</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

ドイツ語初級（演習）②	開講区分	A
<p>目標概要 In dem Kurs werden überwiegend Grammatik- und Gespraechs-, durchgeführt, die sich an den Themen des Lehrbuchs orientieren, das auch in der ersten Reihe verwendet wird, und zwar von Lektion 12 bis 18. 一列の授業で学習する教科書のテーマ（12課～18課）に沿った文法と会話の練習をおこなう。</p> <p>成績評価方法 出席、および授業中の積極的な参加を平常点として成績評価に入れる。期末に筆記および口頭によるテストを行う（平常点30%、筆記試験35%、口頭試験35%）。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : ドイツ語共通教科書『Einblicke』 著者（訳者）：東京大学教養学部ドイツ語部会編</p> <p>関連ホームページ http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/</p> <p>※講義の詳細については、UTASも参照すること</p>		

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50023	月1	大石 紀一郎	10-303	1年 文科(TLP)
50061	月2	クリスティアン クリンク	K114	1年 文三(15)
50165	月4	オブヒュルス 鹿島	112	1年 文一二(20)
50172	月4	SCHWARZ Thomas	105	1年 文三(16)
50726	水4	ヘルマン ゴチェフスキ	学際交流 ホール	1年 文一二(22)
50904	木3	SCHWARZ Thomas	105	1年 文一二(21)
50957	木4	クリスティアン クリンク	K114	1年 文三(14)
51086	金2	石原 あえか	10-304	1年 文科(TLP)

※TLP履修者は、対象クラスで「1年 文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目L系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50021	A	ドイツ語初級（演習）	大石 紀一郎	月1	10-303	1年 理科
<p>講義題目 TLPドイツ語</p> <p>目標概要 ドイツ語の実践的な運用能力をさまざまな練習を通じて養成することをめざす。</p> <p>評価方法 TLPクラスとして適切な評価を行う。授業への積極的な参加等により平常点の評価を行い、Kaufmann先生の時間内に複数回行う予定の試験と併せて、総合的に評価する。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Passwort Deutsch 2および3 著者（訳者）：Ulrike Albrechtほか 出版社 : Ernst Klett Sprachen 教科書の購入については授業で指示する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
51085	A	ドイツ語初級（演習）	石原 あえか	金2	10-304	1年 理科
<p>講義題目 ドイツ語演習（TLPクラス指定科目）</p> <p>目標概要 トライリンガル・プログラム用の演習に当たる。ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）のA2レベルに対応する基本的言語運用能力を養成する。 各自が指定クラス（1列・2列）で習得した文法的知識をもとに、さまざまな応用練習、読み物、会話などによって補いながら、ドイツ語能力の基礎を確実なものとする。週2回のネイティブ教員（クリンク先生）による授業と連動して、発展的な学習を進める。</p> <p>評価方法 Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs, sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価します。やむを得ない場合を除き、授業には毎回出席することを前提とします。 （詳しい評価や受講上の注意等は授業で説明します）。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Passwort Deutsch 2および3（Kurs- und Übungsbuch mit Audio-CD） 著者（訳者）：Ulrike Albrecht, Christian Fandrych et. al. 出版社 : Klett ISBN : 978-3-12-676413-1、978-3-12-676416-2 購入方法等は授業中に指示します。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50299	A	ドイツ語初級（演習）	日名 淳裕	火2	1211	1年 理科
<p>講義題目 ドイツ語初級（演習）</p> <p>目標概要 一年理科学を対象として、ドイツ語の話す、書く、聞く、読む力をバランスよく養うことを目的とする。語彙を増やし、既習文法の確かな定着を図りつつ、その応用・実践を試みる。</p> <p>評価方法 授業への積極的な参加50%、課題30%、プレゼンテーション20%で評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>						
50800	A	ドイツ語初級（演習）	中丸 禎子	木1	515	1年 理科
<p>講義題目 ドイツ語初級文法の復習と読解・聞き取り・発音・作文への応用</p> <p>目標概要 必修の初修外国語としてドイツ語を受講している理系の1年生を対象とした授業である。共通教科書で学ぶ文法項目に準拠しながら、読解、聞き取り、発音、作文の練習を通じて、基礎力の定着とドイツ語の実践をめざす。</p> <p>評価方法 平常点と授業内試験。 試験の方法や内容は授業の方法（UTASシラバス【授業の方法】記載のA.～E.の比重、内容）によって変動するため、第1回の授業での相談内容に応じて確定する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50300	A	ドイツ語初級（会話）	SCHWARZ Thomas	火2	101	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Konversation (Grundstufe) 目標概要 Im Zentrum des Kurses steht die Arbeit mit dem Lernroman „Der Auftrag“ von Hans Magnus Enzensberger (Kopien werden bereitgestellt). Die Studierenden trainieren ihr Hörverständnis und ihre kommunikative Kompetenz. Sie lernen, wie man eine Geschichte erzählt, die Handlung eines Buches wiedergibt und die eigenen Reaktionen auf das Gelesene beschreibt. 評価方法 2 Tests, Hausaufgaben und mündliche Abschlussprüfung (kursintern) 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
51003	A	ドイツ語初級（作文）	原田 晶子	木5	149	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ドイツ語初級（作文） 目標概要 初修ドイツ語をフォローする授業です。ドイツ語を書く練習し、ドイツ語特有の文の構造に慣れることにより、より深くドイツ語の文法を学んでいきます。ネイティブに通じるドイツ語を書くことを目指します。 評価方法 平常点と定期試験で、総合的に判断します。 (2/3以上出席していない場合、定期試験は受験できません) 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						
50775	A	ドイツ語初級（表現練習）	ククリンスキルーベン	水5	516	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ドイツ語初級（表現演習）、Deutsch fuer Anfaenger/innen 目標概要 初めてドイツ語を学ぶ学生をめざし、日常生活における基礎的なドイツ語表現の運用能力を養う。授業の目標はドイツ語圏における認定試験“Goethe Zertifikat A1”に必要なドイツ語能力の養成にある。授業の重点は基礎的な会話にあり、練習は日常会話の実際的な口頭練習及び語彙を増やす練習を中心とする。 評価方法 平常点（授業への参加・宿題・出席率）・小テスト・定期試験（口頭試験）を総合的に評価する。中でも授業への積極的な参加を高く評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50318	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）	クリスティアン クリンク	火2	K114	1年 文科 理科
50786				水5	K114	
講義題目 ドイツ語演習（TLPクラス指定科目） 目標概要 In dem Kurs werden die im 1. Semester erworbenen Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben weiter ausgebaut. Der Kurs richtet sich an Lerner auf dem Niveau A1 und soll zum Niveau A2 des Gemeinsamen europäischen Referenzrahmens führen. Die Teilnehmer lernen, Alltagsgespräche zu führen, verschiedene anwendungsbezogene Textsorten zu verstehen und Texte zum Informationsaustausch zu verfassen. Die grammatischen Schwerpunkte sind Nebensätze, Deklination der Adjektive und Verbrenktion. この授業では、Sセメスターで習得した、聴く・読む・話す・書く能力をさらに発展させます。授業は、ヨーロッパ参照枠でA1レベルのドイツ語力をもつ受講生が対象で、A2レベルに高めることが目標です。受講者は、日常会話、テキスト読解、情報交換のための文章を作成することを学習します。文法事項としては、副文、形容詞の格変化、動詞の格支配に重点を置きます。 評価方法 Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs, sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価します。やむを得ない場合を除き、授業には毎回出席することを前提とします。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Passwort Deutsch 3 著者（訳者） : Ulrike Albrecht et al. 出版社 : Klett ISBN : 978-3-12-676416-2 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50319	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）	I・カウフマン	火2	10-102	1年 文科 理科
51084				金2	10-102	
<p>講義題目 ドイツ語演習（TLPクラス指定科目）</p> <p>目標概要 In dem Kurs werden die im 1. Semester erworbenen Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben weiter ausgebaut. Der Kurs richtet sich an Lerner auf dem Niveau A1 und soll zum Niveau A2 des Gemeinsamen europäischen Referenzrahmens führen. Die Teilnehmer lernen, Alltagsgespräche zu führen, verschiedene anwendungsbezogene Textsorten zu verstehen und Texte zum Informationsaustausch zu verfassen. Die grammatischen Schwerpunkte sind Nebensätze, Deklination der Adjektive und Verbrektion.</p> <p>この授業では、Sセメスターで習得した、聴く・読む・話す・書く能力をさらに発展させます。授業は、ヨーロッパ参照枠でA1レベルのドイツ語力をもつ受講生が対象で、A2レベルに高めることが目標です。受講者は、日常会話、テキスト読解、情報交換のための文章を作成することを学習します。文法事項としては、副文、形容詞の格変化、動詞の格支配に重点を置きます。</p> <p>評価方法 Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs, sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt.</p> <p>授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価します。やむを得ない場合を除き、授業には毎回出席することを前提とします。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。</p> <p>書名 : Passwort Deutsch 3, 5-bändige Ausgabe 著者（訳者） : Ulrike Albrecht et al. 出版社 : Klett ISBN : 978-3-12-676416-2</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50776	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）	I・カウフマン	水5	10-102	1年 文科 理科
51219				金5	10-102	
<p>講義題目 ドイツ語初級（インテンシヴ）</p> <p>目標概要 一列・二列で学んだ基礎的なドイツ語の知識を実践的に練習して、読む・聴く・話す・書く能力の定着を図ります。単位取得を希望する参加者は同一の教員が担当する2コマ(水曜5限・金曜5限)を履修してください。並行して開講される他のインテンシヴコースを履修することはできません。</p> <p>30名程度を上限とし、履修希望者が多い場合は、他のコースを履修することが困難な希望者の履修を優先します。なお、Aセメスターからの履修も可能です。教科書は教員が必要部数を取り寄せて授業中に販売します。</p> <p>評価方法 成績評価は平常点および試験によって行う。</p> <p>Die Bewertung erfolgt aufgrund der Qualität der Beiträge im Seminar, den Hausaufgaben und regelmäßiger Tests. Regelmäßige und aktive Teilnahme werden vorausgesetzt.</p> <p>規則的、そして積極的な参加が前提とされる。</p> <p>評価はゼミにおける貢献の質、宿題および規則的なテストによって行われる。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。</p> <p>書名 : Studio 21, Grundstufe A1: Gesamtband 著者（訳者） : Funk, Hermann et al. 出版社 : Cornelsen ISBN : 978-3-06-520526-9</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51004	A	ドイツ語初級（第三外国語）	クリスティアン クリンク	木5	K114	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 Deutsche Grammatik / German Grammar (Anfänger / Beginner)</p> <p>目標概要 Dieser Kurs ist für Studierende ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache konzipiert (Stufe A1 des Europäischen Referenzrahmens). Im Mittelpunkt steht die Vermittlung der grundlegenden deutschen Grammatik. Durch diverse Übungen sollen grundlegende sprachliche Fähigkeiten (Hören, Lesen, Schreiben, Sprechen) erlernt werden.</p> <p>This course is designated for students without any previous knowledge of German (Level A1 of the European Reference Framework). The course focuses on the foundation of the German grammar. Through various exercises, students are taught the essentials of the language (listening, reading, writing, speaking).</p> <p>評価方法 Die Bewertung erfolgt aufgrund der Qualität der Beiträge im Seminar, den Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige und aktive Teilnahme werden vorausgesetzt.</p> <p>Relevant for the evaluation are the quality of the contribution in class, homework as well as tests. Regular attendance and active participation are a prerequisite.</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
51220	A	ドイツ語初級（第三外国語）	山口 裕之	金5	150	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 初級ドイツ語</p> <p>目標概要 第三外国語としてドイツ語の基礎を学びたい人のための授業である。1学期間でドイツ語文法のもっとも基本的な事柄を学ぶ（ABCから接続法まで）。簡単な会話の表現にも触れる。</p> <p>評価方法 平常点と定期試験による。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。</p> <p>書名 : アプライゼ 伝え合うドイツ語</p> <p>著者（訳者）：高橋亮介・川名真矢</p> <p>出版社 : 朝日出版社</p> <p>ISBN : 9784255254067</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50301	A	ドイツ語中級（演習）	久保 哲司	火2	152	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 ドイツ語中級（演習）</p> <p>目標概要 ドイツ語の初級文法を一通り終えた学生を対象に、実践的な力を養うための読解・発音・聞き取り・口頭表現などの練習を行います。あわせてドイツの生活のいろいろな面、とくにドイツでは当然と思われるが、日本人にとっては意外な事柄に触れてみたいと思います。</p> <p>評価方法 平常点と試験によって行います。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。</p> <p>書名 : CD付き ドイツ人の生活を知る11章</p> <p>著者（訳者）：大谷弘道</p> <p>出版社 : 三修社</p> <p>ISBN : 978-4-384-13094-2</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50777	A	ドイツ語中級（会話）	SCHWARZ Thomas	水5	114	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 Konversation (Mittelstufe)</p> <p>目標概要 Im Kurs besprechen wir kontroverse Themen aus verschiedenen Bereichen wie Politik und Kultur. Sie lernen, Ihre Meinung zu erklären und zu begründen, indem Sie Vor- und Nachteile verschiedener Problematiken gegeneinander abwägen.</p> <p>評価方法 2 Tests, Hausaufgaben und mündliche Abschlussprüfung (kursintern)</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50213	A	ドイツ語中級（作文）	クリスティアン クリンク	月5	K114	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 ドイツ語中級作文 Schreibübungen (Mittelstufe)</p> <p>目標概要 様々なテーマについてドイツ語で表現する練習をする。 In diesem Seminar lernen die Studierenden, wie man Texte auf Deutsch zu verschiedenen Themen schreibt. Sie erwerben die Fähigkeit, Texte zu gliedern, Inhalte zusammenzufassen und kritisch zu erörtern.</p> <p>評価方法 2度の課題提出。 2 benotete Texte.</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50214	A	ドイツ語中級（インテンシヴ）	SCHWARZ Thomas	月5	115	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 Deutsch als Fremdsprache (integrierter Intensivkurs)</p> <p>目標概要 Im Zentrum dieses Kurses steht die Kommunikation im Alltag auf Deutsch. Die Studierenden lernen, sich auf einfache Art zu verständigen. Der Kurs vermittelt die notwendigen Grammatikkenntnisse und thematisiert verschiedene Aspekte der deutschen Kultur.</p> <p>評価方法 2 Tests / Hausaufgaben (Evaluation erfolgt kursintern)</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : studio 21. Grundstufe A1.2 (= Teilband 2). Das Deutschbuch 著者（訳者）: Funk, Hermann / Kuhn, Christina 出版社 : Cornelsen ISBN : 978-3-06-520532-0</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
51005	A	ドイツ語中級（インテンシヴ）	SCHWARZ Thomas	木5	115	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 Deutsch als Fremdsprache (integrierter Intensivkurs)</p> <p>目標概要 Im Zentrum dieses Kurses steht die Kommunikation im Alltag auf Deutsch. Die Studierenden lernen, sich auf einfache Art zu verständigen. Der Kurs vermittelt die notwendigen Grammatikkenntnisse und thematisiert verschiedene Aspekte der deutschen Kultur.</p> <p>評価方法 2 Tests / Hausaufgaben (Evaluation erfolgt kursintern)</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : studio 21. Grundstufe A1.2 (= Teilband 2). Das Deutschbuch 著者（訳者）: Funk, Hermann / Kuhn, Christina 出版社 : Cornelsen ISBN : 978-3-06-520532-0</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50215	A	ドイツ語上級（演習）	オブヒュルス 鹿島	月5	112	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 Übungen zur mündlichen Kommunikation (口頭表現の練習)</p> <p>目標概要 Der Zweck dieses Kurses ist es, mit Hilfe von DVDs und entsprechenden Übungen dazu, die kommunikativen Fähigkeiten (Hörverständnis, Sprech- und Kommunikationsfähigkeit, Entwicklung des Vokabulars) der Teilnehmer auszubauen.</p> <p>評価方法 Regelmäßige Anfertigung der Hausaufgaben und Tests. Aktive Teilnahme wird vorausgesetzt. 平常点（出席、宿題）および試験によって行う。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51006	A	ドイツ語上級（会話）	I・カウフマン	木5	10-102	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 ドイツ語上級（会話）</p> <p>目標概要 Der Kurs richtet sich an Studenten, die die Stufe B1 erreicht haben und ihre Fähigkeiten festigen und weiter ausbauen wollen. Obwohl alle Fertigkeiten einbezogen werden, soll der Schwerpunkt auf dem mündlichen Ausdruck liegen.</p> <p>評価方法 Die Bewertung erfolgt aufgrund der Beiträge im Kurs, schriftlichen Hausaufgaben und Präsentationen.</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50302	A	ドイツ語上級（読解）	香田 芳樹	火2	153	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 ユダヤ人作家Erich Friedのエッセーを読む</p> <p>目標概要 ウィーン生まれのユダヤ人作家Erich Fried (1921-1988) のエッセーを講読します。フリートは抒情詩人として有名ですが、平易な言葉で書かれた詩情あふれる優れた散文を数多く残しました。ユダヤ人であったため、ナチスの迫害を逃れ、ロンドンに亡命した彼は、終生ファシズムの厳しい批判者でしたが、彼の批判精神にはウィーン人特有のウィットとアイロニーとユーモアがあふれています。ウィーンでの少年時代の思い出や、ロンドンでの亡命生活や、アウシュヴィッツ訪問記などさまざまな作品をとりあげる予定です。戦前と戦後の厳しい時代を生きた証人としての彼のエッセーを読むことで、70年後の現在に生きる私たちの立ち位置を確認することにもなるのではないのでしょうか。</p> <p>評価方法 平常点（2／3以上の出席）と定期試験（筆記）により総合的に評価します。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

フランス語初級（演習）②	開講区分	A
目標概要 一列・二列で文法および講読の基礎を学習していることを踏まえ、演習では発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。 この授業科目は文科生を対象としたものであるが、理科生に対しては、これに相当するものとして、国際コミュニケーション「フランス語初級（演習）」が開講されているので、積極的に参加してほしい。		
成績評価方法 平常点（宿題、出席、発言等）と定期試験で総合的に評価する。		
教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 『Rythmes & communication (リズムコミ！ フランス語会話)』 著者（訳者）：アルベリック・ドリブル、ベアトリックス・ファイフ、寺田寅彦 出版社 : 朝日出版社 ISBN : 978-4-225-35275-6		
※講義の詳細については、UTASも参照すること		

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50167	月4	デルヴロワ ミカエル	10-205	1年 文一二(26)
50322	火2	DE VOS PATRICK HENRI	10-202	1年 文科(TLP)
50325	火2	寺田 寅彦	105	1年 文科(TLP)
50368	火3	ビゼ	10-102	1年 文一二(23)
50484	火4	ビゼ	10-102	1年 文一二(24)
50616	水2	ファイフ ベアトリックス	10-103	1年 文一二(27)
50617	水2	アルベリック ドリブル	10-102	1年 文一二(28)
50696	水3	ファイフ ベアトリックス	10-103	1年 文一二(25)
50731	水4	アルベリック ドリブル	10-202	1年 文三(20)
51130	金3	マルティネル ルイ	10-203	1年 文三(17)
51131	金3	ビゼ	10-102	1年 文三(19)
51182	金4	アガエス ジュリアン	10-203	1年 文三(18)

※TLP履修者は、対象クラスで「1年 文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目L系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50216	A	フランス語初級（演習）	デルヴロワ ミカエル	月5	102	1年 理科
<p>講義題目 フランス語初級（演習）</p> <p>目標概要 一列・二列での学習内容を踏まえながら、発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などをおこないます。文科生の必修授業「フランス語初級（演習）②」に対応する授業内容を理科生に向けて開く、ということが趣旨です。</p> <p>評価方法 開講時に指示する。</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50320	A	フランス語初級（演習）	寺田 寅彦	火2	105	1年 理科
<p>講義題目 T L Pフランス語演習（1年次）</p> <p>目標概要 T L P（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（T L P用）、そしてインテンシヴ・コース（T L P用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。</p> <p>評価方法 定期試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Amical Niveau 2 著者（訳者） : Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 出版社 : CLE International ISBN : 978-2090386059</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50321	A	フランス語初級（演習）	DE VOS PATRICK HENRI	火2	10-202	1年 理科
<p>講義題目 T L Pフランス語演習（1年次）</p> <p>目標概要 T L P（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（T L P用）、そしてインテンシヴ・コース（T L P用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。</p> <p>評価方法 定期試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Amical Niveau 2 著者（訳者） : Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 出版社 : CLE International ISBN : 978-2090386059</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50303	A	フランス語初級（会話）	ラタンジオ リリアンヌ	火2	10-103	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 フランス語・フランス文化入門</p> <p>目標概要 この授業は、フランス文化とフランス語の基礎を学ぶことを目標としています。日常生活で用いられる表現の習得と実践を通して、フランスの生活風景の一端に触れ、新たな世界を発見することを目指します。 フランス語で、挨拶や基本的な会話を繰り返し練習する。</p> <p>評価方法 授業時間中の参加度による平常点と定期試験による。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Amicalement Plus 著者（訳者） : 澤田直、ラタンジオ リリアンヌ、黒川学 出版社 : 駿河台出版社 ISBN : 9784411011275</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51221	A	フランス語初級（作文）	斎藤 かぐみ	金5	158	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 フランス語初級（作文）</p> <p>目標概要 作文という方法を通じて、初級文法の確認もしながら基本知識を確立し、かつ肉づけしていきましょう。教科書の主要項目は次の通り：êtreを使う、avoirを使う、名詞と冠詞、形容詞、疑問表現、否定表現、命令表現、faire, prendreを使う、目的語の人称代名詞、中性代名詞、自動詞としても他動詞としても使う動詞、代名動詞、関係代名詞、非人称構文、過去分詞の性・数一致、比較級・最上級、論理関係を示す接続詞。</p> <p>評価方法 平常点と定期試験を総合的に評価。平常点としては、授業への参加状況および宿題あるいは小テストの出来具合を考慮します。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : À vous d'écrire(フランス語で書こう！) 著者（訳者）：佐藤久美子、佐藤領時 出版社 : 白水社 ISBN : 978-4-560-06121-3</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
51007	A	フランス語初級（読解）	鈴木 順子	木5	154	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 フランス語初級（読解）</p> <p>目標概要 受講者の中には初級文法に未修項目がある人もいることを踏まえつつ、文法の学習を並行して進めながら、授業を行う。文学作品の読解によって、語彙力、読解力のさらなる向上を図る。珠玉の名作の講読を通して、フランスの文化と社会の理解を深めていきたい。</p> <p>評価方法 授業への参加状況および定期試験による。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Le Petit Prince 著者（訳者）：Antoine de Saint Exupery 出版社 : Gallimard (1999/2/28)もしくはMariner Books (2001/9/4) ISBN : 978-2070408504もしくは978-0156013987</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>						
51071	A	フランス語初級（読解）	石橋 正孝	金2	156	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 フランス語のBD(漫画)を読む</p> <p>目標概要 比較的高度なフランス語の文章に接して読解力を高めると同時に、その聞き取りができるようにする。</p> <p>評価方法 平常点</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Les cigares du pharaon 著者（訳者）：Herge 出版社 : Casterman ISBN : 9782203003064</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50024	A	フランス語初級(インテンシヴ)	アルベリック ドリブル	月1	10-202	1年 文科 理科
<p>講義題目 TLPフランス語インテンシヴ・コース（1年次）</p> <p>目標概要 TLP（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（TLP用）、そしてインテンシヴ・コース（TLP用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。</p> <p>評価方法 定期試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Amical Niveau 2 著者（訳者）：Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 出版社 : CLE International</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50025	A	フランス語初級(インテンシヴ)	アガエス ジュリアン	月1	10-203	1年 文科 理科
<p>講義題目 T L Pフランス語インテンシヴ・コース (1年次)</p> <p>目標概要 T L P (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (T L P用)、そしてインテンシヴ・コース (T L P用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。</p> <p>評価方法 定期試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Amical Niveau 2 著者 (訳者) : Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 出版社 : CLE International</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
51087	A	フランス語初級(インテンシヴ)	アルベリック ドリブル	金2	10-303	1年 文科 理科
<p>講義題目 T L Pフランス語インテンシヴ・コース (1年次)</p> <p>目標概要 T L P (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (T L P用)、そしてインテンシヴ・コース (T L P用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。</p> <p>評価方法 定期試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Amical Niveau 2 著者 (訳者) : Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 出版社 : CLE International</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
51225	A	フランス語初級(インテンシヴ)	アガエス ジュリアン	金5	10-203	1年 文科 理科
<p>講義題目 T L Pフランス語インテンシヴ・コース (1年次)</p> <p>目標概要 T L P (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (T L P用)、そしてインテンシヴ・コース (T L P用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。</p> <p>評価方法 定期試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Amical Niveau 2 著者 (訳者) : Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 出版社 : CLE International</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50217	A	フランス語初級(インテンシヴ)	アルベリック ドリブル	月5	10-202	1年 文科 理科
<p>講義題目 フランス語初級 (インテンシヴコース)</p> <p>目標概要 このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる2つの授業のうちの1つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、水曜日5限の授業 (フランス語初級 (インテンシヴ)、ファイブ) も受講しなくてはなりません。SセメスターとAセメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。</p> <p>評価方法 履修者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。</p> <p>教科書 開講時に指示します (学期開始の時点ですでに教科書が販売されていて初回終了までは購入しないこと)。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50778	A	フランス語初級(インテンシヴ)	ファイフ ベアトリクス	水5	10-103	1年 文科 理科
<p>講義題目 フランス語初級 (インテンシヴコース)</p> <p>目標概要 このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる2つの授業のうちの1つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、月曜日5限の授業(フランス語初級(インテンシヴ)、ドリブル)も受講しなくてはなりません。SセメスターとAセメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。</p> <p>評価方法 履修者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。</p> <p>教科書 開講時に指示します(学期開始の時点ですでに教科書が販売されていても初回終了までは購入しないこと)。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50218	A	フランス語初級(インテンシヴ)	アガエス ジュリアン	月5	10-203	1年 文科 理科
<p>講義題目 フランス語初級 (インテンシヴコース)</p> <p>目標概要 このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる2つの授業のうちの1つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、木曜日1限の授業(フランス語初級(インテンシヴ)、アガエス)も受講しなくてはなりません。SセメスターとAセメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。</p> <p>評価方法 履修者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。</p> <p>教科書 開講時に指示します(学期開始の時点ですでに教科書が販売されていても初回終了までは購入しないこと)。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50801	A	フランス語初級(インテンシヴ)	アガエス ジュリアン	木1	10-203	1年 文科 理科
<p>講義題目 フランス語初級 (インテンシヴコース)</p> <p>目標概要 このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる2つの授業のうちの1つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、月曜日5限の授業(フランス語初級(インテンシヴ)、アガエス)も受講しなくてはなりません。SセメスターとAセメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。</p> <p>評価方法 履修者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。</p> <p>教科書 開講時に指示します(学期開始の時点ですでに教科書が販売されていても初回終了までは購入しないこと)。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50219	A	フランス語初級 (第三外国語)	中田 健太郎	月5	157	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 フランス語初級 (第三外国語)</p> <p>目標概要 Sセメスターの同名の科目にひきつづき、フランス語の初級文法を理解する。フランス語の発音の規則を学び、テキストを音読できるようになる。仏和辞典の引き方を理解する。</p> <p>評価方法 平常点(授業への積極的参加や小テストの結果)および定期試験によって総合的に判断する。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : フランス文法要説(第3版) 著者(訳者) : 石井洋二郎 出版社 : 朝日出版社 ISBN : 978-4255352589 上記教科書以外については、別途プリント配布もしくは指示する。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行く。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50641	A	フランス語初級（第三外国語）	須藤 佳子	水2	159	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 フランス語初級（第三外国語）</p> <p>目標概要 フランス語の初級文法の骨格を理解する。フランス語を正しく音読できるようにする。</p> <p>評価方法 平常点（授業参加度・宿題・小テスト）と定期試験の点数を併せて評価する。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : ル・フランセ・ファシル 著者（訳者）：斎藤 昌三 出版社 : 白水社 ISBN : 9784560060698</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50779	A	フランス語初級（第三外国語）	小野 潮	水5	122	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 フランス語初級</p> <p>目標概要 フランス語の初級文法の骨格を理解する。 フランス語のテキストを正しく音読できるようにする。 辞書を引きながら簡単なフランス語を理解できるようにする。</p> <p>評価方法 定期試験</p> <p>教科書 プリントを配布する。 書名 : 新・東京ーパリ、初飛行 著者（訳者）：藤田裕二、藤田知子、シルヴィー・ジレ 出版社 : 駿河台出版社 ISBN : 978-4-411-01124-4</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50304	A	フランス語中級（演習）	COUCHOT Herve	火2	106	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 フランス語既習</p> <p>目標概要 フランス語中級程度の講読および会話のクラス。履修者の学力に応じた指導を行う。francophoneが担当する。</p> <p>Présentation de la France et de l'Europe d'aujourd'hui à partir d'un film étudié par extraits (L'auberge espagnole de Cédric Klapisch, 2002)</p> <p>評価方法 平常点（授業への参加）＋定期試験（ディスカッション）</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
51210	A	フランス語中級（会話）	ビゼ	金4	121	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 Conversation</p> <p>目標概要 Ce cours a en général pour thème une question liée à l'art moderne. Le thème est choisi en fonction du niveau des étudiants.</p> <p>評価方法 Un examen oral en fin de semestre.</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50758	A	フランス語中級（作文）	DE VOS PATRICK HENRI	水4	150	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 Entraînement à l'expression écrite en français</p> <p>目標概要 Ce cours sera consacré à des exercices de thème proposés à partir de textes relevant de divers registres (epistolaire, dramatique, journalistique, littéraire ou théorique). L'accent sera mis sur les problèmes spécifiques que posent la traduction du japonais en français sur différents plans : lexique, syntaxe, organisation sémantique et stylistique du discours.</p> <p>評価方法 L'évaluation sera faite en tenant compte de l'assiduité, de la participation au travail collectif en classe et d'un exercice final.</p> <p>教科書 教科書は使用しない。 コピーを配布</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	曜限	教室	対象
50305	A	フランス語中級（読解）	中島 ひかる	火2	102	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 フランス時事問題に関する新聞・雑誌記事の講読</p> <p>目標概要 【注意】この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目A系列 フランス語テキスト分析Ⅱ として開講される。</p> <p>フランス現代のニュース記事を取り上げ講読することで、フランス語の読解力を高めるとともに、現代の時事問題に使われている語彙や表現を知る。また、フランスやヨーロッパの文化や社会、政治・経済に対する関心を高める。フランス社会の特徴が良く現れているニュースを幅広く取り上げる予定だが、あくまで語学の授業であるため、ニュースの背景について、授業で深く分析することはしない。また、どの記事を選ぶかは、原則として受講者の自主性に委ねるので、自らの学力・関心に合わせて記事を選んでもらって構わない。</p> <p>評価方法 受講者が7人程度の場合は原則試験は行わず、授業中の発表で評価する。 受講者が多い場合は授業の準備80%、レポート20%程度で評価する。 3分の1以上欠席したものは評価の対象としない。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>						
50869	A	フランス語中級（読解）	関俣 賢一	木2	153	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 現代フランス小説読解入門</p> <p>目標概要 【注意】この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目A系列 フランス語テキスト分析Ⅱ として開講される。</p> <p>ジャン＝クリストフ・リュファンの短編集 <i>Sept histoires qui reviennent de loin</i> (Gallimard, 2011) を読む。 本書にはタイトル通り、7つの短編小説が収められている。文章は端正だが平易で読みやすく、中級フランス語の授業で講読するには適しているだろう。初級文法の確認、中・上級文法への導入などを行いながら、読解力の向上を目標とする。</p> <p>物語はフランスのみならず、モザンビーク、キルギス、モーリシャス、スリランカなど世界各地を舞台としており、各地の政治・文化・宗教などの社会的状況が物語の肝になることもある。あくまで語学の授業であるため、社会的状況の分析に深く立ち入りはしないが、小説のみならずそうした多様な領域の文章を読むための導入としても良い機会となるだろう。</p> <p>評価方法 受講者の人数によって異なるが、基本的に平常点（授業参加度）を重視する。 少人数の場合は平常点のみでの評価もありえるが、場合によっては試験やレポートを課すことがある。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>						
51072	A	フランス語中級（読解）	増田 一夫	金2	102	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 簡単なフランス語で読む現代フランス社会</p> <p>目標概要 【注意】この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目A系列 フランス語テキスト分析Ⅱ として開講される。</p> <p>履修者と一緒には高尚な古典に挑戦したいという願望はつねに抱いていますが、この授業ではいままで学んだ知識であまり無理なく理解できるテキストを取り上げます。</p> <p>読解が中心の授業です。今年度は実践的なフランス語を重視したクラスが多いので、そのようなクラスに所属している方々は文法を学ぶ機会としても利用してください。また、文法を中心に進めてきた方々は文法的知識を確認する機会としても参加してください。</p> <p>なお、音声付きの教材を用いるので、読み方、聞き取りの練習をすることもできます。</p> <p>平易な構文で書かれた文章に触れることで、1年次に学習する諸要素を有機的に活用し、定着させることを授業の目標としています。</p> <p>また、フランス独特の切り口で書かれているため、フランス文化を理解する助けともなるはずです。</p> <p>評価方法 平常点（出席、課題、授業の参加度）、および試験</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50780	A	フランス語上級（演習）	デルヴロワ ミカエル	水5	10-205	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 フランス語上級（演習）／ French Language (Advanced)</p> <p>目標概要 このクラスでは方法論をもとにフランス語作文を簡単な作文を実現する為のコツ・技術を学ぶ。まず、それぞれのテーマに取り組む前に基礎文法のポイントを確認する：代名詞、現在・過去・未来形の活用、間接話法など。フランス語の例文を見て、その真似をすることから体系的に表現できるようになる。学生が自分の意見を表現する練習として、教師は授業中は積極的にフランス語で問いかける。Aセメスターからは宿題を中心にして作文の論拠をまとめる技術を身に付ける。</p> <p>Delf A2やDelf B1・B2レベルの作文練習を用いる。自分の意見をまとめ、実際にフランス語でフォーマルな手紙・履歴書・モチベーションレター・新聞記事などのような作文を作り、フランス人とのやりとりやフランスで仕事をするのに役立つコミュニケーション技術を身に付けることを目指す。</p> <p>評価方法 作文を宿題として毎週お願いする。作文の宿題で評価します。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50199	A	フランス語上級（会話）	アガエス ジュリアン	月4	10-203	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 Cours de conversation en français niveau avancé (DELF B1/B2)</p> <p>目標概要 Nous allons étudier l'actualité des pays francophones et discuter à propos de sujets variés. Nous demanderons également aux étudiants de participer à l'élaboration du programme afin d'étudier des thématiques qui les concernent et pour lesquelles ils ont un intérêt.</p> <p>評価方法 Examen final, présentations, attitude et participation en classe.</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50155	A	フランス語上級（読解）	今橋 映子	月3	8-319	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 【パリの写真家・ブラッサイのテキストを読むー写真論入門】</p> <p>目標概要 20世紀には、パリを拠点として都市写真の新たな展開が見られた。この授業では、ハンガリー（トランシルヴァニア）出身の写真家ブラッサイ（Brassaï, 1899-1984）の文章を中心に、パリ神話がどのように醸成されていったのか、その現場を見ることにする。ブラッサイは1920年代亡命者としてパリに来て、画家や彫刻家など様々な芸術表現の中から苦しみながらも写真家の道を選んだ。ドイツ占領下の時代にはピカソやプレヴェールの良き友人であり、戦後はフランスに帰化して、フォトジャーナリズムにおける確固たる仕事を貫いた。ベンヤミンの都市論、写真集『夜のパリ』『1930年代秘密のパリ』『落書き』などの文章や、グラフ雑誌に掲載された実際の記事など、様々な角度から書かれた文章を精緻に読み解くことで、フランス語力を上げると共に、都市写真の魅力を知り、写真論の基礎を学ぶ授業としたい。</p> <p>参加者は、フランス語の文法を一通り学習していること（接続法まで）を条件とする。特にブラッサイという人物や写真（学）に関する知識がなくて構わないが、この授業を通して写真を学ぶ意欲のある参加者を期待する。</p> <p>評価方法 出席および発表、期末小レポートによって評価する。</p> <p>教科書 初回授業に指示する（コピー製本の予定）</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>						

中国語初級（演習）②	開講区分	A
<p>目標概要 一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。Sセメスターの続きから始める。 ※TLPクラスは教科書が異なるため各クラスのUTASで確認をすること。</p> <p>成績評価方法 繰上げ試験と小テストなど</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 基礎汉语 口语演習教材 著者（訳者）：駒場中国語教育研究会編・李佳樑著</p> <p>※講義の詳細については、UTASも参照すること</p>		

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50049	月2	林立梅	157	1年 文一二(16)
50164	月4	王嵐	106	1年 文一二(18)
50249	火1	喬志航	101	1年 文一二(15)
50724	水4	中原裕貴	157	1年 文一二(14)
50825	木2	鄧芳	149	1年 文一二(17)
50827	木2	賈黎黎	121	1年 文三(10)
50828	木2	白春花	162	1年 文三(11)
50951	木4	柴森	107	1年 文一二(19)
50956	木4	李雲	164	1年 文三(13)
51129	金3	張玉萍	108	1年 文三(12)

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50306	A	中国語初級（演習）	李 洵	火2	107	1年 理科
<p>講義題目 中国語の基礎を固めるトレーニング 目標概要 一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。 評価方法 定期試験と小テストなど 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 基礎汉语 口语演習教材 著者（訳者）：駒場中国語教育研究会編・李佳樑著 ガイダンス 特に行わない。</p>						
51008	A	中国語初級（演習）	李 雲	木5	164	1年 理科
<p>講義題目 中国語の基礎を固めるトレーニング 目標概要 一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。 評価方法 定期試験と小テストなど 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 基礎汉语 口语演習教材 著者（訳者）：駒場中国語教育研究会編・李佳樑著 ガイダンス 特に行わない。</p>						
50019	A	中国語初級（会話）	林 立梅	月1	157	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 中国語による会話能力をつけるトレーニング 目標概要 基礎科目として中国語を半年以上学んだ学生を対象とする。学習した基礎文法を確認しながら、初歩的な会話能力を身につけることを目標とする。 評価方法 平常点（出席、授業参加状況など）と期末発表 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。</p>						
50530	A	中国語初級（会話）	毛 興華	火5	154	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 中国語で話そう 目標概要 初級段階で学習した文法事項や語彙などを実会話で使えるようにすることを目的としている。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修中国語二列②の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 授業中のパフォーマンス、期末発表会 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 快樂学漢語・説漢語 初中級 中国語会話 著者（訳者）：江秀華、李軼倫 出版社 : 早稲田大学アカデミックソリューション ISBN : 978-4-903049-41-0 ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51073	A	中国語初級（会話）	賈 黎黎	金2	121	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 中国語初級会話</p> <p>目標概要 中国語の入門段階を終えた学生を対象とした初級中国語の会話の授業です。基礎的な中国語会話の習得と、発音練習・発音矯正を行います。</p> <p>評価方法 学期の終わりに定期試験を実施します。小テスト及び平常点（出席率、授業態度、宿題等）を加算して評価します。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 『アクション！开始！』2ーコミュニケーション中国語ー 著者（訳者）：鈴木慶夏 出版社 : 朝日出版社 ISBN : 9784255452906</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50156	A	中国語初級（作文）	賈 黎黎	月3	121	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 中国語初級作文</p> <p>目標概要 半年から一年程度中国語を学習した学生を対象とした授業である。基礎語彙と文法を学び、その知識をもとに作文の訓練をする。更に履修者の作文を添削しながら解説を行うことで初歩的な中国語作文能力を身に付けることを目標とする。</p> <p>評価方法 課題、小テストと定期試験によって総合的に評価する</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : チャイニーズライティング 著者（訳者）：何彬 小野秀樹 出版社 : 白帝社 ISBN : 4-89174-712-9</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50802	A	中国語初級（作文）	何 珍時	木1	155	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 中国語初級（作文）</p> <p>目標概要 中国語の基本的な仕組みを理解しながら、中国語で作文する力をつけ、自分自身のことや日常生活に必要なことを、中国語で書いて表現する能力を養成することを目標としています。 中国語の基本的な文法事項や重要な文型について、詳しく解説し、それを学習しながら、単文を中心とした練習問題を解くことによって、基礎的な作文能力をつけていきます。</p> <p>評価方法 出席、予習・復習の状況、試験などで総合的に評価します。</p> <p>教科書 授業中に指示をする。 書名 : チャイニーズライティング 著者（訳者）：小野秀樹 出版社 : 中国語研究室より入手</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50804	A	中国語初級（表現練習）	王 前	木1	152	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 中国語ハイレベル基礎トレーニング TLP</p> <p>目標概要 TLP(トライリンガル・プログラム) 履修生のための科目。中国語一列・二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。</p> <p>評価方法 定期試験と小テストなど</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : ①『汉语纵横 精读』〇級 ② 漢語閲読教程第一冊 著者（訳者）：①马燕华 ②彭志平</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50307	A	中国語初級（インテンシヴ）	毛 興 華	火2	122	1年 文科 理科
51009			毛 興 華	木5	158	
50308			賈 黎 黎	火2	121	
51010			賈 黎 黎	木5	156	

講義題目 中国語の実践能力を養うためのトレーニングA

目標概要

基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。火曜日2限と木曜日5限をセットで履修することを義務付ける。(参照『履修の手引き』)火曜日2限では、主に発音・会話の訓練を行う。木曜日5限では主に発音、聞き取りの訓練を行う。実践訓練を行うため、クラス定員を30名までとする。希望者多数の場合は抽選を行うので初回授業に必ず出席すること。Sセメスター履修者を優先するが(SセメスターでC・Dクラスを履修していた学生も優先する)定員に満たない場合は新規履修者も受け入れる。各クラスの組み合わせは下記のとおり。

【A】担当教員：賈黎黎

【B】担当教員：毛興華

★基本的に初修者を対象とするため、ネイティブ・ニアネイティブの受講は認めない。

評価方法

小テスト・定期試験など総合して評価する。

教科書

次の教科書を使用する。

書名：「初級インテンシヴコース 会話教材」及び「初級インテンシヴコース リスニング教材」

著者（訳者）：王雪萍・孫軍悦・小野秀樹・駒場中国語教育研究会編

ガイダンス

特に行わない。

50026	A	中国語初級（インテンシヴ）	白 佐 立	月1	10-103	1年 文科 理科
50326			李 彦 銘	火2	150	
50327			王 前	火2	113	

講義題目 TLP中国語実践トレーニング

目標概要

この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる3言語を自在に操る人材になることを目指す。

評価方法

授業態度・小テスト・定期試験等を総合的に評価する。

教科書

次の教科書を使用する。

書名：汉语縦横 会話 0級 第二版

著者（訳者）：盛双霞

出版社：北京語言大学出版社

ガイダンス

第一回授業日に行う。

50805	A	中国語初級（インテンシヴ）	白 春 花	木1	162	1年 文科 理科
50806			鄧 芳	木1	154	
51088			鄧 芳	金2	154	

講義題目 TLP中国語実践トレーニング

目標概要

この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる3言語を自在に操る人材になることを目指す。

評価方法

授業態度・小テスト・定期試験等を総合的に評価する。

教科書

次の教科書を使用する。

書名：現代漢語基礎 初級インテンシヴコース リスニング教材

著者（訳者）：駒場中国語教育研究会 孫軍悦、王雪萍、小野秀樹

ガイダンス

第一回授業日に行う。

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50157	A	中国語初級（第三外国語）	河野 直恵	月3	166	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 中国語の基礎の習得</p> <p>目標概要 一年間の学習を通じて中国語の基礎（発音・文法事項）を学ぶ。今学期はSセメスターの続きから始める。</p> <p>※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修 中国語二列②の単位未取得者には、読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。</p> <p>評価方法 小テストおよび定期試験</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 旅して学ぶ中国語 著者（訳者）：楊凱榮・張麗群 出版社 : 朝日出版社 ISBN : 978-4-255-45184-8</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50309	A	中国語初級（第三外国語）	山影 統	火2	112	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 中国語初級</p> <p>目標概要 中国語の発音および初級文法の習得</p> <p>※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修 中国語二列②の単位未取得者には、読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。</p> <p>評価方法 出席、中間テスト、定期試験で評価する。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 1冊目の中国語一購読クラス 著者（訳者）：劉穎、松田かの子、喜多山幸子 出版社 : 白水社 ISBN : 4560069190</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
51074	A	中国語初級（第三外国語）	張 玉萍	金2	108	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 中国語の基礎</p> <p>目標概要 この授業は直接教授法を取り入れ、基本的に中国語で中国語を教えるものである。教員の一方的な説明に終始することなく、学生とのやり取りや学生同士の様々な形の練習を通して、中国語の表現力・思考力を次第に身につけるようにする。できるだけ日本語は使わずに中国語で講義をする。SセメスターはI、Aセメスターはその続きのIIである。(G1)</p> <p>評価方法 定期試験と小テスト・中国語での発表および授業参加など</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 『おぼえチャイナ2』 著者（訳者）：八木章好 鄭麗媚 出版社 : 朝日出版社, 2014年</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50084	A	中国語中級（演習）	鍾 非	月2	158	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 中国語作文と和訳</p> <p>目標概要 中国語作文（奇数週）と中文和訳（偶数週）を隔週で行う。前者はいろいろなレベルの中国語作文（和文中訳）。後者は近年出版された中国語の単行本（経済・政治・社会；向こうの出版社）を丁寧かつ正確に朗読した後、きちんと和訳してゆく（中文和訳）。「いろいろ」と主張しただけに、受講者に「作文に終着駅などない」ことを強く気づかせ、「和訳」である以上、みなさまに本格的な翻訳の醍醐味を存分に味わわせる。ありとあらゆるレベルの受講者に出来るだけ対応。日中両国の慣用句・ことわざ・熟語・成語を極力重視（電子辞書推奨）。</p> <p>評価方法 出席+演習の成績。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50310	A	中国語中級（演習）	秋山 珠子	火2	155	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 中国語映像翻訳実習</p> <p>目標概要 本授業は、中国語の映像作品（劇映画、ドキュメンタリー、ビデオアート、テレビ作品等）の字幕翻訳の実習を通して、1)言語・音声および映像が伝えるイメージを分析し、2)的確な日本語に翻訳する力を身につけ、3)映像翻訳の可能性/不可能性を実践の中で考察することを目標とする。またその過程で、字幕翻訳のルールを再検討するとともに、作品および中国の社会や文化に関する理解を深めていく。(G8-10)</p> <p>※ 履修希望者多数の場合は抽選を行う。</p> <p>評価方法 提出物、授業貢献度（出席状況・授業への取り組み・発表など）と最終試験の成績から総合的に判断する。</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>						
50427	A	中国語中級（会話）	劉 岸麗	火3	102	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 使える中国語を身に着けよう</p> <p>目標概要 基礎文法、句型を使って日常会話、リスニングを練習する。会話、読解両方のテキストを勉強していくうちにその違いも自然にわかってきます。中検対策のために練習問題も充実しているので、中国語の基礎がより確かなものとなるでしょう。</p> <p>評価方法 中間テスト、定期試験</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 新ブラッシュアップ中国語 著者（訳者）：関中研 出版社 : 朝日出版</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50719	A	中国語中級（会話）	毛 興華	水3	154	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 中国語で話し、中国を知る</p> <p>目標概要 現代中国の様々な事情を話題にした会話スキットを勉強し、初級で習得した文法事項を確認しながら「話を聞く」「質問する」「表現する」という三つの会話力を磨き上げる。中級から上級へのステップアップを意識するコースである。</p> <p>評価方法 授業中のパフォーマンス（プレゼンテーションなど）、定期試験</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : リアルスコープ現代中国事情 著者（訳者）：李貞愛 出版社 : 朝日出版社 ISBN : 978-4-255-45231-9</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>						
50871	A	中国語中級（会話）	姚 毅	木2	156	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 コミュニケーション能力を高めるための実践コース</p> <p>目標概要 初級段階で学習した文法項目を応用し、語彙を増やしながら、中国語のコミュニケーション能力を高めるための実践コースである。勉強、買物、趣味、仕事、交友など日常触れるさまざまな場面を話題にし、「聞く」「話す」の反復練習を通して、その場面に関する典型的表現を覚えていく。また、習ったことを活かし、自分自身の経験、感想などについて発表してもらう。</p> <p>評価方法 平常点（授業の参加・小テスト）と定期試験を吟味して評価する。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : やさしく楽しい中級中国語 著者（訳者）：郭春貴・郭久美子・梁勤著 出版社 : 白帝社 ISBN : 978-4-86398-269-7</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	曜限	教室	対象
50938	A	中国語中級（作文）	柴 森	木3	107	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 やや高度の中級作文練習</p> <p>目標概要 中国語の構文を中心にした文法事項を系統的に学習しながら、さまざまな練習問題を解いていく。自分の伝えたいことをできるだけ幅広く中国語で表現できることを目指す。</p> <p>評価方法 平常点（30%）と定期試験（70%）による総合的評価。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>						
50760	A	中国語中級（読解）	韓 燕麗	水4	102	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 中国映画人の回想録を読む</p> <p>目標概要 【注意】この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目A系列 中国語テキスト分析Ⅱとして開講される。</p> <p>中国の映画監督や俳優たちによって書かれた比較的平易な文章をピックアップして読んでいく。映画の専門用語が分からなくても中国映画史とくに戦前の大まかな流れを把握することを目標とする。</p> <p>評価方法 履修者が20名以上の場合は、期末に試験を行う。履修者が20名未満の場合は、分担したテキストの翻訳結果によって決める。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50158	A	中国語上級（会話）	韓 燕麗	月3	102	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 中国語で映画について語ろう</p> <p>目標概要 中国映画を鑑賞し、その内容と社会的背景について討論そして意見発表することを通して、高度な中国語応用力を身につけることを目標とする。</p> <p>評価方法 授業参加の積極性と口頭発表などによって総合的に評価する</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50644	A	中国語上級（作文）	毛 興華	水2	154	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 意見を論理的に述べる作文力を養う</p> <p>目標概要 中国語を2年以上学習した（発音、基本語彙、文法の基本事項をマスターしている）学生を対象とする作文の授業である。主として小論文を執筆する文章力の養成を目的とし、立論や論拠提示など議論を論理的に展開させるための作文力が身につくことを目指しています。</p> <p>評価方法 授業中のパフォーマンス、授業課題、期末レポート</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
51075	A	中国語上級（読解）	橋本 陽介	金2	150	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 中国語小説の読解、分析</p> <p>目標概要 中国語の小説を読解・翻訳する作業を通して、中国語の読解力を高めるとともに、文法を学ぶ。また、その表現特徴を把握する。</p> <p>評価方法 平常点</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

ロシア語初級（演習）②	開講区分	A
目標概要 正確な発音を実につけて、簡単なテキストを読む。内容を理解した上で、テキストに関して質疑応答ができるようにする。 成績評価方法 平常点など。 教科書 プリントを配布する。 ※講義の詳細については、UTASも参照すること		

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50947	木4	アズマイ ナジェージダ	121	1年 文一二(4)
50953	木4	ゴルボフスカヤ リュボーフィ	517	1年 文三(4)
51027	金1	アズマイ ナジェージダ	149	1年 文科(TLP)

※TLP履修者は、対象クラスで「1年 文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目L系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	曜限	教室	対象
51011	A	ロシア語初級（演習）	ゴルボフスカヤ リュボーフィ	木5	517	1年 理科
<p>講義題目 ロシア語演習② 目標概要 初級文法を学習中の学生を対象に、ロシア語の発音・イントネーションに習熟し、簡単な会話が行えるようになることを目指す。 評価方法 平常点など。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>						
51054	A	ロシア語初級（演習）	アズマイ ナジェージダ	金1	149	1年 理科
<p>講義題目 リスニングの力を高めるための演習です。 目標概要 TLP生対象。五つのテーマを取り入れる。テーマごとの内容と表現を多く覚えます。ビデオを見たりした後、単語とモデル表現を練習した上で、簡単な議論や、ロールプレイをします。ボイス演習もします。 評価方法 授業参加、宿題結果、発表 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特定日に行う。 2018年10月5日 ※授業は初回9月28日から行う。</p>						
51076	A	ロシア語初級（会話）	ゴロウィナ クセーニヤ	金2	151	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 会話力強化コース 目標概要 ロシア語の会話力を集中的にアップします。発音を改善するだけでなく、習った文法や表現を実際のロシア人との会話の場面において正確に適用できる余裕を身につけます。また、ロシア語のメディアなどの理解力の向上にも繋がります。 評価方法 授業でのアクティビティへの積極的参加 授業への準備（宿題、復習） 定期試験＋口頭のアレジチェック 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。</p>						
50311	A	ロシア語初級（作文）	毛利 公美	火2	154	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 ロシア語初級作文 目標概要 作文練習（和文露訳）を通して、すでに学んだ文法事項を確認し、定着を図ります。文法書の説明だけでは体得しにくい体や移動動詞の概念についても、様々なシチュエーションを想定した作文練習でより実感的に理解することができます。 ある程度の文法知識が身についたら、次のステップアップは語彙の獲得です。作文を通して類語表現や関連語彙を理解し、よく使う語彙や構文を学ぶことで、表現力を向上させることを目指します。 作文の授業ですので、書いてもらうことが中心ですが、形容詞を含めた格変化や数詞の使い方については、口頭練習も実施し、正確に早く運用できるようになることをめざします。 評価方法 平常点（課題への取り組み）によって評価します。履修人数によっては学期末に試験を実施します。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>						
50220	A	ロシア語初級（インテンシヴ）	奈倉 有里	月5	151	1年 文科 理科
<p>講義題目 ロシア語初級（インテンシヴ） 目標概要 ロシア語の読解力を強化します。 評価方法 授業への取り組みと試験等をあわせて総合的に評価します。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51222	A	ロシア語初級（インテンシヴ）	ゴルボフスカヤ リュポーフィ	金5	517	1年 文科 理科
<p>講義題目 ロシア語（インテンシヴ） 目標概要 必修のロシア語に加えて、さらなるロシア語知識の獲得を目指す。 評価方法 日常の授業、小テスト、および定期試験 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。</p>						
50225	A	ロシア語初級（インテンシヴ）	グロウィナ クセーニヤ	月5	156	1年 文科 理科
51018			グロウィナ クセーニヤ	木5	151	1年 文科 理科
<p>講義題目 ロシア語初級（インテンシヴ）→TLP 目標概要 TLP1年生を対象に、ロシア語の基本的能力を高度に育成する。 評価方法 授業参加、宿題、ナレッジチェック、定期試験、口頭試験。 教科書 プリントを配布する。 書名 : Русский сезон 著者（訳者） : Нахабина, М.М., Антонова, В.Е., Жабоклицкая, И.И., Курлова, И.В., Смирнова, О.В., Толстых, А.А. 出版社 : Златоуст ISBN : 978-5-86547-538-5 ガイダンス 特に行わない。</p>						
50781	A	ロシア語初級（第三外国語）	丸山 由紀子	水5	151	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 ロシア語初級（第三外国語） 目標概要 基礎的なロシア語文法を学びます。基礎文法を一通り終え、平易な文章であれば辞書を使って読めるようになること、簡単な会話ができるようになることが目標です。 評価方法 出席、小テスト（2回程度）と定期試験で総合的に評価します。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 《新版》はじめてのロシア語 著者（訳者） : 桑野隆 出版社 : 白水社 ISBN : 978-4-560-01635-0 ガイダンス 特に行わない。</p>						
50201	A	ロシア語中級（演習）	奈倉 有里	月4	151	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 ロシア語中級（演習、購読） 目標概要 これまでに学んだ文法事項を確認しながら、文学テキスト（散文・詩）や簡単な批評・論考テキストなどを読み解く力をつけることを目標とします。辞書と文法書だけではわからない文学・文化の背景知識も合わせて学ぶことで、テキストの行間を読む力を身につけます。 評価方法 出席、授業への取り組み、課題提出状況などを総合的に評価します。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50312	A	ロシア語中級（会話）	ゴルボフスカヤ リュボーフィ	火2	517	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 ロシア語中級（会話）</p> <p>目標概要 ロシア語での表現力の向上をめざす。1年以上、ロシア語を学習した者を対象とする。</p> <p>評価方法 平常点。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>						
51223	A	ロシア語中級（作文）	濱田 華練	金5	106	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 ロシア語の文章表現を学ぶ</p> <p>目標概要 この授業では、名詞の格変化およびそれぞれの格の用法や、動詞のアスペクト、移動の動詞といったロシア語学習者にとっての難所を、実際のロシア語のテキストに基づいて分析し、さらに自身でそれらを使いこなせるようになることを目指す。また、その過程で露和・和露辞典を活用する習慣を身につけることも目標の一つとする。</p> <p>評価方法 普段の授業参加と、学期末に課されるロシア語の小レポートによって評価する。なお、レポートの分量やテーマは受講者の関心や授業の進度に応じて決定する。</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>						
50761	A	ロシア語中級（読解）	丸山 由紀子	水4	151	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>【注意】 この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目A系列 ロシア語テキスト分析Ⅱ として開講される。</p> <p>講義題目 ロシア語論文購読</p> <p>目標概要 ロシア語を2年以上学習した学生を対象に、学術論文の精読を通して、アカデミックな文体で書かれたテキストを正確に読む力を養う。文法事項を正確に把握し、文脈を考慮して適切な訳語を選定しながらテキストを読むことで、今後、各自が必要なロシア語文献を読むための基礎力を身につけることを目指す。</p> <p>評価方法 1. 授業への貢献度、担当箇所の和訳の完成度。 2. 学期末レポート。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50493	A	ロシア語中級（インテンシヴ）	ゴルボフスカヤ リュボーフィ	火4	517	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 ロシア語インテンシヴ（Intermediate Level）</p> <p>目標概要 教科書の会話文の練習をとおして、ロシア語の発音やイントネーション、会話表現の向上を目指します。</p> <p>評価方法 授業にてアナウンスします。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : <i>Говорите по-русски</i> 著者（訳者） : С.Хавронина 出版社 : М. Русский язык. 2014г.</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51012	A	ロシア語中級（インテンシヴ）	アズマイ ナジェージダ	木5	121	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 自分の考え方をロシア語で表現する実力を高める</p> <p>目標概要 ロシア語短い作文,発表の訓練</p> <p>評価方法 授業参加、3回発表</p> <p>教科書 プリントを配布する。 書名 : Говорите по-русски 著者(訳者) : С.Хавронина 出版社 : М. Русский язык. 2014</p> <p>ガイダンス 特定日に行う。 2018年10月4日 ※授業は初回9月27日から行う。</p>						
51168	A	ロシア語上級（会話）	ゴルボフスカヤ リュボーフィ	金3	517	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 ロシア語上級（会話）</p> <p>目標概要 ロシア映画を素材に、ロシア語会話の独特な表現法を学ぶ。ロシア語による講義。</p> <p>評価方法 平常点および定期試験</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50987	A	ロシア語上級（作文）	ゴロウィナ クセーニヤ	木4	151	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 ロシア語作文の書き方・実力アップコース —文化人類学を通じてのロシア語—</p> <p>目標概要 この講義では、文法の復習・実用やテキストの読解、翻訳、様々なジャンルの作文の書き方の練習を通して、ロシア語作文の実力アップを目指します。宿題は主として特定のテーマや文体のエッセーです。作文は受講者の希望に合わせて、手紙、体験記、ブログ、新聞や雑誌の記事、エッセーなどの文体を身につけた上で、最終的に学術論文の書き方を理解し、それに相当する短いものを書いてもらいます。 このコースにわたっての大きなテーマは「文化人類学/культурная антропология」です。「文化人類学」の様々な側面をテーマにした多様なジャンルのテキストを読み、作文を書く能力を身につけます。</p> <p>評価方法 授業参加、宿題、中間試験、定期試験、レポート</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

スペイン語初級（演習）②	開講区分	A
目標概要 共通教科書を用い、Aセメスターでは、一列で扱う文法及び講読の進度に合わせ、発音、聞き取り、会話練習、文法の応用練習などを行い、スペイン語の運用能力を高めることをめざす。 成績評価方法 各担当教員に任せられている。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : スペイン語初級 著者（訳者） : 東京大学教養学部スペイン語部会 出版社 : 朝日出版社 ※講義の詳細については、UTASも参照すること		

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50047	月2	ドニャス ベレニャ アントニオ	104	1年 文一二(7)
50048	月2	ロサレス パトリシア	112	1年 文一二(12)
50162	月4	イサベル カルロス	101	1年 文一二(9)
50949	月4	ドニャス ベレニャ アントニオ	108	1年 文一二(13)
50248	火1	イサベル カルロス	106	1年 文一二(8)
50363	火3	イサベル カルロス	1214	1年 文一二(10)
50364	火3	ドニャス ベレニャ アントニオ	1213	1年 文一二(11)
50955	木4	イサベル カルロス	108	1年 文三(8)
51045	金1	ドニャス ベレニャ アントニオ	122	1年 文三(7)
51181	金4	エクトル シエラ	112	1年 文三(9)

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50782	A	スペイン語初級（演習）	ルイズ ティノコ アントニオ	水5	152	1年 理科 2年 理科
<p>講義題目 スペイン語初級（演習）</p> <p>目標概要 スペイン語初級は共通教科書を用い、Aセメスターでは一列で文法を学び、二列で講読を行う。この演習は理科学限定で、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、初歩的な会話の練習、文法の応用練習などを行い、スペイン語の運用能力をいっそう高めることをめざす。理科学は積極的に参加してほしい。</p> <p>評価方法 授業への参加度（40％）と期末テスト（60％）</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : スペイン語初級 第3版 著者（訳者）：東京大学教養学部スペイン語部会 出版社 : 朝日出版社</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50274	A	スペイン語初級（会話）	受田 宏之	木1	10-201	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 Skypeを用いたメキシコの大学生との会話</p> <p>目標概要 Skypeを用いてメキシコの大学生と会話することを通じて、実践的なスペイン語力を身につけると同時に、ラテンアメリカについての理解を深めることを目標とする。</p> <p>評価方法 受講者は、自分の好きなテーマについて5分程度のスペイン語ビデオを作成する。最終日にUNAM関係者に観てもらおう機会を設ける。ビデオの評点に、毎回の授業への参加状況を加えて評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
51013	A	スペイン語初級（会話）	FERNANDEZ HERBOSO	木5	152	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 スペイン語 会話 初級(A1-A2)</p> <p>目標概要 それぞれの会話レベルを理解し正しい表現ができるように学習する。決まり表現、言い回しなどの使い方をその場で使えるようにする。 その他に文法、単語のレベルをDELE A2 まで引き上げていく。</p> <p>評価方法 小テスト、定期試験及び口頭試験。 2, 3週間毎に約10分間のミニテストを行います。授業の評価は、ミニテストの結果と宿題で50％、終了テストの結果50％で総合評価します。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
51224	A	スペイン語初級（会話）	エクトル シエラ	金5	112	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 ¿HABLAMOS? スペイン語での基本的なコミュニケーション</p> <p>目標概要 スペイン語で日常生活について話せるようになることを目指す。 自己紹介、天気や家族、好きなこと、嫌いなこと、料理の簡単な感想、町の様子、過去にしたことや近い未来にしたいことについての会話の演習を行う。 スペイン語らしい発音や自然なイントネーションの習得を目指す。また、前学期で学習した規則動詞の現在形、現在進行形や近未来の復習をした上で、不規則動詞や再帰動詞を使った会話を習得する。</p> <p>評価方法 参加30％、宿題・パフォーマンス・態度・授業への貢献30％、口頭試験・作文40％</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50783	A	スペイン語初級（作文）	渡辺 暁	水5	105	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 アウトプットはもちろんインプットも大事にするスペイン語作文の授業</p> <p>目標概要 スペイン語初級作文では、さまざまな表現を覚えながら作文に応用する作業を行っていきます。皆さんはもちろん、スペイン語で文章ができるようになりたい、と思ってこの授業を取って下さるわけですが、アウトプットと同様、インプットも大事です。この授業では、もちろんスペイン語で文章を書くことを最終的な目標としつつも、テキスト・映像・音楽など、さまざまなかたちでスペイン語そしてスペイン語圏についての情報をインプットしつつ、またスペイン語の文法についても適宜補足をしながら、知識をつけつつアウトプット能力を養っていきます。</p> <p>評価方法 毎回少しずつ書いていく作文（および日本語での感想）と、最終レポートで単位をつける予定です。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
51077	A	スペイン語初級（作文）	有田 美保	金2	104	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 スペイン語初級（作文）</p> <p>目標概要 本コースは、和文（おもに単文）から適切にスペイン語文にするための解説と演習を中心としたものである。一年生の初修外国語（文科・理科）の授業で既習あるいは学習中である文法事項を『書く』ことを通して復習するとともに、能動的な言語応用を図る諸君の積極的な学びの場となるように展開していく。初修外国語の授業でカバーされなかった語彙やフレーズ、またさまざまな話題や言語使用のシーンにふれて、本言語の運用の幅を広げてほしい。【今semesterは、GUSTAR型構造→再帰動詞→過去時制→未来形→完了時制→接続法と進んでいく予定である】</p> <p>評価方法 授業内の30分で西訳5題を西訳してもらい、出来栄えや仕上げの丁寧さによって評点を受ける（30点満点×3回＝90点満点）。これに第2週に実施する『単語テスト』（10点満点）を加えた得点から、欠席・遅刻・早退、宿題未遂行、態度不良などがある場合には減点し（最大30点めやす）、また質問・発言など積極的な態度が伺える者にものみプラス評価（最大10点めやす）を入れ、最終評価を算出する。</p> <p>「特別な理由」（診断書のある疾病、立証書類で客観性の認められる就職活動・学業活動・冠婚葬祭、遅延証明のある交通機関の遅延、等）による欠席（またはそれにとまなう未提出課題）については、都度教員に相談すること。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Paso Doble~Primer Paso 著者（訳者） : 有田美保 出版社 : 弘学社 改訂をおこなったので、旧版は使用できない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行く。</p>						
50221	A	スペイン語初級(インテンシヴ)	イサベル カルロス	月5	101	1年 文科 理科
51014			イサベル カルロス	木5	108	
<p>講義題目 スペイン語初級</p> <p>目標概要 必修スペイン語に加えてスペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを開講する。内容は会話と作文で、必修の授業の進度に合わせながら実践的な運用能力を獲得することをめざす。履修人数を制限し、週2回の授業に出席することを義務とする。2つの授業ともスペイン語ネイティブの教員（カルロス・イサベル）が担当する。</p> <p>評価方法 授業初回で示される。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : ¡Muy bien! Curso de español 著者（訳者） : Moyano, García, Hiroyasu 出版社 : 朝日出版社 ISBN : 978-4-255-55094-7</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行く。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50020	A	スペイン語初級（第三外国語）	栗林 ゆき絵	月1	151	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 スペイン語（初級）（第三外国語）</p> <p>目標概要 スペイン語の骨格となる動詞の全時制形式を知り、それらが日常会話でいかに用いられているかを学ぶ。空港・買い物・アポイント・レストラン・ホテル・タクシー等、場面別のダイアログを教材とし、片言以上の運用能力を身につけることを目標とする。</p> <p>受講者の希望があれば新聞記事講読等も行う。</p> <p>評価方法 平常点20%（小テスト）、定期試験80%の予定。 出席点は数値化しないが、小テスト（毎回開始時5分程度）を受けたものを出席とみなす。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : エスペランサ 著者（訳者）：栗林ゆき絵ほか 出版社 : 同学社 ISBN : 4-8102-0428-5</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50762	A	スペイン語初級（第三外国語）	齊藤 文子	水4	107	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 速習スペイン語</p> <p>目標概要 1 セメスターでスペイン語文法の基礎を学びます。</p> <p>評価方法 毎回の小テストと定期試験</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : スペイン語文法の要点 著者（訳者）：二宮哲 出版社 : 朝日出版社</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>						
51078	A	スペイン語初級（第三外国語）	丸山 共恵	金2	118	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 スペイン語初級</p> <p>目標概要 スペイン語文法の基礎をじっくり学び、「聞く、話す、読む、書く」の4技能を磨きながら、簡単な会話・読解・作文にも取り組めるような応用力を身に付ける。文法だけではなく、スペイン語圏の文化(音楽・映画など)にも触れながら楽しく学ぶ。</p> <p>評価方法 平常点40%（小テスト、出欠）定期試験60%</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 初級スペイン語文法 全音声DL版 著者（訳者）：和佐 敦子 出版社 : 朝日出版社 ISBN : 978-4-255-55077-0</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
51079	A	スペイン語初級（第三外国語）	ドニヤス ベレニャ アントニオ	金2	122	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 Basic Spanish Grammar, direct method</p> <p>目標概要 This course is designed for students with no previous experience in Spanish, and has as its main objective to help the students achieve a basic level of proficiency through the development of the four basic language skills (listening, speaking, reading and writing).</p> <p>評価方法 Participation in class: 20 % Assignments: 20 % Tests: 60 %</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	曜限	教室	対象
50222	A	スペイン語中級（演習）	ガルシア ルイス カステージョ カルロス	月5	150	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 Habla en español</p> <p>目標概要 この教科の目的は、学生がA2-B1レベル相当の学力を身につけることである。授業は主に口頭表現の習得のために構成されている。口頭表現に加え、リスニング、読解、文章表現といった基礎も学習し、学生は実際にスペイン語を使うのに必要な社会文化にも親しむ。</p> <p>El objetivo del curso es que los estudiantes adquieran las competencias propias de los niveles A2-B1. La clase está planteada para practicar principalmente la expresión oral. Además de la expresión oral, practicaremos también las otras destrezas básicas (comprensión auditiva y lectora y expresión escrita) y los estudiantes se familiarizarán con los aspectos socioculturales necesarios para poder usar la lengua en contextos reales.</p> <p>評価方法 40%:出席、授業中の積極性、課題 60%:試験</p> <p>40% Asistencia, participación y tareas de clase. 60% Exámenes</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50990	A	スペイン語中級（会話）	FERNANDEZ HERBOSO	木4	152	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 スペイン語中級（会話）</p> <p>目標概要 スペイン語圏でコミュニケーションを取るために必要とされる、言語の技能と知識を学ぶ。この授業では既習の文法的知識を強化し、また、生徒がB1レベル（ヨーロッパでの言語技能基準）に達するために必要な語彙とコミュニケーションの習得を目指す。</p> <p>This course aims at providing the student with the strategies and knowledge necessary to encourage interaction and communication in the Spanish-speaking world. The purpose of the lessons is to reinforce the acquired grammatical knowledge and, particularly, to learn new vocabulary, so that the student is able to develop communication skills up to the B1 level in the Common European Framework.</p> <p>評価方法 小テスト、定期試験及び口頭試験。 Mini tests, the end-of-semester exam, and the oral exam.</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50313	A	スペイン語中級（作文）	藤田 護	火2	108	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 スペイン語中級作文</p> <p>目標概要 スペイン語の学習が進んでいる学生を対象として、アウトプットを重視した作文の演習を行う。教科書を用いながら定期的なペースで進むとともに、学期中に2回、よりクリエイティブな長い作文課題を課すことを予定している。授業を履修できる対象学生としては、スペイン語の初級文法の学習が終わった2年生とともに、学習中の1年生も含める。文法の知識を確認しつつ、よりフォーマルなスペイン語に少しずつ慣れていくことを目指す。</p> <p>評価方法 毎回の宿題の提出と出来、授業への参加、そして二度の長い作文課題への取り組みを総合的に評価する。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 新訂版・スペイン語作文中級コース 著者（訳者）：木村琢也、中西智恵美 出版社 : 同学社 ISBN : 978-4-8102-0437-7</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50494	A	スペイン語上級（演習）	イサベル カルロス	火4	1221	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 Curso de práctica de español a nivel avanzado</p> <p>目標概要 El objetivo de este curso es ayudar a los alumnos a desarrollar sus capacidades de comunicación en español, por medio de la práctica oral y escrita y el aprendizaje de nuevo vocabulario.</p> <p>Como material base para la práctica vamos a usar noticias breves y sencillas, extraídas de periódicos, televisión y medios digitales. Esto hará que los alumnos también aumenten su conocimiento de diversos asuntos de actualidad y reflexionen sobre ellos. Se pedirá a los alumnos que hagan breves presentaciones de noticias en español, a las que deberán añadir una valoración personal.</p> <p>評価方法 Los alumnos tendrán que hacer una presentación y escribir una composición durante el curso. Al final del semestre tomarán un examen.</p> <p>Presentación: 20%</p> <p>Composición: 20%</p> <p>Participación en clase: 20%</p> <p>Examen: 40%</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50159	A	スペイン語上級（会話）	ロサレス パトリシア	月3	112	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 Avancemos tema a tema</p> <p>目標概要 Guiar a los estudiantes para mejorar su capacidad de expresión e interacción oral. Mediante diversos temas, de interés los estudiantes se ejercitarán para hablar temas de interés general y de uso frecuente. El trabajo en clase permitirá a los alumnos desarrollar el vocabulario, la fluidez, y su capacidad de interacción. Los estudiantes tienen que preparar los temas con antelación para poder participar en clase.</p> <p>（口頭での表現ややりとりの能力を高めます。様々なテーマを通じて、一般的に関心を持たれていることや、よく使う表現を話す練習がなされます。授業では語彙や流暢さ、会話をやりとりする能力を高めることができますでしょう。授業に参加できるように、予習することは必須です。）</p> <p>評価方法 10% Asistencia.(出席) 30% Presentación de una noticia del periódico. Oral y escrita. (口頭と筆記による新聞記事の発表) 20% Presentaciones (発表) 40% Trabajo de clase(授業での作業)</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50763	A	スペイン語上級（作文）	ルイズ ティノコ アントニオ	水4	152	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 スペイン語上級（作文）</p> <p>目標概要 Redacción de varios tipos de textos</p> <p>El objetivo de este curso es que el estudiante se acostumbre a redactar textos de una página de longitud sobre distintos temas, como descripciones, informes, opinión, etc. Durante los ejercicios se repasarán los puntos principales de la gramática y del uso adecuado del vocabulario.</p> <p>（この授業の目的は、学生が1ページ程度の文章を書くのに慣れることである。テーマは描写、報告、意見など。練習の合間に、主な文法事項や、語彙の的確な運用の復習も行う。）</p> <p>評価方法 出席・授業参加：50% 日常的な作文：30% 学期末の作文：20%</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50654	A	韓国朝鮮語初級（演習）②	崔 泰源	水3	1211	1年 文一(2)文三(5)
<p>講義題目 韓国朝鮮語初修（文系）</p> <p>目標概要 韓国朝鮮語のネイティブ教師が担当する。一列の授業で学んだ基礎知識の定着と、さらに「スピーキング」「リスニング」「リーディング」「ライティング」の諸領域におけるバランスの取れた理解・表現能力の向上を目指す。</p> <p>評価方法 定期試験、小テスト、課題、出席など</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	曜限	教室	対象
50994	A	韓国朝鮮語初級（演習）②	ジミンギョン	木4	149	1年 文科(TLP)
<p>講義題目 韓国朝鮮語初級（演習）② TLP 目標概要 韓国朝鮮語一列・二列で学んだ基礎知識の定着と発展のために、練習や活動を多く取り入れ、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。 評価方法 定期試験、小テスト、課題、授業への参加などで総合的に評価する。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。</p> <p>※TLP履修者は、対象クラスで「1年 文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目L系列英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。</p>						
50993	A	韓国朝鮮語初級（演習）	ジミンギョン	木4	149	1年 理科
<p>講義題目 韓国朝鮮語初級（演習）TLP 目標概要 韓国朝鮮語一列・二列で学んだ基礎知識の定着と発展のために、練習や活動を多く取り入れ、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。 評価方法 定期試験、小テスト、課題、授業への参加などで総合的に評価する。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。</p>						
50645	A	韓国朝鮮語初級（会話）	李英蘭	水2	149	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 韓国朝鮮語初級（会話） 目標概要 韓国朝鮮語の初級レベルの語彙や文法、表現などを、会話練習を中心にして学習していく。ハンゲルの読み方や韓国朝鮮語の基礎的な文法を半年ほど学習した人を対象とする。本授業を通して韓国朝鮮語の基礎会話を身につけることを目指す。 評価方法 出席、課題、小テストなどの平常点+定期試験を総合的に評価する。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。</p>						
51015	A	韓国朝鮮語初級（会話）	金東漢	木5	103	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 韓国朝鮮語の基礎固め（その2） 目標概要 Sセメスターの続きになります。 Sセメスターで学んだ「発音のルール」とその他の発音の変化や最も基礎的な文法内容も繰り返し復習しながら、今学期も初級レベルの文法知識や自己表現などの総合的な学習を通じて、次のステップの土台を築いていきたいと思えます。 評価方法 課題などの平常点+最終週授業日（1月10日）の小テスト 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 『改訂版 韓国語レッスン 初級 1』 著者（訳者）：金東漢・張銀英 出版社 : スリーイーネットワーク ISBN : 4-88319-258-X ガイダンス 特に行わない。</p>						
50223	A	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）	崔泰源	月5	153	1年 文科 理科
<p>講義題目 韓国朝鮮語初級（インテンシヴコース） 目標概要 Sセメスターに引き続き、必修韓国朝鮮語に加えて韓国朝鮮語を集中的に勉強したい学生を対象とし、様々な応用練習を行います。「韓国朝鮮語一列」で学習する文法・語彙・表現などに基つきながら、実践的な運用能力を獲得することを目指します。 評価方法 定期試験、課題などに基づいて総合的に評価します。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50991	A	韓国朝鮮語初級(インテンシヴ)	金 東 漢	木4	103	1年 文科 理科
<p>講義題目 基礎知識の確立と定着 (その2)</p> <p>目標概要 基本的にはSセメスターの続きになります。下記はSセメスターのシラバスの内容なので、ご参照ください。</p> <p>韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当するこの「インテンシヴ」クラスでは、文字と発音のルールをはじめ、初級レベルの文法・会話・作文などの総合練習を通じて、一列・二列の授業で学んだ知識の応用・発展と、表現力の向上及びその定着を目指す。</p> <p>評価方法 課題などの平常点+最終週授業日(1月10日)の小テスト</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 『大学韓国語演習』 著者(訳者) : 金東漢 出版社 : 白帝社 ISBN : 978-4-86398-154-6</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50328	A	韓国朝鮮語初級(インテンシヴ)	ジ ミンギョン	火2	149	1年 文科 理科
50807			ジ ミンギョン	木1	102	
<p>講義題目 韓国朝鮮語初級 (インテンシヴ) TLP</p> <p>目標概要 必修授業に加えて韓国朝鮮語を集中的に勉強したい学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。</p> <p>評価方法 定期試験、課題、小テスト、授業への参加などで総合的に評価する。</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50276	A	韓国朝鮮語初級 (第三外国語)	張 銀 英	火1	8-113	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 韓国朝鮮語初級</p> <p>目標概要 できるだけ日本語を使わずに授業を行う。 文字と発音を確認しながら、基本的な文法と会話などを学ぶ。 「読む」「書く」「聴く」「話す」の基本をしっかり身に付けるようにする。 通年で行う授業。AセメスターはSセメスターの続きの学習内容になる。</p> <p>評価方法 「小テスト」と「定期試験」と「課題」</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : easy Korean 1 著者(訳者) : Easy Korean Academy 出版社 : Hangulpark (韓国) ISBN : 978-89-5518-726-7</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50314	A	韓国朝鮮語初級 (第三外国語)	岩井 智彦	火2	10-304	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 韓国語初級</p> <p>目標概要 Sセメスター火曜2限の初級クラスの続きで、同講義を履修した方を受講対象としています。初級後半レベルの文法項目、語彙表現を、確実に身につけることを目標とします。</p> <p>評価方法 課題、小テストおよび定期試験</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 韓国語へのとびら 著者(訳者) : 吉本一他 出版社 : 朝日出版社 ISBN : 9784255556178</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50872	A	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	崔 泰源	木2	1211	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 韓国朝鮮語初級の文法と会話</p> <p>目標概要 現代韓国朝鮮語の文字や発音から始め、基礎文法と語彙を体系的に学習し、基本的な自己紹介やレストランで簡単な注文ができる程度のコミュニケーション能力を身につけることを目指します。受講に際しての予備知識は要りませんが、文字が特殊なので最初の1ヶ月は、きちんと授業を受け、予習・復習を徹底する必要があります。</p> <p>評価方法 定期試験、小テスト、課題などに基づいて総合的に評価する</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 『根と幹（こんとかん）』 著者（訳者）：生越直樹・生越まり子・池玫京 出版社 : 朝日出版社</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50784	A	韓国朝鮮語中級（演習）	崔 泰源	水5	1211	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 韓国朝鮮語中級（演習）</p> <p>目標概要 Sセメスターに引き続き、中級レベルの韓国朝鮮語の文法と語彙についての体系的な学習を行います。これを通じて、辞書があれば簡単な文章の読解や作文ができる程度の理解・表現能力に加えて、状況・場面に応じて適切な対応ができるコミュニケーション能力を身につけることを目指します。</p> <p>※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修 韓国朝鮮語二列④の単位未取得者には、読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。</p> <p>評価方法 定期試験、小テスト、課題などに基づいて総合的に評価する。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 『ことばの架け橋 中級表現編』 著者（訳者）：生越直樹 出版社 : 白帝社</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
51016	A	韓国朝鮮語中級（作文）	崔 泰源	木5	1211	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 韓国朝鮮語の作文演習(中級)</p> <p>目標概要 Sセメスターに引き続き、日常生活に必要な文章が自由に書ける程度の表現能力を身につけることを目指す。メールやエッセイ作成などの課題については、教師による添削をもとに誤用の分析と解説を行う。</p> <p>※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修 韓国朝鮮語二列④の単位未取得者には、読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。</p> <p>評価方法 課題・発表など</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50315	A	韓国朝鮮語中級（表現練習）	三ツ井 崇	火2	158	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 韓国朝鮮語文献の読解による中級表現練習</p> <p>目標概要 韓国朝鮮語文献の講読により中級程度の表現について身につける。</p> <p>※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修韓国朝鮮語二列④の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。</p> <p>評価方法 出席および学期末レポートの完成度を総合的に判断する。</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51080	A	韓国朝鮮語中級（読解）	橋本 繁	金2	103	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>【注意】 この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目A系列 韓国朝鮮語テキスト分析Ⅱ として開講される。</p> <p>講義題目 韓国朝鮮語の文章の講読 目標概要 韓国朝鮮語の新聞や雑誌の記事、小説、論説など様々な種類の文章を講読していく。授業は、文法の説明とともに、日本語に訳す場合の難しさ、その背景にある日本語との違いについて確認しながら進めていく。 評価方法 授業での発表 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。</p>						
50277	A	韓国朝鮮語中級（インテンシヴ）	ジミンギョン	火1	149	1年 文科 理科 2年 文科 理科
50873			ジミンギョン	木2	102	
<p>講義題目 韓国朝鮮語中級（インテンシヴ） 目標概要 韓国朝鮮語を集中的に学習したい人を対象に、「聞く」「話す」「読む」「書く」全領域における韓国朝鮮語能力の向上を目指す。初級で学んだ韓国朝鮮語の基礎内容を応用・表現する力をつけ、中級の文型や語彙を増やしていく。聞き取りや会話はもちろん、中級レベルの文章を読み、自分の考えを韓国朝鮮語でまとめられるように練習する。 評価方法 定期試験、課題、小テスト、授業への参加などで総合的に評価する。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。</p>						
50495	A	韓国朝鮮語上級（会話）	崔 泰源	火4	1312	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 韓国朝鮮語上級（会話） 目標概要 Sセメスターに引き続き、状況や場面による使い分けや韓国朝鮮語らしい表現法を身につけ、コミュニケーション能力の向上を目指す。</p> <p>※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修 韓国朝鮮語二列④の単位未取得者には、読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。</p> <p>評価方法 課題や授業参加などの平常点、期末発表 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。</p>						
50531	A	韓国朝鮮語上級（作文）	ジミンギョン	火5	149	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 韓国朝鮮語作文(上級) 目標概要 韓国の大学や大学院への留学も想定し、専門書籍や資料の理解、レポートや論文の作成ができるように、読解力と表現力の向上を目指す。また、日本語との違いを踏まえつつ韓国朝鮮語らしい表現法を身につける。課題として提出した作文やレポートは講師による添削と誤用の分析、解説を行う。</p> <p>※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修 韓国朝鮮語二列④の単位未取得者には、読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。</p> <p>評価方法 定期試験と平常点（課題、発表など） 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。</p>						

イタリア語初級（演習）②	開講区分	A
目標概要 会話、作文など、イタリア語の表現の練習を中心に行い、より実践的なコミュニケーション能力の習得と文法知識の定着をめざします。 成績評価方法 平常点と繰上げ試験（最終授業時）。 教科書 授業中に指示をする。 ※講義の詳細については、UTASも参照すること		

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50408	火3	アンドレア チヴィーレ	K301	1年 文三(6)
51110	金3	アンドレア チヴィーレ	K302	1年 文一二(6)

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50278	A	イタリア語初級（演習）	アンドレア チヴィーレ	火1	K302	1年 理科
講義題目 イタリア語初級（演習） 目標概要 習った文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーションに結びつけることを目指します。生きたイタリア語の材料を使いながら、ことばとして理解する力を高めながら、話したり書いたりする能力や意欲を高めることが目標です。SセメスターとAセメスターを通じて、コミュニケーション能力としての目標はUTASシラバスを参照。 評価方法 学期末筆記試験（最終授業時）と平常点だけではなく、毎回の授業に積極的に参加しているか、総合的に評価します。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50992	A	イタリア語初級（会話）	マルコ ビオンディ	木4	K301	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 イタリア語初級会話 目標概要 ネイティヴスピーカーの教員とともに、イタリア語の初歩を身につけながら、基本的なコミュニケーションと、自然な会話を学びます。 評価方法 平常点と最終授業時の試験 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						
51081	A	イタリア語初級（会話）	アンドレア チヴィーレ	金2	K401	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 イタリア語初級 Elementary Italian 目標概要 話したり、書いたりする練習を通じてイタリア語でコミュニケーションができるようになることを目指します。PEAKの学生も履修できます。今年度Sセメスターからイタリア語を学び始めた人やイタリア語の初歩的な文法事項（冠詞、名詞、形容詞、直説法現在形）を既に学習した人を対象としたクラスです。 The aim of this course is to acquire basic communication skills in Italian through speaking and writing practices. The course is taught mainly in basic Italian and, if necessary, in English. This course is open also to the PEAK students. 評価方法 平常点と定期試験（最終授業時）。 Class participation and final exam. 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
51017	A	イタリア語初級（作文）	大崎 さやの	木5	107	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 イタリア語初級（作文） 目標概要 イタリア語の初級文法を学びながら、作文の練習をします。 評価方法 平常点と定期試験（最終授業時に行います） 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : イタリア語練習問題集 著者（訳者）：ディ・ルッソ、長神、西本 出版社 : 白水社 ガイダンス 特に行わない。						
51082	A	イタリア語初級（作文）	野里 紳一郎	金2	153	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 イタリア語初級（作文） 目標概要 本講義では、作文演習を主目的としているが、その前提としての基礎的な文法の知識、およびその運用力は不可欠であろうから、まずその習得を目標とする。作文の演習にも配慮しつつ、現代イタリア語の基礎文法の理解をはかっていくことにしたい。 評価方法 定期試験。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : イタリア語練習問題集 著者（訳者）：マリーサ・ディ・ルッソ 長神悟 西本晃二 出版社 : 白水社 ISBN : 4-560-00739-xc3087 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	曜限	教室	対象
50785	A	イタリア語初級（表現練習）	マルコ ビオンディ	水5	K402	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 E allora…?</p> <p>目標概要 Questo corso è rivolto sia agli studenti che affrontano lo studio dell'italiano per la prima volta o con una conoscenza di base della lingua, sia a chi conosce già la grammatica ma vuole estendere la conoscenza del vocabolario e delle espressioni utili ad affrontare le situazioni più comuni della vita quotidiana. (この講義は、初めてイタリア語を勉強しようとする人も、文法の基礎はあるがよりボキャブラリーや表現を広げて、日常的な場で使えるようになりたいという人も対象です)</p> <p>評価方法 Si terrà conto delle presenze, della partecipazione e interesse alle attività proposte in classe e ai risultati positivi conseguiti attraverso tali attività. 授業への参加と、クラスでのアクティビティを考慮します。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50316	A	イタリア語初級(インテンシヴ)	池上 俊一	火2	162	1年 文科 理科
<p>講義題目 初級イタリア語（初修）の応用</p> <p>目標概要 初修クラス受講者が集中的にさらにイタリア語能力を向上させるためのコース。必修の時間にプラスして週に、読解・文法練習・作文を中心に運用能力をたかめる授業1コマと、会話聞き取りを中心に応用力をつけるネイティブの教員による授業1コマのあわせて2コマの両方を履修し、1年間のイタリア語学習によって、イタリア語の総合的な能力をしっかりと身につけて定着させ、今後さまざまな分野で用いることを確かなものとするのが目標。</p> <p>評価方法 授業中の参加と定期試験とを併せて評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50803	A	イタリア語初級(インテンシヴ)	マルコ ビオンディ	木1	K301	1年 文科 理科
<p>講義題目 Bravissimo!</p> <p>目標概要 Questo corso è rivolto a chi desidera esercitarsi nell'ascolto e nella conversazione per il livello principiante-elementare intensivo (A1)初修イタリア語・国際コミュニケーションのイタリア語科目に加えて、聞き取り・会話をより集中的に勉強したい人が対象です。</p> <p>評価方法 Per la valutazione si terrà conto delle presenze (di almeno 3/4), della partecipazione, dell'interesse per la materia, del risultato di un minitest a metà corso e di un test scritto finale. (出席点と平常点および最終試験を総合して評価します)</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50087	A	イタリア語初級（第三外国語）	野里 紳一郎	月2	102	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 イタリア語初級（第三外国語）I</p> <p>目標概要 イタリア語の基本文法の理解。</p> <p>評価方法 定期試験（最終授業時）</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 文法と練習 著者（訳者）：東京大学イタリア語教材編集委員会編 出版社 : 白水社 ISBN : 978-4-560-01763-0</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50317	A	イタリア語初級（第三外国語）	宮坂 真紀	火2	156	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 初修イタリア語</p> <p>目標概要 イタリア語共通教科書（東京大学イタリア語教材編集委員会編『Italiano... in partenza! イタリア語のスタート』）を用いて、イタリア語の基礎を勉強します。A Semesterでは文字の読み方、文の組み立て方の学習から始めて、イタリア語の概要を理解するとともに初級レベルの文法の習得を目指します。</p> <p>評価方法 学期中に随時提出してもらった課題と定期試験の結果をもとに評価を行います。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50874	A	イタリア語中級（表現練習）	マルコ ビオンディ	木2	K301	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 イタリア語中級表現練習（Lingua italiana, espressioni di livello medio）</p> <p>目標概要すでにイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティブスピーカーの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、ビデオ教材なども交えて、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。通年で開講していますが、セメスターごとに独立して受講することが履修上も内容としても可能です。</p> <p>評価方法 平常点と最終授業時の試験。それぞれの開講時の能力・経験を考慮し、受講を通しての達成度を評価します。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50203	A	イタリア語中級（読解）	山崎 彩	月4	102	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 イタリア語中級（読解）</p> <p>目標概要 【注意】この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目A系列 イタリア語テキスト分析Ⅱとして開講される。</p> <p>イタリア語の基本的な文法を学習し終えた人を対象とします。イタリア語のテキスト（20世紀以降に書かれた小説あるいはエッセイ）を精読し、イタリア語の読解力の向上を目指します。授業で扱うテキストは受講者の興味や、どの程度イタリア語の学習経験があるのかなどを考慮して決めます。</p> <p>評価方法 毎回の授業に十分予習して積極的に参加しているか、文法事項・作品の内容などをどれだけ理解しているかを、総合的に評価します。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
51053	A	イタリア語中級（インテンシヴ）	マルコ ビオンディ	金1	K301	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 中級イタリア語の応用</p> <p>目標概要 初修クラス受講者が集中的にさらにイタリア語能力を向上させるための中級コース。運用能力をたかめるため、読解と会話聞き取りの応用力をつけるネイティブの教員による授業。1年間の初修イタリア語学習の基礎の上に、イタリア語の総合的な能力を定着させ、さまざまな専門分野で運用するための能力を養成し、イタリア語によってイタリア文化の教養の基礎を学ぶ。</p> <p>評価方法 授業中の参加と、小テストなどの学期中の課題を考慮し、定期試験とあわせて評価する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
51083	A	イタリア語上級（会話）	マルコ ビオンディ	金2	K301	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 Facciamo un passo avanti!</p> <p>目標概要 Questo corso è rivolto sia per chi desidera esercitarsi nell'ascolto e nella conversazione per il livello avanzato (B1)..</p> <p>評価方法 Per la valutazione si terrà conto delle presenze (di almeno 3/4), della partecipazione, dell'interesse per la materia, del risultato di un minitest a metà corso e di un test scritto finale.</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50721	A	イタリア語上級（作文）	マルコ ビオンディ	水3	8-205	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 イタリア語上級作文（Lingua italiana- composizione di livello avanzato）</p> <p>目標概要 L'obiettivo del corso è imparare come scrivere un testo accademico. Redarre un testo accademico non è una cosa facile, non lo è neanche nella propria lingua. Scriverlo in un'altra lingua porta la sfida a un nuovo livello. La scrittura accademica è piena di strutture e frasi fisse che sono probabilmente presenti anche nella tua lingua madre.</p> <p>評価方法 Compiti durante il semestre e il test alla conclusione del corso</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50329	A	アラビア語初級（会話）	エベード イハープ	火2	K301	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 アラビア語初級（会話）</p> <p>目標概要 本講義では、ネイティブ講師の指導により、Sセメスターに続き、アラビア語の基本的な文法、会話、読み書きの実践的なスキルを文化的背景とともに習得します。文法学習では、アラビア語の文字と綴り方、指示代名詞、人称代名詞や関係代名詞、名詞の性、単数・双数・複数といった基礎を習得します。また、日常会話に必須の語彙、挨拶や感謝の表現を身に付けると同時に、アラブ世界の日常生活、芸術、伝統、宗教文化について学び、アラビア語および文化に関する総合的理解を深めます。なお、本講義での使用言語はアラビア語ですが、講師との日本語でのコミュニケーションも可能です。</p> <p>①アラビア語に関する基本的知識（体系・様式・発音）の獲得 ②アラビア語の四技能（書き取り・会話・聴解・読解）と基礎文法の習熟</p> <p>評価方法 The evaluation will be based on attendance and participation, as well as small tests conducted in class time.</p> <p>試験:60% 評価基準 定期試験 平常点評価:40% 評価基準 出席点</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>						
50431	A	アラビア語初級（第三外国語）	濱田 聖子	火3	1221	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 アラビア語初級</p> <p>目標概要 1年間で、正期アラビア語（フスハー）の文法を概観する。辞書を用いて、アラビア語の文章が読解できるようになることを目指す。</p> <p>評価方法 毎回の課題提出と学期最後のテストで評価します。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 現代アラビア語入門 著者（訳者）: 黒柳恒男・飯森嘉助 出版社 : 大学書林 ISBN : 978-4-475-01838-8</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50787	A	アラビア語初級（第三外国語）	杉田 英明	水5	103	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 アラビア語初級（第三外国語）Ⅱ</p> <p>目標概要 アラビア文字の読み方から始めて、1年間で文語文法の構造を概観します。毎回、教科書の練習問題を割り当てますので、自宅での作業が不可欠です。</p> <p>評価方法 定期試験（75%）と提出物（25%）による。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 現代アラビア語入門 著者（訳者）: 黒柳恒男・飯森嘉助 出版社 : 大学書林 ISBN : 4-475-01838-2</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50764	A	アラビア語中級（第三外国語）	杉田 英明	水4	1223	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 アラビア語中級（第三外国語）Ⅱ</p> <p>目標概要 初級文法を一通り終えた方を対象に、文法事項を確認しながら、母音符号の付いた比較的簡単な読み物を講読します。自分で辞書を引きながら、文章の意味が取れるようになることを目標とします。これによって、母音符号のない文章が自由に読めるようになるまでの橋渡しをいたします。</p> <p>評価方法 訳読の分担による。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50939	A	ヒンディー語初級(第三外国語)	藤井 毅	木3	1211	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 ヒンディー語(初級): Introductory Hindi : बुनियादी हिन्दी</p> <p>目標概要 インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口5億人超を有する「共通標準ヒンディー語」を学びます。Aセメスターでは、指定教科書のSセメスター残り部分の10課から18課までを終えることを目標とします。</p> <p>指定教科書を修了したのちは、平易な読み物を読みます。</p> <p>評価方法 初回の授業を除き、毎回宿題が出ます。その出来を判断します。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。</p> <p>書名 : Complete Hindi 著者(訳者) : Snell, R. and S. Weightman 出版社 : London: John Murray Learning, 2016 ISBN : 978-1444-106831</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50995	A	ヒンディー語中級 (第三外国語)	藤井 毅	木4	1211	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 ヒンディー語(中級): Intermediate Hindi course : माध्यमकि हिन्दी</p> <p>目標概要 インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口5億人超を有する「共通標準ヒンディー語」を学びます。</p> <p>ヒンディー語(初級)で用いたテキストの知識に基づき、実際のヒンディー語文を読むことにより、より深い知識を身につけることを目指します。</p> <p>評価方法 初回の授業を除き、毎回、指定テキストの予習が不可欠になります。その出来を判断します。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50940	A	インドネシア語初級 (第三外国語)	高地 薫	木3	1221	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 インドネシア語入門2 (Indonesian language for beginners)</p> <p>目標概要 インドネシア語はローマ字表記で、発音も日本人にとって比較的容易で、文法の簡易な言語である。この授業では、Sセメスターにインドネシア語を履修した学生を対象に、文章を読むために必要なインドネシア語の基本文法を完成することを目的とする。</p> <p>Aセメスターでは、Sセメスターにおける授業内容を前提に授業を進める。</p> <p>評価方法 出席、各回に行なう小テスト、定期試験を総合して評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50996	A	インドネシア語中級 (第三外国語)	高地 薫	木4	1221	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 インドネシア語中級 (Indonesian language for Intermediate Students)</p> <p>目標概要 この授業では、インドネシア語既習者を対象に、原文の精読をする。講読するテキストは広い分野から新聞や雑誌の記事、エッセイ、短編小説などを用いる。</p> <p>評価方法 演習の内容により評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
51212	A	ベトナム語初級 (第三外国語)	加藤 栄	金4	117	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 ベトナム語初級</p> <p>目標概要 Sセメスターの学習をふまえ、引き続きベトナム語の初級文法を学ぶ。Aセメスターの授業では、基本文型を用いた口頭練習ばかりでなく、平易な会話文や読み物を辞書を使って読めるようになることも目標としている。</p> <p>評価方法 課題の提出、小テスト、定期試験の成績をもとに総合的に評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50496	A	ベトナム語中級 (第三外国語)	大泉 さやか	火4	K112	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 ベトナム語文献講読</p> <p>目標概要 ベトナム語文献の初歩的な読解力を身につけることを目標とする。</p> <p>評価方法 授業における音読、訳読を見て、総合的に判断する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
51170	A	広東語初級 (第三外国語)	吉川 雅之	金4	10-204	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 香港広東語の入門と初級</p> <p>目標概要 広東語は香港と澳門（マカオ）で第1言語である他、中国国内では広東省・広西壮族自治区・海南省の華南3地域を覆うリンガ・フランカ（広域共通語）として、またベトナムやマレーシア、シンガポールを始めとする東南アジア及び世界の華僑社会では現地語や英語に次ぐ有力言語として広く使用されています。中国語の中では民族共通語（普通話）に次ぐ影響力を誇り、使用人口は全世界で約8000万人と推定されます。また文学作品・漫画・映画・歌謡曲・新聞雑誌記事などが広東語で書かれることも多く、香港を発信地とした文化的影響力が日本社会にまで及んでいることは周知の事実です。</p> <p>この授業では社会的に均質で、対外的に影響力の最も大きい香港の広東語について入門から初級のレベルの習得を目指します。</p> <p>評価方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定期試験と小テスト、平常点から算出します。 2. 平常点は、授業中の積極的な態度・学習姿勢を重視します。 3. 小テストは随時行います。 <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 香港粵語 [基礎会話] 著者(訳者) : 吉川雅之 出版社 : 白帝社 ISBN : 978-4-86398-094-5</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>						
50497	A	広東語中級 (第三外国語)	郭 文ホウ	火4	1223	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 広東語 (中級)</p> <p>目標概要 本講義は広東語 (初級) を受講した学習者を対象にしたものです。スピーキングとヒアリングを中心にして、広東語の勉強を進めます。</p> <p>評価方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 定期試験、小テスト+平常点によって総合的に評価します。 2) 平常点は課題+学習態度によるものです。 <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 香港粵語[基礎会話] 著者(訳者) : 吉川雅之 出版社 : 白帝社 ISBN : 978-4-86398-094-5</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50646	A	ヘブライ語初級 (第三外国語)	飯郷 友康	水2	761	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 ヘブライ語文法初歩</p> <p>目標概要 ユダヤ文化を深く理解するために、また中東情勢の一端を把握するために、ヘブライ語の知識は欠かせない。この重要な、そして面白い言語の初歩を、なるべく実用的、実践的に習得したいと思う。ひとまずの目標は、自力で辞書を検索できるようになること——すなわち、文法の基礎を把握すること。そして、ある程度の複雑な長文を理解し得る読解力を身につけること。</p> <p>評価方法 単元を終えるごとに簡単な宿題、また期末にレポートの提出を課す。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51089	A	上海語初級（第三外国語）	王 英輝	金2	155	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 上海語</p> <p>目標概要 上海語を学習対象にし、前期で学習した発音と基礎的な文法事項をさらに発展させ、会話とリスニングを中心に練習し、簡単な日常会話ができるようになることを目的とする。</p> <p>評価方法 小テストと授業への取り組みと定期試験の成績を総合的に評価する。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : ニューエクスプレス 上海語 著者（訳者）：榎本英雄、范曉 出版社 : 白水社 ISBN : 9784560085325</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50330	A	ペルシア語初級（第三外国語）	前田 君江	火2	K401	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 ペルシア語テキスト読解</p> <p>目標概要 年度前半に学習したペルシア語文法を用いて、テキスト読解を習得する。 あわせて未修の文法事項も学習する。</p> <p>評価方法 授業参加の頻度による。 なお、学期末には、辞書持ち込み可の読解テストを行う。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
51226	A	セルビア・クロアチア語初級 （第三外国語）	山崎 信一	金5	152	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 セルビア・クロアチア語（初級）</p> <p>目標概要 セルビア・クロアチア語の初等文法の基礎の学習を終えた者を対象に、読解力向上のための平易な文章の講読を行う。あわせて、文法事項の復習、簡単な会話の練習、簡単な聞き取りの練習などの機会を設ける。</p> <p>評価方法 平常点による。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
51019	A	ポーランド語初級(第三外国語)	小椋 彩	木5	114	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 ポーランド語初級</p> <p>目標概要 引き続きポーランド語の基礎的な文法を学ぶ。簡単な会話ができ、辞書を活用できることを目標とする。</p> <p>評価方法 平常点と定期試験</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : ニューエクスプレスポーランド語 著者（訳者）：石井哲士朗 出版社 : 白水社 ISBN : 9784560067949</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50647	A	タイ語初級（第三外国語）	浅見 靖仁	水2	515	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 タイ語初級（ภาษาไทยเบื้องต้น）</p> <p>目標概要 Sセメスターからの継続。原則として、Sセメスターの授業を履修した学生のみ受講を認めますが、すでにタイ語の基礎的知識を持っている学生については、Aセメスターのみの履修も認めます。Aセメスターの前半は、テキスト第11課までを2週間に3課のペースで扱います。Aセメスター後半は、タイ語で書かれたウェブサイト上の記事や子供向けの本などを教材として使い、タイ語の読解力を向上させます。辞書を引けば、タイ語で書かれたウェブサイトなどを理解できるようになるのが目標です。</p> <p>評価方法 宿題10%、定期試験90%。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : ニューエクスプレス タイ語 著者（訳者）：水野潔 出版社 : 白水社 ISBN : 978-4560067819</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	曜限	教室	対象
51555	A	ポルトガル語初級(第三外国語)	牧野 真也	木4	155	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 ポルトガル語の基礎</p> <p>目標概要 ポルトガル語を初めて学習する人を対象としており、Sセメスターの講義と併せて通年でポルトガル語の基礎的な文法を学びます。</p> <p>評価方法 授業最終日の筆記試験で評価しますが、欠席1/4以上で受験資格を失いますので留意してください。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>						
51556	A	ポルトガル語中級(第三外国語)	牧野 真也	木5	155	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 ポルトガル語の基礎</p> <p>目標概要 ポルトガル語の初歩的な知識を有する者を対象としており、ポルトガル語（初級）とポルトガル語（中級・Sセメスター）の履修内容を土台として読解力と聴解力を身に付けることを目指します。</p> <p>評価方法 出席点5割＋平常点5割（講読の割り当て部分の発表など）で60点以上を合格とします。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>						
50226	A	台湾語初級（第三外国語）	王 嵐	月5	106	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 台湾語会話</p> <p>目標概要 台湾語は、もとは中国の8大方言区のうち「閩南語」であり（「閩」は古来福建省の別称）、17世紀の初頭以来、中国の福建省南部より台湾に大挙して移住してきた人々の子孫によって使われ始め、現在では、台湾「第二の公用語」とされ、60%以上の台湾人が使用している。台湾語の文法や音韻根幹は福建閩南語とほぼ同じだが、語彙の面において若干異なる。</p> <p>この授業は、台湾に興味を抱く人のために、台湾語の発音や表記を学習し、名詞・動詞・形容詞等、簡単な日常会話及び基礎文法を学ぶ。</p> <p>評価方法 平常点（授業への取り組み・出席状況）及び定期試験によって評価する。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。</p> <p>書名 : ニューエクスプレス 台湾語</p> <p>著者（訳者） : 村上嘉英</p> <p>出版社 : 白水社</p> <p>ISBN : 978-4-560-00364-0</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>						
50331	A	モンゴル語初級（第三外国語）	荒井 幸康	火2	K303	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 モンゴル語</p> <p>目標概要 初歩的な文法および語彙を習得し、辞書を引きつつ、新聞が読める程度の語学力を身につける。会話では、挨拶や簡単な質問および、自己紹介ができるようにすることを目標とする。</p> <p>評価方法 毎回小テストを行う予定であるので、その点数と最終テストおよび、授業での発言で評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50432	A	トルコ語初級（第三外国語）	高松 洋一	火3	1231	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 現代トルコ語初級文法入門2</p> <p>目標概要 現代トルコ語の初級文法を習得する。S・A両セメスターの通年で完結するものとするため、Aセメスターは、Sセメスターの既習箇所の継続となる。最終的に新聞・雑誌等のトルコ語のテキストを辞典をひきながら読めるようになることをめざす。Aセメスターでは、受動の動詞、動詞の提案形、命令形、願望形、後置詞、可能の動詞、動名詞、副動詞、形動詞などを中心に学習し、初級文法をひとつおろしマスターすることを目標とする。</p> <p>評価方法 原則として定期試験の成績をもとに評価するが、随時行なう課題レポートも考慮することがありうる。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。</p> <p>書名 : トルコ語文法 初級・中級 [改訂版]</p> <p>著者（訳者） : 東京外国語大学 トルコ語専攻 編</p> <p>出版社 : 東京外国語大学生協同組合出版部</p> <p>ISBN : 978-4-903386-18-8</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50498	A	トルコ語中級（第三外国語）	高松 洋一	火4	1231	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 トルコ語中級文献講読Ⅰ</p> <p>目標概要 現代トルコ語の初級文法をいちおう習得した者を対象に、文献講読を通じて、既習・未習の文法事項を整理しつつ、語彙を増やしてトルコ語テキスト読解のスキルを身につけることを目標とする。どのようなテキストに出会っても辞典さえあれば自分で問題を解決できるようになることを目指したい。あわせて講読する文献の内容を通じて、トルコの社会・文化・歴史などに関する知識を深めることも期待したい。</p> <p>評価方法 学期末に試験は行わない。毎回指名してやってもらう訳読によって評価する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50027	A 1	日本語上級	宇佐美 洋	月1	10-201	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 論文執筆・アカデミックライティング（準備編）</p> <p>目標概要 大学では、それぞれの専門分野において、自ら問題を設定し、情報・データを収集したうえで考察を加え、その内容を日本語で、論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには、適切な方法論に基づき、準備を行っていく必要があります。</p> <p>この授業では、日本語で論文やレポートを執筆していくために必要となる、基本的な考え方のトレーニングを行います。</p> <p>評価方法 授業への参加状況（出席・小課題への回答等を含む） 最終プレゼンテーション（学生同士の相互評価）・レポート</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50227	A 1	日本語上級	大久保 雅子	月5	10-205	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 アカデミック・プレゼンテーションのための発音／Academic presentation and pronunciation</p> <p>目標概要 授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。 2) 自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。 3) 自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。 4) 日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。 5) 聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。 <p>評価方法 録音課題30% スピーチ・プレゼンテーション30% 授業中の課題40%</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50279	A 1	日本語上級	宇佐美 洋	火1	10-205	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 論文執筆・アカデミックライティング（準備編）</p> <p>目標概要 大学では、それぞれの専門分野において、自ら問題を設定し、情報・データを収集したうえで考察を加え、その内容を日本語で、論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには、適切な方法論に基づき、準備を行っていく必要があります。</p> <p>この授業では、日本語で論文やレポートを執筆していくために必要となる、基本的な考え方のトレーニングを行います。</p> <p>評価方法 授業への参加状況（出席・小課題への回答等を含む） 最終プレゼンテーション（学生同士の相互評価）・レポート</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	曜限	教室	対象
50788	A 1	日本語上級	西部 由佳	水5	10-202	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える その2</p> <p>目標概要 目標：日本の近代から現代にかけての文学に焦点をあて、作品に親しみながら、読む力、まとめる力、伝える力を養うことを目的とする。 概要：様々な文学作品に触れることで、内容理解の力、語彙力を高める。 さらに、読んだ内容をわかりやすくまとめ、作品について話し合う活動を行う。最終的には、自分の選んだ作品の内容をまとめ、その作品の良さを伝えるレポートを作成する。</p> <p>評価方法 クイズ・課題・最終レポート・発表・出席・授業への貢献度を総合的に評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50808	A 1	日本語上級	奥川 育子	木1	10-205	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 『テーマで考え議論する日本語 - Active Learning in JSL -』と連動する精読・語彙・ライティング</p> <p>目標概要 「基礎科目日本語一列 (2)」『テーマで議論する日本語 - Active Learning in JSL -』でのテーマや読解テキスト・活動と連動して、構文・語彙習得、正確な精読と要約を行いつつ、ライティングやプレゼンテーション発表を行う。一列授業と連動し、相互に相補的な活動を行う。それぞれの授業目的・概要や履修方法等詳細は、初回授業での説明、および、それぞれの授業シラバスを参照のこと。</p> <p>評価方法 出席、授業参加度、課題、クイズ、発表</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名：『テーマで考え議論する日本語 - Active Learning in JSL -』</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>						
51020	A 1	日本語上級	大久保 雅子	木5	10-205	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 アカデミック・プレゼンテーションのための発音/Academic presentation and pronunciation</p> <p>目標概要 授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。 1) ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。 2) 自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。 3) 自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。 4) 日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。 5) 聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。</p> <p>評価方法 録音課題30% スピーチ・プレゼンテーション30% 授業中の課題40%</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
60001	A 2	日本語上級	宇佐美 洋	月1	10-201	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 論文執筆・アカデミックライティング (実践編)</p> <p>目標概要 大学では、自ら問題を設定し、情報・データを収集したうえで考察を加え、その内容を日本語で、論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには、適切な方法論に基づき、準備を行っていくことが必要です。 この授業では、自分にとって興味ある問題を見つけ、その問題について自らデータ収集を行って、実際に小論文を執筆し、相互批評を行う、というプロセスを実践します。</p> <p>評価方法 授業への参加状況 (出席・小課題への回答等を含む) 最終プレゼンテーション・レポート</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
60012	A 2	日本語上級	大久保 雅子	月5	10-205	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 アカデミック・プレゼンテーションのための発音／Academic presentation and pronunciation</p> <p>目標概要 授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。 2) 自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。 3) 自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。 4) 日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。 5) 聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。 <p>評価方法 録音課題30% スピーチ・プレゼンテーション30% 授業中の課題40%</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
60013	A 2	日本語上級	宇佐美 洋	火1	10-205	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 論文執筆・アカデミックライティング (実践編)</p> <p>目標概要 大学では、自ら問題を設定し、情報・データを収集したうえで考察を加え、その内容を日本語で、論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには、適切な方法論に基づき、準備を行っていくことが必要です。</p> <p>この授業では、自分にとって興味ある問題を見つけ、その問題について自らデータ収集を行って、実際に小論文を執筆し、相互批評を行う、というプロセスを実践します。</p> <p>評価方法 授業への参加状況 (出席・小課題への回答等を含む) 最終プレゼンテーション・レポート</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
60204	A 2	日本語上級	西部 由佳	水5	10-202	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える その3</p> <p>目標概要 目標：日本の近代から現代にかけての文学に焦点をあて、作品に親しみながら、読む力、まとめる力、伝える力を養うことを目的とする。</p> <p>概要：様々な文学作品に触れることで、内容理解の力、語彙力を高める。</p> <p>さらに、読んだ内容をわかりやすくまとめ、作品について話し合う活動を行う。最終的には、自分の選んだ作品の内容をまとめ、その作品の良さを伝えるレポートを作成する。</p> <p>評価方法 クイズ・課題・最終レポート・発表・出席・授業への貢献度を総合的に評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
60205	A 2	日本語上級	奥川 育子	木1	10-205	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 『テーマで考え議論する日本語 - Active Learning in JSL -』と連動する精読・ライティング・プレゼンテーション</p> <p>目標概要 『基礎科目日本語一列』でのテーマや読解テキスト・活動と連動し、アクティブラーニングのプレゼンテーション・レポート執筆を行う。一列授業と連動しつつ、相互に相補的な活動を行う。それぞれの授業目的・概要や履修方法等詳細は、初回授業での説明、および、それぞれの授業シラバスを参照のこと。</p> <p>評価方法 出席、授業参加度、課題、発表、レポート</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 著者(訳者)：『テーマで考え議論する日本語 - Active Learning in JSL -』</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行く。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
60215	A 2	日本語上級	大久保 雅子	木5	10-205	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 アカデミック・プレゼンテーションのための発音/Academic presentation and pronunciation</p> <p>目標概要 授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。 2) 自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。 3) 自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。 4) 日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。 5) 聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。 <p>評価方法 録音課題30% スピーチ・プレゼンテーション30% 授業中の課題40%</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50532	A	古典語初級（ギリシア語）Ⅱ	松浦 高志	火5	117	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 古典ギリシア語初級（後半）</p> <p>目標概要</p> <p>1. 目標 初級文法を1年かけて学び、古典ギリシア語で書かれた簡単な文章を読めるようにする。なお、当授業の学修に要する負担が大きく、そのために履修をためらったり、途中であきらめてしまう学生も少なくないので、今年度からはできるだけ負担を減らせるよう努力する。</p> <p>2. 古典ギリシア語 ギリシア語の重要性については改めて説明するまでもないだろう。古代ギリシア文明は西洋文化の原点であり、西洋文化の根底にあるものを知ろうとすれば、必然的に古代ギリシア文明に触れることになる。古代ギリシア語を学ぶのは容易とは言えないが、これを学ぶと、古代ギリシア語が擁する哲学・歴史学・文学・科学などあらゆる分野の膨大な文献に直接触れることができ、それらがどのように西洋文明やその他の文明に影響を与えているのかを知ることができるようになる。</p> <p>ギリシア語の文献は紀元前15世紀頃の線文字B粘土板にさかのぼる。使用地域はやがて東地中海地域全体、一時はさらにインド方面にまで広がった。古典ギリシア語とは、紀元前5-4世紀にアテーナイを中心とする地域で使われていたギリシア語のことを言う。これを学べばほかの時代・地域のギリシア語や新約聖書のギリシア語も容易に学び得る。文献の豊富さゆえにラテン語、サンスクリット語などとともに印欧比較言語学に豊富な資料を提供するという点でもギリシア語は重要である。</p> <p>3. 負担軽減について 過去2年間の授業評価アンケートやその他のアンケートの結果を考慮すると、授業時間以外の予習・復習・課題に要する自主学習の時間が4時間を超える学生が大半を占めている。これを当授業の標準と考えられる、おおむね4時間以内に収められるよう努力する。</p> <p>評価方法 「古典ギリシア語初級（前半）」(Sセメスター)とは異なり、定期試験は実施しない。小テスト（50点）、練習問題の発表状況・原典講読の訳読状況（50点）で評価する。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 『古典ギリシア語初歩』 著者（訳者）: 水谷智洋 出版社 : 岩波書店 ISBN : 978-4-00-000829-7, 3,500円+税</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50809	A	古典語初級（ギリシア語）Ⅱ	上野 慎也	木1	156	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 古典ギリシア語の手ほどき（のつづき）</p> <p>目標概要 古典ギリシア語で綴られた平易な文章を読解するための力を培う。</p> <p>評価方法 平常点と定期試験による。平常点とは、授業時間中、教科書の問題演習をする際に、自己の予習結果を発表する事で積み上がる点の事を謂う。「出席点」なるものは存在しない。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 古典ギリシア語初歩 著者（訳者）：水谷智洋 出版社 : 岩波書店 ISBN : 4-00-000829-3</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50877	A	古典語中級（ギリシア語）Ⅱ	上野 慎也	木2	8-420	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 古典ギリシア語散文講読</p> <p>目標概要 古典期（前五～四世紀）のアッティカ方言で綴られた散文を精読する。初級で習得した文法の運用能力を錬磨し、実際の読解に必要な作品の背景について基礎知識を蓄える。</p> <p>評価方法 平常点による。毎回の訳読の首尾を以てこれに当てる。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行く。</p>						
50332	A	古典語初級（ラテン語）Ⅰ	ヘルマン ゴチェフスキ	火2	学際交流 ホール	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 ラテン語初級（Ⅰ）－名詞形容詞変化と動詞の現在形を中心に</p> <p>目標概要 ラテン語は古代から近代まで広く使われた言語で、さまざまな学問分野で読まれる文献も多種多様だが、その基礎勉強を提供するこの授業は古代（紀元前後一世紀ごろ）の「古典語」の文法と基礎単語を一年間のコースで身に付けることを目標としている。</p> <p>評価方法 試験（最後の授業で実施）</p> <p>教科書 教科書は以下の二冊を使います。生協でお買い求め下さい。生協で手に入らない場合（過去には有った）授業で教科書を手配します。 Hans H. Ørberg Lingua Latina per se Illustrata, Pars I: Familia Romana Focus Publishing 同書の練習問題：Hans H. Ørberg Lingua Latina per se Illustrata, Exercitia Latina IFocus Publishing</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行く。</p>						
50028	A	古典語初級（ラテン語）Ⅱ	井上 秀太郎	月1	114	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 ラテン語初級</p> <p>目標概要 辞書を使って独力でラテン語の簡単な文章が読めるように、基本的な文法事項を身につける。</p> <p>評価方法 平常点と定期試験に基づいて評価する</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	曜限	教室	対象
50088	A	古典語中級（ラテン語）Ⅱ	井上 秀太郎	月2	8-416	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 ラテン語散文講読</p> <p>目標概要 共和政末期の散文を丁寧に読むことにより、ラテン語を読解する能力を向上させる。初級の授業で身につけた知識、特に文法的な事項を逐一確認しながら、読み進めていく。 授業では前期に引き続きキケローの法廷弁論『カエリウス弁論』を読んでいく。古来名作の誉れ高い本作を読むことで、ラテン語弁論の精華を堪能してほしい。</p> <p>評価方法 平常点に基づいて評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						
50280	A	古典語初級 （サンスクリット語）Ⅱ	高橋 晃一	火1	104	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 サンスクリット初級文法 (II)</p> <p>目標概要 古典サンスクリット語の初級文法を習得し、平易なサンスクリット文を読解する運用力を養成することをめざす。 A Semesterは、文法の後半部（動詞の変化・複合語）を扱う。 サンスクリット語は古代・中世インドで聖典に用いられ、仏教などを通してアジアの文化にも少なからぬ影響を与えた言語である。また、印欧比較言語学においては、ギリシア語・ラテン語とならぶ重要な位置を占める。サンスクリットを学ぶことは、古典教養の基礎を身につけることである。 授業は文法の解説と練習問題による演習を組み合わせる。</p> <p>評価方法 授業参加状況（練習問題への取組と課題の提出を含む）と、試験（学期中に行う小テストを含む）による。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 『サンスクリット語初等文法』 著者（訳者） : J.ゴンダ（鏗淳訳） 出版社 : 春秋社</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>						

総合科目 A 思想・芸術

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50789	A	言語比較論	小野 秀樹	教養学部(総合文化) 言語情報科学専攻	水5	513	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 他言語との比較対照（日本語・英語・中国語の対照研究および言語類型論の観点など）から見る現代中国語の様相</p> <p>目標概要 現代中国語（共通語）は、SVO型言語に属しているが、言語類型論や言語の対照研究に基づく観察によれば、典型的なSVO型言語とは異なる特徴をいくつも有していることが分かる。受講者にとって馴染みの深い言語である日本語と英語とを主たる比較対象とし、これらと対照することにより、中国語のさまざまな特徴を概観したうえで、ひとつひとつの現象に関して考察を加え、中国語という言語の実態を把握することを目指す。</p> <p>評価方法 期末レポートを課すが、通常の授業における参加状況も考慮して総合的に成績を評価する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50333	A	言語応用論	加藤 恒昭	教養学部(総合文化) 言語情報科学専攻	火2	159	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 言語とコンピュータ</p> <p>目標概要 言語（言葉）は、人間間のコミュニケーションの主たる手段であり、様々な知識を記述・記録するためにも用いられる。このような重要性のため、言語によるコミュニケーションや知識の活用を加速する目的でコンピュータを用いる自然言語処理の研究開発も盛んで、ワープロやWeb検索などが日常的に利用されている。本講義では、このような言語を、科学する立場から眺めていくとともに、そのような言語の科学を応用した自然言語処理技術の仕組みを学んでいく。言語学と言語に関する情報処理のトピックをバランスよく配置し、分野を超えた広い視野で言語を考えることを目指す。言語学、情報処理、いずれの知識も前提としない、むしろそれらに初めて接する初学者を主な受講者とした内容とする。</p> <p>評価方法 学期中2~3回課す小レポート、学期末に課すレポートを半々程度に勘案して評価する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50334	A	翻訳論	山本 史郎	教養学部(総合文化) 言語情報科学専攻	火2	157	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 翻訳論入門</p> <p>目標概要 日本の文化の形成には翻訳の果たしてきた役割が大きい。そのため翻訳について論じられることが多いが、その種類や問題意識はきわめて多種多様であり、いまだに共通の議論の場が形成されているとは言いがたいのが現状である。そこで、本講義では、翻訳とはどのような行為なのかというところから始めて、「翻訳論」は何を対象にするのか？どのように論じるべきなのか？何が目標なのか？などの問題について、受講者の学生諸君と一緒に考えていきたい。</p> <p>評価方法 講義への出席と議論への参加、課題の提出、最後試験の成績を総合的に判断する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
51090	A	現代哲学	石原 孝二	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	金2	164	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 他者を理解するための現代哲学／Contemporary Philosophical Theories for Understanding Others</p> <p>目標概要 「私は他ならぬ私であって、他の誰でもない。私の思いは他人にはわからないし、他の人がどう思っているのか、私には本当のところはわからない。それでも私は私の思いを他者に伝えようとするし、私は他者の思いをある程度は理解できているようにも思える。」</p> <p>私たちはなぜこのように考えるのだろうか。お互いの思いは分からないと考えるのはなぜなのだろうか。また逆に、ある程度は自分の思いを伝えることができるし、他者の思いを理解できると考えるのはなぜなのだろうか。この授業では、近現代の哲学や関連する思想や科学における様々なアプローチを手掛かりにしながら、この問題を考えていくことにしたい。</p> <p>評価方法 授業への参加状況と定期試験による。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51227	A	科学哲学	上田 知夫	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	金5	1331	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 科学哲学概論</p> <p>目標概要 科学哲学についての導入的講義をおこないます。 特に、「科学的説明はなにか」と「科学的実在論について」という2つのトピックに着目して議論したいと思います。</p> <p>評価方法 授業時に課す小課題と定期試験を併用します。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
51091	A	記号論理学 I (文科生)	鈴木 貴之	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	金2	1101	1年 文科 2年 文科
<p>講義題目 命題論理と述語論理を学ぶ</p> <p>目標概要 ある前提から何が帰結し、何が帰結しないかを正しく見極めることは、日常生活においてもしばしば重要となることですが、かならずしも容易ではありません。記号を用いて前提と結論の関係を明確に扱えるようにしたのが、記号論理学です。この授業では、現代の記号論理学の基礎である命題論理と述語論理について、おもに真理表やタブローの方法を用いて学びます。証明の技術を身につけるだけでなく、記号を用いて論理を形式化することにはどのような意味があるのか、論理学と他の学問はどのように関係しているのかなどもできるだけ説明しながら進んでいきます。</p> <p>評価方法 学期末に実施する定期試験（100％）で評価します。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
50029	A	記号論理学 II	岡本 賢吾	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	月1	524	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 完全性定理から不完全性定理まで</p> <p>目標概要 まず、古典一階述語論理の完全性定理を概観する。その上で、ゲーデルの不完全性定理に進み、その証明を一步一步つ追う。(第一)不完全性定理とは、(1)自然数論としての最も基本的な力能 (i.e.再帰関数の表現可能性) を備え、(2)しかも、通常の意味での公理系 (i.e.再帰的に枚举可能な公理系) を成している、という2条件を満たす形式体系であれば、いかなるものであっても、それが無矛盾 (より詳しくはω無矛盾) である限り、必ず、証明することも反証することも (否定を証明することも) 不可能な文 (閉じた式) を含む、というものである。この定理の証明に関わる技術的な事項をできるだけ精確に説明し、この定理が持つ概念的な意義を適切に考察するための基盤を作ることを目指す。</p> <p>評価方法 レポート (テーマは講義中に指示する)。なお、場合によって、数回出席を取り、この結果を肯定的な評価のためのデータとして使うことがある (否定的評価のためには使わない)。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
51265	A	精神分析学	山田 広昭	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	金2	112	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 精神分析の歴史と基本概念</p> <p>目標概要 精神分析が生まれ発展してきた歴史的状況を理解するとともに、その基本的な概念や方法論をフロイトならびにラカンの学説を中心に提示する。それによって、20世紀以降、精神分析が狭義の精神医学の世界を超えて、文学、芸術、思想、さらに人文科学全体に大きな影響を与えてきた理由を考えることが本授業の主たる目標となる。</p> <p>評価方法 定期試験 (80パーセント) と授業への出席・リアクションペーパーの提出 (20パーセント)</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50790	A	表象文化論	乗松 亨平	教養学部(総合文化) 超域文化科学専攻	水5	521	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 ドストエフスキー『悪霊』を読む</p> <p>目標概要 19世紀ロシアの作家ドストエフスキーは、「近代文学」を代表する存在として読み継がれてきた。その一方で、「近代文学」はすでに終わったとも言われて久しい。ドストエフスキーの長編『悪霊』は、テロという現代的な題材を扱うとともに、ニーチェに通じる超人思想が語られたり、今日の「キャラクター小説」を思わせる側面もある。現代において「近代文学」はアクチュアリティを失ったのか、『悪霊』をさまざまな方法で読解することで考えたい。</p> <p>評価方法 毎回提出のリアクションペーパーが50点、定期試験が50点。リアクションペーパーは毎回4点満点で内容を評価する。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 悪霊 (上・下) 著者 (訳者) : ドストエフスキー 出版社 : 新潮文庫 ISBN : 4102010173, 4102010181</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50878	A	美術論	桑田 光平	教養学部(総合文化) 超域文化科学専攻	木2	159	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 「デザイン」を考える</p> <p>目標概要 この講義では、産業革命後のアーツ・アンド・クラフト運動からはじまるモダンデザインの歴史を振り返り、デザインの歴史を概観することでデザインに対する歴史的視座を身につけると同時に、デザインとはいかなるもので、どのような可能性を秘めているのか、デザインの今後についても考えていく。</p> <p>評価方法 平常点と期末レポート</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
51092	A	音楽論	長木 誠司	教養学部(総合文化) 超域文化科学専攻	金2	学際交流 ホール	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 オペラを観る・オペラを知る④</p> <p>目標概要 昨年に続き、西欧の代表的な舞台音楽ジャンルであるオペラを観るためのイントロダクション的な授業である。今年度は「革命とオペラ」というテーマで作品を選んで、それらを中心とする。オペラはどのような視点で観られ・聴かれるものなのか。どのように観れば面白いのか。現在オペラ上演の最先端はどのようなになっているのか。オペラはすでに過去のジャンルなのか。以上のような疑問を持つ受講者を望むが、単なるオペラ好きも大いに歓迎する。少しでも別の観方が得られればよいと思う。</p> <p>評価方法 毎回のレポート (感想文)、そして1回の実演体験によるレポート、および試験による。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50648	A	比較文化論	今橋 映子	教養学部(総合文化) 超域文化科学専攻	水2	8-320	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 展覧会カタログとは何か—駒場博物館資料室実習</p> <p>目標概要 【展覧会カタログとは何か—駒場博物館資料室実習】</p> <p>カタログは、美術および文化研究の最先端の動向や研究成果を知る、絶好の資料である。それに加え、価格や装釘、デザインなどの面においても、展覧会鑑賞者に様々な楽しみをもたらしてくれる絶好の「商品」でもある。</p> <p>駒場キャンパスの美術博物館には、専ら展覧会カタログ (文学、美術、歴史等) を数千冊以上収集し続けている資料室があり、近年ではその質と量から専門家からも高く評価されている。</p> <p>本授業では、以下の教科書を導入として、展覧会カタログとは一体何なのかを、多角的に検討する。本授業参加者は、通常閉架スペースであるこの資料室に入庫できる資格が与えられる。</p> <p>展覧会カタログは通常、博物館や美術館がおこなう「企画展」で制作されることが多いが、そのテーマや内容は、「比較芸術」的な観点で分析すると、実に豊かな世界を形づくっていることが分かってくる。</p> <p>授業参加者は、展覧会カタログの探索方法、読解法、分析及び批評方法を順次会得していくことになる。</p> <p>参加者に特に予備知識は必要とされず、普段、美術 (文学、歴史等) 展に関心を深く持っていることが肝要となる。また、資料室に直接立ち入る授業のため、関係する職員の方々ときちんと接することのできる参加者が期待される。</p> <p>評価方法 授業参加度、小発表、学期末レポートによって、総合的に判断する。</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行く。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50228	A	比較文学	佐藤 光	教養学部(総合文化) 超域文化科学専攻	月5	K214	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 比較文学研究入門</p> <p>目標概要 比較文学とは、各国文学（英文学、日本文学など）の間の影響関係や対応関係を考察する学問です。この授業では比較文学の研究事例を（1）英文学と出会った日本、（2）日本と出会った英文学、（3）クロス・ジャンルの事例としてロンドンのミュージカル研究、という三つの観点から紹介します。歴史と文学をあわせて考える実証研究の事例集です。</p> <p>評価方法 定期試験（持ち込み可）</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50229	A	比較芸術	三浦 篤	教養学部(総合文化) 超域文化科学専攻	月5	525	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 西洋近現代絵画の見方</p> <p>目標概要 19世紀、20世紀の西洋絵画の見方、考え方を学ぶ。Sセメスターの美術論「西洋伝統絵画の見方」で扱った絵画の体系が崩壊して、新しい近代のパラダイムに移行する時代が対象となる。19世紀のロマン主義にはじまり、印象派、ポスト印象派、20世紀の抽象絵画、ポップ・アートなど、現在にまでいたる歴史をたどっていくが、単純に時代順に語るのではなく、主題や造形様式や受容に関わるいくつかの重要な問題を設定して論じていく。広い意味における視覚芸術の機能、芸術と社会の関係、芸術家の意義や在り方等々、価値観が揺らぐ時代の美術を考えるためのテーマは少なくない。講義はスライドを使って、作品を具体的に分析しつつ行う。</p> <p>評価方法 レポート提出</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : まなごしのレッスン ②西洋近現代絵画 著者（訳者）：三浦篤 出版社 : 東京大学出版会 ISBN : 978-4-13-083031-7</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
51320	A	西洋思想史	納富 信留	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	火2	1321	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 プラトン哲学とその展開</p> <p>目標概要 西洋哲学の基礎を学ぶため、その原点として今日まできわめて大きな影響を与えている古代ギリシアの哲学者プラトンをとりあげ、彼の著作を読み解くことで、哲学の問題の立て方、考え方、議論の仕方を学ぶ。今学期はプラトンの代表作の中から、『ソクラテスの弁明』と『パイドン』をテキストとして、その内容と後世への影響を考察する。</p> <p>評価方法 学期中に参考書を読んだの小レポートを提出してもらおう（必須ではない）。最終回に授業内試験で論述式の問題に回答してもらおう予定だが、最終試験については授業時に確認する。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : ソクラテスの弁明 著者（訳者）：プラトン（納富信留） 出版社 : 光文社古典新訳文庫 ISBN : 433475256X もう一冊のテキスト『パイドン』については、授業時に紹介する</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
51443	A	経済思想史	寺川 隆一郎	教養学部(前期課程) 経済・統計	火1	1225	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 市場社会論としての経済思想</p> <p>目標概要 現代の経済学では、市場は、資源を最も効率的に配分する機構として、洗練されたモデルで分析される。しかし、すべてを貨幣で評価する市場が、社会編成の中心原理になることについての思想的反省が行われることは少ない。歴史的には社会的義務が、貨幣の支払い義務に徐々に置き換えられる（例：租税の金納化）中で、全国的市場が成立し、貨幣を介した関係が中心となる市場社会が誕生した。貨幣化は社会関係を流動化、個人化することで、資源配分の効率を高めるが、同時に、その強力な遠心力は、社会関係への解体圧力として作用する。このような機構が、われわれの社会の中でどのように位置づけられるのか、またどのように位置づけるべきなのかを問うのが経済思想である。本講義では、市場と社会の緊張関係について論じた過去の重要な経済思想家たちの議論を概説することで、市場社会論の多様な視点を紹介する。</p> <p>評価方法 学期末に授業内試験を実施する。討論時間での発言や、リアクションペーパーの提出は平常点として加味する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行く。</p>							

総合科目B 国際・地域

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51093	A	国際関係論	鶴見 太郎	教養学部(前期課程) 国際関係	金2	531	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 国際社会におけるミクロとマクロ</p> <p>目標概要 国際関係論の対象は国際社会（地球社会）である。地球大の、あるいは広範な地域にわたる制度や勢力、経済、法、さらには文化や記憶がテーマになることが多く、議論のスケールは壮大である一方で、どこかつかみどころのない話に感じられることもある。人々が日常的に実感できるミクロな次元とそうしたマクロな次元はいかに関わるのか。例えば、誰も望まない戦争や貧困はなぜ発生し、誰もがかわるはずの環境問題に多くの政府が後ろ向きである一方で、それなりに環境保護の流れが生まれるのはなぜか。本講義では、国際社会を複数の次元や視点から分析し、それら相互のかかわりを見出していく視座の涵養を目指す。</p> <p>評価方法 授業参加度30%・最終試験70%</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
50335	A	国際関係史	酒井 哲哉	教養学部(前期課程) 国際関係	火2	1331	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 国際関係史</p> <p>目標概要 幕末・維新时期から、太平洋戦争終結にいたるまでの、日本外交の展開を、東アジア国際秩序の変容と関連付けながら、歴史的に概観する。</p> <p>評価方法 通常の筆記試験による。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50336	A	現代国際社会論	石井 梨紗子	教養学部(前期課程) 国際関係	月1	1106	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 国際協力論序説</p> <p>目標概要 本講義は、途上国の「開発」に向けた非軍事的支援の総称としての「国際協力」(International Development Cooperation)について、その担い手となる主体と活動の内容を多面的に理解することを目的としている。具体的には、各国政府による政府開発援助(ODA)を始めとした二国間支援、国際機関による多国間支援、および非政府組織(NGO)を通じた支援についてそれぞれの特徴を概観する他、企業や個人による取り組みについても扱う。</p> <p>国際協力活動への評価はとくく二極化しがちであるが、本講義を通じて「国際協力」を捉える尺度の多様性を学んで欲しい。講義の中では、講師の開発コンサルタントとしての経験に基づくプロジェクト事例等も紹介していく予定である。</p> <p>国際政治イシューとしての「開発」や「援助」に関心を持つ学生の他、途上国の社会・文化全般に関心を持つ学生の参加も歓迎する。</p> <p>評価方法 定期試験の成績と講義への参加度合いから総合的に判断する。(ただし、受講者数が少ない場合、定期試験に替えてレポートの評点とする場合もある。)</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50997	A	地域文化論Ⅱ	OPPENHEIMER Melanie	教養学部(総合文化) 地域文化研究専攻	木4	KALS	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 Cross cultural encounters, conflict and co-existence in colonial Australia.</p> <p>目標概要 This course examines Australian history, society and culture from multiple perspectives and focuses on the experiences of both Indigenous peoples and European colonisers. Using a range of sources including film, art, maps and objects as well as paper based archival documents we explore a range of questions about conflict, identity and co-existence in historical contexts. The course begins with a study of the Australian continent before the arrival of the Europeans through to the early twentieth century. Classes will also offer opportunities for students to work on improving their English reading, writing and oral skills.</p> <p>評価方法 1 skills-based in-class writing assessment 1 final in-class test In-class participation activities</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51213	A	地域文化論Ⅱ	谷垣 真理子 外村 大	教養学部(総合文化) 地域文化研究専攻	金4	152	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 アジア共同体の形成と一帯一路</p> <p>目標概要 「一帯一路」は2014年11月に中国の習近平総書記が提唱した経済圏構想である。中国西部から中央アジアを経由してヨーロッパにつながる「シルクロード経済ベルト」(「一帯」)と、中国沿岸部から東南アジア、スリランカ、アラビア半島の沿岸部、アフリカ東岸を結ぶ「21世紀海上シルクロード」(「一路」)の二つの地域で、中国は当該地域のインフラストラクチャーの整備を促進し、同時に貿易関係を強化し、資金の往来を活発化させようとしている。これは中国が主導的にアジア共同体、さらにはユーラシア共同体を構築しようという試みに思える。中国が国家として主体的に関与したことで、現実の生活で交流が優先されてきたアジア共同体は急速に現実のものとなりつつある。近代にいたる以前から歴史的にはりめぐらされた華僑華人のネットワークと、1980年代からの改革・開放政策の波によって世界へと展開していった新移民の存在が、これらの動きの基盤となっているのは言うまでもない。</p> <p>本講座では中国の「一帯一路」に注目することで、新たな地域秩序と地域協力がどのように形成されているのかを考察する。本講座ではアジア共同体をめぐる各地域の基礎的な知識や研究の状況を伝え、アジア共同体構築の可能性や問題点について考える契機を与える。各地域の研究者から最新の研究動向を伝えてもらうと同時に、最近の動向を各地域の歴史的な脈で位置づけてもらい、グローバルな視野で現在進行中の事象を説明してもらう。事例の中にはマカオもとりあげられ、地域の重要性が決して領域の大小、経済力の大小からだけでは判断できないことを伝える。また、中国大陸から華僑華人政策について、台湾からは中国世界の国際関係理論モデルの第一人者を招聘し、日本人研究者の分析と異なる視点を受講者に感じ取ってもらいたい。</p> <p>評価方法 当該諸問題に関して毎回簡単なコメントペーパーを出してもらおう。また、期末には4000字～6000字程度のレポートを提出してもらおう予定である。これらのほかに、授業への出席、授業における討論への参加貢献度などを総合的に判断して成績を評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
51094	A	比較地域史	渡辺 美季	教養学部(前期課程) 歴史学	金2	K212	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 近世日中関係史</p> <p>目標概要 日本と中国は、絶え間ないヒト・モノの出入りを通じて、歴史を大きく共有してきた。本講義では、前近代の日中関係史、特に明の国際秩序の瓦解を経て日中両国の関係が再構築される16-19世紀前半(いわゆる「近世」)の両国の関係を、日本・中国双方の視点から、また琉球・朝鮮などのアジア諸地域の動きも視野に入れて、多角的に論じていく。なお単に通史として講義するのではなく、各時期を特徴づけるようなトピックを取り上げ、それに関わる史料の読み解きを通じて理解を深めることに重点を置きたい。二国の関係史を学ぶことで、それぞれの歴史を客観的に捉える視点を養ってほしい。</p> <p>評価方法 授業への参加度、授業中の課題、学期末のレポートなどを加味して総合的に判断する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
51214	A	日本文化論Ⅰ	松岡 心平	教養学部(前期課程) 国文・漢文学	金4	122	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 演劇人としての世阿弥</p> <p>目標概要 世界の演劇を見渡してみても、世阿弥ほどマルチな演劇人はいないだろう。この小柄な名優は座長としてプロデューサーもこなしつつ、多くの脚本を書く劇作家であった。演出家としての才能を発揮し、その鋭い批評家の視線からは多くの演劇論が生み出された。稀代のたいこもちまたは、日本有数の思想家であり教育者であった。</p> <p>こうした世阿弥の生涯を、彼が生きた時代をしっかりと見つめながら、稚児期から老年期までたどってみたい。もちろん、その主著『風姿花伝』や『花鏡』における「花」の思想、あるいは「離見の見」といった世阿弥の演劇的思考の頂点を示す言葉に触れることになるだろうし、「井筒」のような主要な能にも触れることになるだろう。</p> <p>評価方法 定期試験により評価</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50791	A	日本文化論Ⅱ	谷口 洋	教養学部(前期課程) 国文・漢文学	水5	107	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 日本文化にとって「漢文」とは何か</p> <p>目標概要 「漢文」は、高等学校で国語科の古典領域の一部として学ばれている。国語の教科書に載っているものには、日本人の作品もあるが、多くは中国のものである。外国人によって、外国語で書かれたものが、自国の古典の重要な一部分として学ばれているのである。</p> <p>それだけでなく、日本の伝統を語る文脈においては、しばしば漢文に由来する語彙や文体が使われる。外来のものであったはずの漢文は、現在ではむしろ、日本の伝統を強調するものとして機能しているともいえる。</p> <p>ふだん何気なく見過ごしているこれらの点を改めて考え、日本文化の一つの側面について、また古典とは、伝統とはといった問題について考える契機としたい。</p> <p>評価方法 期末のレポートを主とし、授業での討論・課題等の状況を勘案する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
51095	A1	日本語日本文学Ⅰ (理科生)	出口 智之	教養学部(前期課程) 国文・漢文学	金2	159	1年 理科 2年 理科
<p>講義題目 鉄道と文学の明治</p> <p>目標概要 明治期、日本中に急速に張りめぐらされた鉄道は、政治・経済・産業・社会生活等、様々なレベルで人々の生活に変化をもたらした。本講義では、明治中期に活躍した根岸党と呼ばれる文人たちを中心に、彼らが各鉄道路線に乗ったおりの紀行文を取上げ、描かれた鉄道という観点から、鉄道が文学に与えた影響を考える。これにより、鉄道の発展の歴史を学ぶとともに、明治の人々が新しく開通した鉄道についてどのように感じ、捉えたのか、その認識や感覚を知る。歴史上、新しいテクノロジーが文化にもたらした影響と、それを受けた人々の心情を考察することは、現代にも続く重要な視点を獲得することにつながるはずである。</p> <p>評価方法 ターム終了後の筆記試験(持込み不可)によって評価する。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。</p> <p>書名 : 汽車に乗った明治の文人たち—明治の鉄道紀行集</p> <p>著者(訳者) : 出口智之</p> <p>出版社 : 教育評論社</p> <p>ISBN : 978-4-905706-81-6</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
51096	A	日本語日本文学Ⅱ	小森 陽一	教養学部(前期課程) 国文・漢文学	金2	162	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 夏目漱石『道草』を読む</p> <p>目標概要 夏目漱石の唯一の自伝小説『道草』を、「記憶」と「想起」を軸に精読する</p> <p>評価方法 最後の授業で講義内容についての試験を行う</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。</p> <p>書名 : 道草</p> <p>著者(訳者) : 夏目漱石</p> <p>出版社 : 岩波文庫</p> <p>ISBN : 4003101131 c 0193</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
51228	A	日本語日本文学Ⅱ	矢田 勉	教養学部(前期課程) 国文・漢文学	金5	107	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 平安時代の文字</p> <p>目標概要 文字の本質に関する理論的洞察、また日本における文字の歴史について、平安時代の文字社会の実態とその変化を通じて考える。</p> <p>漢字の受容から時を経て、独自の文字である仮名を創出し、それを実用的に活用するとともに、美的にも成熟させていった平安時代人の文字生活がどのようなものであったか、多角的に見ていきたい。</p> <p>評価方法 期末レポートによる。不定期に授業で小課題を課す場合があり、それも評価に加味する(最大で30%程度)。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50230	A	東洋古典学	狩野 雄	教養学部(前期課程) 国文・漢文学	月5	1222	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 中国古典詩文の「知」と「覚」</p> <p>目標概要 「詩は志を言う」という言葉を用いるとき、詩には何か殊更に難しい、あるいは堅苦しいことばかりが詠まれてきたように思われてしまうかも知れない。しかし、われわれが物を考えるときに論理だけでは用が足りないように、知覚・感覚をすっかり離れたところに詩は立ち上がらない。</p> <p>また、中国古典文学、特に詩文は、その多くが知識人、過半が官僚となるいわゆる士大夫階層の手に成るものであるが、功成り名を遂げた者たちが高らかに謳う作品ばかりが立ち並ぶわけでは決してない。むしろ、思うに任せなかった者たちの、時に怨嗟にも似た、強い思いが表出されていることがしばしばある。</p> <p>なぜ詩人は詩を詠じたのか。この問いには答えられないが、杜甫の「語人を驚かさずば死すとも休まじ」（「江上値水如海勢聊短述」）という句を見れば、そこにはある種の感動を惹起するものが存在していることが知られる。古代の中国人は口腔感覚における感動を「美」と呼んだのであった。</p> <p>本講義では、「知」や「敗者」「感覚」などをキーワードとし、授業計画に記した詩人・作品を取り上げて読んでゆく。時に日本の古典文学にも触れながら、中国古典詩文に現れた「美」の諸相を考えてゆくこととしたい。中国古典文学への、作品を通じた理解が深まることに加えて、本講義を通して、詩の、文学の持つ面白味の一部を共有することを旨とする。</p> <p>評価方法 主として期末に課すレポートで評価する。授業時に課題を課すこともある。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50792	A	歴史社会論	長谷川 まゆ帆	教養学部(前期課程) 歴史学	水5	512	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 ヨーロッパ近世史と20世紀の歴史家たち</p> <p>目標概要 この授業では、ヨーロッパのとくに近世期の歴史学研究に新しい領域を切り開いてきた20世紀の歴史家たちに焦点を絞り、中世と近現代社会の間にあったヨーロッパ世界のとらえ方がどのように広がってきたかを考える。また歴史家の扱う対象や分析と歴史家が生きる同時代の課題とがどのように関わりあっているかを考えたい。</p> <p>歴史学研究の基礎的な方法や前提についても触れることになるが、講師の専門はフランス近世史であるため、主としてフランスに関する成果が中心となる。ヨーロッパおよびフランス近世期の概説的な知識やクロノロジックな流れについてはこの授業ではとくにとりあげない。基礎的な知識については、参考書を紹介するので、独自に勉強していただきたい。</p> <p>評価方法 人数によってはレポートもありうるが、履修者数が20名を超えるときは、筆記試験になる。 上記のコメントシートも評価対象となる。</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行く。</p>							
50810	A	歴史社会論	亀長 洋子	教養学部(前期課程) 歴史学	木1	1222	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 中世ジェノヴァ人の対外進出～海に生きるジェノヴァ人～</p> <p>目標概要 この講義では、イタリア海洋都市国家の中でも中世地中海・黒海世界の雄として活躍したジェノヴァ人の行動様式の個性について、対外関係の問題を中心に、具体例を挙げながら考察します。扱う分野は外交・制度・植民とネットワーク・社会生活と多岐にわたり、時期も十字軍期から、近世前半まで幅広く扱う予定です。「ジェノヴァ人、すなわち商人」という言葉に象徴される、海洋都市国家の商人達のメンタリティー、中世のグローバリゼーションのなかで展開する国家と個人の関係などを楽しんで聞き、個々の歴史的事象の持つ意味を構造的に理解していただければ幸いです。ジェノヴァ人の活動領域は北西ヨーロッパからアフリカ・アジアまで幅広いですが、特に黒海・エーゲ海世界の話に力点を置きたいと考えています。</p> <p>評価方法 学期末のレポート提出が1回あります。出席はとりませんが、レポート内容は講義内容に基づくものが求められます。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51319	A	歴史社会論	高山 博	文学部	水5	518	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 国際政治・経済・社会の変容とメディア</p> <p>目標概要 グローバル化と情報化が急速に進展する中、世界の構造も日本の社会やシステムも劇的に変貌しつつある。国内外で活躍する人材には、国外の情報を的確に選別・分析し、世界の中における日本の位置や、世界全体の動きを冷静に見通す能力がますます必要とされている。この授業では、国内外のメディアから出される重要な情報の取得の仕方や分析の仕方を学ぶ。変革期を乗り越え、グローバル化した世界でリーダーシップを発揮できる人材となるために必要な知識の獲得と情報分析技術の取得を目指す。</p> <p>最初の授業で、受講者をヨーロッパ地域、アメリカ地域、アジア・アフリカ地域の三つのグループに分け、毎週各グループから一人ずつ、その担当する地域に関する重要な記事（日本語以外の新聞・雑誌からのもの）の報告と分析を行う。</p> <p>選考を行うので、氏名、学生証番号、学年、科類、連絡先（メールアドレスなど）とともに、受講希望理由をA4サイズの紙一枚にまとめ、最初の授業に持参すること。</p> <p>※履修人数を18名に制限する。</p> <p>評価方法 授業での報告・ディスカッションを基に評価する。</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
51097	A	近現代史	外村 大	教養学部(前期課程) 歴史学	金2	152	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 日本の戦後処理と戦後補償</p> <p>目標概要 【注意】この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目B系列 近現代史Ⅱとして開講される。</p> <p>1945年8月15日に日本政府がポツダム宣言受諾を発表して終結させた戦争では、戦場となった国々の人びとに多くの被害をもたらした。また、戦争遂行にあたっては、日本の植民地としていた人びとを動員していた。これらに起因する問題は、1951年締結、翌年発効のサンフランシスコ講和条約や、それ以外の二国間協定で、賠償や経済協力という形態で、ある程度の「対処」が行われてきたとも言える。しかし、日本国としての補償の額やその方法が適切であったかどうかは議論がある。また、朝鮮民主主義人民共和国とは国交すら樹立しておらず、その地に住む朝鮮民族に対してはなんらの補償も行われていないというのが現状である。さらに、被害者は物的金銭的な問題のほかに、日本の過去の加害に対して明確な謝罪を行い、反省を示すことを求めており、これについても日本政府は各種の見解を表明してきたことも事実であるが、これについても十分ではないという批判がなおいまもある。</p> <p>この授業では、日本の戦後処理の施策がどのように展開されてきたのか、侵略戦争や植民地支配の被害者にどのように対応してきたのか、なお残されている課題は何であるのか、その課題の解決を求めて展開されてきた被害者やその支援者の活動はどのようであったのかを論じていく。そのうえで、今後、私たちがどのようにいまなお残る課題に向き合うかを考えていく。</p> <p>評価方法 授業での受講態度や討論への参加、貢献についての評価および学期末レポートに基づいて行う。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
51229	A	近現代史	井坂 理穂	教養学部(前期課程) 歴史学	金5	122	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 「歴史」をめぐる語り—近現代インドの事例から—</p> <p>目標概要 【注意】この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目B系列 近現代史Ⅱとして開講される。</p> <p>この授業では、近現代インドにおける「歴史」をめぐる様々な語りを取りあげ、それらがどのような政治・社会状況と結びついているのかを明らかにしながら、「歴史」を語るという行為がもつ意味を再考する。ここでは、学校教育で語られる歴史や、歴史家たちとの議論ばかりでなく、国家レベルや地方レベルの政治の場で示される歴史観、映画や小説、漫画などに描かれる歴史観、さまざまな社会運動のなかで語られる歴史観なども取り上げる。これらの「歴史」のなかには、「自分たち」のあり方を規定したり、「自分たち」の権利を主張するための根拠として言及されるものもあれば、「他者」に対する批判や攻撃の根拠として示されるものもある。この授業では、こうした歴史をめぐる様々な語りを紹介し、それらを背景とともに分析しながら、インド近現代史への理解を深めるとともに、歴史を語ることの意味や、異なる歴史認識をもつ人々との対話がどのように可能となるのかについて考えてみたい。</p> <p>評価方法 定期試験による。ただし授業中に回収する課題も若干の割合で評価対象に含める。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50337	A	歴史と文化	桜井 英治	教養学部(前期課程) 歴史学	火2	1225	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 日本の中世社会</p> <p>目標概要 現代歴史学の流れは、1970年代前半までの戦後歴史学の時代、70年代後半から80年代の社会史の時代を経て、現在はさしずめグローバル・ヒストリーの時代にあるといえようか。この間に日本中世史研究も関心や視点、方法等をさまざまに変化させてきたが、大きくいえば、日本の中世社会を分裂的、多元的な社会とみる学説と統合的な社会とみる学説を両極として、その間を揺れ動いてきたようにみえる。この授業ではこれまでの研究成果や論争史をふまえながら、日本の中世社会の特質を日本史全体の流れのなかで、あるいは東アジア諸地域との比較において整理・究明するとともに、今後の研究の進むべき方向性についても模索してみたい。</p> <p>評価方法 学期末の筆記試験で評価する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
51321	A	歴史と文化	守川 知子	文学部	月4	524	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 歴史の中のイスラームとその社会</p> <p>目標概要 本講義では、イスラーム社会の歴史的多様性に焦点をあてることにより、「イスラーム世界」とは何かについて考える。現在、世界人口の2～3割を占める18億人がイスラーム教徒（ムスリム）と見積もられているが、その歴史をひも解くと、「イスラーム」や「ムスリム」の実態は、地域や時代によって千差万別であったことが明らかとなる。西アジア、東南アジア、中央アジアから中国、北・東アフリカ、インド、ヨーロッパなど、歴史的に見てもムスリムが暮らした地域は世界中に広がっている。このようなイスラーム社会の歴史的多様性を理解することは、将来、文学部に進学し歴史研究や思想研究を志す学生はもちろんのこと、国際社会の一員として生きるすべての学生にとって意味あることとなろう。</p> <p>評価方法 定期試験にて評価する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50231	A	世界史論	小田 悠生	教養学部(前期課程) 歴史学	月5	514	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 「移民の国」アメリカの形成</p> <p>目標概要 今日の世界では、全人口の3.4%に相当する約2億6千万人の人々が生まれ育った国・地域の外で暮らしています。その2割が居住する国がアメリカ合衆国です。また、アメリカ合衆国に暮らす人々の15%は国外の出身であり、第二世代の子を含めると総人口に占める割合は25%となります。さて、みなさんは、これらの数を高いと感じるでしょうか。実際には、アメリカの歴史を紐解けば、また他の地域と比べ、際立って高い水準にはないと聞けば、意外に感じられるでしょうか。この授業では、今日では「移民の国」として自他ともに理解されるアメリカの成り立ちを、18世紀末以降の環大西洋世界・環太平洋世界・南北アメリカ大陸における人の移動のなかに位置づけ、理解することを目標とします。</p> <p>評価方法 平常点・定期課題：30% 定期試験：70%</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50338	A	文化人類学Ⅰ	田辺 明生	教養学部(前期課程) 文化人類学	火2	513	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 文化人類学入門—現代世界を問い直す</p> <p>目標概要 現代世界に生きる私たちにとって、人類学的知がもつ意義と可能性について論ずる。つきつめて言うならば、「自己」と「他者」、「人間」と「非人間」、「社会」と「自然」の関係における対立・分離（二）と融和・統合（一）の両面を奥深く認識することこそが、人類学的知の要諦である。一が二であり、二が一である世界とはどのようなものか。そうした知のありかたは、現代世界にいかなる意義と可能性を持つのか。私たちが生きるアクチュアルな問題群をとりあげながら、人類学からのオルタナティブの考え方を提示したい。本授業では、人類学的思考の基礎を学んでもらい、そこから現代世界を問い直すきっかけをつかんでもらうことを目標とする。</p> <p>評価方法 授業毎のリアクションペーパー（30%）、最終レポート（70%）</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
51098	A	文化人類学Ⅱ	箭内 匡	教養学部(前期課程) 文化人類学	金2	521	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 文化人類学的思考—映像／イメージを通して学ぶ—</p> <p>目標概要 文化人類学（以下「人類学」と略）はもともと、世界の諸民族を研究する「民族学」を原点とする学問だった。しかし、今日の人類学はそうしたイメージから大きくかけ離れたものになっている。「未開」や「伝統」はもはや人類学の中心的テーマではなく、今日の人類学者は、例えば先端科学のラボやインターネット上の世界などもフィールドワークの対象にするようになった。そのような現代人類学は、人類学の過去の学問的遺産とどのように連結しているのか。そして、そうした伝統の上に立つ現代人類学は、どのような独自の知見を我々にもたらしてくれるのだろうか。</p> <p>過去から現在そして未来の人類学へと向かう、こうした流れの全体を見通すために、映像（写真を含む）は有益な土台となってくれる。人類学者はフィールドワークという作業をつねに重視してきたが、そこで大事なのは、「言葉で表現されたもの」と同じかそれ以上に、「言葉で表現されていないもの」であって、映像は、うまく使うならば、この後者（およびその前者との関係）をダイレクトの感じ取らせてくれるのだ。それゆえこの授業では、映像的素材を見ながら、フィールドの現場を間近で想像しつつ、古典的および現代的な人類学の独特の思考方法を学んでほしいと思う。</p> <p>かつて「文化」、「社会」は人類学の基本概念であった。しかし実は、人類学は「文化」、「社会」の概念なしでも十分にやっつけられるし、そういう考え方のほうが人類学的思考の今日的な現場に接近しやすいとも考えられる。この授業でのキーワードは、従って、社会・文化を次第に離れ、イメージ・自然・身体といったものになっていくはずである。このあたりの事情は、授業全体を追うなかで、少しずつ確実に理解していってもらえると思う。</p> <p>評価方法 試験（予定）。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。</p> <p>書名 : 『イメージの人類学』</p> <p>著者（訳者） : 箭内匡</p> <p>出版社 : せりか書房</p> <p>ISBN : 978-4796703734</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

総合科目C 社会・制度

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50793	A	法と社会	山元 一	教養学部(前期課程) 法・政治	水5	1106	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 法と社会——グローバル化時代の日本国憲法</p> <p>目標概要 本講義は、日本国憲法とそれを取り巻く諸問題について検討し、それを通じて、憲法の基本原理とその現代的課題についての理解を深めることを目標とします。その際の視点としては、法の歴史的考察や比較憲法にも留意しつつ、グローバル化時代の日本国憲法がいかなる役割を果たすべきなのかについて、考えていきたいと思えます。</p> <p>評価方法 学期末に実施される試験に基づいて成績評価を行います。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50811	A	法と社会	西土 彰一郎	教養学部(前期課程) 法・政治	木1	1221	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 法理論の探求</p> <p>目標概要 ある論者の言葉を借りるならば、法理論とは「法システム全体が、環境に適合しつつその首尾一貫性を保つことができているかということについての、法システム内部における法の『反省理論』である」。この講義では、この意味での法理論をともに探求することを目的としている。その際、社会学における社会システム理論など隣接分野の知見を用いつつ、法の理論的反省を企てている「教科書」を読みとくことにより、以上の目的を追究してみたい。</p> <p>理論的反省の経験は、「思考の型の中で全体を推論すること」である。したがって、法の内的視点からとはいえ、反省理論を探求することは、様々な分野の学生にとっても刺激的であるように考えられる。</p> <p>評価方法 定期試験および授業の参加度で評価する。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。</p> <p>書名 : 法理論の再興</p> <p>著者(訳者) : トーマス・ヴェスティンク (毛利透 = 福井康太 = 川島惟 = 西土彰一郎・訳)</p> <p>出版社 : 成文堂</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50339	A	日本国憲法	渋谷 秀樹	教養学部(前期課程) 法・政治	火2	743	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 日本国憲法</p> <p>目標概要 教科書は、以下の体系に沿ってかかっている。</p> <p>第1章 憲法総論 1憲法の内容、2憲法の性質、3法の支配(立憲主義)、4憲法改正の限界</p> <p>第2章 人権総論 5人権の根拠と限界、6人権の享有主体、7私人間効力、8新しい人権</p> <p>第3章 人権各論 9法の下での平等、10思想・良心の自由、11宗教の自由、12表現の自由、13刑事手続上の権利、14財産権、15生存権、16選挙権</p> <p>第4章 統治機構総論 17権力分立、18民主主義と違憲審査制、19天皇、20平和主義</p> <p>第5章 統治機構各論 21立法の概念、22行政の概念、23司法の概念、24地方自治の本旨</p> <p>授業は、より体系的なものに組みなおし、また適宜時事的な問題にも触れながら、憲法の基本が理解できるようなものとした。</p> <p>なお、憲法の条文を適宜参照するので、教科書のほかに『六法』を用意されたい。</p> <p>評価方法 定期試験による。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。</p> <p>書名 : 憲法への招待 新版</p> <p>著者(訳者) : 渋谷秀樹</p> <p>出版社 : 岩波書店</p> <p>ISBN : 978-4-00-431470-7</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
50232	A	現代社会論	丹羽 美之	教養学部(前期課程) 社会・社会思想史	月5	743	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 テレビ番組で見る戦後日本</p> <p>目標概要 【注意】この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目C系列 マス・メディア論 として開講される。</p> <p>日本でテレビの本放送が始まって60年あまり。テレビは単に戦後日本の歴史を映し出すだけでなく、戦後日本の歴史を積極的に作り出し、動かしてきた。この授業では、ドキュメンタリー、ドラマ、バラエティなど、それぞれの時代に放送されたテレビ番組を視聴しながら、テレビと戦後日本の歴史を多角的に振り返る。</p> <p>評価方法 ミニレポート、学期末レポートによって総合的に評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51230	A	比較社会論	重田 園江	教養学部(前期課程) 社会・社会思想史	金5	531	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 統治の比較社会論 目標概要 【注意】この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目C系列 比較社会論として開講される。</p> <p>社会を比較するにはさまざまな方法があると考えられる。 最初に思い浮かぶのは、文化人類学（社会人類学）的な手法であろう。これは、「未開」と「文明」に代表されるように、異なった社会構造や文化的価値観を有する諸社会を比較対照する方法である。 本講義で採用するのは、このような方法とはかなり異なる道である。それは、ヨーロッパ近代社会の特異性について内側から考察することで、それがいかにそれまでとは異なった社会、政治制度、経済体制、そして文化的な価値観を生み出したのかを示すというものである。そしてこの特異性は、ヨーロッパの外側へとさまざまなやり方で輸出された。この輸出と伝播についても言及する。また、ある時期まで、外部からヨーロッパへの文化的技術的な輸入や、他地域との並行関係が見られる。それらの点も念頭に置きながら、近代ヨーロッパ社会の出現、その特異性を位置づけることがテーマとなる。</p> <p>講義では、近代社会の生成を「国家」と「経済」の出現を中心に描く。 「国家」の出現については、近代主権国家とその正当化としての社会契約論がよく知られている。この講義ではそれらを追究するのではなく、主権と対置される「統治」あるいは社会契約と対置される国家の保全に重点を置く。これによって明らかになるのは、社会を秩序立てる「技」としての統治がもつ汎用性、普遍性（どの社会にも適用可能という意味）と、それが近代ヨーロッパにおいてとった特異な形態の双方の側面である。 「経済」の出現については、これを概念史あるいは語彙の歴史の手法を用いて考察する。経済ということばが現在ののような意味で用いられるようになったのはいつなのか。それはどのような社会的背景において、また社会構造の変化によって起こったのか。これを歴史学とくに社会史の知見を援用して明らかにする。 人々が集まって暮らすかぎり、人間には社会があり、社会があれば支配従属関係、つまり政治と統治が存在する。その意味で政治と統治はどこにでもある。ではそれは、それぞれの社会でどのように固有の発展をしてきたのか。このことを知る最初の一步として、ヨーロッパ近代が前近代あるいは非近代に対していかに特異であるかを上記の観点から明らかにすることが講義の目標である。</p> <p>評価方法 定期試験（論述）。 リアクションペーパーを通じた授業への興味関心の度合いと着眼点。</p> <p>教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
51099	A	政治経済学	丸川 知雄	教養学部(前期課程) 経済・統計	金2	514	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 マクロ・ヒストリー 目標概要 人類の歴史を巨視的にとらえるさまざまな歴史観（マクロ・ヒストリー）を紹介し、その妥当性を検討します。 マクロ・ヒストリーとは、単に歴史を記述するものではなく、歴史の動きを内在的または外在的要因によって説明しようとする試みです。もちろん歴史学とは無縁ではありませんが、むしろ思想の系譜としては、哲学や政治思想、経済思想の分野から生まれてきたものです。 マクロ・ヒストリーには、技術や生産力の成長が社会の変動をもたらす、自然環境によって社会の発展パターンが決まる、といったように客観的な条件によって人類の歴史を説明するものと、民主主義や自由、あるいは特定の宗教などの理念が歴史を動かすと説明するものがあります。 また、おのおのの社会の内在的発展を見ようとする歴史観、社会の間の相互作用を重視する歴史観、さらに世界全体を見なければ意味がないとする歴史観など、歴史を見る単位による類型化もできます。 こうしてさまざまな歴史観を対比し、関連づけ、類型化することを試みたいと思います。また、理論の紹介にとどまらず、できればデータを用いて理論を検証することも試みたいと思います。 最後に、現在は歴史の転換点か歴史の直線路にあるのかともに考えましょう。</p> <p>評価方法 レポートおよび定期試験によって行います。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50340	A	計量社会科学	清水 剛	教養学部(前期課程) 経済・統計	火2	K011	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 計量社会科学/社会統計学</p> <p>目標概要 【注意】この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目C系列 社会統計学 として開講される。</p> <p>本講義では、「数値によって社会を見ること」の問題点と基本的な統計分析の考え方を学んでいく。社会に関するさまざまなデータは客観的に存在しているようなものではなく、それ自体が社会的な条件の下で形成される。この点を踏まえて、まずデータを「読む」とはどのようなことかについて講義した上で、その上で統計分析の考え方を述べていく。なお、必ずしも高度な統計の知識を前提とするわけではないが、基礎的な数学および統計の知識を持つていくことが望ましい。</p> <p>評価方法 定期試験による</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
51231	A	計量社会科学	小林 正人	教養学部(前期課程) 経済・統計	金5	E26	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 統計プログラミング環境Rを使った社会科学のデータ分析</p> <p>目標概要 【注意】この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目C系列 計量社会科学として開講される。</p> <p>この講義で行うことは、 (1)Rプログラミングの技法の解説 (2)Rを用いて社会科学のデータ分析を経験すること の二点です。 その過程において、 (a)政策効果を評価するために「因果関係」のあたらしい見方を身に着ける。 (b)統計分析の基本技術を身に着ける。 (c)Rのプログラミング技法を身に着ける。 ことができるでしょう。</p> <p>下巻のデータ分析も行いたいのだが、どうしても時間的に不足するので、その可否は進行状況をみながら判断する。</p> <p>評価方法 授業における貢献と試験により評価を行う。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 『社会科学のためのデータ分析入門(上)』 著者(訳者) : 今井耕介 出版社 : 岩波書店 ISBN : 400061245X 下巻も使用したいのだが、講義の進行状況をみながら判断する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
51021	A	経済政策	安部 竜一郎	教養学部(前期課程) 経済・統計	木5	511	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 経済政策を問い直す</p> <p>目標概要 経済政策が常に論争的となるのはなぜか。国民経済を領域とする経済政策はグローバル経済のもとでどこまで可能なのか。環境問題や男女格差、貧困の是正が課題とされているにも関わらず、現実逆行しているようにみえるのはなぜか。本講義では、こうした問いに答えるため、経済政策の基礎的な枠組みを学びつつ、通例のマクロ経済学や厚生経済学など「狭義の経済学」の枠組みを超えて、自然と人間—社会との相互作用という視点から経済政策を考える。</p> <p>評価方法 定期試験90%、レスポンスシート10%。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50233	A	現代教育論	丹野 義彦 松島 公望	教養学部(前期課程) 心理・教育学	月5	1106	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 教育・学校心理学</p> <p>目標概要 教育・学校心理学に関連した以下のようなテーマについて、論点や事実を具体的に整理しながら解説する。 ①「教育現場において生じる問題及びその背景」 ②「教育現場における心理社会的課題及び必要な支援」 ●公認心理師資格のための実践心理学科目「学校・教育心理学」に対応する。 ●教育学や教育心理学に関するアンケートや調査を頻繁におこない、フィードバックしていく予定。</p> <p>評価方法 試験とレポート</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50089	A	教育臨床心理学	石垣 琢磨 松島 公望 石川 亮太郎	教養学部(前期課程) 心理・教育学	月2	1101	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 臨床心理学概論</p> <p>目標概要 臨床心理学は、多様な個々のクライアントの具体的福祉向上をめざす、実践（心理臨床）のための「学」である。しかし、それを学問体系として、あるいは、科学として理解するためには、精神分析学や精神医学とならび、認知・発達・社会などの心理学諸分野の知識が不可欠である。本講義では、「発達」をキーワードに、「臨床心理学の成り立ち」と、それに基づく「臨床心理学の代表的な理論」と介入法、教育支援についての理解を目的とする。</p> <p>評価方法 定期試験を行う。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
50998	A	教育臨床心理学	前田 基成	教養学部(前期課程) 心理・教育学	木4	900	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 臨床心理学概論</p> <p>目標概要 近年、いじめや不登校の問題行動のほか、自然災害や犯罪被害に関連して心のケア、カウンセリングということが社会的に注目されている。本講義では心の健康である精神保健、適応論と不適応、中学生・高校生の青年期に見られる問題行動などについて、その心理的メカニズムを臨床心理学の基礎知識に基づいて学習する。</p> <p>評価方法 定期試験による。</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
60234	A 2	教育実践・政策学入門	新藤 浩伸	教育学部	火2, 金2	K501	1年 文科 理科
<p>講義題目 教育実践・政策学入門</p> <p>目標概要 (目標) この授業は、教育の「現場」と「制度・政策」がそれぞれどのように動いているのか、また両者がどのように関係しているのかを理解したうえで、現代の教育課題を分析する視点を獲得し、それらの課題について自分で考えることができるようにすることが目標である。 (概要) 教育の実践や政策が関わる領域は多岐にわたる。この授業では、主に社会教育、学校教育、教育行政を専門とする3名の教員が交代で授業を担当し、それぞれの研究分野について、教育実践と制度・政策の実態、および相互の関係がどう展開しているのかについて、基本的な事項を含めながら講義を行う。</p> <p>評価方法 担当者ごとにレポートまたは小テストを課す。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
51323	A 1	高等教育論入門	小方 直幸	教育学部	木5	515	1年 文科 理科
<p>講義題目 高等教育概論</p> <p>目標概要 この授業は、自身の経験を超越して大学を理解する機会を提供することで、受講生の学生生活の一助とすることに加えて、大学そのものへの関心を深めてもらうことを目標としています。そのために、学生生活に関わるいくつかの題材を取り上げ、日本の動向だけでなく諸外国の状況も踏まえながら、大学や学生生活のあり方を受講生と一緒に考えます。</p> <p>評価方法 授業への参加状況ならびに最終レポートによって評価します。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							

総合科目D 人間・環境

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51442	A	地球環境論	亀山 康子 岡 和孝 角谷 拓	教養学部(前期課程) 国際関係	金5	154	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 地球環境論～問題への学術的なアプローチ/Studies in Global Environmental Studies-interdisciplinary approach towards environmental problem</p> <p>目標概要 年々顕著になる気候変動影響や生物多様性喪失など、人間活動は、地球上のさまざまな環境を改変しつつある。そして環境の劣化は、人間の生存そのものまで脅しかねない水準にまで近づきつつある。当講義では、以下のリサーチクエスチョンを踏まえて実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学的にどこまで解明されているのか？ ・問題があることが科学的に示されていても、解決に至らないのはなぜか？ ・科学的に不確実性が残る問題にどのようにアプローチすればよいのか？ <p>環境問題の解決には、現象解明から政策立案まで理解を深めることが求められるため、当講義は文系、理系にこだわらず、両者にとって相互理解を深められる内容を目指す。</p> <p>評価方法 出席、レポート提出（3回ほど）</p> <p>教科書 その他。 講義前にITC-LMSに資料をアップする</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
50341	A	環境物質科学	松尾 基之	教養学部(前期課程) 化学	火2	514	1年 文科 理科
<p>講義題目 物質循環と環境化学</p> <p>目標概要 環境問題は近年、高濃度汚染による局地的な被害（いわゆる公害問題）から低濃度汚染による地球規模の慢性被害へと、質的に変化を遂げてきた。環境中に排出された化学物質はどのような挙動をとり、どのような運命をたどるのであるか。そのことを考える際、忘れてはならない事は、もともと天然においても化学物質は動いているのであり、地球上での循環・滞留を繰り返しているという事である。</p> <p>本講義では、環境化学・地球化学の立場から、環境中における種々の化学物質・元素の自然の分布とそれに対する人為の影響について検討する。具体的なテーマとしては、CO₂による地球温暖化、フロンによるオゾン層破壊、酸性雨などについても取り上げる。</p> <p>評価方法 定期試験を行う。 なお、授業中に行うミニテストも加味する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50342	A	生態学	嶋田 正和 伊藤 元己	教養学部(前期課程) 生物	火2	512	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 生態学</p> <p>目標概要 本講義の初回は生態学とはどのような学問かを紹介した後、前半は嶋田が担当し、主に動物生態の視点から、資源の選択的利用/縄張りから社会の進化/個体数変動/動物をめぐる相互作用と共進化/生物群集と多種共存/生態系の物質循環とエネルギー流を解説する。後半は伊藤が担当し、主に植物生態の視点から、生物多様性とはなにか/保全生態学/植物と動物の共進化/植物の生理生態/植物の生態分布などを解説する。</p> <p>全体として、基礎科学としての生態学だけに留まらず、人間社会との接点に位置する自然環境や生物多様性の保全、そして生態系への人為的負荷と地球環境への視点など、応用的な側面も併せて講義する。</p> <p>評価方法 定期試験</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
50941	A	社会環境論	梶田 真	教養学部(前期課程) 人文地理学	木3	K212	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 地域開発と地域の動態</p> <p>目標概要 地域的不均衡発展という言葉があるように、経済成長は必ずしも全国一律の発展をもたらすわけではなく、成長地域と成長から取り残される地域を生み出すこととなります。このような中で、中央政府は“均衡ある国土の発展”といった観点から、経済成長から取り残された地域の開発を推進し、後進地域自身も格差を埋めようと様々な開発事業を行ってきました。しかし、こうした政策・取り組みは意図するような成果をあげることができたのでしょうか。また、経済面以外の部分を含め、地域にどのような影響を及ぼしたのでしょうか。本講義では「虫の目」の視点から、個別地域の動態を丁寧に跡づけていくことによって、これらの点について考えていきたいと思えます。</p> <p>評価方法 成績はレポートによって評価します。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50204	A	社会生態学	近藤 章夫	教養学部(前期課程) 人文地理学	月4	K011	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 都市経済地理学の概論</p> <p>目標概要 都市を扱った地理学、経済学の研究成果をもとにして、都市経済地理学における方法論と研究対象への接近法を通じて、日本と世界における現代都市の諸課題について議論する。</p> <p>評価方法 試験。授業終了時のリアクションペーパーやレポート課題なども評価に加味する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50234	A	地域生態学	永田 淳嗣	教養学部(前期課程) 人文地理学	月5	515	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 人文地理学農山漁村地域調査入門</p> <p>目標概要 国内の農山漁村の特定の地域を取り上げ、ローカルな生態・社会環境の制約と可能性の下で、人々がどのように生きてきたかを考察する。細かい調査・分析技術の習得よりも、まずは現場の人々の話にしっかり耳を傾けること、そして、具体的なデータに基づく論理的な思考の訓練に重点を置く。取り上げる対象・地域に対する知識の習得、データの収集と基本的な分析、議論には、相当な自主性と忍耐が要求される。1月以降に予定している短期の野外調査への参加を前提とする。受講希望者多数の場合は選抜を行う（15名程度）。</p> <p>評価方法 通常の授業における課題への取り組み、野外実習本番での取り組み、最終レポートの内容を総合的に評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日を行う。</p>							
50343	A	地域生態学	江口 卓	教養学部(前期課程) 人文地理学	火2	1222	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 ブータンヒマラヤの地誌</p> <p>目標概要 地理学の視点から地域をどのようにとらえるかを理解するとともに、ヒマラヤ地域について理解を深めることを目標とする。ブータンヒマラヤを中心に、ヒマラヤ地域の自然・社会・文化の特徴について概観しながら、相互の関係について考え、ヒマラヤにおける地域の成り立ちについて理解を深める。</p> <p>評価方法 成績は、授業内の小テスト（1回）・レポート（1回）・受講態度などにより評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50722	A	人間行動基礎論 (理科生)	大久保 街亜	教養学部(前期課程) 心理・教育学	水3	1313	1年 理科 2年 理科
<p>講義題目 心理学概論</p> <p>目標概要 「人の心の基本的な仕組み及び働き」について知識を身につけ体系立てて説明できること、並びに「心理学の成り立ち」について理解することを目標とする。現生人類はHomo sapiens と呼ばれる。これは「人間、知的なるもの」と訳される。知性が人間の基本的特徴であることが、この名称からよくわかる。人間の知性の基礎となるものが記憶である。記憶がなければ、すなわち何とを覚えていなければ、日常生活もままならない。自分の家も分からなければ、自分の名前もわからない。すなわち、あなたが誰かということもわからない。そもそもわからないということすらわからないかもしれない。このような単純な例からも記憶が知的な活動の基礎であることがわかる。この講義では記憶と認識に関する議論を糸口にして人間の知的側面について理解を深め、心理学の基礎を理解し、願わくは「人間とは何か？」という根本的な疑問を考えるきっかけとしてほしい。</p> <p>評価方法 レポート（30%、学期中に何回か提出を求める）、小テスト（20%、学期中に何回か行う）、定期試験（50%）の3つから総合的に評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日を行う。</p>							
51266	A	人間行動基礎論 (理科生)	戸張 靖子	教養学部(前期課程) 心理・教育学	月1	1323	1年 理科 2年 理科
<p>講義題目 心理学概論</p> <p>目標概要 ヒトもまた地球上に存在する生物種の一種であり、進化によってもたらされた産物である。よって様々な動物の行動がどのような仕組みで生み出されたのかを探ることにより、ヒトの心や行動を理解するためのヒントを得ることができる。本講義では、「心理学の成り立ち」や「人の心の基本的な仕組み及び働き」を学ぶことに加えて、遺伝子の働きから個体間の振る舞いまでの幅広い視点から動物行動の「なぜ」を学ぶことにより、ヒトの心や行動を理解する手掛りを得ることを目指す。</p> <p>評価方法 ミニレポート（計3回）とレポート試験（70%）</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日を行う。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50344	A	情報認知科学	鈴木 宏昭	教養学部(前期課程) 心理・教育学	火2	1313	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 知覚・認知心理学</p> <p>目標概要 記憶、推論、問題解決などの高次認知における、内的資源(情報処理機構、経験的知識、生得的制約)と外的資源(状況、道具、他者)の利用、およびその間の相互作用について論じる。これらを通して、人間の知性を多様な資源の巧みな組合せによる創発として捉える可能性を提示する。</p> <p>評価方法 定期試験による。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 教養としての認知科学 著者(訳者) : 鈴木宏昭 出版社 : 東京大学出版会</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
50235	A	認知脳科学	石金 浩史	教養学部(前期課程) 心理・教育学	月5	1313	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 神経・生理心理学</p> <p>目標概要 <目標> ・「脳神経系の構造及び機能」を説明することができる。 ・視覚の特性とその神経科学的基盤を説明することができる。 ・「記憶、感情等の生理学的反応の機序」を説明することができる。 ・「高次脳機能障害の概要」を説明することができる。 ・脳と心の関係を調べる実験的技法を研究に活用できる。</p> <p><概要> 本講義では様々な精神機能の実現に深く関与する「脳」を研究対象とする神経科学分野に関して、いくつかのトピックを選び、基礎的な知識から最新の知見まで紹介する。この分野は心理学・生物学をはじめとして医学・工学・物理学等が結集してその解明に突き進んでいる学際的なフロンティア領域であり、幅広くその応用が期待されている。そして、脳研究の知見は「我々がいかなる存在であるのか」ということを垣間見せてくれる。授業では「心の諸特性」とそれを司る「脳のメカニズム」がどのような実験手法で解明されてきたのかを、視聴覚教材を用いて体験しながら学ぶ。講義では、まず、脳が実現している私達人間の視覚・記憶・感情などの心的特性を学ぶ。また、脳神経系の構造及び機能を学んだ上で、視覚特性を説明する視覚系の概要や記憶・感情等の生理学的反応の機序を理解する。また、高次脳機能障害の概要を学び、そこから示唆されたことを証明した実験研究などを紹介する。さらに、心理・生物データの特性や標準的な科学的取り扱い、およびそれらに基づいた論理展開や解釈の仕方も勉強した上で、原著論文のデータを交えつつ、「ニューロンの活動」から「皮質レベルの活動」、そして「行動や意識」のレベルにいたるまでの「脳」と「心」の関係を包括的に理解することを目指す。</p> <p>評価方法 定期試験成績による。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
50812	A	認知脳科学	山下 祐一	教養学部(前期課程) 心理・教育学	木1	1108	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 神経・生理心理学</p> <p>目標概要 人間のこころと行動を、脳の構造と機能から理解しようとする「脳科学」の基礎を学ぶ。脳神経系の構造及び機能の基礎、知覚、注意、学習、記憶、感情等の生理学的反応の機序を題材にした脳科学研究手法の基礎、脳機能の失調としての精神障害、高次脳機能障害の概要、を学ぶ。さらに、人工知能やロボティクス、人のこころと行動の集合としての社会現象、脳機能操作の可能性とその倫理的問題・社会へのインパクトなど、脳科学と関連する幅広い分野にも触れる。</p> <p>評価方法 定期試験の成績による。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50090	A	適応行動論	齋藤 慈子	教養学部(前期課程) 心理・教育学	月2	1323	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 ヒトの心と行動を進化から考える</p> <p>目標概要 ヒトは他の動物と同様、進化の産物である。したがって、ヒトの心と行動も進化の産物である。そのような視点から見ると、人間の心や行動の理解がより深まる。本講義では初めに進化生物学の基本的概念を説明する。次にヒトがどのように進化してきたかを理解してもらうために、ヒトを生んだ系統である霊長類の特徴、ヒトの進化史について説明する。ヒトと霊長類、その他の動物の認知機能の相違についても概観する。その後、ヒトの心理や行動（配偶、養育、協力行動など）の具体的な例について、進化的観点から解説を行っていく。人間の心や行動に関する「なぜ」について、新たな見方を獲得する。</p> <p>評価方法 定期試験</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50649	A	社会行動論	北村 英哉	教養学部(前期課程) 心理・教育学	水2	1323	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 社会・集団・家族の心理学</p> <p>目標概要 本授業は主に専門領域で言えば、心理学、なかでも社会心理学領域の講義を柱とし、家族心理学を補う。社会心理学は人間関係、集団関係の心理学領域であり、三面記事的な「社会」とは異なる。人間についても、自然法則、経済法則などといった他の分野と同様、あるいは独自の形で法則性が見られ、心理学とは人間を科学的に研究・解析してその法則性を樹立する学問分野である。イメージとしては行動科学、人間科学、認知科学といった用語の方が適合するかもしれない。社会心理学分野は多岐にわたり、個人の行動分野から対人行動、自己、対人相互作用、集団過程、集合現象、家族関係など広く、本講義は全体に目配りしながら、「対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程」、「人の態度及び行動」、「家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響」など、「公認心理師」の社会・集団・家族の選択科目分野が学べるような講義になっている。</p> <p>人間関係は誰もが一生経験し、どのような職業についても無関係であることはなく、また家族関係が拡大していく毎にその新たな必要性は日々高まっていく「一生使える学問分野」である。その内容はしかしながら単なる「人間関係のコツ、ノウハウ」のような通俗本に取り上げられているものでは決してなく、実験や調査などの実証研究を土台とした定義された専門用語によってはじめて正確に描写、記述することができるような専門的な知識である。しかし、その専門的知識は深めるほどに個人の独創的・創造的な応用によって深く、鋭く日常と接続し、本人の技量にしたがって一生役立てていけるものである。そして重要なのはそれは自分ためだけではなく、他者のためにもなり、またそれは結局ひいては自分のためであることを利他行動の授業回において明確に示すであろう。</p> <p>心理学は題材として人間を俎上に載せ、またその人間のひとは他でもない自分自身であるだろうが、だからと言ってそれは学ばずして十分理解できるものでもなく、そのパースペクティブを獲得することがなければ場合によっては一生気づかずに過ごしてしまう実にもったいない知見を豊富に含んでいる。そもそも実証を重視する心理学にあっては、人と環境の相互作用はその知見の中心であるが、人は直観的に「交互作用効果」が理解できるように頭脳がしつらえられていない。これはきわめて現代的な進展であり、そうした学問の進展は生涯学び続けなければ、どんどん古びてしまうものである。政策でさえ、このことへの理解不十分のために全国一律に同じ扱いという融通の効きにくい対策がとられていることも多いし、集団教育という形が多数を占める教育方法もそうした問題をはらんでいる。</p> <p>世間で心理学や人間について誤った言説が溢れているのは人が容易に新たな知見を学習しないからであると言っていい。受講者は一生にわたってこれらの知識を現代人として更新して行ってほしい。そういう意味で本講義の目標はよりよい現代人になることであり、基本的な人間の性質というものへの感受性を高め、その捉え方についてより科学的なスタンスを自分自身に確立させることを目標とする。</p> <p>評価方法 90%テストによる。それ以外の学期途中の小課題の提出2回によって10%を評価する。</p> <p>社会心理学のモデルを専門用語によって理解し、正確に説明できるかが求められる目標である。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 『進化と感情から解き明かす社会心理学』 著者(訳者) : 北村英哉・大坪庸介 出版社 : 有斐閣</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

スポーツ・身体運動実習		開講区分	A
目標概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技術を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。		
授業計画	第1回目の授業で、種目選択を行う。場所は仮設体育館（雨天の場合は9号館掲示板を参照）。 スポーツコース（テニス、サッカー等）、フィットネスコース、サイエンスコースから選択する。その曜限に開設されている種目と説明は http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp を参照のこと。 種目選択以降は、各種目に分かれて行う。 ゴルフでは、東大検見川運動場でのラウンド実習が行われ、3回分の出席となる。		
授業の方法	所定の場所で実施する。基本的には自分の身体を動かして、実習することが第一であるが、選択種目、担当教員により様々なアプローチがなされる。雨天時等で実施場所に変更がある場合等の連絡は、教務課掲示板ではなく、9号館前の掲示板に掲示する。		
成績評価方法	1 出席 スポーツ・身体運動実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 2 達成度 各自が選択履修している授業について、学習達成度の評価を行う。 3 その他 授業中にどのような態度で参加し、そのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。		
教科書	教科書は使用しない。		
履修上の注意	種目選択後のキャンセルは認めない。併せて、1つの学期に3コマ以上登録することは認めない。 種目選択後の種目変更は、特別な事情（病気、怪我等）が無い限り認めない。		
学習上のアドバイス	1コマ1単位であり、2Sセメスター終了時までに2単位、2Aセメスターに2単位、計4単位を上限として履修することができる。盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。		
関連ホームページ	http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp		
※講義の詳細については、UTASも参照すること			

時間割コード	曜 限	担当教員	対象クラス
50160	月3	実技担当	2年 文科 理科
50345	火2	実技担当	2年 文科 理科
50650	水2	実技担当	2年 文科 理科
51100	金2	実技担当	2年 文科 理科

スポーツ・身体運動実習（メディカルケア）		開講区分	A
目標概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体管理・操作技術を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。		
授業計画	第1回目 種目選択（仮設体育館、雨天の場合は9号館掲示板を参照） 月3、火2、水2、金2のどれかのスポーツ・身体運動実習に出て、自分の選択するメディカルケアコースの登録をする。出席できない場合は、9号館1階教員控え室で登録する。 第2回目以降 各自の選択した曜限での授業		
授業の方法	各自の状況に応じて、各自に合った運動を処方して行う。 毎回目誌をつけて、自己の状況を確認する。		
成績評価方法	1 出席 この授業の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 2 達成度 各自が選択履修している授業について、学習達成度の評価を行う。 3 その他 授業中にどのような態度で参加し、どのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。		
教科書	教科書は使用しない。		
履修上の注意	初回のみスポーツ・身体運動実習の授業に参加する。次回からメディカルケアコースの曜限（月1、月5、火1、水1のいずれか）に移行し、教務登録もメディカルケアコースの曜限で行う。 体育館は土足、飲食禁止。 盗難注意。		
学習上のアドバイス	基本的には健康診断等で保健センターから指示された者が受講するが、本人の申し出によりメディカルケア担当教員の判断によって指示されれば、受講できる。また学期途中でも、メディカルケアコースに移動すること、また回復により元の授業に復帰することも可能なので、担当教員とよく相談する。		
関連ホームページ	http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp		
※講義の詳細については、UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50031	月1	スポーツ・身体運動実習（メディカルケア3）	実技担当	2年 文科 理科
50236	月5	スポーツ・身体運動実習（メディカルケア1）	実技担当	2年 文科 理科
50281	火1	スポーツ・身体運動実習（メディカルケア3）	実技担当	2年 文科 理科
50571	水1	スポーツ・身体運動実習（メディカルケア2）	実技担当	2年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51269	A	スポーツ・身体運動実習Ⅱ	吉岡 伸輔	教養学部(前期課程) スポーツ・身体運動	集中	シラバス 参照	1年 文科 理科
<p>講義題目 スキー実習</p> <p>目標概要 スキーは、代表的な冬季スポーツである。これらの種目は、雪山という特殊な自然環境のもとで、滑走のための特別な用具を用いて行われる。そのため、安全で爽快な滑走を楽しむためには、事故防止のための知識や特殊な身体操作法の獲得が必須となる。本授業では、スキー場での学外実習により、これらの知識・技能の獲得を目指す。なお、実習のための交通・宿泊・傷害保険、リフト代の費用負担が必要となる。用具を持っていない者は、用具レンタル代が別途必要となる。</p> <p>※身体運動・健康科学実習のA Semester 第1回目に受講手続きに関する説明を行う。</p> <p>評価方法 実技上達、受講態度、技術の理解、および実技実習に関するレポート</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 教養としての身体運動・健康科学 著者(訳者) : 東京大学身体運動科学研究室 出版社 : 東京大学出版会</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50572	A	身体運動科学	久保 啓太郎	教養学部(前期課程) スポーツ・身体運動	水1	K114	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 健康増進およびパフォーマンス向上のためのスポーツ科学</p> <p>目標概要 運動(トレーニング)を実践することは、現代におけるあらゆる年齢層にとって大切であることは常識になりつつある。本講義では、一般人における健康増進、競技選手におけるパフォーマンス向上のためのスポーツ科学に関する基礎的な内容から、最近の知見も交えて概説する。特に、運動(トレーニング)に伴う身体諸機能(筋機能、骨強度、呼吸循環など)の変化から、それに基づいた適切な運動処方、トレーニング方法を紹介する。</p> <p>評価方法 レポート2回(中間、学期末)を80%、平常点(出欠確認を兼ねた複数回の小レポート)を20%として、総合的に評価する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
51101	A	身体運動科学	中澤 公孝	教養学部(前期課程) スポーツ・身体運動	金2	K213	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 身体運動科学</p> <p>目標概要 授業の目標： ニューロリハビリテーションやスポーツ科学の理論基盤としての身体運動科学を学び、実用科学としての身体運動科学の意義を、臨床応用の実例を通じて理解することが目標。</p> <p>授業の概要： 脊髄損傷や脳卒中など、神経系障害のリハビリテーション理論やスポーツの基礎をなす身体運動科学についての講義を系統的に行う。</p> <p>評価方法 出席状況、小テスト、レポートを総合的に評価する。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 歩行のニューロリハビリテーション 一歩行の再獲得をめざした理論と臨床一 著者(訳者) : 中澤公孝 出版社 : 杏林書院</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50091	A	健康スポーツ医学	福井 尚志	教養学部(前期課程) スポーツ・身体運動	月2	1331	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 健康スポーツ医学</p> <p>目標概要 現代生活では身体を動かす機会が少なくなったことで健康がさまざまに障害されることが多くなった。糖尿病、高血圧、高脂血症（脂質異常症）、心臓病、脳血管障害などの生活習慣病がその代表であるが、肩こりや腰痛も多くの場合運動の不足と関連している。これらの健康障害を改善しまた予防するためにスポーツがすすめられる。一方、スポーツを一生懸命に行ったことでかえって健康を害する人もいる。過度の運動から病気になり、あるいはスポーツ中に怪我や障害を負うことも多い。スポーツ障害の原因は何か、予防のために何をすればよいか、また障害が起った場合スポーツ復帰のためにどういうことをすればよいかを考え研究するのがスポーツ医学である。本講座では駒場にいる内科、整形外科、精神科、産業医、歯科の専門家から現代人が知っておくべき健康医科学、スポーツ医学などの医学的知識および健康に関する知識を学ぶ。</p> <p>評価方法 筆記試験（講義を分担する教員がそれぞれ出題する） 教員によっては出席状況も考慮して評価する場合がある。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 教養としての身体運動・健康科学 著者（訳者）：東京大学身体運動科学研究室編 出版社 : 東京大学出版会</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50282	A	身体運動メカニクス	吉岡 伸輔	教養学部(前期課程) スポーツ・身体運動	火1	1311	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 スポーツ動作を科学する</p> <p>目標概要 身体運動メカニクスでは、身体と運動をキーワードに、特にスポーツ動作について、自然科学的な研究成果を体系的に講義する。この授業では、通常、健康であれば意識外に追いやられる「身体や運動」について再認識し、それを自然科学的観点から直視して深く考えること、そしてダイナミックなスポーツ動作の成り立ちをバイオメカニクスの観点から理解することを目的とする。</p> <p>評価方法 授業への参加態度および試験</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : スポーツ動作の科学 著者（訳者）：深代千之、川本竜史、石毛勇介、若山章信 出版社 : 東京大学出版会 ISBN : 978-4-13-052705-7 C3075</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50879	A	情報メディア伝達論	越塚 登	情報学環	木2	K113	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 情報メディア伝達論（オープンデータによる、オープンイノベーションとオープンガバメント）</p> <p>目標概要 近年、「情報」の「メディア表現」を活用した重要な取組の一つにオープンデータ（Open Data）がある。オープンデータとは、政府自治体や公的機関、教育研究機関、場合によっては民間企業等が保有する膨大な情報を、プログラムしやすい形式でオープンにすることによって、それらの機関組織の透明化や新しいビジネスやサービスの創出、また経済対策、イノベーション政策、地方創生などの目的に資する活動をいう。ここ数年、我が国のIT戦略の中核にすえられた取組でありかつ、世界的にもG8でオープンデータ憲章が採択されるなど、非常に活発に進められている。また、このオープンデータを核として、公共性の高いデータを出す政府自治体、それを使ってソリューションを提供する民間や個人が協業する、新しい官民連携の方式、またそれを行政に取り入れた新しいオープンガバメントのあり方（Government 2.0）も扱う。これは、まさに最先端の情報技術と公共政策、ビジネスモデルのクロスオーバーした領域であり、理系的知見と文系的知見がコラボレーションすることが不可欠である。</p> <p>本授業では、まずはじめに、オープンデータとは何か、また世界のオープンデータの取組、それを利用した新しい情報サービスや行政問題の解決などを、世界における実例を挙げて解説する。例えば、本講義の担当教員である越塚が実際にリードしてきた、日本政府のオープンデータカタログであるdata.go.jp、公共交通オープンデータ、東京メトロオープンデータ、横須賀市・豊島区の自治体オープンデータ、札幌観光オープンデータなどの事例を紹介する。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ data.go.jp (日本政府、内閣官房によるオープンデータカタログ) ・ www.odpt.org (公共交通オープンデータ) ・ http://sapporo.odcity.org (札幌オープンデータ) <p>次に、実際に、行政や企業の前線で活躍している外部ゲスト講師をお招きし、行政におけるリアルな課題、企業における課題、そして、実際の行政は企業が保有するデータを授業の中で公開し、その「オープンデータ」を使った課題解決について授業の中で考えていく。</p> <p>最後、講義の中で紹介された、実社会における様々な課題を、オープンデータを使っていかに解決するかを、履修者自らが考案し、課題発表や討論を行って理解を深めていく。</p> <p>評価方法 出席、レポート提出、課題発表</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
50346	A	科学技術基礎論Ⅰ	橋本 毅彦	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	火2	1212	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 技術の歴史</p> <p>目標概要 古代中世から現代に至るまでの技術とその利用についての発展の歴史を概観することによって、技術自身や技術と社会の関係について検討する。</p> <p>評価方法 授業開始後に伝える。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50237	A	科学技術基礎論Ⅱ	佐野 和美	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	月5	1214	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 科学技術と社会の間を考える</p> <p>目標概要 科学技術は、日々進歩し複雑化している。私たちの生活を便利かつ豊かにしてくれる反面、難解になりすぎて近寄り難いものだと思われがちである。科学は決して万能ではない。しかし、難しくなりすぎた科学技術は市民にとって遠い存在になってしまう。市民自らが科学技術の是非を判断するべきとされ科学リテラシーの必要性が叫ばれているが、科学技術と社会との距離が遠い状況では、なかなか理解が進まない。</p> <p>この授業では、科学技術を享受する市民の立場、そして科学技術を使う科学者・技術者の立場、双方の立場にたって科学技術のあり方を考えていく。</p> <p>テーマは、生命倫理に関わる問題、地球温暖化やゴミ処理などの環境問題、福島第一原子力発電所の事故関連の問題など身近な話題を中心に、受講者の興味と関心によって変える可能性がある。ディスカッションをしながら、自分事として考えていくことを期待する。</p> <p>評価方法 出席状況とレポート（2回予定）での評価。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50347	A	科学技術社会論	藤垣 裕子	教養学部(前期課程) 情報・図形	火2	531	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 科学技術社会論入門</p> <p>目標概要 現代社会において科学／技術の発展はめざましく、生活の隅々にまで浸透し、かつ社会およびその構成員一人一人の安全やリスクに直結する形ですすんでいる。環境、食糧、医療、災害、情報、など、さまざまな分野において、科学／技術と社会との接点の問題の調停が求められている。遺伝子組換え食品や狂牛病の危険のある牛の規制をどうするか、情報技術のグローバル化にともなう各国の法整備の問題、医療技術の発達にともなう倫理の問題など、自然科学の個別の学問領域を越えた複合領域の問題となりつつある。ところが、既成の学問は、個別の学問領域によって分割されすぎていて、このような問題群がまっすぐに扱えないでいた。気がかりではあるが、各専門領域のメインタスクからは少々ずれているために今まで体系的に扱われてこなかった領域、あるいは各分野の人々が個別に論じ、相互に枠組みを共有してこなかったがゆえにまだ見通しの悪い領域、そこに科学技術社会論の研究領域がある。これまで文系と理系双方から等閑視されてきた、膨大な境界領域の問題を扱う学問分野である。科学者の社会的責任とは何だろうか。今後の科学技術のガバナンスはどうあるべきか。専門家と市民の科学コミュニケーションはどうあるべきか。さまざまな事例をもとに考えてみよう。将来の自らの研究成果の社会への影響に関心のある理系の学生、そして自然科学の個別の学問領域を越えて、外交や国際関係、法律そして社会制度の関する複合領域の問題（科学技術のガバナンス）に関心のある文系の学生、双方に開かれている。</p> <p>評価方法 レポート</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 科学技術社会論の技法 著者(訳者) : 藤垣裕子編 出版社 : 東京大学出版会 ISBN : 4-13-003204-6</p> <p>ガイダンス 第一回授業日を行う。</p>							
51309	A	現代工学概論	六川 修一	工学部	木5	532	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 工学概論</p> <p>目標概要 工学とは、科学技術を用いて経済的・社会的価値を生み出すための学問である。対象は宇宙、地球、地域、都市、社会、産業、製品、生活から生命、分子、原子まで、多岐にわたる。生み出される価値も、地球環境の保全、経済発展、利便性、快適性、安全安心から心の豊かさまで、幅が広い。さらに2011年3月11日の東日本大震災に直面し、工学にはまだまだ研究を進め解決すべき課題が山積しており、技術と社会との関わりを一層密にしなければならないことが再認識されている。工学がさまざまな価値を生み出すためのアプローチには、目標や問題を特定し、目標達成、問題解決の手段を設計するというニーズ立脚型アプローチと、目標達成、問題解決に活かされる技術を開発するというシーズ指向型アプローチが存在する。本講義では、工学に関わる複数の課題に関する各2回程度の講義を通じて、工学の全体像を把握するとともに、工学の基底をなす基本的な方法論を理解することを目的とする。</p> <p>評価方法 6つのサブテーマに関してそれぞれ課題として与えるレポートと出席により総合的に評価する。 目安は出席60%、レポート内容40%。 (但し、レポート提出がゼロの学生には、出席回数に関係なく単位を付与しない) ・レポートは各教員が指示したメールアドレス宛に送付。 ・締め切り：2回目講義の1週間後。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日を行う。</p>							
51316	A	現代工学基礎 I	泉 聡志	工学部	月5	K011	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 四力学とデザイン入門～ワークショップで学ぶ機械のデザイン</p> <p>目標概要 機械工学科で伝統的に教えられてきた四力学（ヨソリキガク）は、機械力学、材料力学、熱工学、流体力学からなり、自動車、鉄道、航空機、ガスタービン、スマートフォン、医療器械など、あらゆるものの設計に必須の知識となっている。さまざまな機械を生み出すためのいわゆるエンジニアリングには、デザインの思考と発想力が不可欠である。そしてその発想をかたちあるものにする設計の技術、これを実際にかたちづくる生産加工技術、この2つの連携が我々の生活を豊かにする様々な機械を生み出す。</p> <p>講義パートでは、主に四力学の講義を行い、力学のエッセンス・面白さを学んでもらう。また、生産加工の講義として、材料の造り方、それを必要な形に仕上げる加工技術を分かりやすく紹介する。</p> <p>ワークショップパートでは、発想をデザインする方法を学びながら実践する。</p> <p>評価方法 出席及びレポートによる</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日を行う。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51304	A	現代工学基礎Ⅰ	近藤 正章	工学部	水5	162	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 物理情報システム工学-あらゆる工学を計測・制御・システムで斬る-</p> <p>目標概要 物理的, 人工的, 社会的, どんな対象であれ, そこに望みの機能を工学的に実現する際, 1) 対象で生じる物理現象のモデリングと解析, 2) 計測による物理現象の本質の情報化, 3) 情報処理と制御による所望の機能の最適な実現 4) 情報の認識とシステムインテグレーションによる実世界への働きかけ, が重要となる. 本講義は, 駒場生にこの工学的的方法論のエッセンスを講義することを目的とする. 具体的には, 以下の各項目に関し, 最先端の事例を交えつつ講義する.</p> <p>1)物理現象の数理モデリング 未だ科学技術の土俵にあがったことがない社会的課題が生じたとき, まずその対象の中で生じている物理現象を数式で表現し, 問題として定式化することが重要となる. これを数理モデリングという. 本講義では, 音声・生物・ロボット・環境など動きや空間的变化をもつシステムを例に数理モデリングの基礎を説明する.</p> <p>2)信号処理の基礎: 情報理解と実世界インテリジェントシステムへの応用 信号処理とは, 生物・社会・経済・ロボットや自動車など動きや空間的な変化をもつシステムから計測された様々な信号を数学的に加工し, 望みの情報を取り出すことや機能を実現させるための科学技術である. 本講義では, 音声信号など揺らぎのあるデータの扱い・統計的モデリングを例にとり, システムモデリングに基づく情報理解(認識・識別・判定)の基礎と実世界制御について説明する. また, 人間の音声情報処理を例にとり音源分離や音声認識やバーチャル・リアリティへの応用について説明する.</p> <p>3)制御の基礎: 横断的制御理論とロボット制御への応用 対象を望み通り操るために理論的に体系化された制御理論は, 機械, 情報通信, 金融, 生物などへ応用可能な横断的技術である. 本講義では, 制御理論として一般的な古典制御・現代制御について概説する. 続いてロボットを例として, 制御に必要な機構や力学といったモデル化, 対象を計測するセンサと状態フィードバック, およびロボットが環境とインタラクションする際に重要な位置制御と力制御について説明する.</p> <p>4)情報の認識と計算システムの基礎: 人工知能技術とそれを可能にする高性能計算技術 数理モデリング, 計測工学, 信号処理などを全て統合して計算システム上で情報を認識し, その結果をもとに実世界(生物・経済・社会・経済・ロボットなど)へフィードバックすることで, 実世界で機能する知的システムの実現が可能になる. 本講義では, 情報の認識を担う技術として近年急速に発展している深層学習技術の基礎とその応用例, そしてこれを実現させる高性能計算システムについて説明する.</p> <p>評価方法 計測, 信号処理, 計算システム, システムインテグレーションに関するレポート課題3つで評価する.</p> <p>教科書 教科書は使用しない.</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
51301	A	現代工学基礎Ⅱ	小寺 正明	工学部	木5	E25	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 化学情報とシミュレーション</p> <p>目標概要 社会問題を化学の力で解決に導くための基本的なシミュレーション技術や情報処理技術を、Microsoft Excel を利用した演習を通して学ぶ。将来、プログラミング言語Pythonなどを使って高度情報処理・AI技術を実践をするための基礎をつくる。</p> <p>評価方法 出席、および、演習結果とレポート。</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51305	A	現代工学基礎Ⅱ	岩佐 義宏	工学部	木5	112	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 物理をエンジニアリング</p> <p>目標概要 物理学とエンジニアリングは互いに切っても切れない関係で発展して来ましたが、産業革命に刺激されて発展した熱力学、電磁気学の方程式から生まれた電信技術、ドイツ鉄鋼業から生まれた量子力学、など歴史を繙くとその例には事欠きません。そして現代、その関係はどのようになっているのでしょうか？この講義では、身近だけれども不思議な現象を実際にお見せするところから始めて、その謎解きとその奥にひそむ物理を解説し、さらに現代科学技術との関係までのストーリーを下記の4つのテーマについてそれぞれ「読み切り」で示します。そして、物理がエンジニアリングに「応用される」というだけの関係ではなく、エンジニアリング自体が物理学を変革してゆく様子を皆さんにお伝えします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 超伝導 - 量子的世界からエネルギー革命へ 2. ナノサイエンス - オングストロームの世界を操る 3. 光の物理学 - 光と原子の物理学—レーザーで原子を冷やす 4. 理論物理学の挑戦 - 基礎方程式の力 <p>評価方法 成績評価は出席とレポートで行う。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
60232	A 2	現代工学基礎Ⅱ	梅田 靖	工学部	火2, 金2	K402	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 デザイン思考によるイノベーション入門</p> <p>目標概要 イノベーションを引き起こすためには、技術的、もしくは、非技術的な新しい発想が不可欠である。ただやみくもに考えても新しい発想が出てくる訳ではなく、そこには適切な思考方法がある。本講義では、イノベーションを引き起こすことが可能な人材になるために、広い意味での工学設計の分野で注目を集めている4つの思考法（本講義では、「イノベーションのための4つの道具」と呼ぶ）を学ぶ。四つの道具とは、デザイン思考、サービス設計、体系的設計方法論、および、ロジカル思考である。この4つの道具は、2つの座標軸によって分類できる。第一の軸は、より論理的、体系性を重んじる「論理的思考」と、より思考の柔軟性、発想の豊かさを重んじる「デザイン思考」である。第二の軸は、対象を、ものを中心に考える「実物指向」と、ものだけでなくサービスを含めて考える「サービス指向」である。</p> <p>本講義のメッセージは、この4つの道具を学ぶことにより、各道具を比較し、各道具の特徴と限界を知ることができ、結果としてこの4つの道具をバランス良く使い分けることで様々な新しい発想を生み出すことが可能になる、ということである。</p> <p>手法は、チームによる演習を通して実践的に学習し、最終回で与えられた課題に対してイノベティブな提案を行うプレゼンテーションを行う。</p> <p>演習課題は、2015年度は、「一人暮らしの大学生の健康を増進する製品/サービス」、2016年度は、「自分たちの欲しい学内ファシリティ」、2017年度は、「超スマート社会における精神的well-beingを実現するための製品やサービスの提案」であった。今年は何が出てくるか？</p> <p>評価方法 出席、演習課題、レポート、プレゼンテーション、演習への積極性を総合して評価する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51306	A	社会システム工学基礎Ⅱ	羽藤 英二 柴崎 隆一	工学部	水5	1311	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 人間社会と交通システム</p> <p>目標概要 交通システムは、現在の経済・生活・社会において、なくてはならないものである。また、近年の増え続ける地震などの災害や度重なる事故のことを考えると、交通システムと社会のあり方は新しいステージへと向かう必要がある。本講義は、道路交通、鉄道、航空など様々な交通システムと人間・地域社会との様々な関わりやそうした交通システムを支える様々な技術について、社会基盤学、都市工学、機械工学、電気工学をはじめとする「交通」の専門家が、歴史、人、環境、インフラ、車両、動力、制御などといった切り口から、最新の技術的展望や現代の交通政策的課題を含めて包括的に講義する。</p> <p>評価方法 1)課題内容：全4回のレポートの合計によって評価します(各25点)。各講義で出されるレポート課題に対して、前期(第1回-第7回)から2課題、後期(第8回-第13回)から2課題を選んで、レポートを提出してください。4回提出された場合のみ、成績評価の対象となりますので、注意してください。</p> <p>2)提出方法：レポートは、原則として前期は11/21講義開始時、後期は1/23 16:50までにITC-LMS上または教務課レポートボックスに提出するものとします。</p> <p>3)レポートの体裁：表紙は不要。1課題ずつ別ファイルとして提出のこと。紙で提出する場合は、左上を必ずホチキスで綴じること。レポート冒頭に対象とした講義名及び担当教員名、及び学籍番号・氏名・科類を明記すること。以上の体裁を満たしていないレポートは採点できないことがありますので、充分注意してください。念のため、レポートの控え(コピー)を必ず取っておくこと。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
51300	A	社会システム工学基礎Ⅱ	小泉 秀樹	工学部	木5	531	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 TOKYO: 東京の都市計画</p> <p>目標概要 さまざまな人々を惹きつけてやまない世界一の大都市TOKYO それは、どのように発展し、制御されてきたのか、そしてどこに向かおうとしているのか?本講義では、TOKYO/東京を題材として、都市の発展とその制御について、歴史、文化、環境、経済、社会制度、計画・デザイン手法など総合的・包括的観点から講義を行い、都市の諸問題について自問し、またその将来を構想することにむけて必要となる学術的パースペクティブを獲得することを目的として実施する。</p> <p>評価方法 出席点およびレポート</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行く。</p>							
51298	A	総合工学基礎Ⅱ	上坂 充	工学部	水5	158	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 核科学応用概論</p> <p>目標概要 現代科学技術を構築する基礎のひとつに、原子核や放射線や光の科学がある。ここでは放射線、医療、核融合、原子核・素粒子・放射線やレーザーを用いた技術から、これらを応用したシステムである原子力安全、エネルギー政策、レジリエンス、核融合、医療装置について概説する。</p> <p>評価方法 出席数とレポートの採点により評価する</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
51302	A	総合工学基礎Ⅱ	寺本 進	工学部	金5	511	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 航空宇宙工学 —社会を豊かにする総合工学—</p> <p>目標概要 “重力”に逆らって空を飛ぶ飛行機や宇宙機には無駄のない極限的な設計が求められます。そこには、流体、構造・材料、飛行・制御、推進などの様々な工学分野のバランスの取れた“統合”が要求されます。ライト兄弟が1903年に、初の動力飛行を成功させた鍵も大空への熱意と各分野の統合にありました。ライト兄弟の精神を受け継ぎ、宇宙まで飛行できる“再利用型スペースプレーン”や“小型衛星”、“惑星探査機”、“超安全航空機”、“高信頼性ロケット”など、人類のさらなる希望をかなえる航空機・宇宙機の研究に取り組んでいます。</p> <p>この「バランスよく統合された最先端技術」は、皆さんの社会・暮らしを直接間接に豊かにしています。この講義では、航空宇宙工学科で行われている研究と社会の関わりについて、理解を深めてもらうことを目的とします。</p> <p>評価方法 出席および期末レポート</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51317	A	生体医工学基礎Ⅱ	神保 泰彦	工学部	木5	1221	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 生体医工学の世界－工学から見た生体物理現象と医療応用技術－</p> <p>目標概要 周囲の環境に適応しながら生命を維持し、伝えていくのが生体現象の本質であり、その過程で生じた障害への対処が医療診断・治療です。最先端の医療では、工学技術が重要な役割を果たしています。本講義では、生体現象を情報、物質、エネルギーの流れの視点から説明し、工学技術に基づく医療診断・治療の研究開発動向と今後の可能性について議論します。</p> <p>評価方法 レポートで評価します（講義出席状況も考慮します）。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
51315	A	環境・エネルギー工学概論	村上 進亮	工学部	火2	109	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 環境・エネルギー工学概論／Introduction to Environmental and Energy Engineering</p> <p>目標概要 本講義は工学部全体として、環境・エネルギー問題を概観した上で、工学的なアプローチの理解を進めることを目的としている。内容は大きく3つのパートに分かれており、それぞれの取りまとめ担当の教員が講義を行う。よって、受講者には以下を目標とされたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在良く議論されている環境・エネルギー問題の概観を理解すること ・それぞれの問題の特徴を技術的、社会システムの双方の視点から理解すること ・技術、社会それぞれどのようなアプローチでその解決に当たっているのかを理解すること ・これらを理解した上でどのような課題が残されており、そのために何をすべきかを考えること <p>評価方法 レポート（3課題、各A4で2から3枚程度を予定）＋出席点による。 出席回数が多いに少ない場合は合計点の如何に関わらず単位を認めない場合がある。 詳しくは第1回目の講義でのオリエンテーションで説明する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
51299	A	環境・エネルギー工学基礎Ⅱ	松島 潤	工学部	月5	513	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 エネルギー資源論</p> <p>目標概要 本講義では、地球科学・工学、エネルギー化学・科学、資源経済・政策学の基礎学理を概観し、地球システムの理解、エネルギー資源の開発・変換・有効利用、環境の保全、エネルギー資源の安定供給といった一連の方法論を概説する。エネルギー資源を取り巻く多様な分野を多角的に概観することにより、エネルギー資源の本質を理解することを助け、複雑性を呈するエネルギー資源に係る困難な問題にどのように対処すべきかについてともに考える。</p> <p>評価方法 出席状況とレポートにて成績評価する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51314	A	環境・エネルギー工学基礎Ⅱ	多部田 茂	工学部	月5	K301	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 海と社会概論</p> <p>目標概要 人類は地球に負担をかけながら生活している。現在、世界の人口は約70億人だが、もしこの人々が日本人と同じ水準の生活をする、地球が2.5個も必要になる。有限な地球に負担をかけず、持続可能な社会を実現するためには、地球の面積の7割を占める海洋を賢く利用して行くことが必要不可欠である。これまで海洋は科学的な探査を主体とする調査の時代であったが、これからは、海洋のメカニズムを熟知した上での統制のとれた海洋利用を実現してゆくことが、カギとなる。</p> <p>例えば、海洋には未だに利用されていない資源が相当量残されており、循環型社会に適したエネルギー資源の供給源となる可能性を有している。また我が国のEEZ(排他的経済水域)内には、黒潮と親潮の合流による好漁場、深層水、メタンハイドレート、鉱物資源等が存在しており、海洋資源の潜在的ポテンシャルは非常に高い。これらを利用することにより、我が国の脆弱な食料、資源・エネルギー基盤の強化や新産業の創出が期待されるとともに、海底空間の利用によってCO2の海底下地層への隔離等の環境問題の課題解決に資する可能性をも秘めている。</p> <p>この講義では、食料・資源・エネルギーの安定確保と地球環境問題解決のための海洋利用技術について包括的に学び、その方向性を論じる。</p> <p>評価方法 出席点(初回は除く) 40% 課題のプレゼンテーションおよびレポート 60%</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
51533	A	看護学概論Ⅱ	武村 雪絵 國江 慶子	医学部	木5	159	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 看護学概論Ⅱ－社会で活躍する看護プロフェッショナル－</p> <p>目標概要 高度に医療技術が発展してきた現代社会では、疾患を抱えたまま生活する者は多くなり、また、従来の医学モデルでは解決できない、健康への様々なニーズが顕在化してきている。特に少子高齢化が高度に進んだ日本においては、この社会を看護学モデルとして扱い、新たな対処方法を構築することへの社会的期待が高まっている。つまり、生きることを支える学問である看護学は、あらゆる年代の個人から集団、地域社会を対象に、健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛緩和等について、生涯を通して支援することが出来る。</p> <p>本講義では、保健・医療・福祉の分野における臨床実践や研究、政策活動に至るまで、社会で広く活躍している看護のプロフェッショナルから実際の活動についてご講義いただき、少子高齢社会において看護学が担う役割と今後の看護学の発展について議論する。</p> <p>評価方法 出席及び毎回の小レポート</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
60236	A 2	環境と生物資源	木南 章	農学部	木5	154	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 農業フィールドワーク論</p> <p>目標概要 農業および農村におけるフィールドワークについて理解を深める</p> <p>評価方法 出席とレポート</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
60235	A 2	食糧と環境	根本 圭介	農学部	月1	K211	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 農業生産学概論</p> <p>目標概要 人口爆発に伴う食糧需要、農業を取り巻く環境の悪化と自然資本の枯渇、穀物を巡る食糧需要とエネルギー需要の競合、経済のグローバル化に伴って深刻化する世界農業の構造的な問題など、今日の農業は、かつてなかったほど多くの問題を抱えている。本講義では農業の生態学的な原理を踏まえつつ、世界の農業システムはいかなる座標軸の上で多様化してきたか、そこで展開してきた技術発展の必然性とは何か、フードサプライチェーンの発達を農業をどのように変えてきたか、今日の農業が将来の世界人口を扶養できるか、といった問題を論じた上で、あらためてアジア稲作の持つ意味を考えてみたい。</p> <p>評価方法 ・小課題(授業中に毎回実施する)と出席点により、総合的に評価する。原則として、出席回数が半分に達しない場合には単位は与えない。 ・定期試験は行わない。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51328	A	放射線環境科学	田野井 慶太郎	農学部	水5	1214	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 福島第一原発事故に起因した農業環境における放射能汚染の実状および調査研究により得られた知見を学ぶ</p> <p>目標概要 2011年3月の東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故では多くの放射性物質が環境中に放出されました。放射性物質が降下した場の多くは農林水畜産業の場であり、事故直後から農学者により多くの調査研究がなされました。本講義では、食の安全と農業環境に焦点を当て、農業の場における放射能汚染の実態とその対策のための試験研究で得られた知見を学びます。同時に放射線や放射性物質の基礎も講義します。受講者は、本講義を通じて、農業環境における放射能汚染の実態把握と放射能汚染からみた食の安全確保への取り組みを理解することが期待されています。さらに、当該事故と同世代を生き、今後世界を舞台に活躍が期待される受講者諸君にとって、本講義が、当該事故を体験とともに語れる人材となる最初のステップとなることを期待します。</p> <p>評価方法 試験により評価します。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 土壌汚染—フクシマの放射性物質のゆくえ 著者(訳者) : 中西友子 出版社 : NHKブックス ISBN : ISBN-10: 4140912081、ISBN-13: 978-4140912089</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
51325	A 1	住環境の科学	稲山 正弘	農学部	木5	153	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 人と木と木造建築</p> <p>目標概要 地球温暖化などの環境問題に対し、木材の適切な利用を核とした資源循環型社会への移行が世界的に求められています。本講義では、森林資源から木造建築に至るまでの様々な観点で「人と木と木造建築」について学んでいきます。すなわち、木材の微細構造から基礎的物性などに関する基礎知識や、未利用資源あるいはリサイクル利用に関する社会科学的な分野の基礎知識等を学び、木材を有効活用してつくられる製材・木質材料(集成材・合板・繊維板等)の特徴や、木造住宅に至るまでの生産・流通などについて学び、木造建築の設計に必要な基礎知識や様々な木造建築の事例、および居住空間等木材を使用した環境のアメニティ等について学習します。</p> <p>評価方法 レポートで評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
51322	A	教育心理学の世界	岡田 猛	教育学部	木5	1311	1年 文科 理科
<p>講義題目 教育心理学の世界</p> <p>目標概要 教育心理学は、心理学の手法を用いて、教育の科学的基礎を実証的に探究し、また、その知見の教育や生活場面への応用まで考える学問である。このため、教授・学習、発達、臨床、認知科学、情報科学など、人間理解にかかわる多岐にわたる内容を扱う。この授業では、教育心理学において具体的にどのような研究が行われているのかや、どのような実践が行われているのかを知ってもらうために、これまで行われてきた重要な研究から近年の新たな知見まで幅広く紹介する。各回の授業は、本学の教育心理学コースの教員や教育心理学にかかわる若手研究者が行う。これらを通じて、教育心理学とはどのような学問であるのかを知ることが主たる目的である。さらに、心理学の手法と知見にもとづき、広い分野での応用・実践に取り組む研究者、心理技術者の養成の基礎となる、人間に関する心理学的理解や、心理学の基本的な研究手法を知ることにも目的としている。</p> <p>評価方法 最終回に、理解度を確認するテストを実施して評価を行う。テストは、本授業で扱った複数の領域から出題される。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

振動・波動論	開講区分	A		
<p>目標概要 音や光は我々が生存してゆく上で決定的に重要な情報を担い、音楽、美しい景色、絵画、写真と生活に喜びを与えてくれる。</p> <p>音と光は共に波動現象の典型例であるが、我々の知的興味を引き付ける振動・波動現象は身近なところに数多く存在する。</p> <p>たとえば、ブランコはどうして漕げるのだろうかとか、海の波はどうして波打ち際で砕けるのだろうかなど。</p> <p>また、建造物や製品の設計においても、振動・波動の影響は欠かせない。</p> <p>このように我々の日常と密接に関わっている振動・波動現象を、物理学の基本法則により根本的に理解することがこの講義の目的である。</p> <p>その内容は古典的な場の理論の初歩を含み、引き続き量子力学、場の量子論を学ぶ者にとっては必須なものでもある。</p> <p>主な項目は以下の通りであるが、実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に*印のついた項目は省略される場合がある。</p> <p>1. 序論</p> <p>2. 1自由度系の振動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単振動 ・減衰振動 ・強制振動、共鳴、Q値 *パラメーター励振 *簡単な非線形振動 <p>3. 連成振動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2自由度系 ・基準振動、うなり ・N自由度系 <p>4. 1次元の波動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弦、弾性体、気柱 ・縦波と横波 ・波動方程式 ・反射と透過 *波のエネルギー *インピーダンス <p>5. フーリエ級数、変換の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考え方、基本事項、線形性 ・波束 ・位相速度と群速度 *不確定性関係 <p>*6. 2, 3次元の波</p> <ul style="list-style-type: none"> *波動方程式 *平面波 *球面波 *水の表面波 *反射と屈折 *干渉、回折 <p>成績評価方法 定期試験、レポート。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>※講義の詳細については、UTASも参照すること</p>				
時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50348	火2	鈴木 康夫	533	1年 文科 理科 2年 文科 理科
50349	火2	大川 祐司	1311	1年 文科 理科 2年 文科 理科
50796	水5	澤井 哲	523	1年 文科 理科 2年 文科 理科
50813	木1	堀田 知佐	523	1年 文科 理科 2年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50238	A	解析力学	加藤 光裕	教養学部(前期課程) 物理	月5	532	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 解析力学</p> <p>目標概要 解析力学は、ニュートンに始まる古典力学の最も一般的で洗練された理論形式であり、これによって保存量と対称性の関係や可積分性等の力学の構造を見通し良く理解することができるようになる。また、量子力学や統計力学を構築する上で不可欠な基礎を与えるものでもあり、現代物理学を理解する上で重要な役割を果たす。本講義では、理系1年で学ぶ力学の基礎知識をもとにして、その発展としての解析力学の理論形式や諸概念をじっくりと学ぶことを目標とする。</p> <p>評価方法 主に試験による。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50814	A	相対論	菊川 芳夫	教養学部(前期課程) 物理	木1	521	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 相対性理論</p> <p>目標概要 特殊および一般相対性理論の基礎を、歴史的背景及び実験的検証を踏まえて解説する。相対性の概念、光の伝播の問題、ローレンツ変換とその物理的意味、時空の概念等を詳しく論じた後、テンソルを用いた共変的記述、相対論的運動学とその応用、マックスウェル方程式の相対論的構造について述べる。さらに、一般相対性理論を概説し、重力波観測の意義を議論する。 ニュートン力学および微積分の基礎知識を前提とする。またマックスウェル電磁気学の基礎知識を講義の終盤までに学習しておくことが望ましい。</p> <p>評価方法 試験およびレポート</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
51232	A	量子論	菊川 芳夫	教養学部(前期課程) 物理	金5	521	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 量子力学入門</p> <p>目標概要 量子力学における基本的な概念と理論の枠組みを、基礎的な物理系の学習を通して体験する。また、発展的な例を通して、量子論が現代物理学の中でどのように展開しているか概観する。これによって量子論の概要を正しく把握し、今後の学習の基礎付けとすることをめざす。</p> <p>評価方法 定期試験とレポート。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
50032	A	統計物理学	福島 孝治	教養学部(前期課程) 物理	月1	521	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 統計物理学</p> <p>目標概要 多数の気体分子を考えたとき、初期条件としての位置と運動量のようなミクロな状態とその時間発展規則としての運動方程式が与えられると、少なくとも古典力学の意味で、ミクロな状態の時々刻々の移り変わりは予言することはできるであろう。しかしながら、その気体分子の数がアボガドロ数のように非常に大きな数の場合に、運動方程式を解くことで有益な情報は得られるとは限らない。一方で、熱力学は、温度や圧力のように驚くほど少数の変数でマクロな世界の性質を記述することに成功している。このミクロな状態からマクロな熱力学的性質を議論する理論体系を与えているのが統計力学である。講義では、統計力学の基本的な考え方や概念を古典平衡統計力学の範囲で説明し、いくつかの適用例題(気体のボイル・シャルルの法則、強磁性の相転移現象、等)を解説する。</p> <p>評価方法 定期試験と数回のレポートによる総合評価 中村メソッドによるレポート点検も評価対象</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51102	A	現代物理学	押川 正毅	教養学部(前期課程) 物理	金2	532	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 トポロジーと物理</p> <p>目標概要 物理学において数学が重要な役割を果たすことは言うまでもないが、近年、トポロジー（位相幾何学）に基づく物理学が大きく発展している。トポロジーは、空間の連続変形のもとで不変な性質を扱う数学の一分野である。たとえば、平行な2つの平面をつなぐ円柱と輪ゴムがあるとき、輪ゴムが円柱を「巻いて」いれば輪ゴムの連続変形で円柱から外すことはできない。このとき、輪ゴムと円柱の「巻きつき数」と呼ばれる整数を定義することができ、これは連続変形によって不変な「トポロジカル量子数」になっている。</p> <p>物理への応用として、トポロジーに基づいた結晶中の欠陥の安定性の解析や分類は1970年代までになされている。さらにその後、2次元電子系におけるホール伝導度が高精度で量子化される量子ホール効果の発見と理論的研究は、トポロジーに基づく量子物性物理学の発展を導いた。最近ではトポロジカル絶縁体の発見によって、物質科学においてもトポロジーの重要性が高まっている。このような発展の基礎となった理論的業績に対して、2016年度のノーベル物理学賞が授与されている。また、素粒子論においてもトポロジーに基づく場の量子論の理解が大きく進展したが、これはトポロジカルな量子物性物理学とも密接に関連している。</p> <p>トポロジーに基づく量子物理学の進展は、古典物理にも新たな視点をもたらしている。たとえば、トポロジカル絶縁体と類似した性質を持つ、ばねや振り子からなる力学系がデザインされ実際に製作されている。また、古くから知られている地球規模の自然現象である赤道ケルビン波の安定性は、量子ホール状態やトポロジカル絶縁体にあらわれる端状態の安定性と同様に、トポロジカルな機構によって保証されることが指摘された。</p> <p>本講義では、これらトポロジーに基づく物理学の基礎と、いくつかの興味深いトピックを紹介する。</p> <p>「現代物理学」は昨年度に引き続き押川が担当するが、昨年度の講義と内容は全く異なる。</p> <p>評価方法 レポート提出による。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50350	A	物理学Ⅱ (文科学)	清水 明	教養学部(前期課程) 物理	火2	1322	1年 文科 2年 文科
<p>講義題目 時間と空間と物理学</p> <p>目標概要 物理学の発展は、我々の、時間や空間に対する理解や見方までも変えてゆく。そのことを、アインシュタインの1905年の特殊相対性理論による大革命を例にとって解説し、その壮大な風景を垣間見てもらうことが本講義の目的である。</p> <p>物理の考察の対象は広大だが、もっとも簡単な対象は、たった1個の粒子である。この講義では、その1個の粒子の運動を考えるだけでも、すでに、時間や空間に関する根本的な考察が必要になることを示すことから始める。</p> <p>そして、時間に関して、「時間は万物にとって等しく流れる」というきわめてもっともらしい仮定をおき、それに加えていくつかの「さらにもっともらしい仮定」もおく。それらの仮定の下に、既知の実験結果を参照しながら、論理を積み重ね、様々な論理的帰結を導く。こうして、アインシュタイン以前の理論である、ニュートン力学に到達する。</p> <p>一方で、少し観点を変えて、「はたして、影響や情報が遠方に伝わる速度に上限があるのだろうか？」という問いを発してみる。ニュートン力学を正しいと認めると、上限がないことが結論できる。しかし、「上限がある」というのもまた、「きわめてもっともらしい仮定」ではないか？</p> <p>そこで、「影響や情報が遠方に伝わる速度には、上限がある」という仮定を出発点に据えてみる。それに加えて、ニュートン力学を導いたときと同様の、「さらにもっともらしい仮定」もおく。それらの仮定の下に、論理を積み重ね、様々な論理的帰結を導く。すると、ニュートン力学の根本的な仮定であった、「時間は万物にとって等しく流れる」という「きわめてもっともらしい仮定」が否定されてしまう！</p> <p>こうなると、どちらの理論が正しいかは、実験で判断するしかない。全ての実験結果は、相対性理論を支持した。その結果、「時間は万物にとって等しく流れる」という、人類が、おそらく地球上に現れてから1905年になるまでの数百万年の間ずっと信じていたであろう常識が否定されてしまったのだ。その常識が正しいように見えていたのは、測定精度が低い、または、測定対象が限定されていたために過ぎなかったのだ。</p> <p>以上のような壮大な知的冒険は、単なる「お話」レベルの講義では、味わうことは不可能である。そこで、物理学を理解するのに（現在知られている中で）最良の言語である数学を使いながら、できるだけきちんと教える。もちろん、必要な数学の知識はその場で全て教えるが、論理を何段も積み重ねて結論に達するので、真剣に学ばないと全く何も理解できないだろう。しかし、真摯に学べば、最後には、壮大な風景を垣間見てもらうことができると思う。</p> <p>評価方法 定期試験</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行く。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51103	A	化学平衡と反応速度	若杉 桂輔	教養学部(前期課程) 化学	金2	522	1年 文科 理科
<p>講義題目 化学平衡と反応速度 目標概要 「化学平衡と反応速度」は、あらゆる物質が関わる化学反応を理解するうえで必須の学問である。本講義では、Sセメスターに学んだ化学熱力学の基礎を踏まえ、「どのような場合に化学反応が自発的に起こるのか」「どれ位の速度で生成物ができるか」などについて基礎的事項を学習する。 評価方法 定期試験による。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。</p>							
51233	A	化学平衡と反応速度	豊田 太郎	教養学部(前期課程) 化学	金5	1214	1年 文科 理科
<p>講義題目 化学平衡と反応速度 目標概要 自然現象、特に生命現象、を原子や分子の視点から理解するとき、化学平衡という自然のなりゆきと、そこへ至るまでの反応過程を反応速度によってとらえることが重要である。本講義ではこれらの視点を、適宜演習を通じて理解する。 評価方法 演習課題と学期末レポート。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。</p>							
51104	A	分子システムの化学	豊田 太郎	教養学部(総合文化) 統合自然科学科	金2	1212	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 分子が協同的に形成する形・機能・ダイナミクス 目標概要 身近にあふれる物質の様々な現象の解明、さらには最先端の高機能性材料の開発や新たな生命現象の発見は、分子の性質や反応、そして分子間の相互作用を理解し、「分子が組み合わされたシステム」という観点に立つところから始まる。これまでの講義では、原子・分子や化学反応をただ暗記していただけではなかっただろうか。もしくは、分子の形状や反応の仕組みを、物理の観点に立って理解することが、最先端の化学ということに終始していたかもしれない。否、化学本来の持ち味は「物質の多様性の理解」、「物質の設計と開発」である。本講義では、そのサイエンスの最先端を駒場の化学系教員が紹介する。基礎から体系立てて化学の最先端を解説する本講義を受講することで、分子や物質の多様性、分子システムという考え方を習得していただきたい。 評価方法 各回での復習問題（12回）の解答を総合して評価する。研究室見学会での小課題も成績評価に含まれる。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。</p>							
51307	A	物質・生命工学概論	阿部 英司	工学部	金5	513	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 物質・生命工学概論 目標概要 本講義は、工学部が提供する工学概論4講義の一つである。 物質・材料の探究と開発は、新たな物理現象の発見につながる基礎科学として重要であるのに加え、生命工学を通じた医療分野の技術革新から環境・資源問題の解決に至るまで、幅広い分野での産業創出や新たな社会価値の創造を支える工学の基盤となっている。 本講義では、ナノサイエンス・ナノテクノロジーをベースにした物質・材料の基礎と最先端研究を紹介し、エネルギーや環境、情報通信、バイオ、医療などへの応用について理解を深めることを目的とする。 評価方法 出席およびレポート。 第2回～第13回の講義に関連して出題される課題（全6課題）のうち、3つを選択してレポートを提出。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51313	A	物質・生命工学基礎Ⅱ	長汐 晃輔	工学部	月1	158	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 ナノ・機能マテリアル入門</p> <p>目標概要 「古典的・量子力学的波動の振る舞いについて理解したうえで、ナノテクノロジーとその機能マテリアルへの応用について学ぶ」ことがこの講義の目標である。本学教養学部では基礎科学の普遍性を強調したアカデミックなアプローチで講義が行われることが多く、専門の決まっていない学生に対する講義としてはある種正しい、しかしながら、厳密性を重視した数学による表現が多用されると、高校までに学習した物理や化学の知識との間に大きなギャップを感じることも多いのではないかと思う。間違えて捉えてはいけないのは、数学的難しさと物理的な難しさは違うという点である。この講義では、固体中の電子の挙動を表すシュレーディンガー方程式から得られる波動関数に対する物理的意味を正しく理解し、どのように我々の身の回りのテクノロジーに結実しているのかをわかりやすく解説する。</p> <p>評価方法 出席及びレポートによって評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
51312	A	物質・生命工学基礎Ⅱ	馬渡 和真	工学部	金2	106	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 量子計測化学序論Ⅱ</p> <p>-分子・錯体・固体の化学を量子化学で理解する（物性化学への橋渡し）- /Quantum chemistry for measurement II</p> <p>-understanding molecules, complexes, and solids by quantum chemistry</p> <p>目標概要 化学では分子から固体まで幅広い物質を取り扱う。これら分子、錯体、固体の基本的な性質（分子の形、結合の手、電気伝導性など）についてはすでに高校で学んではいるが、そのメカニズムについては量子化学ではじめて理解ができる。そこで、本講義では、分子、錯体、固体という化学で取り扱う物質の基本的な性質を量子化学により理解することで、暗記する化学から理解する化学へ移行することを目指す。</p> <p>In chemistry, you will use many materials from molecules to solids. Basic characteristics of molecules, complexes, and solids were taught in high school, while the mechanisms can be understood through quantum chemistry. In this lecture, you learn the mechanisms by quantum chemistry and become to understand chemistry.</p> <p>評価方法 出席とレポート</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50239	A	進化学	青木 誠志郎	教養学部(前期課程) 生物	月5	1322	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 進化学</p> <p>目標概要 生物/生命に見受けられる謎を進化の観点から見つめ、現代生物学において活発に研究がなされている様々な現象、例えばゲノムと形質の多様性はなぜ生まれるのか、集団が協力するためには何が必要か、生命の条件とは何か、生態系の持続には何が必要か、有性生殖はいつ起源しなぜ維持されているのかなどの不思議について、科学的興味をもつことを目標とする。また一般社会における通説的な考え方、例えば“高等と下等”といった概念を、進化学の観点から一緒に見直したい。高等学校で生物を学ばなかった方々にもわかるように、授業の早期に最低限の遺伝学・分子生物学の資料を渡し解説を行う。また最新の論文を紹介することで、教科書的にはまるで解決されてしまったかのように言われている現象の中に、まだたくさんの未解明の謎が隠れていることを紹介し、将来生物の研究を目指す方々にも楽しんでもらいたい。これらを通じ、遺伝子-個体-集団から見た生物の面白さ・楽しさについて、進化学的に理解しながら考える。</p> <p>評価方法 定期試験を行う。その他、宿題の提出、質問や発言、出席などの授業への姿勢も重視する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50240	A 1	現代生命科学 I (文科生、理一生)	石丸 喜朗	教養学部(前期課程) 生物	月5	1311	1年 文科 理一 2年 文科 理一
<p>講義題目 生命科学の基礎</p> <p>目標概要 21世紀以降、生命科学は飛躍的に発展しています。本授業では、生命科学の基礎知識・基本原理を幅広く習得し、科学的思考力を身に付けることを目標とします。身近な生命現象を手がかりとして、その奥にある仕組みを科学的に基本から学習します。過去の生物学の履修歴は問いません。知的好奇心に溢れ、勉学意欲に富んだ学生の参加を希望します。</p> <p>評価方法 繰り上げ試験を実施</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 現代生命科学 著者(訳者) : 東京大学生命科学教科書編集委員会 出版社 : 羊土社 ISBN : 978-4-7581-2053-1</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50033	A 1	現代生命科学 II (文科生、理一生)	池内 昌彦	教養学部(前期課程) 生物	月1	1212	1年 文科 理一 2年 文科 理一
<p>講義題目 現代生命科学 II (文科生、理一生) / Current Biological Sciences II</p> <p>目標概要 生命科学を地球、人間、植物、微生物、ゲノム、遺伝子という観点から概観し、地球の生命の現状と将来を考える。</p> <p>評価方法 試験</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 現代生命科学 著者(訳者) : 東京大学生命科学教科書編集委員会 出版社 : 羊土社</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
51294	A	分子生命科学	飯野 雄一	理学部	木5	523	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 分子から見た生命現象</p> <p>目標概要 生物の織りなすさまざまな生命現象は、すべて遺伝子DNAにコードされた遺伝情報が機能を発揮した結果であると言ってもよい。遺伝情報は、RNA、タンパク質、そしてそれが作り出す低分子有機化合物などの分子の形となり、これらの分子が相互作用しながら細胞内外で働いた結果、生き物としての不思議な性質が作り出されてくるのである。生物化学という学問分野は、このような生命現象が、分子の働きによっていかに作り出されるかを解明する研究分野である。</p> <p>この授業では、この分野の代表的な教科書である『細胞の分子生物学 第5版』に沿って基本的な概念の説明と、その知識を基盤とする最先端の研究の紹介を交互に行う。基礎知識がなくとも生命科学の研究のテーストを味わうことができるように配慮して講義を進める。理学部生物化学科の担当教員6名により、本学科の研究と密着した、タンパクの質構造と機能、RNAによる制御、神経細胞の分化、生体リズム、味覚・嗅覚・光感覚、学習記憶などのテーマについての講義を行う予定である。</p> <p>評価方法 授業への出席(50%)と毎回の授業の最後に実施する小テスト(50%)にて評価する。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 細胞の分子生物学(第5版) 著者(訳者) : ALBERTS/JOHNSON/LEWIS/RAFF/ROBERTS/WALTER(翻訳:中村 桂子, 中塚 公子, 宮下 悦子, 松原 謙一, 羽田 裕子, 青山 聖子, 滋賀 陽子, 滝田 郁子) 出版社 : ニュートンプレス ISBN : 4-315-51867-2 C3045</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
51022	A	惑星地球科学 I (理科生)	小久保 英一郎 中本 泰史	教養学部(前期課程) 宇宙地球	木5	524	1年 理科 2年 理科
<p>講義題目 惑星地球科学I(惑星系天文学概論)</p> <p>目標概要 太陽系は惑星、衛星、環、小惑星、太陽系外縁天体、彗星と、質量・組成・軌道の異なる多様な天体から構成されている。これらの天体はどのような特徴をもち、どのようにして形成されたのだろうか。また、近年、観測によって銀河系には太陽系以外にも多様な惑星系が存在することが明らかになっている。これらの惑星系は太陽系とは何が違うのだろうか。授業では惑星系の構造・起源・進化について、最新の観測・理論研究の成果を交えながら概説する。</p> <p>評価方法 課題レポートによって評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51105	A	惑星地球科学Ⅱ (理科生)	小宮 剛	教養学部(前期課程) 宇宙地球	金2	1222	1年 理科 2年 理科
<p>講義題目 地球惑星科学概論Ⅱ</p> <p>目標概要 地球惑星科学Ⅰに引き続き、特に以下の点について、講義する。</p> <p>地球史：固体地球進化（熱史）、大気・海洋表層環境進化（酸素と二酸化炭素）、暗い太陽のパラドックスと表層環境進化、地球生物史、全球凍結、顕生代の生命史と大量絶滅</p> <p>表層環境：大気・海洋構造、炭素循環、第四紀以降（氷期間氷期サイクル）、地球温暖化、環境と人類史、鉱床の形成と成長の限界（資源、エネルギー問題）</p> <p>評価方法 定期試験を行う 出席も加味</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
51297	A	地球惑星環境学入門	高橋 嘉夫	理学部	木5	122	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 化学で解く地球と環境：環境地球化学入門</p> <p>目標概要 地球表層での物質循環・化学過程のいくつかの例を大気圏・水圏・地圏に分けて考えると共に、関連する環境問題について取り上げる。関連して、地球の大気や海洋がどのように進化して現在の姿になったかについても知る。これらの知識を基盤とすることで、現在の地球環境問題の本質を探ることができる。また、これら地球化学・環境化学の基礎となる化学熱力学や分析手法についても解説する。</p> <p>評価方法 出席、小テスト、定期試験を基に総合的に評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
50034	A	宇宙科学Ⅰ (理科生)	鈴木 建	教養学部(前期課程) 宇宙地球	月1	1101	1年 理科 2年 理科
<p>講義題目 天文学・宇宙物理学の基礎的内容</p> <p>目標概要 宇宙における天体現象が、現代科学の手法を用いてどのように理解されているのかを、自ら噛み砕いて把握することが、本講義の目標である。</p> <p>評価方法 定期試験（義務）＋中間レポート（希望者のみ）</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
51023	A	宇宙科学Ⅱ (理科生)	清水 敏文	教養学部(前期課程) 宇宙地球	木5	K211	1年 理科 2年 理科
<p>講義題目 母なる星「太陽」の研究最前線</p> <p>目標概要 本講義は、地球にとって母なる星である「太陽」に関して基礎を解説し、太陽という星を研究する最前線に触れる内容を取り扱う。「太陽」を研究する学問は太陽物理学と呼ばれ、天文学・宇宙物理学の中でも天体プラズマの現象を理解するために重要な基礎となるものである。また、太陽系科学の中では、太陽の振る舞いが地球や惑星、また私たちの生活、に影響を与える観点で、大事な研究対象でもある。太陽観測衛星「ひので」をはじめ最新の観測装置で捉えた画像や動画も用いて、「太陽」について理解を深め、天文学・太陽系科学・宇宙プラズマ物理学に対する太陽物理学の位置付けを理解することを目標とする。</p> <p>評価方法 学期末に論述式問題による試験を行う。また、授業のどこかで検討レポートを課す予定である。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50241	A	惑星地球科学Ⅱ (文科生)	磯崎 行雄	教養学部(前期課程) 宇宙地球	月5	531	1年 文科 2年 文科
<p>講義題目 地球科学の基礎：とくに地球表層環境の物質とその変遷史</p> <p>目標概要 地球表層環境の歴史は、固体地球の歴史と密接に関連している。約40年に及ぶ地球生命および環境の歴史を、固体地球の歴史と対比しながら解説する。人類が直面する地球環境問題を考える上での基礎知識の習得を期待する。</p> <p>評価方法 定期試験、および各講義ごとに行う小テストにより評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51106	A	宇宙科学Ⅰ (文科学)	土井 靖生	教養学部(前期課程) 宇宙地球	金2	1225	1年 文科 2年 文科
<p>講義題目 天文学全般の基礎</p> <p>目標概要 現代科学による宇宙像の把握・天文現象の理解がどの様に進んでいるかを理解することを目標とする。</p> <p>評価方法 定期試験により評価する。また任意のレポートを課す予定。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
51324	A	微生物の科学	大西 康夫	農学部	水5	1102	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 微生物の世界</p> <p>目標概要 微生物の種の多様性と微生物が示す驚くべき機能の多様性は、微生物が生物学、生物化学、遺伝学、生理学、分子生物学の基本的研究対象となり、かつバイオテクノロジーの主役として活躍する基本をなしている。本講義では、まず、イントロダクションとして、微生物学の歴史、微生物取扱手法、微生物の多様性を解説する。その後、種々の微生物（あるいは微生物群）について、それぞれが示す多様な生命現象をわかりやすく紹介していくことで、受講者を「微生物の世界」にいざなう。主として「人類に役に立つ微生物」という農学的見地から微生物について解説するが、受講者には、いわゆる「応用微生物学」のエッセンスを学んでいただきたいと考えている。</p> <p>評価方法 定期試験の成績に出席点を加味して評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
51329	A 1	アグリバイオロジー	井澤 毅	農学部	金5	K402	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 植物の機能とその利用</p> <p>目標概要 前世紀後半、世界の食料生産は「緑の革命」に代表されるような資本投入型技術の開発により大きく飛躍した。これら増産主体の農業技術は、人口爆発に伴う食糧需要をなんとか支えてきた反面、農業生態系全体の調和・持続性ととの間に大きな摩擦を生んできた。さらなる人口増、工業化や砂漠化による耕地面積の減少、地球規模での異常気象などによってこのジレンマが拡大の一途を辿るなかで、問題解決に向けた新たな取り組みが求められている。本講義では、農業生産の基礎となる植物の機能とその利用について最新の知見を解説し、将来の技術開発の方向性を考える。</p> <p>評価方法 定期試験、授業への参加姿勢（小レポートを含む）、出席点によって総合的に評価する。試験は定期試験期間に行う。ノートおよび配付資料は持ち込み可とする（ノート・配付資料以外は持ち込み不可）。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
51327	A	応用動物科学Ⅱ	堀本 泰介	農学部	月5	522	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 高等動物の比較生物学</p> <p>目標概要 高等動物（主に哺乳類、鳥類）の生理、病気、感染症、診療など、加えて公衆衛生、ヒトと動物の関係などについて、獣医学専攻と応用動物科学専攻の教員が講義する。</p> <p>評価方法 出席とレポートによる。 レポート：各講義で自分が理解した内容およびそれに関する意見をA4で2枚以内にまとめ、次回の講義時に提出（英文可、表紙不要、1枚目上に講義タイトルと氏名、学籍番号を記載）。 最終回の講義のレポートは平成31年1月11日までにアドミニストレーション棟1階レポートBOXに提出すること。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51326	A	海の生命科学	浅川 修一	農学部	金5	743	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 海の生命科学</p> <p>目標概要 水温、塩分、水圧等の大きく異なる棲息環境に、バクテリア、プランクトンなどの微小な生物から、各種の無脊椎動物、魚類、大型ほ乳類に至る多種多様な生物が独自の進化・繁栄をしてきた。水圏には地球上のほぼすべての動物門が棲息しており、その多様性は陸上の比ではない。水中での生活を可能にするために、陸上生物には見られない特殊な器官やユニークな代謝経路を発達させた種も多い。しかし、陸上生物である我々ヒトにとって、水圏にはまだまだ未解明の現象が多く、そこに未知の利用可能性や新たな研究領域の発展可能性を秘めたフロンティアが存在する。われわれ人類は、様々な形で水圏生物と関わりを持っている。水圏生物に関する理解を深め、再生産可能な形で有効に利用することは、人類が真剣に取り組むべき課題である。この課題達成のために求められることは、水圏生物をよく知ることである。</p> <p>本講義では、水圏生物科学専攻各講座の教員が、(1) 海洋生物の生理、(2) 海洋生物の有機化学、(3) 海洋生物のゲノム科学、(4) 海洋生物の食への利用と生理調節作用、について、その研究の概要と最新の動向について紹介する。</p> <p>評価方法 授業への参加状況や理解状況（小テストなどを課す場合もある、30%）および定期試験（70%）をもとに評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
50242	A	生物物理学	澤井 哲	教養学部(総合文化) 総合自然科学科	月5	1212	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 生物物理学 ―実験から理論まで―</p> <p>目標概要 生物は物質で構成されている。したがって物理学的な立場から生命現象を理解できる。しかしながら、単に化学物質を寄せ集めただけでは生命らしさはあらわれてこない。生物物理学は、生物を分子や細胞に要素還元するとともに、それらが相互作用するシステムとして生物を捉えることで、生命現象の普遍的な理解をめざす学問であるといえる。本講義では、生物を構成する物質の最小単位であるタンパク質などの生体高分子から、それらの集合体である超分子や細胞までの各階層において生命らしさが創発する仕組みと、生命の可塑性と頑健性についての数理的な理解の方法を学ぶ。</p> <p>いま、生命科学研究の最前線では生命科学と物質科学の境目があいまいとなってきた。つまり、生物を物質として捉え、物理学的な観点から見直すことで、生命現象を自然現象の一部として統一的に理解しようとする試みが盛んに行われている。さらに、物理学の立場から生物を俯瞰すると、生物は未解明の新領域でもあり、新たな物理学を開拓できる可能性を秘めている。このように、従来とは異なる観点で生物学を捉え直すことに興味がある学生や、物理学の立場から見た生命像に興味のある学生には、本講義の受講を勧める。大学の生命科学が未履修であっても構わない。</p> <p>評価方法 平常点及び小テスト 場合によってレポートを課す場合もある。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							

総合科目F 数理・情報

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50815	A	数理科学概論Ⅰ (文科生)	時弘 哲治	教養学部(前期課程) 数学	木1	512	1年 文科 2年 文科
<p>講義題目 数理科学概論Ⅰ</p> <p>目標概要 文科生向けに一変数関数の微分法の基本的な考え方から始めて、二変数関数の偏微分法の基礎と応用ならびに重積分に関する基礎的な内容を扱う科目である。社会科学に関連する題材を織り交ぜ、数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目を履修した後に、より進んだ内容を理科学向け総合科目「微分積分学統論」で学ぶことができるが、そのためには「数学Ⅱ」「数理科学概論Ⅱ」もあわせて履修しておくことが望ましい。</p> <p>評価方法 定期試験による。</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50351	A	数理科学概論Ⅱ (文科生)	高木 俊輔	教養学部(前期課程) 数学	火2	722	1年 文科 2年 文科
<p>講義題目 数理科学概論Ⅱ(文科生)</p> <p>目標概要 文科生向けの、行列の定める線型変換（一次変換）の固有値と固有ベクトルを求める手法とその応用を扱う科目である。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目では「数学Ⅱ」で扱う内容を前提とするが、基礎科目「数学Ⅰ」で扱う内容は前提としない。ただし、項目3（UTASシラバス【授業計画】参照）においては「数学Ⅰ」の関連する内容を理解しておくことが望ましい。</p> <p>評価方法 定期試験による。小テストやレポートを課した場合、それらも加味する。</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
51311	A	数理工学入門	平井 広志	工学部	木5	150	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 最適化の数理</p> <p>目標概要 産業経済活動に現れる生産計画、配送計画、スケジューリング、投資計画を始めとする多くの重要な問題は、大規模な最適化問題として捉えられる。本講義では、現実問題からどのように数理的な構造をとり出し、最適化問題として定式化するかを学ぶとともに、モデル化された最適化問題を効率的に解くアルゴリズムを設計し、解析するための考え方を学ぶ。</p> <p>評価方法 出席と2回のレポート課題</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
50352	A	統計データ解析Ⅰ	小池 祐太	教養学部(前期課程) 数学	火2	E41	1年 文科 理科 2年 文科 理科
50797			小池 祐太		水5	E41	
51024			吉田 朋広		木5	E41	
<p>講義題目 データサイエンス入門</p> <p>目標概要 ビッグデータの時代と言われている。近年、データの計測およびストレージ技術の発達とともに、大規模データから適切に情報抽出し、それを意思決定に活用することが必須のリテラシーとなっている。いっぽうデータの形式と対応する解析法の変化は著しく、新しい方法を正しく利用するために、普遍的な統計科学の原理を理解することが重要である。基礎となる統計数理とともに、具体的な統計解析手法とその運用を、統計ソフトウェアによるデータ解析実習を通じて習得する。</p> <p>統計データ解析Ⅰでは、受講者が統計ソフトウェアを用いた実験によって確率的現象に慣れ、統計推測法の意味を理解し、データ解析の方法を実習する。統計ソフトウェアRの使い方を学んだあと、シミュレーションによってランダムネスと極限定理を体験する。後で必要になる確率分布を学び、基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する。推測統計における基礎的な推定・検定法、および分散分析、回帰分析の方法を、データ処理を通じて実習する。</p> <p>評価方法 出席および課題の発表あるいはレポートによる（各授業のUTASシラバスを参照）。</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

図形科学 A	開講区分	A
<p>目標概要 3次元立体形状の図的表現および形状処理について、CAD（計算機援用設計）／CG（コンピュータ・グラフィックス）ソフトの実習を通して学び、立体形状の把握・伝達・構想能力を養う。主な学習項目は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2Dモデリング（線分，円，多角形，スプライン曲線） 2. 3Dモデリング（押し出し・回転，空間幾何課題の解法） 3. アセンブリ・正投影図面 4. パースペクティブビュー（透視投影） 5. レンダリング（色彩，マッピング，陰影） 6. アニメーション（動的表示，ウォークスルー） <p>成績評価方法 出席、レポート（実習課題）、および、定期試験によって評価する。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。</p> <p>書名 : 3D-CAD/CG入門[第3版]～Inventorと3dsMaxで学ぶ図形科学 著者（訳者）：鈴木賢次郎，横山ゆりか，金井崇，館知宏 共著 出版社 : サイエンス社 発行日：2016年9月 ISBN : 978-4-7819-1389-6</p> <p>※講義の詳細については、UTASも参照すること</p>		

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50072	月2	館知宏 柏原賢二	E31	1年 文科 理一(14,17,23,29,39) 2年 文科 理科
50107	月3	柏原賢二 館知宏	E31	1年 文科 理一(19-21,36) 2年 文科 理科
50286	火2	吉岡陽介 福田玄明	E31	1年 文科 理二三(1-14) 2年 文科 理科
50410	火3	福田玄明 吉岡陽介	E31	1年 文科 理一(15-16,26,32-33) 2年 文科 理科
50700	水3	金井崇 奈尾信英	E31	1年 文科 理一(5,9-11,37) 2年 文科 理科
50733	水4	奈尾信英 金井崇	E31	1年 文科 理一(12,24,27-28,30) 2年 文科 理科
50799	木1	横山ゆりか 早川大地	E21	1年 文科 理二三(15-24) 2年 文科 理科
50842	木2	早川大地 横山ゆりか	E21	1年 文科 理一(13,18,34,38) 2年 文科 理科
51139	金3	田中一郎 山下典理男	E31	1年 文科 理一(22,25,35) 2年 文科 理科
51183	金4	山下典理男 田中一郎	E31	1年 文科 理一(1-4,6-8,31) 2年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50243	A	基礎統計	佐藤 俊樹	教養学部(前期課程) 経済・統計	月5	1108	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 基礎統計 目標概要 統計学の考え方の基礎にあたる部分を解説する。</p> <p>範囲としては、分布をとらえる基本的な指標、確率分布の基礎知識、確率モデルの基本的な考え方、検定や推定などの統計的推測の初歩であるが、技法を詳しく説明するよりも、その背後にある考え方（いわば統計学はどのような風に世界を見ようとしたのか）に焦点をあてて進めていく。初心者にとって最大の障壁はそこが理解できないことであり、その結果として、具体的な数式や論理が「ブラックボックス」化するからである。</p> <p>評価方法 試験。 成績評価は理系と文系で分けて採点し、Aの比率はほぼ同じくらいにする。参考資料として、第一回目のガイダンスのときに、昨年度の成績分布を示す。試験の詳細もそのときに説明する。</p> <p>教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
50816	A	基礎統計	丸山 祐造	教養学部(前期課程) 経済・統計	木1	743	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 統計学入門 目標概要 統計学は、近年注目されているデータサイエンスにおいて、数学・計算機科学と並んで基盤となる学問の一つである。データサイエンスを含め、人工知能、機械学習、ビッグデータといったバズワードで語られる分野で、将来一旗揚げたいと考える野心的な学生においては、統計学は学部前期課程のうちに身につけるべき素養であろう。また統計学の基礎的素養は、そのような野心的学生だけでなく、文科系を含むいかなる分野に進む学生にとっても必要であると考えられる。なぜならデータとともに思考する能力が、どんな分野においてもますます重要性を増しているからである。例えば中央官庁に進む場合、データや実証結果に基づく政策形成（Evidence Based Policy Making）への理解が不可欠である。法学、政治学、経済学といった伝統的に重視されてきた学問への素養だけではなく、統計学、データ解析に精通していることが期待されている。</p> <p>本講義では、東大入試二次試験の文系数学の出題範囲レベルを前提に、統計学の基本事項を解説する。統計学的なデータの見方、また統計学の手法を用いるとどんなことが出来るかを具体的に示し統計学の動機づけを重視する。</p> <p>評価方法 定期試験による。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 入門統計解析 著者（訳者）：倉田博史・星野崇宏 出版社 : 新世社 ISBN : 978-4-88384-140-0</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
50244	A	統計分析	倉田 博史	教養学部(前期課程) 経済・統計	月5	511	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 回帰分析のより進んだ扱い 目標概要 基礎統計などの入門講義で学んだ回帰分析のより発展的な内容について扱う。経済の実証的分析を例に取りながら解説するが、経済学に関する知識は要求しない。</p> <p>評価方法 定期試験による。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : コア・テキスト 計量経済学 著者（訳者）：大森裕浩 出版社 : 新世社 ISBN : 978-4-88384-264-3</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							

アルゴリズム入門	開講区分	A
<p>目標概要 コンピュータやインターネットに代表される情報処理・情報通信技術は、現代社会の基盤となっています。このような技術の基盤となっているのが「アルゴリズム」と呼ばれる概念です。アルゴリズムは、観測データからの気象予測や、文章からの執筆年代予測など、あらゆる分野での問題解決の基礎となるものです。</p> <p>本科目の目的は、アルゴリズムの基本概念や、アルゴリズムを作るための考え方を、Python言語によるプログラミングを通して習得することです。</p> <p>成績評価方法 試験および演習課題の成績によって評価します。</p> <p>試験は基本的な事項の確認を中心とした問題になります。出題範囲などについては授業中に知らせます。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>※講義の詳細については、UTASも参照すること</p>		

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50017	月1	山口 泰	E21	1年 文科 理二三(1-10) 2年 文科 理科
50073	月2	山口 文彦	E21	1年 文科 理一(18,24,27-28) 2年 文科 理科
50173	月4	山口 和紀	E21	1年 文科 理一(4,11,15) 2年 文科 理科
50206	月5	伊知地 宏	E21	1年 文科 理二三(11-17) 2年 文科 理科
50285	火2	千葉 滋	E21	1年 文科 理一(6,14,20,26,32) 2年 文科 理科
50622	水2	中山 英樹	E26	1年 文科 理一(9,23,25,29) 2年 文科 理科
50732	水4	田中 哲朗	E21	1年 文科 理一(1-3,5,7-8,10) 2年 文科 理科
50841	木2	地引 昌弘	E31	1年 文科 理一(12,16-17,37) 2年 文科 理科
51046	金1	松島 慎	E21	1年 文科 理一(13,22,30,36,39) 2年 文科 理科
51062	金2	対馬 かなえ	E21	1年 文科 理二三(18-24) 2年 文科 理科
51138	金3	森畑 明昌	E26	1年 文科 理一(21,31,33,38) 2年 文科 理科
51189	金4	羽山 博	E26	1年 文科 理一(19,34-35) 2年 文科 理科

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51295	A	計算機プログラミング	萩谷 昌己	理学部	金2	E26	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 プログラミング技法</p> <p>目標概要 プログラミングが簡潔で速く、正確になることは、情報科学の知識や数学的能力だけでは不十分であり、技法としてのプログラミングを身に着け、訓練を経ることが必須である。本講義では、簡単なプログラム作成が出来ることを前提として、より速く、より正確、より大規模なプログラムを作成する技術的側面について講義し、実際の課題を通してプログラミング技法を錬成する。</p> <p>評価方法 期末までに、数回課題レポートを科し、その結果により成績評価を行う</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
51296	A	計算機システム概論	小林 克志	理学部	水5	E42	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 計算機システム概論</p> <p>目標概要 コンピュータシステムを利用した情報サービスの知識はあらゆる分野で求められている。本講義では、情報サービスの提供に必要な知識・スキルに加えてそれらの獲得方法を学ぶ。具体的には、Web サービスの提供を想定し、その実現に必要な知識・技術を解説する。併せて、具体的なサービス構築を通じ知識・技術の活用に加え、それらの獲得方法を実践的に体得する。課題発表の時間に学生が設計・構築したサービスのデモをおこなう。</p> <p>評価方法 講義への参加意欲・小テスト・課題の成績を総合して評価する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日を行う。</p>							
51536	A	計算の理論	小林 浩二	理学部	火3	E21	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 非専門家のためのアルゴリズムとデータ構造</p> <p>目標概要 アルゴリズムとは、「問題」を解くための手順であり、データ構造は計算機（コンピュータ）上においてデータを保持するための方法である。これらは計算機科学の基礎をなす学問分野である一方、計算機科学とは全く異なる分野においても陰に陽に重要な役割を果たしていることが少なくない。そこで本授業では、文理問わず後期課程進学後に計算機科学「以外」の学問を修める学生を対象とし、進学後に出会うであろうアルゴリズムとデータ構造に関する事柄について学ぶ。具体的には、実際にこれらが他分野（例えば、言語学、生物学など）において関わってくる場面を例示しつつ、それらの機能や仕組みについて学ぶ。そのため、本授業は後期課程進学後に計算機科学とそれに直接関わる分野を専攻することを検討している学生の履修は推奨されない。</p> <p>評価方法 主に定期試験の成績による。授業中に適宜、演習課題を課すことがある。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日を行う。</p>							
51310	A	情報・システム工学概論	峯松 信明	工学部	月5	512	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 情報・システム工学概論</p> <p>目標概要 近年情報技術の対象は、個数、金額、品番など、数値として管理するのが適切であることが一見してわかるものから、人間の言葉、動作、社会的行動など、単純な数値化による情報技術の適用が容易でないものに広がってきている。本講では、こうした対象に情報技術を適用するのに必要となる技術を概観し、具体的な適用例の紹介を通じてその理解を深める。</p> <p>評価方法 出席数と、講義内容に関して出題される課題に対してレポートの採点を組み合わせて行う。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51303	A	情報システム基礎Ⅱ	三田 吉郎	工学部	月1	512	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 わかる電子回路</p> <p>目標概要 電子回路は、自動車から玩具に至るまで、世の中のありとあらゆる分野で使われている、普遍的な技術である。と同時に、電気電子工学のしっかりした理論体系を持っているので、基礎理論を一たび学ぶだけで、驚くほど多くの分野に応用することができる。工学の基礎ともいえるこの電子回路理論を、実演も含めながらわかりやすく講義する。学習の応用として実用的な回路を設計し、学生の意欲により自作演習と発表会を計画する。</p> <p>評価方法 出席、中間レポートならびに最終課題(学生の創意工夫を伸ばす自由課題)によって総合的に判断する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
51308	A	情報システム基礎Ⅱ	國吉 康夫	工学部	金5	721	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 人間とロボットの科学</p> <p>目標概要 ロボットのルーツは、人間や動物の知的行動を工学的に再現しようとする試みにある。身体、知覚、行動、知能を数理的、科学的に定式化し、適切な工学的実現を行うことで、様々なロボットができる。それは、人間や動物を科学的に理解することであると同時に、人間に有用なロボット技術を構築することでもある。さらには、人間の能力を補い、拡張する技術、人間に新たな体験を提供する技術にもつながる。</p> <p>本講義では、人間のための技術としての仮想現実や生活支援ロボット、人間を理解する手段としての認知発達ロボティクス、ヒューマノイドロボットやサイボーグ技術など、最先端のロボティクスを俯瞰すると共に、その実現に向けた基礎知識を学ぶ。高校～大学1年程度の数学および物理学を使って、人間とロボットに共通の機能定式化を具体的に学び、工学的実現方法も見ていく。これらを統合すると、知能ロボット機能の一つの全貌が理解できるはずである。</p> <p>評価方法 出席、小テスト、レポートによる。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
60233	A 2	モデリングとシミュレーション基礎Ⅱ	鳥海 不二夫	工学部	集中	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 経済物理・金融情報学・計算社会科学</p> <p>目標概要 現代の社会における現象は複雑系に特徴的な特性を示し、新古典経済理論や金融工学、社会学では説明の付かない現象が数多く観察される。それに対して理工系の知見を適用して、社会現象を実証的に解明し解析しようとする学問がいくつも存在する。この講義では、そのような学問の中で経済物理・金融情報・計算社会科学の考え方や手法を学習するとともに、社会現象・人間行動に関係する複雑な現象にどのように取り組むかを考える。</p> <p>※履修人数制限 20人 ※講義は集中講義にて行う（現在のところ11月13日(火)、12月28日(金)を予定)。 ※受講希望者は10月10日までに100字程度の希望理由を添えてで申し込むこと https://goo.gl/forms/IGGUSrUvEkFJlkwl2</p> <p>評価方法 講義後に行われる試験によって評価。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							

学術フロンティア講義

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51331	A	西洋音楽の作曲技法 概説	小鍛治 邦隆 長木 誠司	教養学部(総合文化) 超域文化科学専攻	月1	2	学際交流 ホール	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 バッハからウェーベルンまでの作曲技法の理解</p> <p>評価方法 出席および平常点</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>								
51357	A	化学と未来のモノ づくり	杉山 弘和	工学部	月5	2	164	1年 理科
<p>目標概要 本講義では工学部化学システム工学科の教員が、持続可能な未来のものづくりを実現するための化学と工学の役割を分かりやすく説明します。以下のテーマに触れる予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業で役立つ化学材料をつくる ・医薬品を上手につくる ・医療で使える材料を化学でつくる ・次世代の電池をつくる ・社会に貢献する薄膜材料をつくる ・排ガスをクリーンにする触媒をつくる <p>※このゼミは9月25日(火)6限(18:45~)に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p> <p>評価方法 主に出席・レポート</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								
51416	A	楽器としての身体 ：声楽の実践と科学	豊田 喜代美 工藤 和俊	教養学部(総合文化) 超域文化科学専攻	火2	2	音楽 実習室	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 西洋クラシック音楽の器楽は楽器が用意されているのに対し声楽は身体を楽器として作ります。本授業は身体を楽器として作ることを、声楽の実践及び身体運動科学の方法論で体験することを目的とします。歌曲に込められた暗黙的な意味を自分自身に一体化する歌唱演奏トレーニングを実習し、各自が芸術創造を体感することを目指します。その際、声楽実践時の感覚の文書化及び生体情報計測を行い、身体情報をデータ化し分析・考察することで、自分自身の感性及び身体の変化を自覚・確認します。期待される効果として、自分が自分自身のコーチとなり教育する能力及び表現力の開発支援などがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義：発声のメカニズムについて、芸術創造について、人体の構造について ・実践：呼吸法、姿勢（立位時、歩行時）確認、発声トレーニング、歌唱 ・計測：呼吸・心拍、足圧 <p>※歌唱曲はポピュラーな日本歌曲他。楽譜を第一回目の授業で配布します。</p> <p>開講場所：コミュニケーションプラザ北館 音楽実習室</p> <p>評価方法 レポートにより行う。</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								
60248	A 2	ネット社会の秩序と法	太田 勝造	法学部	火3	1	K402	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 ITCのとどまることのない発展は、人間社会の秩序に大きな変容をもたらしている。本講義では、社会学、経済学、心理学等の社会科学の理論と知見はもとより、進化論や人工知能などの自然科学をも参考として、人類が直面している「知」と「社会」の変容に対してアプローチを試みるものである。法や政治がこの変化をどのように制御しようとし、果たしてそれはどこまで可能かを考える。法や政治についての素養は特に必要としない。本講義は、奥村裕一講師（公共政策大学院教授）、清水剛講師（総合文化研究科教授）、及び太田勝造講師（法学政治学研究科教授）のオムニバス講義である。</p> <p>評価方法 筆記試験による。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51413	A	食	原 和之 白 佐立	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	水5	2	106	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 この学術フロンティア講義シリーズは毎年のAセメスターに開講する。1つのテーマについて、文理双方の教員から構成し、異なる切り口を提供する東大生向けのオムニバス講義である。一度南京大学で開講する集中講義と同じテーマを扱うことによって、南京大学集中講義での成果を反映させ、受講者たちに教員の思考作法を見せる刺激的な講義を行うことを目指す。2018年度のテーマは「食」とする。</p> <p>「どんなものを食べているか言ってみたまえ。君がどんな人間か言いあててみせよう」(ブリア=サヴァラン)。19世紀フランスの美食家のこの言葉は、「食」と人間のあり方との密接な結びつきを示唆するものとして、しばしば引用されてきた。</p> <p>あらゆる生命が自らを維持するために必要とする「食」。しかしそれは人間が自然から文化へむけて踏み出す第一歩でもある。文化の多様性はある意味で、飢えという自然的な問題を、ひとが様々な仕方で解決しようとする、その営みのなかで生まれてきたといえるかもしれない。さらにその多様性は、「食」があることが当たり前となり、生命維持の「必要」を離れて「食べる快樂」ならぬ「食卓の快樂」に支配されるようになるにつれ、いっそう強調されてきた。こうして今や物質的に恵まれた社会にあっては、そうした多様な「食」文化のあり方は、ある意味で自明のものとなっているといえるだろう。</p> <p>ただこうした「食」をめぐる状況は、今日大きく変化してきている。本講義では、文理両分野の教員による講義を通して、それぞれが自明のものとして持っている「食」のイメージを考え直す手がかりを提供してゆく。</p> <p>評価方法 出席、毎回の講義内容に対するコメントの提出等の平常点と小論文とで判断する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>								
51335	A	グローバルネットワーク 再生可能エネルギー水素	杉山 正和	工学部	木3	1	K501	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 地球温暖化の抑制や化石燃料から脱却のために、再生可能エネルギーの大量導入は至上命題となっている。水素燃料電池自動車など化石燃料から水素へのエネルギー転換、すなわち「水素社会」が志向されている。しかし、水素社会の真の価値は再生可能エネルギーの異次元的な大量導入にあり、再生可能から電力のみならず貯蔵・輸送可能な化学燃料である水素を製造し、エネルギー供給の様々な形態を再生可能エネルギーと接続することが、水素の究極の価値である。日本のエネルギー需要を考えたとき、そのすべてを国内産の再生可能エネルギーで賄うことは立地条件や日照・風況等の制約から困難であり、海外からの再生可能エネルギー輸入が不可欠である。これは、太陽光エネルギーの蓄積により生まれた化石燃料資源に乏しい我が国が、燃料の大量輸入に頼っていることを考えれば明白である。</p> <p>本講義では、再生可能エネルギーが大量導入された2050年のエネルギーシステムを目指して、我々科学者・技術者が備えるべき知識、ともに考えるべき課題を学生諸君と共有したい。本講義が、発電やエネルギー消費などの要素技術を理解しつつ、個別技術の枠を超えたグローバルな思考によりエネルギーシステムの全体像を議論するための第一歩になれば幸いである。</p> <p>評価方法 講義終了後に提出するレポートによる。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行く。</p>								
51418	A	脳科学の基礎と 研究の最前線	岡ノ谷 一夫	教養学部(前期課程) 心理・教育学	木5	2	1108	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 脳科学は脳の仕組み(メカニズム)と働き(機能)を研究する学際領域である。このテーマ講義では、脳科学に関心のある教養学部前期課程の学生諸君を対象に、この分野の見取り図を示すと共に、その奥行きと魅力を伝え、脳科学への誘い(いざない)を目指している。</p> <p>脳科学は比較的新興の学際領域であるため、伝統的な個々の学問分野ではとうていカバーしきれない。そこでこの講義では、教養学部生命・認知科学科、理化学研究所脳科学総合研究センター(理研BSI)、総合文化研究科進化認知科学研究センターの各スタッフが、オムニバス形式で脳科学の全体像を描いてゆく。</p> <p>具体的な下位分野のテーマとしては、電気生理学、神経解剖学(計測法を含む)、分子神経科学、認知神経科学(神経経済学を含む)、計算神経科学などを扱う。初学者向けの講義なので、文系諸君の受講も歓迎する。</p> <p>評価方法 10回の講義のうち特に興味をもった3回を選び、それぞれについて1500-2000字のレポートを作成する。</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行く。</p>								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51410	A	現代の数学 -その源泉と フロンティア-	小木曾 啓示	数理科学研究科	木5	2	521	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 この講義では、現在の数学研究の現場で話題になっている事柄を平易に解説する。 高等学校で学んだ数学、大学の前期課程で学ぶ数学が、どのように現代の数学につながっているか、現代の数学の研究の源泉はどこにあり、どのようなことがわかっていて、何を求めて研究が行われているかということを、最前線で活躍する数学者がいくつかのトピックについて数回ずつ解説する。</p> <p>今期のより具体的な内容は授業計画のところに記載しました。</p> <p>評価方法 出席とレポートによる可否のみの判定で行う。</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								
51354	A	海研究のフロンティア Ⅱ	早稲田 卓爾	工学部	金2	2	101	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 本講義は、理学・工学・農学・法学・総合文化・新領域創成科学研究科、大気海洋・地震・気候システム・東洋文化・生産技術研究所、史料編纂所・アジア生物資源環境研究センターなどで海洋に関する研究・教育活動に関わっている教員が、最先端の研究成果を紹介する。</p> <p>講義に関する追加情報は、以下に記載されます。 http://www.oa.u-tokyo.ac.jp/</p> <p>※このゼミは9月25日(火)6限(18:45~)に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p> <p>評価方法 出席および授業内レポート</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								
51359	A	ノーベル賞に学ぶ 物理工学	芝内 孝禎	工学部	金5	2	512	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 近年のノーベル物理学賞の多くは、磁性や超伝導などの物性物理学、量子光学、量子情報、ソフトマターなど「物理工学」と呼べる分野での受賞となっている。これらの受賞内容を学ぶことは、物理工学の歴史や今後の展開を知るのいい機会になると考えられる。そこで、過去40年間のノーベル物理学賞から物理工学分野に関連の深い受賞テーマをとりあげ、その物理的背景や受賞後の発展などを含めて、各テーマを専門とする教員陣がわかりやすく解説する。</p> <p>評価方法 毎回提出する小レポートにより評価を行う。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51393	A	放射線を科学的に理解する	渡邊 雄一郎 小豆川 勝見 鳥居 寛之	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	金5	2	K303	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要

福島第一原子力発電所の事故から歳月が経ちました。現地では、復興と帰還、そして廃炉に向けた取り組みが進んでいますが、事故にともなって広範な地域に放出された大量の放射性物質による環境汚染は、そう簡単に片づくものではありません。かつては社会的関心事だった放射線をめぐるリスクの議論も、必ずしも人々の科学的リテラシーを向上させたとは言えない状況の中、人々の意識も風化しつつあります。

放射線を理解するには、物理・化学・生物・医学・工学・農学・法律など様々な分野の知識が必要で、全てを網羅することは容易ではありません。放射線の基礎的知識に関する教育は十分とはいえず、大学においても、広く一般の学生が系統立って学べる機会は限られています。

その貴重な機会を提供すべく、教養学部の教員が科学者・教育者の使命と意気込んで始めた講義が、今期で8年目の実績をもつ主題科目「放射線を科学的に理解する」です。3人の教員：鳥居・小豆川・渡邊を中心に、ゲスト講師として様々な分野の専門家を招き、放射性核種や放射線の物理学的性質から環境汚染問題、そして生物学的・医学的影響やリスクの考え方で、幅広く講義を展開します。学際的な教養学部の強みを生かした講義で、科学的知識を体系的に身につけ、定性的および定量的に正しく判断する能力を養うことを目的とします。

理科生を主な対象としますが、意欲のある文科生も歓迎します。教員一同、熱意あふれる分かりやすい講義を心がけており、履修生からは、理解が深まり役に立つ授業だったと、毎年高い評価を受けています。

- ★ 前半ガイダンス、後半【鳥居：理学部】放射線入門（放射線とは、身の周りの放射線）
- ★【鳥居】放射線物理学（放射性崩壊と放射能、放射線と物質の相互作用）
- ★【小豆川：教養化学】放射線計測学（放射線の測定原理・方法・問題点）
- ★【鳥居】放射線物理学・放射線化学（物質中でのエネルギー損失過程、放射線の単位）
- ★【渡邊：教養生命科学】放射線生物学（放射線の細胞および生体への影響）
- ★【坪倉正治：福島県立医科大学】被曝調査・医療支援（福島事故後の内部被曝の現状、現場での医療）
- ★【太田岳史：医学部附属病院放射線科】放射線医療（放射線治療・診断技術と医療被ばく）
- ★【鳥居】原子核物理学・原子力工学（原子核模型と核構造、核崩壊と核分裂、原子力発電の原理）
- ★【小豆川】環境放射化学（放射線量の時間変化、放射性物質の濃縮と拡散）
- ★【小豆川】環境放射化学（シミュレーションと将来の放射線量）
- ★【藤原徹：農学部応用生命化学】放射性物質汚染と農業（植物によるセシウムの吸収と輸送）
- ★【渡邊】放射線の利用（生命科学研究、育種、滅菌、工学応用など）
- ★【鳥居】加速器科学（人工の放射線）・放射線防護学（線量評価とリスクコミュニケーション）

なお、以下の教科書はこの講義を元に執筆したものです。なくても分かるように講義しますが、授業の深い理解に役立つので是非お勧めします。

評価方法

出席とレポートによる合否判定

教科書

次の教科書を使用する。

書名：放射線を科学的に理解する ～基礎からわかる東大教養の講義～（初版第5刷以降を推奨）
 著者（訳者）：鳥居 寛之・小豆川勝見・渡辺雄一郎 著（中川恵一 執筆協力）
 出版社：丸善出版
 ISBN：978-4-621-08597-4（2014年発行の第5刷以降の購入を推奨します。）

ガイダンス

第一回授業日に行く。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51531	A	ワンヘルスの概念で捉える健全な社会	学術俯瞰講義室 芳賀 猛 梶谷 真司	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	金5	2	レクチャー ホール	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要

コーディネータ：芳賀 猛（農学部）
ナビゲータ：梶谷 真司（教養学部）

概要：ワンヘルス（One Health）は、人、動物、環境は相互に密接な関係があり、それらを総合的に良い状態にすることが真の健康である、という概念です。グローバル化が加速し、世界的な人口増加の中、環境・食糧・感染症といった、人類共通の課題がクローズアップされてきます。このような課題の克服には、世界は一つ、健康も一つ“One World, One Health”の観点から、地球規模で、分野横断的なアプローチが求められます。この講義では、広い分野から専門の先生を招き、ワンヘルスの概念を念頭に、健全で持続可能な社会を構築していくには、これからどのようなことが求められるか、考えていきます。

講義予定：

- ・ 第1回 9/28(金) 芳賀 猛（農学部）/ 梶谷 真司（教養学部）
「ワンヘルスの概念と文化現象としての病」
- ・ 第2回 10/5(金) 伊藤 直樹（農学部）
「水生動物の感染症と人間社会」
- ・ 第3回 10/12(金) 釘田 博文（国際獣疫事務局(OIE)アジア太平洋地域事務所 代表）
「OIE：人と動物の健康を守る国際機関」
- ・ 第4回 10/19(金) 松本 芳嗣（農学部）
「顧みられない熱帯病」
- ・ 第5回 10/26(金) 佐々木 敏（医学部）
「栄養疫学の視点から」
- ・ 第6回 11/2(金) 笠井 清登（医学部）
「個人と社会のこころの健康」
- ・ 第7回 11/9(金) 佐々木 伸雄（農学部 名誉教授）
「伴侶動物と人間社会」
- ・ 第8回 11/30(金) 高木 周（工学部）
「メカノバイオエンジニアリングによる次世代型の医療」
- ・ 第9回 12/7(金) 神馬 征峰（医学部）
「One Healthをめぐる「われわれ」の協力は可能か？」
- ・ 第10回 12/14(金) 谷本 雅之（経済学部）
「歴史の中の動植物資源と経済活動」
- ・ 第11回 12/21(金) 関谷 直也（情報学環）
「リスク・コミュニケーション、災害とOne Health」
- ・ 第12回 12/25(火) 亀田 達也（文学部）
「人の心の社会性」
- ・ 第13回 1/11(金) 城山 英明（政策ビジョン研究センター）
「国際行政の視角から」

評価方法 出席およびレポート

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 特に行わない。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51429	A	医科学研究最前線	武川 陸寛	医科学研究所	集中	1	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 がん・免疫/アレルギー疾患・感染症をはじめとする難治性疾患の病因・病態の解明と、これらの疾病に対する治療・予防法の開発を目指す医科学研究所の研究活動の実際を紹介すると共に、関連する分野（疾患ゲノム解析、iPS/幹細胞医学、癌のウイルス療法、創薬・ワクチン開発などを含む）の動向について、集中講義形式で分かりやすく解説する。</p> <p>※開講日時：12月8日（土）9:15～16:40、および12月9日（日）9:30～16:40</p> <p><12月8日> 9:15～9:30 医科研紹介 9:30～16:40 講義（1コマ90分、12:40～13:30昼休み）</p> <p><12月9日> 9:30～16:40 講義（1コマ90分、12:40～13:30昼休み）</p> <p>※開講場所:医科学研究所(白金台キャンパス) 講堂(1号館1階) ※ガイダンスは10月9日(火)2限に教養学部で行う ※10月9日(火)2限のガイダンスに参加できなくても、履修登録をしていれば、本講義への参加は可能である。</p> <p>評価方法 レポート</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特定日に行う。 2018年10月9日2限 駒場11号館1105教室</p>								
51535	A	Computational Creativity概論. <AIと表現>	徳井 直生 池上 高志	教養学部(総合文化) 広域科学専攻	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 Computational Creativityとは、「特定の役割を果たすことで、先入観を持たない観察者が創造的(creative)とみなすであろう振る舞いをみせる、計算(computational)システムに関するアート、サイエンス、哲学、エンジニアリングのことを指す」[ICCC 2018 Proceedingsより]。</p> <p>Computational Creativityの研究を進める主たる目的は二つ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アルゴリズム／計算システムとして創造性を定式化することで、人間の創造性についての定量・定性的な理解を深める。 2. 創造的に振る舞うシステムを構築することで、それを使うユーザ、人間の創造性を拡張する。 <p>それぞれ、サイエンス、アートのアプローチとエンジニアリング、デザインのアプローチに対応すると考えても良いだろう。</p> <p>ディープラーニング技術に代表される機械学習、人工知能技術(AI)が飛躍的に進歩し、Computational Creativityの領域で扱える対象やそのアウトプットの質なども格段に向上している。アート、表現領域でも、本人が書いたかと思ふばかりの17世紀の画家の新作やAIが書いたとするフルスケールの交響曲、映画のシナリオをコンピュータが生み出したといった例が一般のメディアをも賑わせている。それらの多くが人間の過去の作品を踏襲するものであったり、人間の手を最終的に借りているという現状があり、本来的な意味で創造性を発揮しているといっているのかは議論が必要だろう。</p> <p>こうした現状を踏まえ、本講義では、過去の関連領域の歴史から最新事例までを概観しつつ、当該領域への理解を深め、今後の展開を俯瞰する。また、実際にディープラーニング技術を用いた「表現」(主に音楽を対象とする予定)の創作とそのための基礎的なシステムの構築に取り組む。AIを使った創作活動、あるいはAIとともに創作活動を行うことで、創造性の本質への理解を深めることを目的とする。</p> <p>AIが人間の仕事を奪うといったセンセーショナルな議論ががまびすしいなかで、創造性という人間を人間たらしめてきた本質とも言える領域とAIの関係性を考えることは、ひるがえって広く人間とAIの関係性を敷衍することにもつながると考えている。</p> <p>評価方法 実習で制作した成果物とレポートで評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特定日に行う。 9月26日昼休みに1号館162教室</p>								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60259	A 2	個と群 — 紋様デザイン	野老 朝雄 館 知宏	教養学部(総合文化) 広域科学専攻	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要 【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

アーティストの野老朝雄氏を講師に招き、集中講義でアート制作の演習を行う。野老氏は、東京2020オリンピック・パラリンピックエンブレムの「組市松紋」をはじめとする、紋様作品、グラフィックデザイン、建築ファサードデザインなど、幾何学的操作や原理に基づき、単純なピースを組み合わせて非周期的に平面や空間を充填することで、多様な表現を生み出している。幾何学を介した表現と、かたちを介して繋がるさまざまなもの、現象、アクティビティを通して、さまざまな領域をつなげる表現を目指す。

評価方法 授業の取り組み、提出物、最終発表を総合して評価する。

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 特定日に行う。
11月19日6限 162教室。

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51424	A	ココロのトリセツ —自己覚知とレジリエンス—	石垣 琢磨 細野 正人	教養学部(前期課程) 心理・教育学	月5	2	KALS	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 【概要】 このゼミの目的は、自分自身の特徴を知ることで、メンタルヘルス不調を長期的に予防することに加え、逆境やトラブル、強いストレスに直面したときでも適応できる心理的プロセスを学び、レジリエンスを高めることです。大学在学中はもちろんですが、社会人になっても心の健康を保つことができる人材を育てることを長期的目標としています。</p> <p>前半の授業では、現代社会のメンタルヘルスの実情と自己覚知について学びます。自己覚知とは、自分にはどのような特長があるのか、どのような影響力があるのかなど、自分がどんな人間なのかを自覚することです。後半の授業ではレジリエンスについて学びます。レジリエンスとは回復力を意味します。皆さんが社会で活躍するためには、必要不可欠な能力の一つです。</p> <p>本ゼミは、細野正人特任助教が主担当を務めます。</p> <p>【予定されているテーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス・現代社会のメンタルヘルス ・自分を知ると人はどう変わるか ・自分を好きになる心理学 ・人間関係を改善する心理学 ・自分にあった恋愛を楽しむための心理学 ・負けない心（ゲストスピーカーによる講演） ・レジリエンスとは ・ネガティブ感情をコントロールできるのか ・マイナスの思い込み ・カウンセリング・オフィスのリアル（ゲストスピーカーによる講演） ・自信を立て直す ・強みと弱みを活かしてレジリエンスを高める（プレゼンテーション） <p>※テーマは変更になることがあります。</p> <p>【注意事項】 履修希望者は、10/1ガイダンスに必ず参加してください。定員（20名前後）超過時は志望理由を元に選考します。</p> <p>【学習上のアドバイス】 授業開始時にメンタルヘルス・自己覚知・レジリエンス等に関する知識は一切不要です。一から学びたい学生を対象に授業を実施します。</p> <p>評価方法 授業への出席、毎回のリアクションペーパーで評価します。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								
51385	A	立場の心理学： Crossing Your Culture-日本社会や他 国のマジョリティの特 権（権力含む）につい て考える	伊藤 圭子	グローバルキャン パス推進本部	月5	2	K402	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 これまでの多文化理解や国際化などの教育現場では、「[他者]であるマイノリティー（弱者）」に焦点を当て、他者の立場について学ぶことが多いが、本科目では、マジョリティー側、「特権・権力を持つ者（社会における強者）」としての自己の立場に焦点を当てることで異文化理解を深めることが目標である。</p> <p>特権とは「労なく得ることのできる恩恵」と定義され、努力のもとでなく、特権集団（例えば、人種でいえば、日本で日本人として生まれたこと、など）にたまたま生まれたことで自動的に受けることのできる恩恵のことである。「特権を持つ集団」、いわばマジョリティ集団に属する人々は、社会的強者の立場となる。本科目では、心理学の立場理論を通して、この社会における強者としての立場を可能にしている構造や制度について学ぶと共に、特権集団の持つ心理的特徴やアイデンティティ、社会化のプロセスについて紹介する。学生の皆さんが世界に通じる国際性豊かな人間になる上でも、「自分の特権に自覚的である」ことで、他者（ここでは社会的弱者）との信頼関係を得て、他者（弱者）と共により良い社会を築くには何をすれば良いのか、ということについて考察する。</p> <p>評価方法 出席状況 / Attendance 40 % リアクションペーパー / Reaction papers 30 % 授業内での議論への貢献等の平常点 / Class participation 30 %</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51406	A	保型関数入門	松本 久義	数理科学研究科	月5	2	シラバス参照	1年 理科 2年 理科
<p>目標概要 保型関数はもともと、ガウス、フックス、クライン、ポアンカレらの微分方程式の研究で見出された特殊関数であるが、数論とも深く関連しており例えばフェルマー予想の解決においても重要な役割を果たした。また幾何学、数理物理など数学の広い分野にわたって現れる重要な関数でもある。</p> <p>このセミナーでは保型関数・保型形式に対して基本的な内容を講義する。</p> <p>この講義は、数学あるいは数理物理学の研究者を目指している学生を対象としているので一年の解析学程度の知識に加え、複素関数論の初歩(コーシーの積分定理、偏角の原理あたりまで)を予備知識として仮定する。ただし、講義内で何を勉強したらよいか指示するので、意欲のある学生なら並行して学習すれば何とかなるかもしれない。</p> <p>※数理科学研究科棟 122教室にて開講する。</p> <p>評価方法 レポートによる。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>								
51431	A	海と大気と生命の科学 —大気海洋研究所の 先端研究から	永田 俊	大気海洋研究所	月5	2	155	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 人工衛星から撮影された夜の地表の画像は、「現代の地球環境の姿」を如実に表しています。これをみると、日本を含め世界の都市部がいかにも多くのエネルギーを使っているかよくわかります。先進国では、原始のヒトが生きていくのに必要なエネルギーの100倍以上も一人一人が消費しています。人口増とあいまって全世界の消費エネルギー量が爆発的に増大し、「地球環境問題」が生じました。現在、人為起源の二酸化炭素の放出が自然の変動幅を超え、急激な環境変化や異常気象、さらには生態系の異変や生物多様性の喪失が懸念されています。大気海洋科学はこうした問題に正面から取り組む分野です。本ゼミナールでは、大気海洋研究所で行っている幅広い研究の中から興味深いトピックスを集めました。地球と人類の未来を左右する気候や海洋、そして海の生き物や生態系について理解を深めることにより、地球環境と我々の将来について考えるきっかけを提供します。</p> <p>評価方法 講義の中で行う演習の提出と、全体を通したレポート課題の提出による。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>								
51460	A	科学としての政策立案 入門	瀧本 哲史	学生による全学自由 研究ゼミナール	月5	2	158	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 【目的】 近年、米国や英国と同様に、日本においても「実証結果に基づく政策立案 (EBPM=Evidence Based Policy Making)」を取り入れようという動きが活発になっている。</p> <p>実際に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2017」でもEBPM推進体制の構築やEBPMに基づく議論と検討を予算編成に反映させる方針が示された。しかしながら、EBPMを支える専門的知識を十分に持つ人材不足が問題になっている。そこで、EBPMを支える科学的分析手法の初歩を学ぶと同時に、政策形成の最前線で活躍している講師をお招きし、政策形成の現場を知ることを目的とする。</p> <p>【概要】</p> <p>① 科学的分析に基づく政策形成の基本的なスキルを、講義と演習を通して学ぶ。</p> <p>② 様々な分野で最先端の政策形成に関わる講師をお招きし、現在議論されている課題やこれから求められる能力について学ぶ。EBPMは昨今の政策マーケットでの流行りでもあり、未来の政策決定に携わるであろう東京大学の学生たちにEBPMの基本的な考え方を授業という形式で提供したいと考えている。</p> <p>瀧本ゼミ政策分析パートでは、学生自らが実際にEBPMを実現した団体でもあり、学生によるロビイングによって、千葉県にAEDの設置基準に関する条例を制定した実績もある。</p> <p>評価方法 授業を踏まえて自分で具体的な政策をアウトプットとしたレポートを提出し、これと授業中の発言を加味して評価する。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。</p> <p>書名 : 政策リサーチ入門—仮説検証による問題解決の技法</p> <p>著者(訳者) : 伊藤 修一郎</p> <p>出版社 : 東京大学出版会</p> <p>ISBN : 413032215X</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51415	A	実践的プログラミング	金子 知適 福田 玄明	教養学部(前期課程) 情報・図形	月6	2	E38	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 プログラミングによる問題解決では、与えられた問題に対して、計算時間を見積りながら適切なアルゴリズムを考えることと、それをプログラムとして実現することの両方が必要となる。本授業では「国際大学対抗プログラミングコンテスト」などに出題された問題を題材として、アルゴリズムを考えてプログラムを作る能力を実践的に養うことを目指す。</p> <p>プログラミングの経験を受講の前提とする。</p> <p>評価方法 演習問題の解答状況およびゼミへの参加状況によって評価する</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								
51414	A	アクティブラーニングによるWebプログラミング実習	吉田 壘 星埜 守之	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	火2	2	E26	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 【概要】 本授業は、知識0の人でもWebプログラミングができるようになることを目的とし、第1部「Webプログラミングの基礎体力づくり」、第2部「Webサービスの開発」と2部構成で設計しています。 第1部では、HTML、CSS、JavaScript、Ruby on Rails に関する基礎・応用を学びます。 第2部では、チームを作って実際にWebサービスを開発します（1人で開発することを選んでも問題ありません）。そして、最終的にそのWebサービスをデモも含めた形で発表します。</p> <p>【授業の進め方】 ・第1部「Webプログラミングの基礎体力づくり」 多くの事項を学んでもらう必要があるため、基本的に第2回～第8回には事前課題があります。授業中は、事前課題に関する復習やフィードバック、グループワークを通じた授業内容の理解やプログラミングを行います。そのため、授業外学習が多くなることを理解した上で履修してください。</p> <p>・第2部「Webサービスの開発」 第1部で学んだことを参考に、自分があったら良いと思うWebサービスを自分の力で開発します。ここで、授業中に2～3人のチームを組む機会を設けるため、チームでの開発も可能です。1人で開発したい場合は、そうしてもらっても構いません。そして、開発したWebサービスを発表してもらいます。</p> <p>【授業スケジュール】 第1回 ガイダンス、環境整備、HTML 第2回 CSS、JavaScript（基礎） 第3回 JavaScript（応用）、Ruby 第4回 Ruby on Rails（基礎①） 第5回 Ruby on Rails（基礎②） 第6回 Ruby on Rails（応用①） 第7回 Ruby on Rails（応用②） 第8回 Webサービスの作り方、Webサービスの検討 第9回 チーム決め、Web サービス開発 第10回 Web サービス開発 第11回 Web サービス開発 第12回 Web サービス開発 第13回 最終発表</p> <p>【補足】 ・この授業では、受講生が互いに学べることが多いと考えるため、ペアワークやグループワークで学ぶ機会を多くつくります。 ・授業外学習が多くなるため、それを理解した上で履修してください。 ・本授業は、教養教育高度化機構アクティブラーニング部門特任助教の吉田壘も担当します。</p> <p>評価方法 授業への出席、課題の提出状況、中間発表、最終発表をふまえて、総合的に評価します。</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51396	A	言語データ解析演習 一身の回りにあること ばを分析し、知識を発 見するー	椿本 弥生	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	火2	2	K201	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要

【目的】

世の中のデータを大まかに2種類に分けると、数量的データと非数量的データに大別できます。どちらのデータも正しく分析できれば、意思決定のための強力な武器になります。しかしながら、数量的データに比べて、非数量的データの分析について学ぶ機会はあまり多くありません。

この講義では、非数量的データ、すなわち言語データの分析と解釈の方法を学び、みなさんが実際に分析を行います。言語データから知識を発見し意思決定を行う一連のプロセスを体験しましょう。なお、言語データは、実社会にあふれる生のデータを収集し利用します。ゆえに、分析は一筋縄ではいかないかもしれませんが、それも含めて体験してください。

この講義によって、あなたは「分析可能なデータ」として「言葉」をみるための視点を身につけ、言語分析の可能性と限界の一端を知ることができるでしょう。この講義が、あなたにとっての「言語」という概念の解像度を向上させるために役立つことを願っています。一緒に言語データの海に飛びこんでみませんか？

【目標】

以上の目的を達成するために、以下の学習目標を設定します。

- ・言語分析の手法を説明できる
- ・学んだ分析手法を使って言語データを分析できる
- ・分析結果を正しく読み取り、妥当な解釈ができる
- ・グループワークに貢献できる

評価方法

学習目標に関する以下の重要な活動について採点し、最終的な合計点を成績とします。

- a) グループ発表 (20点×2回の40点満点)
- b) 個人での最終レポート (40点満点)
- c) 講義中の活動への参加 (20点・10点・0点の3段階で評価)

注1) 単位取得のためには、i) a～cの全てで60%以上得点していること、ii) 講義に2/3以上出席していること、の両方を満たすことが必要です。

注2) 採点基準(ルーブリック)は、講義中に示します。なお、ルーブリックを作成するために、課題の仮提出を求める場合があります。

教科書

教科書は使用しない。

ガイダンス

第一回授業日に行う。

51398	A1	教養としての芸術学 ～外に向かうと内が うかぶ・内が見えたら 外が見える	岡本 佳子 真船 文隆	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	火2, 金2	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
-------	----	---	----------------	-------------------------	--------	---	------------	----------------------

目標概要

【授業の概要】

本授業は創作体験を通して芸術を実践と座学の両面から学び、実社会における想像力や物事を把握するための新しい回路をひらくことを目的としています。その取り掛かりとして、まずは外に目を向けて興味を持つことから始めます。自分がどこに関心を向けているのかを客観的に捉えることが自己を知ることにつながり、その発見がさらに外に向かう表現や語りにつながる、そのような内と外の行き来を、この授業で言語/非言語の両方から体験・考察します。

実施にあたり第一線で活躍する学外のゲスト講師を招聘します。演劇と音楽を中心に創作やディスカッションを含めたワークショップを行い、最終的にはチームないし個人で作品を制作して発表する場を設けます。発表会の日程は11月9日(金)を予定していますので注意してください。

詳細はウェブサイト (<http://www.sr.komex.c.u-tokyo.ac.jp/>) を確認し、初回ガイダンスに参加してください。参考文献のうち『意識と本質』は必読としますので、参加希望者は授業前に予習してくることを推奨します。(UTASシラバス参照)

演劇ゲスト講師：西尾 佳織 (Kaori Nishio)

劇作家、演出家、鳥公園主宰。幼少期をマレーシアで過ごす。東大表象文化論卒業、東京芸大芸術環境創造科修了。2007年に鳥公園を結成以来、全作品の脚本・演出を担当。「正しさ」から外れながらも確かに存在するものたちに、少しトボけた角度から、柔らかな光を当てようと試みている。

音楽ゲスト講師：野口 桃江 (Momoko Noguchi)

桐朋学園大学音楽学部 作曲理論学科卒業。同大学研究科修了。仏リヨン国立高等音楽院にて電子音響とオーケストレーションを学んだ後、蘭デン・ハーグ王立音楽院 ArtScience 学科修士課程修了。現代音楽をベースに、光、映像、センサー等を用いた実験的な作品制作や即興演奏パフォーマンスを各所で行っている。

開講場所 コミュニケーションプラザ北館音楽実習室および舞台芸術実習室

評価方法

全ての授業への出席を前提に、ワークショップへの貢献度(途中での課題提出を含む)、成果発表、レポートの内容により総合的に判定します。

教科書

教科書は使用しない。

ガイダンス

第一回授業日に行う。コミュニケーションプラザ北館舞台芸術実習室。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51391	A	作曲・指揮	伊東 乾	情報学環	火5	2	学際交流 ホール	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 指揮：ブルーーズ=伊東=エトヴェーシュのアンギュラーダイナミクスの実技 作曲：セメスターごとに参加者と相談して内容を決めている。 毎学期、ゼミ合宿への参加を単位要件としている。合宿は準備からすべて学生で行い、芸大生など演奏者との交渉も重要なカリキュラムの一部に位置付けているので、不参加の場合は理由のいかんを問わず単位は発給しない。</p> <p>評価方法 平常点とレポート</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								
51407	A	織田信長に関する史料 を読む	金子 拓	史料編纂所	火5	2	116	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 歴史学の研究をするうえでの基礎は、課題に関する先行研究をおさえ、史料をできるかぎり正確に読むことにあります。この講義では、日本史のなかでもとくに著名な人物である織田信長についての重要史料である『信長記』（信長公記）をテキストとして、本文を読み、理解することを通し、歴史学（日本史学）としての文献の調べ方、史料の調べ方の基礎を身につけるとともに、歴史の解釈のあり方について学んでゆこうと思います。</p> <p>評価方法 それぞれ担当部分の報告を全うしたかどうかという必要条件のうえで、報告内容（レジュメをレポートがわりとします）、出席状況も加味して評価します。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								
51471	A	障害者のリアルに迫る	熊谷 晋一郎	学生による全学自由 研究ゼミナール	火5	2	K303	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 障害をもつ当事者や、障害問題に関わる実践家や専門家など、多彩なゲストの語りを聞き、対話を重ねる中で、障害および人間についての深い理解を目指す。</p> <p>評価方法 リアクションペーパーを12回の授業中10回出し、その内容を踏まえて成績を判断する</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>								
51401	A	実験を通して学ぶ科学 の考え方	松本 悠	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	水2	2	K501	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 理系の学生はAセメスターから基礎実験が始まります。とても重要な授業ですが、現段階ではとにかく指定された実験をこなすだけで精一杯なのではないでしょうか？ この授業では、いくつかの基礎物理学実験のテーマを改めて取り上げ、どのような観点で実験を進めていくべきであるのか、科学的思考を鍛えるという本質と照らし合わせて検討します。そして、同じ実験機器を独自の実験目的で利用し、基礎実験がどのように研究活動に応用されていくのかを、体験してもらいたいと思っています。</p> <p>評価方法 出席点を基本とします。その上に、題材への取組姿勢や、グループワークへの積極性、プレゼンテーションおよびレポートの内容を評価に加えます。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51423	A	アクティブラーニングで学ぶリーダーシップ	星 埜 守之 伊勢坊 綾 吉田 壘	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	水3	2	KALS	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 【概要】 「リーダーシップ」は、天賦の才に恵まれた、一部の特別な人が持つものだと思いませんか？国の党首や企業の経営者といった地位から生じるものだと思いませんか？ 本授業では、「リーダーシップ」とは、上記のような考えではなく、ある個人が他者の考え、態度、行動に影響を与える過程と捉え、全ての人が獲得可能で、発揮可能なものであると考えます。</p> <p>本授業は、組織や集団で発揮するリーダーシップについての理解を深め、それぞれの組織でリーダーシップを発揮できる土台づくりを行うことを目的としています。そのために、まず、リーダーシップに関する様々な定義や、リーダーシップ研究の歴史の変遷や理論について学びます。次に、リーダーシップの発揮に必要な手法を学びます。さらに、ケーススタディや自らのリーダーシップ経験を題材に、個人で考えたものをグループでディスカッションし、コメントし合う等、アクティブラーニングの手法を用いた授業の中で、リーダーシップについて考えます。本授業を通じて、属するグループや組織、コミュニティでどのようにリーダーシップを発揮し、またそれを伸ばしていくのかについての見通しをもつことを目指します。</p> <p>【想定される受講者像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身のリーダーシップについて、自信がない方 ・リーダーシップの発揮に関心のある方 ・リーダーシップの発揮において、成功体験や失敗経験のある方 <p>【補足】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本授業は、教養教育高度化機構アクティブラーニング部門特任助教の伊勢坊綾・吉田壘が主担当を務めます。 ・少人数で理解を深めていくことを目的とするため、履修者を15名程度とします。履修希望者が多い場合は、第1回目の授業でセレクションについて説明します。 <p>評価方法 授業への出席、課題の提出状況、最終レポートをふまえて、総合的に評価します。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								
51430	A	文化人類学入門	藏本 龍介	東洋文化研究所	水3	2	518	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 文化人類学とは、人間の生き方を対象とした学問である。この授業では、人間の生活を取り巻く様々な事象について、文化人類学的な視点から読み解いていく。</p> <p>評価方法 期末レポート (50%)、発表 (30%)、授業への参加度 (20%)</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								
51372	A 1	植物はどう生きるか—植物と栄養との関わり	藤原 徹	農学部	水5	1	515	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 地球上の生態系は植物抜きでは成り立たない。植物の成長には例外なく無機栄養を吸収する必要がある。植物の無機栄養の吸収は植物の生育を促進し人類に恵みをもたらす一方で、物質の移動をもたらす環境に大きな影響を与える。人類の活動がさらにその影響を大きくしている。本講義では植物と栄養の関わりを多様な観点から考え、人類の活動が、植物の持つ特性によって恩恵を受けるとともに、制限もされていることを理解するとともに、それらを踏まえて将来の展望について議論する。</p> <p>評価方法 出席とレポートによって評価する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51368	A	文学入門：本屋さんで売っている文庫本で古今東西の文学を実際に読んでみる	吉国 浩哉	教養学部	水5	2	517	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 そろそろ大学の授業にも慣れてきた(=こんな程度かと失望したり、飽きてきたりしてきた)人々に、オースティン、ディケンズ、フロベール、ドストエフスキーなど(それなりに有名な)文学作品を実際に読む機会を提供することがこの授業を開講する目的です。様々な言語で書かれた様々な作品を日本語訳でできるだけ多く読みます。古今東西これまでの人類の歴史の中で世界中のさまざまな場所で書かれたとても有名な文学作品をできるだけたくさん読むことによって世界標準の教養を身につける・・・ということを最終的な目標として掲げはするがそれは大変すぎるのでとりあえず入手しやすい文庫本でお手軽に読むことでまずは受験勉強で破壊された脳細胞のリハビリを行いつつ「文学」なるものにちょっとだけ入門してみるような授業です。</p> <p>授業で扱う予定の長編小説は以下の通りです。 オースティン『高慢と偏見』 フロベール『ボヴァリー夫人』 ディケンズ『デヴィッド・カパーフィールド』 ドストエフスキー『白痴』</p> <p>以上四編の小説をおおむね一ヶ月に一作品のペースで読みます。それに加えて、ソフォクレス、ゲーテ、シェークスピアによる戯曲、メルヴィル、ジェームズ、漱石、魯迅、カフカによる中短篇も読む予定です。</p> <p>授業の形式は、教員が詳細な作品解説をするような講義ではなく(最低限の情報提供は行いますが)、学生による発表とディスカッションを中心とします。そのことによって、ただひたすらに本を読むことに加えて、文学作品について自分の言葉で語る(そして書く)方法も学びます。</p> <p>何はともあれ、これらの「有名な」作品は、普通の意味で面白いです(だから今まで読み継がれてきました)。古い作品なので敬遠されがちですが、だまされたと思って読んでみてください。映画、ドラマ、マンガ、ゲームよりもさらに一歩、人間と人間社会の暗部(=リアル)に踏み込んだ物語を読んでみたいと思う人にはお勧めです。</p> <p>文学「入門」の授業ではありますが、人文学の学問を専門とする大学院進学を考えている学生の履修も歓迎します。というよりも、高校までの日本の学校では人文学の教育はあまり行われていないので、今から入門しても人文学のエキスパートとなることは十分に可能です。人文学に関しては、入門は同時に専門家養成でもあります。</p> <p>評価方法 発表、小レポート、ディスカッション、期末レポートなどを総合的に評価する。欠席4回以上で期末レポートを提出する権利を失う。</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>								
51403	A	哲学史を哲学する (ハイデガーとカントなどの近代ドイツ哲学を中心に)	景山 洋平	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	水5	2	K302	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 本授業は、ハイデガーを中心にすえて、現象学における哲学史研究を概観する。現象学の課題は当事者視点からの経験構造の記述である。一見すると、これは過去の哲学の理解と直接に関わらないと思われるかもしれない。だが、我々が居あわせる世界は我々に先だって存在した哲学的思考のさまざまな可能性に充たされている。そこで、今日の思考可能性の広がり理解するためにこそ、世界と自己のありかたについて個性的なグランドデザインを示した過去の哲学について、「それはどのようなことか」と我々自身の視点から内面的に理解しなければならない。ガダマーなら「地平の融合」と呼ぶであろうこの課題の一端をクラス全体で共に検討することが本授業の目的である。</p> <p>具体的には、20世紀を代表する個性的なカント解釈であるハイデガーの『カントと形而上学の問題』(1929)の主要箇所を講読から始める。これにより、今日の現象学の立場から近代ドイツ哲学の古典を解釈するための基本的枠組について学ぶ。これを基にして、つづけてヘーゲルとニーチェをとりあげる。最後に、ハイデガーを発展的に継承した戦後フランス哲学の哲学史研究(マリオン、クルティエスなど)を明快に概観したラスロ・テンゲイの『世界と無限』(2014)をとりあげて、アリストテレスなどの古代哲学やドゥッス・スコトゥスやデカルトなどの中世・近世哲学にたいする取り組みも紹介する。これらの課題を通じて、現代の立場から哲学史上の古典と対話する可能性を学ぶとともに、西洋哲学史の基礎知識を習得することも目指す。</p> <p>評価方法 講読発表と期末レポートで評価する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51332	A	現代生物学研究の 独創と創造	堀越 正美	定量生命科学研究所	水5	2	150	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 現代の学生は将来、自分が研究者、科学者としてどのように人生を生きていくのか、研究の独創や創造はどのように生み出されるのか、また、論理的に考えるとどういったことなのか等について、まったくと言ってよいほど力を身につけていない。そのような状況を踏まえ、教養学部の中から将来を考える志の高い学生に対して、現代生物学研究の現状や研究者のあり方について考える機会を設けたい。</p> <p>東京大学の授業の中では、異色な授業と言われている。考える力を身につけるにはどうしたらよいかと考えている学生、将来、科学者や研究者を目指したい学生、自分の考えを述べ議論するような授業に参加したい人に勧める。</p> <p>評価方法 出席</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								
51478	A	国際化を読み解く ゼミナール	須田 洋平	学生による全学自由 研究ゼミナール	水5	2	117	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 グローバリゼーションが加速する世界の中で、日本を取り巻く国際情勢もまた絶えず変化している。本ゼミでは、特に日本やその周辺国の国際関係に関する具体的な課題に焦点を当て、講師によるレクチャーとゼミ生同士での議論を中心とした学びの中で見識を深めながら、最終的には日本という国が今後目指すべき方向性について考察していく。</p> <p>評価方法 講義における講師との対話及びゼミ生同士のディスカッションへの参加態様（積極性及び内容）、グループプレゼンテーション並びにレポートにより評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								
51381	A	伊豆に学ぶプラス 「感じる・考える・行動 する」サイクルの発動	鴨田 重裕	農学部	木1	2	150	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 この講義の最大の目標は、伊豆ゼミ運営に関わる学生スタッフの育成と組織化である。学生スタッフとは一ゼミ生でありながら、伊豆ゼミをよく理解するファシリテーターとしてゼミにおいて自律的に活躍してゼミの目指すべき方向性を示す、伊豆ゼミの中核となる存在である。</p> <p>さて、近年「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」が制定されるなど環境教育の重要性は社会的認知度を増した。実際、「持続可能な社会の実現」というキーワードを意識せずには将来を考えられない状況にある。しかし、環境教育の実態は、初等・中等教育において「完了」しているかのような風潮ではあるまいか。法が謳うように、環境保全活動及び環境教育を自ら進んで行うような流れになっているだろうか。</p> <p>環境教育が重要だとされるが、その真意はなかなか学生の皆さんには伝わりにくいのではないかと。もしかすると伊豆ゼミは、その伝わり難い部分を少しだけでも補えるのではなかろうか。これまでに受けて来た環境教育は、おそらく大学受験ではほとんど役に立たなかったと思われる。受験で役に立たなかったことを、社会に出てからも役に立たないことだと思い込んでいる節はなかろうか。「環境保全の意欲」が低いのは、身につまされる経験がなければ致し方ないことかも知れない。真に社会の役に立つ人材となるために、そんな誤解は早々に解くがよろしかろう。</p> <p>「伊豆に学ぶ」シリーズでは、環境の問題、景観の問題、獣害の問題など身近な森林が抱える様々な問題を意識化するために、現地に足を運び、伊豆半島に特徴的な事象観察を行い、また、実体験を交えて自分の五感で体験学習した。受講者は色々なことを気付ける自分に気付くという思いがけない体験をしたと思う。そもそも学びとは一体何なのだろうかと、少し自問する気分も生じたのではあるまいか。また、同じ体験をしながらも、自分とは違った見方、感じ方で捉える同世代の大きな存在も強く意識したに違いない。伊豆ゼミは、高い志と低い垣根の両立を目指して丁寧に組み上げ、何よりも「感じる」ことを大事にした。正味4日程の短い間に、様々な「つながり」を感じられる仕掛けに仕上げたつもりである。</p> <p>本講義「伊豆に学ぶプラス」は、伊豆ゼミの果実を確かなものにするを大きな目標とし、真剣に考え・顧みて、議論することを大切に。最近の若者を支配する「空気を讀」まなければならぬ雰囲気には、異を唱えたい。和して同せず。色々な背景を背負った受講生同士が異なる意見を吐露し合い、むしろ意見が違っても大切に思っている根っここの部分が同じであったり共通性があったりすることに気付くこと、そういう仲間存在のありがたさを知ることを実現する「場」としたい。受講生同士のつながりから、己と社会のつながりをいかに構築していくかを模索し、社会の一員として環境保全に取り組むべきと強く意識できることを期待したい。学生が主体となり、自由に学ぶ「場」を提供すること、それが全ての伊豆に学ぶシリーズに共通する理念である。総合大学ならではの面白さを追求したいと考えている。</p> <p>※このゼミは9月27日(木)18時40分～19時45分に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。</p> <p>評価方法 授業態度、取組姿勢を重視し、プレゼンテーションとファシリテーションの質を評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51397	A 1	図書館の学び・活用・提案①	岡本 佳子 真船 文隆	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	木4	1	K201	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 「図書館の学び・活用・提案」(通称「こまとちゃんゼミナール」)は、教養学部生のホームライブラリーとなる駒場図書館の使い方を身に付け、大学の学習や研究に役立てるとともに、図書館と学生の協働や学びのあり方について考える授業です。担当教員による授業進行を中心に、駒場図書館からの協力を得て実施します。</p> <p>A1ターム実施分「図書館の学び・活用・提案①」では、大学図書館をよりよく利用するための実習を行います。具体的には、1. 駒場図書館の概要を知る、2. 学習や研究のための図書館の活用方法(参考図書スペースやレファレンスサービス等)を学ぶ、3. 情報を探するための基本的なデータベースの使い方を実習する(学外GWサービスの利用を含む)、を通して、学内で利用可能なリソースを使いこなすことを目標とします。詳細はWebサイト (http://www.sr.komex.c.u.tokyo.ac.jp/index.html) を参照の上、初回ガイダンスに参加してください。</p> <p>※受講人数を20名程度に制限します ※本授業の受講生はA2ターム実施の「図書館の学び・活用・提案②」への連続履修が望ましいです ※授業内容は受講人数等により変更する可能性があります ※「こまとちゃん」は駒場図書館の公式キャラクターです</p> <p>評価方法 出席状況、授業への貢献度、課題提出状況とその内容から合否判定を行います</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								
60249	A 2	図書館の学び・活用・提案②	岡本 佳子 真船 文隆	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	木4	1	K201	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 「図書館の学び・活用・提案」(通称「こまとちゃんゼミナール」)は、教養学部生のホームライブラリーとなる駒場図書館の使い方を身に付け、大学の学習や研究に役立てるとともに、図書館と学生の協働や学びのあり方について考える授業です。担当教員による授業進行を中心に、駒場図書館からの協力を得て実施します。</p> <p>A2ターム実施分「図書館の学び・活用・提案②」では、A1ターム授業内容を踏まえて今後の駒場図書館について調査・発信・提案する実習を行います。具体的にはビブリオバトル実施(予定)のほか、チームでテーマを決めて学内外の図書館に関する調査を行います。最終的には駒場図書館の紹介や「2期棟計画」も含めた将来の駒場図書館構想を提案するパネル展示を行い、発表をします。</p> <p>そのほか授業内外(授業外実施の場合は希望者のみ)にて、駒場図書館のバックヤード見学、学外図書館の見学を予定しています。詳細はWebサイト (http://www.sr.komex.c.u.tokyo.ac.jp/index.html) を参照の上、ガイダンスに参加してください。ガイダンスは9月27日(木)4限の「図書館の学び・活用・提案①」の第1回授業日と11月29日(木)4限の「図書館の学び・活用・提案②」第1回授業日、あわせて2回行います。</p> <p>※受講人数を20名程度に制限します ※本授業の受講希望者は「図書館の学び・活用・提案①」が受講済みであることが望ましいです ※授業内容は受講人数等により変更する可能性があります ※「こまとちゃん」は駒場図書館の公式キャラクターです</p> <p>評価方法 出席状況とグループワークへの貢献度、課題の提出状況とその内容で合否判定を行います</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特定日に行う。 2018年9月27日4限「図書館の学び・活用・提案①」と合同及び第一回授業日に行う。</p>								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51402	A	「茶わんの湯」から最新の科学を考える	鹿島 勲	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	木4	2	K113	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要

普段は特別に意識しない、なんの変哲もない茶わんと湯であっても、よくよく観察することで様々な系に共通する普遍的な構造や法則および最新の知見と関係していることが見えてくる。オムニバス形式で行う本ゼミは、物理学者・寺田寅彦の名随筆「茶わんの湯」の追体験に加え、茶わん（陶磁器）やお茶に関連する講義を随所の実験・体験を組み込んで水平展開して進んでいく。寺田寅彦の思考、領域を横断する研究、独創的な研究、実社会問題の発見や解決と密接に関係する研究とはどんなものか問いかける講義もある。あらゆる先入観・偏見から解き放たれ、学問領域を自由に往来して、さまざまな視点・観点から知の獲得と思考のトレーニングをする機会を「茶わんの湯」を通じて提供する。

【講義予定】（順不同・敬称略）

「茶碗の湯から最先端高機能性ナノ粒子の開発へ」

村松 淳司

東北大学多元物質科学研究 所長

「破壊に見る記憶」

中原 明生

日本大学理工学部・一般教育教室（物理）

「茶碗と科学」

左合 澄人

株式会社ノリタケカンパニーリミテド

「お茶にまつわる話」

提坂 裕子*

衣笠 仁**

佐藤 晃平**

*株式会社伊藤園 顧問、**株式会社伊藤園 中央研究所

「茶わんの湯から考える五感と自分」

鳴海 拓志

東京大学大学院情報理工学系研究科 知能機械情報学専攻

「寺田寅彦と複雑系の科学」

松下 貢

中央大学 理工学部 名誉教授

「お茶のなかの分子世界：はたらく分子・みえる分子」

原野 幸治

東京大学総括プロジェクト機構「革新分子技術」総括寄付講座 大学院理学系研究科化学専攻（兼務）

「味を感じる仕組み」

石丸 喜朗

明治大学 農学部 農芸化学科 食品機能化学研究室

「茶の色から考える光合成色素」

増田 建

東京大学大学院総合文化研究科 広域科学専攻広域システム科学系 増田建研究室

「茶わんの湯と大気科学」

三浦 裕亮

東京大学大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻 大気海洋科学講座

「生き物の「形」を作る逆折り紙メカニズム」

近藤 滋

大阪大学 大学院生命科学系研究科 時空生物学講座

「液滴の魔術①：ニュートンの虹と現代光科学」・「液滴の魔術②：ウィルソンの霧箱と放射線科学」

鳥井 寿夫

東京大学大学院総合文化研究科 広域科学専攻 相関基礎科学系

評価方法

①出欠カード兼感想・質問カードの提出、②最終レポートの提出により評価する。成績評価方法の詳細は、第1回目のガイダンスにて説明し、まとめを関連ホームページに掲載する。履修希望者は必ず確認すること。感想・質問カードおよび、レポートは書籍・ホームページ等で公開する予定がある。

教科書

教科書は使用しない。

ガイダンス

第一回授業日に行う。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51408	A 1	国連とインクルージョン	井筒 節	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	木4	1	K402	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 国連で、193カ国の首脳によって採択された「持続可能な開発目標 (SDGs)」(2015)。SDGsは、2016年から2030年までの国際の優先事項を定めたもので、「誰一人取り残さない(Leaving no one behind)」こと、すなわち「インクルージョン」をコア概念としている。国連では、女性、子供、移民・難民・国内避難民、先住民・少数民族、障害者、高齢者、LGBT等のインクルージョンが重点課題とされている。偏見や差別により周辺化された人々は、身体的・性的暴力や殺人を含む人権侵害、貧困をはじめとする様々な開発上の困難に曝されることが多い。また、国際社会においては、障害、LGBT、精神保健等、テーマ自体が周辺化されることもある。</p> <p>2018年度A1タームでは、世界人口の15%を占める「障害者のインクルージョン」をテーマとする。SDGsでは7つのターゲットが障害に関する指標を含んでおり、今後の開発・人権を考える上では、障害者のインクルージョンやアクセシビリティの視点は欠かせない。中でも、精神障害・知的障害は目に見えにくく、スティグマや偏見も強いいため、周辺化されやすい。開発途上国では、精神・知的障害者に対する殺人や暴力等が多く見られる他、閉鎖施設等で鎖に繋がれる等、重篤な人権侵害が後をたたない。一方で、4人に1人が精神疾患を経験し、OECDによると精神疾患による経済的コストはGDPの4%以上である。また、世界銀行とWHOは、精神保健に対する1ドルの投資は、3ドルの利益を生むとしている。</p> <p>国連では、2006年に障害者権利条約が採択され、批准国においては精神・知的障害も含む障害者のインクルージョンが法的義務となった他、SDGsや仙台防災枠組にも障害に関する文言が含まれた。しかし、これらの実施をめぐることは、差別的態度を含む社会的障壁、身体拘束や強制入院、重度の障害や認知症を持っている人々の意思決定や社会参加、精神障害者や知的障害者のアクセシビリティの確保方法等をめぐり難しい課題が多い。</p> <p>本講義では、国連機関職員や当事者を含む講師から現場の状況を学びつつ、学生間の討議や調査を行い、障害者の権利をめぐる国際社会の新しい解決策を考える。また、これを通して、国連の実際およびインクルージョンについて学ぶことを目的とする。</p> <p>評価方法 授業への参加と課題 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								
51384	A	災害復興と法・社会	米村 滋人	法学部	木5	2	117	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 日本は世界有数の災害大国であり、地震・津波・火山噴火・台風・集中豪雨等による被害が頻繁に発生している。災害の発生後に問題となるのが、被災者・被災地域の復興である。復興支援は行政（政府や関係自治体）によっても担われるが、近年は、ボランティア活動や各種非営利活動等の民間の支援活動が重要な役割を担っている。この授業では、東日本大震災や熊本地震などの事例を素材として、災害復興の現状と課題を知り、復興に向けた活動の意義やそのあり方を考えることを目的とする。同時に、われわれ自身が有意義な復興支援に従事するためにはどうすれば良いかについても、議論を交わしたい。</p> <p>評価方法 平常点とレポートによる。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51360	A	建築構造デザイン入門 (Introduction of Structural Design)	高田 毅士	工学部	木5	2	102	1年 理科
<p>目標概要 魅力ある建築空間を実現可能としている建築構造デザインに焦点を当てた体験的講義。建築構造デザインにおける、使用材料の特性の把握、各種荷重の評価、建設方法の工夫を通じて、それらがどのように関連し建物がデザインされるのか、視覚的、直感的にわかりやすく紹介する。講義形式を中心とするが、さらに、建築学科研究室訪問ツアー、都内の有名建築を実体験するツアーを企画するとともに、コンピュータを用いたバーチャル・ブリッジデザインコンテストを実施したり、簡単な力学模型を学生に製作してもらい、それを用いて構造実験コンテストを実施し、「構造力学のしくみ」を自ら体験してもらおう。建築に興味ある学生、ものづくりに興味ある学生、建築設計の背後にある力学に興味のある学生、将来、建築学科に進学希望の学生はぜひ受講してもらいたい。</p> <p>評価方法 ふたつの構造コンテストの参加を必須条件とする</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								
51355	A 1	スペキュラティブ・デザイン	川原 圭博	工学部	木5, 木6	2	K301	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 文明の発達と人類の幸福は必ずしもイコールではありません。アートとデザインと科学技術によって世界はどのように変化するのか、したいのか？何をもって幸福なのか？そもそも私たちの存在する目的は幸福になることなのか？このような根本的な問いから始まるアートからデザイン、社会実装までを網羅する授業です。</p> <p>アート、デザイン、プロトタイピング制作に関する色々な知識や技術について老人問題、貧困問題、戦争問題、ジェンダー問題、食料問題、環境問題、病気障碍問題等、社会問題にまつわるアート、デザイン作品等の講義とディスカッションを行います。</p> <p>最後の講義で課題の発表を計画しています。「2030年の革命家」として様々な国に振り分け、歴史&未来予測リサーチをしてもらい、どのような問題をどう解決するか作品やプレゼン、パフォーマンスにして発表してもらいます。</p> <p>※このゼミは9月25日(火)6限 (18:45~) に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p> <p>評価方法 出席と最終発表</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特定日に行う。 2018年9月25日6限 全学ゼミ工学部合同説明会</p>								
51529	A	古典落語から知る江戸の自然・文化	石橋 整司 露木 聡	農学部	木5	2	518	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 古典落語は江戸時代に発展した庶民の娯楽であり、その中で描かれる情景は江戸庶民の生活ぶりや江戸時代の風俗を反映している。いいかえれば、現代の東京の姿からはわからない当時の自然や文化、生活を知ることができる。本ゼミでは、古典落語の中に出てくる江戸の自然や文化に関する描写をきっかけとして当時の江戸庶民が生活していた自然環境や生活の中に息づいていた文化を知ることが目的としている。</p> <p>9月27日開講</p> <p>毎週の講義では、実際の古典落語の内容にまつわるテーマについて担当者が事前に調査を行い発表する形式で講義を進める。また、10月から12月まで毎月1回ずつ土曜日ないし日曜日に学外での集中講義を行う。</p> <p>詳しい講義の進め方、内容、講義日と休講日、集中講義の内容等については第1回の講義の際に説明する。</p> <p>※履修人数制限 15名</p> <p>評価方法 出席点とレポートの評価で行う。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51404	A	哲学の問いをはじめ：ハイデガー『存在と時間』を手引として	景山 洋平	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	木5	2	K302	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 本授業では、ハイデガー『存在と時間』序論を「問い(Frage)」のモチーフに着目して読解する。これにより、ハイデガー以後の人間論の系譜を踏まえつつ、現象学的存在論の人間観の射程を再評価する。この作業を通じて、哲学的に問いを立てるとはどういうことか、そして、問いを立てる過程そのものが事象にどのような影響を与えるか、について全員で検討してゆく。</p> <p>周知のとおり、『存在と時間』本論の主題は現存在（人間）の実存論的分析であり、これにより存在一般の意味の問いへの基礎が構築される。こうした議論構造は、ハイデガーの存在論的な人間中心主義として後の著作で反復され、批判の対象となった。だが、同書の序論は現存在に先だって存在一般を問うており、しかも、実際に立てられるかまったく不確かなこの「問い」を多角的に素描する中で、現存在を主題として顕在化させる。フーコーの表現を借りると、現存在は「問い」の重層的な「権力」において創造されるのである。本講義では、序論のこうした諸論点とその布置を第一節から順に検討するが、その際、初期から後期にいたるハイデガー哲学の全体と、また、現代哲学とハイデガーの対話の成果も、読解の地平として紹介してゆく。この作業を通じて、ハイデガーが表明的に展開した実存論的分析の根底にある、より射程の広い人間像を取り出したい。なお、序論では現象学的存在論の基本論点が体系的に提示されるので、本講義を現象学の導入授業として受け止めることも可能である。A Semesterでは第六節後半から第八節までを読解し、その後、序論全体の哲学的意義を、デリダやガブリエルのハイデガー批判と照らし合わせながら、検討してゆく。</p> <p>評価方法 学期末のレポートで合否を判定する。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 『存在と時間 (一)』 著者 (訳者) : ハイデガー、マルティン (訳: 熊野純彦) 出版社 : 岩波書店 ISBN : 978-4003365144</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								
51405	A 1	平和のために東大生ができること I	岡田 晃枝	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	木5	1	KALS	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 ソ連崩壊後に誕生した国々の多くはソ連の負の遺産を抱えたままで、それぞれの国内事情や国際環境等に応じた速度と程度で民主化・資本主義化の道を、(前向きであれ後ろ向きであれ) 進んでいる。15か国の道のりは一様でなく、また、平坦ではありえない。</p> <p>この授業では、新興ドナー国として存在感を高めつつあり、また、ソ連時代の核実験被害を背景に核軍縮分野で国際的なリーダーシップを発揮するカザフスタンを取りあげる。とくに国連の持続可能な開発目標 (SDGs) の目標16にてらして、カザフスタンの内政および外交を検討する。</p> <p>*この授業は、A2タームの集中講義として行われる国際研修「平和のために東大生ができること：カザフスタン研修」の事前準備および選抜を兼ねる。カザフスタンへの国際研修に参加したい者は必ず初回ガイダンスに参加し、この授業に履修登録すること。</p> <p>評価方法 授業中に行われる議論へのコミットメント、毎回のミニレポートおよび最終レポート</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60251	A 2	平和のために東大生ができること II	岡田 晃枝	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	木5	1	KALS	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要 戦争を知らないどころか、核戦争に巻き込まれる危険が真剣に議論されていた冷戦すら過去のものとなってから生まれた世代は、戦争体験や被爆証言をどのように受け継いでゆけばよいのか。特定の国民・民族・個人の歴史証言を記録する意味とは何か。そしてそれは世界の平和に寄与するものたりえるのか。このゼミでは軍縮と平和について、感情論に陥らず、イデオロギー色をできるだけ排して、学び合い、語り合う。

Sセメスターから続く取組の一つは世界の博物館で戦争とそれにまつわる記憶がどのように展示されているかを比較検討するものである。

上記以外にも、履修生の関心に合わせて、戦争や平和に関係する新たなプロジェクトを行う予定である。

評価方法 授業への貢献度による

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 第一回授業日に行う。

51334	A	読み破る政治学 -多読・乱読・精読ゼミ-	牧原 出	先端科学技術研究 エンター	木5	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
-------	---	-------------------------	------	------------------	----	---	------------	----------------------

目標概要 今年で6年目となるこのゼミでは、多読、乱読、ときに精読を心がけ、古今東西の政治と政治学に関する本を「読み破る」ことを目標にします。毎週1冊本を読んで短いペーパーを書いて全員が事前にそれを読んだ後ゼミが始まります。ゼミでは、いくつかのペーパーを取り上げて、全学生が意見を言う、質問をする、反論をする、といった議論を繰り返します。もちろん人の意見をじっくり聞くことも大事です。教員はできるだけ議事進行に努めますが、ここぞというときには、それぞれの学生に必要と判断した上で、コメントを出すようにします。学生同士の議論が基本です。そこから何が得られるのでしょうか。まずは自分の考えを徹底して作ってみましょう。その上で他の学生からの質問で驚いたり考えたりすることで、一冊の本に対する多様な理解があることを知ることになるでしょう。集合知としての本に対する理解というものがあることに気づいてほしいと思います。そこから初めて自分の読みが広がるのです。このように自分の読みを深め広げることこそが、これから勉学を深めたり、研究に踏み込んだり、自分の人生を生きぬく力を得ることができるのです。ゼミでは、そのためにいろいろな仕掛けを用意しています。著者同席の回や、「私の勧める一冊」という回もあるでしょう。ブック・トリップ、ラボ・アドヴェンチャーもあるでしょう。すでに多くの修了生がいますが、夏休み・冬休みにはOB・OGも参加する合宿を行います。合宿で何をするかは未定ですが、ここ数年、夏合宿は本の集中的な講読、冬合宿は本に関するドキュメンタリーを製作することが課題でした。

※受講人数：あらかじめ制限はしない。

※開講場所：駒場Ⅱキャンパス・先端科学技術研究センター13号館2Fセミナー室（225号室）

評価方法 出席点

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 第一回授業日に行う。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51479	A	ボカロイド音楽論	鮎川 ばて	学生による全学自由研究ゼミナール	木5	2	学際交流ホール	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 ボカロPで音楽評論家の鮎川ばてと申します。本講義は、現代日本の音楽状況の中でもっとも重要な存在感を示す「ボカロイド (ボカロ)」を用いた音楽群の分析を通して、近年のボカロ流行現象の本質、ひいては音楽自体の本質に迫ろうというものです。</p> <p>講義では、講師がこれまでも強調してきた「永きにわたった人類による“うたの私有”が終わった」ことのインパクトを考えます。それは同時に、既存の音楽論を振り返り、再検討する機会にもなるでしょう。「アンチ・セクシュアル」というキーワードが、講義のひとつの軸になっていきます。</p> <p>最初に「シーンの中で人気を博したのが、ラブソング群ではなかった」という事実に注目します。かつて音楽評論家の湯川れい子さんは「人間は、思春期を迎えるとラブソングを求めるようになる生き物なんです」と語りました。果たしてそうでしょうか。ボカロシーンでは、アンチ・ラブソング、とまでは言わないまでも、恋愛などの通念を自明とはしない感性を持った曲が人気を集めました (ex.「LOVEという得体の知れないもの」)。人によっては厨二病的とも言うその感性の内と外を、フランスの人文学者ミシェル・フーコーの議論を参照しながら考えていくところから講義はスタートします。</p> <p>主なアプローチ手法は、記号論、ジェンダー論、精神分析ですが、駒場とえば、リベラルアーツ。私は、一本学出身者としてこの理念に共感する者です。狭義のアカデミシヤンではないゆえに可能なある種の知的蛮勇として、前記の人文科学的手法に留まらない領域横断的な分析を試みてみたいと思っています。</p> <p>開講にあたって大学から頂戴した前期課程講師用マニュアルには、皆さんに次の3つを促すようにと謳われています。「新しい概念の理解」「自発的想起」「創造的思考」。これらの現場の実践が、私の言葉で言えば「知的蛮勇」であり、「批評」です。</p> <p>ボカロは老若男女、すべての人を受け入れるシーンですが、その上で、やはり主役は、若いみなさんだと思っています。みなさんが当事者として立ち会い、そしていまだ深度のある議論が少ないボカロカルチャーこそは、そのような批評の対象とするに最適です。</p> <p>初音ミクが発表されて11年が経ちました。新しい作家が参入しつづけるこのシーンは衰えることを知りません (本ゼミからも何人ものボカロPが誕生しました)。ボカロが好き。音楽が好き。かつてボカロが好きだった人。どの立場の人も主役です。科類は問いません。「感覚を思考の俎上にあげること」を恐れないあなたの参加をお待ちしています。</p> <p><補記> 講師は2017年より東京大学先端科学技術研究センター人間支援工学分野中邑研究室に協力研究員として所属しています。同研究室は、学校教育がフィットしない非典型的な子どもたちにオルタナティブな教育を提供するプロジェクト「ROCKET」を運営しています。本講義は独立したものですが、「典型的ではないこと」をめぐる思考において同プロジェクトと共鳴しています。このような活動に関心のある学生にも集まってもらえたらと思っています。</p> <p>評価方法 出席および学期末レポートなどで評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								
51388	A 1	ボードゲーム作りを通して起業を学ぶ	長谷川 克也	産学協創推進本部	金2	1	KALS	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 オックスフォード大学の「雇用の未来」というレポートでは、今後様々な仕事が AI やロボットで機械化されることが指摘されています。その結果、人間はより創造的な仕事に就くことになり、起業が盛んになるであろうとMITの教授らによる「機械との競争」などで予想されています。そして実際、Harvard Business School の卒業生の約10% がスタートアップに参加し、MIT の卒業生の12% が卒業後 5 年以内にスタートアップに関わっているという統計も出ているように、起業やスタートアップへの参加は一つのキャリアとなりつつあります。</p> <p>日本でも起業が一つのキャリアとして認識され始めていますが、残念ながらもまだまだ一般的ではありません。そのため起業後にどのような道を歩むのか分からない部分も多く、分からないから怖いと思っている方も多いのではないのでしょうか。</p> <p>そこで本講義では、起業に際して重要なことやどのような落とし穴があるのかといったようなことを、起業に関する理論や起業家からの講演、起業経験者のインタビューを通して自主的に学び、それを人生ゲームのようなボードゲームの形としてアウトプットしていただくことで、理解の促進を図りたいと思います。</p> <p>また、起業の中でも特に「スタートアップ」と呼ばれるような、短期間で急成長をすることを目指した起業の形態に焦点を定め、どのようにすれば大きく成長する会社を作ることができるのかの理論を学んでいただきます。</p> <p>※ボードゲームの作成に際しては、それなりに自習や課外での時間が長くなります。</p> <p>評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業参加 ・ レポート作成 (個人) ・ 作成したボードゲームの評価 (グループ点) <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51409	A 1	異文化環境で学ぶ：海外プログラムでの自己開発論／Language and Cultural Immersion: Student development in study abroad programs	櫻井 勇介	国際交流センター	金2	1	115	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要

Higher educational institutions not only in Japan but also in many other countries have promoted global learning opportunity on campus and in curriculum among primal educational priorities. This course aims at understanding major theories and themes of intercultural development, international education, and cross-cultural communication. As students proactively engage in a variety of active learning tasks, the course aims to develop their skills to apply the knowledge to their prior experiences and critically examine their knowledge base. This course is very short. Nevertheless, students will gain a broad overview of the major issues of international education. This course will encourage students to reflect upon their own experiences and in turn to consider their own future trajectory of development.

Course goals

Upon successful completion of this course, students will be able to:

- Explain the major themes and theories about intercultural awareness, learning management, culture and intercultural communication;
- Engage in their own and peers' learning and development exchanging constructive ideas with others in English; and
- Express their own opinions to effectively work with others for productive collaboration and knowledge creation.

This course welcomes students who recently started studying the Japanese language. In addition, this course is highly recommended for those who wish to enrol in the thematic studies course, Global Praxis (kokusai kenshu) "RoboCon: Basic robotics amid a multicultural academic environment in Malaysia" and "Intensive English: Forging an advanced level of English in Australia". If you are interested in taking these Global Praxis courses, you should participate in guidance sessions held on September 26 (Malaysia) and 27 (Australia) respectively 18:45-20:15 at Lecture Hall, 21 KOMCEE West B1F.

近年、日本のみならず、世界の様々な国や地域の大学において教育の国際化は最重要課題の一つとして扱われ続けています。本授業は、大学生にとっての国際的な環境での学び、特に言語、文化、コミュニケーション、能力開発などに注目して学びます。本授業の履修生は、アクティブラーニングの手法を取り入れた主体的かつ活動的なタスクを多く経験し、知識の蓄積にとどまらない、知識の活用と批評の実践に至る活動も行います。1単位の短い期間の授業ですが、あえて広く国際教育現場の諸問題を概観し、新しい視点を得ることで、国際的な環境における学びに対する履修者それぞれの意見や考え方を培います。本授業で学ぶことは、これまで国際的な学びに積極的に関与してきた方にとっては、自身が体感してきた学びを振り返ることになり、これから国際的な場での学びに興味を持つみなさんは、今後の自身の学びについて考えることにつながるという点で、自己成長について改めて考えるきっかけにもなることでしょう。

(目標)

この授業では以下の知識、スキル、態度を身につけることを目指します。

- ・【知識】異文化間感受性、学習の管理理論、文化、コミュニケーションに関わる主要な理論を説明できる
- ・【スキル】英語で他の履修生と建設的に意見を交換しながら相互の学びに貢献することができる
- ・【態度】学習項目を踏まえて、将来の自分にとってのその意味と、自分の資質の向上についての考えを整理して述べることができる

本授業は日本語学習歴の浅い学生も受け入れるため英語で行います。また、本授業は主題科目の国際研修「RoboCon: Basic robotics amid a multicultural academic environment in Malaysia」(ガイダンスは9月26日(水)18:45-20:15)と「Intensive English: Forging an advanced level of English in Australia」(ガイダンスは9月27日(木)18:45-20:15)を履修希望する学生は履修することが推奨されています。これらのガイダンスは21KOMCEE West B1F レクチャーホールで行われます。

評価方法

- Instructor, peer, and self-assessment of contribution to class activities

The assessment considers students' attitude in classroom activities. It highly evaluates students' involvement in class activities, concentration on the task at hand, and positive attitude to work with others. Those who commit to any acts impeding the progress of classwork and showing amotivational attitude may be removed from the course.

- Quality of written assignments

- Weekly study journal

Summarise major points of materials given every week in the course. Class activities will be organised based on this.

- Reflection essay

1) Summarise basic principles and conceptions underpinning learning and development in global settings, and 2) give some concrete examples from your experiences, which the conceptions can be applied to. Based on the summary and what you learned in this course, 3) discuss your ideas about your new insights and inspirations on your future development and learning during university studies.

- 教員・ピア・自己評価による授業への貢献状況

授業への貢献状況については、基本的な受講態度を考慮します。教室内活動に集中し、真剣に取り組み、他者に対する協力と思いやりの姿勢を高く評価します。授活動の進行を妨げる、加わらないなどの態度が見られる場合は減点の対象とします。

- 課題の質の評価

- Weekly study journal

毎週課される資料を踏まえ、授業前にその主なポイントについてまとめてきてもらいます。これを基に毎週の授業を始めます。

- Reflection essay

本授業を通して学んだものの中から、国際的な場面での学びや自己開発に関わる主要な理論を説明してください。それらの理論を援用し、自分の経験を分析して説明してください。それを踏まえ、履修者自身の将来の大学の学びにどのような示唆を与えるか、またどのような意味があるかまとめてください。

教科書

教科書は使用しない。

ガイダンス

特に行わない。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60237	A 2	博士から若手研究者の教育学	櫻井 勇介	国際交流センター	金2	1	115	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要

教育学というと、小・中学校、高校、大学での勉強というイメージが強いのではないでしょうか。実は研究者や高度専門家のキャリアを目指す大学院生や若手研究者に注目する教育学の分野も存在します。本学でも本郷キャンパスの大学総合教育研究センターを中心に着任したばかりの(若手)教員へのセミナーなどが行われています。大学教員に対する一般的なトレーニング(いわゆるFDと呼ばれるもの)では、院生への研究指導の方策や若手研究者へのメンタリングについて学ぶセミナーを実施している大学もあります。一方で、学部生へのキャリア開発の重要性を指摘する声がありますが、研究者の道を見据えたキャリア開発については、大学院で学ぶものという意識からか、見逃されがちです。本授業で目指す、学部生と一緒に研究者キャリアについて考えるという試みは、世界的にもあまり類を見ない挑戦的でユニークなものです。

本授業では、現在の研究者キャリアの現状を把握し、研究者キャリアの道を見据える人が何を考えておくべきか学生と教員がともに考え、それぞれの履修者が行動計画を検討し、設計します。ターム授業の非常に短い授業ですが、教室内外の活動を自ら主体的に進めていくことが求められる授業です。必然的に問題設定、問題解決、協働作業、タイムマネジメントなどのスキルを意識的に向上していくことが求められます。本授業で学ぶことは、本学を含め現在の高等教育機関が研究者養成にどのように向き合おうとしているのか理解し、目指すキャリアに関わらずみなさん自身がどう学んでいくか考えることにもなるでしょう。もちろん、研究者を目指す学生のみなさんにも、研究者としての資質を広くとらえる機会ともなり、キャリア開発の一助となることでしよう。

本授業は主題科目のため合否判定であり、精いっぱい努力したが失敗することが認められています。創造的で独創的な考えを持って、積極的な「失敗」をしてもらいたいと思っています(もちろん「成功」してもよい)。英語の文献を多用しますので、その意思があることが履修の前提となります。本授業の代表教員はいわゆる「文系」の研究者ですが、理系の研究者のキャリアに関する研究経験がありますので、理系の学生にも意味のあるように授業をしたいと思っています。

(目標)

この授業では以下の知識、スキル、態度を身につけることを目指します。

【知識】基本的な若手研究者養成の現状と関連する教育学の理論を説明できる

【スキル】グループワークにおけるコミュニケーションスキルとマネジメントに必要となるスキルを実践できる。

【態度】自身のこれまでの学習態度を振り返り、研究者の道を念頭に置いた今後の行動計画を設定する。

評価方法

・教員・ピア・自己評価による授業への貢献状況

授業への貢献状況については、基本的な受講態度を考慮します。教室内活動に集中し、真面目に取り組み、他者に対する協力と思いやりの姿勢を高く評価します。授活動の進行を妨げる、加わらないなどの態度が見られる場合は履修の取りやめをお願いすることもあります。

・課題の提出状況および質の評価

－学習ジャーナル

毎週課される資料や課題を踏まえ、授業前にその主なポイントについてまとめてきてもらいます。これを基に毎週の授業を始めます。

－行動計画書

本授業を通して学んだことを基に今後の自分の学びについて行動計画書を作成します。将来のキャリアパスに関わらず、本授業が自分自身にとってどのような意義があったのか、どんな意味があるのか考えて計画書にまとめてください。

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 特に行わない。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51422	A	ダイバーシティ社会をつくる技術	坂口 菊恵 開 一夫	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	金2	2	K303	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要

AIやIoTの技術が急速に発展する中、次に広がるのは「ヒトのインターネット」であると言われています。これらの技術はヒトが自らの心身の制約から自由になって、自らの創造性のおもむくまま本来したいことを追求する助けとなると期待されます。時間や場所、個人の特性（性別、年齢、障害など）の違いを乗り越える助けになることから、社会のダイバーシティ化を進める上でも重要な視点となります。

一方で、世の中でどのような問題があって、どのような解決ストラテジーが有望なのか判断できる発想力やセンスがなければ、いくら魅力的な基礎研究や技術が出てきても、ヒトの限界を広げるようなイノベーションを生み出すのは難しいでしょう。

そこで、この授業の前半では問題設定やビジョンの持ち方に焦点を当てます。取り組んでみたい世の中の問題や、ヒトの活動・能力の発揮を阻む要因を洗い出し、それらを近年の基礎研究や技術の活用によって解決するプランを立ててもらいます。

後半ではウェアラブル脳機能計測器などのデバイスを利用して、ヒトの認知と外界の事象とをつなぐBCI(ブレイン・コンピュータ・インターフェース)の実装に取り組み、必要な知識の習得と現在のボトルネックがどこにあるか体験してもらいます。プログラミングなどの事前知識は必須ではありませんが、幅広い興味と問題意識を持って意欲的に情報収集し、ユニークな発想を広げることを目指します。

評価方法

グループワーク参加、プレゼンテーション

教科書

教科書は使用しない。

ガイダンス

第一回授業日に行う。

51411	A	インターネットガバナンスの最前線を追う	一井 信吾	数理科学研究科	金2	2	116	1年 文科 理科 2年 文科 理科
-------	---	---------------------	-------	---------	----	---	-----	----------------------

目標概要

今では、私たちの生活も、社会・経済活動もインターネットなしには動きません。

ではインターネットはどのようにして世界中の人々を、国をまたがって、結びつけているのでしょうか。国連が運営している？国どうし条約を結んでいる？そんなことはありません。AT&TやNTTのような通信企業、もしくはGoogleやFacebookのような情報企業が動かしている？一部にはそういう面もありますが、インターネット全体がそうかという点、違います。

インターネットを動かす仕組みは、個人・団体・企業・国家など色々な立場の関係者が協力しながら、また時に対立しながら、自発的に作ってきました。そしてそれは今も変化を続けています。この仕組みをインターネットガバナンスと呼んでいます。

アメリカでは、トランプ政権がネット中立性と言われる課題について、これまでとは逆の政策を打ち出しました。アフリカのいくつかの国では政府が情報をコントロールするためにインターネットを遮断しました。これはインターネットシャットダウンと呼ばれ、人権問題としても論議されています。中国ではネットワーク安全法が施行されましたが、言論統制のためではないかとも言われています。このように、国家との関係も大きな問題となっています。

日本でも、今年4月に漫画などのコンテンツを違法に配信しているサイトに接続できなくするよう、政府がプロバイダに要請するという事態を巡って議論がおきました。

これは一体何なのか？何が起きていて、何が問題なのか？これからインターネットはどのように変わっていくのか？今まさに動いているインターネットガバナンスの状況を一緒に追いかけてみませんか。

評価方法

担当する報告 (40%)、討論への参加 (30%)、最終レポート (30%)

教科書

次の教科書を使用する。

書名 : インターネットガバナンス

著者(訳者) : ローラ・デナルディス

出版社 : 河出書房新社

ISBN : 978-4-309-24724-3

ガイダンス

第一回授業日に行う。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60258	A 2	エネルギー基礎論	瀬川 浩司 堤 敦司	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	金4, 金5	2	K114	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 エネルギーは熱力学第一法則で保存されている。すなわち、エネルギーは「消費」できないもの、使っても使っても決して減らないもののはずである。しかし、今日、人類は膨大な化石エネルギーを「消費」しており、地球環境問題などを引き起こしている。この矛盾は、どう理解すれば良いのか？この疑問に答えるべく、この講義では、エクセルギー、アネルギー、エクセルギー再生、といったエネルギー科学技術の基本理論を学び、現代のエネルギー生産・利用における科学技術を体系的に学習し、その問題点を明らかにしていく。そして、持続可能な社会を構築していくためのエネルギー技術戦略について議論する。</p> <p>評価方法 出席とレポート</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								
51383	A	現代中国ゼミナール ～「習近平時代」の 中国を議論する～	伊藤 亜聖	社会科学研究所	金4	2	515	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 2018年の秋、駒場で開講される「全学自由研究ゼミナール」にて、学部1～2年生を対象とする講義ゼミナールを企画しました。</p> <p>東京大学は全学に現代中国を研究する多様な研究者を擁しています。2013年秋には、現代中国研究拠点 (http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/kyoten/) が中心となって、「グレーター東大塾 中所得国時代の中国」と題して、社会人向けに包括的な講義を開きました。その成果は書籍『東大塾 社会人のための現代中国講義』(https://www.amazon.co.jp/dp/4130330713) としても出版され、一定の反響がありました。</p> <p>2013年秋のグレーター東大塾からちょうど5年経過し、「グレーター東大塾」を更新するべきタイミングを迎えています。政治面では当初、未知数であった習近平体制は慣例となってきた国家主席2期10年の任期撤廃を経て、盤石の体制となっているように見えます。経済面では成長率のマクロな低下、そして急激な少子高齢化が問題視されてきましたが、同時に中国経済の規模は拡大し、中国から外国への投資や、新興企業によるイノベーションも注目を集めています。社会面では、5年前までインターネット上での言論の一定程度の自由が、中国国内での闊達な議論をもたらしていましたが、現在ではこうした議論も縮小するか、大きく形を変えているように思われます。国際関係、外交関係、そして安全保障の面では、2013年から中国政府が提案する「一帯一路」構想が、ユーラシア大陸を超える範囲を大胆に対象とし、構想への評価は分かれつつも、その影響力は増えています。</p> <p>今年を受講生には2000年生まれの子供も含まれているでしょう。皆さんにとっては、むしろ「強い中国」、「豊かな中国」が当たり前なのかもしれません。しかしこのようなイメージが現れたのはごく最近のことです。より歴史的な視野と、現代的問題設定の融合が求められているともいえるでしょう。いま改めて、東京大学の現代中国の研究者が集まり、それぞれの知見を改めて再構成し、時に再検討し、時に拡張して、学生に伝え、議論する意義があると考えます。</p> <p>評価方法 ゼミナールへの出席、グループ議論への参加の度合い、討議への参加の度合い、学期末レポートによって合否を判定します。</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								
51387	A	競争法や情報法などによる 法学入門	白石 忠志	法学部	金5	2	116	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 具体的で実践的な法学入門を目指し、その道具として競争法や情報法などを多用する。重要かつ具体的であって本来は1年生でも取り組みやすいのだが歴史的に新しい分野であるために伝統的なカリキュラムで後ろに置かれている法分野を先に見てみることによって、昔も今も重要な憲法・民法・刑法・行政法などの基本科目の勉強に取り組む意義にも接することのできるような授業を目指す。また、法の実務や研究ではパソコンによる文章作成が必須であるので、毎回ごく短いものを論理的に書いてみることによって、アウトプットも行う法学入門とする。</p> <p>序盤は、以上のような趣旨に沿う現代的な入門書(2000円以下)を計1～2冊程度読む。授業では全編を読めなくても、全編が有益なものを選ぶ。例えば、横田明美『カフェパウゼで法学を』などが考えられる。この本は、この授業への参加の有無にかかわらず極めて有益であるので、初回までに第3部まででよいから目を通しておくのが望ましい。</p> <p>そのあと、競争法や情報法などの現代的テーマを1回または2回に1件のベースで取り上げ、その構造を理解し、1000字程度の論理的な説明文にまとめる練習をする。例えば、「検索エンジンと競争法」「地方銀行の合併」「海賊版サイトのプロッキングの是非」などが考えられる。結局どのようなテーマを取り上げるかは初回以降に順次説明する。若干の英語資料を読むこともあり得る。資料を読んで書く時間も授業時間内に置き、授業時間外の負担は最小限となるようにする。</p> <p>グループワークは行わず、それぞれの参加者が個別に課題に取り組み、ゼミ全体で質疑・討論を行う。2回目以降は文章作成のためパソコン等のツールを各自が持参することを想定している。</p> <p>評価方法 「目標概要」に記載したような授業への参加・貢献状況による。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51392	A	Molecular Biology of the Cell 輪読ゼミ	尾藤 晴彦	医学部	金5	2	K113	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 主に駒場の2年生を対象とし（1年生も参加可能）、Molecular Biology of the Cellを英語で読むことで、生命科学を英語で学ぶ習慣を身につけ、さらにその基礎となっている原著論文を読む事が出来るようになる事を目標とする。 ※ガイダンス場所：医学部・教育研究棟二階 N203、および教養学部K113 初回9月28日（金）5限 ※開講場所：医学部・教育研究棟二階 N203、本郷に来られない学生のために教養学部K113にて遠隔講義を行う。</p> <p>評価方法 出席と上記のプレゼンテーションに基づいて評価を行う。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名：Molecular Biology of the Cell 6th edition 著者（訳者）：Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, and Peter Walter 出版社：Garland Science ISBN：978-0815344322</p> <p>ガイダンス 特定日に行う。 2018年9月28日5限 医学部・教育研究棟二階 N203、本郷に来られない学生のために教養学部K113にて遠隔講義を行う</p>								
51333	A	日本の経済戦略と政策が果たす役割～政策の最前線で奮闘する現役官僚が語る～	坂田 一郎 芳川 恒志	公共政策大学院	金5	2	522	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 私たちは、これまで他国と比較すれば「豊かで安心できる」社会に生きてきました。しかしながら、日本における超少子高齢化や財政赤字、グローバルにはエネルギーや温暖化をめぐる問題、世界の貿易に関する対立や中東などにおける民族や宗教の対立をはじめとする世界の不安定化等日本を取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。このような環境下、これまで我々が享受してきた「豊かさ」や「安心」は、もはや自明なものではありません。「豊かさ」や「安心」を持続可能なものとするためには、社会と経済の「仕組み」を不断に見直し、世界の目まぐるしい変化の最先端に適応し続けることが求められます。</p> <p>本講義では、このような激動する社会において、政策立案の最前線で日々奮闘している経済産業省、財務省及び金融庁の現役官僚をゲストスピーカーとして招きます。それぞれが担当する政策分野について、①激動する国際社会の動向、②その変化が私たちの社会・経済に与える影響やその変化の意義、③これらを踏まえた日本経済の再生に向けた戦略、④政策が果たす役割を語るとともに質問に答え、また学生の皆さんとディスカッションしていただきます。産業政策、財政政策、金融政策、通商政策、資源エネルギー政策、環境政策など、私たちの社会・経済のあり方に深く関わる政策をテーマとしてとりあげる予定です。</p> <p>本講義を通じ、以下の3点を身につけていただくことができると考えています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) メディアでは時として報道されない、世界規模の構造変化の真の姿 2) 学際的な視点から、社会・経済の諸問題を分析すること 3) 日本経済の再生戦略と、それを実現するために政策が果たす役割 <p>文系・理系を問わず、次代の日本を担う学生の皆さんの幅広い参加を期待しています。</p> <p>評価方法 出席点及びレポートにより評価。レポートは、各回の終わりにゲストスピーカーが出題する課題について、2テーマを選択し、それぞれ数枚（A4・2～3ページ）にまとめたものを、所定の時期（各回の講義の中でお知らせします。）までに提出して下さい。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51480	A	法と社会と人権 -社会の実態を知り、 人権を学び考える-	笠置 裕亮	学生による全学自由 研究ゼミナール	金5	2	164	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 当ゼミは、1992年度以来川人博弁護士が中心になり担当してきた。今学期も川人弁護士の協力を得て、当ゼミの出身者笠置裕亮弁護士が担当する。中川素充弁護士（当ゼミOB）も協力する。 人権問題を考えるにあたって大切なのは、社会の実態をよく知ることである。Aセメスターのテーマとしては、メディア、環境、司法、国際などを予定している。 文1は勿論、文2・文3・理1・理2・理3の学生も歓迎する。 このゼミでは、授業時間帯以外にフィールドワークを実施している。事件現場、NGO、法律事務所、官公庁、企業、労働組合、裁判所、少年院、刑務所、テレビ局、新聞社、病院などに出向き、様々な当事者、専門家、弁護士、医師、公務員などから話を聞く。様々な職に就いている当ゼミ卒業生との交流も随時行う。 これらのフィールドワーク（主として平日午後6時40分以降、土日祝日に実施）は、今学期を通じて15回以上実施予定だが、いずれかを選択して、計2回以上参加すること。 金曜5限の授業では、10月～11月は講義形式を中心にし、12月～1月はテーマ班ごとに、授業やフィールドワークで学んだことをまとめて、書面または口頭で学生発表する。 ※ガイダンスは9月28日5限（第一回授業時）におこなう。</p> <p>評価方法 日常のゼミ活動、学生発表及び学期末レポートにもとづく合否判定 講義及びフィールドワークで学んだことを基礎にして、上記発表を行い、かつ学期末レポートを作成すること</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 :『テキストブック現代の人権第4版』 著者（訳者）：川人 博 編著 出版社 : 日本評論社 ISBN : 978-4-535-51725-7</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								
51350	A	製品を分解してわかる 環境問題	梅田 靖	工学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 製品を開発する際に、環境への影響を配慮して製品を設計することは今や当たり前のことになりつつある。この講義では、製品使用後にリサイクルを容易にするための「リサイクル性設計」に焦点を当て、実際の製品（液晶テレビを予定）を分解しながら、どのような設計上の工夫がされているのかを観察するとともに、「リサイクル」の仕組みについて学ぶ。</p> <p>※このゼミは9月25日(火)6限（18：45～）に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p> <p>評価方法 出席、講義中の積極性、レポートから総合的に判断する</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特定日に行う。 2018年9月25日6限 工学部合同ガイダンスで行う。</p>								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51361	A	ロボティック医療システム	光石 衛	工学部	集中	1	シラバス参照	1年 理科 2年 理科

目標概要 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。

手術ロボットによって、(1) 臓器や骨格の裏側や内部などの医師が通常では見ることができない部位を見ることができるようになる。また、(2) 医師が通常手では困難な狭い領域や臓器の裏側の手術、微細な手術、高精度な手術が可能となる。さらに、(3) 遠隔地での診断や手術も可能となる。

本ゼミナールでは、当該研究室で開発されている世界最先端の深部脳神経外科超微細手術支援システム、眼科手術支援システム、最小侵襲人工膝関節置換術支援システム、遠隔低侵襲手術支援システム、集束超音波を用いた非侵襲結石破壊システムなどを実際に操作する。次に、ものづくり技術・知識、コンピュータ・ネットワークなどの情報学の知識、医学的知識を駆使して実現する手術ロボットはどのようにして構築されるのか、その入門を学ぶ。

第1回(駒場): ガイダンスと概略説明

第2回(本郷: 土曜, あるいは, 日曜): 手術ロボットの実体験(その1)

第3回(本郷: 土曜, あるいは, 日曜): 手術ロボットの实体験(その2), 手術ロボットをどのようにして構築するか基礎の解説

※受講人数: 20名に制限する。

※このゼミは9月25日(火)6限(18:45~)に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法 出席(2/3)と最終レポート1回(1/3)にて採点

教科書 プリントを配布する。

ガイダンス 特定日に行う。

2018年9月27日6限 1号館102教室

60238	A 2	太陽光発電とエネルギーシステム: 原理の理解から実習まで	杉山 正和	工学部	集中	1	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
-------	-----	---------------------------------	-------	-----	----	---	--------	----------------------

目標概要 【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

地球温暖化問題に対する切り札として近年ますます注目されている太陽光発電について、太陽電池の構造・機能を物理に基いて理解し、現在までに提案されている様々な太陽電池の利点・欠点を概観することにより、超高効率・低コストな次世代太陽電池・太陽光発電システムを開発するための基礎を学ぶ。

太陽電池の研究開発を行っている教員により基礎から最先端のトピックまでの集中講義のほか、受講者が自ら量子ドット太陽電池を作成・評価する実習を行い、体験に基づいた深い理解を得ることを目指す。また、実際に最先端太陽電池の研究開発を進めている駒場IIキャンパスの先端研でゼミを行うため、講義と並行して研究設備を見学し、研究者との交流することも可能である。

※このゼミは9月25日(火)6限(18:45~)に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法 講義と実習への出席により単位を与える。

教科書 プリントを配布する。

ガイダンス 特定日に行う。

2018年10月4日6限 1号館102教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51370	A	基礎植物学輪講 II	寺島 一郎	理学部	集中	2	シラバス参照	1年 理一 理二 2年 理一 理二
<p>目標概要 生物学の講義では現時点での知見を解説することが多いが、学生が最前線に立つころにはその知識は時代遅れになってしまいます。現時点の知見を「暗記」するよりも「歴史的背景をふまえて基礎を理解」する方がはるかに大切である。このゼミナールでは、歴史的背景をふまえて基礎を理解するという姿勢を貫きながら、植物形態・解剖学の基礎的な教科書を使って輪講を行う。</p> <p>評価方法 履修者各人について、このゼミナールによって植物学の基礎の理解がどれだけ深まったのかを評価する。物理・化学を受験科目とし、生物学の知識の乏しい受講生も歓迎する。ゼミナール開始時点での知識のレベルは問わない。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 植物の形態 (増訂版) 著者 (訳者) : 原襄 出版社 : 裳華房 (1984) 絶版となっているのでコピーを配布する予定である。</p> <p>ガイダンス 特定日に行う。 2018年9月29日3限 本郷キャンパス理学部2号館026号室</p>								
51330	A	ジビエを通して獣害問題と向き合う 充実の学園祭ジビエ販売を通して問題の本質を伝える企画系ゼミ	鴨田 重裕	農学部	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 【注意】web版シラバスにより詳細な情報があります。受講希望者はそちらを熟読ください。</p> <p>南伊豆も獣害と向き合う地域の一つで、農林業は獣の影響が深刻です。本ゼミを通して獣害問題を自分事として考えられるようにしたい。</p> <p>「伊豆に学ぶ」シリーズでは、現代人を取り巻く様々な関係が希薄であること、それがために諸処に自分と様々な対象物や対象事象との繋がりに実感が伴わないこと、皆が当事者意識を持ってないことが問題をさらに深刻化させていることなどを重要な気付きとして位置付けています。</p> <p>伊豆ゼミを受講した学生であっても、ゼミ中に得たその「感覚」はそのまま放置すると、あっという間に風化してしまいます。それは実にもったいないことです。</p> <p>本自由研究ゼミナールは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」とは少し違う角度から本件について考察を深めていきたいと考えています。違う角度とは何か？このゼミナールでは自律的に企画することにより、「伊豆に学ぶ」とは違った視点で、発信することを通して深く考える力や行動する力を涵養してもらいたい。</p> <p>感じる力、考える力、行動する力。東大生に足りないものは何であろう。</p> <p>一度立ち止まって、ゆっくりじっくり自分流に自分の人生を振り返ってみて欲しい。多くの東大生が回り道をしたがらず、効率重視で最短を突き進むべきと考えがちであるように見受けられますが、果たしてそれで良いのでしょうか。ともすれば価値観まで人任せにしてしまっていたりしないでしょうか。皆が価値あると言うものにしか価値を見出せなかったり、自分にとってどういう価値があるのかを考えもしなかったり、そんなことはありませんか？</p> <p>このゼミでは五月祭に「ジビエを通して獣害問題と向き合う」企画を打ち出します。このゼミはまず動くことから始めるゼミです。企画のデザインをどうしようというところから手作りする、そんな実験的なゼミです。私はこの手の実験が成立するところを何度も見て来ました。今回、どんな面白い展開になるかは、君たち次第ということになります。</p> <p>※受講人数：特に設定しない ※講義の目標：自主・自律に動けるようになること。様々な問題を他人ごとにしないうる気分を身に付けること。学園祭企画を立ち上げること。 ※開講場所：駒場（必要に応じて樹芸研究所を訪ねる） ※駒場での講義：木曜2限。企画進捗に合わせて3、4回とゼミ既修者を集めて駒場で自主研修を実施する。 ※五月祭：伊豆の獣害問題の提示とイノシソーセージを販売する模擬店経営</p> <p>※このゼミは9月27日（木）18時40分～19時45分に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。</p> <p>評価方法 授業中の取り組み姿勢、企画立案および企画実行の取り組み姿勢、責任ある行動を重視する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特定日に行う。 2018年10月4日2限 1号館109教室</p>								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51395	A	ビントゥパーチョコレート作り体験から学ぶべきこと 学園祭においてビントゥパーチョコレート体験教室を運営 ビントゥパーチョコレート作り体験から学ぶべきことを伝える 企画系ゼミ	鴨田 重裕	農学部	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要

【注意】web版シラバスにより詳細な情報があります。受講希望者はそちらを熟読ください。

南伊豆の樹芸研究所では温泉熱を利用した温室で熱帯産有用植物を育てている。その温室で収穫したカカオを使ってチョコレートを作り市販したのが2年前のことです。日本国産カカオによるチョコレートを市販した第一号案件となります。

「伊豆に学ぶ」シリーズでは、現代人を取り巻く様々な関係が希薄であること、それがために諸処に自分と様々な対象物や対象事象との繋がりに実感が伴わないこと、皆が当事者意識を持ってないことが問題をさらに深刻化させていることなどを重要な気付きとして位置付けています。

伊豆ゼミを受講した学生であっても、ゼミ中に得たその「感覚」はそのまま放置すると、あっという間に風化してしまいます。それは実にもったいないことです。

本自由研究ゼミナールは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」とは少し違う角度から本件について考察を深めていきたいと考えています。違う角度とは何か？このゼミナールでは自律的に企画することにより、「伊豆に学ぶ」とは違った視点得て、発信することを通して深く考える力や行動する力を涵養してもらいたい。

感じる力、考える力、行動する力。東大生に足りないものは何であろう。

一度立ち止まって、ゆっくりじっくり自分流に自分の人生を振り返ってみて欲しい。多くの東大生が回り道をしたがらず、効率重視で最短を突き進むべきと考えがちであるように見受けられますが、果たしてそれで良いのでしょうか。ともすれば価値観まで人任せにしまっていたりしないでしょうか。皆が価値あると言うものにしか価値を見出せなかったり、自分にとってどういう価値があるのかを考えもしなかったり、そんなことはありませんか？

このゼミでは五月祭に（間に合えば駒場祭にも）「ビントゥパーチョコレート作り体験」を来訪者にしてもらおう企画を打ち出します。このゼミはまず動くことから始めるゼミです。企画のデザインをどうしようというところから手作りする、そんな実験的なゼミです。私はこの手の実験が成立するところを何度も見て来ました。今回、どんな面白い展開になるかは、君たち次第ということになります。

※受講人数：特に設定しない

※講義の目標：自主・自律に動けるようになること。様々な問題を他人ごとにしないうつを身に付けること。学園祭企画を立ち上げること。

※開講場所：駒場（必要に応じて樹芸研究所を訪ねる）

※駒場での講義：木曜2限。企画進捗に合わせて3、4回とゼミ既修者を集めて駒場で自主研修を実施する。

※五月祭：ビントゥパーチョコレート作り体験ができる企画を立ち上げます。

※このゼミは9月27日（木）18時40分～19時45分に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法 授業中の取り組み姿勢、企画立案および企画実行の取り組み姿勢、責任ある行動を重視する。

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 特定日に行う。

2018年10月4日2限 1号館109教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60244	A 2	ワンパクなタンパク質を科学する：実習編	高橋 伸一郎	農学部	集中	1	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。</p> <p>私たちの初年次ゼミナール理科「私たちの身近にあるワンパクなタンパク質を科学する」では、身近にある興味あるタンパク質を選び、性質を調べると同時に、その重要性を体験し、この経験をもとに、一般の人達にそのタンパク質の重要性を納得してもらおうツールを作ってきました。本講義は、その続編として、タンパク質やこれをコードする遺伝子を実際に扱ってみて、タンパク質とは何かを実体験することを目標としています。もちろん、私たちの担当した初年次ゼミナール理科の講義を履修していない学生さんの参加も歓迎します。</p> <p>※このゼミは9月27日（木）18時40分～19時45分に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。</p> <p>評価方法 出席と実習での活動で評価します。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特定日に行う。</p>								
51365	A	2018年度Aセメスター最先端のサイエンスを駒場で研究体験するプログラム	内田 さやか	教養学部	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 本ゼミは、駒場キャンパスの後期課程「教養学部 統合自然科学科」に所属する研究室に直接来て、最先端のサイエンスを体験してもらうプログラムである。これまで、講義科目や分野ごとに学習した自然科学が、先端のサイエンスへどのように深化、融合、創成されるのかを、研究室での実習を通じて実感できる。つまり、最先端のサイエンスと基礎科目や総合科目との“架け橋”が本ゼミの特徴といえる。受講者は、配属先の研究室で、実験、データ解析、討論、文献調査、などを体験することで、研究活動の実践的な方法論を学ぶことができる。</p> <p>1つの研究室が数名の学生を受け入れる。ゼミの進め方は、受け入れ教員との相談の上決定するが、研究室によって、曜日時限を指定する場合と、指定せずに集中で行う場合がある。成果報告会 兼 懇談会を定期試験終了後に開催し、教員、大学院生を交え、発表と討論を行う。</p> <p>本ゼミのガイダンスは、9/28(金)の昼休み（12：15～12：30）に1号館120教室にて行う。その際に、各ゼミの内容や進め方について、資料を配布する。ガイダンス後に学生の希望を集計し、配属先を決定する。（ガイダンスに出席できない場合でも、下記のHPからガイダンス資料を参照し、資料に記載された手続きに則れば、本ゼミは受講可能である）</p> <p>※本ゼミに関する最新の情報とガイダンス資料は、 世話人（内田さやか）のHP：http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/suchida/ および 教養学部 統合自然科学科のHP：http://www.integrated.c.u-tokyo.ac.jp/ に掲載する</p> <p>評価方法 ゼミへの取り組みによる 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特定日に行う。 2018年9月28日12:15-12:30に1号館120教室</p>								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51366	A	生命の普遍原理に迫る 研究体験ゼミ	石原 秀至	教養学部	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要 【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

東京大学生物普遍性連携研究機構 (Universal Biology Institute, UBI) に関連する研究室で研究体験型のゼミをおこなう。

過去半世紀にわたる生命科学の進展により、我々は生体内で起こる分子レベルの反応の詳細や、それに関わる分子種についての膨大な知識を集積してきた。一方で、それら分子が総体として織りなす「生きている状態」とは、そもそもどのような状態なのか？そして、そのような状態を特徴付ける法則や原理は何か？このような基本的な問題について、我々人類はまだほとんど理解できていない。この問いは生物学のみに閉じた課題ではなく、現象の記述と理解に必要な数理学の発展や、新たな実験・計測技術の開発を必須とする。この意味で現代生命科学は科学諸分野のフロンティアを押し広げるとともに、これらを再統合する現場ともなっている。UBIでは、生物に共通する普遍的な法則とメカニズムの解明を目指し、従来の生物学の枠を越えて、数理学、理論物理、分子生物学、生物物理学、進化生物学、有機化学、ナノバイオテクノロジー、細胞イメージングなど、広範な分野の研究者が共同で研究に取り組んでいる。

本ゼミでは、通常の学生実験や授業とは異なる、最先端の科学研究の現場を体験する機会を提供する。履修者は下記のいずれかの研究室に配属し、学問分野の垣根を越えた、分野横断的な科学研究に触れながら、基本的な実験技術やデータ解析手法を学習したり、数理解演習や計算機実習を通じて理論研究の基礎を学んだりする。未知の分野にチャレンジし、将来的に自ら新しい分野を開拓していこうと思う意欲的かつ野心的な学生を歓迎する。

担当教員と研究テーマ (予定)

【駒場キャンパス】

- 金子 邦彦：生命システムの進化に関するモデル・シミュレーション
- 澤井 哲・中島昭彦：細胞の形とナビゲーションを、実験的・理論的に理解する
- 若本 祐一：細胞表現型ゆらぎと適応・進化の関係を探る実験研究
- 石原 秀至：生命現象の数理解モデルのシミュレーション
- 太田 邦史・小田有沙：栄養飢餓時の分子の振る舞いと細胞の生存戦略を探る
- 佐藤 守俊：バイオイメージングに関する原著論文の輪講
- 道上 達男：胚の形態形成に関わる“力”を調べる実験
- 豊田 太郎・竹内 昌治：人工細胞観察デバイスを微細加工技術で創って、人工細胞を実際に観察する
- 小林 徹也：細胞複製過程の熱力学を考える

【本郷キャンパス】

- 入江 直樹：最も進化した脊椎動物はどれだ？ -遺伝子発現情報解析からの探索-
- 樋口 秀男：顕微鏡を創って、分子や細胞の運動を観察する
- 古澤 力：進化過程の計算機シミュレーションによって何が解るか？
- 岡田 康志：顕微鏡を作って生きた細胞を計測する

最新の情報は以下を参照してください。

<http://rcis.c.u-tokyo.ac.jp/education.html>

評価方法 講義・実習への出席、取り組み姿勢、成果報告会での発表をもとに評価する。

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 特定日に行う。
2018年10月2日 昼休みに1号館101教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51367	A	最先端の生命科学研究を駒場で体験する	新井 宗仁	教養学部	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要 教養学部後期課程（理系）・統合自然科学科の「統合生命科学コース」には、ライフサイエンス研究の若きトップランナーが集結し、生命科学のフロンティアを開拓している。本ゼミの履修学生は、最先端の研究を展開している研究室に数名ずつ配属され、未解明の研究課題に実際に取り組んでもらう。

研究の進め方は教員と相談して決める。研究室によって曜限を指定する場合、指定しない場合、集中して行う場合がある。セメスターの最後に、履修者全員が参加して成果報告会を開催する。

統合生命科学コースの特徴は、先端性と多様性である。准教授が独立した研究室を運営できるため、26もの研究室がある。その研究テーマは極めて多様であり、分子生物学や細胞生物学、植物生理学といった理学的な基礎研究から、神経科学、内分泌学といった医科学的な研究、そして、創薬などを目指した薬学・農学・工学的な研究まで多岐にわたる。ノーベル生理学・医学賞を受けたオートファジー研究が駒場で開始されたという事実が象徴するように、流行にとらわれない独創性の高い研究が行われている。実験や理論などのアプローチ法も多彩である。若き教員が柔軟な発想で、先端的でチャレンジングな研究テーマを選び、熱心に学生を指導するのみでなく、教員自らが現場に立って実験をしている研究室も多い。

ガイダンス資料はゼミのウェブサイト (<http://folding.c.u-tokyo.ac.jp/seminar/>) にも掲載する。ガイダンス後に学生の希望を集計して配属先を決定する。ガイダンスに出席できない場合には、ウェブサイトに記載された方法で希望を提出すること。

生命科学が大好きで、新しい分野を切り拓きたいという熱い思いを持つ学生を歓迎する。また、文系から理系への転向を考えている学生も受講できる。熱い現場で、熱い教員たちが学生諸君を待っている。

担当教員と研究テーマ：

浅井 禎吾 ポストゲノム型天然物探索

新井 宗仁 計算機を使って理論的に新規タンパク質をデザインする

大杉 美穂 マウス受精卵の細胞分子生物学

坪井 貴司 真正粘菌の細胞内で起きている現象を目で視てみよう！

道上 達男 ツメガエル胚の細胞形状と組織変形のダイナミズム

矢島潤一郎 光学顕微鏡を用いたバイオナノマシンの機能定量

吉富 徹 機能性高分子ゲルの中に微細藻類を入れて培養してみよう！

吉本敬太郎 分子認識型核酸をみつけよう＆調べよう！

若杉 桂輔 新たなタンパク質分子を設計し、創ってみよう

評価方法 研究への取り組みや成果報告会での発表をもとに評価する。

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 特定日に行う。

2018年10月1日 12:15～12:45に1号館108教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51419	A	機械学習を通して見る自然科学の新たな一面	福島 孝治	教養学部(前期課程) 物理	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要 【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

自然科学（理科）の分野と聞いてまず思い浮かべるのは、科目名として慣れ親しんできた物理・化学・生物・地学だろう。一方で、境界・融合・学際を標榜する領域も俄かに林立するようになった。こうした状況に向き合うと、中には学問の細分化が助長されると憂える人が（特に駒場には）いるかもしれない。しかし、翻って考えると、対象により類別していたこれまでとは別の切り口で自然科学を眺めてみるのが実は有効ではないかとも思えてくる。自然科学の新しい一面をとらえる好機である。

自然科学をとりまく状況とは独立に、情報科学や人工知能の境界で（統計的）機械学習という言葉聞いたことがあるかもしれない。機械学習とは、平たく言えば計算機（コンピュータ）でデータを情報に結び付けること、もしくはそのような情報処理を可能にすることである。自然科学は実験データから自然現象に関する知識を抽出し理論を構築するという情報処理を必要とするので、機械学習を使ってみたいくなるのは道理である。計算機は私たち人間とは違って、「○○しか興味がない」とか「××は絶対に嫌だ」という選り好みはしないはずであり、強力なパートナーになり得る。一方で「無理なものは無理」と容赦なく言い放ってくる。たとえば、データは私たちが取ってこないといけないし、私たちが築いてきた理論は教えてあげないといけない。そもそも私たちが何をしたいのかという目的を共有しないとイケない。

本講義では計算機と共同研究する心構えを一緒に学んでいきたい。本講義では、受講者に3（+1）個のテーマから1個選んでもらい、それぞれのテーマについてグループワークを実施する中で、機械学習と自然科学との関係について議論する。

- テーマ1 データ取得から始める体感時間の機械学習
- テーマ2 データ解釈を深める水分子構造の機械学習
- テーマ3 データ予測に繋げる天文・宇宙の機械学習
- テーマ4 熱意ある学生からの積極的なテーマ提案を求む！

テーマ4を希望する場合はガイダンスの際に提案すること。講義日までに担当教員と議論・調整を行い実現可能と判断された場合は採用する

本ゼミのガイダンスは9月28日(金) お昼休みに行なう。場所はガイダンスの項目を参照のこと。

評価方法 授業への参加、最終プレゼンテーションとその質疑応答を踏まえて総合的に判断

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 特定日に行う。

2018年9月28日 昼休みに1号館102教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51378	A	東大×南大 共同フィールドワーク 於東京	白 佐 立	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要 本講義では、2018年11月に中国・南京大学とベトナム・日越大学からの日本語上級者を迎え入れ、アジア学生共同フィールドワークを実施する。

今年度のテーマは「ある／いるのに、見ない／見えないもの」とする。街角の駄菓子屋で老眼鏡をかけ、新聞を読んでいるおじいさん。商店街のタコ焼き屋で放課後やってくる学生たちの注文に忙しい夫婦。自分の家の前だけでなく隣近所でも、夏に毎朝打ち水をし、秋に落ち葉の掃除をするおばあさん。私たちの周囲には毎日あたりまえのように会えるはずの人々がいる。しかし、彼ら・彼女らはどこから来たのか、これまでどのような人生を歩んできたのか、どのように知恵をこらして生業を立ててきたのかについては知らないであろうし、これまで理解しようともしてこなかったであろう。

今回のフィールドワークでは、異なる国の学生とチームを組み、共に東京の街を歩き、身近な人々の生活に触れ、彼ら・彼女らの人生の物語や生活の知恵を見ることを通して、人々の考え方や生活に対するリアルな理解・想像力を培うことをねらいとする。

履修者は2018年11月15日（木）～18日（日）にかけて、同チームの学生とのディスカッション、フィールドワーク、結果発表を行う。履修者はガイダンス、事前講義（日時未定）、上記期間中のすべての活動に参加することが単位取得に際して必須条件となる。また、本講義は学部前期、後期、修士課程合同の講義であるため、学部前期課程の学生で本講義を履修する者は上級生と討論、共同作業を遂行することができるだけの能力と相応の努力が求められる。なお、南京大生とは主に日本語でコミュニケーションをとるので、中国語未習得者の参加も歓迎する。積極的にコミュニケーションを取る意欲こそが望まれる。

*受講人数：10～15名程度。履修希望者が多い場合、レポートによる選抜を実施する。

*開講期間：2018年11月15日～18日（15日は17：00～20：00、16日～18日は終日）。また、事前講義（日時未定）への参加は必須。

*ガイダンス

日時：2018年10月4日（木）12：20～12：50

場所：国際教育研究棟（旧6号館）314教室

*授業計画・方法：ガイダンス時に説明する。

講義に関する最新情報はLAPホームページを参照すること。

評価方法 平常点（フィールドワークの実施状況、授業への参加状況、討論への貢献度）およびレポートによって評価する。

教科書 プリントを配布する。

ガイダンス 特定日に行う。

2018年10月4日 国際教育研究棟（旧6号館）3階314教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51394	A	南京大学フィールドワーク研修	白 佐立	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要 【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

本講義では、中国・南京大学の学生と共に南京の市街地を歩き、街の人々の生活を観察・考察するためのフィールドワークを実施する。フィールドワークを通して南京の人々の生活に触れることで、人々の考え方や生活に対するリアルな理解、想像力を持つことを狙いとする。書籍やマスメディアからの情報を鵜呑みにするような〈情報の消費者〉ではなく、自らの眼と脚で経験し、その経験から独自の視点と見解を見出す、そのような〈知の生産者〉を目指す、柔軟性と意欲を有した学生の参加を期待する。

履修者には、1週間のフィールドワーク期間中、ディスカッションとフィールドワーク（観察、聞き取り調査など）、発表を行ってもらう。履修希望者は10月に開催するガイダンスと2回の事前講義に必ず参加すること。今年度より、本講義は教養後期課程「都市フィールドワーク実習」の履修希望者と共に、レポート課題（ガイダンス時に説明）により派遣学生を選抜する。

なお、南京大生とは主に日本語と英語でコミュニケーションをとるので、中国語未習得者の参加も歓迎する。積極的にコミュニケーションを取る意欲こそが望まれる。

例年のフィールドワーク内容はLAPホームページとLAPの公式Facebookを参照のこと。

*受講人数：20名（教養前期課程学生・教養後期課程学生併せて）

*開講場所：中国・南京大学。フィールドワーク実施場所は南京市内。

*開講期間：2019年3月3日～17日（予定）。前半、後半に分け（7泊8日）、それぞれ10名派遣。派遣前の事前討論会（2回、日時未定）への参加は必須。

*ガイダンス

日時：2018年10月2日（火）12：20～12：50

場所：駒場国際教育研究棟（旧6号館）314教室

*選抜方法：履修希望者は必ずガイダンスに参加し、選考レポートを提出すること。

*参加費用：派遣に必要な費用の一部は学生負担とする（詳細はガイダンス時に説明）。

*単位登録についての説明は、ガイダンス時に行う。

講義に関する最新情報はLAPホームページを参照すること。

評価方法 講義への参加状況およびレポートで評価する

教科書 プリントを配布する。

ガイダンス 特定日に行う。

2018年10月2日 国際教育研究棟（旧6号館）314教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51399	A	ブランドデザイン スタジオ19 ～お金の未来と投資の ブランドデザイン～	真船 文隆 宮澤 正憲 岡本 佳子	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 【注意】この授業に参加するには、履修登録とは別に「説明会への出席」と「エントリーシートの提出」が必要です。授業登録だけでは参加できません。</p> <p>●プログラムについて 『正解のない問いに、共に挑む』特別教育プログラムです。参加者の皆さんが今後、広く社会一般で活用し得る「共創」の手法を「21 KOMCEE (理想の教育棟)」を舞台に、東京大学×博報堂ブランドデザインのコラボレーションにより学んでもらいます。全回、ワークショップ形式で行われ、現役の広告会社社員、ブランド・コンサルタントがプログラム・デザインおよびファシリテーションを担当します。 本プログラムでは参加者の多様性を重視する目的により、参加学生と一定数の社会人参加者が一緒になってプロジェクトチームを結成し、チームでのアイデア創出を行ってもらうことを予定しています。 【URL】 http://www.bdstudio.komex.c.u-tokyo.ac.jp/</p> <p>●この授業について 『人生100年時代』というキーワードが人口に膾炙するようになってきました。長寿化が進み100歳まで生きることが標準的になる時代においては、これまでとは異なる学び方や働き方、暮らし方、生き方を考えていく必要がある、と言われます。 人生100年時代においては「お金との向き合い方」も変わってくる、まかりまちがうと経済的な困窮に陥ってしまうと喧伝され、「老後破産」「下流老人」あるいは「奨学金破産」などの刺激的な言葉がメディアには踊っています。他方、「電子マネー」「キャッシュレス化」や「フィンテック」「仮想通貨」など、お金に関わるテクノロジーが長足の進歩を遂げ、「お金のかたち」や「私たちとお金との関係」を大きな変化をもたらしています。 今回のブランドデザインスタジオは、大きな変容を迎えている「お金」をテーマとして取り上げ、お金との向き合い方のひとつである「投資」に関する新しいブランドを創り出すことをゴールに置きます。参加いただく皆さんには、まず多様なリサーチや議論を通じて「お金」「投資」というテーマを多面的に捉え直してもらいます。その後、集めた情報を分析・統合し、「お金」の未来を見据えたうえで「投資」の持つ価値や課題を探求し、そこに立脚して新しいアイデアを創出していただきます。「投資」に関する新たな商品やサービス、空間やイベントなどアイデアは自由に発想していただき、人生100年時代における「投資」を世に問うていただきたいと思います。 本授業における最終成果物として、授業終了後に一般公開する形でプレゼンテーションをしていただく予定です。</p> <p>評価方法 全ての授業への参加を前提に、個人ワークの提出内容、グループワークへの貢献、最終プレゼンテーション内容により評価します。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特定日に行う。 2018年9月27日KOMCEE West K502 (17:30～20:30)</p>								
51488	A	中国語サマースクール	伊藤 徳也	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	集中	2	シラバス 参照	2年 文科 理科
<p>目標概要 【注意】この授業は実施期間が既に終了しています。該当する履修者以外は履修登録しないよう注意してください。</p> <p>【注意】この授業は開講日程の都合上、参加申し込みが通常と異なるため留意してください。</p> <p>中国語を1年間学んだ学生を対象に、さらなる実力の養成のため、集中的に中国語を学ぶ特訓のプログラムを実施する。東アジアを足場に活躍する人材にとって、中国語は、中国の文化や社会を知るためだけでなく、世界的な知的交流に参画するための必須条件となるであろう。中国の現地で中国語に磨きをかけるとともに、フィールドワーク的な作業を通して、語学のスキルを磨きあげることがめざす。</p> <p>評価方法 サマースクール期間中に実施するテスト、レポート等を総合的に評価する。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。</p>								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51540	A	“学部学生のための研究入門コース-UROP2 (Undergraduate Research Opportunity Program 2)”	川越 至桜	生産技術研究所	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要

駒場リサーチキャンパスにある生産技術研究所（生研）では、IT、ナノテクノロジー、バイオや環境の分野を始めとした、工学全般における様々な最先端の研究を行っている。このような先端研究について、従来の受動的な授業とは異なり、自分自身の手を動かしながら研究を進め、実験や実習を通して実践的に学んでいくのが、本ゼミナールの特徴である。

研究テーマに関しては、生研で行われている数々の研究から興味のあるテーマを選択する。授業の形態としては、選択したテーマを研究している研究室の一員として、設定した目的や計画のもと研究を進め、最後に研究成果の発表を行う。具体的な方法、内容や日時などの研究の進め方については、研究室の教員と相談しながら決めること。

このような実際の研究プロセスを体験することにより、研究のノウハウを学んでいく入門コースである。

授業内容や研究テーマの詳細については、ホームページ（<http://www.oshimalab.iis.u-tokyo.ac.jp/UROP/>）を参照のこと。

※履修人数を20名に制限する。

※開講場所：生産技術研究所

※ガイダンスは、9月26日（水）および9月28日（金）の2日間、12時20分より 教養学部1号館104教室にて行う。

評価方法

日頃の研究への取り組み、報告書、および研究発表により、成績を評価する。

教科書

授業中に指示をする。

ガイダンス

特定日に行う。

2018年9月26日（水）および28日（金）12時20分より 教養学部1号館104教室

51386	A	駒場すずかんゼミナール『学藝饗宴』	鈴木 寛	公共政策大学院	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
-------	---	-------------------	------	---------	----	---	--------	----------------------

目標概要

2017年度より開講されている本ゼミナールは、元文部科学副大臣／東京大学教授の鈴木寛（すずかん）主催のもと、『学藝饗宴』と題して学術と藝術を横断する教養教育を行うことを目指したゼミである。ゼミ生同士の議論、各界の第一線で活躍するゲストを講師に招き行うセッションが主な授業内容となる。2018年度Sセメスターでは、「境界線」をテーマとして、事象の間に引かれた境界線を見出し、あるいは敢えて境界線を引くことによって、そこに立ち現れる何物かを縦横無尽に議論することを試みた。

今年度Aセメスターでは、「物語」をテーマとする。物語という表現形態の可能性を問い、「物語る」という行為について考察を深める。物語とはありとあらゆる分野から見出されるものである。歴史もまた物語とは無縁ではなく、経営や建築にも物語がある。物語するという行為は「読み解く」という行為と表裏一体であり、それゆえに、ゼミ生には対象の読み解きについてもそれぞれの関心に即して実践を多く経験してもらうことになる。

本ゼミナールは、特定の問題についての答えを与えるゼミではない。むしろ、自らの関心のある領域をそれぞれが見出し、頭から離れなくなるような問いを得ることを目的とする。問いに際して、論理や経験から答えを導こうとするだけではなく、個々人が自らの真善美を追求し、感性を磨きあげることに重きをおく。分からないもの分からないなりに好奇心を抱き、それを自らの血肉としてゆっくりと結実させようと試みるような学生に参加してほしい。なお、本講座では多角的視野から議論を深めるため、文理を問わず多様なバックグラウンドを持った学生の受講を大いに歓迎する。

※選考をガイダンス時に行い、受講者を10～20名程度に限定する。

※講義内容、予定課題図書、その他の詳細はFacebookページを参照すること。

評価方法

ガイダンス時に説明する。

教科書

教科書は使用しない。

ガイダンス

特定日に行う。

2018年9月28日6限 1号館109教室 場所については関連ページ参照をすること。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51412	A 1	放射性炭素年代測定法の実習	松崎 浩之	総合研究博物館	集中	1	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 炭素は私たち人間を含む動物や植物の体を構成している有機物の骨格をなす元素である、と同時に、大気中では二酸化炭素として、海洋環境では炭酸塩として、無機炭素としても存在し、気候と深い関わりを持っている。また、地球上には、ガスハイドレートや石油・天然ガスなど炭素の巨大なリザーバーが存在する。これらがどのようにして形成されたのか、また将来環境中に流出して気候に影響を及ぼす事はないのか、など、長期的な時間スケールで考えると、生命／種の生存に関わる重大な課題が存在している事がわかる。炭素動態を調べる際には、同位体の情報が極めて有用である。炭素には、質量数12、13の安定同位体の他に、半減期5730年の放射性同位体14が存在する。本コースでは、放射性同位体C-14に着目する。放射性同位体と安定同位体との比(14C/12C)は炭素動態における時間情報を提供する。その端的な応用例が年代測定である。一方、14C/12Cは実際の値は10^{-15}から10^{-12}程度と、極めて低く、これを測定するためには、加速器質量分析という手法が不可欠である。本コースでは、放射性炭素年代測定法の基礎知識を座学で学ぶと同時に、身近な試料(大気中の二酸化炭素、樹木年輪など)から炭素を抽出・精製する手法を体験し、実際に加速器質量分析で14C/12C比を測定する。これらの経験を通して、炭素の同位体システムやそれを利用した研究手法について学ぶのが目的である。</p> <p>評価方法 出席とレポート。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特定日を行う。 2018年10月6日3限 本郷キャンパス タンデム加速器研究棟 3F会議室</p>								
60252	A 2	加速器質量分析におけるビーム光学	松崎 浩之	総合研究博物館	集中	1	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 加速器質量分析は、イオンを加速器によって加速した状態で質量分析を行う手法である。加速器質量分析の特徴は、イオンが高いエネルギーを持っているため、物質との相互作用を利用して同重体の干渉を除くことができることと、加速器による運動方向への加速により、相対的にビームが“細く”なり、質量分解能が向上することである。実際に高感度な測定系を実現するためには、イオンビームの拡がりを抑えて、分析したいイオンの搬送を確実にした上で、妨害成分の干渉を抑えるため、イオンビーム光学装置(分析電磁石、静電偏向器、四重極レンズ、アインツェルレンズ)等を適切に設計・配置する必要がある。本コースでは、質量分析技術として基本的なイオン光学系の基礎に加えて、静電加速器におけるビームの挙動を学ぶ。近軸近似によるマトリックス法と、実際のビームシミュレーションを比較しながら、ビームの挙動をイメージできるようにすることが目的である。</p> <p>評価方法 出席とレポート。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特定日を行う。 2018年10月6日4限 本郷キャンパス タンデム加速器研究棟 3F会議室</p>								

全学体験ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51369	A	考える力を養う／ コントラクトブリッジ	浅井 潔	理学部	火5	2	114	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

「コントラクト・ブリッジ」(以下「ブリッジ」と呼ぶ)は、トランプを使用して行う競技(ゲーム)であり、チェス、囲碁、将棋と共に「マインド・スポーツ」と呼ばれている。世界中に愛好者がおり、ブリッジの国際組織(WBF = World Bridge Federation)には100か国以上が加盟している。本ゼミナールでは、ブリッジのルールを学び、推定力、判断力、分析力、集中力を駆使して確率を見積って最適なプレイを選ぶ考え方を実践を通じて身に着ける。担当教員(浅井)は日本リーグ1部でプレイした経験を持つ上級者である。本授業は公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟の協力を得る。

※受講人数:40名に制限する。

評価方法 合格・不合格:宿題の成績、ゲーム達成度および授業への出席実績に基づいて行う。

教科書 Webページ及び無料学習用ソフトを使用

ガイダンス 第一回授業日に行う。

51426	A	生命科学の最前線	橋本 祐一	定量生命科学研究所	火5	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
-------	---	----------	-------	-----------	----	---	------------	----------------------

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

本全学体験ゼミナールは、従来、分子細胞生物学研究所(分生研)において開講していたが、分生研は昨年度をもって廃止となり、新たに定量生命科学研究所が設立された。この抜本的な改組の背景には、「生命科学の成果が人々の倫理観・道徳観・宇宙観に与える影響が甚大であること深く自覚して、生命科学のあるべき姿を真剣に捉えて研究を遂行していく」、という精神がある。この新生「定量生命科学研究所」の社会における役割について、これを第三者・外部知識人の視点から公平に評価・考察した内容を、新たに開講する本全学体験ゼミナールの一部に講義として取り入れることも重要と考えている。今回は、本目的を達成するために、教養課程の学生に分かりやすいように「科学と政治の関わり」に視点を絞って、科学研究倫理に対する造詣も深い客員教員(池上 彰)が1コマ(10月16日)の講義を分担する。

Aセメスターに行われる本ゼミナールでは、定量生命科学研究所の各研究室にて最先端の生命科学研究を体験学習する(履修上の注意参照)。カバーする分野は、基礎から応用まで多岐にわたり、以下の内容を含む。

- 1) 細胞の増殖・分化・癌化、癌幹細胞の研究
- 2) 遺伝子発現制御と染色体の構築・分配の研究
- 3) 神経ネットワーク形成、記憶形成メカニズムの研究
- 4) 肝臓の発生・病態・再生、iPS細胞を用いた再生医学の研究
- 5) ゲノム情報学を駆使した染色体機能の研究
- 6) タンパク質の機能を制御する生理活性物質創製研究
- 7) ノンコーディングRNA・RNAサイレンシングの分子機構の研究
- 8) ゲノムの老化と再生
- 9) ストレス応答経路
- 10) 構造生物学による原子レベルの生命現象解析
- 11) 生殖細胞におけるクロマチンダイナミクスの研究

授業は移動時間を考慮し、17:50開始とする。

集合場所は弥生キャンパス定量生命科学研究所本館102号会議室

評価方法 出席

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 第一回授業日に行う。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51363	A	Arduinoを使って応用システムを作ろうB	廣瀬 明	工学部	火6	2	K301	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>=====</p> <p>ITの普及と発展により、我々の身の回りには新しい製品やサービスが登場し、時として生活スタイルを大きく変えたり、ビジネスの枠組み自体に大きな影響を与えたりすることがある。購買者や利用者として製品やサービスが提供するメリットを享受することはたやすいが、逆に購買者や利用者を興奮させたり、目を見開かせたりする製品やサービスを創造することは容易ではない。では、購買者や利用者を「これはすごい!」、「これは便利だ」、「これは心地よい」、「これは楽しい」と言わせるモノを創ってみようではないかというのがこのゼミの狙いである。</p> <p>まずは、「作ってみた」というレベルから開始して、最終的には製品やサービスが果たす「社会的なゴール」を意識したレベルのモノづくりに取り組んで欲しいと考えている。従って、ゼミに参加するにあたっては何にチャレンジしたいのか、具体的な目標を持って臨んでもらいたい。個々のゼミ生の目標に基づき、専門家による指導を受けたり、製造現場を見学に出向いたりしたいと考えている。また、構築した応用システムは、完成後、想定される利用者に試用してもらい、利用者の評価を受ける予定である。さらに、本ゼミでは起業を支援した実績があり、起業にチャレンジしたい学生諸君の参加を大いに歓迎する。</p> <p>※受講人数：10名に制限する。 ※開講場所：駒場 KOMCEE West 3階K301号室 受講を希望する学生は、廣瀬（UTASシラバス【授業の目標・概要】参照）まで必ず事前にメールで申し込みこむこと。（希望者多数の場合には抽選とする） ※このゼミは9月25日(火)6限（18：45～）に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p> <p>評価方法 ガイダンス、講義、実習、システム構築、プレゼンテーション、発表会への参加。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Arduinoをはじめよう 著者（訳者）：Missimo Banzi（船田 巧） 出版社 : オーム社（オライリー・ジャパン） ISBN : 978-4-87311-537-5 ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								
51337	A 1	グローバル人材のキャリア Choices を考える —日本で働く選択にむけて—	原田 麻里子	グローバルキャンパス推進本部	水5	1	K501	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>=====</p> <p>日本の大学を終了後のキャリアの選択肢は多岐にわたります。グローバル人材の活躍が注目される今、日本で働くということはどのようなことなのか？それに向けて大学生活をどのように送るべきか。本ゼミでは、下記のことについて学ぶことにより、「日本で働くこと」を考え、自らの今後について、早い時期から考えるベース作りをすることを目的とします。</p> <p>*日本でのキャリア形成を考える上で必要な制度や壁、日本社会のニーズ等を学ぶ。 *日本社会で働く幅広い人【留学生OBを含む】から話を聞き、現場を体験し、現状を知る。 *自分自身を知る。今の自分をCVなどに文章化する。</p> <p>各回の講義を通してゲスト講師等から聞く現場の話や、ディスカッションを踏まえ、留学生等から見た「グローバル人材が活躍できる日本企業・社会」の提案・プレゼンテーションを行うことを予定しています。</p> <p>*本ゼミは、就職活動のための具体的な支援をする講義ではありません。</p> <p>評価方法 出席、授業や外部講師とのディスカッションへの参加意欲、テーマプレゼンテーション、最終レポート（プレゼンのドキュメント）を総合的に評価します。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51390	A 1	ピアサポート・支えあいの理論と実践を学ぶー相互扶助のキャンパスづくり	高野 明	学生相談ネットワーク本部	水5	1	119	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

ピアサポートとは、学生生活上で支援(援助)を必要としている学生に対し、仲間である学生同士で気軽に相談に応じ、手助けを行う活動です。本学では、学生のみなさんの支え合いと自主的成長を促進するために、学生ボランティアのピアサポーターを組織し、学生による学生を支えるピアサポート活動を全学的に展開しています。この授業では、ピアサポートの理論と実践方法について体験的に学習し、相互扶助のキャンパスづくりに貢献できる知識とスキルを習得することを目標とします。授業は、ピアサポート活動に関わる教員による講義と実習、学生同士のディスカッションによって構成されます。受講者には、相互扶助のキャンパス作りに関する学習への積極的なコミットメントが求められます。

なお、この授業を受講することで、ピアサポーター認定のための予備研修を受けたことになります。

評価方法 毎回授業で行うレポート作成をもとに評価します。

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 第一回授業日に行う。

51351	A	飛行ロボットを作って飛ばす	土屋 武司	工学部	水5	2	シラバス参照	1年 理科 2年 理科
-------	---	---------------	-------	-----	----	---	--------	----------------

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

飛行ロボットとは無人航空機(ドローン)である。室内で飛行する大きさ数10cm~1m程度、重量数100gの飛行ロボットを自ら設計、製作し飛行させることを目標とする。小さくても飛行ロボットには航空工学の要素が詰まっており、講義、実習を通じてこれを理解する。

※駒場からの移動時間を考慮し、17時40分から開始する。

開講場所は工学部7号館70号講義室

※このゼミは9月25日(火)6限(18:45~)に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法 授業への参加、貢献度による。

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 第一回授業日に行う。

51356	A	創造力増強のための寺小屋講座(シーズン・ファイナル)	生田 幸士	工学部	水5	2	531	1年 文科 理科 2年 文科 理科
-------	---	----------------------------	-------	-----	----	---	-----	----------------------

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

記憶力と受験テクニック偏重の日本の受験勉強から脱却し、真の創造力、想像力、独創力、人間力を持ち世界に羽ばたける人間になるための第1歩の講座である。一方的な座学ではなく、「たまご落とし」コンテスト、「馬鹿ゼミ」など、知的で楽しい演習を中心としている。5年目となる本年は、さらにバージョンアップした東大初の試行を取り入れ、頭脳の再構築をめざす。指導者は工学部計数工学科と先端科学技術研究センターを兼務する生田幸士教授であるが、受講対象者は理系、文系を問わない。

基礎知識不要、やる気と元気が必須!

※このゼミは9月25日(火)6限(18:45~)に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法 レポート、プレゼン等の総合評価

(ペーパーテストはしない)

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 第一回授業日に行う。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51364	A	ロボット競技を体験しようB	國吉 康夫	工学部	水6	2	1212	1年 文科 理科
51379		ロボット競技を体験しようD						2年 文科 理科

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

ロボット競技とは、決められたルールに従ってオリジナルのロボットを製作して競わせるものである。ルールを徹底的に分析し、討論して最適戦略と最適マシン仕様を策定し、機械工学、電子工学、情報工学、人工知能を学び、身につけ、協力して最強のマシンを設計・製作・改良・検証する。勝つためには、訴求力あるプレゼン資料の作成や、力を発揮する組織運営、あらゆる事象を想定した危機管理など、文系の能力も不可欠である。

本ゼミでは、これらの総合的取り組みの様々な段階を実体験することで、一つの具体的目標に向けて、全員が徹底的に頭脳を振り絞り、創造力を発揮することで、総合的に人間力を高めることを狙う。

専門的な知識は前提としない。文理問わず興味を持った人に来てもらいたい。

本ゼミは1年S semesterのAから2年A semesterのDまでで構成されるが、途中からの参加も歓迎する。Aに参加した学生と、B～Dに途中から参加した学生には、基礎からの講義および実習を行い、基礎的な知識・技能の習得をまず達成する。その後、次学期以後の当ゼミに参加して発展的内容に取り組むことは歓迎するが、どうするかは全く本人の自由である。

発展的な内容を体験したい学生や、本格的なロボットの企画設計、製作等の活動を通じた「ものづくり」を体験したい場合は、「NHK大学ロボコン」に参加するチーム「東京大学RoboTech」の活動への参加も歓迎する。

講義は平日5限後に駒場で行い、実習は集中講義形式をとり、本郷で行う（土曜、日曜に行う場合がある）。

※履修人数を20名程度に制限する。

※関連HP：<http://www.isi.imi.i.u-tokyo.ac.jp/~lectures/robot-semi.htm>

<http://www.mech.t.u-tokyo.ac.jp/robotech/>

評価方法 講義及び実習への参加度合いにより、合格・不合格を判定する。

各学生の得意分野を積極的に評価する。たとえば、文系の学生で機械加工等が得意でなくとも、論理的分析やプレゼン資料作成で評価するなど、多様性を重んじる。

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 第一回授業日に行う。

51377	A	秋の奥秩父を巡る	山田 利博 平尾 聡秀 鈴木 智之	農学部	木5	2	120	1年 文科 理科 2年 文科 理科
-------	---	----------	----------------------	-----	----	---	-----	----------------------

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

森林は多様な生物の生息場所であるとともに、人にとっても水や食物などさまざまな恩恵をもたらす存在です。日本の国土の約7割は森林に覆われていますので、森林を知ること、自然の成り立ちや、人と自然のかかわりを知ることそのものであるといえます。しかし、現代の日常生活では、森林の生命の営みや森林の恵みを経験的に知る機会は決して多くありません。秩父演習林の位置する奥秩父山系は、関東甲信越地方の水源地であり、深い森林と切り立った渓谷が原生的な自然を形作っています。気軽に行ける場所ではありませんが、関東地方で人間の影響の少ない自然に触れることができる数少ない地域です。

本ゼミでは、秩父地方の自然史や生業に関する事前講義を踏まえ、奥秩父山系の森林生態系の見学を行います。具体的には、標高に伴う森林の推移、森林に対する自然撓乱、樹木の更新、動植物の分布、シカによる植生の衰退、山地森林のもつ水源涵養機能など、森林生態系の動きについて経験を通じて学びます。また、薪炭林としての二次林や放棄された人工林など、過去から現在までの森林利用について学ぶとともに、山村の代表的な食品である蕎麦の収穫から蕎麦打ちまでの工程を体験します。最終的に、手つかずの原生林と、資源利用されてきた二次林・人工林を比較し、森林の成り立ち・人と森林のかかわりについて、自らの体験をもとに考えていただくことを目標とします。本ゼミを通じて、奥秩父の壮麗な自然を味わうとともに、経験的に自然を知るといふ自然科学の基本的なアプローチを学んでいただくことを期待しています。

※受講人数を10名以下に制限します。

※受講希望者はガイダンスに参加して下さい。

※担当教員：山田利博・平尾聡秀・鈴木智之

※このゼミは9月27日(木)18時40分～19時45分に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法 出席と発表・レポートで評価します。

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 第一回授業日に行う。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51420	A	将棋で磨く知性と感性	金子 知適 森畑 明昌 堀口 弘治 勝又 清和	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	木5	2	K501	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>-----</p> <p>将棋は千年に亘る歴史を持つ日本の伝統文化である。このセミナーでは日本将棋連盟の全面的協力を得て、講義と対局の両面から将棋文化を学ぶ。</p> <p>第1回にガイダンスを行う。履修希望者が多い場合は、第1回目のガイダンスの際に書いて提出してもらう作文によって、未経験者を優先して履修者を決定する。ガイダンスの会場は授業の部屋とは異なる。</p> <p>※受講人数：最大40名に制限する。 ※ガイダンス：初回授業日5限にKOMCEE East K011で行う。 4名の担当教員のうち、代表教員は金子</p> <p>評価方法 出席や簡単なレポートで評価する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。KOMCEE East K011</p>								
60247	A 2	森のエネルギーを使いこなす	安村 直樹 齋藤 暖生 富山 啓介 小山 明日香	農学部	金2	2	E41	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>-----</p> <p>本講義は森のエネルギーを体感すること、森林管理の観点からその流通・利用（森からエネルギーを取り出して家庭等で使うまで）における問題点について学ぶことの二点を目的とする。</p> <p>わが国の森には莫大な利用可能エネルギーが眠っている。しかもそのエネルギーは森林の成長に伴って毎年増え続けている。我々は森のエネルギーを薪（まき）や炭、ペレットの形で取り出して採暖や炊事などに利用することができる。</p> <p>木材の用途は大きく分けて住宅用材などの用材と炭や薪などの燃料に二分できる。一般に先進国では木材消費量が占める燃料の割合は低いが、欧米の水準（10～16％）とわが国（7.4％）には隔たりがある。森林資源の豊富なわが国には燃料、すなわち森のエネルギー利用の増大する余地がある。</p> <p>森のエネルギー利用の増大によって、現在手入れが不足しているとされる里山や人工林の回復も期待される。現時点での、田無および富士地域での森のエネルギー利用がどのように森林管理に関わっているのか、自身の目で確認してもらいたい。</p> <p>講義の目的を達するため本講義では伐倒および植樹、薪割りや炭焼き、薪や炭を用いた炊事・ストーブ・暖炉を体験する。普段の電気や石油・ガスそしてエアコンを用いた食事・ストーブ・空調との違いを、五感を働かせて体感する。自らの体を動かして何かを体感したい学生の参加を歓迎する。体験に際して、炭焼きの歩留まりや炊事の薪炭消費量、伐採による光環境の変化などの定量的なデータを出来る限り取得する。これらに加え実際に森のエネルギーを日常的に利用する世帯・施設への聞き取り調査などを通じて、森林管理の観点から森のエネルギーの流通・利用における問題点について学び、考察する。</p> <p>講義は初回ガイダンスを含む通常講義3回（2018/11/30、12/7、12/14@教養学部キャンパス）と集中講義2回（2019/1/12土曜日@田無演習林、1/13日曜日-15火曜日@富士癒しの森研究所）から構成される。薪割りなどの作業の安全を確保する関係上、履修人数を18名に制限する。田無演習林および富士癒しの森研究所における集中講義は参加必須である。宿泊費9,500円（予定）は事前の講義で集金する。宿泊費の他に往復交通費（田無およそ800円、富士およそ4,000円）が必要となる。</p> <p>※このゼミは9月27日（木）18時40分～19時45分に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。</p> <p>評価方法 出席とレポート</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。 2018年11月30日 2限 情報教育棟 E39</p>								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51425	A	電磁気学で使う数学	清野 和彦 平地 健吾	数理科学研究科	金2	2	511	1年 文科 理科
<p>目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>理系の1年生がAセメスターで学ぶ電磁気学では、物理的な量の関係がベクトル場や微分形式と呼ばれるものの微積分によって表されます。ところが、ベクトル場や微分形式の微積分を数学の授業で学ぶのは2年生のSセメスターであり、さらに、その前提となる多変数関数の積分を学ぶのは1年生Aセメスターの微分積分学の中盤になるのが普通です。そこで、このゼミナールでは多変数関数の積分とベクトル場や微分形式の微積分について学びます。内容がかなり多いので、数学として何を言っているのかを説明するのが主で、証明はほとんどしない予定です。必要なことは電磁気学の講義でも説明されますし、少し待てば数学の講義でも学ぶ内容ですので、数学が気になって電磁気学の本当の内容に集中できない人や、数学が苦手で見ただけの数学の記号がでてきただけでめまいがして電磁気学どころではなくなってしまう、というような人を念頭において話を進める予定です。</p> <p>なお、電磁気学の物理学としての内容には一切触れません。電磁気学そのものの理解を深めようというものでないことにくれぐれも注意してください。また、このゼミで扱う数学はすべて電磁気学で使われますが、電磁気学の講義で使われるかどうかはそれぞれの電磁気学の授業の担当教員の考え如何です。その点も心に留めておいて下さい。</p> <p>評価方法 毎回の小テストと、それを補充するレポートによる。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								
51389	A	オープンガバナンスによる市民参加型社会の体験(川崎市宮前区)	有馬 純	公共政策大学院	金4	2	516	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>これまで公共サービスの企画や提供は、一部のボランティア活動を除いてはほとんど行政が担い、大多数の市民は専らサービスの受益者と受け止められることが多かった。しかし、デジタル社会の到来で、多くの市民が行政の提供する情報(データと知識)の社会的な共有を通じて公共サービスに係る課題の発見、構想の提言と具体化、さらにはその実施に直接関わるムーブメントが萌芽しつつある。つまり、市民が主体的に公共サービスの提案から提供までの一連のプロセスに積極的に関わり、行政はそのプラットフォームとなっていく市民参加型社会=オープンガバナンスの実現を可能とするものであり、民主主義の新たな展開の兆しでもある。市民にとっては働き方改革の次に到来する生き方改革(ワークライフソーシャルバランス)につながり、行政にとっては公共サービスのco-creationの舞台回し役への変革につながる。</p> <p>このようなオープンガバナンスは、米EUをはじめとして世界各国で模索が始まっているが、まだスタートしたばかりの発展途上にあり、我が国でも、今後、若い世代の斬新なアイデアによる取組みが強く求められる。</p> <p>この体験学習では川崎市宮前区を取り上げ、現地訪問により「市営住宅集会所を利用した地域住民による販売会」、「住民が運営するコミュニティバス」、「住民が企画するマルシェ」などを体験する一方、若者から高齢者までの区民と行政の新たな連携についての宮前区職員との意見交換などを踏まえて、これからの地域住民と行政の具体的な新しい在り方を学生によるワークショップを実践しながら企画し、最終的に現地で発表する。</p> <p>このゼミナールでは、政治思想史・政治哲学が専門の宇野重規教授(東京大学社会科学研究所)、この分野の第一人者の庄司昌彦氏(東京大学公共政策大学院客員研究員(予定)兼国際大学グローバルコミュニケーションセンター主管研究員・准教授)、デジタル時代の行政と社会を担当する奥村裕一東京大学公共政策大学院客員教授が分担する。</p> <p>評価方法 学習過程における参加度と理解度(毎回の出席と定時(第6回、第8回、第13回各終了後)に提出する各自の小レポート)。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								
51336	A 1	大学の国際化とキャンパスコミュニティ:多様性を尊重するキャンパスについて考える	大西 晶子	グローバルキャンパス推進本部	金5	1	114	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>多様な文化的背景を持つ学生が学ぶ空間として、キャンパスはどのような場であることが期待されるでしょうか。また、そうしたキャンパスコミュニティの一員として、学生一人一人は、どのような体験をしているでしょうか。本授業においては、異文化間の接触に伴い生じる組織・集団や個人の心理的反応について、講義や受講者同士のディスカッション、自身の日常体験の内省を通じて学び、それらを踏まえて、キャンパスコミュニティの国際化に向け、学生目線からの提案をおこないます。</p> <p>評価方法 出席、授業参加度、授業時発表、最終レポートを総合的に勘案します。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51400	A	囲碁で養う考える力	森畑 明昌 金子 知適 石倉 昇 吉原 由香里 黒瀧 正憲	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	金5	2	K501	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

囲碁は、古い歴史を持つ日本の伝統文化であるばかりでなく、国際的にも広く普及し親しまれている頭脳のスポーツである。本ゼミナールでは、囲碁のルールを学び、お互いの実戦を通じて、判断力、分析力、洞察力、集中力などを養う。指導に際しては日本棋院の全面的な協力を得る。囲碁は初めての人を対象として、基本のルールから教える。

第1回にガイダンスを行い、希望者が多い場合は、第1回目のガイダンスの際に書いてもらう作文によって、履修者を（未経験者の中から）決定する。

※受講人数：40名に制限する。

※5名の担当教員のうち、代表教員は森畑

評価方法 講義への参加状況をもとに合否を判定する。

教科書 次の教科書を使用する。

書名：東大教養囲碁講座－ゼロからわかりやすく

著者（訳者）：石倉昇・梅沢由香里・黒瀧正憲・兵頭俊夫

出版社：光文社（新書）

ISBN：978-4334034108

ガイダンス 第一回授業日に行う。5限 K011

51428	A	じっくり学ぶ数学Ⅱ	牛腸 徹 平地 健吾	数理科学研究科	金5	2	シラバス 参照	1年 文科 理科
-------	---	-----------	---------------	---------	----	---	------------	----------

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

数学を学ぶ上で微積分学と線型代数学は最も基本的なものです。そこで、Sセメスターの「じっくり学ぶ数学Ⅰ」に引き続き、論理的な順番には余りこだわらずに、微積分学や線型代数学における基本的な考え方を順番に取り上げて、何をどう考えているのかとか、何がアイデアなのかということになるべくはっきりした形で説明してみようと思います。それにより、正規の数学の講義と合わせて、皆さんにより良く微積分学や線型代数学を身につけていただく助けになればと考えています。

一応、ゼミは講義形式で行おうと考えていますが、時間の余裕のある方には演習問題を解いて頂く時間を取りたいと思っています。また、文系の方でも十分理解していただけるのではないかと思いますので、文系、理系を問わず、興味のある方でしたらどなたでも歓迎します。

※開講場所：数理科学研究科棟117号室

※授業登録はできませんが、もう一度、数学をじっくり学び直したいと思われる2年生の参加も歓迎します。

評価方法 問題を解いたノート提出

教科書 プリントを配布する。

ガイダンス 特に行わない。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51340	A	機械学習を体験しデータ駆動型化学の世界に入門してみよう	鈴木 康介	工学部	集中	2	シラバス参照	1年 理科
51341		排ガスはどこまで浄化できるのか?自動車触媒技術を体験してみよう						
51342		DDSのための薬物徐放ビーズを作ってみよう						
51343		火災・爆発災害を実験で解明してみよう						
51344		「環境にやさしい」を測ってみよう						
51345		生体分子でセンサーを作ろう!						
51346		ヒト iPS細胞から神経組織を作ろう						
51347		がん治療薬の種となる人工分子を見つけよう						
51348		固体触媒を使って有機合成化学を体験しよう						
51349		機能性材料の最小単位「ナノシート」を観察しよう						

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

本ゼミナールは工学部の化学・生命系三学科(応用化学、化学システム工学、化学生命工学)の研究室の協力により実施する全学体験ゼミナールの一つです。各研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。本ゼミを含む下記の10種のゼミは、合同でガイダンス、最終プレゼンテーションを行います。

- 51340 全学体験ゼミナール (機械学習を体験しデータ駆動型化学の世界に入門してみよう)
- 51341 全学体験ゼミナール (排ガスはどこまで浄化できるのか?自動車触媒技術を体験してみよう)
- 51342 全学体験ゼミナール (DDSのための薬物徐放ビーズを作ってみよう)
- 51343 全学体験ゼミナール (火災・爆発災害を実験で解明してみよう)
- 51344 全学体験ゼミナール (「環境にやさしい」を測ってみよう)
- 51345 全学体験ゼミナール (生体分子でセンサーを作ろう!)
- 51346 全学体験ゼミナール (ヒト iPS細胞から神経組織を作ろう)
- 51347 全学体験ゼミナール (がん治療薬の種となる人工分子を見つけよう)
- 51348 全学体験ゼミナール (固体触媒を使って有機合成化学を体験しよう)
- 51349 全学体験ゼミナール (機能性材料の最小単位「ナノシート」を観察しよう)

原則教養学部の講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します(3~4日間)。1月に、成果発表会を本郷地区にて共同で開催し、他のグループの成果についても聞き、討論を行います。研究現場、プレゼンテーション資料の作成、討論などを体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、この本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは1年 理科です。本講義を受講するためには、履修届提出のみではなく、別途申込が必要です。ガイダンスにて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。

※開講日・具体的内容は、授業計画欄参照。

※このゼミは9月25日(火)6限(18:45~)に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。

※上記工学部合同ガイダンスとは別に、化学生命系の合同ガイダンスを10月1日(月)5、6限(16:50~、18:45~)に105教室で行います。(5限と6限は同じ内容です)

評価方法 出席および成果発表による総合評価

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 特定日に行う。

2018年10月1日5限 1号館105教室(同日6限にも同じ内容で開催)

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51353	A	全日本学生フォーミュラ大会に向けたフォーミュラレーシングカーを作るプロジェクトB	草加 浩平	工学部	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
51352		全日本学生フォーミュラ大会に向けたフォーミュラレーシングカーを作るプロジェクトD						2年 文科 理科

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

本ゼミでは9月に開催が予定されている「全日本学生フォーミュラ大会」出場車両の企画から設計、製作、試験、改良の一連のプロジェクトを体験する。フォーミュラレーシングカーを題材とした「ものづくり」の一連の流れを体験し、「ものづくり」の楽しさ、面白さ、難しさを感じ取ると共に、その中で自分のやりたいこと、進むべき道を発見することを目標とする。

車産業が総合産業であると同様、本プロジェクトに要求される内容も単に工学的知識だけでなく、企業との交渉、広報活動、ドライビングなど多岐にわたる。本ゼミ参加メンバー各自がそれぞれに自分の得意とするあるいは好きな分野の仕事を見つけ、進めることで、本プロジェクトはうまく進む。よって本ゼミでは工学部進学希望者に限らず、文科系、理科系すべての学生を対象とする。

※このゼミは9月25日(火)6限 (18:45～) に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法 必修項目への出席及びプロジェクトへの参加度合いにより、合格・不合格を判定する。

教科書 プリントを配布する。

ガイダンス 特定日に行う。

2018年9月26日5限 1号館102教室

51358	A	i.school KOMABA II: イノベーション・ワークショップへの招待	小松崎 俊作	工学部	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
-------	---	---	--------	-----	----	---	--------	----------------------

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

世界的に漂う閉塞感を打ち破るのは、新しい価値を生み出すイノベーションしかありません。世界の人が賞賛する、日本らしい優れたモノやサービスを次々に生み出してゆくことが日本の生き残る道ではないでしょうか。そのためにはイノベーションを生み出すことのできる人材を育てることが重要です。

スタンフォード大学のd.schoolを始めとして、世界中でイノベーション教育が始まっています。東京大学でも2009年にi.schoolがスタートしました(現在は一般社団法人i.school)。新しい製品、サービス、ビジネスモデル、社会システムを生み出す力を身に付けるためのワークショップを開催しています。対象は大学院生中心で、全ての分野から応募することができます。

この全学体験ゼミナールは、駒場生の皆さんにもi.schoolのワークショップを体験してもらうことを目的としています。イノベーションを生み出す楽しさを、一刻も早く皆さんに知ってもらいたいと考えています。

なお、Sセメスターに実施したi.school KOMABA Iとは一部もしくは全部の内容が異なります。

※このゼミは9月25日(火)6限 (18:45～) に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。

※このゼミでは、i.schoolのサイト (<http://ischool.or.jp/>) からの参加登録と結果通知が必須です。Aセメスター開始前後にi.school KOMABA IIの情報を公開しますので、時々サイトをご確認ください。

評価方法 グループワークでの発言・貢献、プレゼンテーションにより評価します。

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 特に行わない。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51362	A	ナノ・バイオテクノロジー：最先端ラボへようこそ	宮田 完二郎	工学部	集中	1	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>=====</p> <p>最先端の科学技術では、ナノスケールでの物質の構造や特性の制御が欠かせません。これをどうやって実現しているのか、学んでみませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナノスケールのとても小さな世界で起こる出来事をどうやって知るができるのでしょうか？ ・ナノスケールの材料を操作して組み立てるにはどうすればいいのでしょうか？ <p>まさに今、最先端の微細加工や分子レベルでの物質の操作を用いながら、バイオテクノロジーが目覚ましく発展しています。それだけではありません。巨大な建造物の強度を高めたいとき、物質が放つ光を制御して利用したいとき、その決め手となっているのは、ナノテクノロジーなのです。</p> <p>本体験ゼミナールでは、ナノとバイオに関する2つの最先端技術に関するテーマを体験し、そのエッセンスを学びます。</p> <p>※このゼミは9月25日(火)6限(18:45～)に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。</p> <p>評価方法 実験や講義への参加による評価 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特定日を行う。 2018年9月26日6限 105教室で行う個別ガイダンスほか、9月25日6限の工学部合同ガイダンス</p>								
51380	A	森に学ぶ 森林・林業を意識しながら歩く低山	鴨田 重裕	農学部	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>=====</p> <p>【注意】この授業は高校時代に山岳部やワンダーフォーゲル部に所属した人を対象とするものではありません。山野に興味ある人に、安全に山を楽しんでもらい、同時に山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらうために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けですので誰でも参加できます。</p> <p>夏に富良野岳に登った学生と来年登ってみたい学生を対象に本ゼミを開講します。</p> <p>北海道・富良野を舞台に展開したふらのゼミでは、ゆっくりと、足下の植物たちを観察しながら、空気を、日差しを、そして歩くことそれ自体を楽しみながら歩けたでしょうか？大自然を十分に満喫したその次に、人が向きあう林業の森に向かいましたが、そこでは人が自然に向き合う営み、すなわち一次産業を意識することができたでしょうか？もう一度意識しながら山を歩いてみる、本ゼミはふらのゼミを補完することを強く意識してデザインしました。</p> <p>森に何を学ぶべきでしょう。何を学ぶべきかを考えに森に誘う。そういうゼミにします。</p> <p>夏ゼミで登った富良野岳は森林限界を超える世界を垣間見るという点で、ある意味で特別な体験であったと思います。本ゼミ「森に学ぶ 森林・林業を意識しながら歩く低山」では、富良野岳に比べればもっとありふれた山を歩きます。少し意識して歩く低山をお楽しみいただきたいと思います。</p> <p>大方の日本人（もちろん東大生も含め）は日本は先進国だと思っていると思います。先進国とは一次産業を捨て高次産業にシフトすることを意味するのでしょうか？大卒エリート(?)は一次産業に携わらない？携わる必要がない？本当にそれでよいのでしょうか？</p> <p>ふらのゼミで自然の中にどっぷりと身を置いたことで、ちょっと内に変化が起った君たちには（来年度そういう変化を体験しようと思う君にも）、たっぷりとその様なことを考えてもらいたい。答えはない。答えは君達が積み上げていくものなのです。よく考えたあとで、仕上げにもう一度大自然の中に身を置いてみよう。</p> <p>※このゼミは9月27日(木)18時40分～19時45分に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。</p> <p>評価方法 講義の受講態度により可否を判定します。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特定日を行う。 2018年10月3日6限 1号館150教室</p>								

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51382	A 1	伊豆に学ぶ(夏)3後編 山、温泉、そして海。 自然と人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕	農学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この紙面は情報が限られている。受講希望者はweb版シラバスを熟読のうえ申し込むこと。

樹芸研究所と聞いて何する所?と思われたらどうか。私たちは「樹芸」を樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含することと定義している。樹芸研究所が開講する一連の体験ゼミ(通称:伊豆ゼミ)は「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶことの原点を見直すことに重きを置いている。現代社会において見えにくくなっている様々な「つながり」を意識の俎上にあげる構成をとる。「森林を観る」とはどういうことなのか。植生が違ふとどういふ違いが生じるのかなど、そんな「森林」に関する「?」を現物をそっくりそのまま見て、触って実感してもらいたい。理屈をこねまわすよりも、実物を見て「何をどう感じるか」ということを大事にする。

伊豆ゼミの舞台となる樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島は、その昔フィリピン海プレートに乗って海底火山が北上し、その海洋プレートが大陸プレートに潜り込む際に、本州に衝突して陸地となったという。猿人や原人がいた頃の話でそう古くない。また、日本においてフィリピン海プレートに乗る点で、他地域とは何か足元から違うような気分になってくる。少々こじつけに過ぎたかも知れないが、斯様に伊豆半島は海と縁の深い地である。伊豆半島は黒潮に突き出す格好であるので、その気候は海の影響を強く受ける。海はまた陸から注ぐ川の影響を受ける。本体験ゼミナールが目指すものは、伊豆半島の自然を満喫すること、その自然と人との繋がりを学ぶことである。基調テーマは「人の暮らしと生態系の関わり」。そこに「樹芸」体験を盛り込み、自分の手、足、目、耳、鼻など体全体を駆使して、おもしろく、楽しく学んでいただく。「海」といえば「泳ぐ」と短絡する向きもあろうが、このゼミはただ海で泳ぐようなゼミではない。少しアカデミックな視点を取り入れた海の楽しみ方や山の楽しみ方など、普段の講義では学べない様々なことを体験してもらうことにしている。本ゼミのメインディッシュは薪炭林実習。何故、燃料革命なるものが興ったか、身をもって思い知った後、薪の素晴らしさを石窯にて存分に体験していただく。ふだん何気なく当たり前の様に使っているエネルギーのありがたさを感じられたらしめたものである。汗を流した後は、火山半島ならではの、東大印の天然かけ流し温泉につかりながら、プレートテクトニクスに思いを馳せるもまたよし。

本ゼミの特徴の一つと言える森林教育プログラム作成・実施するというアクティビティの存在も大きい。伊豆ゼミを体験した後に、皆で協力して体験プログラムの作成に取り組み、他のゼミ生を参加者に見立てて実施するというもの。プログラムを作る側に立つことで、体験ゼミの仕組みやゼミで何を伝えたいかといったことを、より実感を伴って理解することができよう。

「伊豆に学ぶ」に参加した者の多くは学びの原点回帰を体験できたような気分になる。果たしてそれは夢であったのだろうか、はたまた幻であったのだろうか、是非ご自身で確かめていただきたい。スタッフ一同丁寧に準備してお待ちしている。

※このゼミは9月27日(木)18時40分~19時45分に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法 レポートの内容、ゼミCM作品の内容および取組の姿勢、講義の受講態度により可否を判定する。

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 特に行わない。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60241	A 2	伊豆に学ぶ1 竹炭焼き、山、桜、菜の花、温泉など自然と人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕 下村 彰男	農学部	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科
60242		伊豆に学ぶ2 竹炭焼き、山、桜、菜の花、温泉など自然と人の繋がりをまなぶ						

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意1】web版シラバスに申込方法などの重要な伝達事項をまとめてあります。必ず良くお読みください。

【注意2】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

はじめに

体験ゼミ「伊豆に学ぶ」シリーズは、山のことや自然のことにあまり詳しくない初心者向けの講義です。垣根を低く設定してありますし、分かり易いことと伝わり易いことを心がけて、工夫して組み立てた体験型のゼミですから、知りたいという思いさえあれば、色々なことを学べます。例えば初日に菜の花畑と早咲きの河津桜を見学します。もちろんぼんやり眺めても楽しめる装置であることは間違いありません。でも、ゼミの視点で眺めてみると、そこから数々の学びや気づきを引き出すことができることに気がきます。このように伊豆ゼミでは、受講学生各人が感じることに考えることを特に大切にしています。また、伊豆ゼミでは東大生のまじめな一面を引き出して、一人一人が魅力ある人格として、相互に作用しあったり高めあったりするそういった「場」を提供したいと考えています。東京大学が総合大学であることを満喫していただけるようなゼミを目指します。自分とは背景の異なる人が、何をどの様に捉え、感じ、考えるのかを知ることは、お互いにとっても刺激的な体験となります。思いがけないインスピレーションを得ることもあるでしょう。

体験ゼミ「伊豆に学ぶ」の背景

樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島南部は、シイ・カシの常緑広葉樹が優占する森林が多いのですが、かつて人の暮らしに役立てるために植えられた竹林が人の暮らしぶりの変容に従って放置され大きな問題となっています。この問題は、人間の勝手に自然を乱開発して破壊するという種類の問題ではなく、長い年月行ってきた自然への干渉の手を引いて放ったらかすという点に大きな特徴があります。意識してみるとそういう現象は他にもたくさんあることに気付くでしょう。このゼミナールではその問題の竹林の有効利用の一つとして竹炭生産をとりあげ、竹の伐採、窯詰め、炭焼きの作業を行いながら、これらの問題の本質が何なのかを一緒に考えてみましょう。簡単に「考えてみよう」と書きましたが、考える前にまず感じられる「感性」を研く必要があるかも知れません。本ゼミでは「そこ」の部分が大切です。ただ「炭焼きを体験したことがある東大生」を育てたいわけではないのです。

伊豆ゼミの流れ

竹炭焼きの待ち時間には、樹芸研究所の森林を見てもらいます。近年大きな問題となっている獣害の現場をよく見てもらうこともゼミの重要なポイントです。山をぼんやりと歩いても何が獣害の痕跡なのか分からないかも知れません。まずは、その「分からない状態」を正しく認識することもとても重要だと考えています。モノを見る訓練をしていくとやがて心の底から「獣害ヤバイ！」と思えるようになるはずです。本ゼミでは、その様に自分が変化していくプロセスを意識的に体験できるような仕掛けがいくつも仕込んであります。

獣害問題を少し自分の問題と捉えることができるようになったところで、原因獣の対処法の一例として、原因獣を野菜などと一緒竹炭で炙る処分法(BBQ)の実施を計画しています。竹炭はもちろん自分で焼いた炭です。(本ゼミとは別の体験活動プログラムでは、罟を掛けてイノシシを捕獲することから始め、イノシシの命を奪い、解体・精肉し、最終的にソーセージに加工するまでの全工程を体験することができます。少しばかりディープですが、本ゼミの更に先の体験も用意してあります。そちらもどうぞ。)竹林の問題と獣害の問題は異なる問題ですが、実は本質的に同じ問題と考えることもできる、そんな思いを竹炭による原因獣のBBQという妙味を楽しみながら巡らしてみるのが、体験ゼミならではの思索と言えるでしょう。しかめっ面しなくても、重大な問題を捉えることができる、そんな体験を楽しんでいただきたい。

伊豆はまた温泉の地であるので温泉と景観に関する特別講義を行います。温泉と言えば湯に浸かることしか思わないかも知れませんが、おもしろい見方があることに驚くことでしょう。もちろん講義で温泉知識を涵養した後は、源泉100%の天然温泉を堪能していただきます。ちょうど見頃を迎える河津桜と菜の花畑を観察し、人の暮らしと景観についても思索を巡らせてみましょう。本体験ゼミナールが目指すものは、かつては当たり前だった人間の生活の原点を見直すことにあります。現代社会では見えにくくなっている様々の「つながり」が見えるきっかけが得られます。

堅苦しく考える必要はありません。真剣にゼミを楽しんでもらいたいと思います。

竹炭焼きというちょっと非日常的な体験を通して、ふだんあまり意識しないで通り過ぎてしまうことがいかに多いかを意識しながら、ゼミで用意したアクティビティを通して様々なことを体験しつつ、楽しく学んでください。

受講生にとって有意義なゼミに仕上がることを一番大切にします。

ゼミ後は、ゼミをじっくり振り返りつつ次のゼミの運営に参画する「伊豆に学ぶプラス」や学園祭企画に取り組む「企画系ゼミ」につなげてもらいたい。

楽単ではない、楽しい伊豆ゼミをぜひご堪能いただきたい。

※このゼミは9月27日(木)18時40分～19時45分に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法 駒場での事前講義と現地講義での取り組み姿勢とレポートを重視します。

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 特定日に行う。

2018年9月25日6限 11号館1102教室 (10/1、10/9、11/26にも同様)

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60243	A 2	伊豆に学ぶ3 竹炭焼き、山、桜、菜の花、温泉など自然と人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕	農学部	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

- 【注意1】 web版シラバスに申込方法などの重要な伝達事項をまとめてあります。必ず良くお読みください。
【注意2】 この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

はじめに

体験ゼミ「伊豆に学ぶ」シリーズは、山のことや自然のことにあまり詳しくない初心者向けの講義です。垣根を低く設定してありますし、分かり易いことと伝わり易いことを心がけて、工夫して組み立てた体験型のゼミですから、知りたいという思いさえあれば、色々なことを学べます。例えば初日に菜の花畑と早咲きの河津桜を見学します。もちろんぼんやり眺めても楽しめる装置であることは間違いありません。でも、ゼミの視点で眺めてみると、そこからも数々の学びや気づきを引き出すことができることに気がきます。このように伊豆ゼミでは、受講学生各人が感じることを考えることを特に大切にしています。また、伊豆ゼミでは東大生のまじめな一面を引き出して、一人一人が魅力ある人格として、相互に作用しあったり高めあったりするそういった「場」を提供したいと考えています。東京大学が総合大学であることを満喫していただけるようなゼミを目指します。自分とは背景の異なる人が、何をどの様に捉え、感じ、考えるのかを知ることは、お互いにとっても刺激的な体験となります。思いがけないインスピレーションを得ることもあるでしょう。

体験ゼミ「伊豆に学ぶ」の背景

樹芸研究所と下賀茂寮のある伊豆半島南部は、シイ・カシの常緑広葉樹が優占する森林が多いのですが、かつて人の暮らしに役立てるために植えられた竹林が人の暮らしぶりの変容に従って放置され大きな問題となっています。この問題は、人間の勝手に自然を乱開発して破壊するという種類の問題ではなく、長い年月行ってきた自然への干渉の手を引いて放ったらかすという点に大きな特徴があります。意識してみるとそういう現象は他にもたくさんあることに気付くでしょう。このゼミナールではその問題の竹林の有効利用の一つとして竹炭生産をとりあげ、竹の伐採、窯詰め、炭焼きの作業を行いながら、これらの問題の本質が何なのかを一緒に考えてみましょう。簡単に「考えてみよう」と書きましたが、考える前にまず感じられる「感性」を研く必要があるかも知れません。本ゼミでは「そこ」の部分が大切です。ただ「炭焼きを体験したことがある東大生」を育てたいわけではないのです。

伊豆ゼミの流れ

竹炭焼きの待ち時間には、樹芸研究所の森林を見てもらいます。近年大きな問題となっている獣害の現場をよく見てもらうこともゼミの重要なポイントです。山をぼんやりと歩いても何が獣害の痕跡なのか分からないかも知れません。まずは、その「分からない状態」を正しく認識することもとても重要だと考えています。モノを見る訓練をしていくとやがて心の底から「獣害ヤバイ！」と思えるようになるはずです。本ゼミでは、その様に自分が変化していくプロセスを意識的に体験できるような仕掛けがいくつも仕込んであります。

獣害問題を少し自分の問題と捉えることができるようになったところで、原因獣の対処法の一例として、ソーセージ作りを計画しています。時間の都合で「罠を掛けてイノシシを捕獲・イノシシの命を奪う・解体」の部分は端折ります。そちらの体験は伊豆で提供する体験活動プログラムで行えます。少しばかりディープですが、そちらもどうぞ。

竹林の問題と獣害の問題は異なる問題ですが、実は本質的に同じ問題と考えることもできる、そんな思いを竹炭による原因獣のBBQという妙味を楽しみながら巡らしてみるのが、体験ゼミならではの思索と言えるでしょう。しかめっ面しなくても、重大な問題を捉えることができる、そんな体験を楽しんでいただきたい。

「伊豆に学ぶ3」はもう少し欲張ってチョコレート作りも体験してもらいます。ですから「伊豆に学ぶ 熱帯植物編」のシラバスにも目通しください。

ちょうど見頃を迎える河津桜と菜の花畑を観察し、人の暮らしと景観についても思索を巡らせてみましょう。本体験ゼミナールが目指すものは、かつては当たり前だった人間の生活の原点を見直すことにあります。現代社会では見えにくくなっている様々の「つながり」が見えるきっかけが得られます。

堅苦しく考える必要はありません。真剣にゼミを楽しんでもらいたいと思います。

竹炭焼きというちょっと非日常的な体験を通して、ふだんあまり意識しないで通り過ぎてしまうことがいかに多いかを意識しながら、ゼミで用意したアクティビティを通して様々なことを体験しつつ、楽しく学んでください。

受講生にとって有意義なゼミに仕上がることを一番大切にします。

ゼミ後は、ゼミをじっくり振り返りつつ次のゼミの運営に参画する「伊豆に学ぶプラス」や学園祭企画に取り組む「企画系ゼミ」につなげてもらいたい。

楽単ではない、楽しい伊豆ゼミをぜひご堪能いただきたい。

※このゼミは9月27日(木)18時40分～19時45分に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法 駒場での事前講義と現地講義での取り組み姿勢とレポートを重視します。

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 特定日に行う。

2018年9月25日6限 11号館1102教室 (10/1、10/9、11/26にも同様)

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60245	A 2	伊豆に学ぶ —熱帯植物編— 無意識に食べてきた チョコレートを教材に 据えて見えるコト	鴨田 重裕 井上 広喜	農学部	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

【注意】web版シラバスに重要な伝達事項（申込方法）あり。

「伊豆に学ぶ」シリーズは2006年度の全学体験ゼミ開講と同時に産声を上げた。双子の兄弟と言える「夏版伊豆に学ぶ」に加えて、伊豆三部作をお届けしたいという構想をずっと抱いて2014年度に至った。このプログラムを学生諸君に届けたい気持ちは着想した2006年から衰えたことはないが、まだ準備が十分ではないと実現を見送ってきた。いや待て、初回の「伊豆に学ぶ」はどうだったか。最後は「えい！やってみよう」と走らせたのではなかったか。まだまだ荒削りなプログラムだと言って温め続けるより、一まず走らせて、走らせて気付いた部分に改良を加えていくのが伊豆ゼミの流儀ではなかったか。2014年度に上梓した新企画「伊豆に学ぶ—熱帯植物編—」もなんだかんだで5回目である。

「伊豆に学ぶ」シリーズは、人と自然のつながりや、人と人のつながり、そして現代社会において見えにくい「プロセス」が見えてくる仕掛けであることを基本としている。そのコンセプトは熱帯編でも同じである。チョコレートやプリンが大好きという人は少なくないであろう。それらの原料が、カカオやバニラという植物由来であることを知っている人も少なくなかろう。しかし、それらがどういう植物なのか、実物を見たり触ったりしたことがある人はいるだろうか。実際にカカオを焙煎して、細かく挽いてカカオバターと混ぜて練ったことがある人はいるだろうか。その製造の過程で、きめ細かい温度制御が求められることを知っている人は果たしているだろうか。このゼミを通して完成させる実物のカカオを使った手作りチョコレートは、それはそれは価値あるものであることは間違いない。是非、店で売っているチョコレートと食べ比べていただきたい。その体験こそが、このゼミでしかお伝えできない事だと言っても過言ではない。手作りした甲斐あって美味しいのか？をここで言及しても無意味だ。伊豆に来てのお楽しみである。

本ゼミは農学生命科学研究科附属演習林の樹芸研究所で展開される。樹芸研究所と聞いて「樹芸」ってなんだ？と思うだろうか。「樹芸」とは樹に親しみ、樹を暮らしに役立て、樹を育むことを包含する言葉と私たちは定義している。樹芸研究所が開講する一連の体験ゼミは「人の暮らしと生態系の関わり」を基調に、「樹芸」体験を盛り込んで、学ぶということの原点を見直すことに重きを置いている。「伊豆に学ぶ—熱帯植物編—」は森林・樹木の物質生産機能に特化した体験ゼミで、熱帯植物を使う樹芸体験を用意している。チョコレートやプリンやバニラアイスなど、私たちの日常生活において在り来たりになっているモノたちに焦点を当て、日頃の生活において見ようもしない・気付こうもしない、見えにくい「プロセス」を探る旅に出よう。熱帯まで足を運んでもできないことを、東大生はなんと伊豆で体験デキルのだ。

ゼミ後は、ゼミをじっくり振り返りつつ次のゼミの運営に参画する「伊豆に学ぶプラス」、より創造的に取り組む「企画系さらに伊豆に学ぶ」につなげてもらいたい。

※このゼミは9月27日(木)18時40分～19時45分に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法 駒場での事前講義と現地講義での取り組み姿勢とレポートで可否を判定する。

志望者多数の場合、初回講義（ガイダンス）の出席者を優先する。

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 特定日に行く。

2018年9月25日6限 11号館1102教室（10/1、10/9、11/26にも同様）

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60246	A 2	雪の森林に学ぶ ～北海道演習林	鎌田 直人 廣嶋 卓也 坂上 大翼 福井 大	農学部	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。第1回講義およびガイダンスに出席していない学生の受講は認めない。

北方針広混交林帯に位置する北海道演習林では、森林環境の保全と持続的な木材生産との調和を目指した研究を一貫して行っている。本ゼミナールでは、雪に覆われた北海道の冬の森林をスノーシューを履いて探索し、冬季の樹木、植物、動物などの姿を通じて森林生態系の総合的な理解を深める。また、北海道演習林で行っている天然林施業の実際を学ぶことにより、森林資源の保全と活用の方法について考究する。

※このゼミは9月27日(木)18時40分～19時45分に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法 インターネット経由でビデオ配信する第2回講義の課題および、現地講義・実習におけるレポートによる合否判定
教科書 プリントを配布する。
ガイダンス 特定日に行う。
2018年11月29日6限 1号館109教室

51371	A	目に見えない素粒子や 原子核を見てやろう	山口 英斉	理学部	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
-------	---	-------------------------	-------	-----	----	---	------------	----------------------

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

サブアトム粒子、即ち原子以下の大きさを持つ微細粒子を測ることは、原子核・素粒子・宇宙物理学の実験的研究において最も基本的な手法であり、検出器はサブアトム的な世界を研究する上での目や耳ともいえるべきものである。授業では、目に見えないサブアトム粒子測定の基本原則を理解することを目標とする。そのため、授業は以下のような構成を取る。

- (1) 講義により、粒子検出器についての基礎的な検出原理を理解する。(2) 実際に、幾つかの検出器を構築する。
- (3) 構築した検出器を用いてサブアトム粒子を測定する。(4) 測定結果を評価考察する。

※実習指導の都合から、履修人数は10名以下が望ましい。

※期間中は和光市理化学研究所近隣の宿に宿泊することを前提とする。

評価方法 実習へと取り組み姿勢と達成度、及び発表会での発表内容に基づいて評価する。

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 特定日に行う。

2018年10月4日5限 駒場1号館101教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51373	A	ダムと土砂と海	蔵治 光一郎 菊池 潔 田中 延亮 水内 佑輔 石橋 整司	農学部	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

ダムは、河川の流れを寸断して自然生態系に大きな悪影響をもたらすとともに、堆砂（砂が溜まること）により数十年間から百年間で利用不可能になります。海岸では、川から海へ流れ出す砂がダムによってせきとめられたことにより、供給量が減少し、波と風によって削られ、砂浜や砂丘が年々縮小しています。環境負荷の大きいダム建設を続けることは将来に大きな禍根を残す可能性があります。

本ゼミは、ダムの最も大きな問題の一つである「土砂」の問題について、現場でのフィールド体験を通じて学ぶことを目的として開講します。日本で最も多量に土砂が堆積している天竜川佐久間ダム（1956年完成、総貯水量3億2685万立米、土砂堆積量1億2700万立米）を見学します。

東京大学演習林生態水文学研究所（愛知県瀬戸市）では、小さいダムにたまった土砂量を実際に測定する実習を行い、得られたデータを用いて流出した土砂量を計算する手法についても学びます。

また、下流の海岸で、天竜川からの土砂の供給が減少したことにより、砂丘が削られ、くぼ地に埋め立てたごみが露出するという事件が起きた「中田島砂丘」を見学します。また、東京大学水産実験所の菊池潔教授の案内により、遠州灘や浜名湖の沿岸域の漁業の現場などを見学します。この地域では、海岸沿いの低地に住宅が密集しており、南海トラフ津波対策として巨大防潮堤の建設工事が始まっていますが、砂丘侵食や津波防災を住民のみなさんがどのように受け止め、行動されているかを学びます。

ダムや土砂、海岸について、予備知識は必要としません。文系、理系いずれの学生でも楽しめる内容です。現地の状況を自分の目で確かめ、肌で感じてもらうことが最大のねらいです。

※代表教員のほか、菊池潔（東京大学水産実験所）、石橋整司・田中延亮・水内佑輔・佐藤貴紀（東京大学演習林生態水文学研究所）が協力教員として参加します。

※人数：20名に制限します。受講希望学生が20名を超過した場合は選抜を行います。

※9/26（水）5限と6限に101教室にてガイダンスおよび第一回講義を行います（同じ内容）。ガイダンスに出ないで履修を希望する学生も受け付けますので、9/26の16時までには担当教員にその旨をメールで連絡してください。

※フィールド体験ゼミの日程（予定）

3/2（土）名鉄瀬戸線・尾張瀬戸駅前集合（前泊可也）

演習林生態水文学研究所にて、ダムに堆積した土砂量を測定する実習
データを用いて、土砂流出量、堆積量の計算手法の学習

東京大学演習林生態水文学研究所赤津宿泊施設（愛知県瀬戸市）泊

3/3（日）天竜川佐久間ダムにて、堆積土砂の現場見学

東京大学水産実験所（浜名湖畔）泊

3/4（月）東京大学水産実験所および周辺の浜名湖・遠州灘にて、漁船、漁港、海岸などの見学

浜松市の中田島砂丘の見学、津波防潮堤工事現場の見学

午後5時頃、浜松駅にて解散予定

※このゼミは9月27日（木）18時40分～19時45分に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法 3月2-4日の2泊3日のフィールド体験ゼミに全日程参加し、当日指示する感想文を締切日までに提出した者を合格とします。

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 特定日に行う。

2018年9月26日5限 および6限に1号館101教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51375	A 1	危険生物の知識 (秋編)	石橋 整司 齋藤 暖生 井上 広喜 久本 洋子 前原 忠	農学部	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

森林に生息する生物の中には人間を含めた他の生物に対して有害ないしは不快なものも含まれている。こうした生物から被害を受けないようにする知識はフィールドで作業をする場合大切であるが、同時にそれらの生物が生態系の中で果たす役割についての理解なしに「有害」、「危険」と退けてしまうことは自然についての正しい知識を身につけることにはならない。そこで、人間にとって「有害」、「危険」、「不快」といわれる生物を実際のフィールドで観察、学習し、これらの生物に対する対処法を身につけると同時に、自然の中での人間との関わりについて学ぶ。

※受講可能人数：最大20名まで。

※現地講義開講場所：大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林および富士癒しの森研究所。

※駒場キャンパスでの事前講義と富士癒しの森研究所、千葉演習林における2回の現地講義、駒場キャンパスでの事後講義を行う。開講日は以下のように予定している。

事前講義（ガイダンスを含む）【駒場キャンパス】

9月28日（金）5限 1号館 117教室

10月5日（金）5限 1号館 117教室

第1回現地講義【千葉演習林管内】

10月13日（土）日帰り

第2回現地講義【富士癒しの森研究所管内】

10月20日（土）～21日（日）（1泊2日）

事後講義【駒場キャンパス】

10月26日（金）5限 1号館 117教室

富士癒しの森研究所での現地講義の宿泊費および食費は自己負担（5,000円程度）。また、現地講義の交通費も自己負担となる。正確な負担額については事前講義時に説明する。

※このゼミは9月27日（木）18時40分～19時45分に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法 出席とレポートで評価する。なお現地講義に参加できない学生の履修は原則として認められない。

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 第一回授業日に行う。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51376	A 1	森の魅力をマッピング～GPSを使ったオリジナル地図づくり～	石橋 整司 露木 聡 藤原 章雄	農学部	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

「木材資源を得る場所」、「レクリエーションの場所」、「癒しの場所」等々森林には人それぞれの活用の仕方があり、また楽しみ方がある。人々が森林に求める情報もさまざまであり、森林を対象とした情報発信には個々の情報の特性に合った多様な方法が求められるが、特に地図情報にさまざまな属性を盛り込んだフィールドマップは森林の魅力を伝えるための有効なツールである。本ゼミナールでは、「森の魅力を伝える地図づくり」をテーマに、GPS受信機とデジタルカメラを使って森林の魅力を視覚的に伝えるオリジナルの地図づくりに挑戦する。

本ゼミナールの直接の目標はオリジナル地図の作成であるが、地図づくりを通じて森林の持つさまざまな「魅力」に意識を向け、五感を使って森林を観察する機会を得ることが本質的な目的である。自らの感性を高め、五感を通してさまざまな森の情報を獲得することで見逃してきた多くの「魅力」の存在を実感して欲しい。

なお、講義の実施概要は以下の通りであるが、詳細な計画については9月25日（火）2限に行うガイダンスを兼ねた第1回講義で説明する。

- 【講義計画（予定）】 事前講義はKOMCEE K113で実施する。
- 9月25日（火）2限 ガイダンスと講義（駒場キャンパス）
 - 10月2日（火）2限 講義（駒場キャンパス）
 - 10月9日（火）2限 講義（駒場キャンパス）
 - 10月16日（火）2限 講義（駒場キャンパス）
 - 10月23日（火）2限 講義（駒場キャンパス）
 - 11月2日（金）夜から4日（日）現地講義（富士癒しの森研究所）
 - 11月6日（火）2限 講義（駒場キャンパス）

※このゼミは9月27日（木）18時40分～19時45分に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法 出席、現地講義で作成する成果品、レポートで評価する。なお現地講義に参加できない学生の履修は原則として認められない。

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 第一回授業日に行う。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60239	A 2	癒しの森と地域社会 (冬)	石橋 整司 齋藤 暖生 三浦 直子 藤原 章雄	農学部	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

山梨県山中湖村は、富士山の麓にある観光地であり、別荘も多数存在する地域である。周辺には戦前戦後にかけて植林されたカラマツ林を主として森林が多く存在し、豊かな自然景観に恵まれている。しかし、近年ほとんどの森林では、枯れ木の処理、アクセス路の管理、適切な除伐や間伐、などの手入れが行われておらず、大きな樹木や繁茂した灌木がむしろ景観の阻害となったり、樹木が倒れて人や家屋に対して危険であったりする。また、森林内には散策や自然観察が行えるような道はほとんど整備されておらず、観光資源としても利用されていない。つまり、森林が地域の環境資源として十分に活用されていない状況があり、森林の利用が地域の課題となっている。

富士癒しの森研究所（山梨県山中湖村）では、この地域課題の解決に向けて、「癒しの森プロジェクト」という地域と協働した研究・教育活動に取り組んでいる。このプロジェクトでは、とくに森林の持つ人間への「癒し」の機能に着目し、地域の人々と森林との関係を再構築しようとしている。

本ゼミナールでは、癒しの森プロジェクトの一環として、受講生には、地域の森林を取り巻く現状を調査し、地域住民と交流、議論しながら、実際に地域の森林を活用した「地域づくり」の活動を体験してもらう。二日間の現地講義では、地域住民と共に現場に出て地域の森林の活用方法について柔軟なアイデアを出し合い実際に現場に手を入れるところまで行う。キャンパス内では体験することのできない、地域住民との交流と協働そして森の手入れの体験を通して日本の地域社会が直面する課題に挑む貴重な体験をしてもらいたい。

※受講可能人数：20名まで。

※ガイダンス：11月20日（火）の第1回目の講義の際に行う。

※現地講義開講場所：大学院農学生命科学研究科附属演習林富士癒しの森研究所。

※現地講義開講期間：12月7日（金）夜から12月9日（日）の2泊2日を予定。

※講義は駒場キャンパスにおける4回の講義（11月20日（火）、11月27日（火）、11月30日（金）、12月4日（火）の2限にK113で実施予定）と12月7日（金）夜から12月9日（日）かけて富士癒しの森研究所で実施する2泊2日の現地集中講義で行う。

富士癒しの森研究所への交通費、宿泊費、食費等の実費は自己負担となる。負担額等の現地講義の概要については11月20日の第1回講義時に説明する。

※このゼミは9月27日（木）18時40分～19時45分に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法 出席とレポートで評価する。

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 第一回授業日に行う。

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60240	A 2	房総の森と生業（なりわい）を学ぶ	石橋 整司 尾張 敏章 久本 洋子 當山 啓介	農学部	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

森林は長らく人間の生活の一部であり、生業（なりわい）として森林の資源を利用する人々を中心に管理されてきた。しかし、現代ではそれらの生業の多くは衰退し、人間と森林の関わりは希薄になってきており、様々な弊害も生じている。

たとえば、森林における生業が衰退すれば広大な森林への目配りや管理が不十分となる。その上、森林との関わり希薄化は森林に対する誤解や過剰な期待をもたらし、森林による地球温暖化防止や国土保全といった課題に際して方向性を誤る恐れも大きくなる。

本ゼミは、人間との共存の長い歴史を持つ南房総の暖温带林において、森林の生態や景観に親しむとともに、炭焼きや木工、竹林利用、林業、狩猟採集などの生業を体験・学習することで、自分が納得できる「森林との関係」を得るとともに、今後推進すべき森林産業や、森林と人間のあるべき未来を考えてもらうことが目的である。

将来様々な分野に進む幅広い人材が受講することを期待しています。

※最大履修受入人数 20名

【履修希望者への注意事項】

履修希望者は、第1回講義終了後から10月5日（金）17：00までに下記サイトにアクセスし、所定のフォームで①氏名、②メールアドレス、③希望動機（100字程度）を入力してください。10月5日の17時を過ぎるとアクセスできなくなります。なお、上記の履修希望申込とは別に、大学の通常の履修登録も所定の手続きで行ってください。

参加希望申込サイト：<https://ws.formzu.net/fgen/S26786589/>

参加の可否は10月9日（火）までにメールで連絡しますが、連絡がない場合は代表教員にメールで問い合わせてください。また履修希望申込をしたあとでキャンセルする場合も必ず代表教員に連絡して下さい。

連絡先：UTASシラバス【授業の目標・概要】参照

※このゼミは9月27日（木）18時40分～19時45分に1313教室にて行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。

評価方法 現地実習の中で、学習成果を発表し討論を行う。成果発表により可否を判定する。

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 特定日に行う。

2018年9月25日6限 駒場1号館108教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51417	A	子どもと学ぶ学び方 ー現在の教育は未来に つながるかー	坂口 菊恵 中邑 賢龍	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

画一的な学び方ではなく多様な学び方を求める動きが社会全体で活発化してきている中、現在の教育のキーワードとして英語教育、STEAMS (Science Technology Engineering Arts Mathematics and Sports) 教育、プログラミング教育などがあげられる。また文部科学省も学びの質や深まりを重視し、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ「アクティブ・ラーニング」を推奨する中で、21世紀型スキルを育むことが求められている。しかし、AIやロボット時代を生き残ってイノベーションを起こしていく人材の育成は、枠から外れた子どもたちであり、その育成には具体的なアプローチが見出せているところは少ない。

そこで、本授業では異才発掘プロジェクトROCKETに来ているユニークな子どもたちが学ぶ方法 (ABSL : Activity Based Subject Learning、PBL : Project Based Learning) を子どもたちと共に体験し、今後教育の中で必要になる学びのあり方について考察する予定である。

- ・これからのAI時代に必要な学びとは何か
- ・既存の子どもたちを取り巻く学習環境
- ・ABSLがなぜ必要なのか
- ・PBLを通して学ぶことの本質とは

*ガイダンスは10/1 (月) 5限、K303で実施するので、受講希望者は必ず参加すること。
受講希望者多数の場合、選抜により履修を制限する場合がある。

分担教員：東京大学先端科学技術研究センター 福本理恵

グループワーク参加、プレゼンテーション

評価方法

教科書 次の教科書を使用する。

書名 : ユニークな子は、挑発して伸ばす
著者 (訳者) : 中邑賢龍
出版社 : 文芸春秋

ガイダンス

特定日に行う。
2018年10月1日5限 K303

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60250	A 2	身近な環境化学実習 —駒場の水を科学する—	鹿島 勲 堀 まゆみ	教養学部(前期課程) 教養教育高度化機構	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

「水」と聞いてどのようなイメージを持つだろうか。水道水は採水場所・日時によって違いがあるのか、水道水とペットボトルの水はどう違うのか、ミネラルウォーターといってもいろいろな種類があるがいったいどのような違いがあるのか、といった様々な水に関する疑問を、実習を通して多角的な視点で解決していくことが本実習の目標である。

本実習では、身近な水、例えば、駒場キャンパス内の水道水や市販されているペットボトルウォーターについて、化学分析（試料採取、前処理操作、測定）を実際に体験し、試料を構成している化学成分が何であるか、それらの成分の濃度はどれくらいであるかといった情報を取得し、得られた結果から身近に接している水の状態を環境化学的に解釈し考察する。実習最終日は発表資料作成を行い、ショートプレゼンテーションを実施する。

本実習の履修には、専門知識・事前学習を必要としない。文科・理科を問わず興味がある学生を歓迎する。特に本実習では、化学分析を体験し、環境分析化学の面白さに触れてもらうことを重要視している。

【実施日】

集中講義形式で、下記の日時に行う

2019年1月30日（水）10:30 - 18:00

2019年1月31日（木）10:30 - 18:00

2019年2月1日（金）10:30 - 18:00

実験の進行状況により、終了時刻は前後する場合がある。

【ガイダンス】

2018年9月28日（金）お昼休み12時25分から

【関連ホームページ】

<http://www.adves.c.u-tokyo.ac.jp/practical/>

【問い合わせ先】

(UTASシラバス【授業の目標・概要】参照)

評価方法 出席、実習取り組み姿勢、ショートプレゼンテーションを総合的に評価。

成績評価の詳細に関しては、ガイダンスおよび実習1日目に説明する。

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 特定日に行う。

2018年9月28日 お昼休み12時25分から121教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60256	A 2	柏キャンパス サイエンスキャンプⅠ 宇宙コース (宇宙線研 究所)	村山 英晶	新領域創成科学研究科	集中	1	シラバス 参照	1年 理科 2年 理科

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

本ゼミナールは、本学柏キャンパスの先端研究部局における「知の冒険の現場」を、ウィンタープログラムとして3泊4日にわたり集中的に体験する「柏サイエンスキャンプ」

<http://www.k.u-tokyo.ac.jp/ksc/>

の4つあるコースのひとつです。情報が随時アップデートされますので、上記URLを参照してください。

※このゼミは9月25日(火)6限 (18:45～) に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。

将来の研究者としての基礎トレーニングを積むことを目的としています。(宿泊は隣接する宿泊施設を利用、宿泊費用は大学が負担)

4名程度の小グループで行われる研究室体験活動では、柏キャンパスあるいは神岡キャンパス(岐阜県)内の宇宙線研究所内の研究室で実際に最先端の研究を体験します。最終日には研究室体験活動の成果発表会を行います。研究テーマは多岐にわたり、世界トップレベルの教員のもと、普段の授業では体験できない「研究者」としての自分を発見する新しい世界へ誘います。また、本ゼミナールをサポートする研究室の大学院生や若手研究員、海外研究者との交流を通じて、今後の「研究者という人生」を考える絶好の機会が提供されます。

「柏サイエンスキャンプ」には、本コースを含めてⅠからⅣまでのコースがあり、異なるコースを2つまで履修可能です。

履修人数には上限があります。履修希望者はサイエンスキャンプ事務局

(UTASシラバス【授業の目標・概要】参照)

あてメールで必ずエントリーして下さい。

エントリー期限 2018年9月28日(金)午後5時

【宇宙コース】

すばる望遠鏡データと深層学習を用いた深宇宙の探索 (柏) 大内 正己 准教授

高エネルギーガンマ線天文学 (天文学のエネルギーフロンティア) (柏) 手嶋 政廣 教授

重力波天文学へのいざない (神岡) 内山 隆 准教授

神岡地下で触れるニュートリノ研究の最前線 (神岡) 中山 祥英 准教授

評価方法 担当教員による研究室体験活動の評価と成果発表会の評価による。

教科書 その他。

ガイダンス 特定日に行う。

2018年9月26日6限 駒場キャンパス1号館104教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60255	A 2	柏キャンパス サイエンスキャンプⅡ 物性コース（物性研究 所） 環境コース（新領域創 成科学研究科・環境学 研究系）	村山 英晶	新領域創成科学研究科	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

本ゼミナールは、本学柏キャンパスの先端研究部局における「知の冒険の現場」を、ウィンタープログラムとして3泊4日にわたり集中的に体験する「柏サイエンスキャンプ」

<http://www.k.u-tokyo.ac.jp/ksc/>

の4つのうちのひとつです。情報が随時アップデートされますので、上記URLを参照してください。また、文科類の学生が受講できるテーマも用意されています。

※このゼミは9月25日(火)6限（18：45～）に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。

将来の研究者としての基礎トレーニングを積むことを目的としています。（宿泊は隣接する宿泊施設を利用、宿泊費用は大学が負担）

4名程度の小グループで行われる研究室体験活動では、柏キャンパス内の物性研究所あるいは新領域創成科学研究科・環境学研究系内の研究室で実際に最先端の研究を体験します。最終日には研究室体験活動の成果発表会を行います。研究テーマは多岐にわたり、世界トップレベルの教員のもと、普段の授業では体験できない「研究者」としての自分を発見する新しい世界へ誘います。また、本ゼミナールをサポートする研究室の大学院生や若手研究員、海外研究者との交流を通じて、今後の「研究者という人生」を考える絶好の機会が提供されます。

「柏サイエンスキャンプ」には、本コースを含めてⅠからⅣまでのコースがあり、異なるコースを2つまで履修可能です。

履修人数には上限があります。履修希望者はサイエンスキャンプ事務局

（UTASシラバス【授業の目標・概要】参照）

あてメールで必ずエントリーして下さい。

エントリー期限 2018年9月28日（金）午後5時

【物性コース（5テーマ）】

身近で不思議な物質、ガラスの謎を探ろう（文科学履修可）山室 修 教授

磁場で温度を変えよう（文科学履修可）小濱芳允准教授

分子シミュレーションを体験しよう（文科学履修可）野口 博司 准教授

炭素単原子層グラフェンの量子伝導（文科学履修可）長田 俊人 准教授

高温超伝導体の電子を見る（文科学履修可）近藤 猛 准教授

【環境コース（4テーマ）】

室内の音響を可視化・可聴化しよう 佐久間 哲哉 准教授

製造現場における技能伝承のためのウェアラブル多感覚情報入力デバイス 高松 誠一 准教授

新種の微生物を見つけよう！遺伝子で紐解く微生物の種多様性 吉澤 晋 准教授

スマートストラクチャを創ろう 村山 英晶 教授

評価方法 担当教員による研究室体験活動の評価と成果発表会の評価による。

教科書 その他。

ガイダンス 特定日に行う。

2018年9月26日6限 駒場キャンパス1号館104教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60254	A 2	柏キャンパス サイエンスキャンプⅢ 生研コース（生産技術 研究所） エネルギーとマテリアル コース（新領域創成科学 研究科・基盤科学研究系）	村山 英晶	新領域創成科学研究科	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

本ゼミナールは、本学柏キャンパスの先端研究部局における「知の冒険の現場」を、ウィンタープログラムとして3泊4日にわたり集中的に体験する「柏サイエンスキャンプ」

<http://www.k.u-tokyo.ac.jp/ksc/>

の4つのうちのひとつです。情報が随時アップデートされますので、上記URLを参照してください。また、文科類の学生が受講できるテーマも用意されています。

※このゼミは9月25日(火)6限（18：45～）に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。

将来の研究者としての基礎トレーニングを積むことを目的としています。（宿泊は隣接する宿泊施設を利用、宿泊費用は大学が負担）

4名程度の小グループで行われる研究室体験活動では、柏キャンパス内の生産技術研究所あるいは新領域創成科学研究科・基盤科学研究系内の研究室で実際に最先端の研究を体験します。最終日には研究室体験活動の成果発表会を行います。研究テーマは多岐にわたり、世界トップレベルの教員のもと、普段の授業では体験できない「研究者」としての自分を発見する新しい世界へ誘います。また、本ゼミナールをサポートする研究室の大学院生や若手研究員、海外研究者との交流を通じて、今後の「研究者という人生」を考える絶好の機会が提供されます。

「柏サイエンスキャンプ」には、本コースを含めてIからIVまでのコースがあり、異なるコースを2つまで履修可能です。

履修人数には上限があります。履修希望者はサイエンスキャンプ事務局

（UTASシラバス【授業の目標・概要】参照）

あてメールで必ずエントリーして下さい。

エントリー期限 2018年9月28日（金）午後5時

【生研コース（4テーマ）】

TBD 白杵 年 教授

物性理論物理のフロンティア 羽田野 直道 准教授

柏の雨はどこから来ている？－水の安定同位体から地球水循環を読み解こう－（文科生履修可）芳村 圭 准教授

湖沼・沿岸海域環境の将来予測シミュレーション 北澤 大輔 准教授

【エネルギーとマテリアルコース（5テーマ）】

宝石の科学 ～作って、測って、色の謎を解く～（文科生履修可）木村 剛 教授・木村 健太 助教

結晶中のドメインを観察し、動かしてみよう 徳永 祐介 准教授・阿部 伸行 助教

核融合プラズマを電磁波で測ろう（文科生履修可）辻井 直人 講師

量子状態を変える装置をつくってみよう！（文科生履修可）吉川 一朗 教授・吉岡 和夫 講師

大型風洞を使って学ぶ超音速ジェットの流れ力学 岡本 光司 准教授

評価方法 担当教員による研究室体験活動の評価と成果発表会の評価による。

教科書 その他。

ガイダンス 特定日に行う。

2018年9月26日6限 駒場キャンパス1号館104教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
60253	A 2	柏キャンパス サイエンスキャンプⅣ 大気と海洋コース (大 気海洋研究所) 生命コース (新領域創 成科学研究科・生命科 学研究系)	村山 英晶	新領域創成科学研究科	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

本ゼミナールは、本学柏キャンパスの先端研究部局における「知の冒険の現場」を、ウィンタープログラムとして3泊4日にわたり集中的に体験する「柏サイエンスキャンプ」

<http://www.k.u-tokyo.ac.jp/ksc/>

の4つのうちのひとつです。情報が随時アップデートされますので、上記URLを参照してください。また、文科類の学生が受講できるテーマも用意されています。

※このゼミは9月25日(火)6限(18:45～)に駒場キャンパス7号館743教室にて行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。

将来の研究者としての基礎トレーニングを積むことを目的としています。(宿泊は隣接する宿泊施設を利用、宿泊費用は大学が負担)

4名程度の小グループで行われる研究室体験活動では、柏キャンパス内の大気海洋研究所あるいは新領域創成科学研究科・生命科学研究系内の研究室で実際に最先端の研究を体験します。最終日には研究室体験活動の成果発表会を行います。研究テーマは多岐にわたり、世界トップレベルの教員のもと、普段の授業では体験できない「研究者」としての自分を発見する新しい世界へ誘います。また、本ゼミナールをサポートする研究室の大学院生や若手研究員、海外研究者との交流を通じて、今後の「研究者という人生」を考える絶好の機会が提供されます。

「柏サイエンスキャンプ」には、本コースを含めてIからIVまでのコースがあり、異なるコースを2つまで履修可能です。

履修人数には上限があります。履修希望者はサイエンスキャンプ事務局

(UTASシラバス【授業の目標・概要】参照)

あてメールで必ずエントリーして下さい。

エントリー期限 2018年9月28日(金)午後5時

【大気と海洋コース(5テーマ)】

人工衛星データを用いて地球環境を調べてみよう(文科学履修可) 今須 良一 教授

地球温暖化と海洋生態系:温暖化影響評価を数値シミュレーションで体験(文科学履修可) 伊藤 進一 教授

サメをモデルに海洋環境への適応のしくみを理解する 兵藤 晋 准教授

海底堆積物を観察して、太古の時代の地球環境を探る(文科学履修可) 黒田 潤一郎 准教授

DNAから探るサンゴ礁生態系の謎(文科学履修可) 新里 宙也 准教授

【生命コース(4コース)】

遺伝子の発現をコントロールするスイッチをつくらう 伊藤 耕一 教授

タンパク質が目的地に行くしくみ 宇垣 正志 教授

最先端のプロテオミックスの手法を体験しよう(文科学履修可) 山本 一夫 教授

超音波で野菜がおいしくなるのはなぜ?(文科学履修可) 尾田 正二 准教授

評価方法 担当教員による研究室体験活動の評価と成果発表会の評価による。

教科書 その他。

ガイダンス 特定日に行う。

2018年9月26日6限 駒場キャンパス1号館104教室

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
51427	A	プレートの衝突と地震： 伊豆衝突帯のテクトニクス	西田 究	地震研究所	集中	1	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>-----</p> <p>このゼミナールでは、地球科学の一分野である地震学・地形学・地質学の基礎と、実際に発生した地震がどのように理解できるかを、プレート衝突帯である伊豆衝突帯を例に学ぶ。11月の2回の事前授業により地震学・テクトニクス研究の概要と伊豆衝突帯の基礎について学ぶ。そして12月には実際に伊豆衝突帯・丹那断層での巡検を行い、地震・テクトニクス研究の現場に触れる。講義と巡検を通して地震・テクトニクス研究の一端に触れ、科学研究としての役割や人間社会との関わりについても考察する。</p> <p>評価方法 講義及び巡検の出席とレポートにより評価する。</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特定日に行う。 2018年10月2日5限 1号館101教室</p>								
51339	A	映像デザイン実習	松本 文夫	総合研究博物館	集中	2	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 ■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。</p> <p>-----</p> <p>映像制作の実習を通して「世界を表現する」体験をすることがこの授業の目標である。20世紀は映像の世紀であったといわれる。19世紀以降、写真、映画、テレビ、インターネットが次々と生み出され、視覚情報の生産と流通は劇的に増大した。社会の出来事や物語がおびただしい映像断片に記録され、世界は映像を介して理解される対象になっている。一方、自らカメラを持って「世界をみる」という行為は、現実を観察して写し取ることに始まり、そこに内在する人・モノ・意味などの諸関係を再編成する試みに発展する。すなわち、映像は記録と保存だけでなく、創出と再生のメディアである。映像によって事態を切り開き、状況を再解釈し、異なる時空間を横断し、新しい世界の姿を示すことができる。この授業を通して、映像による表現の可能性を実験的に追求してほしい。映像制作の経験は必要としないが、映画・写真・物語・構造・空間・造形などに関心があることが望ましい。</p> <p>10月1日の授業ガイダンス時に小課題を実施する。履修希望者が予定人数（20名）を上回るときは、この小課題により履修許可者を選抜する。授業ガイダンスに参加できない者は、事前に担当教員に申し出ること（期限後の申し出は受け付けない）。該当者には小課題にかわるレポートの提出を求める（10月1日の内容とは異なる）。申し出の期限および連絡先はUTASの「履修上の注意」の項を参照のこと。</p> <p>※履修人数を20名に制限する</p> <p>評価方法 提出作品により評価する。</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特定日に行う。 2018年10月1日5限 1号館109教室</p>								

「国際研修」の履修について

国際研修の各授業では、以下の共通目標が定められている。

異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現場を体験し、グローバルな視野を養う機会を得る。

授業内容としては、(1) 海外の学生との合同学習などを含む短期の海外研修、(2) 海外教育機関との海外での共同教育プログラム、(3) 海外の学生との日本国内での研修、(4) 海外の教育機関が提供するプログラムを利用した研修、といったさまざまな活動がある。そのような機会によって得られる成果が、主題科目の単位として認定される。

国際研修の受講にあたっては、海外渡航経験の有無は問わない。国際研修はむしろ、学生にとってのはじめての海外経験を、後押しする科目である。進んで自分の視野を開こうとする、学生の積極的な参加姿勢がのぞまれる。

授業によっては、参加者の選抜を行ったり、ある水準以上の語学力を求めたりする場合がある。研修のため海外に渡航する前に事前講義が実施される授業や、他の科目の履修が条件とされる授業もある。履修科目登録期間後に選抜の結果が発表される授業もある。その場合は履修を希望する授業にまず登録し、選抜にもれた場合は履修科目確認・訂正期間に登録を削除すること。また、履修が許可された後から出発までの期間の履修の辞退は、担当教員に膨大な負担をかけることになるので、あらかじめ十分に授業内容、渡航に際する留意事項、費用を確認して履修登録すること(履修を取りやめることで学生個人に対して生じるキャンセル料は原則学生負担になる)。学生が負担する費用については、授業によって異なる。それぞれの授業のシラバスを参照し、ガイダンスに出席して説明を受けること。

2018年度A semester (A1・A2ターム) には以下の6授業が開講される。

講義題目	研修地
台湾研修	台湾
RoboCon: Basic robotics amid a multicultural academic environment in Malaysia / マレーシアの多文化環境の中でロボコン大会をする	マレーシア
短期集中英語: オーストラリアで上級を目指す! / Intensive English: Forging an advanced level of English in Australia	オーストラリア
平和のために東大生ができること: カザフスタン研修	カザフスタン
ドイツ語TLP研修	ドイツ
TLPフランス語春季研修	フランス

国際研修

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教室	対象
51481	A	台湾研修	阿古 智子	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 ■国際研修を履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。</p> <p>.....</p> <p>【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件（2014年度以前入学者）・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。</p> <p>台湾の大学、社会団体、文化団体、企業などを訪問し、日本統治の時代から国民党統治の時代、台湾人意識が高まる若者たちが民主化運動を展開する今日の台湾に至るまで、台湾の歴史と変化を現場で学ぶ。視察と交流は主に中国語で行い、これまで学んできた中国語の更なるブラッシュアップを図る。テーマ別に2-3人のチームを組み、日本語か英語のできる台湾の学生の支援を借りてフィールドワークを行い、インフォーマントから情報を得る。プログラムの最後には発表会を行う。</p> <p>評価方法 講義、フィールドワークへの参加状況、プログラムの最後に行う発表、レポートを総合的に評価</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 特定日に行う。日時と場所は決まり次第連絡する</p>							
51484	A	TLPフランス語夏季研修	寺田 寅彦	集中	2	シラバス参照	2年 文科 理科
<p>目標概要 ■国際研修を履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。</p> <p>.....</p> <p>【注意】この授業は実施期間が既に終了しています。該当する履修者以外は履修登録しないよう注意してください。</p> <p>アンジェ市（Angers）フランスでフランス語研修を行いフランス語の運用能力を高め、学生交流を行うことで高い国際感覚を養う。各国の学生と授業だけではなくエクスカッションや各種催しを通じて交流の現場を体験し、またホームステイを通じて異なる言語・文化の環境に触れてグローバルな視野を養う機会を得る取り組みを行う</p> <p>評価方法 研修への参加状況と現地での学習成果</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
51485	A	TLPフランス語春季研修	寺田 寅彦	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>目標概要 ■国際研修を履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。</p> <p>.....</p> <p>予定ではパリ市、リヨン市（フランス）でフランス語による発表を大学やフランス省庁で行いフランス語の運用能力を高め、学生交流や社会交流を行うことで高い国際感覚を養う。各国の学生と授業だけではなく各種催しを通じて交流の現場を体験し、また文化施設で異なる言語・文化の環境に触れてグローバルな視野を養う機会を得る取り組みを行う。</p> <p>評価方法 研修への参加状況と現地での学習成果</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教室	対象
60260	A 2	RoboCon: Basic robotics amid a multicultural academic environment in Malaysia/ マレーシアの多文化環境の中でロボコン大会をする	櫻井 勇介	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要 ■国際研修を履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件（2014年度以前入学者）・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

マレーシア工科大学の学生とともに簡単なロボット作りに取り組み、最終課題として「ロボコン」大会を行う。現地の学生とのバディーシステムで授業と一緒に参加し、ロボット作成を通じて、自身の英語運用力やコミュニケーション技能の向上にも資する。日々の課題として学習ジャーナルを記録し、まとめとして作成したロボットの機能の分析と異文化体験と自身の取り組みについて内省レポートを作成する。

この授業は、A1タームに開講される全学自由研究ゼミナール「Language and Cultural Immersion: Student development in study abroad programs」を修了した学生に優先的に履修を許可します。本授業のガイダンスでは日程や費用等の詳細について解説するので必ず参加してください。開催の情報はグローバル化オフィスのウェブサイトにも掲載します。

成績評価係数が3点満点の2.0以上であれば、6万円の奨学金が受給できる可能性が高いです（15名まで）。成績評価係数の計算方法はこちらをご覧ください。 <https://goo.gl/sn9A9y>

昨年度の学生の報告書はこちらからご覧いただけます。 <https://globalpraxis.wordpress.com/>

Students will work on basic robot creation with Malaysian students at the University of Technology Malaysia, and organise a robot competition as the finale of the course. The students will join regular science classes with the local Malaysian students, and develop their English skills and communicative competence through daily campus life and lecturers. The students will regularly reflect on their academic and intercultural experience during the course to enhance their awareness of their study experience in Malaysia, a multicultural society.

To participate in this course, you are highly encouraged to complete “Specialized Seminar: Language and Cultural Immersion: Student development in study abroad programs” offered in A1 Term. In the event that we receive more applications than spots in the course, we will take into account whether or not applicants attended the guidance seminar. The details of the course will also be posted on Globalization Office website.

N.B.; If your academic grade coefficient score is 2.0 or higher, you are likely to receive a grant, 60,000 JPY (up to 15 students). You can check your grade coefficient score at: <https://goo.gl/sn9A9y>

Past students' reports are published at: <https://globalpraxis.wordpress.com/>

評価方法 合否評価。現地での活動状況、成果物、および帰国後のレポートを総合的に考慮して評価する。

Pass/Fail: The grade is given based on student's engagement in activities, task achievements, and post-course reflection essay.

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 特定日に行う。

2018年9月26日6限 21 KOMCEE West Lecture Hall

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教室	対象
60261	A 2	ドイツ語 T L P 研修	森井 裕一	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要 ■国際研修を履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

ドイツ語 T L P クラスで学んだ知識を、ドイツ現地の大学の語学講座に通うことにより、さらに発展させると同時に、現地でのセミナー等に参加し、ドイツの社会と大学における実際のドイツ語の運用を体験する。

「国際研修」科目では、異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現状を体験し、グローバルな視野を養う機会を得ることを目標とする。

評価方法 授業への参加と試験

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 特定日に行う。

60262	A 2	短期集中英語：オーストラリアで上級を目指す！／ Intensive English: Forging an advanced level of English in Australia	櫻井 勇介	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
-------	-----	---	-------	----	---	--------	----------------------

目標概要 ■国際研修を履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意】この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件(2014年度以前入学者)・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

教室での体系的な英語学習と学外での活動を組み合わせ、実践的な英語運用力を向上させる。対象履修生は英語運用力の上級レベルを目指す学生とし、日本では体験できない様々な英語学習場面を経験し、新しい言語学習方法に触れ、今後の英語学習の可能性を広げることも目指す。オーストラリアにいる間は日本人同士でも英語でコミュニケーションをとることを求める。なお、本研修はオーストラリア国立大学の英語研修コースで実施するため、英語母語話者よりも非母語話者と話す機会が圧倒的に多いことは十分に理解すること。

この授業は、A1タームに開講される全学自由研究ゼミナール「Language and Cultural Immersion: Student development in study abroad programs」を修了した学生に優先的に履修を許可します。本授業のガイダンスでは日程や費用等の詳細について解説するので必ず参加してください。開催の情報はグローバルゼミナールオフィスのウェブサイトにも掲載します。

成績評価係数が3点満点の2.0以上であれば、7万円の奨学金が受給できる可能性が高いです(15名まで)。成績評価係数の計算方法はこちらをご覧ください。 <https://goo.gl/sn9A9y>

評価方法 合否評価。現地での活動状況、成果物、および帰国後のレポートを総合的に考慮して評価する。

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 特定日に行う。

2018年9月27日6限 21KOMCEE B1レクチャーホール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	教室	対象
60263	A 2	平和のために東大生ができること：カザフスタン研修	岡田 晃枝	集中	2	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科

目標概要 ■国際研修を履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。

【注意1】この授業は、開講日程の都合上成績が進級要件（2014年度以前入学者）・前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。

【注意2】この授業の履修を希望する者は必ず9/27（木）5限に行われるガイダンスに参加し、A1ターム開講の全学自由研究ゼミナール「平和のために東大生ができることI」を履修すること。

ソ連時代に数百回の核実験が行われたというセミパラチンスク核実験場（1989年閉鎖）を国内に擁するカザフスタンは、包括的核実験禁止条約（CTBT）発効に向けてイニシアティブを発揮している。2017-18年の国連安全保障理事会非常任理事国として、役割を果たしている。

この国際研修では、カザフスタンを訪問して、持続可能な開発目標（SDGS）の目標16「平和と公正をすべての人に」をテーマに、現地学生とともに学び合い、議論してその成果をまとめ、現地滞在中に現地学生と合同で公開の発表会を行う。

事前研修として、A1ターム全学ゼミ（下記参照）のほか、渡航前に外務省、経済産業省、駐日カザフスタン大使館等での事前研修を予定している。

渡航時期は3月上旬から中旬の約2週間である。

この授業を履修するには、A1タームに開講される全学自由研究ゼミナール「平和のために東大生ができること I」を履修して合格し、なおかつその全学ゼミの授業で課される課題および面接を通じて選抜されることが必須要件である。授業のガイダンスは、全学ゼミ「平和のために東大生ができること I」のガイダンスと同時に行う。希望者は必ず出席すること。

評価方法 研修準備への取組、研修中のコミットメント、研修後の報告書

教科書 教科書は使用しない。

ガイダンス 特定日に行う。

2018年9月27日5限 全学自由研究ゼミナール「平和のために東大生ができること I」の教室(KALS)

PEAK科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51497	A	社会科学ゼミナール (PEAK)	ジロドウ イザベル	教養学部(前期課程) PEAK前期	木4	K212	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>■ 2016年度以降入学の学生が履修する場合は、展開科目「社会科学ゼミナール」の科目として扱われます。 ■ 2015年度以前入学者は履修することができないので、注意してください。</p> <p>=====</p> <p>講義題目 Environmental Governance and New Institutional Interfaces 目標概要 Drawing on complementary fields of knowledge (namely : 'Governance Studies' and 'Science, Technology and Society', STS), this course considers the need to re-examine governance frameworks for dealing with environmental crisis and risks of scientific-technological provenance. It addresses the growing importance of emergent institutions known as 'boundary organisations' or 'science-policy interfaces' for local, regional and global governance of environmental issues such as climate change and biological diversity loss. Through short interactive lectures, case studies, scenario analysis and role-play simulations, we will engage in a critical examination of both the relevance of such institutional interfaces for environmental governance and their legitimacy regarding the development of environmental regulation.</p> <p>評価方法 Evaluation will be based on active participation to classroom discussions and learning activities (60%). Learning activities include individual or joint oral presentations as well as specific learning activities conducted on a collaborative basis (case studies, scenario analysis, and role-play simulations). In addition, students will be asked to write a final essay on issues discussed in the classroom (40%).</p> <p>教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。</p>							
51436	A	自然科学ゼミナール (PEAK)	前田 章 ウッドワード・ ジョナサン・ロジャー	教養学部(前期課程) PEAK前期	火2	518	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>■ 2016年度以降入学の学生が履修する場合は、展開科目「自然科学ゼミナール」の科目として扱われます。 ■ 2015年度以前入学者は履修することができないので、注意してください。</p> <p>=====</p> <p>講義題目 Applications of Mathematics in the Sciences 目標概要 This course is designed to demonstrate how mathematical concepts that U. Tokyo students have learned in their pure mathematics classes are used and applied in advanced studies in the natural and social sciences. Understanding applications of mathematics in the sciences allows students to understand what they have learned more deeply, and helps them to realize the importance of mathematics for their advanced studies in the Senior Division programs. The course is delivered by three instructors from different fields of expertise, presenting three stories of the use of mathematics. Each part focuses on particular mathematical ideas and methods and gives examples of where they can be applied. The fields of academic discipline and topics are the following: Part I (mathematical economics). Dynamic optimization and economic decision: Finding optimal lifelong consumption-savings plan. Part II (biomedical engineering). Human movement control: Mathematical modelling and control systems related to human movement. Part III (physics / chemistry). The mathematical description of quantum mechanics: Complex linear vector spaces and bra-ket notation and their application in describing the fundamental property of spin.</p> <p>評価方法 Grading for this course is based on those of three parts. Part I: In-class quizzes Part II: Assignment (60%), presentation (20%), attendance and participation (20%) Part III: Assignments, quizzes, attendance and participation</p> <p>教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51440	A	哲学・倫理(PEAK)	Muller Albert Charles	教養学部(前期課程) PEAK前期	水2	516	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>■ 2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目A(思想・芸術)の科目として扱われます。 ■ 2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。</p> <p>=====</p> <p>講義題目 Ethical Philosophies of East Asia: Buddhism, Confucianism, and Daoism 目標概要 This course provides an introduction to the traditional philosophical thought systems that have informed the religious and moral sensibilities of the cultures of China, Korea, Japan, and Vietnam. These are the so-called “three teachings” 三教 of Buddhism, Confucianism, and Daoism, which have developed in an interactive manner for almost two millennia. 評価方法 Grades will be evaluated based on class participation and the composition of a final term paper. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。</p>							
51519	A	思想・芸術 I (PEAK)	山辺 恵理子	教養学部(前期課程) PEAK前期	金2	114	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>■ 2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目A(思想・芸術)の科目として扱われます。 ■ 2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。</p> <p>=====</p> <p>講義題目 Philosophical Issues in Education 目標概要 COURSE OBJECTIVES The aim of this course is to deepen students' understanding on education through philosophical dialogues on ethical and controversial issues in education. Abilities 1) to pose philosophical questions, 2) to think logically and critically, 3) to listen to counterarguments and to take them into serious account, 4) to reflect on one's own conceptions, perceptions, and assumptions and at times reshape or even abandon them, and 5) to read and write philosophical papers, are essential to philosophical dialogues, and thus will be developed and assessed in this course. 評価方法 GRADING CRITERIA Class participation 30% Presentation and facilitation 30% Final essay 40% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50030	A	思想・芸術Ⅲ(PEAK)	ホールマン フランシス キャンドラ	教養学部(前期課程) PEAK前期	月1	515	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>■ 2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目A(思想・芸術)の科目として扱われます。 ■ 2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。</p> <p>=====</p> <p>講義題目 Culture and the Human Mind 目標概要 Borrowing from psychological and cognitive anthropology, this course understands the human mind as a product of psycho-cultural processes. Considering the wealth of variation of thought and feeling among Homo sapiens, psychological anthropology studies the relationship between culture and individual psychology. Taking a cross-cultural perspective, we will ask such questions as: Are emotions affected by language and culture? How do different child rearing practices affect development? Is perception influenced by culture? Do categories of mental illness have universal applicability? To answer these questions, we will examine key topics in psychological anthropology such as: religious experience, cross-cultural mental health, memory and trauma, childhood development, violence and motivation, and personality and culture. We will study ethnographic accounts of South Pacific islanders, Sri Lankan mystics, Cambodian soldiers, Irish Christian evangelicals, and other European, Asian, African, and North American societies and cultural practices. Time permitting, students will also undertake their own research projects.</p> <p>評価方法 Midterm (25%) The midterm for this course will include short answer and essay questions. It will be held in the middle of the semester, time TBA Research Paper (25%) Students will research and write a paper due in Week 13. The research paper must take a topic of the course—religious belief, psychosocial motivation, culturally-syndromes (for example)—and research a specific group or cultural practice that informs the topic. Research Presentation (25%) During Week 12 and/or 13, students will present their research from the research paper. Depending upon class size, the presentation should last between 10 and 15 minutes. Reading Responses (10%) Students will be required to read an academic article on the class subject. The reading response will be 2-3 questions for reflection related to the readings. Participation (15%) Participation includes participating in group discussions and actively asking questions in class.</p> <p>教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
51506	A	国際関係(PEAK)	西海 洋志	教養学部(前期課程) PEAK前期	水5	K303	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>■ 2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目B(国際・地域)の科目として扱われます。 ■ 2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。</p> <p>=====</p> <p>講義題目 Introduction to International Relations 目標概要 This course is designed to provide basic perspectives and knowledge of the discipline of International Relations (IR), along the lines of its disciplinary history since the early 20th century. The perspectives and knowledge are tools to analyse and understand international affairs and to explain why it is difficult to solve various issues and problems we have faced. The purpose of this course is to help students conduct further studies on international relations and deepen insights by themselves with the perspectives and knowledge provided in this course. The students who take this course are expected to become acquainted with the various perspectives as able to utilise them to analyse international affairs by themselves; and, in the end, to review critically the existing perspectives and theories of IR. (A final report would be required to try this critical review by answering questions such as “What aspects and/or elements are overlooked from the perspective A?”; “What difficulties remains when applying the theory B in the actual international problem C?”; “What improvements are needed to make the discipline of IR more insightful?”)</p> <p>評価方法 Attendance and class discussion, presentation and a final report (about 1,500 words) 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51523	A	国際・地域 I (PEAK)	佐藤 仁	教養学部(前期課程) PEAK前期	金4	118	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>■ 2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目B(国際・地域)の科目として扱われます。 ■ 2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。</p> <p>=====</p> <p>講義題目 Perspectives on Development: History, Dilemmas, and Unintended Consequences 目標概要 The course offers a perspective on the processes of development with a specific focus on institutions, environment, and foreign aid. By exposing students to some key dilemmas, the course attempts to equip students with skills to frame issues, read contexts, and derive alternatives. The topics will cover both theoretical and practical issues concerning development.</p> <p>評価方法 A more detailed syllabus will be presented on the first day of class. Grading: Written work: 40% Class participation: 20% Discussion leading: 20% Group presentation: 20%</p> <p>教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。</p>							
51432	A	経済・統計(PEAK)	Griffen Andrew Shields	教養学部(前期課程) PEAK前期	月4	K401	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>■ 2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目C(社会・制度)の科目として扱われます。 ■ 2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。</p> <p>=====</p> <p>講義題目 Microeconomics 目標概要 This is an introductory course in microeconomics in which the primary goal will be to introduce students to formal economic models. Economics is a tremendously interesting discipline and touches on many fascinating aspects of life: What determines prices? Why do we have markets? Why do we think the market allocation is "good" in some sense? Should governments intervene in markets? Why do countries have different standards of living? Why do people within countries have different levels of income? What determines decisions about whether to work and invest in education? How do people behave in strategic situations? Although an introductory course cannot possibly hope to cover all aspects of economics, the idea is to introduce a broad range of the models used in economics and to get students to understand economists' way of thinking. The course will be technical and cover the topics using formal models, which will be good in ways in which I will explain when we discuss educational investments. However, we will also play several games and have discussions based on readings to illustrate the principles involved.</p> <p>評価方法 1. Homework A small weekly homework assignment will be given and we will discuss its solution in the following class. It is recommended for students to complete the homework.</p> <p>2. Quizzes There will be pop quizzes during the semester. They will be given on random days and at random times during the lecture.</p> <p>3. Exams There will be one midterm exam and a cumulative final exam.</p> <p>教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51434	A	社会・制度 I (PEAK)	NOBLE GREGORY WILLIAM	教養学部(前期課程) PEAK前期	月5	K401	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>■ 2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目C(社会・制度)の科目として扱われます。 ■ 2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。</p> <p>=====</p> <p>講義題目 Japan and the Governance of Democratic Market Economies 目標概要 Citizens in advanced societies constantly appeal to the ideals of democracy, but how is representative democracy actually organized? How do different countries handle the inevitable tradeoffs among competing democratic ideals? And how do they seek to make public policies that reflect the desires of their (often competing and contending) citizenries while also crafting effective responses to the vagaries of market capitalism?</p> <p>Running through this course are two broad themes. First, democracy can be conceptualized as a chain of delegation from voters to politicians and parties and then to governments. This chain, though sometimes loose or knotted, makes governments sensitive to the demands of the people who elect them. Second, democracies generally fall into two broad camps, majoritarian and consensus. The first type places highest priority on majority rule, decisiveness, and accountability, while the second seeks to encourage participation by the widest possible range of social groups. Majoritarian systems, as exemplified by the United Kingdom tend to have two-party systems; consensus countries, such as Sweden or Denmark almost always have multi-party systems and coalition cabinets.</p> <p>評価方法 Class participation (quality, quantity, civility): 25% Three papers of roughly 1,000 words each (about three pages double-spaced; the third a little longer) due at the end of each course section: 25 × 3 = 75%</p> <p>教科書 その他。 See the instruction in the Section of "Advice for Prospective Students."</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
51494	A	法・政治(PEAK)	FOOTE DANIEL HARRING 杉之原 真子	教養学部(前期課程) PEAK前期	火4	K214	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>■ 2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目C(社会・制度)の科目として扱われます。 ■ 2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。</p> <p>=====</p> <p>講義題目 Law and Political Science 目標概要 The objective of the course is to familiarize the students with the basics of law and political science. The course will be taught by specialists in these fields.</p> <p>評価方法 Written examination at the end of the semester. Class participation will also be taken into account.</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
51510	A	社会・制度Ⅲ(PEAK)	クロイドン シルビア アタナソヴァ	教養学部(前期課程) PEAK前期	木1	516	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>■ 2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目C(社会・制度)の科目として扱われます。 ■ 2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。</p> <p>=====</p> <p>講義題目 Introduction to Bioethics and Society 目標概要 New biomedical advancements, such as gene therapy, regenerative medicine and stem cell technology, promise to transform healthcare over the coming years, but bring with them many challenges as policymakers are forced to consider competing ethical, scientific and commercial concerns. This course will introduce students to some of the important current debates in this area from a predominantly social science perspective (although naturally, there will also be intersections with fields as diverse as philosophy, medicine, law and the humanities). The particular focus will be on how societies, including ones in East Asia and beyond, resolve bioethical issues.</p> <p>評価方法 Class activities (30%), Presentation (20%), Essay (50%)</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51292	A	科学技術基礎論(PEAK)	岡本 拓司	教養学部(前期課程) PEAK前期	月3	K303	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>■ 2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目D(人間・環境)の科目として扱われます。 ■ 2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。</p> <p>=====</p> <p>講義題目 Science and the modernization of Japan (with related topics) 目標概要 This course will discuss the role of western science and technology in the modernization of non-western countries by mainly focusing on the history of Japan from the late 19th century to the 1950s. The following will become the main issues: diversity of the concepts of science and learning; the birth of science in the 17th century and its dissemination in the non-western world; the relation between science and technology; science and technology at crises. Participants will have chances to examine their ways of understanding what science means for their culture, society, and lives. 評価方法 One or two essays must be submitted; presentations during the course. The topics will be discussed and given during the course. 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
51492	A	地球環境(PEAK)	成田 大樹	教養学部(前期課程) PEAK前期	火1	154	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>■ 2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目D(人間・環境)の科目として扱われます。 ■ 2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。</p> <p>=====</p> <p>講義題目 Global environmental problems and sustainable development 目標概要 This course will introduce the students to the current debates surrounding the global environmental problems, such as climate change, transboundary air pollution, biodiversity loss, and the issues of natural resources and land use (water, etc.). In the course, we will not discuss environmental problems in isolation but view them as an element among other great social challenges of our time. Specifically, the course's perspective is summarized by the following basic questions:</p> <ul style="list-style-type: none"> - People in the world are living under vastly different conditions in terms of income levels, etc. Given these differences, what kind of global environment should we aim for? - How can we form a global consensus on collective actions against environmental problems? On a more practical level, what are the existing global agreements and institutions on the environment? - On a global scale, what kinds of environmental or resource limits are we bound by? <p>Given the instructor's field of expertise, a particular attention will be paid to economic dilemmas of the global environmental problems, e.g., the needs for balancing environmental quality and poverty reduction. However, the lectures and class discussions also touch on various other aspects -- such as natural-scientific, policy (political and legal) and technological aspects -- of global environmental issues.</p> <p>評価方法 Grading will be made based on a class presentation (30%), a final essay (60%) and class attendance (10%). 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51526	A	スポーツ・身体運動実習 II (PEAK)	石井 直方 笹井 浩行	教養学部(前期課程) PEAK前期	木4	(実習)	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>■ 2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目D(人間・環境)の科目として扱われます。 ■ 2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。</p> <p>=====</p> <p>講義題目 Recreational activities for the promotion of fitness and wellness 目標概要 Provide an understanding of the fitness components and the importance of good strength, flexibility and endurance in physical health and wellness. Expose students to variety of activities that can be incorporated into a daily lifestyle. Apply the training principles for the management of the fitness components. 評価方法 a. Participation - 60% (minimum two-thirds attendance required) b. Effort in class activities - 25% c. Written Report - 15% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。 4限/4th Period 515</p>							
51503	A	分析化学(PEAK)	ウッドワード・ ジョナサン・ロジャール	教養学部(前期課程) PEAK前期	水2	109	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>■ 2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目E(物質・生命)の科目として扱われます。 ■ 2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。</p> <p>=====</p> <p>講義題目 Analytical Chemistry 目標概要 To scientists, being able to measure and analyse our environment is one of the most important capabilities. This course is concerned with the methods and technologies available to accurately and precisely measure the properties of real world samples, for example from determining the concentration of heavy metal ions in river water, measuring the concentration of a drug molecule in a blood sample to determining the concentration of pollutant gases in the atmosphere. The course builds on existing knowledge of fundamental chemical principles and has a practical focus which will be of particular use to students with an interest in Environmental Science. 評価方法 Assessed homework activities plus final examination. 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。</p>							
51517	A	電磁気学の基礎(PEAK)	堀田 知佐	教養学部(前期課程) PEAK前期	木3	518	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>■ 2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目E(物質・生命)の科目として扱われます。 ■ 2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。</p> <p>=====</p> <p>講義題目 Electromagnetism (PEAK) 目標概要 The main topic of this course is the derivation of time independent Maxwell's equations from the empirical rules that we could recognize within our circumstances. These equations are a set of first-order partial differential equations which constitute a complete description of electric and magnetic phenomena. The concept of classical "electric and magnetic fields" are introduced, which are indispensable in order to fully describe electric and magnetic forces and corresponding phenomena we observe in the real world. 評価方法 The audiences need to submit the homework almost every week. (Some of them are solved within the class). We give an exam at the end of the semester. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51514	A	情報科学(PEAK)	Suppakitpaisarn Vorapong	教養学部(前期課程) PEAK前期	木2	E41	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>■ 2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目F(数理・情報)の科目として扱われます。 ■ 2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。</p> <p>=====</p> <p>講義題目 Information Science 目標概要 In this course, students will learn how to efficiently process their information using a computer. Students may use an existing program to do that, but it sometimes more efficient to write a new program. We will teach how to do that using a programming language, called Ruby, at the first part of this course. Then, in the second part, we will discuss how to reduce the running time of your program. The program with small running time will have a big advantage when your information is large.</p> <p>To process some information, we may have to write a complicated program. We can avoid that by making our computer “learn” that complicated program by themselves. We will discuss the machine learning concepts at the third part of this course.</p> <p>評価方法 10 in-class exercises, 2 projects, 1 workshop presentation, and a final examination 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
51521	A	意思決定の数理(PEAK)	前田 章	教養学部(前期課程) PEAK前期	金2	518	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>■ 2015年度以降入学の学生が履修する場合は、総合科目F(数理・情報)の科目として扱われます。 ■ 2014年度以前入学の学生が履修する場合は、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして成績がつきますので、注意してください。</p> <p>=====</p> <p>講義題目 Decision Analysis 目標概要 Policy makers in governments and management in businesses are experiencing ever more complex situations these days in light of their economic surroundings, stakeholders, organizations, etc. To make rational and sound decisions in policy making or management strategy, they seek for transparent methodologies and tools that have a basis on objective information and quantitative analyses.</p> <p>In this lecture, students will learn the theory and practice of Decision Analysis (DA). DA is a school among theories of decision making that is on the basis of probability, optimization, and expected utility theories, and that is intended to offer a framework of “normative” decision making. Related disciplines include management science/ operations research and microeconomics. This lecture thus also works as a good introduction to these subjects.</p> <p>評価方法 Evaluation is based on final exam. 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
51498	A	学術フロンティア講義 (PEAK)	前島 志保 野澤 俊太郎	教養学部(前期課程) PEAK前期	火5	118	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>■ 2014年度以前の入学者については、履修登録・成績共に、主題科目 全学自由研究ゼミナールとして扱われますので、注意してください。</p> <p>=====</p> <p>講義題目 Introduction to Japan in East Asia 目標概要 This course is a lecture series showcasing the wide range of research conducted by faculty at the University related to Japan and/or East Asia. The purpose is to illustrate how fundamental concepts and knowledge learned in the junior division can lead to interesting intellectual explorations in the senior division of the PEAK Japan in East Asia Program.</p> <p>評価方法 50 % Class participation (reaction papers) 50% Final paper 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51513	A	全学自由研究ゼミナール (PEAK)	東塚 知己 角野 浩史 對比地 孝亘 市原 美恵 鈴木 健太郎	教養学部(前期課程) PEAK前期	火3	K211	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 Introduction to earth science</p> <p>目標概要 This is an introductory course for earth science covering planetary science, ocean science, atmospheric science, solid earth science, and life in the past.</p> <p>評価方法 Attendance, report, and final exam</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 第一回授業日に行う。</p>							
51530	A	全学自由研究ゼミナール (PEAK)	甘蔗 寂樹	教養学部(前期課程) PEAK前期	火5	119	1年 理科 2年 理科
<p>講義題目 Introduction to computing</p> <p>目標概要 In recent academic and scientific researches, computer aided researches such as analysis and design have become more highlighted than before. In this class, beginners will touch the academic computing and learn how to create the numerical computing algorithms using MATLAB, a computer programming software.</p> <p>評価方法 Attendance (50%), Assignments (30%) and Performance in the class (20%)</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
51505	A	全学自由研究ゼミナール (PEAK)	リチャード シェファーソン TAJVIDI Nader	教養学部(前期課程) PEAK前期	水3	E39	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 Intermediate Course in Probability</p> <p>目標概要 The course gives a deeper and extended knowledge of probability theory, useful for further studies in, e.g., extreme value theory and stochastic processes and their applications. The course expands the basic knowledge in probability theory. Central moments in the course are transforms of distribution, conditional expectations, multidimensional normal distribution, and stochastic convergence. Further, the concept of stochastic processes is introduced by a fairly thorough treatment of the properties of the Poisson process. Course is a part of the STINT program, and will be taught by Prof. Nader Tajvidi</p> <p>評価方法 In-class exercises, homework, and a final exam.</p> <p>教科書 授業中に指示をする。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
51508	A	全学自由研究ゼミナール (PEAK)	松尾 厚	教養学部(前期課程) PEAK前期	木1	514	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 Introductory course in linear algebra</p> <p>目標概要 Students will study the properties of vectors, matrices and determinants as well as the concepts of abstract vector spaces and linear maps on such spaces. Various applications of these concepts will also be presented.</p> <p>評価方法 Written examination at the end of the semester.</p> <p>教科書 プリントを配布する。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
51516	A	全学自由研究ゼミナール (PEAK)	鮑 園園	教養学部(前期課程) PEAK前期	木3	517	1年 文科 理科 2年 文科 理科
<p>講義題目 Single-variable calculus</p> <p>目標概要 The course covers differentiation and integration of a function in one-variable. It starts with the definition of a set and concludes with a discussion of ordinary differential equations. There will be lots of calculations during the course. After the course, I hope the students understand the basic concepts and the relations between these concepts, and know how to do basic calculations related to the derivative and the integral of a given function.</p> <p>評価方法 A written examination at the end of the semester.</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							
51525	A	全学体験ゼミナール (PEAK)	松田 恭幸	教養学部(前期課程) PEAK前期	金3	K113	1年 理科
<p>講義題目 Welcome to Physical World!</p> <p>目標概要 This thematic course (specialized seminar) is for PEAK students who didn't take physics course in year 11 and/or 12 (last two years at high schools).</p> <p>We'll learn the meaning of physical quantities and several concepts which are important for all natural science subjects and engineering. This course will be a step stone for mandatory "introductory physics" course (for PEAK students) offered in Spring semester.</p> <p>評価方法 Class participation and mini-tests</p> <p>教科書 教科書は使用しない。</p> <p>ガイダンス 特に行わない。</p>							

Aセメスター（A1・A2ターム） 授業時間割表

次ページより、Aセメスター（A1・A2ターム）に開講される科目の時間割表が掲載されていますので、必要に応じて参照し、履修計画を立てる際の参考にしてください。

本冊子には以下の種類の時間割表が掲載されています。

- ・科類別時間割表
- ・総合科目等時間割表
- ・専門科目一覧表
- ・専門科目時間割表
- ・教職科目一覧表

【時間割参照上の注意事項】

科類別時間割表

- ・時間割表は、1年文科一類・二類～理科二・三類の順に並んでいます。
- ・掲載されている科目は、基礎科目とクラス指定の総合科目のみです。

総合科目等時間割表

- ・時間割表は、授業の曜限順に月曜1限～金曜6限、集中講義まで掲載されています。
- ・掲載されている科目は、クラス指定されていない総合科目と、主題科目及び展開科目です。

専門科目一覧表

専門科目時間割表

- ・2Aセメスターに履修可能な専門科目の時間割が、学部ごとに掲載されています。
- ・一覧表に掲載されていない科目は2Aセメスターに履修をすることができません。
- ・専門科目時間割表には、集中講義科目は掲載されていません。専門科目一覧表で確認してください。
- ・専門科目についての詳細は、p.300を参照してください。

教職科目一覧表

- ・2Aセメスターに履修可能な教職科目の時間割が掲載されています。
- ・教育職員免許状の取得についての詳細は『教養学部便覧（前期課程）』を参照してください。

1年 文科一類・二類 科類別時間割表

月曜日						
時間割コード	開講区分	対象クラス	科目名	教員名	教室	
1時限						
2時限	50047	A 7	スペイン語初級(演習)②	ドニャス ベルニャ アントニオ	104	
	50048	A 12	スペイン語初級(演習)②	ロサレス パトリシア	112	
	50049	A 16	中国語初級(演習)②	林 立梅	157	
	50050	A 24	フランス語一列②	飛嶋 隆信	162	
	50051	A 25,28	英語中級	岩崎 徹	149	
	50052	A 25,28	英語中級	志子田 祥子	10-203	
	50053	A 25,28	英語中級	グレノン イザベル	10-308	
	50054	A 25,28	英語中級	堀越 庸一郎	152	
	50055	A 25,28	英語中級	松本 和子	10-201	
	50056	A 25,28	英語中級	堀田 隆一	153	
	50057	A 25,28	英語中級	THURGILL JAMES CHRISTOPHER	154	
	50058	A 25,28	英語中級	メズール ジェルマン	K402	
3時限	50135	A	経済Ⅱ	丸山 真人	1225	
	50139	A	歴史Ⅱ	山口 輝臣	522	
	50141	A	ことばと文学Ⅳ	中尾 まさみ	164	
	50142	A	心理Ⅱ	本吉 勇	1323	
	50134	A 文一	政治Ⅱ	伊藤 武	900	
	50133	A 文二	法Ⅱ	北村 朋史	1313	
	50136	A	社会Ⅱ	井上 彰	K212	
	50137	A	哲学Ⅱ	乗立 雄輝	532	
	50138	A	倫理Ⅱ	田中 智彦	K214	
	50140	A	ことばと文学Ⅱ	田口 一郎	109	
4時限	50162	A 9	スペイン語初級(演習)②	イザベル カルロス	101	
	50949	A 13	スペイン語初級(演習)②	ドニャス ベルニャ アントニオ	108	
	50163	A 17	中国語一列②	白 春花	162	
	50164	A 18	中国語初級(演習)②	王 嵐	106	
	50165	A 20	ドイツ語初級(演習)②	オブヒュルス 鹿島	112	
	50166	A 23	フランス語一列②	大森 晋輔	122	
	50167	A 26	フランス語初級(演習)②	デルヴロワ ミカエル	10-205	
5時限						

火曜日						
時間割コード	開講区分	対象クラス	科目名	教員名	教室	
1時限	50246	A 1	ドイツ語一列②	畠山 寛	102	
	50247	A TLP	ロシア語一列②	渡邊 日日	105	
	50248	A 8	スペイン語初級(演習)②	イザベル カルロス	106	
	50249	A 15	中国語初級(演習)②	喬 志航	101	
	50250	A 21-23	英語中級	THURGILL JAMES CHRISTOPHER	103	
	50251	A 21-23	英語中級	河合 祥一郎	E42	
	50252	A 21-23	英語中級	松本 和子	10-201	
	50253	A 21-23	英語中級	平沢 慎也	151	
	50254	A 21-23	英語中級	WILSON BRENDAN	152	
	50255	A 21-23	英語中級	佐原 彩子	153	
	50256	A 21-23	英語中級	山本 史郎	157	
2時限						
3時限	50359	A 5	韓国朝鮮語一列②	生越 直樹	1211	
	50360	A 6	イタリア語一列②	池上 俊一	107	
	50363	A 10	スペイン語初級(演習)②	イザベル カルロス	1214	
	50364	A 11	スペイン語初級(演習)②	ドニャス ベルニャ アントニオ	1213	
	50365	A 12	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)	
	50366	A 19	中国語一列②	吉川 雅之	1222	
	50367	A 22	ドイツ語一列②	足立 信彦	155	
	50368	A 23	フランス語初級(演習)②	ビゼ フランソワ	10-102	
		A 7	英語二列W(ALESA)	各教員	各教室	
		A1 25	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室	
		A2 28	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室	
	50369	A1 24,26	英語中級	RICINSCHI Dan	158	
	50370	A1 24,26	英語中級	小川 浩之	156	
	50371	A1 24,26	英語中級	高橋 英海	103	
	50372	A1 24,26	英語中級	大井 赤亥	150	
	50373	A1 24,26	英語中級	牛村 圭	108	
	50374	A1 24,26	英語中級	WONG Michelle	10-308	
	50375	A1 24,26	英語中級	平林 祐子	154	
	60036	A2 27	英語中級	高橋 英海	103	
	60037	A2 27	英語中級	大井 赤亥	150	
	60038	A2 27	英語中級	WONG Michelle	10-308	
	60039	A2 27	英語中級	RICINSCHI Dan	158	
	60040	A2 27	英語中級	小川 浩之	156	
	60041	A2 27	英語中級	平林 祐子	154	
	60042	A2 27	英語中級	牛村 圭	108	
		A1 27-28	英語一列②	教養英語担当教員	各教室	
		A2 24-26	英語一列②	教養英語担当教員	各教室	
4時限	50437	A 1-5,8	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)	
	50484	A 24	フランス語初級(演習)②	ビゼ フランソワ	10-102	
	50485	A 26	フランス語一列②	鈴木 順子	1222	
		A 10,20	英語二列W(ALESA)	各教員	各教室	
		A1 13	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室	
	50443	A1 11-12,14	英語中級	平林 祐子	154	
	50444	A1 11-12,14	英語中級	高橋 英海	103	
	50445	A1 11-12,14	英語中級	小川 浩之	156	
	50446	A1 11-12,14	英語中級	WONG Michelle	10-308	
	50447	A1 11-12,14	英語中級	牛村 圭	108	
	50448	A1 11-12,14	英語中級	RICINSCHI Dan	158	
	50449	A1 11-12,14	英語中級	Williams David	102	
	50450	A1 11-12,14	英語中級	大井 赤亥	150	
	60086	A2 15	英語中級	平林 祐子	154	
	60087	A2 15	英語中級	WONG Michelle	10-308	
	60088	A2 15	英語中級	Williams David	102	
	60089	A2 15	英語中級	大井 赤亥	150	
	60090	A2 15	英語中級	小川 浩之	156	
	60091	A2 15	英語中級	牛村 圭	108	
	60092	A2 15	英語中級	高橋 英海	103	
	60093	A2 15	英語中級	RICINSCHI Dan	158	
		A1 15	英語一列②	教養英語担当教員	各教室	
		A2 11-14	英語一列②	教養英語担当教員	各教室	
5時限	50516	A	経済Ⅱ	竹野 太三	900	
	50518	A	歴史Ⅰ	杉山 清彦	K011	
	50517	A	哲学Ⅱ	山本 芳久	1323	
	50519	A	ことばと文学Ⅲ	出口 智之	159	

1年 文科一類・二類 科類別時間割表

水曜日						
時間割コード	開講区分	対象クラス	科目名	教員名	教室	
1時限	50535	A	文一 1-3,22-28	法Ⅱ	成瀬 剛	1225
	50536	A	文一 4-14	法Ⅱ	福岡 安都子	1106
	50537	A	文一 15-21	法Ⅱ	後藤 元	1331
	50564	A		心理Ⅱ	上原 泉	1323
	50561	A	文二	政治Ⅱ	菊田 真司	525
	50562	A		数学Ⅰ	山本 昌宏	761
	50563	A		数学Ⅱ	寺田 至	743
2時限	50615	A	21	ドイツ語一列②	畠山 寛	102
	50616	A	27	フランス語初級(演習)②	ファイフ ベアトリクス	10-103
	50617	A	28	フランス語初級(演習)②	アルベリック ドリブル	10-102
		A1	4.6	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室
		A2	8	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室
	50576	A1	1-3,5,7	英語中級	坪井 栄治郎	112
	50577	A1	1-3,5,7	英語中級	三吉 美加	158
	50578	A1	1-3,5,7	英語中級	平林 祐子	152
	50579	A1	1-3,5,7	英語中級	アルヴィ 宮本 なほ子	103
	50580	A1	1-3,5,7	英語中級	高橋 英海	150
	50581	A1	1-3,5,7	英語中級	岩佐 将志	156
	50582	A1	1-3,5,7	英語中級	平沢 慎也	151
	60145	A2	9-10	英語中級	平林 祐子	152
	60146	A2	9-10	英語中級	坪井 栄治郎	112
	60147	A2	9-10	英語中級	高橋 英海	150
	60148	A2	9-10	英語中級	アルヴィ 宮本 なほ子	103
	60149	A2	9-10	英語中級	岩佐 将志	156
	60150	A2	9-10	英語中級	三吉 美加	158
	60151	A2	9-10	英語中級	平沢 慎也	151
		A1	8-10	英語一列②	教養英語担当教員	各教室
		A2	1-7	英語一列②	教養英語担当教員	各教室
	3時限	50654	A	5	韓国朝鮮語初級(演習)②	崔 泰源
50655		A	7,14-15	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
50656		A	13	スペイン語一列②	久住 真由	113
50696		A	25	フランス語初級(演習)②	ファイフ ベアトリクス	10-103
		A1	28	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室
		A2	21-23	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室
50657		A1	16,18	英語中級	アルヴィ 宮本 なほ子	103
50658		A1	16,18	英語中級	西川 杉子	150
50659		A1	16,18	英語中級	平林 祐子	152
50660		A1	16,18	英語中級	平沢 慎也	151
50661		A1	16,18	英語中級	坪井 栄治郎	10-101
50662		A1	16,18	英語中級	三吉 美加	158
50663		A1	16,18	英語中級	加治屋 健司	153
50664		A1	16,18	英語中級	岩佐 将志	156
60170		A2	19-20	英語中級	岩佐 将志	156
60171		A2	19-20	英語中級	平沢 慎也	151
60172		A2	19-20	英語中級	三吉 美加	158
60173		A2	19-20	英語中級	平林 祐子	152
60174		A2	19-20	英語中級	アルヴィ 宮本 なほ子	103
60175		A2	19-20	英語中級	坪井 栄治郎	10-101
60176		A2	19-20	英語中級	西川 杉子	150
60177		A2	19-20	英語中級	加治屋 健司	153
	A1	19-23	英語一列②	教養英語担当教員	各教室	
	A2	16-18	英語一列②	教養英語担当教員	各教室	
4時限	50724	A	14	中国語初級(演習)②	中原 裕貴	157
	50725	A	16,26-28	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
	50726	A	22	ドイツ語初級(演習)②	Hermann Gottschewski	学際交流ホール
5時限						

木曜日							
時間割コード	開講区分	対象クラス	科目名	教員名	教室		
1時限							
2時限	50822	A	6	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)	
	50823	A	14	中国語一列②	岩月 純一	107	
	50824	A	15	中国語一列②	下出 宣子	122	
	50826	A	20	ドイツ語一列②	長木 誠司	105	
		A	5,9	英語二列W(ALESA)	各教員	各教室	
3時限	50885	A	9,23	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)	
	50886	A	11	スペイン語一列②	倉田 量介	108	
	50887	A	16	中国語一列②	下出 宣子	122	
	50904	A	21	ドイツ語初級(演習)②	SCHWARZ Thomas	105	
	50905	A	25	フランス語一列②	篠原 学	101	
	50906	A	27	フランス語一列②	郷原 佳以	151	
	50907	A	28	フランス語一列②	山田 広昭	158	
		A	18-19,24	英語二列W(ALESA)	各教員	各教室	
	50888	A	17	英語中級	戸谷 陽子	10-203	
	50889	A	17	英語中級	アンダル ジャクリン	103	
	50890	A	17	英語中級	中山 匡美	10-303	
	50891	A	17	英語中級	久世 恭子	149	
	50892	A	17	英語中級	菅原 克也	150	
	4時限	50945	A	2	フランス語一列②	ビゼ フランソワ	10-102
		50946	A	3	中国語一列②	毛 興華	158
50947		A	4	ロシア語初級(演習)②	アズマイ ナジェージュダ	121	
50948		A	12	スペイン語一列②	川上 英	104	
50950		A	18	中国語一列②	渡辺 剛	150	
50951		A	19	中国語初級(演習)②	柴 森	107	
5時限							

1年 文科一類・二類 科類別時間割表

金曜日						
	時間割 コード	開講 区分	対象クラス	科目名	教員名	教室
1 時 限	51028	A	10	スペイン語一列②	松浦 芳枝	157
		A	11-12,14	英語二列W(ALESA)	各教員	各教室
	51039	A	13	英語中級	広瀬 友紀	E38
	51040	A	13	英語中級	ポター サイモン	107
	51041	A	13	英語中級	佐藤 洋一	10-303
	51042	A	13	英語中級	川崎 修一	151
	51043	A	13	英語中級	清水 徹郎	K303
2 時 限						
3 時 限	51109	A	4	ロシア語一列②	濱田 華練	106
	51110	A	6	イタリア語初級(演習)②	アンドレア ナゲール	K302
	51111	A	7	スペイン語一列②	有田 美保	104
	51112	A	8	スペイン語一列②	内田 兆史	105
		A	15-16	英語二列W(ALESA)	各教員	各教室
	51113	A	10-11,13,17-20	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
4 時 限	51179	A	9	スペイン語一列②	内田 兆史	105
	51180	A	21-22,25	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
	51173	A	4,6,8	英語中級	ミルズ アンソニー	10-303
	51174	A	4,6,8	英語中級	勅使河原 三保子	153
	51175	A	4,6,8	英語中級	武田 将明	150
	51176	A	4,6,8	英語中級	ポター サイモン	107
	51177	A	4,6,8	英語中級	佐竹 晶子	151
	51178	A	4,6,8	英語中級	大橋 理枝	103
5 時 限						

1年 文科三類 科類別時間割表

		月曜日					
		時間割 コード	開講 区分	対象クラス	科目名	教員名	教室
1 時限							
2 時限	50059	A	4,11,16	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)	
	50060	A	6	イタリア語一列②	村松 真理子	103	
	50061	A	15	ドイツ語初級(演習)②	クリスティアン クリク	K114	
		A	1-3,12,19	英語二列W(ALESA)	各教員	各教室	
	50051	A	5,7,20	英語中級	岩崎 徹	149	
	50052	A	5,7,20	英語中級	志子田 祥子	10-203	
	50053	A	5,7,20	英語中級	グレノン イザベル	10-308	
	50054	A	5,7,20	英語中級	堀越 庸一郎	152	
	50055	A	5,7,20	英語中級	松本 和子	10-201	
	50056	A	5,7,20	英語中級	堀田 隆一	153	
	50057	A	5,7,20	英語中級	THURGILL JAMES CHRISTOPHER	154	
50058	A	5,7,20	英語中級	メズ-ルー ル ジェルマン	K402		
3 時限	50135	A		経済Ⅱ	丸山 真人	1225	
	50139	A		歴史Ⅱ	山口 輝臣	522	
	50141	A		ことばと文学Ⅳ	中尾 まさみ	164	
	50142	A		心理Ⅱ	本吉 勇	1323	
	50133	A		法Ⅱ	北村 朋史	1313	
	50136	A		社会Ⅱ	井上 彰	K212	
	50137	A		哲学Ⅱ	乗立 雄輝	532	
	50138	A		倫理Ⅱ	田中 智彦	K214	
	50140	A		ことばと文学Ⅱ	田口 一郎	109	
4 時限	50168	A	9	スペイン語一列②	三浦 麻衣子	107	
	50169	A	11	中国語一列②	河野 直恵	166	
	50170	A	12	中国語一列②	楊 凱栄	158	
	50171	A	14	ドイツ語一列②	高橋 亮介	104	
	50172	A	16	ドイツ語初級(演習)②	SCHWARZ Thomas	105	
5 時限							

		火曜日					
		時間割 コード	開講 区分	対象クラス	科目名	教員名	教室
1 時限	50246	A	1	ドイツ語一列②	島山 寛 渡邊 日日 各教員	102	
	50247	A	TLP	ロシア語一列②		105	
		A	14-15	英語二列W(ALESA)		各教室	
2 時限							
3 時限	50359	A	5	韓国朝鮮語一列②	生越 直樹	1211	
	50408	A	6	イタリア語初級(演習)②	アンドレア チヴィーレ	K301	
	50409	A	7	スペイン語一列②	深澤 晴奈	K114	
		A1	18	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室	
		A2	20	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室	
	60036	A2	19	英語中級	高橋 英海	103	
	60037	A2	19	英語中級	大井 赤亥	150	
	60038	A2	19	英語中級	WONG Michelle	10-308	
	60039	A2	19	英語中級	RICINSCHI Dan	158	
	60040	A2	19	英語中級	小川 浩之	156	
	60041	A2	19	英語中級	平林 祐子	154	
	60042	A2	19	英語中級	牛村 圭	108	
		A1	19-20	英語一列②	教養英語担当教員	各教室	
		A2	18	英語一列②	教養英語担当教員	各教室	
	4 時限	50486	A	13	中国語一列②	伊藤 徳也	524
		50437	A	17-18	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
			A1	4-5	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室
		A2	7-8	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室	
50443		A1	1-3	英語中級	平林 祐子	154	
50444		A1	1-3	英語中級	高橋 英海	103	
50445		A1	1-3	英語中級	小川 浩之	156	
50446		A1	1-3	英語中級	WONG Michelle	10-308	
50447		A1	1-3	英語中級	牛村 圭	108	
50448		A1	1-3	英語中級	RICINSCHI Dan	158	
50449		A1	1-3	英語中級	Williams David	102	
50450		A1	1-3	英語中級	大井 赤亥	150	
60086		A2	6	英語中級	平林 祐子	154	
60087		A2	6	英語中級	WONG Michelle	10-308	
60088		A2	6	英語中級	Williams David	102	
60089		A2	6	英語中級	大井 赤亥	150	
60090		A2	6	英語中級	小川 浩之	156	
60091	A2	6	英語中級	牛村 圭	108		
60092	A2	6	英語中級	高橋 英海	103		
60093	A2	6	英語中級	RICINSCHI Dan	158		
	A1	6-8	英語一列②	教養英語担当教員	各教室		
	A2	1-5	英語一列②	教養英語担当教員	各教室		
5 時限	50516	A		経済Ⅱ	竹野 太三	900	
	50518	A		歴史Ⅰ	杉山 清彦	K011	
	50517	A		哲学Ⅱ	山本 芳久	1323	
	50519	A		ことばと文学Ⅲ	出口 智之	159	

科類別時間割表

1年 文科三類 科類別時間割表

水曜日							
	時間割コード	開講区分	対象クラス	科目名	教員名	教室	
1時限	50564	A		心理Ⅱ	上原 泉	1323	
	50561	A		政治Ⅱ	荻田 真司	525	
	50562	A		数学Ⅰ	山本 昌宏	761	
	50563	A		数学Ⅱ	寺田 至	743	
2時限	50618	A	10	中国語一列②	瀬地山 角	108	
	50576	A1	14-15	英語中級	坪井 栄治郎	112	
	50577	A1	14-15	英語中級	三吉 美加	158	
	50578	A1	14-15	英語中級	平林 祐子	152	
	50579	A1	14-15	英語中級	アルヴィ 宮本 なほ子	103	
	50580	A1	14-15	英語中級	高橋 英海	150	
	50581	A1	14-15	英語中級	岩佐 将志	156	
	50582	A1	14-15	英語中級	平沢 慎也	151	
	60145	A2	16	英語中級	平林 祐子	152	
	60146	A2	16	英語中級	坪井 栄治郎	112	
	60147	A2	16	英語中級	高橋 英海	150	
	60148	A2	16	英語中級	アルヴィ 宮本 なほ子	103	
	60149	A2	16	英語中級	岩佐 将志	156	
	60150	A2	16	英語中級	三吉 美加	158	
	60151	A2	16	英語中級	平沢 慎也	151	
		A1	16-17	英語一列②	教養英語担当教員	各教室	
		A2	14-15	英語一列②	教養英語担当教員	各教室	
	3時限	50654	A	5	韓国朝鮮語初級(演習)②	崔 泰源	1211
		50655	A	8	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
			A1	9	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室
		A2	13	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室	
50657		A1	10	英語中級	アルヴィ 宮本 なほ子	103	
50658		A1	10	英語中級	西川 杉子	150	
50659		A1	10	英語中級	平林 祐子	152	
50660		A1	10	英語中級	平沢 慎也	151	
50661		A1	10	英語中級	坪井 栄治郎	10-101	
50662		A1	10	英語中級	三吉 美加	158	
50663		A1	10	英語中級	加治屋 健司	153	
50664		A1	10	英語中級	岩佐 将志	156	
60170		A2	11-12	英語中級	岩佐 将志	156	
60171		A2	11-12	英語中級	平沢 慎也	151	
60172		A2	11-12	英語中級	三吉 美加	158	
60173		A2	11-12	英語中級	平林 祐子	152	
60174		A2	11-12	英語中級	アルヴィ 宮本 なほ子	103	
60175		A2	11-12	英語中級	坪井 栄治郎	10-101	
60176		A2	11-12	英語中級	西川 杉子	150	
60177		A2	11-12	英語中級	加治屋 健司	153	
		A1	11-13	英語一列②	教養英語担当教員	各教室	
		A2	9-10	英語一列②	教養英語担当教員	各教室	
4時限		50727	A	8	スペイン語一列②	石橋 純	511
		50725	A	9	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
		50728	A	15	ドイツ語一列②	森 芳樹	154
		50729	A	16	ドイツ語一列②	稲葉 治朗	149
	50730	A	17	フランス語一列②	増田 一夫	155	
	50731	A	20	フランス語初級(演習)②	アルベリック ドリブル	10-202	

木曜日						
	時間割コード	開講区分	対象クラス	科目名	教員名	教室
1時限						
2時限	50827	A	10	中国語初級(演習)②	賈 黎黎	121
	50829	A	19	フランス語一列②	原 和之	158
3時限	50885	A	1-3,12,14-15	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
	50908	A	18	フランス語一列②	森元 庸介	112
	50909	A	20	フランス語一列②	坂本 さやか	152
		A	6,16	英語二列W(ALESA)	各教員	各教室
	50888	A	4,8	英語中級	戸谷 陽子	10-203
	50889	A	4,8	英語中級	アンデル ジョクレーン	103
	50890	A	4,8	英語中級	中山 匡美	10-303
	50891	A	4,8	英語中級	久世 恭子	149
	50892	A	4,8	英語中級	菅原 克也	150
	4時限	50945	A	2	フランス語一列②	ビゼ フランソワ
50946		A	3	中国語一列②	毛 興華	158
50953		A	4	ロシア語初級(演習)②	GOLUBOVSKAYA Liubov	517
50955		A	8	スペイン語初級(演習)②	イサベル カルロス	108
50956		A	13	中国語初級(演習)②	李 雲	164
50957		A	14	ドイツ語初級(演習)②	クリスティアン クリンク	K114
5時限						

1年 文科三類 科類別時間割表

金曜日						
	時間割 コード	開講 区分	対象クラス	科目名	教員名	教室
1 時 限	51045	A	7	スペイン語初級（演習）②	ドニス バルネア アントニオ	122
			A 10	英語二列W(ALESA)	各教員	各教室
	51039	A	18	英語中級	広瀬 友紀	E38
	51040	A	18	英語中級	ポター サイモン	107
	51041	A	18	英語中級	佐藤 洋一	10-303
	51042 51043	A A	18 18	英語中級 英語中級	川崎 修一 清水 徹郎	151 K303
2 時 限						
3 時 限	51121	A	4	ロシア語一列②	安岡 治子	155
	51113	A	5-7,10	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
	51129	A	12	中国語初級（演習）②	張 玉萍	108
	51130	A	17	フランス語初級（演習）②	マルティネル ルイ	10-203
	51131	A	19	フランス語初級（演習）②	ビゼ フランソワ	10-102
		A	11	英語二列W(ALESA)	各教員	各教室
	51122	A	9,13	英語中級	遠藤 泰生	102
	51123	A	9,13	英語中級	ミルズ アンソニー	10-303
	51124	A	9,13	英語中級	大橋 理枝	103
	51125	A	9,13	英語中級	寺澤 盾	151
	51126	A	9,13	英語中級	勅使河原 三保子	153
	51127	A	9,13	英語中級	清水 徹郎	K303
	51128	A	9,13	英語中級	ポター サイモン	107
	4 時 限	51181	A	9	スペイン語初級（演習）②	エクトル シエラ
51180		A	13,19-20	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
51182		A	18	フランス語初級（演習）②	アガエス ジュリアン	10-203
51173		A	17	英語中級	ミルズ アンソニー	10-303
51174		A	17	英語中級	勅使河原 三保子	153
51175		A	17	英語中級	武田 将明	150
51176		A	17	英語中級	ポター サイモン	107
51177		A	17	英語中級	佐竹 晶子	151
51178		A	17	英語中級	大橋 理枝	103
5 時 限						

1年 理科一類 科類別時間割表

		月曜日				
	時間割コード	開講区分	対象クラス	科目名	教員名	教室
1時限						
2時限	50059	A	5.10.11.15.20.21.25.26	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
	50070	A	6	韓国朝鮮語一列②	永原 歩	1212
	50071	A	7.9.22.31	構造化学	青木 優	523
	50072	A	14.17.23.29.39	図形科学A	籾 宏志, 植原 賢二	E31
	50073	A	18.24.27-28	アルゴリズム入門	山口 文彦	E21
	50074	A	30	ドイツ語一列②	大石 紀一郎	10-303
	50075	A	32-34.38	構造化学	立川 仁典	524
	50076	A	37	フランス語一列②	大森 晋輔	122
		A	1-4.35-36	英語二列W(ALESS)	各教員	各教室
	50051	A	8.13	英語中級	岩崎 徹	149
	50052	A	8.13	英語中級	志子田 祥子	10-203
	50053	A	8.13	英語中級	グレンン イザベル	10-308
	50054	A	8.13	英語中級	堀越 庸一郎	152
	50055	A	8.13	英語中級	松本 和子	10-201
	50056	A	8.13	英語中級	堀田 隆一	153
	50057	A	8.13	英語中級	THURGILL JAMES CHRISTOPHER	154
	50058	A	8.13	英語中級	メズールール ジェルマン	K402
3時限	50096	A1	1-3.5.7.9.12-14	基礎実験Ⅰ(物理学)	物理学実験担当	(実習)
	50097	A1	1-3.5.7.9.12-14	基礎実験Ⅰ(化学)	化学実験担当	(実習)
	60003	A2	1-3.5.7.9.12-14	基礎実験Ⅱ(物理学)	物理学実験担当	(実習)
	60005	A2	1-3.5.7.9.12-14	基礎実験Ⅱ(化学)	化学実験担当	(実習)
	50099	A	4.6.10.30	構造化学	安池 智一	523
	50107	A	19.21.36	図形科学A	植原 賢二, 籾 宏志	E31
	50121	A	29	ドイツ語一列②	三宅 晶子	106
	50122	A	38	フランス語一列②	泉 美知子	101
	50123	A	39	フランス語一列②	星埜 守之	157
		A	23.25-26.28.34.37	英語二列W(ALESS)	各教員	各教室
	50100	A	15.22.27.31-32	英語中級	堀越 庸一郎	152
	50101	A	15.22.27.31-32	英語中級	小田 悠生	107
	50102	A	15.22.27.31-32	英語中級	石井 クンツ 昌子	113
	50103	A	15.22.27.31-32	英語中級	岩崎 徹	149
	50104	A	15.22.27.31-32	英語中級	メズールール ジェルマン	K402
	50105	A	15.22.27.31-32	英語中級	井上 博之	10-303
	50106	A	15.22.27.31-32	英語中級	志子田 祥子	10-203
4時限	50096	A1	1-3.5.7.9.12-14	基礎実験Ⅰ(物理学)	物理学実験担当	(実習)
	50097	A1	1-3.5.7.9.12-14	基礎実験Ⅰ(化学)	化学実験担当	(実習)
	60003	A2	1-3.5.7.9.12-14	基礎実験Ⅱ(物理学)	物理学実験担当	(実習)
	60005	A2	1-3.5.7.9.12-14	基礎実験Ⅱ(化学)	化学実験担当	(実習)
	50173	A	4.11.15	アルゴリズム入門	山口 和紀	E21
	51450	A	20-23	微分積分学②	斎藤 毅	724
	51451	A	24-27	微分積分学②	WILLOX RALPH	723
	51452	A	28-31	微分積分学②	松田 茂樹	523
	51453	A	32-35	微分積分学②	高山 茂晴	741
	51454	A	36-39	微分積分学②	足助 太郎	721
		A	19	英語二列W(ALESS)	各教員	各教室
	50174	A	16-18	英語中級	井上 博之	10-303
	50175	A	16-18	英語中級	佐藤 光	153
	50176	A	16-18	英語中級	石井 クンツ 昌子	113
	50177	A	16-18	英語中級	ナルト デリック	103
	50178	A	16-18	英語中級	高橋 和子	10-201
	50179	A	16-18	英語中級	グレンン イザベル	10-308
	50180	A	16-18	英語中級	加藤 恒昭	155
5時限						

		火曜日				
	時間割コード	開講区分	対象クラス	科目名	教員名	教室
1時限	50246	A	1	ドイツ語一列②	畠山 寛	102
	50247	A	4-5	ロシア語一列②	渡邊 日日	105
	50260	A	11-12.24	構造化学	河野 淳也	524
	50261	A	22	中国語一列②	山影 統	112
	50262	A	27-29.35	構造化学	青木 優	523
	50250	A	21	英語中級	THURGILL JAMES CHRISTOPHER	103
	50251	A	21	英語中級	河合 祥一郎	E42
	50252	A	21	英語中級	松本 和子	10-201
	50253	A	21	英語中級	平沢 慎也	151
	50254	A	21	英語中級	WILSON BRENDAN	152
	50255	A	21	英語中級	佐原 彩子	153
	50256	A	21	英語中級	山本 史郎	157
2時限	50285	A	6.14.20.26.32	アルゴリズム入門	千葉 滋	E21
3時限	50365	A	14.17-19.27.28.34.37	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
	50410	A	15-16.26.32.33	図形科学A	福田 玄明, 舘 剛介	E31
	50411	A1	20-25	基礎実験Ⅰ(物理学)	物理学実験担当	(実習)
	50413	A1	20-25	基礎実験Ⅰ(化学)	化学実験担当	(実習)
	60059	A2	20-25	基礎実験Ⅱ(物理学)	物理学実験担当	(実習)
	60061	A2	20-25	基礎実験Ⅱ(化学)	化学実験担当	(実習)
	50414	A	31	ドイツ語一列②	久保 哲司	1212
		A1	6-8	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室
		A2	11-13	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室
	50369	A1	1-5	英語中級	RICINSCHI Dan	158
	50370	A1	1-5	英語中級	小川 浩之	156
	50371	A1	1-5	英語中級	高橋 英海	103
	50372	A1	1-5	英語中級	大井 赤亥	150
	50373	A1	1-5	英語中級	牛村 圭	108
	50374	A1	1-5	英語中級	WONG Michelle	10-308
	50375	A1	1-5	英語中級	平林 祐子	154
	60036	A2	9-10	英語中級	高橋 英海	103
	60037	A2	9-10	英語中級	大井 赤亥	150
	60038	A2	9-10	英語中級	WONG Michelle	10-308
	60039	A2	9-10	英語中級	RICINSCHI Dan	158
	60040	A2	9-10	英語中級	小川 浩之	156
	60041	A2	9-10	英語中級	平林 祐子	154
	60042	A2	9-10	英語中級	牛村 圭	108
		A1	9-13	英語一列②	教養英語担当教員	各教室
		A2	1-8	英語一列②	教養英語担当教員	各教室
4時限	51461	A	1.17-19	微分積分学②	辻 雄	532
	51462	A	2.4-5.8	微分積分学②	大場 清	723
	51463	A	3.11-13	微分積分学②	斉藤 義久	724
	51464	A	6-7.9-10	微分積分学②	篠原 久寿	741
	51465	A	14-16	微分積分学②	大坪 紀之	523
	50411	A1	20-25	基礎実験Ⅰ(物理学)	物理学実験担当	(実習)
	50413	A1	20-25	基礎実験Ⅰ(化学)	化学実験担当	(実習)
	60059	A2	20-25	基礎実験Ⅱ(物理学)	物理学実験担当	(実習)
	60061	A2	20-25	基礎実験Ⅱ(化学)	化学実験担当	(実習)
	50487	A	27	ドイツ語一列②	斎藤 涉	1311
	50488	A	28	ドイツ語一列②	日名 淳裕	1341
		A1	29-33	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室
		A2	38-39	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室
	50443	A1	34-35	英語中級	平林 祐子	154
	50444	A1	34-35	英語中級	高橋 英海	103
	50445	A1	34-35	英語中級	小川 浩之	156
	50446	A1	34-35	英語中級	WONG Michelle	10-308
	50447	A1	34-35	英語中級	牛村 圭	108
	50448	A1	34-35	英語中級	RICINSCHI Dan	158
	50449	A1	34-35	英語中級	Williams David	102
	50450	A1	34-35	英語中級	大井 赤亥	150
	60086	A2	36-37	英語中級	平林 祐子	154
	60087	A2	36-37	英語中級	WONG Michelle	10-308
	60088	A2	36-37	英語中級	Williams David	102
	60089	A2	36-37	英語中級	大井 赤亥	150
	60090	A2	36-37	英語中級	小川 浩之	156
	60091	A2	36-37	英語中級	牛村 圭	108
	60092	A2	36-37	英語中級	高橋 英海	103
	60093	A2	36-37	英語中級	RICINSCHI Dan	158
		A1	36-39	英語一列②	教養英語担当教員	各教室
		A2	29-35	英語一列②	教養英語担当教員	各教室
5時限	50501	A	1.17-19	線型代数学演習	寺田 至	721
	50503	A	2.4-5.8	線型代数学演習	清野 和彦	723
	50505	A	3.11-13	線型代数学演習	寺嶋 友秀	524
	50507	A	6-7.9-10	線型代数学演習	牛腸 徹	741
	50509	A	14-16	線型代数学演習	竹内 知哉	523

1年 理科一類 科類別時間割表

		水曜日					
	時間割コード	開講区分	対象クラス	科目名	教員名	教室	
1時限	50552	A	16	スペイン語一列②	深澤 晴奈	K113	
	50553	A	24	中国語一列②	波多野 真矢	107	
		A	5,9-10	英語二列W(ALESS)	各教員	各教室	
	50546	A	7.12.33.38	英語中級	松本 和子	10-201	
	50547	A	7.12.33.38	英語中級	武田 将明	150	
	50548	A	7.12.33.38	英語中級	オダイ ジョン	K303	
	50549	A	7.12.33.38	英語中級	小野瀬 宗一郎	152	
	50550	A	7.12.33.38	英語中級	ダルクリーシュ プレガム	115	
	50551	A	7.12.33.38	英語中級	ナルト デリック	103	
	2時限	50619	A	1-6	電磁気学A	若本 祐一	524
		50620	A	1-6,30-39	電磁気学B	陶山 明	741
50621		A	8	イタリア語一列②	宮坂 真紀	155	
50622		A	9,23,25,29	アルゴリズム入門	中山 英樹	E26	
50623		A	11	スペイン語一列②	深澤 晴奈	K113	
50624		A	26	中国語一列②	青木 正子	157	
50625		A	30-33	電磁気学A	多田 司	531	
50626		A	34-36	電磁気学A	佐野 雅己	532	
50627		A	37-39	電磁気学A	大井 万紀人	721	
		A1	15-16,22	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室	
		A2	17-18	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室	
50576		A1	14	英語中級	坪井 栄治郎	112	
50577		A1	14	英語中級	三吉 美加	158	
50578		A1	14	英語中級	平林 祐子	152	
50579		A1	14	英語中級	アルヴィ 宮本 なほ子	103	
50580		A1	14	英語中級	高橋 英海	150	
50581		A1	14	英語中級	岩佐 将志	156	
50582		A1	14	英語中級	平沢 慎也	151	
60145		A2	19-20	英語中級	平林 祐子	152	
60146		A2	19-20	英語中級	坪井 栄治郎	112	
60147		A2	19-20	英語中級	高橋 英海	150	
60148		A2	19-20	英語中級	アルヴィ 宮本 なほ子	103	
60149		A2	19-20	英語中級	岩佐 将志	156	
60150		A2	19-20	英語中級	三吉 美加	158	
60151		A2	19-20	英語中級	平沢 慎也	151	
		A1	17-20	英語一列②	教養英語担当教員	各教室	
		A2	14-16,22	英語一列②	教養英語担当教員	各教室	
3時限		50697	A1	4,6,29,31,33-35,38	基礎実験Ⅰ(物理学)	物理学実験担当	(実習)
		50699	A1	4,6,29,31,33-35,38	基礎実験Ⅰ(化学)	化学実験担当	(実習)
		60194	A2	4,6,29,31,33-35,38	基礎実験Ⅱ(物理学)	物理学実験担当	(実習)
		60195	A2	4,6,29,31,33-35,38	基礎実験Ⅱ(化学)	化学実験担当	(実習)
		50700	A	5,9-11,37	図形科学A	金井 崇 梶 信英	E31
		50655	A	7-8,12,30,39	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
		50701	A	15-18	構造化学	瀧田 靖	531
		50702	A	19-20,36	構造化学	中田 真秀	532
		50703	A	32	ドイツ語一列②	竹峰 義和	155
			A1	21,24	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室
			A2	27	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室
		50657	A1	23,25	英語中級	アルヴィ 宮本 なほ子	103
		50658	A1	23,25	英語中級	西川 杉子	150
		50659	A1	23,25	英語中級	平林 祐子	152
		50660	A1	23,25	英語中級	平沢 慎也	151
		50661	A1	23,25	英語中級	坪井 栄治郎	10-101
	50662	A1	23,25	英語中級	三吉 美加	158	
	50663	A1	23,25	英語中級	加治屋 健司	153	
	50664	A1	23,25	英語中級	岩佐 将志	156	
	60170	A2	26,28	英語中級	岩佐 将志	156	
	60171	A2	26,28	英語中級	平沢 慎也	151	
	60172	A2	26,28	英語中級	三吉 美加	158	
	60173	A2	26,28	英語中級	平林 祐子	152	
	60174	A2	26,28	英語中級	アルヴィ 宮本 なほ子	103	
	60175	A2	26,28	英語中級	坪井 栄治郎	10-101	
	60176	A2	26,28	英語中級	西川 杉子	150	
	60177	A2	26,28	英語中級	加治屋 健司	153	
		A1	26-28	英語一列②	教養英語担当教員	各教室	
		A2	21,23-25	英語一列②	教養英語担当教員	各教室	
	4時限	50732	A	1-3,5,7-8,10	アルゴリズム入門	田中 哲朗	E21
		50697	A1	4,6,29,31,33-35,38	基礎実験Ⅰ(物理学)	物理学実験担当	(実習)
50699		A1	4,6,29,31,33-35,38	基礎実験Ⅰ(化学)	化学実験担当	(実習)	
60194		A2	4,6,29,31,33-35,38	基礎実験Ⅱ(物理学)	物理学実験担当	(実習)	
60195		A2	4,6,29,31,33-35,38	基礎実験Ⅱ(化学)	化学実験担当	(実習)	
50725		A	9,13,16	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)	
50733		A	12,24,27-28,30	図形科学A	梶 信英 金井 崇	E31	
50734		A	14,21,25	構造化学	齊藤 圭亮	531	
50735		A	17	スペイン語一列②	渡辺 暁	105	
50736		A	18	スペイン語一列②	深澤 晴奈	K113	
50737		A	23,26,37,39	構造化学	山口 和也	532	
5時限							

		木曜日					
	時間割コード	開講区分	対象クラス	科目名	教員名	教室	
1時限							
	2時限	50822	A	1-3,31-33	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
		50830	A	4	ロシア語一列②	安岡 治子	155
		50831	A	5	ロシア語一列②	濱田 華練	106
		50838	A	7-9,28	電磁気学A	下村 裕	523
		50839	A	7,9,19,21-24,26-29	電磁気学B	菊川 芳夫	521
		50840	A	10	スペイン語一列②	愛場 百合子	157
		50841	A	12,16-17,37	アルゴリズム入門	地引 昌弘	E31
		50842	A	13,18,34,38	図形科学A	早川 大地 榎 ゆか	E21
		50851	A	15	スペイン語一列②	倉田 量介	108
		50852	A	19,21-22	電磁気学A	大川 祐司	524
		50853	A	23-24,26-27	電磁気学A	前田 京剛	741
		50854	A	25	中国語一列②	松本 秀士	112
		50855	A	29	電磁気学A	富谷 光良	721
		50856	A	35	フランス語一列②	三浦 篤	113
		50857	A	36	フランス語一列②	中野 知律	101
			A	14,20	英語二列W(ALESS)	各教員	各教室
50832		A	6,11,30,39	英語中級	グレンノ イザベル	10-303	
50833	A	6,11,30,39	英語中級	戸谷 陽子	10-203		
50834	A	6,11,30,39	英語中級	平賀 優子	152		
50835	A	6,11,30,39	英語中級	寺澤 盾	151		
50836	A	6,11,30,39	英語中級	アンデル ジャクリン	103		
50837	A	6,11,30,39	英語中級	土屋 和代	154		
3時限	50910	A	1-3,5,8,13	構造化学	横川 大輔	531	
	50885	A	4,6	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)	
	50912	A1	10-11,15-19	基礎実験Ⅰ(物理学)	物理学実験担当	(実習)	
	50913	A1	10-11,15-19	基礎実験Ⅰ(化学)	化学実験担当	(実習)	
	60206	A2	10-11,15-19	基礎実験Ⅱ(物理学)	物理学実験担当	(実習)	
	60208	A2	10-11,15-19	基礎実験Ⅱ(化学)	化学実験担当	(実習)	
	50914	A	12	スペイン語一列②	若林 大我	106	
	50915	A	14	スペイン語一列②	川上 英	104	
	50916	A	20-23	線型代数学②	梶原 健	724	
	50917	A	24-27	線型代数学②	山崎 満	723	
	50918	A	28-31	線型代数学②	田中 公	523	
50919	A	32-35	線型代数学②	下川 航也	741		
50920	A	36-39	線型代数学②	飯田 正敏	721		
4時限	50945	A	2	フランス語一列②	ビゼ フランソワ	10-102	
	50946	A	3	中国語一列②	毛 興華	158	
	50958	A	7	イタリア語一列②	山崎 彩	1212	
	50959	A	9	スペイン語一列②	若林 大我	106	
	50912	A1	10-11,15-19	基礎実験Ⅰ(物理学)	物理学実験担当	(実習)	
	50913	A1	10-11,15-19	基礎実験Ⅰ(化学)	化学実験担当	(実習)	
	60206	A2	10-11,15-19	基礎実験Ⅱ(物理学)	物理学実験担当	(実習)	
	60208	A2	10-11,15-19	基礎実験Ⅱ(化学)	化学実験担当	(実習)	
	50960	A	13	スペイン語一列②	中島 聡子	113	
	50962	A	20-23	線型代数学演習	梶原 健	724	
50964	A	24-27	線型代数学演習	山崎 満	723		
50966	A	28-31	線型代数学演習	田中 公	523		
50968	A	32-35	線型代数学演習	清野 和彦	741		
50970	A	36-39	線型代数学演習	足助 太郎	721		
5時限							

1年 理科一類 科類別時間割表

金曜日						
時間割 コード	開講 区分	対象クラス	科目名	教員名	教室	
1 時 限	51046	A	13.22.30.36.39	アルゴリズム入門	松島 慎	E21
	51047	A	19	中国語一列②	小方 伴子	158
	51039	A	29	英語中級	広瀬 友紀	E38
	51040	A	29	英語中級	ポター サイモン	107
	51041	A	29	英語中級	佐藤 洋一	10-303
	51042	A	29	英語中級	川崎 修一	151
	51043	A	29	英語中級	清水 徹郎	K303
3 時 限	51132	A	1,17-19	線型代数学②	戸瀬 信之	721
	51133	A	2,4-5,8	線型代数学②	大田 佳宏	723
	51134	A	3,11-13	線型代数学②	白石 潤一	724
	51135	A	6-7,9-10	線型代数学②	関口 英子	741
	51136	A	14-16	線型代数学②	北山 貴裕	523
	51137	A	20	中国語一列②	田原 史起	154
	51138	A	21.31.33.38	アルゴリズム入門	森畑 明昌	E26
	51139	A	22.25.35	図形科学A	山下 眞理 中 一郎	E31
	51140	A	23	中国語一列②	李 彦銘	112
	51141	A1	26-28.30.32.36-37.39	基礎実験 I (物理学)	物理学実験担当	(実習)
	51532	A1	26-28.30.32.36-37.39	基礎実験 I (化学)	化学実験担当	(実習)
	60224	A2	26-28.30.32.36-37.39	基礎実験 II (物理学)	物理学実験担当	(実習)
	60225	A2	26-28.30.32.36-37.39	基礎実験 II (化学)	化学実験担当	(実習)
	51143	A	34	フランス語一列②	鈴木 順子	113
51122	A	24	英語中級	遠藤 泰生	102	
51123	A	24	英語中級	ミルズ アンソニー	10-303	
51124	A	24	英語中級	大橋 理枝	103	
51125	A	24	英語中級	寺澤 盾	151	
51126	A	24	英語中級	勅使河原 三保子	153	
51127	A	24	英語中級	清水 徹郎	K303	
51128	A	24	英語中級	ポター サイモン	107	
4 時 限	51183	A	1-4,6-8,31	図形科学A	山下 眞理 中 一郎	E31
	51184	A	10-11,18	電磁気学A	年吉 洋	523
	51185	A	10-18,20,25	電磁気学B	齋藤 晴雄	K402
	51186	A	12-13,20	電磁気学A	秋山 英文	533
	51187	A	14-15,25	電磁気学A	町田 友樹	721
	51188	A	16-17	電磁気学A	國場 敦夫	723
	51189	A	19,34-35	アルゴリズム入門	羽山 博	E26
	51190	A	21	中国語一列②	石井 剛	101
	51180	A	22-24,29,38	身体運動・健康科学実習 II	実技担当	(実習)
	51141	A1	26-28.30.32.36-37.39	基礎実験 I (物理学)	物理学実験担当	(実習)
	51532	A1	26-28.30.32.36-37.39	基礎実験 I (化学)	化学実験担当	(実習)
	60224	A2	26-28.30.32.36-37.39	基礎実験 II (物理学)	物理学実験担当	(実習)
	60225	A2	26-28.30.32.36-37.39	基礎実験 II (化学)	化学実験担当	(実習)
	51191	A	33	ドイツ語一列②	石原 あえか	10-308
5 時 限						

1年 理科二類・三類 科類別時間割表

		月曜日					
	時間割コード	開講区分	対象クラス	科目名	教員名	教室	
1時限	50017	A	1-10	アルゴリズム入門	山口 泰	E21	
	2時限	50077	A	1-6,13	構造化学	村田 昌之	531
		50078	A	10	スペイン語一列②	栗林 ゆき絵	151
		51444	A	14-17	微分積分学②	山本 昌宏	724
		51445	A	18-20	微分積分学②	林 修平	741
51446	A	21-24	微分積分学②	山浦 義彦	723		
3時限	50124	A1	1-4,6-8 奇数	基礎物理学実験	物理学実験担当 (実習)		
	50125	A1	1-4,6-8 偶数	基礎化学実験	化学実験担当 (実習)		
	60006	A2	1-4,6-8 偶数	基礎物理学実験	物理学実験担当 (実習)		
	60007	A2	1-4,6-8 奇数	基礎化学実験	化学実験担当 (実習)		
	50126	A	10-12	構造化学	豊田 太郎	524	
	50128	A	14-17	線型代数学演習	竹内 知哉	724	
	50130	A	18-20	線型代数学演習	鮑 園園	741	
	50132	A	21-24	線型代数学演習	中村 勇哉	723	
4時限	50124	A1	1-4,6-8 奇数	基礎物理学実験	物理学実験担当 (実習)		
	50125	A1	1-4,6-8 偶数	基礎化学実験	化学実験担当 (実習)		
	60006	A2	1-4,6-8 偶数	基礎物理学実験	物理学実験担当 (実習)		
	60007	A2	1-4,6-8 奇数	基礎化学実験	化学実験担当 (実習)		
	50189	A	9-10,14,16	生命科学Ⅱ	渡邊 雄一郎	1101	
	50190	A	12	スペイン語一列②	和田 佳浦	121	
	50191	A	17-18,21-22	生命科学Ⅱ	豊島 陽子	1102	
	50174	A	5,23-24	英語中級	井上 博之	10-303	
	50175	A	5,23-24	英語中級	佐藤 光	153	
	50176	A	5,23-24	英語中級	石井 クツ 昌子	113	
	50177	A	5,23-24	英語中級	ナルト デリック	103	
	50178	A	5,23-24	英語中級	高橋 和子	10-201	
	50179	A	5,23-24	英語中級	グレン イザベル	10-308	
	50180	A	5,23-24	英語中級	加藤 恒昭	155	
	5時限	50206	A	11-17	アルゴリズム入門	伊知地 宏	E21

		火曜日				
	時間割コード	開講区分	対象クラス	科目名	教員名	教室
1時限	50246	A	1	ドイツ語一列②	畠山 寛	102
	50247	A	4	ロシア語一列②	渡邊 日日	105
	50263	A	7-8,15	構造化学	十代 健	531
	50264	A	9	スペイン語一列②	藤田 護	108
		A	17-18	英語二列W(ALESS)	各教員	各教室
	50250	A	16	英語中級	THURGILL JAMES CHRISTOPHER	103
	50251	A	16	英語中級	河合 祥一郎	E42
	50252	A	16	英語中級	松本 和子	10-201
	50253	A	16	英語中級	平沢 慎也	151
	50254	A	16	英語中級	WILSON BRENDAN	152
	50255	A	16	英語中級	佐原 彩子	153
50256	A	16	英語中級	山本 史郎	157	
2時限	50286	A	1-14	図形科学A	吉岡 陽介, 福田 玄明	E31
3時限	50415	A	9,14,19-20	構造化学	横川 大輔	531
	50416	A1	11,13,15,17 奇数	基礎物理学実験	物理学実験担当 (実習)	
	50417	A1	11,13,15,17 偶数	基礎化学実験	化学実験担当 (実習)	
	60062	A2	11,13,15,17 偶数	基礎物理学実験	物理学実験担当 (実習)	
	60063	A2	11,13,15,17 奇数	基礎化学実験	化学実験担当 (実習)	
	50418	A	21-24	構造化学	小安 喜一郎	532
		A1	5-6	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室
	50369	A2	8	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室
	50370	A1	1-4	英語中級	RICINSCHI Dan	158
	50371	A1	1-4	英語中級	小川 浩之	156
	50372	A1	1-4	英語中級	高橋 英海	103
	50373	A1	1-4	英語中級	大井 赤亥	150
	50374	A1	1-4	英語中級	牛村 圭	108
	50375	A1	1-4	英語中級	WONG Michelle	10-308
	60036	A2	7	英語中級	平林 祐子	154
	60037	A2	7	英語中級	高橋 英海	103
	60038	A2	7	英語中級	大井 赤亥	150
	60039	A2	7	英語中級	WONG Michelle	10-308
	60040	A2	7	英語中級	RICINSCHI Dan	158
60041	A2	7	英語中級	小川 浩之	156	
60042	A2	7	英語中級	平林 祐子	154	
	A1	7-8	英語一列②	牛村 圭	108	
	A2	1-6	英語一列②	教養英語担当教員	各教員	
4時限	50437	A	1,3,7,8,12,14,16,18	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
	50489	A	4	ロシア語一列②	西中村 浩	1322
	50490	A	5	韓国朝鮮語一列②	三ツ井 崇	1321
	50491	A	6	イタリア語一列②	宮坂 真紀	155
	50416	A1	11,13,15,17 奇数	基礎物理学実験	基礎物理学実験 (実習)	
	50417	A1	11,13,15,17 偶数	基礎化学実験	化学実験担当 (実習)	
	60062	A2	11,13,15,17 偶数	基礎物理学実験	基礎物理学実験 (実習)	
	60063	A2	11,13,15,17 奇数	基礎化学実験	化学実験担当 (実習)	
	50418	A1	21	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室
	60086	A2	23-24	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室
	60087	A2	20,22	英語中級	平林 祐子	154
	60088	A2	20,22	英語中級	WONG Michelle	10-308
	60089	A2	20,22	英語中級	Williams David	102
	60090	A2	20,22	英語中級	大井 赤亥	150
	60091	A2	20,22	英語中級	小川 浩之	156
	60092	A2	20,22	英語中級	牛村 圭	108
	60093	A2	20,22	英語中級	高橋 英海	103
	A1	20,22-24	英語一列②	RICINSCHI Dan	158	
	A2	21	英語一列②	教養英語担当教員	各教員	
5時限	50510	A	8	スペイン語一列②	深澤 晴奈	K114
	50511	A	12,14,19	英語中級	Williams David	102
	50512	A	12,14,19	英語中級	牛村 圭	108
	50513	A	12,14,19	英語中級	藤尾 美佐	10-201
	50514	A	12,14,19	英語中級	新田 万里江	150
	50515	A	12,14,19	英語中級	RICINSCHI Dan	158

1年 理科二類・三類 科類別時間割表

水曜日							
時間割コード	開講区分	対象クラス	科目名	教員名	教室		
1時限	50554	A	1-7	線型代数学②	高木 俊輔	721	
	50555	A	8-10	線型代数学②	村上 順	523	
	50556	A	11-13	線型代数学②	吉野 太郎	524	
	50557	A	14-17	線型代数学②	植野 義明	724	
	50558	A	18-20	線型代数学②	中山 能力	741	
	50559	A	21-24	線型代数学②	坂井 秀隆	723	
2時限	50620	A	1-4.19-20,22,24	電磁気学B	陶山 明	741	
	50628	A	1-3,22,24	電磁気学A	森松 治	533	
	50629	A	4.19-20	電磁気学A	下村 裕	523	
	50630	A	7	スペイン語一列②	久住 真由	113	
	50631	A	15	中国語一列②	波多野 真矢	107	
	50632	A	16	中国語一列②	相原 まり子	166	
	50633	A	17	ドイツ語一列②	田中 純	153	
		A1	11	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室	
		A2	12,14	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室	
	50576	A1	9-10	英語中級	坪井 栄治郎	112	
	50577	A1	9-10	英語中級	三吉 美加	158	
	50578	A1	9-10	英語中級	平林 祐子	152	
	50579	A1	9-10	英語中級	アルヴィ 宮本 奈穂子	103	
	50580	A1	9-10	英語中級	高橋 英海	150	
	50581	A1	9-10	英語中級	岩佐 将志	156	
	50582	A1	9-10	英語中級	平沢 慎也	151	
	60145	A2	13	英語中級	平林 祐子	152	
	60146	A2	13	英語中級	坪井 栄治郎	112	
	60147	A2	13	英語中級	高橋 英海	150	
	60148	A2	13	英語中級	アルヴィ 宮本 奈穂子	103	
	60149	A2	13	英語中級	岩佐 将志	156	
	60150	A2	13	英語中級	三吉 美加	158	
	60151	A2	13	英語中級	平沢 慎也	151	
		A1	12-14	英語一列②	教養英語担当教員	各教員	
		A2	9-11	英語一列②	教養英語担当教員	各教員	
	3時限	51472	A	1-7	微分積分学②	米田 剛	721
		51473	A	8-10	微分積分学②	小木曾 啓示	523
		51474	A	11-13	微分積分学②	岡崎 龍太郎	524
		50704	A1	14.21.23-24 奇数	基礎物理学実験	基礎物理学実験 (実習)	
		50705	A1	14.21.23-24 偶数	基礎化学実験	化学実験担当 (実習)	
60196		A2	14.21.23-24 偶数	基礎物理学実験	基礎物理学実験 (実習)		
60197		A2	14.21.23-24 奇数	基礎化学実験	化学実験担当 (実習)		
		A1	16	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室	
		A2	19	英語二列S(FLOW)	各教員	各教室	
50657		A1	15.17	英語中級	アルヴィ 宮本 奈穂子	103	
50658		A1	15.17	英語中級	西川 杉子	150	
50659		A1	15.17	英語中級	平林 祐子	152	
50660		A1	15.17	英語中級	平沢 慎也	151	
50661		A1	15.17	英語中級	坪井 栄治郎	10-101	
50662		A1	15.17	英語中級	三吉 美加	158	
50663		A1	15.17	英語中級	加治屋 健司	153	
50664		A1	15.17	英語中級	岩佐 将志	156	
60170		A2	18	英語中級	岩佐 将志	156	
60171		A2	18	英語中級	平沢 慎也	151	
60172		A2	18	英語中級	三吉 美加	158	
60173		A2	18	英語中級	平林 祐子	152	
60174		A2	18	英語中級	アルヴィ 宮本 奈穂子	103	
60175		A2	18	英語中級	坪井 栄治郎	10-101	
60176		A2	18	英語中級	西川 杉子	150	
60177		A2	18	英語中級	加治屋 健司	153	
		A1	18-19	英語一列②	教養英語担当教員	各教員	
		A2	15-17	英語一列②	教養英語担当教員	各教員	
4時限	50739	A	1-7	線型代数学演習	牛腸 徹	721	
	50741	A	8-10	線型代数学演習	松井 千尋	523	
	50743	A	11-13	線型代数学演習	中村 勇哉	524	
	50704	A1	14.21.23-24 奇数	基礎物理学実験	基礎物理学実験 (実習)		
	50705	A1	14.21.23-24 偶数	基礎化学実験	化学実験担当 (実習)		
	60196	A2	14.21.23-24 偶数	基礎物理学実験	基礎物理学実験 (実習)		
	60197	A2	14.21.23-24 奇数	基礎化学実験	化学実験担当 (実習)		
	50725	A	17,20,22	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当 (実習)		

木曜日							
時間割コード	開講区分	対象クラス	科目名	教員名	教室		
1時限	50799	A	15-24	図形科学A	榎山 ゆか, 早川 大地	E21	
	2時限	50822	A	4-6,9-11,15,24	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	(実習)
		50839	A	7-8,12-14,16-18	電磁気学B	菊川 芳夫	521
		50855	A	7,13	電磁気学A	富谷 光良	721
		50858	A	8,14,18	電磁気学A	和達 大樹	533
		50859	A	12,16-17	電磁気学A	関野 恭弘	531
		50860	A	22	フランス語一列②	中田 健太郎	164
			A	20	英語二列W(ALESS)	各教員	各教室
		50832	A	21	英語中級	グレン イザベル	10-303
		50833	A	21	英語中級	戸谷 陽子	10-203
50834		A	21	英語中級	平賀 優子	152	
50835	A	21	英語中級	寺澤 盾	151		
50836	A	21	英語中級	アングル ジャクリン	103		
50837	A	21	英語中級	土屋 和代	154		
3時限	50921	A1	5.9-10,20,22 奇数	基礎物理学実験	基礎物理学実験 (実習)		
	50922	A1	5.9-10,20,22 偶数	基礎化学実験	化学実験担当 (実習)		
	60209	A2	5.9-10,20,22 偶数	基礎物理学実験	基礎物理学実験 (実習)		
	60210	A2	5.9-10,20,22 奇数	基礎化学実験	化学実験担当 (実習)		
	50923	A	11	スペイン語一列②	中島 聡子	113	
	50885	A	13,19,21,23	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当 (実習)		
	50924	A	14	中国語一列②	大橋 義武	154	
	50925	A	16-18	構造化学	瀬川 浩司	532	
	4時限	50945	A	2	フランス語一列②	ビゼ フランソワ	10-102
		50946	A	3	中国語一列②	毛 興華	158
50921		A1	5.9-10,20,22 奇数	基礎物理学実験	基礎物理学実験 (実習)		
50922		A1	5.9-10,20,22 偶数	基礎化学実験	化学実験担当 (実習)		
60209		A2	5.9-10,20,22 偶数	基礎物理学実験	基礎物理学実験 (実習)		
60210		A2	5.9-10,20,22 奇数	基礎化学実験	化学実験担当 (実習)		
50971		A	18	ドイツ語一列②	工藤 達也	112	
50972		A	19	ドイツ語一列②	識名 章喜	102	
50973		A	23	フランス語一列②	篠原 学	101	
5時限							

1年 理科二類・三類 科類別時間割表

金曜日						
	時間割 コード	開講 区分	対象クラス	科目名	教員名	教室
1 時 限	51048	A	8,11-12,15	生命科学Ⅱ	道上 達男	523
	51049	A	19-20,23-24	生命科学Ⅱ	佐藤 健	524
	51039	A	6	英語中級	広瀬 友紀	E38
	51040	A	6	英語中級	ポター サイモン	107
	51041	A	6	英語中級	佐藤 洋一	10-303
	51042	A	6	英語中級	川崎 修一	151
	51043	A	6	英語中級	清水 徹郎	K303
2 時 限	51061	A	13	中国語一列②	谷垣 真理子	157
	51062	A	18-24	アルゴリズム入門	対馬 かなえ	E21
3 時 限	51144	A	1-7,13	生命科学Ⅱ	太田 邦史	524
	51150	A1	12,16,18-19 奇数	基礎物理学実験	物理学実験担当	(実習)
	51151	A1	12,16,18-19 偶数	基礎化学実験	化学実験担当	(実習)
	60226	A2	12,16,18-19 偶数	基礎物理学実験	物理学実験担当	(実習)
	60227	A2	12,16,18-19 奇数	基礎化学実験	化学実験担当	(実習)
	51140	A	14-15	中国語一列②	李 彦銘	112
	51152	A	21	フランス語一列②	飛嶋 隆信	162
	51153	A	24	フランス語一列②	斎藤 かぐみ	158
		A	9-10	英語二列W(ALESS)	各教員	各教室
	51122	A	8,11	英語中級	遠藤 泰生	102
	51123	A	8,11	英語中級	ミルズ アンソニー	10-303
	51124	A	8,11	英語中級	大橋 理枝	103
	51125	A	8,11	英語中級	寺澤 盾	151
	51126	A	8,11	英語中級	勅使河原 三保子	153
	51127	A	8,11	英語中級	清水 徹郎	K303
	51128	A	8,11	英語中級	ポター サイモン	107
4 時 限	51185	A	5-6,9-11,15,21,23	電磁気学B	齋藤 晴雄	K402
	51188	A	5,23	電磁気学A	國場 敦夫	723
	51199	A	6,9-10	電磁気学A	藤山 茂樹	724
	51200	A	11,15,21	電磁気学A	大谷 宗久	524
	51150	A1	12,16,18-19 奇数	基礎物理学実験	物理学実験担当	(実習)
	51151	A1	12,16,18-19 偶数	基礎化学実験	化学実験担当	(実習)
	60226	A2	12,16,18-19 偶数	基礎物理学実験	物理学実験担当	(実習)
	60227	A2	12,16,18-19 奇数	基礎化学実験	化学実験担当	(実習)
	51201	A	20	ドイツ語一列②	一條 麻美子	102
	A	1-4,7,22	英語二列W(ALESS)	各教員	各教室	
5 時 限						

総合科目等時間割表

L: 言語・コミュニケーション A: 思想・芸術 B: 国際・地域 C: 社会・制度 D: 人間・環境 E: 物質・生命 F: 数理・情報

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
月1	50021	A	L	ドイツ語初級（演習）	大石 紀一郎 ドイツ語	10-303
月1	50025	A	L	フランス語初級（インテンシヴ）	アガエス ジュリアン フランス語・イタリア語	10-203
月1	50024	A	L	フランス語初級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル フランス語・イタリア語	10-202
月1	50019	A	L	中国語初級（会話）	林 立梅 中国語	157
月1	50026	A	L	中国語初級（インテンシヴ）	白 佐立 中国語	10-103
月1	50020	A	L	スペイン語初級（第三外国語）	栗林 ゆき絵 スペイン語	151
月1	50027	A 1	L	日本語上級	宇佐美 洋 日本語	10-201
月1	60001	A 2	L	日本語上級	宇佐美 洋 日本語	10-201
月1	50028	A	L	古典語初級（ラテン語）Ⅱ	井上 秀太郎 古典語・地中海諸言語	114
月1	50029	A	A	記号論理学Ⅱ	岡本 賢吾 哲学・科学史	524
月1	50030	A	A	思想・芸術Ⅲ（PEAK）	HALLMAN FRANCIS CAND PEAK前期	515
月1	50336	A	B	現代国際社会論	石井 梨紗子 国際関係	1106
月1	51266	A	D	人間行動基礎論（理科生）	戸張 靖子 心理・教育学	1323
月1	60235	A 2	D	食糧と環境	根本 圭介 農学部	K211
月1	50032	A	E	統計物理学	福島 孝治 物理	521
月1	51313	A	E	物質・生命工学基礎Ⅱ	長汐 晃輔 工学部	158
月1	50033	A 1	E	現代生命科学Ⅱ（文科生、理一生）	池内 昌彦 生物	1212
月1	50034	A	E	宇宙科学Ⅰ（理科生）	鈴木 建 宇宙地球	1101
月1	51303	A	F	情報システム基礎Ⅱ	三田 吉郎 工学部	512
月1	51331	A		学術フロンティア講義 西洋音楽の作曲技法概説	長木 誠司 超域文化科学専攻	学際交流 ホール
月2	50084	A	L	中国語中級（演習）	鍾 非 中国語	158
月2	50087	A	L	イタリア語初級（第三外国語）	野里 紳一郎 フランス語・イタリア語	102
月2	50088	A	L	古典語中級（ラテン語）Ⅱ	井上 秀太郎 古典語・地中海諸言語	8-416
月2	50089	A	C	教育臨床心理学	石垣 琢磨 心理・教育学	1101
月2	50090	A	D	適応行動論	齋藤 慈子 心理・教育学	1323
月2	50091	A	D	健康スポーツ医学	福井 尚志 スポーツ・身体運動	1331
月3	50155	A	L	フランス語上級（読解）	今橋 映子 フランス語・イタリア語	8-319
月3	50156	A	L	中国語初級（作文）	賈 黎黎 中国語	121
月3	50157	A	L	中国語初級（第三外国語）	河野 直恵 中国語	166

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
月3	50158	A	L	中国語上級（会話）	韓 燕麗 中国語	102
月3	50159	A	L	スペイン語上級（会話）	ロサレス パトリシア スペイン語	112
月3	50160	A	D	スポーツ・身体運動実習	実技担当 スポーツ・身体運動	（実習）
月3	51292	A	D	科学技術基礎論（PEAK）	岡本 拓司 PEAK前期	K303
月4	50195	A		自然科学ゼミナール（身体運動科学）	石井 直方 スポーツ・身体運動	K402
月4	50199	A	L	フランス語上級（会話）	アガエス ジュリアン フランス語・イタリア語	10-203
月4	50201	A	L	ロシア語中級（演習）	奈倉 有里 ロシア語	151
月4	50203	A	L	イタリア語中級（読解）	山崎 彩 フランス語・イタリア語	102
月4	51321	A	B	歴史と文化	守川 知子 文学部	524
月4	51432	A	C	経済・統計（PEAK）	Griffen Andrew Shields PEAK前期	K401
月4	50204	A	D	社会生態学	近藤 章夫 人文地理学	K011
月5	51282	A		社会科学ゼミナール（法・政治）	新田 一郎 法学部	117
月5	51290	A		自然科学ゼミナール（数理学）	加藤 晃史 数理学研究科	118
月5	50211	A	L	英語中級	THURGILL JAMES CHRISTOPHER 英語	154
月5	50212	A	L	英語中級	SHOKOUHI Marjan 英語	149
月5	50210	A	L	英語中級	ナルト デリック 英語	103
月5	50213	A	L	ドイツ語中級（作文）	クリスティアン クリンク ドイツ語	K114
月5	50214	A	L	ドイツ語中級（インテンシヴ）	SCHWARZ Thomas ドイツ語	115
月5	50215	A	L	ドイツ語上級（演習）	オブヒュルス 鹿島 ドイツ語	112
月5	50216	A	L	フランス語初級（演習）	デルヴロワ ミカエル フランス語・イタリア語	102
月5	50218	A	L	フランス語初級（インテンシヴ）	アガエス ジュリアン フランス語・イタリア語	10-203
月5	50217	A	L	フランス語初級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル フランス語・イタリア語	10-202
月5	50219	A	L	フランス語初級（第三外国語）	中田 健太郎 フランス語・イタリア語	157
月5	50225	A	L	ロシア語初級（インテンシヴ）	ゴロウイナ クセーニヤ ロシア語	156
月5	50220	A	L	ロシア語初級（インテンシヴ）	奈倉 有里 ロシア語	151
月5	50221	A	L	スペイン語初級（インテンシヴ）	イサベル カルロス スペイン語	101
月5	50222	A	L	スペイン語中級（演習）	ガルシア ルイス カステイジョ カルロス スペイン語	150
月5	50223	A	L	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）	崔 泰源 韓国朝鮮語	153
月5	50226	A	L	台湾語初級（第三外国語）	王 嵐 中国語	106
月5	50227	A 1	L	日本語上級	大久保 雅子 日本語	10-205
月5	60012	A 2	L	日本語上級	大久保 雅子 日本語	10-205

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
月5	50228	A	A	比較文学	佐藤 光 超域文化科学専攻比較文学比較文化コース	K214
月5	50229	A	A	比較芸術	三浦 篤 超域文化科学専攻比較文学比較文化コース	525
月5	50230	A	B	東洋古典学	狩野 雄 国文・漢文学	1222
月5	50231	A	B	世界史論	小田 悠生 歴史学	514
月5	50232	A	C	現代社会論	丹羽 美之 社会・社会思想史	743
月5	50233	A	C	現代教育論	丹野 義彦 心理・教育学	1106
月5	51434	A	C	社会・制度 I (PEAK)	NOBLE GREGORY WILLIAM PEAK前期	K401
月5	50234	A	D	地域生態学	永田 淳嗣 人文地理学	515
月5	50235	A	D	認知脳科学	石金 浩史 心理・教育学	1313
月5	50237	A	D	科学技術基礎論 II	佐野 和美 哲学・科学史	1214
月5	51316	A	D	現代工学基礎 I	泉 聡志 工学部	K011
月5	51314	A	D	環境・エネルギー工学基礎 II	多部田 茂 工学部	K301
月5	51299	A	D	環境・エネルギー工学基礎 II	松島 潤 工学部	513
月5	50238	A	E	解析力学	加藤 光裕 物理	532
月5	50239	A	E	進化学	青木 誠志郎 生物	1322
月5	50240	A 1	E	現代生命科学 I (文年生、理一生)	石丸 喜朗 生物	1311
月5	50241	A	E	惑星地球科学 II (文年生)	磯崎 行雄 宇宙地球	531
月5	51327	A	E	応用動物科学 II	堀本 泰介 農学部	522
月5	50242	A	E	生物物理学	澤井 哲 物理	1212
月5	50243	A	F	基礎統計	佐藤 俊樹 経済・統計	1108
月5	50244	A	F	統計分析	倉田 博史 経済・統計	511
月5	51310	A	F	情報・システム工学概論	峯松 信明 工学部	512
月5	51357	A		学術フロンティア講義	杉山 弘和 工学部	164
月5	51424	A		全学自由研究ゼミナール ココロのトリセツー自己覚知とレジリエンスー	石垣 琢磨 心理・教育学	KALS (17号館2階)
月5	51460	A		全学自由研究ゼミナール 科学としての政策立案入門	瀧本 哲史 学生の希望による全学自由研究ゼミナール	158
月5	51406	A		全学自由研究ゼミナール 保型関数入門	松本 久義 数理学研究科	シラバス 参照
月5	51431	A		全学自由研究ゼミナール 海と大気と生命の科学ー大気海洋研究所の先端研究から	永田 俊 大気海洋研究所	155
月5	51385	A		全学自由研究ゼミナール 立場の心理学：Crossing Your Culture-日本社会や他 国のマジョリティの特権（権力含む）について考える	伊藤 圭子 グローバルキャンパス推進本部	K402
月6	51415	A		全学自由研究ゼミナール 実践的プログラミング	金子 知適 情報・図形	E38
火1	50276	A	L	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	張 銀英 韓国朝鮮語	8-113

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
火1	50277	A	L	韓国朝鮮語中級（インテンシヴ）	ジ ミンギョン 韓国朝鮮語	149
火1	50278	A	L	イタリア語初級（演習）	アンドレア チヴィーレ フランス語・イタリア語	K302
火1	50279	A 1	L	日本語上級	宇佐美 洋 日本語	10-205
火1	60013	A 2	L	日本語上級	宇佐美 洋 日本語	10-205
火1	50280	A	L	古典語初級（サンスクリット語）Ⅱ	高橋 晃一 アジア・日本研究コース	104
火1	51443	A	A	経済思想史	寺川 隆一郎 経済・統計	1225
火1	50282	A	D	身体運動メカニクス	吉岡 伸輔 スポーツ・身体運動	1311
火1	51492	A	D	地球環境（PEAK）	成田 大樹 PEAK前期	154
火2	50291	A		人文科学ゼミナール（歴史学）	岩本 通弥 歴史学	120
火2	50294	A		人文科学ゼミナール（テキスト分析）	小林 宜子 英語	117
火2	50292	A		人文科学ゼミナール（テキスト分析）	深澤 晴奈 スペイン語	115
火2	50293	A		人文科学ゼミナール（テキスト分析）	品田 悦一 国文・漢文学	116
火2	51283	A		社会科学ゼミナール（法・政治）	宍戸 常寿 法学部	515
火2	50290	A		社会科学ゼミナール（社会・社会思想史）	橋本 摂子 社会・社会思想史	118
火2	50289	A		社会科学ゼミナール（国際関係）	古城 佳子 国際関係	114
火2	50295	A		自然科学ゼミナール（化学）	平岡 秀一 化学	KALS (17号館2階)
火2	51289	A		自然科学ゼミナール（数理学）	小木曾 啓示 数理学研究科	516
火2	51436	A		自然科学ゼミナール（PEAK）	前田 章 PEAK前期	518
火2	50298	A	L	英語中級	アンダル ジャクリーン 英語	103
火2	50297	A	L	英語中級	寺澤 盾 英語	151
火2	50299	A	L	ドイツ語初級（演習）	日名 淳裕 ドイツ語	1211
火2	50300	A	L	ドイツ語初級（会話）	SCHWARZ Thomas ドイツ語	101
火2	50319	A	L	ドイツ語初級（インテンシヴ）	I・カウフマン ドイツ語	10-102
火2	50318	A	L	ドイツ語初級（インテンシヴ）	クリスティアン クリンク ドイツ語	K114
火2	50301	A	L	ドイツ語中級（演習）	久保 哲司 ドイツ語	152
火2	50302	A	L	ドイツ語上級（読解）	香田 芳樹 ドイツ語	153
火2	50320	A	L	フランス語初級（演習）	寺田 寅彦 フランス語・イタリア語	105
火2	50321	A	L	フランス語初級（演習）	DE VOS PATRICK HENRI フランス語・イタリア語	10-202
火2	50303	A	L	フランス語初級（会話）	ラタンジオ リリアンヌ フランス語・イタリア語	10-103
火2	50304	A	L	フランス語中級（演習）	クーショ、エルヴェ フランス語・イタリア語	106
火2	50305	A	L	フランス語中級（読解）	中島 ひかる フランス語・イタリア語	102

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
火2	50306	A	L	中国語初級（演習）	李 洵 中国語	107
火2	50327	A	L	中国語初級（インテンシヴ）	王 前 中国語	113
火2	50308	A	L	中国語初級（インテンシヴ）	賈 黎黎 中国語	121
火2	50307	A	L	中国語初級（インテンシヴ）	毛 興華 中国語	122
火2	50326	A	L	中国語初級（インテンシヴ）	李 彦銘 中国語	150
火2	50309	A	L	中国語初級（第三外国語）	山影 統 中国語	112
火2	50310	A	L	中国語中級（演習）	秋山 珠子 中国語	155
火2	50311	A	L	ロシア語初級（作文）	毛利 公美 ロシア語	154
火2	50312	A	L	ロシア語中級（会話）	GOLUBOVSKAYA Liubov ロシア語	517
火2	50313	A	L	スペイン語中級（作文）	藤田 護 スペイン語	108
火2	50328	A	L	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）	ジ ミンギョン 韓国朝鮮語	149
火2	50314	A	L	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	岩井 智彦 韓国朝鮮語	10-304
火2	50315	A	L	韓国朝鮮語中級（表現練習）	三ツ井 崇 韓国朝鮮語	158
火2	50316	A	L	イタリア語初級（インテンシヴ）	池上 俊一 フランス語・イタリア語	162
火2	50317	A	L	イタリア語初級（第三外国語）	宮坂 真紀 フランス語・イタリア語	156
火2	50329	A	L	アラビア語初級（会話）	エベード イハープ 古典語・地中海諸言語	K301
火2	50330	A	L	ペルシア語初級（第三外国語）	前田 君江 アジア・日本研究コース	K401
火2	50331	A	L	モンゴル語初級（第三外国語）	荒井 幸康 アジア・日本研究コース	K303
火2	50332	A	L	古典語初級（ラテン語） I	Hermann Gottschewski ドイツ語	学際交流 ホール
火2	50333	A	A	言語応用論	加藤 恒昭 言語情報科学専攻	159
火2	50334	A	A	翻訳論	山本 史郎 言語情報科学専攻	157
火2	51320	A	A	西洋思想史	納富 信留 文学部	1321
火2	50335	A	B	国際関係史	酒井 哲哉 国際関係	1331
火2	50337	A	B	歴史と文化	桜井 英治 歴史学	1225
火2	50338	A	B	文化人類学 I	田辺 明生 文化人類学	513
火2	50339	A	C	日本国憲法	渋谷 秀樹 法・政治	743
火2	50340	A	C	計量社会科学	清水 剛 経済・統計	K011
火2	60234	A 2	C	教育実践・政策学入門	新藤 浩伸 教育学部	K501
火2	50341	A	D	環境物質科学	松尾 基之 化学	514
火2	50342	A	D	生態学	嶋田 正和 生物	512
火2	50343	A	D	地域生態学	江口 卓 人文地理学	1222

開講 曜日	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
火2	50344	A	D	情報認知科学	鈴木 宏昭 心理・教育学	1313
火2	50345	A	D	スポーツ・身体運動実習	実技担当 スポーツ・身体運動	(実習)
火2	50346	A	D	科学技術基礎論 I	橋本 毅彦 哲学・科学史	1212
火2	50347	A	D	科学技術社会論	藤垣 裕子 情報・図形	531
火2	60232	A 2	D	現代工学基礎 II	梅田 靖 工学部	K402
火2	51315	A	D	環境・エネルギー工学概論	村上 進亮 工学部	109
火2	50348	A	E	振動・波動論	鈴木 康夫 物理	533
火2	50349	A	E	振動・波動論	大川 祐司 物理	1311
火2	50350	A	E	物理学 II (文科生)	清水 明 物理	1322
火2	50351	A	F	数理科学概論 II (文科生)	高木 俊輔 数学	722
火2	50352	A	F	統計データ解析 I	小池 祐太 数学	E41
火2	51416	A		学術フロンティア講義 楽器としての身体：音楽の実践と科学	工藤 和俊 超域文化科学専攻	シラバス 参照
火2	51396	A		全学自由研究ゼミナール 言語データ解析演習 一身の回りにあることばを分析し、知識を発見するー	椿本 弥生 教養教育高度化機構	K201
火2	51398	A 1		全学自由研究ゼミナール 教養としての芸術学～外に向かうと内がうかぶ・ 内が見えたら外が見える	真船 文隆 教養教育高度化機構	シラバス 参照
火2	51414	A		全学自由研究ゼミナール アクティブラーニングによるWebプログラミング実習	星埜 守之 教養教育高度化機構	E26
火3	51281	A		人文科学ゼミナール (歴史学)	福田 正宏 文学部	K303
火3	50425	A		人文科学ゼミナール (テキスト分析)	田村 隆 国文・漢文学	KALS (17号館2階)
火3	50427	A	L	中国語中級 (会話)	劉 岸麗 中国語	102
火3	50431	A	L	アラビア語初級 (第三外国語)	濱田 聖子 古典語・地中海諸言語	1221
火3	50432	A	L	トルコ語初級 (第三外国語)	高松 洋一 アジア・日本研究コース	1231
火3	51536	A	F	計算の理論	小林 浩二 理学部	E21
火3	60248	A 2		学術フロンティア講義 ネット社会の秩序と法	太田 勝造 法学部	K402
火3	51513	A		全学自由研究ゼミナール (PEAK) Introduction to earth science	東塚 知己 PEAK前期	K211
火4	51280	A		自然科学ゼミナール (情報科学)	伊東 乾 情報学環	学際交流 ホール, E41
火4	50493	A	L	ロシア語中級 (インテンシヴ)	GOLUBOVSKAYA Liubov ロシア語	517
火4	50494	A	L	スペイン語上級 (演習)	イサベル カルロス スペイン語	1221
火4	50495	A	L	韓国朝鮮語上級 (会話)	崔 泰源 韓国朝鮮語	1312
火4	50496	A	L	ベトナム語中級 (第三外国語)	大泉 さやか アジア・日本研究コース	K112
火4	50497	A	L	広東語中級 (第三外国語)	郭 文ホウ 中国語	1223
火4	50498	A	L	トルコ語中級 (第三外国語)	高松 洋一 アジア・日本研究コース	1231

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
火4	51494	A	C	法・政治 (PEAK)	FOOTE DANIEL HARRING PEAK前期	K214
火5	50530	A	L	中国語初級 (会話)	毛 興華 中国語	154
火5	50531	A	L	韓国朝鮮語上級 (作文)	ジ ミンギョン 韓国朝鮮語	149
火5	50532	A	L	古典語初級 (ギリシア語) II	松浦 高志 古典語・地中海諸言語	117
火5	51498	A		学術フロンティア講義 (PEAK) Introduction to Japan in East Asia	前島 志保 PEAK前期	118
火5	51471	A		全学自由研究ゼミナール 障害者のリアルに迫る	熊谷 晋一郎 学生の希望による全学自由研究ゼミナール	K303
火5	51391	A		全学自由研究ゼミナール 作曲・指揮	伊東 乾 情報学環	学際交流 ホール
火5	51407	A		全学自由研究ゼミナール 織田信長に関する史料を読む	金子 拓 史料編纂所	116
火5	51530	A		全学自由研究ゼミナール (PEAK) Introduction to computing	甘蔗 寂樹 PEAK前期	119
火5	51369	A		全学体験ゼミナール 考える力を養う/コントラクトブリッジ	浅井 潔 理学部	114
火5	51426	A		全学体験ゼミナール 生命科学の最前線	橋本 祐一 定量生命科学研究所	シラバス 参照
火6	51363	A		全学体験ゼミナール Arduinoを使って応用システムを作ろうB	廣瀬 明 工学部	K301
水1	50572	A	D	身体運動科学	久保 啓太郎 スポーツ・身体運動	K114
水2	50641	A	L	フランス語初級 (第三外国語)	須藤 佳子 フランス語・イタリア語	159
水2	50644	A	L	中国語上級 (作文)	毛 興華 中国語	154
水2	50645	A	L	韓国朝鮮語初級 (会話)	李 英蘭 韓国朝鮮語	149
水2	50646	A	L	ヘブライ語初級 (第三外国語)	飯郷 友康 アジア・日本研究コース	761
水2	50647	A	L	タイ語初級 (第三外国語)	浅見 靖仁 アジア・日本研究コース	515
水2	50648	A	A	比較文化論	今橋 映子 超域文化科学専攻比較文学比較文化コース	8-320
水2	51440	A	A	哲学・倫理 (PEAK)	Muller Albert Charles PEAK前期	516
水2	50649	A	D	社会行動論	北村 英哉 心理・教育学	1323
水2	50650	A	D	スポーツ・身体運動実習	実技担当 スポーツ・身体運動	(実習)
水2	51503	A	E	分析化学 (PEAK)	ウッドワード・ジョナサン・ロジャー PEAK前期	109
水2	51401	A		全学自由研究ゼミナール 実験を通して学ぶ科学の考え方	松本 悠 教養教育高度化機構	K501
水2	51499	A		全学自由研究ゼミナール (PEAK) Introduction to Biology	リチャード シェファースン PEAK前期	1105
水3	50719	A	L	中国語中級 (会話)	毛 興華 中国語	154
水3	50721	A	L	イタリア語上級 (作文)	マルコ ビオンディ フランス語・イタリア語	8-205
水3	50722	A	D	人間行動基礎論 (理科学)	大久保 街亜 心理・教育学	1313
水3	51423	A		全学自由研究ゼミナール アクティブラーニングで学ぶリーダーシップ	星埜 守之 教養教育高度化機構	KALS (17号館2階)
水3	51430	A		全学自由研究ゼミナール 文化人類学入門	藏本 龍介 東洋文化研究所	518
水3	51505	A		全学自由研究ゼミナール Intermediate Course in Probability	リチャード シェファースン PEAK前期	E39

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
水4	50758	A	L	フランス語中級（作文）	DE VOS PATRICK HENRI フランス語・イタリア語	150
水4	50760	A	L	中国語中級（読解）	韓 燕麗 中国語	102
水4	50761	A	L	ロシア語中級（読解）	丸山 由紀子 ロシア語	151
水4	50762	A	L	スペイン語初級（第三外国語）	齊藤 文子 スペイン語	107
水4	50763	A	L	スペイン語上級（作文）	ルイズ ティノコ アントニオ スペイン語	152
水4	50764	A	L	アラビア語中級（第三外国語）	杉田 英明 アジア・日本研究コース	1223
水5	50768	A		人文科学ゼミナール（哲学・科学史）	岡本 拓司 哲学・科学史	115
水5	50769	A		人文科学ゼミナール（歴史学）	岡田 泰平 歴史学	116
水5	50770	A		人文科学ゼミナール（文化人類学）	福島 真人 文化人類学	8-206
水5	51285	A 1		自然科学ゼミナール（化学）	石北 央 工学部	118
水5	51287	A 1		自然科学ゼミナール（基礎工学）	松田 雄二 工学部	K301
水5	50771	A	L	英語中級	土屋 和代 英語	154
水5	50773	A	L	英語中級	山本 史郎 英語	149
水5	50774	A	L	英語上級	ダルグリーシュ プレガム 英語	120
水5	50775	A	L	ドイツ語初級（表現練習）	ククリンスキ ルーベン ドイツ語	516
水5	50776	A	L	ドイツ語初級（インテンシヴ）	I・カウフマン ドイツ語	10-102
水5	50786	A	L	ドイツ語初級（インテンシヴ）	クリスティアン クリンク ドイツ語	K114
水5	50777	A	L	ドイツ語中級（会話）	SCHWARZ Thomas ドイツ語	114
水5	50778	A	L	フランス語初級（インテンシヴ）	ファイフ ベアトリクス フランス語・イタリア語	10-103
水5	50779	A	L	フランス語初級（第三外国語）	小野 潮 フランス語・イタリア語	122
水5	50780	A	L	フランス語上級（演習）	テルヴロワ ミカエル フランス語・イタリア語	10-205
水5	50781	A	L	ロシア語初級（第三外国語）	丸山 由紀子 ロシア語	151
水5	50782	A	L	スペイン語初級（演習）	ルイズ ティノコ アントニオ スペイン語	152
水5	50783	A	L	スペイン語初級（作文）	渡辺 暁 スペイン語	105
水5	50784	A	L	韓国朝鮮語中級（演習）	崔 泰源 韓国朝鮮語	1211
水5	50785	A	L	イタリア語初級（表現練習）	マルコ ビオンディ フランス語・イタリア語	K402
水5	50787	A	L	アラビア語初級（第三外国語）	杉田 英明 アジア・日本研究コース	103
水5	50788	A 1	L	日本語上級	西部 由佳 日本語	10-202
水5	60204	A 2	L	日本語上級	西部 由佳 日本語	10-202
水5	50789	A	A	言語比較論	小野 秀樹 言語情報科学専攻	513
水5	50790	A	A	表象文化論	乗松 亨平 超域文化科学専攻表象文化論コース	521

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
水5	50791	A	B	日本文化論Ⅱ	谷口 洋 国文・漢文学	107
水5	50792	A	B	歴史社会論	長谷川 まゆ帆 歴史学	512
水5	51319	A	B	歴史社会論	高山 博 文学部	518
水5	51506	A	B	国際関係 (PEAK)	西海 洋志 PEAK前期	K303
水5	50793	A	C	法と社会	山元 一 法・政治	1106
水5	51304	A	D	現代工学基礎Ⅰ	近藤 正章 工学部	162
水5	51298	A	D	総合工学基礎Ⅱ	上坂 充 工学部	158
水5	51306	A	D	社会システム工学基礎Ⅱ	羽藤 英二 工学部	1311
水5	51328	A	D	放射線環境科学	田野井 慶太郎 農学部	1214
水5	50796	A	E	振動・波動論	澤井 哲 物理	523
水5	51324	A	E	微生物の科学	大西 康夫 農学部	1102
水5	50797	A	F	統計データ解析Ⅰ	小池 祐太 数学	E41
水5	51296	A	F	計算機システム概論	小林 克志 理学部	E42
水5	51413	A		学術フロンティア講義 食	原 和之 教養教育高度化機構	106
水5	51478	A		全学自由研究ゼミナール 国際化を読み解くゼミナール	須田 洋平 学生の希望による全学自由研究ゼミナール	117
水5	51403	A		全学自由研究ゼミナール 哲学史を哲学する(ハイデガーとカントなどの近代ドイツ哲学を中心に)	景山 洋平 教養教育高度化機構	K302
水5	51372	A 1		全学自由研究ゼミナール 植物はどうか生きるか—植物と栄養のかかわり	藤原 徹 農学部	515
水5	51368	A		全学自由研究ゼミナール 本屋さんで売っている文庫本で古今東西の文学を実際に読んでみる	吉国 浩哉 教養学部	517
水5	51332	A		全学自由研究ゼミナール 現代生物学研究の独創と創造	堀越 正美 定量生命科学研究所	150
水5	51351	A		全学体験ゼミナール 飛行ロボットを作って飛ばす	土屋 武司 工学部	シラバス 参照
水5	51356	A		全学体験ゼミナール 創造力増強のための寺小屋講座(シーズン・ファイナル)	生田 幸士 工学部	531
水5	51390	A 1		全学体験ゼミナール ピアサポート・支えあいの理論と実践を学ぶ・相互扶助のキャンパスづくり	高野 明 学生相談ネットワーク本部	119
水5	51337	A 1		全学体験ゼミナール グローバル人材のキャリアアチョイスを考える—日本で働く選択にむけて—	原田 麻里子 グローバルキャンパス推進本部	K501
水6	51364	A		全学体験ゼミナール ロボット競技を体験しようB	國吉 康夫 工学部	1212
水6	51379	A		全学体験ゼミナール ロボット競技を体験しようD	國吉 康夫 工学部	1212
木1	50800	A	L	ドイツ語初級 (演習)	中丸 禎子 ドイツ語	515
木1	50801	A	L	フランス語初級 (インテンシヴ)	アガエス ジュリアン フランス語・イタリア語	10-203
木1	50802	A	L	中国語初級 (作文)	何 珍時 中国語	155
木1	50804	A	L	中国語初級 (表現練習)	王 前 中国語	152
木1	50806	A	L	中国語初級 (インテンシヴ)	鄧 芳 中国語	154
木1	50805	A	L	中国語初級 (インテンシヴ)	白 春花 中国語	162

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
木1	50274	A	L	スペイン語初級（会話）	受田 宏之 スペイン語	10-201
木1	50807	A	L	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）	ジ ミンギョン 韓国朝鮮語	102
木1	50803	A	L	イタリア語初級（インテンシヴ）	マルコ ビオンディ フランス語・イタリア語	K301
木1	50808	A 1	L	日本語上級	奥川 育子 日本語	10-205
木1	60205	A 2	L	日本語上級	奥川 育子 日本語	10-205
木1	50809	A	L	古典語初級（ギリシア語）Ⅱ	上野 慎也 古典語・地中海諸言語	156
木1	50810	A	B	歴史社会論	亀長 洋子 歴史学	1222
木1	50811	A	C	法と社会	西土 彰一郎 法・政治	1221
木1	51510	A	C	社会・制度（Ⅲ）PEAK	クロイドン、シルビア アタナソヴァ PEAK前期	516
木1	50812	A	D	認知脳科学	山下 祐一 心理・教育学	1108
木1	50813	A	E	振動・波動論	堀田 知佐 物理	523
木1	50814	A	E	相対論	菊川 芳夫 物理	521
木1	50815	A	F	数理科学概論Ⅰ（文科生）	時弘 哲治 数学	512
木1	50816	A	F	基礎統計	丸山 祐造 経済・統計	743
木1	51381	A		全学自由研究ゼミナール 伊豆に学ぶプラス「感じる・考える・行動する」サイクルの発動	鴨田 重裕 農学部	150
木1	51508	A		全学自由研究ゼミナール（PEAK） Introductory course in linear algebra	松尾 厚 PEAK前期	514
木2	50869	A	L	フランス語中級（読解）	関俣 賢一 フランス語・イタリア語	153
木2	50871	A	L	中国語中級（会話）	姚 毅 中国語	156
木2	50872	A	L	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	崔 泰源 韓国朝鮮語	1211
木2	50873	A	L	韓国朝鮮語中級（インテンシヴ）	ジ ミンギョン 韓国朝鮮語	102
木2	50874	A	L	イタリア語中級（表現練習）	マルコ ビオンディ フランス語・イタリア語	K301
木2	50877	A	L	古典語中級（ギリシア語）Ⅱ	上野 慎也 古典語・地中海諸言語	8-420
木2	50878	A	A	美術論	桑田 光平 超域文化科学専攻表象文化論コース	159
木2	50879	A	D	情報メディア伝達論	越塚 登 情報学環	K113
木2	51514	A	F	情報科学（PEAK）	Suppakitpaisarn Vorapong PEAK前期	E41
木3	50938	A	L	中国語中級（作文）	柴 森 中国語	107
木3	50939	A	L	ヒンディー語初級（第三外国語）	藤井 毅 アジア・日本研究コース	1211
木3	50940	A	L	インドネシア語初級（第三外国語）	高地 薫 アジア・日本研究コース	1221
木3	50941	A	D	社会環境論	梶田 真 人文地理学	K212
木3	51517	A	E	電磁気学の基礎（PEAK）	堀田 知佐 PEAK前期	518
木3	51335	A		学術フロンティア講義 グローバルネットワーク再生可能エネルギー水素	杉山 正和 工学部	K501

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
木3	51516	A		全学自由研究ゼミナール (PEAK) Single-variable calculus	鮑 園園 PEAK前期	517
木4	51497	A		社会科学ゼミナール (PEAK)	ジロドウ イザベル PEAK前期	K212
木4	51284	A		自然科学ゼミナール (物理学)	鈴木 庸平 理学部	114
木4	50987	A	L	ロシア語上級 (作文)	ゴロウィナ クセーニヤ ロシア語	151
木4	50990	A	L	スペイン語中級 (会話)	FERNANDEZ HERBOSO スペイン語	152
木4	50993	A	L	韓国朝鮮語初級 (演習)	ジ ミンギョン 韓国朝鮮語	149
木4	50991	A	L	韓国朝鮮語初級 (インテンシヴ)	金 東漢 韓国朝鮮語	103
木4	50992	A	L	イタリア語初級 (会話)	マルコ ビオンディ フランス語・イタリア語	K301
木4	50995	A	L	ヒンディー語中級 (第三外国語)	藤井 毅 アジア・日本研究コース	1211
木4	50996	A	L	インドネシア語中級 (第三外国語)	高地 薫 アジア・日本研究コース	1221
木4	51555	A	L	ポルトガル語初級 (第三外国語)	牧野 真也 スペイン語	155
木4	50997	A	B	地域文化論Ⅱ	OPPENHEIMER Melanie 地域文化研究専攻	KALS (17号館2階)
木4	50998	A	C	教育臨床心理学	前田 基成 心理・教育学	900
木4	51526	A	D	スポーツ・身体運動実習Ⅱ (PEAK)	石井 直方 PEAK前期	(実習)
木4	51408	A 1		全学自由研究ゼミナール 国連とインクルージョン	井筒 節 教養教育高度化機構	K402
木4	51402	A		全学自由研究ゼミナール 「茶わんの湯」から最新の科学を考える	鹿島 勲 教養教育高度化機構	K113
木4	51397	A 1		全学自由研究ゼミナール 図書館の学び・活用・提案①	真船 文隆 教養教育高度化機構	K201
木4	60249	A 2		全学自由研究ゼミナール 図書館の学び・活用・提案②	真船 文隆 教養教育高度化機構	K201
木5	51286	A		自然科学ゼミナール (基礎工学)	杉山 正和 工学部	K402
木5	51002	A	L	英語上級	野沢 恵美子 英語	K201
木5	51003	A	L	ドイツ語初級 (作文)	原田 晶子 ドイツ語	149
木5	51004	A	L	ドイツ語初級 (第三外国語)	クリスティアン クリンク ドイツ語	K114
木5	51005	A	L	ドイツ語中級 (インテンシヴ)	SCHWARZ Thomas ドイツ語	115
木5	51006	A	L	ドイツ語上級 (会話)	I・カウフマン ドイツ語	10-102
木5	51007	A	L	フランス語初級 (読解)	鈴木 順子 フランス語・イタリア語	154
木5	51008	A	L	中国語初級 (演習)	李 雲 中国語	164
木5	51010	A	L	中国語初級 (インテンシヴ)	賈 黎黎 中国語	156
木5	51009	A	L	中国語初級 (インテンシヴ)	毛 興華 中国語	158
木5	51011	A	L	ロシア語初級 (演習)	GOLUBOVSKAYA Liubov ロシア語	517
木5	51018	A	L	ロシア語初級 (インテンシヴ)	ゴロウィナ クセーニヤ ロシア語	151
木5	51012	A	L	ロシア語中級 (インテンシヴ)	アズマイ ナジェージダ ロシア語	121

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
木5	51013	A	L	スペイン語初級（会話）	FERNANDEZ HERBOSO スペイン語	152
木5	51014	A	L	スペイン語初級（インテンシヴ）	イサベル カルロス スペイン語	108
木5	51015	A	L	韓国朝鮮語初級（会話）	金 東漢 韓国朝鮮語	103
木5	51016	A	L	韓国朝鮮語中級（作文）	崔 泰源 韓国朝鮮語	1211
木5	51017	A	L	イタリア語初級（作文）	大崎 さやの フランス語・イタリア語	107
木5	51019	A	L	ポーランド語初級（第三外国語）	小椋 彩 ロシア語	114
木5	51556	A	L	ポルトガル語中級（第三外国語）	牧野 真也 スペイン語	155
木5	51020	A 1	L	日本語上級	大久保 雅子 日本語	10-205
木5	60215	A 2	L	日本語上級	大久保 雅子 日本語	10-205
木5	51021	A	C	経済政策	安部 竜一郎 経済・統計	511
木5	51323	A 1	C	高等教育論入門	小方 直幸 教育学部	515
木5	51309	A	D	現代工学概論	六川 修一 工学部	532
木5	51301	A	D	現代工学基礎Ⅱ	小寺 正明 工学部	E25
木5	51305	A	D	現代工学基礎Ⅱ	岩佐 義宏 工学部	112
木5	51300	A	D	社会システム工学基礎Ⅱ	小泉 秀樹 工学部	531
木5	51317	A	D	生体医工学基礎Ⅱ	神保 泰彦 工学部	1221
木5	51533	A	D	看護学概論Ⅱ	武村 雪絵 医学部	159
木5	60236	A 2	D	環境と生物資源	木南 章 農学部	154
木5	51325	A 1	D	住環境の科学	稲山 正弘 農学部	153
木5	51322	A	D	教育心理学の世界	岡田 猛 教育学部	1311
木5	51294	A	E	分子生命科学	飯野 雄一 理学部	523
木5	51022	A	E	惑星地球科学Ⅰ（理科生）	小久保 英一郎 宇宙地球	524
木5	51297	A	E	地球惑星環境学入門	高橋 嘉夫 理学部	122
木5	51023	A	E	宇宙科学Ⅱ（理科生）	清水 敏文 宇宙地球	K211
木5	51311	A	F	数理工学入門	平井 広志 工学部	150
木5	51024	A	F	統計データ解析Ⅰ	吉田 朋広 数学	E41
木5	51418	A		学術フロンティア講義 脳科学の基礎と研究の最前線	岡ノ谷 一夫 心理・教育学	1108
木5	51410	A		学術フロンティア講義 現代の数学－その源泉とフロンティア－	小木曾 啓示 数理科学研究科	521
木5	51479	A		全学自由研究ゼミナール ポーカロイド音楽論	鮎川 ばて 学生の希望による全学自由研究ゼミナール	学際交流 ホール
木5	51404	A		全学自由研究ゼミナール 哲学の問いをはじめる：ハイデガー『存在と時間』を手引として	景山 洋平 教養教育高度化機構	K302
木5	51405	A 1		全学自由研究ゼミナール 平和のために東大生ができることⅠ	岡田 晃枝 教養教育高度化機構	KALS (17号館2階)

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
木5	60251	A 2		全学自由研究ゼミナール 平和のために東大生ができること II	岡田 晃枝 教養教育高度化機構	KALS (17号館2階)
木5	51384	A		全学自由研究ゼミナール 災害復興と法・社会	米村 滋人 法学部	117
木5	51360	A		全学自由研究ゼミナール 建築構造デザイン入門 (Introduction of Structural Design)	高田 毅士 工学部	102
木5	51355	A 1		全学自由研究ゼミナール スペキュラティブ・デザイン	川原 圭博 工学部	K301
木5	51529	A		全学自由研究ゼミナール 古典落語から知る江戸の自然・文化	石橋 整司 農学部	518
木5	51334	A		全学自由研究ゼミナール 読み破る政治学 -多読・乱読・精読ゼミ-	牧原 出 先端科学技術研究センター	シラバス 参照
木5	51420	A		全学体験ゼミナール 将棋で磨く知性と感性	金子 知適 教養教育高度化機構	K501
木5	51377	A		全学体験ゼミナール 秋の奥秩父を巡る	山田 利博 農学部	120
木6	51355	A 1		全学自由研究ゼミナール スペキュラティブ・デザイン	川原 圭博 工学部	K301
金1	51291	A		自然科学ゼミナール (生命科学)	和田 洋一郎 アイソトープ総合センター	117
金1	51054	A	L	ロシア語初級 (演習)	アズマイ ナジェーダ ロシア語	149
金1	51053	A	L	イタリア語中級 (インテンシヴ)	マルコ ビオンディ フランス語・イタリア語	K301
金2	51067	A		人文科学ゼミナール (データ分析)	矢田部 修一 英語	E25
金2	51068	A		人文科学ゼミナール (データ分析)	大森 拓哉 心理・教育学	515
金2	51256	A		社会科学ゼミナール (法・政治)	福岡 安都子 法・政治	117
金2	51070	A	L	英語中級	広瀬 友紀 英語	E38
金2	51069	A	L	英語中級	ベティート ジョシユア 英語	105
金2	51085	A	L	ドイツ語初級 (演習)	石原 あえか ドイツ語	10-304
金2	51084	A	L	ドイツ語初級 (インテンシヴ)	I・カウフマン ドイツ語	10-102
金2	51071	A	L	フランス語初級 (読解)	石橋 正孝 フランス語・イタリア語	156
金2	51087	A	L	フランス語初級 (インテンシヴ)	アルベリック ドリブル フランス語・イタリア語	10-303
金2	51072	A	L	フランス語中級 (読解)	増田 一夫 フランス語・イタリア語	102
金2	51073	A	L	中国語初級 (会話)	賈 黎黎 中国語	121
金2	51088	A	L	中国語初級 (インテンシヴ)	鄧 芳 中国語	154
金2	51074	A	L	中国語初級 (第三外国語)	張 玉萍 中国語	108
金2	51075	A	L	中国語上級 (読解)	橋本 陽介 中国語	150
金2	51076	A	L	ロシア語初級 (会話)	ゴロウィナ クセーニヤ ロシア語	151
金2	51077	A	L	スペイン語初級 (作文)	有田 美保 スペイン語	104
金2	51078	A	L	スペイン語初級 (第三外国語)	丸山 共恵 スペイン語	118
金2	51079	A	L	スペイン語初級 (第三外国語)	ドニャス ベレニヤ アントニオ スペイン語	122
金2	51080	A	L	韓国朝鮮語中級 (読解)	橋本 繁 韓国朝鮮語	103

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
金2	51081	A	L	イタリア語初級（会話）	アンドレア チヴィーレ フランス語・イタリア語	K401
金2	51082	A	L	イタリア語初級（作文）	野里 紳一郎 フランス語・イタリア語	153
金2	51083	A	L	イタリア語上級（会話）	マルコ ビオンディ フランス語・イタリア語	K301
金2	51089	A	L	上海語初級（第三外国語）	王 英輝 中国語	155
金2	51090	A	A	現代哲学	石原 孝二 哲学・科学史	164
金2	51091	A	A	記号論理学 I（文科生）	鈴木 貴之 哲学・科学史	1101
金2	51265	A	A	精神分析学	山田 広昭 哲学・科学史	112
金2	51092	A	A	音楽論	長木 誠司 超域文化科学専攻表象文化論コース	学際交流 ホール
金2	51519	A	A	思想・芸術 I（PEAK）	山辺 恵理子 PEAK前期	114
金2	51093	A	B	国際関係論	鶴見 太郎 国際関係	531
金2	51094	A	B	比較地域史	渡辺 美季 歴史学	K212
金2	51095	A 1	B	日本語日本文学 I（理科生）	出口 智之 国文・漢文学	159
金2	51096	A	B	日本語日本文学 II	小森 陽一 国文・漢文学	162
金2	51097	A	B	近現代史	外村 大 歴史学	152
金2	51098	A	B	文化人類学 II	箭内 匡 文化人類学	521
金2	51099	A	C	政治経済学	丸川 知雄 経済・統計	514
金2	60234	A 2	C	教育実践・政策学入門	新藤 浩伸 教育学部	K501
金2	51100	A	D	スポーツ・身体運動実習	実技担当 スポーツ・身体運動	(実習)
金2	51101	A	D	身体運動科学	中澤 公孝 スポーツ・身体運動	K213
金2	60232	A 2	D	現代工学基礎 II	梅田 靖 工学部	K402
金2	51102	A	E	現代物理学	押川 正毅 物理	532
金2	51103	A	E	化学平衡と反応速度	若杉 桂輔 化学	522
金2	51104	A	E	分子システムの化学	豊田 太郎 統合自然科学科	1212
金2	51312	A	E	物質・生命工学基礎 II	馬渡 和真 工学部	106
金2	51105	A	E	惑星地球科学 II（理科生）	小宮 剛 宇宙地球	1222
金2	51106	A	E	宇宙科学 I（文科生）	土井 靖生 宇宙地球	1225
金2	51295	A	F	計算機プログラミング	萩谷 昌己 理学部	E26
金2	51521	A	F	意思決定の数理（PEAK）	前田 章 PEAK前期	518
金2	51354	A		学術フロンティア講義 海研究のフロンティア II	早稲田 卓爾 工学部	101
金2	51398	A 1		全学自由研究ゼミナール 教養としての芸術学～外に向かうと内がかぶ・内が見えたら外が見える	真船 文隆 教養教育高度化機構	シラバス 参照
金2	51422	A		全学自由研究ゼミナール ダイバーシティ社会をつくる技術	坂口 菊恵 教養教育高度化機構	K303

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
金2	51411	A		全学自由研究ゼミナール インターネットガバナンスの最前線を追う	一井 信吾 数理科学研究科	116
金2	51409	A 1		全学自由研究ゼミナール 異文化環境で学ぶ：海外プログラムでの自己開発 論/Language and Cultural Immersion: Student development in study abroad programs	櫻井 勇介 国際交流センター	115
金2	60237	A 2		全学自由研究ゼミナール 博士から若手研究者の教育学	櫻井 勇介 国際交流センター	115
金2	51388	A 1		全学自由研究ゼミナール ボードゲーム作りを通して起業を学ぶ	長谷川 克也 産学協創推進本部	KALS (17号館2階)
金2	60247	A 2		全学体験ゼミナール 森のエネルギーを使いこなす	安村 直樹 農学部	E41
金2	51425	A		全学体験ゼミナール 電磁気学で使う数学	平地 健吾 数理科学研究科	511
金3	51164	A		人文科学ゼミナール (データ分析)	荒井 良雄 人文地理学	117
金3	51168	A	L	ロシア語上級 (会話)	GOLUBOVSKAYA Liubov ロシア語	517
金3	51525	A		全学体験ゼミナール (PEAK) Welcome to Physical World!	松田 恭幸 PEAK前期	K113
金4	51210	A	L	フランス語中級 (会話)	ビゼ フランソワ フランス語・イタリア語	121
金4	51212	A	L	ベトナム語初級 (第三外国語)	加藤 栄 アジア・日本研究コース	117
金4	51170	A	L	広東語初級 (第三外国語)	吉川 雅之 中国語	10-204
金4	51213	A	B	地域文化論Ⅱ	谷垣 真理子 地域文化研究専攻	152
金4	51214	A	B	日本文化論Ⅰ	松岡 心平 国文・漢文学	122
金4	51523	A	B	国際・地域Ⅰ (PEAK)	佐藤 仁 PEAK前期	118
金4	60258	A 2		全学自由研究ゼミナール エネルギー基礎論	瀬川 浩司 教養教育高度化機構	K114
金4	51389	A		全学体験ゼミナール オープンガバナンスによる市民参加型社会の体験(川崎市宮前区)	有馬 純 公共政策大学院	516
金4	51383	A		全学自由研究ゼミナール 現代中国ゼミナール～「習近平時代」の中国を議論する～	伊藤 亜聖 社会科学研究所	515
金5	51217	A	L	英語中級	ペティート ジョシユア 英語	105
金5	51218	A	L	英語上級	ダルグリーシュ プレガム 英語	120
金5	51219	A	L	ドイツ語初級 (インテンシヴ)	I・カウフマン ドイツ語	10-102
金5	51220	A	L	ドイツ語初級 (第三外国語)	山口 裕之 ドイツ語	150
金5	51221	A	L	フランス語初級 (作文)	斎藤 かぐみ フランス語・イタリア語	158
金5	51225	A	L	フランス語初級 (インテンシヴ)	アガエス ジュリアン フランス語・イタリア語	10-203
金5	51222	A	L	ロシア語初級 (インテンシヴ)	GOLUBOVSKAYA Liubov ロシア語	517
金5	51223	A	L	ロシア語中級 (作文)	濱田 華練 ロシア語	106
金5	51224	A	L	スペイン語初級 (会話)	エクトル シエラ スペイン語	112
金5	51226	A	L	セルビア・クロアチア語初級 (第三外国語)	山崎 信一 ロシア語	152
金5	51227	A	A	科学哲学	上田 知夫 哲学・科学史	1331
金5	51228	A	B	日本語日本文学Ⅱ	矢田 勉 国文・漢文学	107

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
金5	51229	A	B	近現代史	井坂 理穂 歴史学	122
金5	51230	A	C	比較社会論	重田 園江 社会・社会思想史	531
金5	51231	A	C	計量社会科学	小林 正人 経済・統計	E26
金5	51442	A	D	地球環境論	亀山 康子 国際関係	154
金5	51302	A	D	総合工学基礎Ⅱ	寺本 進 工学部	511
金5	51232	A	E	量子論	菊川 芳夫 物理	521
金5	51233	A	E	化学平衡と反応速度	豊田 太郎 化学	1214
金5	51307	A	E	物質・生命工学概論	阿部 英司 工学部	513
金5	51329	A 1	E	アグリバイオロジー	井澤 毅 農学部	K402
金5	51326	A	E	海の生命科学	浅川 修一 農学部	743
金5	51308	A	F	情報システム基礎Ⅱ	國吉 康夫 工学部	721
金5	51393	A		学術フロンティア講義 放射線を科学的に理解する	渡邊 雄一郎 教養教育高度化機構	K303
金5	51531	A		学術フロンティア講義 ワンヘルスの概念で捉える健全な社会	学術俯瞰講義室 教養教育高度化機構	レクチャー ホール
金5	51359	A		学術フロンティア講義 ノーベル賞に学ぶ物理工学	芝内 孝禎 工学部	512
金5	51480	A		全学自由研究ゼミナール 法と社会と人権 -社会の実態を知り、人権を学び考える-	笠置 裕亮 学生の希望による全学自由研究ゼミナール	164
金5	60258	A 2		全学自由研究ゼミナール エネルギー基礎論	瀬川 浩司 教養教育高度化機構	K114
金5	51387	A		全学自由研究ゼミナール 競争法や情報法などによる法学入門	白石 忠志 法学部	116
金5	51392	A		全学自由研究ゼミナール Molecular Biology of the Cell 輪読ゼミ	尾藤 晴彦 医学部	K113
金5	51333	A		全学自由研究ゼミナール 日本の経済戦略と政策が果たす役割～政策の最前線 で奮闘する現役官僚が語る～	坂田 一郎 公共政策大学院	522
金5	51400	A		全学体験ゼミナール 囲碁で養う考える力	森畑 明昌 教養教育高度化機構	K501
金5	51428	A		全学体験ゼミナール じっくり学ぶ数学Ⅱ	平地 健吾 数理科学研究科	シラバス 参照
金5	51336	A 1		全学体験ゼミナール 大学の国際化とキャンパスコミュニティ：多様性 を尊重するキャンパスについて考える	大西 晶子 グローバルキャンパス推進本部	114
集中	51258	A		自然科学ゼミナール（生命科学）	山道 真人 生物	シラバス 参照
集中	51257	A		自然科学ゼミナール（生命科学）	和田 元 生物	シラバス 参照
集中	51288	A		自然科学ゼミナール（基礎工学）	山下 淳 工学部	シラバス 参照
集中	51269	A	D	スポーツ・身体運動実習Ⅱ	吉岡 伸輔 スポーツ・身体運動	シラバス 参照
集中	60233	A 2	F	モデリングとシミュレーション基礎Ⅱ	鳥海 不二夫 工学部	シラバス 参照
集中	60259	A 2		学術フロンティア講義 個と群 -紋様デザイン	館 知宏 情報・図形	シラバス 参照
集中	51535	A		学術フロンティア講義 Computational Creativity概論.<AIと表現>	池上 高志 物理	シラバス 参照
集中	51429	A		学術フロンティア講義 医科学研究最前線	武川 睦寛 医科学研究所	シラバス 参照

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
集中	51419	A		全学自由研究ゼミナール 機械学習を通して見る自然科学の新たな一面	福島 孝治 物理	シラバス 参照
集中	51378	A		全学自由研究ゼミナール 東大×南大共同フィールドワーク於東京	白 佐立 教養教育高度化機構	シラバス 参照
集中	51394	A		全学自由研究ゼミナール 南京大学フィールドワーク研修	白 佐立 教養教育高度化機構	シラバス 参照
集中	51399	A		全学自由研究ゼミナール ブランドデザインスタジオ19～お金の未来と投資のブランドデザイン～	真船 文隆 教養教育高度化機構	シラバス 参照
集中	51488	A		全学自由研究ゼミナール 中国語サマースクール	伊藤 徳也 教養教育高度化機構	シラバス 参照
集中	51350	A		全学自由研究ゼミナール 製品を分解してわかる環境問題	梅田 靖 工学部	シラバス 参照
集中	51361	A		全学自由研究ゼミナール ロボティック医療システム	光石 衛 工学部	シラバス 参照
集中	60238	A 2		全学自由研究ゼミナール 太陽光発電とエネルギーシステム：原理の理解から実習まで	杉山 正和 工学部	シラバス 参照
集中	51370	A		全学自由研究ゼミナール 基礎植物学輪講 II	寺島 一郎 理学部	シラバス 参照
集中	51330	A		全学自由研究ゼミナール ジビエを通して獣害問題と向き合う	鳴田 重裕 農学部	シラバス 参照
集中	51395	A		全学自由研究ゼミナール ビントゥパーチョコレート作り体験から学ぶべきこと	鳴田 重裕 農学部	シラバス 参照
集中	60244	A 2		全学自由研究ゼミナール ワンパクなたんぱく質を科学する：実習編	高橋 伸一郎 農学部	シラバス 参照
集中	51365	A		全学自由研究ゼミナール 2018年度A semester 最先端のサイエンスを駒場で研究体験するプログラム	内田 さやか 教養学部	シラバス 参照
集中	51366	A		全学自由研究ゼミナール 生命の普遍原理に迫る研究体験ゼミ	石原 秀至 教養学部	シラバス 参照
集中	51367	A		全学自由研究ゼミナール 最先端の生命科学研究を駒場で体験する	新井 宗仁 教養学部	シラバス 参照
集中	51386	A		全学自由研究ゼミナール 駒場すずかんゼミナール『学藝饗宴』	鈴木 寛 公共政策大学院	シラバス 参照
集中	51412	A 1		全学自由研究ゼミナール 放射性炭素年代測定法の実習	松崎 浩之 総合研究博物館	シラバス 参照
集中	60252	A 2		全学自由研究ゼミナール 加速器質量分析におけるビーム光学	松崎 浩之 総合研究博物館	シラバス 参照
集中	51417	A		全学体験ゼミナール 子どもと学ぶ学び方ー現在の教育は未来につながるかー	坂口 菊恵 教養教育高度化機構	シラバス 参照
集中	60250	A 2		全学体験ゼミナール 身近な環境化学実習ー駒場の水を科学するー	鹿島 勲 教養教育高度化機構	シラバス 参照
集中	51340	A		全学体験ゼミナール 機械学習を体験しデータ駆動型化学の世界に入門してみよう	鈴木 康介 工学部	シラバス 参照
集中	51341	A		全学体験ゼミナール 排ガスはどこまで浄化できるのか？自動車触媒技術を体験してみよう	鈴木 康介 工学部	シラバス 参照
集中	51342	A		全学体験ゼミナール DDSのための薬物徐放ビーズを作ってみよう	鈴木 康介 工学部	シラバス 参照
集中	51343	A		全学体験ゼミナール 火災・爆発災害を実験で解明してみよう	鈴木 康介 工学部	シラバス 参照
集中	51344	A		全学体験ゼミナール 「環境にやさしい」を測ってみよう	鈴木 康介 工学部	シラバス 参照
集中	51345	A		全学体験ゼミナール 生体分子でセンサーを作ろう！	鈴木 康介 工学部	シラバス 参照
集中	51346	A		全学体験ゼミナール ヒト iPS細胞から神経組織を作ろう	鈴木 康介 工学部	シラバス 参照
集中	51347	A		全学体験ゼミナール がん治療薬の種となる人工分子を見つけよう	鈴木 康介 工学部	シラバス 参照
集中	51348	A		全学体験ゼミナール 固体触媒を使って有機合成化学を体験しよう	鈴木 康介 工学部	シラバス 参照
集中	51349	A		全学体験ゼミナール 機能性材料の最小単位「ナノシート」を観察しよう	鈴木 康介 工学部	シラバス 参照

開講 曜限	時間割 コード	開講 区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
集中	51353	A		全学体験ゼミナール 全日本学生フォーミュラ大会に向けたフォーミュ ラレーシングカーを作るプロジェクトB	草加 浩平 工学部	シラバス 参照
集中	51352	A		全学体験ゼミナール 全日本学生フォーミュラ大会に向けたフォーミュ ラレーシングカーを作るプロジェクトD	草加 浩平 工学部	シラバス 参照
集中	51358	A		全学体験ゼミナール ischool KOMABA II: イノベーション・ワークショップへの招待	小松崎 俊作 工学部	シラバス 参照
集中	51362	A		全学体験ゼミナール ナノ・バイオテクノロジー：最先端ラボへようこそ	宮田 完二郎 工学部	シラバス 参照
集中	51371	A		全学体験ゼミナール 目に見えない素粒子や原子核を見てやろう	山口 英斉 理学部	シラバス 参照
集中	51373	A		全学体験ゼミナール ダムと土砂と海	蔵治 光一郎 農学部	シラバス 参照
集中	51375	A 1		全学体験ゼミナール 危険生物の知識（秋編）	石橋 整司 農学部	シラバス 参照
集中	51376	A 1		全学体験ゼミナール 森の魅力をマッピング～GPSを使ったオリジナル地図づくり～	石橋 整司 農学部	シラバス 参照
集中	51380	A		全学体験ゼミナール 森に学ぶ 森林・林業を意識しながら歩く低山	鴨田 重裕 農学部	シラバス 参照
集中	51382	A 1		全学体験ゼミナール 伊豆に学ぶ（夏）3後編 山、温泉、そして海。自然と人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕 農学部	シラバス 参照
集中	60239	A 2		全学体験ゼミナール 癒しの森と地域社会（冬）	石橋 整司 農学部	シラバス 参照
集中	60240	A 2		全学体験ゼミナール 房総の森と生業（なりわい）を学ぶ	石橋 整司 農学部	シラバス 参照
集中	60241	A 2		全学体験ゼミナール 伊豆に学ぶ1 竹炭焼き、山、桜、菜の花、温泉など自然と人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕 農学部	シラバス 参照
集中	60242	A 2		全学体験ゼミナール 伊豆に学ぶ2 竹炭焼き、山、桜、菜の花、温泉など自然と人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕 農学部	シラバス 参照
集中	60243	A 2		全学体験ゼミナール 伊豆に学ぶ3 竹炭焼き、山、桜、菜の花、温泉など自然と人の繋がりをまなぶ	鴨田 重裕 農学部	シラバス 参照
集中	60245	A 2		全学体験ゼミナール 伊豆に学ぶー熱帯植物編ー無意識に食べてきたチョコレートを教材に据えて見えるコト	鴨田 重裕 農学部	シラバス 参照
集中	60246	A 2		全学体験ゼミナール 雪の森林に学ぶ～北海道演習林	鎌田 直人 農学部	シラバス 参照
集中	60256	A 2		全学体験ゼミナール 柏キャンパスサイエンスキャンプ I 宇宙コース（宇宙線研究所）	村山 英晶 新領域創成科学研究科	シラバス 参照
集中	60255	A 2		全学体験ゼミナール 柏キャンパスサイエンスキャンプ II 物性コース（物性研究所） 環境コース（新領域創成科学研究科・環境学研究系）	村山 英晶 新領域創成科学研究科	シラバス 参照
集中	60254	A 2		全学体験ゼミナール 柏キャンパスサイエンスキャンプ III 生研コース（生産技術研究所） エネルギーとマテリアルコース（新領域創成科学研究科・基盤科学研究系）	村山 英晶 新領域創成科学研究科	シラバス 参照
集中	60253	A 2		全学体験ゼミナール 柏キャンパスサイエンスキャンプ IV 大気と海洋コース（大気海洋研究所） 生命コース（新領域創成科学研究科・生命科学研究系）	村山 英晶 新領域創成科学研究科	シラバス 参照
集中	51427	A		全学体験ゼミナール プレートの衝突と地震：伊豆衝突帯のテクトニクス	西田 究 地震研究所	シラバス 参照
集中	51339	A		全学体験ゼミナール 映像デザイン実習	松本 文夫 総合研究博物館	シラバス 参照
集中	51481	A		国際研修 台湾研修	阿古 智子 中国語	シラバス 参照
集中	60260	A 2		国際研修 RoboCon: Basic robotics amid a multicultural academic environment in Malaysia／マレーシアの 多文化環境の中でロボコン大会をする	櫻井 勇介 国際交流センター	シラバス 参照
集中	60262	A 2		国際研修 短期集中英語：オーストラリアで上級を目指す！／Intensive English: Forging an advanced level of English in Australia	櫻井 勇介 国際交流センター	シラバス 参照

開講曜限	時間割コード	開講区分	系	授業科目名	担当教員名・所属	教室
集中	60263	A 2		国際研修 平和のために東大生ができること：カザフスタン研修	岡田 晃枝 国際関係	シラバス 参照
集中	60261	A 2		国際研修 ドイツ語 T L P 研修	森井 裕一 ドイツ語	シラバス 参照
集中	51485	A		国際研修 TLPフランス語春季研修	寺田 寅彦 フランス語・イタリア語	シラバス 参照
集中	51484	A		国際研修 TLPフランス語夏季研修	寺田 寅彦 フランス語・イタリア語	シラバス 参照

専門科目について

専門科目のシラバス等はUTASにログインし、閲覧してください。ログインするには、UTokyo AccountのユーザーID・パスワードを入力してください。

●シラバスの閲覧方法

UTASにログイン後、上部のMenu「シラバス」→「シラバス参照」（フリーワード検索、項目指定検索、学科・コース別検索）へと進み、必要な情報を入力し検索・閲覧してください。

●専門科目の開講場所（教室）について

時間割冊子の「専門科目一覧表」・「専門科目時間割表」に、具体的な開講場所（教室）が記載されていない場合（例えば「〇〇学部」等の表記）は、UTASにログイン後、「シラバス参照」（フリーワード検索、項目指定検索、学科・コース別検索）画面の教室欄を確認してください。

UTASでも教室が確認できない場合は、「専門科目一覧表」に記載された各学部の教務担当部署へ問い合わせてください。

●専門科目の授業日程・開講区分について

専門科目の授業は、教養学部前期課程の授業日程にしたがって行われる場合と、専門科目を開講する各学部の授業日程にしたがって行われる場合があります。また、開講区分欄に「W」と記載のある一部の専門科目については、Wターム（1月～3月）の期間に授業が開講される予定です。専門科目の授業日程や開講期間について不明な点がある場合は、各学部の教務担当部署へ問い合わせてください。

●専門科目の履修登録について

専門科目の履修登録は、UTASの「履修登録（前期課程）」画面で行います。履修登録の期間は、前期課程科目の登録期間に準じます。

平成30年度 Aセメスター (A1・A2) 専門科目一覧表

法学部

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
S1S2A1A2	月2	0118071	刑法第1部	樋口 亮介	講堂	900
S1S2A1A2	月4	0118021	民法第1部	沖野 眞巳	講堂	900
A1A2	月5	0118141	国際法第1部	寺谷 広司	講堂	900
				森 肇志		
S1S2A1A2	火1	0118003	憲法	石川 健治	講堂	900
A1A2	火2	0118381	経済学基礎	柳川 範之	講堂	900
A1A2	火3	0118201	政治学	加藤 淳子	講堂	900
A1A2	火4	0118561	国際政治	藤原 帰一	講堂	900
A1A2	水2	0118231	ヨーロッパ政治史	中山 洋平	講堂	900
A1A2	木1	0118561	国際政治	藤原 帰一	講堂	900
A1A2	木2	0118141	国際法第1部	寺谷 広司	講堂	900
				森 肇志		
A1A2	木3	0118381	経済学基礎	柳川 範之	講堂	900
A 1	木4	0118862	統計学I	久保川 達也	駒場13号館	1323
	木5					
A 2	木4	0118863	統計学II	久保川 達也	駒場13号館	1323
	木5					
A1A2	金1	0118661	日本近代法史	和仁 陽	講堂	900
A1A2	金2	0118201	政治学	加藤 淳子	講堂	900
A1A2	金4	0118231	ヨーロッパ政治史	中山 洋平	講堂	900
S1S2A1A2	金5	0118003	憲法	石川 健治	講堂	900

※法学部教務係：03-5841-3109

平成30年度 Aセメスター (A1・A2) 専門科目一覽表

医学部

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A 2	月1	02219	生命科学・ゲノム学 I	渡邊 洋一	医学部3号館	S101
A1A2	月2	02211	健康総合科学概論	松山 裕	医学部3号館	S101
A 1	月3	02203	解剖学	渡邊 洋一	医学部3号館	S101
A 2	月3 月4	02213	社会と健康	高木 大資 橋本 英樹	医学部3号館	S101
A 1	月4	02212	国際保健学	梅崎 昌裕 小坂 理子	医学部3号館	S101
A 2	火1 火2	02225	薬理学・毒性学	梅崎 昌裕	医学部3号館	S101
A 1	火2	02206	看護学概論	國江 慶子 木田 亮平 武村 雪絵 市川 奈央子	医学部3号館	S101
A 2	火3	02214	人類遺伝学 I	馬淵 昭彦 徳永 勝士	医学部3号館	S101
A 1	火3 火4	02234	発生発達学	星野 愛 水口 雅 高梨 さやか	医学部3号館	S101
A 2	火4	02204	科学論文・表現技術	近藤 尚己	医学部3号館	S101
A 1	火5	02210	健康総合科学英語 I	山本 則子 ミリンダ ハル	医学部3号館	S101
A 2	火5	02232	生命環境科学のトピックス	星野 愛 水口 雅 高梨 さやか	医学部3号館	S101
A 1	木1 木2	02226	基礎生命科学	渡邊 洋一	医学部3号館	S101
A 2	木1 木2	02205	環境と健康	梅崎 昌裕 小西 祥子	医学部3号館	S101
A 1	木3 木4	02216	生物統計学	松山 裕	医学部本館	大講堂
A 2	木3 木4	02250	基礎看護学 I	國江 慶子 武村 雪絵 木田 亮平 市川 奈央子	医学部5号館 医学部3号館	201 S201・S202
A 1	金1	02207	感染症	星野 愛 水口 雅 高梨 さやか	医学部3号館	S101
A 2	金1 金2	02218	生命・医療倫理 I	山本 圭一郎 赤林 朗 瀧本 禎之 中澤 栄輔	医学部3号館	S101
A 1	金2	02209	健康心理学	川上 憲人	医学部3号館	S101
A 1	金3 金4	02221	生理学	梅崎 昌裕 小西 祥子	医学部3号館	S101
A 2	金3 金4	02241	公共健康科学統合講義 I	橋本 英樹	医学部3号館	S101
A1A2	金5	02290	ゼミナール	山本 則子	医学部	シラバス参照
集中	集中	02115	実験動物資源学	中尾 和貴 饗場 篤	医学部	シラバス参照
集中	集中	02170	医学序論	長瀬 隆英	医学部	シラバス参照
集中	集中	02300	解剖学第1(組織学)	岡部 繁男 金井 克光 吉川 雅英	医学部	シラバス参照
集中	集中	02350	生化学・栄養学	山本 林 水島 昇 栗原 由紀子 栗原 裕基	医学部	シラバス参照
集中	集中	02351	生化学・栄養学実習	山本 林 水島 昇 栗原 由紀子 栗原 裕基	医学部	シラバス参照
集中	集中	02430	人類遺伝学	馬淵 昭彦 徳永 勝士	医学部	シラバス参照
集中	集中	02440	統計学	松山 裕	医学部	シラバス参照
集中	集中	02441	チュートリアル	堀田 晶子 孫 大輔 江頭 正人	医学部	シラバス参照
W	集中	02255	健康支援実習	仲上 豪二郎 真田 弘美	医学部3号館	S101

※医学部教務係：03-5841-3308

平成30年度 Aセメスター (A1・A2) 専門科目一覧表

工学部

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A 2	月1	FEN-AR2q07L1	建築弾性学	伊山 潤	工1号館	工12号講義室
A 1	月1	FEN-UE2m03L1	地球環境工学	滝沢 智	工14号館	144講義室
A1A2	月1	FEN-EE2102L1	信号解析基礎	苗村 健	駒場5号館	525
A 1	月1	FEN-MA2e07L1	材料力学I	南部 将一 榎 学	駒場5号館	511
A 1	月1	FEN-CH2f00L1	生命化学I	山口 哲志 畑中 研一	駒場13号館	1313
A 2	月1	FEN-CH2f01L1	生命化学II	岡本 晃充	駒場13号館	1313
A 2	月2	FEN-CE2402L1	社会技術論	加藤 浩徳 小松崎 俊作	工1号館	工15号講義室
A 1	月2	FEN-CE2a03L1	基礎流体力学	下園 武範	工学部新2号館	工213号講義室
A1A2	月2	FEN-AR2q01L1	建築構造解析第一	藤田 香織 塩原 等 高田 毅士	工1号館	工12号講義室
A 2	月2	FEN-UE2m04L1	環境公衆衛生	福士 謙介	工14号館	144講義室
A1A2	月2	FEN-MX2b01L1	流れ学第一	高木 周 杵淵 郁也	工学部新2号館	工221号講義室
A1A2	月2	FEN-AA2u41L1	航空宇宙情報システム学第一	堀 浩一	駒場5号館	513
A1A2	月2	FEN-EE2c02L1	デジタル回路	入江 英嗣	駒場7号館	721
A1A2	月2	FEN-AM2220L1	統計熱力学	岩佐 義宏	駒場11号館	1108
A 1	月2	FEN-MA2201L1	材料量子力学	渡邊 聡	駒場5号館	511
A 2	月2	FEN-MA2301L1	有機材料化学	山崎 裕一 吉田 亮	駒場5号館	511
A 1	月2	FEN-CH2200L1	電気工学大要第一	杉山 正和	駒場11号館	1102
A 2	月2	FEN-CH2306L1	化学工学I	酒井 康行	駒場7号館	761
A 1	月2	FEN-SI2b11L1	材料力学 1	村山 英晶	駒場5号館	533
A 2	月2	FEN-SI2b12L1	材料力学 2	村山 英晶	駒場5号館	533
A1A2	月3 月4	FEN-CO2927S1	数学及力学演習 G	矢入 健久	駒場5号館	521
A 1	月3	FEN-CE2a06L1	基盤技術設計論I	長山 智則 高橋 佑弥 古関 潤一	工1号館	工15号講義室
A 2	月3	FEN-CE2a07L1	基盤技術設計論II	長山 智則 高橋 佑弥 古関 潤一	工1号館	工15号講義室
A1A2	月3	FEN-AR2r01L1	建築構法概論	清家 剛	工1号館	工12号講義室
A1A2	月3	FEN-MX2602L1	計測の原理と応用	下山 勲 米谷 玲皇 割澤 伸一	工学部新2号館	工221号講義室
A 2	月3 月4 月5	FEN-PE2801S1	設計演習II	深野 暁雄 浅間 一	情報教育棟	E26
A 1	月3 月4	FEN-PE2d00L1	プログラミング基礎I	田村 雄介 木下 裕介	情報教育棟	E26
A1A2	月3	FEN-EE2201L1	電気磁気学I	小野 亮 種村 拓夫	駒場7号館	761
A1A2	月3	FEN-AM2150L1	最適化手法	谷川 眞一	駒場11号館	1108
A 1	月3	FEN-CH2307L1	有機化学I	工藤 一秋 吉江 尚子	駒場13号館 駒場13号館	1311・1312
A 2	月3	FEN-CH2308L1	有機化学II	相川 光介 藤田 誠	駒場13号館	1311・1331
A 1	月3	FEN-SI2w53L1	社会システム工学基礎	吉田 好邦	駒場5号館	533
A 2	月3	FEN-SI2w54L1	知識と知能	青山 和浩 西野 成昭 大澤 幸生	21KOMCEE East	K213
A 1	月4	FEN-CE2101L1	数理分析の基礎	市村 強 本田 利器	工1号館	工15号講義室
A 2	月4	FEN-CE2401L1	基礎経済学	羽藤 英二	工1号館	工15号講義室
A 1	月4	FEN-UE2101L1	基礎統計	中谷 隼	工14号館	144講義室
A 2	月4	FEN-UE2102L1	社会調査法	浅見 泰司 樋野 公宏 廣井 悠	工14号館	144講義室
A1A2	月4	FEN-MX2601L1	システム制御 1	長 隆之 杉田 直彦 福井 類 山本 江	工学部新2号館	工221号講義室
A1A2	月4	FEN-EE2202L1	電気磁気学II	小野 亮 種村 拓夫	駒場7号館	761

開講区分名	開講 曜日	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	月4	FEN-AM2d10L1	数値解析	松尾 宇泰	駒場11号館	1108
A 1	月4	FEN-CH2301L1	物理化学I	眞弓 皓一	駒場12号館	1225
A 2	月4	FEN-CH2302L1	量子化学I	田村 宏之 石北 央	駒場12号館	1225
A 2	月4 月5	FEN-SI2503L1	環境・エネルギー材料科学概論	寺井 隆幸 阿部 弘亨	駒場13号館	1331
A 1	月4	FEN-SI2w01L1	システム創成学基礎	古田 一雄	駒場5号館	533
A 1	月4 月5	FEN-CO2922L1	数学及力学演習 B	伊山 潤	工1号館	工12号講義室
A 1	月5	FEN-CE2d01L1	基礎情報学	石原 孟 山口 敦	情報基盤センター	情報基盤センター 大演習室1
A 1	月5	FEN-SI2701L1	安全学基礎	古田 一雄	駒場5号館	533
A 2	火1	FEN-AR2q04L1	荷重外力論第一	高田 毅士	工1号館	工11号講義室
A1A2	火1	FEN-MX2b06L1	機械力学	金子 成彦 小竹 元基 山崎 由大 党 超鋌	工学部新2号館	工221号講義室
A1A2	火1	FEN-PE2e00L1	材料工学I	伊藤 寿浩 高松 誠一	工14号館	142講義室
A1A2	火1	FEN-EE2d04L1	情報通信理論	相澤 清晴	駒場11号館	1108
A 1	火1	FEN-CH2305L1	コンピュータ科学	大久保 將史	駒場13号館	1331
A 2	火1	FEN-CH2m00S1	コンピュータ及び演習	小寺 正明	情報教育棟	E21
A 1	火1 火2	FEN-SI2z02L1	ビジネス入門	元橋 一之	駒場13号館	1312
A 1	火2	FEN-CE2a02L1	構造の力学	長山 智則 本田 利器	工学部新2号館	工213号講義室
A 2	火2	FEN-CE2a05L1	水理学	知花 武佳 池内 幸司	工1号館	工14号講義室
A1A2	火2	FEN-AR2o01L1	環境工学概論	前 真之 平手 小太郎 佐久間 哲哉 赤司 泰義	工8号館	工83号講義室
A1A2	火2	FEN-MX2903S1	機械力学演習	高橋 宏知 山崎 由大 二瓶 美里 党 超鋌 学科長	工学部新2号館	工221号講義室
A1A2	火2	FEN-AA2u46L1	航空機力学第一	今村 太郎	駒場1号館	164
A1A2	火2	FEN-PE2c00L1	電気回路基礎	神保 泰彦	工14号館	142講義室
A1A2	火2	FEN-EE2601L1	電気電子計測	廣瀬 明	駒場11号館	1108
A1A2	火2	FEN-AM2211L1	電磁気学第一	芝内 孝禎	駒場7号館	724
A 1	火2	FEN-MA2e02L1	材料速度論	長汐 晃輔 神原 淳	工4号館	工42号講義室
A 2	火2	FEN-MA2e03L1	材料相平衡論	松浦 宏行	工4号館	工42号講義室
A 1	火2	FEN-CH2303L1	分析化学I	田端 和仁	駒場5号館	525
A 2	火2	FEN-CH2309L1	分析化学II	北森 武彦 馬渡 和真	駒場5号館	525
A 2	火2	FEN-SI2501L1	環境・エネルギー概論	寺井 隆幸 鈴木 英之 ドドビバ ジョルジ	駒場5号館	523
A 1	火2	FEN-SI2504L1	地球科学	徳永 朋祥 中村 謙太郎 加藤 泰浩	駒場5号館	524
A 1	火2	FEN-SI2d08L1	データ指向モデリング	和泉 潔 鳥海 不二夫	駒場12号館	1214
A 2	火3	FEN-CE2a04L1	材料の力学	長井 宏平 古関 潤一 酒井 雄也	工学部新2号館	工211号講義室
A 1	火3	FEN-AR2s01L1	建築材料学概論	野口 貴文	工1号館	工12号講義室
A1A2	火3	FEN-UE2m07L1	緑地計画概論	横張 真	工14号館	141講義室
A1A2	火3	FEN-MX2902S1	機械数学演習	柘淵 郁也 牛久 祥孝 学科長	工学部新2号館	工221号講義室
A1A2	火3	FEN-AA2u62L1	航空宇宙推進学第一	中谷 辰爾	21KOMCEE East	K212
A 1	火3 火4	FEN-PE2b00L1	機械振動学基礎	保坂 寛	工14号館	142講義室
A1A2	火3 火4	FEN-EE2c01L1	電気回路理論第一	藤本 博志 小関 泰之	駒場11号館	1108
A 1	火3	FEN-AM2100L1	基礎数理	岩田 覚	駒場7号館	761
A 2	火3	FEN-AM2240L1	半導体概論	千葉 大地	駒場11号館	1102
A 2	火3	FEN-MA2302L1	無機材料化学	喜多 浩之	工4号館	工42号講義室

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A 1	火3	FEN-MA2303L1	材料結晶学	阿部 英司	工4号館	工42号講義室
A 2	火3	FEN-CH2300L1	物性論I	竹谷 純一	駒場11号館	1101
A 1	火3	FEN-CH2304L1	無機化学I	宮山 勝	駒場5号館	525
A1A2	火3	FEN-SI2900S1	動機付けプロジェクト	愛知 正温		E42・E39・E35・ E25・184・167・ 151・115・113・ 112・1105・109
				藤田 豊久		
				青山 和浩		
	火4			早稲田 卓爾		
				沖田 泰良		
				菅野 太郎		
	火5			中村 謙太郎		
				柴田 和也		
				松尾 豊		
A1A2	火4	FEN-CE2m23L1	社会基盤学序論	藤井 康正	工1号館	工14号講義室
				橋本 学		
				石田 哲也		
				布施 孝志		
A1A2	火4	FEN-AR2m05L1	都市建築史概論	田島 芳満	工1号館	工11号講義室
				羽藤 英二		
				加藤 耕一		
A1A2	火4	FEN-UE2m08L1	都市居住概論	教員	工1号館	工11号講義室
A1A2	火4	FEN-UE2m08L1	都市居住概論	樋野 公宏	工14号館	141講義室
A1A2	火4	FEN-MX2b03L1	熱工学第一	飛原 英治	工学部新2号館	工221号講義室
			大宮司 啓文			
A 1	火4	FEN-AM2610L1	回路とシステムの基礎	檜山 敦	駒場7号館	761
A 2	火4	FEN-MP2710L1	認識行動システムの基礎	稲見 昌彦	21KOMCEE East	K212
A 2	火4	FEN-MA2202L1	材料統計力学	木村 薫	工4号館	工42号講義室
A 1	火4	FEN-MA2e01L1	基礎熱力学	山口 周	工4号館	工42号講義室
A 1	火4	FEN-CA2900L1	応用化学基礎論	渡邊 力也	駒場5号館	531
				各教員		
A1A2	火4	FEN-CB2001L3	Introductory lectures for chemistry and biotechnology	池内 与志徳	駒場12号館	1214
				各教員		
A1A2	火4	FEN-CS2901L1	化学システム工学基礎論	山田 淳夫	駒場12号館	1212
				各教員		
A1A2	火5	FEN-CO2145L1	数理手法V(Aクラス)	藤原 毅夫	駒場7号館	761
A 1	火5	FEN-CE2a17L1	水圏デザイン基礎	知花 武佳	工1号館	工14号講義室
				田島 芳満		
				池内 幸司		
				芳村 圭		
				鯉淵 幸生		
A 1	火5	FEN-UE2d01L1	情報学概論	各教員	工14号館	144講義室
A1A2	火5	FEN-MA2e08L1	マテリアル工学概論	渡邊 聡	工4号館	工42号講義室
				小関 敏彦		
				榎 学		
				石原 一彦		
A1A2	水1	FEN-CO2f00L1	生命科学概論(電気系・物工・計数)	高橋 浩之	駒場11号館	1101
				高木 周		
				酒井(古川) 克子		
				廣瀬 明		
				田畑 仁		
A1A2	水1	FEN-CO2f01L1	生命科学概論(マテ・応化・化シス)	大庭 伸介	駒場11号館	1102
				鈴木 健夫		
				野地 博行		
				石北 央		
A 1	水1 水2	FEN-UE2m05L1	都市計画概論	大方 潤一郎	駒場13号館	1311
A1A2	水1	FEN-MX2d01L1	ソフトウェア第一	岡田 慧	情報教育棟	E21
				森本 賢一		
				山本 江		
A1A2	水2	FEN-CO2601L1	計測通論A	並木 明夫	21KOMCEE East	K214
A1A2	水2	FEN-CO2602L1	計測通論B	池内 真志	21KOMCEE East	K213
A1A2	水2	FEN-CO2603L1	計測通論C	渡辺 義浩	21KOMCEE East	K212
A1A2	水2	FEN-CE2m24L1	社会基盤史	北河 大次郎	駒場13号館	1312
				中井 祐		
A1A2	水2	FEN-MX2904S1	機械ソフトウェア演習	岡田 慧	情報教育棟	E21
				森本 賢一		
				山本 江		
A1A2	水2	FEN-PE2600L1	計測と加工の基礎	梶原 優介	駒場12号館	1221
A1A2	水2	FEN-EE2d03S1	プログラミング基礎演習	長谷川 禎彦	情報教育棟	E31
A1A2	水2	FEN-SI2e01L1	物性学基礎	長谷川 秀一	駒場13号館	1321
				沖田 泰良		

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A 1	水2	FEN-SI2t04S1	力学演習 1	早稲田 卓爾	21KOMCEE East	K114・K211
				羽柴 公博		
				尾崎 雅彦		
A 2	水2	FEN-SI2t05S1	力学演習 2	早稲田 卓爾	21KOMCEE East	K114・K211
				羽柴 公博		
				北澤 大輔		
				尾崎 雅彦		
A1A2	水3	FEN-CO2141L1	数理手法I	合田 隆	駒場7号館 情報教育棟	743・E26・E21・E41・E42
A1A2	水3	FEN-CO2c01L1	電気工学通論第一	縄田 和満		
A1A2	水3	FEN-CE2m25L1	国際プロジェクト序論	加藤 浩徳	駒場13号館	1312
				石田 哲也		
				田島 芳満		
				小松崎 俊作		
				本田 利器		
A 1	水3 水4	FEN-AR2w01S1	造形第一	小淵 祐介	工8号館	工83号講義室
A 2	水3 水4	FEN-AR2w02S1	造形第二	高木 秀太 隈 研吾	工8号館	工83号講義室
A1A2	水3	FEN-UE2m02L1	環境水質化学	中島 典之 小熊 久美子	駒場12号館	1214
A1A2	水3	FEN-PE2100L1	精密数理I-1	小谷 潔	駒場12号館	1221
A1A2	水3	FEN-AM2231L1	量子力学第一	鹿野田 一司	駒場7号館	741
A1A2	水4	FEN-CO2111L1	数学 1 A	佐々 成正	駒場7号館	741
A1A2	水4	FEN-CO2112L1	数学 1 B	井上 純一	駒場5号館	525
A1A2	水4	FEN-CO2114L1	数学 1 D	江澤 雅彦	駒場7号館	743
A1A2	水4	FEN-CO2115L1	数学 1 E	妹尾 仁嗣	駒場11号館	1106
A1A2	水4	FEN-SI2101S1	数理演習 1	愛知 正温	21KOMCEE East	K212・K213・K214
				阿部 弘亨		
				早稲田 卓爾		
				松島 潤		
	水5			松崎 浩之		
				多部田 茂		
				井原 智彦		
				橋本 学		
A1A2	水5	FEN-CO2148L1	数理手法V(Bクラス)	鳥田 尚	駒場5号館	532
A 1	水5	FEN-AR2r02L1	建築構造計画概論	佐藤 淳	工1号館	工11号講義室
A1A2	水5	FEN-AA2u01L1	空気力学第一	李家 賢一	駒場5号館	511
A 2	木1	FEN-AR2q07L1	建築弾性学	伊山 潤	工1号館	工12号講義室
A 2	木1 木2	FEN-UE2m09L1	都市デザイン概論	出口 敦	工14号館	141講義室
A1A2	木1	FEN-MX2b02L1	材料力学第一	波田野 明日可 泉 聡志	工学部新2号館	工221号講義室
A 2	木1 木2	FEN-PE2101L1	精密数理I-2	中川 桂一	工14号館	142講義室
A 1	木1 木2	FEN-PE2104L1	確率・統計	高松 誠一 木下 裕介	工14号館	142講義室
A1A2	木1 木2	FEN-EE2203L1	電子基礎物理	杉山 正和 山下 真司	駒場5号館	525
A 1	木1	FEN-MA2e07L1	材料力学I	南部 将一 榎 学	駒場5号館	511
A 1	木1	FEN-CH2301L1	物理化学I	眞弓 皓一	駒場12号館	1225
A 2	木1	FEN-CH2308L1	有機化学II	相川 光介 藤田 誠	駒場13号館	1311・1331
A 2	木2	FEN-CE2402L1	社会技術論	加藤 浩徳 小松崎 俊作	工1号館	工15号講義室
A 1	木2	FEN-CE2a03L1	基礎流体力学	下園 武範	工学部新2号館	工213号講義室
A1A2	木2	FEN-AR2e02L1	建築熱環境	赤司 泰義	工1号館	工12号講義室
A1A2	木2	FEN-MX2b04L1	機構学	下山 勲 高畑 智之	工学部新2号館	工221号講義室
A 1	木2	FEN-MA2201L1	材料量子力学	渡邊 聡	駒場5号館	511
A 2	木2	FEN-MA2301L1	有機材料化学	山崎 裕一 吉田 亮	駒場5号館	511
A 2	木2	FEN-CH2302L1	量子化学I	田村 宏之 石北 央	駒場12号館	1225
A 1	木2	FEN-CH2307L1	有機化学I	工藤 一秋 吉江 尚子	駒場13号館	1311・1312
A 1	木2	FEN-SI2b21L1	流体力学 1	柴田 和也 平林 紳一郎	駒場13号館	1331
A 2	木2	FEN-SI2b22L1	流体力学 2	山口 一 柴田 和也	駒場13号館	1331

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	木2	FEN-AA2801S1	航空宇宙学製図第一	姫野 武洋	駒場1号館	167
A1A2	木3 木4	FEN-CO2929S1	数学及力学演習 I	江澤 雅彦	駒場7号館	722・742
A 1	木3	FEN-CE2a06L1	基盤技術設計論I	長山 智則 高橋 佑弥 古関 潤一	工1号館	工15号講義室
A 2	木3	FEN-CE2a07L1	基盤技術設計論II	長山 智則 高橋 佑弥 古関 潤一	工1号館	工15号講義室
A1A2	木3 木4	FEN-AR2v01S1	建築総合演習	清家 剛 建築全教員	工1号館	工12号講義室
A 1	木3 木4 木5	FEN-PE2800S1	設計演習I	二瓶 一裕 鈴木 宏正	工14号館	142講義室
A 2	木3 木4	FEN-PE2d01L1	プログラミング基礎II	田村 雄介 木下 裕介	情報基盤センター	情報基盤センター 大演習室1
A 1	木3 木4	FEN-EE2d01L1 FEN-EE2d01L1	ソフトウェア I	川原 圭博	情報教育棟	E21
A 2	木3 木4	FEN-EE2d02L1 FEN-EE2d02L1	ソフトウェアII	齋藤 大輔	情報教育棟	E21
A 1	木3	FEN-CH2f00L1	生命化学I	山口 哲志 畑中 研一	駒場13号館	1313
A 2	木3	FEN-CH2f01L1	生命化学II	岡本 晃充	駒場13号館	1313
A 1	木3	FEN-SI2w53L1	社会システム工学基礎	吉田 好邦	駒場5号館	533
A 2	木3	FEN-SI2w54L1	知識と知能	青山 和浩 西野 成昭 大澤 幸生	21KOMCEE East	K213
A 1	木4	FEN-CE2101L1	数理分析の基礎	市村 強 本田 利器	工1号館	工15号講義室
A 2	木4	FEN-CE2401L1	基礎経済学	羽藤 英二	工1号館	工15号講義室
A1A2	木4 木5	FEN-UE2901S1	環境計画基礎演習	中谷 隼 各教員	工14号館	145講義室
A1A2	木4 木5	FEN-UE2902S1	都市工学設計製図	全教員	工14号館	141講義室
A 1	木4	FEN-CH2200L1	電気工学大要第一	杉山 正和	駒場11号館	1102
A 2	木4	FEN-CH2306L1	化学工学I	酒井 康行	駒場7号館	761
A 1	木4	FEN-SI2w01L1	システム創成学基礎	古田 一雄	駒場5号館	533
A 1	木5	FEN-CE2d01L1	基礎情報学	石原 孟 山口 敦	情報基盤センター	情報基盤センター 大演習室1
A 1	木5	FEN-SI2701L1	安全学基礎	古田 一雄	駒場5号館	533
A1A2	金1	FEN-UE2m06L1	都市交通論	原田 昇	工14号館	144講義室
A1A2	金1 金2	FEN-MX2901S1	機械工学総合演習第一	中尾 政之 学科長	工学部新2号館	工221号講義室
A1A2	金1	FEN-AA2u61L1	高速内燃機関	津江 光洋	工8号館	工83号講義室
A1A2	金1	FEN-PE2b03L1	連続体力学基礎	三村 秀和	工14号館	142講義室
A1A2	金1	FEN-EE2501L1	エネルギー工学	松橋 隆治 日高 邦彦	駒場11号館	1108
A 2	金1	FEN-CH2300L1	物性論I	竹谷 純一	駒場11号館	1101
A 1	金1	FEN-CH2304L1	無機化学I	宮山 勝	駒場5号館	525
A 1	金1 金2	FEN-SI2z02L1	ビジネス入門	元橋 一之	駒場13号館	1312
A 1	金2	FEN-CE2a02L1	構造の力学	長山 智則 本田 利器	工学部新2号館	工213号講義室
A 2	金2	FEN-CE2a05L1	水理学	知花 武佳 池内 幸司	工1号館	工14号講義室
A 1	金2	FEN-AR2n08L1	建築設計基礎第一	西出 和彦 松田 雄二 大月 敏雄	工1号館	工15号講義室
A 2	金2	FEN-AR2n09L1	建築設計基礎第二	西出 和彦 松田 雄二 大月 敏雄	工1号館	工15号講義室
A 2	金2	FEN-UE2d02L1	都市情報科学概論	貞廣 幸雄	工14号館	144講義室
A1A2	金2 金3	FEN-AA2u21L1	基礎材料力学	上西 幸司	工8号館	工83号講義室
A1A2	金2	FEN-PE2604L1	信号処理工学	山本 晃生	工14号館	142講義室
A1A2	金2	FEN-EE2c03L1	電子デバイス基礎	竹中 充 染谷 隆夫	駒場11号館	1102
A1A2	金2	FEN-AM2900S1	物理数学	鹿野田 一司 岩佐 義宏 芝内 孝禎	工学部新2号館	工212号講義室

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A 1	金2	FEN-MA2e02L1	材料速度論	長汐 晃輔	工4号館	工42号講義室
				神原 淳		
A 2	金2	FEN-MA2e03L1	材料相平衡論	松浦 宏行	工4号館	工42号講義室
A 1	金2	FEN-CH2303L1	分析化学I	田端 和仁	駒場5号館	525
A 2	金2	FEN-CH2309L1	分析化学II	北森 武彦	駒場5号館	525
				馬渡 和真		
A 2	金2	FEN-SI2501L1	環境・エネルギー概論	寺井 隆幸	駒場5号館	523
				鈴木 英之		
				ドドビバ ジョルジ		
A 1	金2	FEN-SI2504L1	地球科学	徳永 朋祥	駒場5号館	524
				中村 謙太郎		
				加藤 泰浩		
A 1	金2	FEN-SI2d08L1	データ指向モデリング	和泉 潔	駒場12号館	1214
				鳥海 不二夫		
A 2	金3	FEN-CE2a04L1	材料の力学	長井 宏平	工学部新2号館	工211号講義室
				古関 潤一		
				酒井 雄也		
A 1	金3	FEN-CE2m01S1	導入プロジェクト	中井 祐	工1号館	土木設計演習室
	金4					
	金5					
A 1	金3	FEN-AR2n01S1	建築設計製図第一	千葉 学 建築全教員	工1号館	工1号館製図室
	金4					
	金5					
A 2	金3	FEN-AR2n02S1	建築設計製図第二	千葉 学 建築全教員	工1号館	工1号館製図室
	金4					
	金5					
A1A2	金3	FEN-UE2m01L1	都市環境概論	古米 弘明	工14号館	144講義室
				福士 謙介		
				森口 祐一		
A1A2	金3	FEN-MX2b05L1	メカトロニクス	高畑 智之	工学部新2号館	工221号講義室
A 1	金3	FEN-AA2u43L1	宇宙工学入門	中須賀 真一	工8号館	工83号講義室
	金4			小泉 宏之		
A1A2	金3	FEN-PE2900S1	精密工学基礎演習	岩崎 晃	工14号館	142講義室
				高増 潔		
				太田 順		
				大竹 豊		
				浅間 一		
A1A2	金3	FEN-EE2101S1	電気電子数学演習	伊藤 寿浩	駒場13号館	1311・1321・1322
				高橋 哲		
				横田 知之		
A 1	金3	FEN-AM2100L1	基礎数理	岩田 覚	工学部新2号館	工212号講義室
A 2	金3	FEN-AM2240L1	半導体概論	千葉 大地	工学部新2号館	工212号講義室
A 2	金3	FEN-MA2302L1	無機材料化学	喜多 浩之	工4号館	工42号講義室
A 1	金3	FEN-MA2303L1	材料結晶学	阿部 英司	工4号館	工42号講義室
A 1	金3	FEN-CH2305L1	コンピュータ科学	大久保 将史	駒場13号館	1331
A 2	金3	FEN-CH2m00S1	コンピュータ及び演習	小寺 正明	情報教育棟	E21
A1A2	金3	FEN-SI2d01S1	プログラミング基礎	今野 義浩	情報教育棟	E21・E38・E41・E42
				小林 肇		
				藤井 秀樹		
A1A2	金4	FEN-UE2901S1	環境計画基礎演習	中谷 隼	工14号館	145講義室
	金5			各教員		
A1A2	金4	FEN-UE2902S1	都市工学設計製図	全教員	工14号館	141講義室
A1A2	金4	FEN-MX2801L1	機械設計	村上 存	工学部新2号館	工221号講義室
				草加 浩平		
				柳澤 秀吉		
A 1	金4	FEN-AM2610L1	回路とシステムの基礎	檜山 敦	工学部新2号館	工212号講義室
A 2	金4	FEN-MP2710L1	認識行動システムの基礎	稲見 昌彦	工学部新2号館	工212号講義室
A 2	金4	FEN-MA2202L1	材料統計力学	木村 薫	工4号館	工42号講義室
A 1	金4	FEN-MA2e01L1	基礎熱力学	山口 周	工4号館	工42号講義室
A 1	金4	FEN-CA2900L1	応用化学基礎論	渡邊 力也	駒場5号館	531
				各教員		
A1A2	金4	FEN-CS2902L1	環境システム工学概論	戸野倉 賢一	駒場5号館	532
				各教員		
A1A2	金5	FEN-MX2802L1	生産の技術	中尾 政之	工学部新2号館	工213号講義室
				長藤 圭介		
A1A2	金5	FEN-MA2901L1	マテリアル工学自由研究	学科長	工4号館	工42号講義室
A 1	金5	FEN-SI2202L1	応用のための物理I(古典論)	吉田 善章	駒場13号館	1322
A 2	金5	FEN-SI2203L1	応用のための物理II(熱力学)	吉田 善章	駒場13号館	1322

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	金5	FEN-SI2w60L1	社会システムと産業	大島 春行	駒場12号館	1212
				坂田 一郎		
A1A2	集中	FEN-MA2914L3	UT-MIT International Lecture(2年生対象)	高井 まどか	工4号館	工41号講義室

※工学部学務課学部チーム：03-5841-6036

平成30年度 Aセメスター (A1・A2) 専門科目一覽表

文学部

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	月2	04180442	倫理学特殊講義II	頼住 光子 池松 辰男	駒場1号館	156
A1A2	月2	04181155	日本史学特殊講義XV	村 和明 野島(加藤) 陽子	法文1号館	113
A1A2	月2	04181211	東洋史学研究入門	佐川 英治 守川 知子	駒場1号館	119
A1A2	月2	04181401	考古学概論I	設楽 博己	法文1号館	319
A1A2	月2	04183801	比較文学概論	河野 至恩	法文1号館	315
A1A2	月3	04185624	フランス語後期II	秋山 伸子	法文1号館	314
A1A2	月3	04182202	国語学概論II	肥爪 周二	法文1号館	312
A1A2	月3	04183042	英語学英米文学特殊講義II	大橋 洋一	法文1号館	113
A1A2	月3	04183266	フランス語学フランス文学演習VI	野崎 欽	法文1号館	316
A1A2	月3 月4	04184272	社会心理学実習II	橋本 剛明 唐沢 かおり 白岩 祐子	法文1号館	215・216
A1A2	月3 月4	04184311	社会調査	白波瀬 佐和子 藤原 翔	法文2号館	1番大教室
A1A2	月4	04185703	原典を読むIII	阿部 公彦 後藤 和彦	法文2号館	2番大教室
A1A2	月4	04180621	原典講読I	渡辺 裕	法文1号館	316
A1A2	月4	04183047	英語学英米文学特殊講義VII	阿部 公彦 後藤 和彦	法文2号館	2番大教室
A1A2	月5	04185632	イタリア語中級II	倉重 克明	法文1号館	112
A 1	月5	04180301	インド哲学概論	高橋 晃一	駒場1号館	104
A 1	月5	04182512	印度文学史概説II	高橋 晃一	駒場1号館	104
A1A2	月5	04180511	宗教史概説I	池澤 優	法文1号館	113
A1A2	月5	04182367	国文学演習VII	鉄野 昌弘	法文2号館	2430研究室
A1A2	月5	04183164	ドイツ語学ドイツ文学演習IV	宮田 眞治	駒場1号館	108
A1A2	火2	04181001	史学概論	橋場 弦	駒場11号館	1102
A1A2	火2	04185301	文化交流特殊講義I	小島 毅	法文1号館	317
A1A2	火2	04185611	英語後期V	兼武 道子	法文1号館	115
A1A2	火2	04180322	仏教概論II	蓑輪 顕量	法文1号館	212
A1A2	火2	04180514	宗教史概説IV	市川 裕	法文2号館	2番大教室
A1A2	火2	04180643	美学芸術学特殊講義III	伊藤 亜紗	法文1号館	316
A1A2	火2	04183211	フランス文学史概説	塩塚 秀一郎	法文1号館	216
A1A2	火2	04183311	スラヴ文学史概説	楯岡 求美	文学部3号館	スラヴ演習室
A1A2	火2	04183844	近代文学特殊講義 I V	柳原 孝敦	法文1号館	219
A1A2	火3	04185511	漢文学	長尾 直茂	法文1号館	212
A1A2	火3	04180512	宗教史概説II	藤原 聖子	法文2号館	2番大教室
A1A2	火3	04180626	原典講読VI	小田部 胤久	法文1号館	217
A1A2	火3	04181241	東洋史学特殊講義I	佐川 英治	法文1号館	214
A1A2	火3	04182366	国文学演習VI	渡部 泰明	法文2号館	2430研究室
A1A2	火3	04182502	印度語学概論II	梶原 三恵子	法文1号館	112
A1A2	火3	04183267	フランス語学フランス文学演習VII	塚本 昌則	法文1号館	216
A1A2	火3 火4	04184271	社会心理学実習I	橋本 剛明 亀田 達也 白岩 祐子	法文1号館	113
A1A2	火3 火4	04184171	心理学実験演習I	鈴木 敦命 横澤 一彦 村上 郁也 今水 寛 中島 亮一 李 琦	法文1号館	113
A1A2	火4	04180201	中国思想文化学概論I	横手 裕	法文1号館	314
A1A2	火4	04182142	言語学特殊講義II	西村 義樹	文学部3号館	言語学演習室3604
A1A2	火4	04182246	国語学特殊講義VI	肥爪 周二	法文1号館	312
A1A2	火4	04182342	国文学特殊講義II	安藤 宏	法文2号館	1番大教室
A1A2	火4	04183265	フランス語学フランス文学演習V	SIMON-OIKAWA Marianne	法文1号館	216
A1A2	火4	04183845	近代文学特殊講義V	阿部 賢一	法文1号館	219
A1A2	火5	04184101	心理学概論I	村上 郁也	国際学術総合研究棟	3番大教室
A 2	火5 火6	04180563	宗教学演習III	藤原 聖子	法文1号館	219
A1A2	水2	04180312	インド哲学史概説II	加藤 隆宏	法文1号館	214
A1A2	水2	04180502	宗教学概論II	西村 明	国際学術総合研究棟	3番大教室

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	水2	04181311	西洋史学研究入門	勝田 俊輔	駒場11号館	1102
				橋場 弦		
				高山 博		
				長井 伸仁		
				池田 嘉郎		
A 1	水2	04182101	言語学概論I	梅谷 博之	法文1号館	314
				西村 義樹		
				小林 正人		
A 2	水2	04182102	言語学概論II	梅谷 博之	法文1号館	314
				西村 義樹		
				小林 正人		
A1A2	水2	04182345	国文学特殊講義V	鉄野 昌弘	法文1号館	212
A1A2	水2	04182464	中国語学中国文学演習IV	齋藤 希史	赤門総合研究棟	赤門738
A1A2	水2	04183942	西洋古典学特殊講義II	葛西 康徳	本郷	各研究室等
A1A2	水3	04180112	西洋哲学史概説第1部II	納富 信留	法文1号館	113
A1A2	水3	04180212	中国思想文化史概説II	陳 捷	赤門総合研究棟	赤門721
A1A2	水3	04180642	美学芸術学特殊講義II	三浦 俊彦	法文1号館	212
A1A2	水3	04180764	イスラム学演習IV	菊地 達也	赤門総合研究棟	赤門840
A1A2	水3	04181243	東洋史学特殊講義III	島田 竜登	法文2号館	2番大教室
A1A2	水3	04182112	音声学II	梅谷 博之	文学部3号館	言語学演習室3604
A1A2	水3	04182242	国語学特殊講義II	月本 雅幸	法文1号館	314
A1A2	水3	04182350	国文学特殊講義X	長島 弘明	法文1号館	112
A1A2	水3	04183112	ドイツ文学史概説II	大宮 勘一郎	法文1号館	318
A1A2	水4	04180262	中国思想文化学演習II	横手 裕	赤門総合研究棟	赤門721
A1A2	水4	04180565	宗教学演習V	西村 明	法文1号館	210
A1A2	水4	04183221	フランス語圏言語文化	野崎 歆	法文1号館	217
A1A2	水5	04180702	イスラム学概論II	菊地 達也	法文1号館	212
A1A2	水5	04182344	国文学特殊講義IV	高木 和子	法文1号館	113
A1A2	水5	04183243	フランス語学フランス文学特殊講義III	塚本 昌則	法文1号館	216
A 2	水5	04181541	美術史学特殊講義I	佐藤 康宏	法文1号館	211
	水6					
A1A2	木1	04182122	比較言語学II	小林 正人	文学部3号館	言語学演習室3604
A1A2	木2	04180122	西洋哲学史概説第2部II	鈴木 泉	法文1号館	112
A 1	木2	04180301	インド哲学概論	高橋 晃一	駒場1号館	104
A 1	木2	04182512	印度文学史概説II	高橋 晃一	駒場1号館	104
A1A2	木2	04180402	倫理学概論II	頼住 光子	法文1号館	113
A1A2	木2	04180762	イスラム学演習II	柳橋 博之	赤門総合研究棟	赤門840
A 1	木2	04182101	言語学概論I	梅谷 博之	法文1号館	314
				西村 義樹		
				小林 正人		
A 2	木2	04182102	言語学概論II	梅谷 博之	法文1号館	314
				西村 義樹		
				小林 正人		
A1A2	木2	04182352	国文学特殊講義XII	佐藤 至子	法文1号館	312
A1A2	木3	04185628	ロシア語中級II	中澤 佳陽子	法文1号館	114
A1A2	木3	04180412	西洋倫理思想史概説II	古田 徹也	法文1号館	214
A1A2	木3	04183053	英語学英米文学特殊講義XIII	貞廣 真紀	法文1号館	113
A1A2	木4	04180023	多分野講義III	David PEACE	法文1号館	217
A1A2	木4	04180628	原典講読VIII	柳澤 史明	法文1号館	317
				小田部 胤久		
A1A2	木4	04183050	英語学英米文学特殊講義X	STEPHEN H CLARK	法文1号館	215
A1A2	木4	04183444	イタリア語学イタリア文学特殊講義IV	長野 徹	文学部3号館	南欧文学研究室3804
				Lorenzo Amato		
A 1	木4 木5	04181453	考古学特殊講義XIII	近藤 修	駒場12号館	1214
A1A2	木5	04183364	スラヴ語学スラヴ文学演習IV	楯岡 求美	法文1号館	112
A1A2	金2	04182364	国文学演習IV	高木 和子	法文1号館	115
A1A2	金2	04182511	印度文学史概説I	水野 善文	法文1号館	112
A1A2	金2	04183270	フランス語学フランス文学演習X	SIMON-OIKAWA Marianne	法文1号館	216
A1A2	金2	04184121	心理学統計I	岡田 謙介	駒場11号館	1108
A1A2	金2	04184231	社会心理学統計I	岡田 謙介	駒場11号館	1108
A1A2	金1	04184301	社会学概論	井口 高志	駒場1号館	113
				武川 正吾		
				佐藤 健二		
				中村 雄祐		
				本田 洋		
	金 成垣					
	白波瀬 佐和子					
	赤川 学					
	祐成 保志					
	出口 剛司					

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	金3	04185616	英語後期X	古屋 耕平	文学部3号館	英文辞書室
A1A2	金3	04185622	フランス語前期II	横山 安由美	法文1号館	214
A1A2	金3	04180601	美学概論	小田部 胤久	法文2号館	2番大教室
A1A2	金3	04182301	国文学概論	佐藤 至子	駒場5号館	521
				渡部 泰明		
A1A2	金3	04183268	フランス語学フランス文学演習VIII	塩塚 秀一郎	法文1号館	216
A1A2	金4	04180624	原典講読IV	天内 大樹	法文1号館	217
A1A2	金4	04181565	美術史学演習V	秋山 聰	赤門総合研究棟	赤門738
A1A2	金4	04184111	心理学研究法	四本 裕子	駒場12号館	1225
A1A2	金5	04180102	哲学概論II	榊原 哲也	法文2号館	2番大教室
A1A2	金5	04180422	東洋倫理思想史概説II	頼住 光子	法文1号館	113
A1A2	金5	04182247	国語学特殊講義VII	月本 雅幸	駒場1号館	155

※文学部教務係：03-5841-3709

平成30年度 Aセメスター (A1・A2) 専門科目一覧表

理学部

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	月1	0528073	層序地質学	狩野 彰宏	駒場1号館	112
				對比地 孝亘		
				WALLIS, Simon Richard		
A1A2	月2	0515009	電磁気学I	櫻井 博儀	駒場11号館	1106
A1A2	月2	0560501	生物情報学基礎論I	笠原 雅弘	駒場1号館	113
				浅井 潔		
				津田 宏治		
				岩崎 渉		
A 1	月3 月4	0515085	解析力学	常行 真司	駒場11号館	1106
A 2	月3 月4	0515086	量子力学I	福嶋 健二	駒場11号館	1106
A1A2	月3	0528002	地球システム進化学	廣瀬 敬	駒場1号館	150
				田近 英一		
				遠藤 一佳		
A1A2	月3	0540016	植物形態学	川北 篤	駒場1号館	156
				塚谷 裕一		
A1A2	月4	0510006	ハードウェア構成法	小林 芳直	駒場5号館	511
A1A2	月4	0528005	地球惑星環境学基礎演習I	田近 英一	駒場1号館	150
A1A2	月4	0540004	遺伝学	角谷 徹仁	駒場1号館	157
				小林 武彦		
				斎藤 成也		
A1A2	月5	0530003	量子化学I	山内 薫	駒場11号館	1101
A1A2	月5	0560502	生物情報学基礎論II	黒田 真也	駒場1号館	113
				程 久美子		
				鈴木 穰		
				大島 健志朗		
A1A2	火1 火2	0505001	代数と幾何	今井 直毅	駒場7号館	742
A1A2	火1	0528072	固体地球惑星科学概論	櫻庭 中	駒場1号館	156
				飯塚 毅		
				沖野 郷子		
A1A2	火2	0515003	物理実験学	藤森 淳	駒場11号館	1106
				酒井 広文		
A1A2	火2	0540001	細胞生理学	榎本 和生	駒場5号館	532
				岡 良隆		
A1A2	火3	0510007	アルゴリズムとデータ構造	五十嵐 健夫	21KOMCEE East	K011
A1A2	火3	0526003	地球惑星物理学基礎演習II	横山 央明	21KOMCEE East	K113
	火4			櫻庭 中		
	田中 祐希					
A1A2	火3	0515008	物理学演習II	常行 真司	駒場1号館	157・166
	火4			西岡 辰磨		
				檜山 和己		
				福嶋 健二		
A1A2	火4	0505007	代数と幾何演習	今井 直毅	駒場7号館	721・722
A1A2	火4	0510003	計算機システム	吉本 芳英	駒場12号館	1213
A1A2	火4	0540005	進化生物学	平野 博之	駒場5号館	533
				近藤 修		
				大橋 順		
				遠藤 一佳		
				野崎 久義		
				對比地 孝亘		
				入江 直樹		
				嶋田 正和		
				上島 励		
A1A2	火5	0510008	情報科学基礎実験	萩谷 昌己	情報教育棟	E41
A1A2	火5	0540015	動物系統分類学	上島 励	駒場1号館	121
A1A2	水1	0540017	生態学概論	寺島 一郎	駒場5号館	515
A1A2	水2	0515093	物理学のための科学英語基礎	小野 義正	駒場12号館	1222
A1A2	水2	0542030	植物細胞生理学	杉山 宗隆	駒場12号館	1212
A1A2	木1	0528001	地球環境学	板井 啓明	駒場1号館	151
				茅根 創		
				阿部 彩子		
A1A2	木1 木2	0505003	集合と位相	金井 雅彦	駒場5号館	532
A 1	木2 木3	0515007	物理数学I	松尾 泰	駒場11号館	1106

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A 2	木3 木2	0515076	物理数学II	吉田 直紀	駒場11号館	1106
A1A2	木2	0528003	地球惑星物質科学	小澤 一仁 三河内 岳	駒場5号館	514
A1A2	木2	0535001	生物化学概論I	瀧木 理 深田 吉孝	駒場11号館	1108
A1A2	木3	0540058	生化学・分子生物学	近藤 真理子 阿部 光知	駒場5号館	524
A1A2	木4	0505008	集合と位相演習	金井 雅彦	駒場5号館	532
A1A2	木4 木5	0515004	物理学演習I	櫻井 博儀 松尾 泰 吉田 直紀 赤城 裕 中山 和則	駒場1号館	157・162
A1A2	木4 木5	0520002	天体物理学演習I	松永 典之	駒場5号館	516
A1A2	木4 木5	0526002	地球惑星物理学基礎演習I	横山 央明 河原 創 桂華 邦裕	21KOMCEE West	K303
A 2	木4 木5	0540055	霊長類学	河村 正二 石田 貴文	駒場1号館	105
A 1	木4 木5	0543001	人類生物学	萩原 直道 近藤 修 大橋 順 井原 泰雄 石田 貴文	駒場12号館	1214
A1A2	木5	0530005	分析化学I(総論)	小澤 岳昌	駒場5号館	513
A1A2	金1 金2	0505005	複素解析学I	坂井 秀隆	駒場5号館	513
A1A2	金1	0528074	自然地理学	小口 高 茅根 創 須貝 俊彦 阿部 彩子	駒場1号館	104
A1A2	金1 金2	0530006	有機化学I	原野 幸治 中村 栄一	駒場5号館	512
A1A2	金2	0526005	地球惑星物理学概論	横山 央明 東塚 知己 井出 哲 生駒 大洋	21KOMCEE East	K211
A1A2	金2	0528006	地域論	荒井 良雄	駒場1号館	149
A1A2	金3	0510001	情報数学	國廣 昇	駒場11号館	1108
A1A2	金3	0535002	生物化学概論II	飯野 雄一 塩見 美喜子	駒場1号館	157
A1A2	金4	0505009	複素解析学I演習	坂井 秀隆	駒場5号館	513
A1A2	金4	0510002	形式言語理論	蓮尾 一郎	駒場5号館	511
A1A2	金4	0520003	天文学概論	田村 元秀 戸谷 友則 相川 祐理	駒場11号館	1102
A1A2	金4	0530004	無機化学I	西原 寛	駒場5号館	512
A1A2	金4 金5	0540018	骨格人類学実習	近藤 修	理学部2号館	402
A1A2	金5	0510008	情報科学基礎実験	萩谷 昌己	情報教育棟	E41
A1A2	金5	0530002	化学熱力学I	大越 慎一	駒場5号館	525
A1A2	土1 土2	0530084	初級化学英語演習	化学専攻各教員	化学東館	202号室・220号室

※理学部教務チーム(学部担当): 03-5841-4003

平成30年度 Aセメスター (A1・A2) 専門科目一覽表

農学部

開講区分名	開講曜日	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	月1	060310051	植物栄養学	藤原 徹 神谷 岳洋	農学部1号館	第8講義室
A1A2	月2	060200051	基礎生物化学	東原 和成	農学部1号館	第8講義室
A1A2	月2	060200071	植物生理学	青木 直大	農学部2号館	化学第2講義室
A1A2	月2	060200126	森林環境科学汎論	尾張 敏章 熊谷 朝臣 仁多見 俊夫 龍原 哲 白石 則彦 廣嶋 卓也 堀田 紀文 古井戸 宏通 安村 直樹 蔵治 光一郎	農学部1号館	第7講義室
A1A2	月2	060200181	流れ学	飯田 俊彰	農学部2号館	化学第3講義室
A1A2	月3	060100111	放射線環境学	二瓶 直登 田野井 慶太郎	農学部2号館	化学第3講義室
A1A2	月3	060200091	遺伝学	高野 哲夫	農学部1号館	第8講義室
A1A2	月3	060200149	基礎高分子化学	岩田 忠久 竹村 彰夫	農学部5号館	5-105
A1A2	月3	060200251	応用動物科学概論	中山 裕之 堀 正敏 杉浦 勝明 松田 二子	農学部2号館	化学第2講義室
A1A2	月4	060200081	細胞生物学	有村 慎一	農学部2号館	化学第2講義室
A1A2	月4	060200165	木質構造科学概論	恒次 祐子 信田 聡 青木 謙治 稲山 正弘	農学部1号館	第7講義室
A1A2	月4	060200241	動物生理学	遠藤 秀紀 大久保 範聡 桑原 正貴 西原 眞杉 武内 ゆかり 田中 智 山内 啓太郎 菊池 潔 後藤 康之 金子 豊二 高橋 伸一郎	農学部2号館	化学第3講義室
A 1	月5	060500011	環境倫理	山本 剛史	農学部1号館	第8講義室
A1A2	火1	060320320	構造力学	稲山 正弘	農学部5号館	5-105
A 1	火2	060200147	基礎物理化学	齋藤 継之	農学部5号館	5-105
A1A2	火2	060200215	ミクロ経済学	齋藤 勝宏	農学部1号館	第8講義室
A 1	火2	060310002	農芸化学概論 I	東原 和成 堀内 裕之 関係各教員	農学部2号館	化学第1講義室
A1A2	火3	060100011	人口と食糧	井澤 毅 飯田 俊彰 齋藤 勝宏 妹尾 啓史 中嶋 康博 山次 康幸 山川 卓 良永 知義 篠崎 和子 佐藤 隆一郎 芳賀 猛	農学部1号館	第8講義室
A1A2	火3	060311240	生物素材化学概論	齋藤 継之	農学部5号館	5-105
A1A2	火4	060200201	農業資源経済学汎論	中嶋 康博	農学部1号館	第8講義室
A1A2	火5	060200065	植物分類・形態学	根本 圭介	農学部1号館	第7講義室
A1A2	火5	060320440	ポストハーベスト工学	牧野 義雄	農学部2号館	化学第3講義室
A 2	水1	060320666	ゲーム理論基礎	櫻井 武司	農学部1号館	第9講義室
A1A2	水2	060100061	生物の多様性と進化	佐野 光彦 福田 健二 久保田 耕平 尾仲 宏康 宮下 直	農学部1号館	第8講義室

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A 1	水3	060100075	環境と生物の情報科学	吉野 邦彦	農学部1号館	第4講義室
				飯田 俊彰		
				露木 聡		
				清水 庸		
				山川 卓		
A 1	水3	060100083	化合物の多様性と生理機能 I	松本 雄二	農学部1号館	第8講義室
				岡田 茂		
				中嶋 正敏		
				五十嵐 圭日子		
A 2	水3	060100086	化合物の多様性と生理機能 II	浅見 忠男	農学部1号館	第8講義室
				岡田 憲典		
				東原 和成		
				片岡 宏誌		
A 1A2	水3	060200131	動物分類学	武田 正倫	農学部7号館A棟	7A-104/105
A1A2	水4	060100031	土壌圏の科学	妹尾 啓史	農学部2号館	化学第3講義室
				西村 拓		
				藤原 徹		
				丹下 健		
				溝口 勝		
A1A2	水4	060200011	基礎有機化学	岡田 謙介	農学部1号館	第8講義室
A1A2	水4	060200106	昆虫学	滝川 浩郷	農学部7号館A棟	7A-104/105
				松尾 隆嗣		
				石川 幸男		
A1A2	水5	060100101	食の安全科学	嶋田 透	農学部1号館	第8講義室・第9講義室・第10講義室
				小林 奈通子		
				中山 裕之		
				中嶋 康博		
				八村 敏志		
				山次 康幸		
				有村 慎一		
				浅見 忠男		
				鈴木 道生		
				関崎 勉		
				杉浦 勝明		
				小野寺 節		
安永 円理子						
A1A2	木1	060200021	基礎分析化学	山下 倫明	農学部1号館	第8講義室
A 1	木1	060320663	農業経営概論	鈴木 道生	農学部1号館	第8講義室
A1A2	木2	060200031	基礎微生物学	木南 章	農学部1号館	第9講義室
A1A2	木2	060310310	栽培植物学	大西 康夫	農学部1号館	第8講義室
				柴田 道夫		
A1A2	木2	060412010	農業・資源経済学演習 I	山岸 順子	本郷	研究室
				安藤 光義		
				松本 武祝		
				中嶋 康博		
				櫻井 武司		
A 1	木3	060100093	バイオマス利用学概論	関係各教員	農学部1号館	第8講義室
				芋生 憲司		
				石井 正治		
				岡田 茂		
				岩田 忠久		
				齋藤 継之		
A 2	木3	060100096	森林資源と木材利用	木南 章	農学部1号館	第8講義室
				鮫島 正浩		
				仁多見 俊夫		
				白石 則彦		
				稲山 正弘		
A 2	木3	060311161	薬理学総論	井上 雅文	農学部7号館A棟	7A-104/105
A 1	木4	060100055	環境と景観の生物学	堀 正敏	農学部1号館	第8講義室
				大黒 俊哉		
				山本 清龍		
A1A2	木4	060200191	情報工学	橋本 禪	情報基盤センター 農学部7号館A棟	情報基盤センター 1階大演習室 2 7A-620(PCラボ室)
A 2	木4	060311121	神経生理学	中村 典裕	農学部7号館A棟	7A-104/105
				西原 眞杉		
				山内 啓太郎		

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A 1	木5	060100025	生態系の中の人類	萬木 孝雄	農学部1号館	第8講義室
				斎藤 幸恵		
				八木 信行		
				杉浦 勝明		
				宮沢 佳恵		
				鈴木 宣弘		
A 2	木5	060412015	農村調査概論	戸石 七生	農学部1号館	第9講義室
A1A2	金1	060310031	環境土壌学	妹尾 啓史	農学部1号館	第8講義室
A1A2	金2	060200041	分子生物学	日高 真誠	農学部1号館	第8講義室
				伏信 進矢		
A1A2	金2	060200225	農業史概論	松本 武祝	農学部2号館	化学第2講義室
A1A2	金2	060320430	土壌物理学	濱本 昌一郎	農学部7号館A棟	7A-113
				西村 拓		
A1A2	金3	060200121	動物生態学	久保田 耕平	農学部2号館	化学第3講義室
A1A2	金3	060330041	細菌学	関崎 勉	農学部7号館A棟	7A-104/105
A1A2	金4	060100041	水の環境科学	熊谷 朝臣	農学部1号館	第8講義室
				飯田 俊彰		
				高橋 一生		
				木村 伸吾		
A1A2	金4	060200151	植物生態学	鈴木 牧	農学部2号館	化学第2講義室
				大黒 俊哉		
				小山 明日香		
A1A2	金4	060330051	ウイルス学	堀本 泰介	農学部7号館A棟	7A-104/105
A1A2	金5	060200103	生物統計学	岸野 洋久	情報基盤センター	情報基盤センター大演習室 1
				大森 宏		
				岩田 洋佳		
A1A2	金5	060311071	発生学	金井 克晃	農学部7号館A棟	7A-104/105
A1A2	集中	060311181	実験動物学	久和 茂	農学部	シラバス参照
集中	集中	060500001	農学リテラシー	大島 義人	農学部	シラバス参照
				石井 正治		
				中嶋 康博		
				河鱈 実之		
				笹部 哲郎		
				李 俊佑		
				良永 知義		
				八木 信行		
				蔵治 光一郎		
				久和 茂		
				辻 佳子		
				清水 謙多郎		
				関係各教員		

※農学部教務課学生支援チーム：03-5841-5008

平成30年度 Aセメスター (A1・A2) 専門科目一覧表

経済学部

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A 1	月4	0701101-01	経済原論 I	清水 真志	駒場13号館	1323
	月5					
A 2	月4	0701101-02	経済原論 II	清水 真志	駒場13号館	1323
	月5					
A 1	火1	0701302-01	ファイナンス	齋藤 大河	駒場13号館	1323
	火2					
A 1	火3	0701301-01	経営	稲水 伸行	駒場13号館	1323
	火4					
A 2	火3	0701401-01	経済史 I	馬場 哲	駒場13号館	1323
	火4			谷本 雅之		
A 1	木1	0701102-01	ミクロ経済学 I	神取 道宏	駒場13号館	1323
	木2					
A 2	木1	0701102-02	ミクロ経済学 II	神取 道宏	駒場13号館	1323
	木2					
A 1	木4	0701104-01	統計 I	久保川 達也	駒場13号館	1323
	木5					
A 2	木4	0701104-02	統計 II	久保川 達也	駒場13号館	1323
	木5					
A 1	金1	0701303-01	会計	大日方 隆	駒場13号館	1323
	金2					
A 1	金3	0701103-01	マクロ経済学 I	渡辺 努	駒場13号館	1323
	金4					
A 2	金3	0701103-02	マクロ経済学 II	中嶋 智之	駒場13号館	1323
	金4					

※経済学部教務係：03-5841-5552

教養学部専門科目について

教養学部専門科目には、同一科目名で複数開講されている科目または前期課程の科目と合併の科目が存在します。同じ教員・時間帯で開講されている場合、専門科目コードを確認して履修登録をしてください。特に、教養学部進学予定の学生は誤って履修してしまうと卒業単位に算入されませんので、所属学科・分科・コースの科目かどうか下記の専門科目コード一覧を参照して、間違いのないように履修登録して下さい。

記

科目番号	コース等名	科目番号	コース等名
08X0001	高度教養科目	08C3101	相関社会科学
08A0001	言語共通（共通外国語）科目	08C3201	国際関係論
08B0001	言語専門（専門外国語）科目	08C4001	国際日本研究
08C0001	教養学科共通科目	08D0001	学際科学科共通
08C1001	文化人類学	08D1001	科学技術論
08C1101	表象文化論	08D1101	地理・空間
08C1201	比較文学比較芸術	08D1201	総合情報学
08C1301	現代思想	08D1301	広域システム
08C1401	学際日本文化論	08D1401	国際環境学
08C1501	学際言語科学	08D1501	進化学
08C1601	言語態・テキスト文化論	08E0001	統合自然科学科共通
08C2101	イギリス研究	08E1001	数理自然科学
08C2201	フランス研究	08E1101	物質基礎科学
08C2301	ドイツ研究	08E1201	統合生命科学
08C2401	ロシア東欧研究	08E1301	認知行動科学
08C2501	イタリア地中海研究	08E1401	スポーツ科学サブコース
08C2601	北アメリカ研究	08F0001	学融合プログラム
08C2701	ラテンアメリカ研究	08H0001	特設科目（後期TLP）
08C2801	アジア・日本研究		
08C2901	韓国朝鮮研究		

平成30年度 Aセメスター (A1・A2) 専門科目一覧表

教養学部後期課程

※ 開講場所等が変更される場合があるので、授業開始前に必ずUTASの時間割情報等を確認すること

開講区分名	開講曜日	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	月1	08A9304	共通ラテン語 (4)	井上 秀太郎	駒場1号館	114教室
A 1	月1	08A9701A1	共通日本語 (1)a	藤井 聖子 宇佐美 洋	駒場10号館	10-201
A 2	月1	08A9701B1	共通日本語 (1)b	藤井 聖子 宇佐美 洋	駒場10号館	10-201
A1A2	月1	08E1404	適応生命科学	石井 直方	駒場3号館	113室
A1A2	月1	08X2003	生命科学概論	若杉 桂輔	駒場16号館	126室・127室
A1A2	月2	08A9302	共通ラテン語 (2)	井上 秀太郎	駒場8号館	8-416
A1A2	月2	08B2015	専門ドイツ語 (15)	古荘 真敬	駒場14号館	708室
A1A2	月2	08C1105	表象文化史	河合 祥一郎	駒場8号館	3階・8-323室
A1A2	月2	08C1233	比較文学比較文化論演習III	伊藤 徳也	駒場8号館	8-317
A1A2	月2	08C1316	現代思想特殊研究III	古荘 真敬	駒場14号館	708室
A1A2	月2	08C1517	言語情報処理II[学際言語科学コース]	加藤 恒昭	駒場8号館	8-207
A1A2	月2	08C2510	イタリア地中海表象芸術論	水野 千依	駒場1号館	105教室
A 1	月2	08C2758	ラテンアメリカ地理I	丸山 浩明	駒場1号館	155教室
A 2	月2	08C2759	ラテンアメリカ地理II	丸山 浩明	駒場1号館	155教室
A1A2	月2	08C2830	朝鮮地域特殊演習	木宮 正史	駒場8号館	8-205
A1A2	月2	08C2842	特殊研究演習VIII[アジア・日本研究コース]	大塚 修	駒場8号館	8-206
A1A2	月2	08C2932	韓国朝鮮政治経済論	木宮 正史	駒場8号館	8-205
A1A2	月2	08C312216	特殊研究演習「社会統計分析」	倉田 博史	駒場12号館	1221教室
A1A2	月2	08C322506	特殊研究演習「国際関係データ分析」	倉田 博史	駒場12号館	1221教室
A1A2	月2	08C3229	国際政治理論	石田 淳	駒場8号館	8-210
A1A2	月2	08D1125	ラテンアメリカの自然と社会	丸山 浩明	駒場1号館	155教室
A1A2	月2	08D1219	統計学[総合情報学コース]	嶋田 正和	情報教育棟	E38教室
A1A2	月2	08D1306	統計学I[広域システムコース]	嶋田 正和	情報教育棟	E38教室
A1A2	月2	08D1430	物質循環科学I	中村 尚 小坂 優 田口 文明	21KOMCEE East	K113
A1A2	月2	08D1442	現代の食料消費	岡田 謙介	教養学部	シラバス参照
A1A2	月2	08E1059	統合自然科学セミナー[数理自然科学コース]	寺柚 友秀 金子 邦彦 稲葉 寿	教養学部	シラバス参照
A1A2	月2	08E1164	統合自然科学セミナー[物質基礎科学コース]	平岡 秀一 鳥井 寿夫 松田 恭幸	教養学部	シラバス参照
A1A2	月2	08E1244	統合自然科学セミナー[統合生命科学コース]	矢島 潤一郎 若杉 桂輔	教養学部	シラバス参照
A1A2	月2	08E1335	統合自然科学セミナー[認知行動科学コース]	四本 裕子 各教員	教養学部	シラバス参照
A1A2	月2	08E1411	スポーツ生化学	八田 秀雄	駒場9号館	会議室
A1A2	月3	08A0012	共通英語 (12)	THURGILL JAMES CHRISTOPHER	駒場1号館	103教室
A1A2	月3	08A0205	共通英語 (Adv ALE 5)	沈 尚玉	駒場10号館	10-101
A1A2	月3	08A0303	共通英語 (教職英語コミュニケーション3)	沈 尚玉	駒場10号館	10-101
A1A2	月3	08A1002	共通フランス語 (2) (精読)	今橋 映子	駒場8号館	319室
A1A2	月3	08A4015	共通中国語 (15) (会話)	韓 燕麗	駒場1号館	102教室
A1A2	月3	08A4061	共通中国語 (61) (作文)	李 彦銘	駒場11号館	1103教室
A1A2	月3	08A5002	共通スペイン語 (2) (会話)	ロサレス バトリシア	駒場1号館	112教室
A1A2	月3	08C102402	文化人類学特殊演習 (テクノロジーと文化)	福島 真人	駒場14号館	407室
A1A2	月3	08C1417	日本文化資料研究II	齋藤 知也	駒場1号館	155教室
A1A2	月3	08C1530	言語理論II	田中 伸一	駒場8号館	8-207
A1A2	月3	08C1601	言語感研究基礎	郷原 佳以	駒場8号館	8-321
A 2	月3	08C2643	アメリカ文学テキスト分析	HONES SHEILA ANNE	駒場8号館	8-324
A 1	月3	08C2752	スペイン研究III	黒田 祐我	駒場1号館	158教室
A 2	月3	08C2753	スペイン研究IV	黒田 祐我	駒場1号館	158教室
A1A2	月3	08C2847	特殊研究演習XIII	木宮 正史	駒場8号館	8-205
A1A2	月3	08C2922	特殊研究演習IV[韓国朝鮮研究コース]	木宮 正史	駒場8号館	8-205
A1A2	月3	08C312218	特殊研究演習「現代経済学演習」	鍾 非	駒場11号館	1109教室
A1A2	月3	08C3127	政治学研究[関連社会科学コース]	樋渡 展洋	駒場12号館	1221教室
A1A2	月3	08C3221	国際協力演習	遠藤 貢	駒場8号館	8-209
A1A2	月3	08C3233	政治学研究[国際関係論コース]	樋渡 展洋	駒場12号館	1221教室
A1A2	月3	08D1119	都市地理学	荒井 良雄 松原 宏	駒場1号館	105教室
A1A2	月3	08E1415	健康スポーツ医学	今井 一博	駒場9号館	会議室
A1A2	月3	08F1109	認知神経科学	今水 寛	駒場5号館	512教室
A1A2	月3	08G0002	国語科教育法II	齋藤 知也	駒場1号館	155教室
A1A2	月3	08X1007	プログラミング基礎	土井 靖生	情報教育棟	E42教室
A1A2	月4			金井 崇		

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	月3	08X1009	複合系計画論	鈴木 俊貴	駒場15号館	15-101
				嶋田 正和		
A1A2	月3	08X2004	認知脳科学概論	今水 寛	駒場5号館	512教室
A1A2	月4	08A0204	共通英語 (Adv ALE 4)	BUENO Alex Falcon	駒場17号館	KALS(17号館2階)
A1A2	月4	08A1009	共通フランス語 (9) (会話)	アガエス ジュリアン	駒場10号館	10-203
A1A2	月4	08A2002	共通ドイツ語 (2) (文法)	三宅 晶子	駒場1号館	119教室
A1A2	月4	08A7018	共通イタリア語 (18)	山崎 彩	駒場1号館	102教室
A1A2	月4	08B0081	専門英語 (81)	大坪 玲子	駒場11号館	1103教室
A1A2	月4	08C102404	文化人類学特殊演習 (中東の民族誌を読む)	大坪 玲子	駒場11号館	1103教室
A1A2	月4	08C1101	表象文化基礎論	田中 純	駒場8号館	3階・8-323室
A1A2	月4	08C1208	テキスト精読法IV	岩田 美喜	駒場8号館	319室
A1A2	月4	08C131302	現代哲学特殊研究III(2)	原 和之	駒場8号館	8-208
A1A2	月4	08C131902	現代哲学特殊演習III(2)	村瀬 鋼	駒場8号館	8-206
A1A2	月4	08C1411	メディア文化論[学際日本文化論コース]	佐藤 温	駒場1号館	156教室
A1A2	月4	08C1518	言語と社会I	松本 和子	駒場18号館	18号館メディアラボ2
A1A2	月4	08C2103	イギリス政治文化論	小川 浩之	駒場8号館	8-209
A1A2	月4	08C2541	イタリア地中海思想文学テキスト分析II	高橋 英海	駒場8号館	8-322
A1A2	月4	08C2545	イタリア歴史社会論演習II	藤崎 衛	駒場8号館	8-324
A 1	月4	08C2747	ラテンアメリカ政治・経済I	大串 和雄	駒場8号館	8-317
A 2	月4	08C2748	ラテンアメリカ政治・経済II	大串 和雄	駒場8号館	8-317
A1A2	月4	08C2841	特殊研究演習VII[アジア・日本研究コース]	高橋 英海	駒場8号館	8-322
A1A2	月4	08C312215	特殊研究演習「現代社会論演習」	内山 融	駒場11号館	1109教室
A1A2	月4	08C3201	国際政治	古城 佳子	駒場8号館	8-210
A1A2	月4	08C321614	特殊講義「ラテンアメリカの政治」	大串 和雄	駒場8号館	8-317
A1A2	月4	08D1102	地理情報分析基礎I	松原 宏	駒場2号館	202室
A1A2	月4	08E1024	電磁気学[数理自然科学コース]	鳥井 寿夫	駒場16号館	109室
A1A2	月4	08E1118	電磁気学[物質基礎科学コース]	鳥井 寿夫	駒場16号館	109室
A1A2	月4	08E1231	電磁気学[統合生命科学コース]	鳥井 寿夫	駒場16号館	109室
A1A2	月4	08E1251	脳神経科学[統合生命科学コース]	酒井 邦嘉	駒場16号館	126室・127室
A1A2	月4	08E1337	脳神経科学[認知行動科学コース]	酒井 邦嘉	駒場16号館	126室・127室
A1A2	月4	08F1303	科学技術リテラシー論I	佐野 和美	駒場1号館	120教室
A1A2	月4	08X000202	地域文化研究高度教養 (ヨーロッパ)	原 和之	駒場8号館	8-208
A1A2	月5	08A9458	台湾語 (2) (初級)	王 嵐	駒場1号館	106教室
A 1	月5	08A9704A1	共通日本語 (4)a	藤井 聖子	駒場10号館	10-205
				大久保 雅子		
A 2	月5	08A9704A2	共通日本語 (4)a	藤井 聖子	駒場10号館	10-205
				大久保 雅子		
A1A2	月5	08B0121	専門英語 (121)	中西 徹	駒場8号館	8-209
A 1	月5	08B0121A	専門英語 (121)a	受田 宏之	駒場8号館	8-209
A 2	月5	08B0121B	専門英語 (121)b	中西 徹	駒場8号館	8-209
A1A2	月5	08C102401	文化人類学特殊演習 (社会調査法)	大崎 裕子	情報教育棟	E42教室
A1A2	月5	08C1419	東アジア文化資料研究II	緑川 明憲	駒場1号館	114教室
A1A2	月5	08C2846	特殊研究演習XII	岡田 泰平	駒場14号館	605号室
A1A2	月5	08C3201	国際政治	古城 佳子	駒場8号館	8-416・8-418・8-420・8-422
A1A2	月5	08C4021	国際社会分析の基礎I	中西 徹	駒場8号館	8-209
				受田 宏之		
A 1	月5	08C4021A	国際社会分析の基礎Ia	受田 宏之	駒場8号館	8-209
A 2	月5	08C4021B	国際社会分析の基礎Ib	中西 徹	駒場8号館	8-209
A1A2	月5	08D1029	応用倫理学特論I[科学技術論コース]	吉永 明弘	21KOMCEE West	K302
A1A2	月5	08D1104	地理・空間調査設計I	松原 宏	駒場2号館	202室
A1A2	月5	08D1433	物質循環科学IV	岡 顕	21KOMCEE East	K113
				横山 祐典		
				岡 英太郎		
				近藤 豊		
A1A2	月5	08E1319	認知心理学	永井 淳一	駒場1号館	162教室
A1A2	月5	08F1008	応用倫理学特論I[グローバル・エシックス]	吉永 明弘	21KOMCEE West	K302
A1A2	月5	08F1301	科学技術インタープリター概論	見上 公一	駒場1号館	120教室
A 1	月5	08F140602A	グローバル教養特別演習II(2)a	受田 宏之	駒場8号館	8-209
A 2	月5	08F140603B	グローバル教養特別演習II(3)b	中西 徹	駒場8号館	8-209
A1A2	月5	08X2002	物質科学概論	長谷川 宗良	駒場16号館	109室
				酒井 邦嘉		
A1A2	火1	08A9478	サンスクリット語 (2)	高橋 晃一	駒場1号館	104教室
A 1	火1	08A9701A2	共通日本語 (1)a	藤井 聖子	駒場10号館	10-205
				宇佐美 洋		
A 2	火1	08A9701B2	共通日本語 (1)b	藤井 聖子	駒場10号館	10-205
				宇佐美 洋		
A1A2	火1	08E1417	発育心理学	工藤 和俊	駒場9号館	会議室
A1A2	火2	08A0005	共通英語 (5)	アルヴィ 宮本 なほ子	21KOMCEE East	K112
A1A2	火2	08A2003	共通ドイツ語 (3) (精読)	香田 芳樹	駒場1号館	153教室
A1A2	火2	08A3024	共通ロシア語 (24)	GOLUBOVSKAYA Liubov	駒場5号館	517教室

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	火2	08A4009	共通中国語(9)(精読)	秋山 珠子	駒場1号館	155教室
A1A2	火2	08A4057	共通中国語(57)(精読)	鄧 芳	駒場11号館	1107教室
A1A2	火2	08A8006	共通韓国朝鮮語(6)	張 銀英	駒場8号館	8-113
A1A2	火2	08A8010	共通韓国朝鮮語(10)	三ツ井 崇	駒場1号館	158教室
A1A2	火2	08A9306	共通ラテン語(6)	Hermann Gottschewski	アドミニストレーション棟	学際交流ホール
A1A2	火2	08A9466	モンゴル語(2)	荒井 幸康	21KOMCEE West	K303
A1A2	火2	08A9470	ペルシャ語(2)	前田 君江	21KOMCEE West	K401
A1A2	火2	08B0111	専門英語(111)	キハラハント 愛	駒場8号館	8-205
A1A2	火2	08B9204	専門ギリシア語(4)	筒井 賢治	駒場8号館	8-322
A1A2	火2	08B9307	専門ラテン語(7)	山本 芳久	駒場14号館	708室
A1A2	火2	08C1218	比較文化論II	伊藤 徳也	駒場8号館	319室
A1A2	火2	08C1307	倫理宗教論[現代思想コース]	大石 紀一郎	駒場8号館	8-206
A1A2	火2	08C131802	現代哲学特殊演習II(2)	山本 芳久	駒場14号館	708室
A1A2	火2	08C1415	東洋古典学	田口 一郎	駒場11号館	1109教室
A1A2	火2	08C155602	言語構造論特殊演習(2)	伊藤 たかね	駒場18号館	18号館メディアラボ2
A1A2	火2	08C161212	テキスト分析演習V(12)	ベティート ジョシュア	駒場8号館	8-320
A1A2	火2	08C2238	フランス現代社会論	増田 一夫	駒場8号館	8-207
A 1	火2	08C2238A	フランス現代社会論a	増田 一夫	駒場8号館	8-207
A 2	火2	08C2238B	フランス現代社会論b	増田 一夫	駒場8号館	8-207
A1A2	火2	08C2526	地中海古典テキスト分析演習II	筒井 賢治	駒場8号館	8-322
A1A2	火2	08C2623	アメリカ文学テキスト分析演習	都甲 幸治	駒場8号館	8-208
A 1	火2	08C2756	ブラジル研究III	松岡 秀明	駒場8号館	8-317
A 2	火2	08C2757	ブラジル研究IV	松岡 秀明	駒場8号館	8-317
A1A2	火2	08C2836	特殊研究演習II[アジア・日本研究コース]	キハラハント 愛	駒場8号館	8-205
A1A2	火2	08C3105	社会思想研究	山本 芳久	駒場14号館	708室
A1A2	火2	08C311501	特殊講義「現代社会思想」	大石 紀一郎	駒場8号館	8-206
A1A2	火2	08C321603	特殊講義「国民統合の政治学」	山本 芳久	駒場14号館	708室
A1A2	火2	08C3220	国際体系演習	田中 孝彦	駒場8号館	8-324
A1A2	火2	08C4053	歴史・地域研究特論I	キハラハント 愛	駒場8号館	8-205
A1A2	火2	08D1024	科学哲学特論IV	鈴木 貴之	駒場14号館	308室
A1A2	火2	08D1237	人間情報学I	植田 一博	駒場15号館	15-104
A1A2	火2	08D1342910	広域システム特論V(10)	植田 一博	駒場15号館	15-104
A1A2	火2	08D1443	食料生産の技術と政策	岡田 謙介		
A 2	火2	08D1507P	生命化学論	豊田 太郎 澤井 哲 若本 祐一	駒場16号館	126室・127室
A 2	火2	08E1039	構成・システム生物学[数理自然科学コース]	豊田 太郎 澤井 哲 若本 祐一	駒場16号館	126室・127室
A 2	火2	08E1220	構成・システム生物学[統合生命科学コース]	豊田 太郎 澤井 哲 若本 祐一	駒場16号館	126室・127室
A1A2	火2	08E1402	運動神経生理学	柳原 大	駒場9号館	会議室
A1A2	火2	08F1001	倫理宗教論[グローバル・エシックス]	大石 紀一郎	駒場8号館	8-206
A1A2	火2	08F140601	グローバル教養特別演習II(1)	キハラハント 愛	駒場8号館	8-205
A1A2	火2	08X4002061	高度教養特殊演習(アクティブラーニングによるWebプログラミング実習)	吉田 壘	情報教育棟	E26教室
A1A2	火3	08A0010	共通英語(10)	アンダル ジャクリーン	駒場8号館	8-112
A1A2	火3	08A4010	共通中国語(10)(会話)	劉 岸麗	駒場1号館	102教室
A1A2	火3	08A9002	共通アラビア語(2)	濱田 聖子	駒場12号館	1221教室
A1A2	火3	08A9434	トルコ語(2)	高松 洋一	駒場12号館	1231教室
A1A2	火3	08B0097	専門英語(97)	西川 杉子	駒場8号館	8-321
A1A2	火3	08B1020	専門フランス語(20)	長谷川 まゆ帆	駒場12号館	1223教室
A1A2	火3	08B2017	専門ドイツ語(17)	石原 あえか	駒場10号館	10-204
A1A2	火3	08B2023	専門ドイツ語(23)	森井 裕一	駒場8号館	8-324
A1A2	火3	08B9504	専門日本語(4)	酒井 哲哉	駒場12号館	1232教室
A1A2	火3	08C1015	地域民族誌II	宮地 隆廣	駒場14号館	407室
A1A2	火3	08C102301	文化人類学特殊講義(民族地理論)	永田 淳嗣	駒場13号館	1311教室
A1A2	火3	08C1312	現代哲学特殊研究II	齊藤 渉	駒場8号館	8-322
A1A2	火3	08C1314	現代思想特殊研究I	信原 幸弘	駒場5号館	515教室
A1A2	火3	08C1403	日本文化資料読解I	品田 悦一	駒場8号館	8-418
A1A2	火3	08C1524	言語文化横断論演習[学際言語科学コース]	三ツ井 崇	駒場5号館	517教室
A1A2	火3	08C161109	テキスト分析演習IV(9)	石原 あえか	駒場10号館	10-204
A1A2	火3	08C161307	原典講読特殊演習(7)[言語態・テキスト文化論コース]	品田 悦一	駒場8号館	8-418
A1A2	火3	08C2147	イギリス社会文化論演習	西川 杉子	駒場8号館	8-321
A1A2	火3	08C2217	フランス歴史文化論演習	長谷川 まゆ帆	駒場12号館	1223教室
A1A2	火3	08C2349	ドイツ政治論演習	森井 裕一	駒場8号館	8-324
A1A2	火3	08C2437	ロシア東欧歴史論	黛 秋津	駒場8号館	8-317
A 2	火3	08C2621B	アメリカ現代史演習b	西崎 文子	駒場8号館	8-207
A 1	火3	08C2644	アメリカ政治論	西崎 文子	駒場8号館	8-207
A1A2	火3	08C2807	アジアの地理	永田 淳嗣	駒場13号館	1311教室
A1A2	火3	08C2809	東アジア近現代史	酒井 哲哉	駒場12号館	1232教室

開講区分名	開講曜日	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	火3	08C2931	韓国朝鮮社会文化論	三ツ井 崇	駒場5号館	517教室
A1A2	火3	08C3203	国際経済	竹野 太三	21KOMCEE East	K214
A1A2	火3	08C3204	国際関係史I	酒井 哲哉	駒場12号館	1232教室
A1A2	火3	08C4040	東アジアの社会II	鹿毛 利枝子	駒場8号館	8-205
A1A2	火3	08D1033	科学哲学演習V	信原 幸弘	駒場5号館	515教室
A1A2	火3	08D1126	アジアの自然と社会	永田 淳嗣	駒場13号館	1311教室
A1A2	火3	08D1461	科学技術と社会	藤垣 裕子	駒場8号館	8-209
A1A2	火3	08E1131	物理化学	長谷川 宗良	駒場16号館	109室
A1A2	火3	08E1330	知覚心理学演習	本吉 勇	駒場3号館	113室
A 1	火3	08F1103A	言語の認知科学IIIa	グレノン イザベル	21KOMCEE West	K401
A1A2	火3	08F140608	グローバル教養特別演習II(8)	李 彦銘	駒場5号館	516教室
A1A2	火3	08F140616	グローバル教養特別演習II(16)	LEE Albert	21KOMCEE East	K112
A1A2	火3	08F140623	グローバル教養特別演習II(23)	藤垣 裕子	駒場8号館	8-209
A1A2	火3	08H006326	東西文学I(言語と歴史6)	LEE Albert	21KOMCEE East	K112
A1A2	火3	08H006434	東西文学II(国際社会科学4)	李 彦銘	駒場5号館	516教室
A1A2	火3	08X1006	広域システム概論II	小宮 剛	駒場15号館	15-104
A1A2	火4	08A0013	共通英語 (13)	THURGILL JAMES CHRISTOPHER	駒場8号館	8-113
A1A2	火4	08A5006	共通スペイン語 (6) (演習)	イザベル カルロス	駒場12号館	1221教室
A1A2	火4	08A8026	共通韓国朝鮮語 (26)	崔 泰源	駒場13号館	1312
A1A2	火4	08A9428	ベトナム語 (4)	大泉 さやか	21KOMCEE East	K112
A1A2	火4	08A9436	トルコ語 (4)	高松 洋一	駒場12号館	1231教室
A1A2	火4	08A9444	広東語 (4) (中級)	郭 文ホウ	駒場12号館	1223教室
A1A2	火4	08B0085	専門英語 (85)	矢田部 修一	駒場12号館	1224教室
A1A2	火4	08B0093	専門英語 (93)	エリス 俊子	駒場8号館	8-209
A1A2	火4	08B0096	専門英語 (96)	アルヴィ 宮本 なほ子	駒場8号館	8-416
A1A2	火4	08B2013	専門ドイツ語 (13)	大石 紀一郎	駒場8号館	8-206
A 1	火4	08B5009A	専門スペイン語 (9)a	ドニャス ベレニャアントニオ	駒場8号館	8-418
A 2	火4	08B5010A	専門スペイン語 (10)a	ドニャス ベレニャアントニオ	駒場8号館	8-418
A1A2	火4	08C1117	映像芸術論I	韓 燕麗	駒場8号館	8-317
A1A2	火4	08C131702	現代哲学特殊演習I(2)	大石 紀一郎	駒場8号館	8-206
A1A2	火4	08C1423	学際日本文化論演習IV	渡辺 美季	駒場14号館	605号室
A1A2	火4	08C151201	個別言語特殊演習 (1)	矢田部 修一	駒場12号館	1224教室
A1A2	火4	08C1532	言語理論IV	森 芳樹	駒場8号館	8-324
A1A2	火4	08C1604	テキスト文化論演習	星埜 守之	駒場8号館	8-208
A1A2	火4	08C161927	言語文化論特殊研究 (27)	エリス 俊子	駒場8号館	8-209
A1A2	火4	08C2145	イギリス文学テキスト演習I	アルヴィ 宮本 なほ子	駒場8号館	8-416
A1A2	火4	08C2202	フランス思想テキスト分析	原 和之	駒場8号館	8-110
A 1	火4	08C2202A	フランス思想テキスト分析a	原 和之	駒場8号館	8-110
A 2	火4	08C2202B	フランス思想テキスト分析b	原 和之	駒場8号館	8-110
A1A2	火4	08C2516	特殊講義IV[イタリア地中海研究コース]	松浦 高志	駒場8号館	8-321
A 1	火4	08C2785	特殊研究演習V[ラテンアメリカ研究コース]	ドニャス ベレニャアントニオ	駒場8号館	8-418
A 2	火4	08C2786	特殊研究演習VI[ラテンアメリカ研究コース]	ドニャス ベレニャアントニオ	駒場8号館	8-418
A1A2	火4	08C3101	相関社会科学基礎論I	森 政稔	駒場8号館	8-207
A1A2	火4	08C3201	国際政治	古城 佳子	駒場8号館	8-210
A1A2	火4	08C4003	日本近現代史	バクスター, ジョシュア	駒場8号館	8-320
A1A2	火4	08C4043	文化・思想研究演習I	エリス 俊子	駒場8号館	8-209
A1A2	火4	08D1114	資源論	伊藤 達也	駒場8号館	8-205
A1A2	火4	08D1441	食の安全安心	山川 隆 平山 和宏 八村 敏志 関崎 勉	駒場1号館	153教室
A1A2	火4	08F1403	グローバル教養特別講義II	エリス 俊子	駒場8号館	8-209
A1A2	火4	08F140622	グローバル教養特別演習II(22)	山川 隆 平山 和宏 八村 敏志 関崎 勉	駒場1号館	153教室
A1A2	火4	08H006346	東西文学I(環境と身体6)	山川 隆 平山 和宏 八村 敏志 関崎 勉	駒場1号館	153教室
A1A2	火4 火5	08X1008	学際科学概論	鈴木 建 各教員	駒場15号館	15-104
A 1	火4 火5	08X400202	高度教養特殊演習(脳認知科学実習)	中村 優子 四本 裕子 中谷 裕教	駒場8号館	8-112
A1A2	火5	08A3008	共通ロシア語 (8)	GOLUBOVSKAYA Liubov	駒場5号館	517教室
A1A2	火5	08A4018	共通中国語 (18) (文法)	吉川 雅之	駒場5号館	515教室
A1A2	火5	08A8004	共通韓国朝鮮語 (4)	ジ ミンギョン	駒場1号館	149教室
A1A2	火5	08A9006	共通アラビア語 (6)	オダイマ ムハンマド	駒場8号館	8-324
A1A2	火5	08A9206	共通ギリシア語 (6)	松浦 高志	駒場1号館	117教室
A1A2	火5	08A9482	シリア語 (2)	高橋 英海	駒場1号館	103教室

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	火5	08B1026	専門フランス語 (26)	ビゼ フランソワ	駒場8号館	8-205
A1A2	火5	08C1016	地域民族誌III	石橋 純	駒場18号館	18号館ホール
A1A2	火5	08C130202	現代思想 (2)	梶谷 真司	21KOMCEE West	K302
A 2	火5	08C1555	言語データ分析基礎	川崎 義史	駒場18号館	言語情報解析室
A1A2	火5	08C161928	言語文化論特殊研究 (28)	崔 泰源	駒場8号館	8-206
A1A2	火5	08C2249	フランス研究演習IV	ビゼ フランソワ	駒場8号館	8-205
A1A2	火5	08C2543	ヨーロッパの歴史	田中 創	駒場8号館	8-321
A 1	火5	08C2743	ラテンアメリカ社会・民族I	石橋 純	駒場18号館	18号館ホール
A 2	火5	08C2744	ラテンアメリカ社会・民族II	石橋 純	駒場18号館	18号館ホール
A1A2	火5	08C2934	韓国朝鮮社会文化論特殊講義	小林 聡明	駒場8号館	8-320
A1A2	火5	08C3103	現代社会論I	市野川 容孝	駒場11号館	1109教室
A1A2	火5	08C403323	国際日本研究特論XXIII	ジロドウ イザベル	21KOMCEE West	K301
A1A2	火5	08D14134	環境と法 (4)	ジロドウ イザベル	21KOMCEE West	K301
A1A2	火5	08F140613	グローバル教養特別演習II(13)	ビゼ フランソワ	駒場8号館	8-205
A1A2	火5	08X000204	地域文化研究高度教養 (アメリカ)	石橋 純	駒場18号館	18号館ホール
A1A2	水1	08B0088	専門英語 (88)	板津 木綿子	駒場18号館	18号館メディアラボ2
A1A2	水1	08C160813	テキスト分析演習I(13)	板津 木綿子	駒場18号館	18号館メディアラボ2
A1A2	水1	08C2436	論文指導II[ロシア東欧研究コース]	黛 秋津	駒場5号館	518教室
A1A2	水1	08C2632	特殊研究演習III[北アメリカ研究コース]	板津 木綿子	駒場18号館	18号館メディアラボ2
A1A2	水1	08C2839	特殊研究演習V[アジア・日本研究コース]	阿古 智子	21KOMCEE West	K302
A1A2	水1	08C4045	文化・思想研究特論I	板津 木綿子	駒場18号館	18号館メディアラボ2
A1A2	水1	08D1409	環境社会技術とサステナビリティ	味埜 俊 大島 義人 佐藤 徹 割澤 伸一	駒場1号館	120教室
A1A2	水1	08F140611	グローバル教養特別演習II(11)	板津 木綿子	駒場18号館	18号館メディアラボ2
A1A2	水1	08H006332	東西文明学I(国際社会科学2)	板津 木綿子	駒場18号館	18号館メディアラボ2
A1A2	水1	08X2001	数理科学概論	池田 昌司	駒場16号館	109室
A1A2	水2	08A0003	共通英語 (3)	武田 将明	駒場8号館	8-209
A1A2	水2	08A0301	共通英語 (教職英語コミュニケーション1)	武田 将明	駒場8号館	8-209
A1A2	水2	08A4016	共通中国語 (16) (作文)	毛 興華	駒場1号館	154教室
A1A2	水2	08A9462	タイ語 (2)	浅見 靖仁	駒場5号館	517教室
A1A2	水2	08A9474	ヘブライ語 (2)	飯郷 友康	駒場7号館	761教室
A1A2	水2	08B0080	専門英語 (80)	中島 隆博	駒場8号館	8-322
A 1	水2	08B0104A	専門英語 (104)a	ロビンズ・ロジャー	駒場8号館	8-205
A1A2	水2	08C1017	歴史と文化I	田辺 明生	駒場14号館	407室
A1A2	水2	08C1118	映像芸術論II	三浦 哲哉	駒場18号館	18号館メディアラボ2
A1A2	水2	08C1125	表象文化論特殊研究演習I	中島 隆博	駒場8号館	8-322
A1A2	水2	08C1210	芸術作品分析法II	Hermann Gottschewski	アドミニストレーション棟	学際交流ホール
A1A2	水2	08C1214	比較文学論II	寺田 寅彦	駒場8号館	8-207
A1A2	水2	08C1304	現代思想演習	中島 隆博	駒場8号館	8-322
A 2	水2	08C1552	基礎言語理論I: 形の体系	稲葉 治朗	駒場8号館	8-113
A1A2	水2	08C1606	メディア文化論[言語態・テキスト文化論コース]	竹峰 義和	駒場8号館	8-208
A1A2	水2	08C2105	イギリス言語芸術論II	中尾 まさみ	駒場8号館	8-317
A1A2	水2	08C2438	ロシア東欧政治社会論	鶴見 太郎	駒場5号館	518教室
A1A2	水2	08C2508	イタリア地中海都市文化論	村松 真理子	駒場8号館	8-324
A 2	水2	08C2646	アメリカ文化研究基礎論	土屋 和代	駒場8号館	8-206
A 1	水2	08C2654A	アメリカ社会文化論演習a	ロビンズ・ロジャー	駒場8号館	8-205
A 1	水2	08C2760	ラテンアメリカ言語I	川崎 義史	駒場8号館	8-112
A 2	水2	08C2761	ラテンアメリカ言語II	川崎 義史	駒場8号館	8-112
A1A2	水2	08C2818	中央アジア地域文化研究	杉山 清彦	駒場8号館	8-416
A1A2	水2	08C3128	経済学研究I[相関社会科学コース]	結城 剛志	駒場12号館	1232教室
A1A2	水2	08C3130	社会学研究[相関社会科学コース]	橋本 拱子	駒場8号館	8-321
A1A2	水2	08C321697	特殊講義「ロシア・東欧政治社会論」	鶴見 太郎	駒場5号館	518教室
A1A2	水2	08C3228	国際機構	西村 弓	駒場12号館	1213教室
A1A2	水2	08C3234	経済学研究I[国際関係論コース]	結城 剛志	駒場12号館	1232教室
A1A2	水2	08C3236	社会学研究[国際関係論コース]	橋本 拱子	駒場8号館	8-321
A1A2	水2	08C403421	国際日本研究演習XXI	ダルグリーシュ プレガム	駒場1号館	117教室
A1A2	水2	08D1018	科学技術史特論II	古川 安	駒場14号館	308室
A 1	水2 水3	08D1423	環境熱力学	深津 晋	駒場11号館	1108教室
A 2	水2 水3	08D14241	環境情報科学 (2)	ウー ジン	21KOMCEE East	K112
A1A2	水2	08E1021	統計力学I[数理自然科学コース]	池田 昌司	駒場16号館	109室
A1A2	水2	08E1115	統計力学I[物質基礎科学コース]	池田 昌司	駒場16号館	109室
A1A2	水2	08E1151	バイオイメージング[物質基礎科学コース]	佐藤 守俊 村田 昌之	駒場16号館	126室・127室
A1A2	水2	08E1214	バイオイメージング[統合生命科学コース]	佐藤 守俊 村田 昌之	駒場16号館	126室・127室
A1A2	水2	08E1232	統計力学I[統合生命科学コース]	池田 昌司	駒場16号館	109室
A1A2	水2	08E1412	スポーツ栄養学	寺田 新	駒場3号館	113室

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A 2	水2	08H006344	東西文明学I(環境と身体4)	ウー ジン	21KOMCEE East	K112
	水3					
A1A2	水2	08X000105	超域文化科学高度教養(芸術作品分析法)	Hermann Gottschewski	アドミニストレーション棟	学際交流ホール
A1A2	水2	08X1005	広域システム概論I	山口 和紀	駒場15号館	15-104
				山口 泰		
				福永 アレックス		
A1A2	水3	08A0206	共通英語(Adv ALE 6)	テラシマ アレクサンドラ	駒場8号館	8-113
A1A2	水3	08A4012	共通中国語(12)(会話)	毛 興華	駒場1号館	154教室
A1A2	水3	08A4058	共通中国語(58)(精読)	白 春花	法文1号館	213教室
A1A2	水3	08A9502	日本手話(2)	小林 信恵	駒場8号館	8-112
				伊藤 たかね		
A1A2	水3	08B3005	専門ロシア語(5)	乗松 亨平	駒場8号館	8-320
A1A2	水3	08B9310	専門ラテン語(10)	筒井 賢治	駒場8号館	8-322
A1A2	水3	08C1008	文化人類学理論III	関谷 雄一	駒場14号館	407室
A1A2	水3	08C1201	資料・文献調査法	今橋 映子	駒場8号館	319室
A1A2	水3	08C132202	現代思想特殊演習III	鍾 以江	駒場8号館	8-207
A1A2	水3	08C1405	日本語文化論	谷口 洋	駒場11号館	1109教室
A1A2	水3	08C2322	ドイツ言語様態論演習	I・カウフマン	駒場8号館	8-324
A1A2	水3	08C2424	ロシア地域文化特殊演習	乗松 亨平	駒場8号館	8-320
A1A2	水3	08C2528	地中海古典テキスト分析演習IV	筒井 賢治	駒場8号館	8-322
A1A2	水3	08C2539	論文指導II[イタリア地中海研究コース]	マルコ ビオンディ	駒場8号館	8-205
A 1	水3	08C2741	ラテンアメリカ文学・思想III	齊藤 文子	駒場8号館	8-317
A 2	水3	08C2742	ラテンアメリカ文学・思想IV	齊藤 文子	駒場8号館	8-317
A1A2	水3	08C2837	特殊研究演習III[アジア・日本研究コース]	浅見 靖仁	駒場1号館	117教室
A1A2	水3	08C3113	環境社会科学	丸山 真人	駒場12号館	1233教室
A1A2	水3	08C321649	特殊講義「空間秩序と国際法」	西村 弓	駒場12号館	1213教室
A1A2	水3	08C4037	東アジアの思想	鍾 以江	駒場8号館	8-207
A1A2	水3	08D1014	科学技術社会論演習IV	岡本 拓司	駒場1号館	149教室
A1A2	水3	08D1235	情報数理科学VII	松島 慎	駒場15号館	15-104
A1A2	水3	08D1342905	広域システム特論V(5)	松島 慎	駒場15号館	15-104
A1A2	水3	08E1320	性格心理学	丹野 義彦	駒場13号館	1322教室
A1A2	水3	08F1012	環境社会科学[グローバル・エシックス]	丸山 真人	駒場12号館	1233教室
A1A2	水3	08F1304	科学技術リテラシー論II	松本 真由美	駒場1号館	120教室
A1A2	水3	08F1313	科学技術コミュニケーション演習I	岡本 拓司	駒場1号館	149教室
A1A2	水3	08X000101	超域文化科学高度教養(文化人類学)	関谷 雄一	駒場14号館	407室
A1A2	水4	08A0017	共通英語(17)	ナルト デリック	21KOMCEE West	K401
A1A2	水4	08A1006	共通フランス語(6)(作文)	DE VOS PATRICK HENRI	駒場1号館	150教室
A1A2	水4	08A2005	共通ドイツ語(5)(論文)	SCHWARZ Thomas	駒場1号館	114教室
A1A2	水4	08A3002	共通ロシア語(2)	丸山 由紀子	駒場1号館	151教室
A1A2	水4	08A4014	共通中国語(14)(精読)	韓 燕麗	駒場1号館	102教室
A1A2	水4	08A5004	共通スペイン語(4)(作文)	ルイズ ティノコ アントニオ	駒場1号館	152教室
A1A2	水4	08A9010	共通アラビア語(10)	杉田 英明	駒場12号館	1223教室
A1A2	水4	08B0082	専門英語(82)	佐藤 光	駒場1号館	120教室
A1A2	水4	08B0099	専門英語(99)	OPPENHEIMER Melanie	駒場17号館	KALS(17号館2階)
A1A2	水4	08B1018	専門フランス語(18)	山田 広昭	駒場8号館	8-208
A1A2	水4	08C102406	文化人類学特殊演習(イメージの人類学 2)	箭内 匡	駒場14号館	407室
A1A2	水4	08C1102	表象文化基礎論演習	清水 晶子	駒場18号館	18号館メディアラボ2
A1A2	水4	08C1220	比較日本文化論II	佐藤 光	駒場1号館	120教室
A1A2	水4	08C161011	テキスト分析演習III(11)	山田 広昭	駒場8号館	8-208
A1A2	水4	08C161404	言語文化横断論演習(4)	エリス 俊子	駒場8号館	8-205
A1A2	水4	08C2129	広域英語圏文化論演習[イギリス研究コース]	OPPENHEIMER Melanie	駒場17号館	KALS(17号館2階)
A1A2	水4	08C2221	フランス言語文化論演習	山田 広昭	駒場8号館	8-208
A1A2	水4	08C2628	広域英語圏文化論演習[北アメリカ研究コース]	OPPENHEIMER Melanie	駒場17号館	KALS(17号館2階)
A1A2	水4	08C2727	ラテンアメリカ経済演習	受田 宏之	駒場11号館	1107教室
A1A2	水4	08C2853	アジア社会文化論	田原 史起	21KOMCEE West	K402
A 1	水4	08C2853A	アジア社会文化論a	田原 史起	21KOMCEE West	K402
A 2	水4	08C2853B	アジア社会文化論b	田原 史起	21KOMCEE West	K402
A1A2	水4	08C3102	相関社会科学基礎論II	佐藤 俊樹	駒場11号館	1103教室
A1A2	水4	08C3222	国際経済政策演習	受田 宏之	駒場11号館	1107教室
A1A2	水4	08C403322	国際日本研究特論XXII	ジロドウ イザベル	21KOMCEE West	K302
A1A2	水4	08D1209901	情報工学II(1)	小宮 剛	駒場15号館	15-104
				磯崎 行雄		
A1A2	水4	08D1312	宇宙地球科学I[広域システムコース]	小宮 剛	駒場15号館	15-104
				磯崎 行雄		
A1A2	水4	08D14162	環境と開発(2)	ジロドウ イザベル	21KOMCEE West	K302
A1A2	水4	08D1502P	宇宙地球科学I[進化学コース]	小宮 剛	駒場15号館	15-104
				磯崎 行雄		
A1A2	水4	08X0006	Liberal Arts for Advanced Students III	山本 理奈	21KOMCEE West	K303
A1A2	水5	08A1010	共通フランス語(10)(作文)	デルヴロワ ミカエル	駒場10号館	10-205
A1A2	水5	08A2017	共通ドイツ語(17)(会話)	SCHWARZ Thomas	駒場1号館	114教室
A1A2	水5	08A7002	共通イタリア語(2)	マルコ ビオンディ	21KOMCEE West	K402

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	水5	08A9008	共通アラビア語(8)	杉田 英明	駒場1号館	103教室
A1A2	水5	08B0140	専門英語(140)	勝又 幹英	駒場8号館	8-209
A1A2	水5	08C1109	舞台芸術論I	DE VOS PATRICK HENRI	駒場18号館	18号館メディアラボ2
A1A2	水5	08C2251	フランス研究演習VI	三浦 篤	駒場8号館	319室
A1A2	水5	08C2515	特殊講義III[イタリア地中海研究コース]	筒井 賢治	駒場8号館	8-322
A 1	水5	08C2776	ラテンアメリカ社会論演習I	和田 毅	駒場8号館	8-324
A 2	水5	08C2777	ラテンアメリカ社会論演習II	和田 毅	駒場8号館	8-324
A1A2	水5	08C2820	特殊講義II[アジア・日本研究コース]	松田 康博	駒場8号館	8-320
A1A2	水5	08C312205	特殊研究演習「ジェンダー論演習」	瀬地山 角	21KOMCEE East	K112
A1A2	水5	08C322504	特殊研究演習「国際経済モデル演習」	勝又 幹英	駒場8号館	8-209
A1A2	水5	08D1428	環境と分子	ウッドワード・ジョナサン・ロジャー	駒場8号館	8-205
A1A2	水5	08D1504P	進化的理論[進化学コース]	山道 真人 池上 高志	駒場15号館	15-104
A1A2	水5	08F1307	科学技術表現論I	大島 まり	工学部新2号館	9階・93B
A1A2	水5	08F140621	グローバル教養特別演習II(21)	ウッドワード・ジョナサン・ロジャー	駒場8号館	8-205
A1A2	水5	08F140802	グローバル教養特別演習IV(2)	勝又 幹英	駒場8号館	8-209
A1A2	水5	08X1013	進化的理論[高度教養科目]	山道 真人 池上 高志	駒場15号館	15-104
A1A2	水5	08X2005	スポーツ科学概論	柳原 大	駒場16号館	126室・127室
A1A2	木1	08A9204	共通ギリシア語(4)	上野 慎也	駒場1号館	156教室
A1A2	木1	08E1208	生命科学研究法	矢島 潤一郎 若杉 桂輔	駒場16号館	126室・127室
A1A2	木2	08A0006	共通英語(6)	田中 伸一	駒場8号館	8-112
A1A2	木2	08A4011	共通中国語(11)(会話)	姚 毅	駒場1号館	156教室
A1A2	木2	08A7008	共通イタリア語(8)	マルコ ビオンディ	21KOMCEE West	K301
A1A2	木2	08A9202	共通ギリシア語(2)	上野 慎也	駒場8号館	8-420
A1A2	木2	08B0084	専門英語(84)	WILSON BRENDAN	駒場8号館	8-205
A1A2	木2	08B0124	専門英語(124)	北村 朋史 井上 彰	駒場1号館	117教室
A 1	木2	08B0124A	専門英語(124)a	井上 彰	駒場1号館	117教室
A 2	木2	08B0124B	専門英語(124)b	北村 朋史	駒場1号館	117教室
A1A2	木2	08B0144	専門英語(144)	KURASHIGE Lon 土屋 和代	21KOMCEE West	K303
A1A2	木2	08B1023	専門フランス語(23)	森元 庸介	駒場8号館	8-317
A1A2	木2	08B2021	専門ドイツ語(21)	石田 勇治	駒場8号館	8-321
A1A2	木2	08C1001	文化人類学基礎論	渡邊 日日	駒場5号館	518教室
A1A2	木2	08C102305	文化人類学特殊講義(民族誌作成)	津田 浩司	駒場14号館	304室
A1A2	木2	08C1222	比較文学比較文化論演習II	菅原 克也	駒場8号館	319室
A1A2	木2	08C1308	文化社会論[現代思想コース]	野矢 茂樹	駒場8号館	8-324
A1A2	木2	08C1422	学際日本文化論演習III	出口 智之	駒場11号館	1107教室
A1A2	木2	08C151101	原典講読特殊演習(1)[学際言語科学コース]	WILSON BRENDAN	駒場8号館	8-205
A1A2	木2	08C161926	言語文化論特殊研究(26)	中谷 彩一郎	駒場8号館	8-113
A1A2	木2	08C2222	フランス表象芸術論演習	森元 庸介	駒場8号館	8-317
A1A2	木2	08C2346	ドイツ歴史社会論演習I	石田 勇治	駒場8号館	8-321
A1A2	木2	08C2533	特殊研究演習IV[イタリア地中海研究コース]	中谷 彩一郎	駒場8号館	8-113
A1A2	木2	08C2631	特殊研究演習II[北アメリカ研究コース]	KURASHIGE Lon 土屋 和代	21KOMCEE West	K303
A 1	木2	08C2750	スペイン研究I	下山 静香	駒場8号館	8-207
A 2	木2	08C2751	スペイン研究II	下山 静香	駒場8号館	8-207
A1A2	木2	08C2819	特殊講義I[アジア・日本研究コース]	山口 輝臣	駒場12号館	1221教室
A1A2	木2	08C2914	特殊講義I[韓国朝鮮研究コース]	山口 輝臣	駒場12号館	1221教室
A1A2	木2	08C3109	法学研究[相関社会科学コース]	田高 寛貴	駒場12号館	1214教室
A1A2	木2	08C3232	法学研究[国際関係論コース]	田高 寛貴	駒場12号館	1214教室
A1A2	木2	08C4027	国際社会分析特論I	北村 朋史 井上 彰	駒場1号館	117教室
A 1	木2	08C4027A	国際社会分析特論Ia	井上 彰	駒場1号館	117教室
A 2	木2	08C4027B	国際社会分析特論Ib	北村 朋史	駒場1号館	117教室
A1A2	木2	08D1237901	人間情報学I(1)	増田 建	駒場15号館	15-104
A1A2	木2	08D1330	生態・進化学I	増田 建	駒場15号館	15-104
A1A2	木2	08D1402	統計学[国際環境学コース]	リチャード シェファーズン	情報教育棟	E42教室
A1A2	木2	08E1168	有機化学I	豊田 太郎	駒場16号館	109室
A 1	木2	08E1245	細胞生物学I	坪井 貴司	駒場3号館	113室
A 2	木2	08E1246	細胞生物学II	大杉 美穂	駒場3号館	113室
A1A2	木2	08E1311	行動適応論	石川 亮太郎 石垣 琢磨	駒場1号館	192教室
A1A2	木2	08E1410	スポーツバイオメカニクス	深代 千之	駒場9号館	会議室
A1A2	木2	08F1004	文化社会論[グローバル・エシックス]	野矢 茂樹	駒場8号館	8-324
A 1	木2	08F140604A	グローバル教養特別演習II(4)a	井上 彰	駒場1号館	117教室
A 2	木2	08F140605B	グローバル教養特別演習II(5)b	北村 朋史	駒場1号館	117教室
A1A2	木2	08F140615	グローバル教養特別演習II(15)	ネルソン シャリティー	21KOMCEE West	K402
A1A2	木2	08H006324	東西文明学I(言語と歴史4)	ネルソン シャリティー	21KOMCEE West	K402

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	木2	08X000203	地域文化研究高度教養 (アジア)	山口 輝臣	駒場12号館	1221教室
A1A2	木3	08A4013	共通中国語 (13) (作文)	柴 森	駒場1号館	107教室
A1A2	木3	08A4059	共通中国語 (59) (会話)	鄧 芳	駒場1号館	153教室
A1A2	木3	08A9418	ヒンディー語 (2)	藤井 毅	駒場12号館	1211教室
A1A2	木3	08A9446	インドネシア語 (2)	高地 薫	駒場12号館	1221教室
A1A2	木3	08B0089	専門英語 (89)	大石 和欣	駒場8号館	8-321
A1A2	木3	08B0127	専門英語 (127)	クロイドン, シルビア アタナソヴァ	駒場1号館	155教室
A 2	木3	08C102405A	文化人類学特殊演習a(ロシア・東欧の民族)	渡邊 日日	駒場5号館	534教室
A1A2	木3	08C1108	表象文化論実習II	桑田 光平 各教員	駒場8号館	8-317
A1A2	木3	08C1112	伝統芸能論II	松岡 心平	駒場8号館	8-324
A1A2	木3	08C1205	テキスト精読法I	前島 志保	駒場8号館	319室
A1A2	木3	08C1301	現代哲学	古荘 真敬	駒場12号館	1224教室
A1A2	木3	08C1401	日本文化研究法I	松岡 心平	駒場8号館	8-324
A1A2	木3	08C161306	原典講読特殊演習 (6)[言語態・テキスト文化論コース]	大石 和欣	駒場8号館	8-321
A1A2	木3	08C2102	イギリス歴史社会論II	水野 祥子	駒場1号館	119教室
A1A2	木3	08C2133	特殊研究演習III[イギリス研究コース]	大石 和欣	駒場8号館	8-321
A 2	木3	08C2451A	ロシア東欧政治社会特殊演習a	渡邊 日日	駒場5号館	534教室
A1A2	木3	08C2502	イタリア地中海歴史社会論II	池上 俊一	駒場5号館	515教室
A1A2	木3	08C4057	国際社会分析特殊演習I	クロイドン, シルビア アタナソヴァ	駒場1号館	155教室
A1A2	木3	08D1002	応用倫理学概論[科学技術論コース]	廣野 喜幸	駒場11号館	1109教室
A1A2	木3	08D1208	情報工学I	越塚 登	駒場1号館	114教室
A1A2	木3	08D1446	環境と健康科学 (2)	マニナン ジョン	21KOMCEE West	K402
A1A2	木3	08D1453	環境学フィールドワークII	リチャード シェファーソン	21KOMCEE East	K114
A1A2	木3 木4	08E1302	認知行動科学方法論	四本 裕子 各教員	駒場3号館	116室
A1A2	木3	08F1003	応用倫理学概論[グローバル・エシックス]	廣野 喜幸	駒場11号館	1109教室
A1A2	木3	08F1104	言語の脳神経科学	酒井 邦嘉	駒場16号館	119室
A1A2	木3	08F140606	グローバル教養特別演習II(6)	クロイドン, シルビア アタナソヴァ	駒場1号館	155教室
A1A2	木3	08F140625	グローバル教養特別演習II(25)	マニナン ジョン	21KOMCEE West	K402
A 1	木3 木4	08G0012	英語科教育法I	奥 聡一郎	駒場1号館	120教室
A1A2	木3	08H006342	東西文明学I(環境と身体2)	マニナン ジョン	21KOMCEE West	K402
A1A2	木3	08X000103	超域文化科学高度教養 (現代哲学)	古荘 真敬	駒場12号館	1224教室
A1A2	木3	08X000107	超域文化科学高度教養 (表象文化論)	桑田 光平 各教員	駒場8号館	8-317
A1A2	木4	08A3006	共通ロシア語 (6)	ゴロウィナ クセーニヤ	駒場1号館	151教室
A1A2	木4	08A5027	共通スペイン語 (27) (会話)	FERNANDEZ HERBOSO	駒場1号館	152教室
A1A2	木4	08A6002	共通ポルトガル語 (2) (初級)	牧野 真也	駒場1号館	155教室
A1A2	木4	08A9420	ヒンディー語 (4)	藤井 毅	駒場12号館	1211教室
A1A2	木4	08A9448	インドネシア語 (4)	高地 薫	駒場12号館	1221教室
A1A2	木4	08B0113	専門英語 (113)	池内 恵	駒場8号館	8-320
A1A2	木4	08B0139	専門英語 (139)	東 大作	21KOMCEE East	K214
A1A2	木4	08C1321	現代思想特殊演習II	湯浅 正彦	駒場1号館	154教室
A1A2	木4	08C2824	東アジア地域研究演習	須川 英徳	駒場1号館	156教室
A1A2	木4	08C2843	特殊研究演習IX	池内 恵	駒場8号館	8-320
A1A2	木4	08C2933	韓国朝鮮史	須川 英徳	駒場1号館	156教室
A1A2	木4	08C322507	特殊研究演習「外交政策演習」	東 大作	21KOMCEE East	K214
A1A2	木4	08C403321	国際日本研究特論XXI	Kartika Diana	駒場5号館	518教室
A1A2	木4	08D1023	科学哲学特論III	稲垣 諭	駒場11号館	1103教室
A1A2	木4	08D1436	エネルギー資源論I	岡田 至崇	駒場8号館	8-112
A 1	木4 木5	08D1509P	人類進化学	近藤 修	駒場12号館	1214教室
A 1	木4 木5	08F1105	進化人類学	近藤 修	駒場12号館	1214教室
A1A2	木4	08E1011	常微分方程式論	米田 剛	駒場16号館	109室
A1A2	木4	08F140609	グローバル教養特別演習II(9)	Kartika Diana	駒場5号館	518教室
A1A2	木4	08F140801	グローバル教養特別演習IV(1)	東 大作	21KOMCEE East	K214
A1A2	木4	08H006334	東西文明学I(国際社会科学4)	Kartika Diana	駒場5号館	518教室
A1A2	木4	08X1010	エネルギー科学概論	瀬川 浩司 松本 真由美	駒場15号館	15-104
A 1	木4	08X400105A	高度教養特殊講義a(国連とインクルージョン)	井筒 節	21KOMCEE West	K402
A1A2	木5	08A4062	共通中国語 (62) (作文)	王 前	法文1号館	213教室
A1A2	木5	08A6004	共通ポルトガル語 (4) (中級)	牧野 真也	駒場1号館	155教室
A1A2	木5	08A8002	共通韓国朝鮮語 (2)	崔 泰源	駒場12号館	1211教室
A 1	木5	08A9704A3	共通日本語 (4)a	藤井 聖子 大久保 雅子	駒場10号館	10-205
A 2	木5	08A9704A4	共通日本語 (4)a	藤井 聖子 大久保 雅子	駒場10号館	10-205
A1A2	木5	08C1022	日本文化研究II	重信 幸彦	駒場8号館	8-205
A1A2	木5	08C1113	造形空間芸術論I	中田 健太郎	駒場8号館	8-317

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	木5	08C311511	特殊講義「地域政策論」	梶 元伸	駒場12号館	1212教室
A1A2	木5	08C321615	特殊講義「アジア太平洋の国際関係」	川島 真	駒場8号館	8-210
A1A2	木5	08D1220	統計学実習[総合情報学コース]	嶋田 正和	情報教育棟	E38教室
A1A2	木5	08D1310	統計学実習[広域システムコース]	嶋田 正和	情報教育棟	E38教室
A1A2	木5	08E1012	常微分方程式論演習	米田 剛	駒場16号館	109室
A1A2	木5	08F1315	科学技術インタープリター実験実習I	川越 至桜	21KOMCEE West	K401
A1A2	木5	08X000303	総合社会科学高度教養(地域政策論)	梶 元伸	駒場12号館	1212教室
A1A2	木5	08X000304	総合社会科学高度教養(アジア太平洋の国際関係)	川島 真	駒場8号館	8-210
A1A2	木5	08X4001041	高度教養特殊講義(現象学における問題発見の体験型学習)	景山 洋平	21KOMCEE West	K302
A1A2	金1	08C2851	アジア地域史II	外村 大	駒場1号館	152教室
A 1	金1	08C2851A	アジア地域史IIa	外村 大	駒場1号館	152教室
A 2	金1	08C2851B	アジア地域史IIb	外村 大	駒場1号館	152教室
A1A2	金1	08D1101	自然環境論	松山 洋	駒場1号館	155教室
A1A2	金2	08A0004	共通英語(4)	オデイ ジョン	駒場8号館	8-208
A1A2	金2	08A0008	共通英語(8)	ポター サイモン	駒場8号館	8-205
A1A2	金2	08A4017	共通中国語(17)(精読)	橋本 陽介	駒場1号館	150教室
A1A2	金2	08A7004	共通イタリア語(4)	アンドレア チヴィーレ	21KOMCEE West	K401
A1A2	金2	08A7006	共通イタリア語(6)	マルコ ビオンディ	21KOMCEE West	K301
A1A2	金2	08A8008	共通韓国朝鮮語(8)	橋本 繁	駒場1号館	103教室
A1A2	金2	08A9454	上海語(2)(初級)	王 英輝	駒場1号館	155教室
A1A2	金2	08C130302	現代哲学演習(2)	西山 雄二	駒場8号館	8-320
A1A2	金2	08C1414	日本語学	矢田 勉	駒場8号館	8-110
A1A2	金2	08C1522	日本語学I	矢田 勉	駒場8号館	8-110
A1A2	金2	08C2110	イギリス表象芸術論	新井 潤美	駒場8号館	8-324
A1A2	金2	08C2402	ロシア東欧文学テキスト分析	安岡 治子	駒場8号館	8-321
A 1	金2	08C2640	アメリカ近代史	遠藤 泰生	駒場8号館	8-113
A1A2	金2	08C2822	特殊講義IV[アジア・日本研究コース]	後藤 絵美	駒場1号館	120教室
A1A2	金2	08C3203	国際経済	竹野 太三	21KOMCEE East	K214
A1A2	金2	08C403320	国際日本研究特論XX	片山 晶子	情報教育棟	E35教室
A1A2	金2	08D1043	科学技術社会論特論VI	田中 幹人	21KOMCEE West	K302
A1A2	金2	08D1414	環境経済学	成田 大樹	駒場12号館	1221教室
A 2	金2	08D1507P	生命化学論	豊田 太郎	駒場16号館	126室・127室
				澤井 哲		
A 2	金2	08E1039	構成・システム生物学[数理自然科学コース]	若本 祐一	駒場16号館	126室・127室
				豊田 太郎		
A 2	金2	08E1220	構成・システム生物学[統合生命科学コース]	澤井 哲	駒場16号館	126室・127室
				若本 祐一		
A1A2	金2	08E1013	物理数学I[数理自然科学コース]	國場 敦夫	駒場16号館	109室
A1A2	金2	08E1107	物理数学I[物質基礎科学コース]	國場 敦夫	駒場16号館	109室
A1A2	金2	08E1324	心理統計学	岡田 謙介	駒場11号館	1108教室
A1A2	金2	08F140617	グローバル教養特別演習II(17)	片山 晶子	情報教育棟	E35教室
A1A2	金2	08H006322	東西文明学I(言語と歴史2)	片山 晶子	情報教育棟	E35教室
A1A2	金2	08X1003	地理・空間基礎論I	荒井 良雄	駒場1号館	149教室
A1A2	金2	08X400209	高度教養特殊演習(ダイバーシティ社会をつくる技術)	開 一夫	21KOMCEE West	K303
				坂口 菊恵		
A1A2	金3	08A3004	共通ロシア語(4)	GOLUBOVSKAYA Liubov	駒場5号館	517教室
A1A2	金3	08A4060	共通中国語(60)(会話)	王 前	駒場1号館	156教室
A1A2	金3	08B0141	専門英語(141)	仁井田 千絵	駒場1号館	118教室
A1A2	金3	08B1022	専門フランス語(22)	増田 一夫	駒場8号館	8-205
A1A2	金3	08B2022	専門ドイツ語(22)	足立 信彦	駒場8号館	8-321
A1A2	金3	08B4002	専門中国語(2)	石井 剛	駒場8号館	8-206
A1A2	金3	08C1021	日本文化研究I	岩本 通弥	駒場14号館	407室
A1A2	金3	08C1121	表象文化論特殊講義I	オデイ ジョン	駒場8号館	8-208
A1A2	金3	08C131502	現代思想特殊研究II(2)	石井 剛	駒場8号館	8-206
A1A2	金3	08C1420	学際日本文化論演習I	小森 陽一	駒場8号館	8-322
A1A2	金3	08C1525	言語教育・学習論I[学際言語科学コース]	宇佐美 洋	駒場8号館	8-112
A1A2	金3	08C161213	テキスト分析演習V(13)	小森 陽一	駒場8号館	8-322
A1A2	金3	08C1615	言語教育・学習論I[言語態・テキスト文化論コース]	宇佐美 洋	駒場8号館	8-112
A1A2	金3	08C2245	フランス現代社会論演習	増田 一夫	駒場8号館	8-205
A1A2	金3	08C2319	ドイツ文学テキスト演習I	足立 信彦	駒場8号館	8-321
A1A2	金3	08C2606	アメリカ経済論	杉浦 哲郎	駒場5号館	514教室
A1A2	金3	08C3203	国際経済	竹野 太三	21KOMCEE East	K214
A1A2	金3	08C321650	特殊講義「ヨーロッパ国際政治経済」	伊藤 武	駒場8号館	8-324
A1A2	金3	08C322519	特殊研究演習「計算社会科学入門」	阪本 拓人	情報教育棟	E35教室
A1A2	金3	08D1032	科学技術史演習VI	橋本 毅彦	駒場11号館	1103教室
A1A2	金3	08D1040	科学哲学特論V	オデイ ジョン	駒場8号館	8-208
A1A2	金3	08D1206	情報数理学演習I	中村 政隆	駒場15号館	15-104
	柏原 賢二					

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	金3	08D1340901	広域システム特論III(1)	中村 政隆	駒場15号館	15-104
	金4			柏原 賢二		
A1A2	金3	08D1426	最適化・意思決定論	前田 章	駒場8号館	8-113
A1A2	金3	08E1009	複素解析学	石村 直之	駒場16号館	109室
A1A2	金3	08E1325	認知行動科学特論I	丹野 義彦	駒場13号館	1312教室
				細野 正人		
A 2	金3	08F1103B	言語の認知科学IIIb	森 芳樹	駒場8号館	8-320
A1A2	金3	08F140811	グローバル教養特別演習IV(11)	仁井田 千絵	駒場1号館	118教室
A1A2	金3	08H006312	東西文明学I(思想と批評2)	オダイ ジョン	駒場8号館	8-208
A1A2	金3	08X1011	環境エネルギー経済学	松井 英生	21KOMCEE West	K402
A1A2	金4	08A1004	共通フランス語(4)(会話)	ビゼ フランソワ	駒場1号館	121教室
A1A2	金4	08A9426	ベトナム語(2)	加藤 栄	駒場1号館	117教室
A1A2	金4	08A9443	広東語(3)(初級)	吉川 雅之	駒場10号館	10-204
A1A2	金4	08B0106	専門英語(106)	小原 優貴	駒場17号館	KALS(17号館2階)
A1A2	金4	08B0133	専門英語(133)	野網 摩利子	駒場1号館	115教室
A1A2	金4	08B3004	専門ロシア語(4)	西中村 浩	駒場8号館	8-321
A1A2	金4	08C1311	現代哲学特殊研究I	石原 孝二	駒場12号館	1221教室
A1A2	金4	08C1408	国際日本文化研究	野網 摩利子	駒場1号館	115教室
A1A2	金4	08C1508	言語と人間II	藤井 聖子	駒場18号館	18号館メディアアラボ2
A1A2	金4	08C160915	テキスト分析演習II(15)	西中村 浩	駒場8号館	8-321
A1A2	金4	08C2408	ロシア東欧民族関係論	篠原 琢	駒場8号館	8-320
A1A2	金4	08C2447	ロシア東欧研究V	雲 和広	駒場1号館	155教室
A1A2	金4	08C2449	ロシア東欧文学テキスト演習	西中村 浩	駒場8号館	8-321
A 1	金4	08C2735	ラテンアメリカ史I	高橋 均	駒場8号館	8-317
A 2	金4	08C2736	ラテンアメリカ史II	高橋 均	駒場8号館	8-317
A1A2	金4	08C2815	南アジア地域文化研究	小原 優貴	駒場17号館	KALS(17号館2階)
A1A2	金4	08C311508	特殊講義「開発経済学」	中西 徹	駒場8号館	8-210
A1A2	金4	08C3213	経済発展	中西 徹	駒場8号館	8-210
A1A2	金4	08C403310	国際日本研究特論X	野網 摩利子	駒場1号館	115教室
A1A2	金4	08C4047	文化・思想研究特殊演習I	ベティート ジョシュア	駒場8号館	8-113
A1A2	金4	08D1001	科学哲学概論	石原 孝二	駒場12号館	1221教室
A1A2	金4	08D1427	環境評価特論	TAJVIDI Nader	21KOMCEE West	K303
				ウッドワード・ジョナサン・ロジャー		
A1A2	金4	08E1010	複素解析学演習	石村 直之	駒場16号館	109室
A1A2	金4	08E1015	量子力学I[数理自然科学コース]	深津 晋	駒場16号館	119室
A1A2	金4	08E1109	量子力学I[物質基礎科学コース]	深津 晋	駒場16号館	119室
A1A2	金4	08E1234	量子力学I[統合生命科学コース]	深津 晋	駒場16号館	119室
A1A2	金4	08E1301	認知行動科学研究法	四本 裕子	駒場12号館	1225教室
				各教員		
A1A2	金4	08F140612	グローバル教養特別演習II(12)	ベティート ジョシュア	駒場8号館	8-113
A1A2	金4	08F140812	グローバル教養特別演習IV(12)	野網 摩利子	駒場1号館	115教室
A1A2	金4	08X400102	高度教養特殊講義(こころの総合人間科学特論)	小池 進介	駒場11号館	1101教室
				明地 洋典		
A1A2	金5	08B0098	専門英語(98)	ミルズ アンソニー	駒場10号館	10-303
A1A2	金5	08B0105	専門英語(105)	佐藤 安信	21KOMCEE East	K112
A1A2	金5	08B0143	専門英語(143)	エリス 俊子	駒場8号館	8-207
A1A2	金5	08C1412	日本思想	高山 大毅	駒場1号館	156教室
A1A2	金5	08C1551	言語科学への招待	吉川 雅之	駒場5号館	514教室
A1A2	金5	08C2126	イギリス思想テキスト演習	ミルズ アンソニー	駒場10号館	10-303
A1A2	金5	08C2813	東南アジア地域文化研究	佐藤 安信	21KOMCEE East	K112
A1A2	金5	08C3131	法学演習	福岡 安都子	駒場12号館	1233教室
A1A2	金5	08C4049	歴史・地域研究の基礎I	佐藤 安信	21KOMCEE East	K112
A1A2	金5	08D1201	情報数理学I[総合情報学コース]	山口 和紀	駒場15号館	15-104
A1A2	金5	08D1303	情報数理学I[広域システムコース]	山口 和紀	駒場15号館	15-104
A 2	金5	08D1437	エネルギー資源論II	時松 宏治	駒場1号館	115教室
	金6					
A1A2	金5	08F140102	グローバル教養実践演習(2)	エリス 俊子	駒場8号館	8-207
A1A2	金5	08F1404	グローバル教養特別講義III	佐藤 安信	21KOMCEE East	K112
A1A2	金5	08X000102	超域文化科学高度教養(言語科学への招待)	吉川 雅之	駒場5号館	514教室
A1A2	金5	08X2006	Advanced ALESS I	SEDDON Ryan John	21KOMCEE West	K302
A1A2	金5	08X400101	高度教養特殊講義(こころの総合人間科学概論)	岡ノ谷 一夫	駒場11号館	1101教室
				小池 進介		
				明地 洋典		
A1A2	金6	08C1215	比較芸術論I	東谷 護	アドミニストレーション棟	学際交流ホール
A1A2	集中	08B0129	専門英語(129)	アッシュ イアン トーマス	教養学部	シラバス参照
A1A2	集中	08B3006	専門ロシア語(6)	鴻野 わか菜	教養学部	シラバス参照
A1A2	集中	08C151103	原典講読特殊演習(3)[学際言語科学コース]	李 婉薇	教養学部	シラバス参照
A1A2	集中	08C2454	ロシア東欧特殊研究演習II	鴻野 わか菜	教養学部	シラバス参照
A1A2	集中	08C321623	特殊講義「国際社会研究I」	中西 徹	教養学部	シラバス参照
				コース主任		

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	集中	08C321625	特殊講義「国際社会研究III」	中西 徹	教養学部	シラバス参照
				コース主任		
A1A2	集中	08C321627	特殊講義「国際社会研究V」	中西 徹	教養学部	シラバス参照
				コース主任		
A1A2	集中	08C321628	特殊講義「国際社会研究VI」	中西 徹	教養学部	シラバス参照
				コース主任		
A1A2	集中	08C321634	特殊講義「国際関係論特殊講義VI」	中西 徹	教養学部	シラバス参照
				コース主任		
A1A2	集中	08C321635	特殊講義「国際関係論特殊講義VII」	中西 徹	教養学部	シラバス参照
				コース主任		
A1A2	集中	08C321636	特殊講義「国際関係論特殊講義VIII」	中西 徹	教養学部	シラバス参照
				コース主任		
A1A2	集中	08C321637	特殊講義「国際関係論特殊講義IX」	中西 徹	教養学部	シラバス参照
				コース主任		
A1A2	集中	08C321695	特殊講義「国際安全保障論」	吉川 元	教養学部	シラバス参照
A1A2	集中	08C400702	国際日本研究文献演習I	竹野 太三	教養学部	シラバス参照
				各教員		
A1A2	集中	08C400802	国際日本研究文献演習II	竹野 太三	教養学部	シラバス参照
				各教員		
A1A2	集中	08C403302	国際日本研究特論II	園田 茂人	教養学部	シラバス参照
A1A2	集中	08C403305	国際日本研究特論V	アッシュ イアン トーマス	教養学部	シラバス参照
A1A2	集中	08D1106	地理・空間フィールドワークI	松原 宏	教養学部	シラバス参照
A1A2	集中	08D12481	外国語論文講読I	山口 和紀	教養学部	シラバス参照
A1A2	集中	08D12482	外国語論文講読I	山口 泰	教養学部	シラバス参照
A1A2	集中	08D12483	外国語論文講読I	金井 崇	教養学部	シラバス参照
A1A2	集中	08D12484	外国語論文講読I	金子 知適	教養学部	シラバス参照
A1A2	集中	08D13441	外国語論文講読I	船渡 陽子	教養学部	シラバス参照
				鈴木 建		
A1A2	集中	08E1217	生命の多様性	道上 達男	教養学部	シラバス参照
				矢島 潤一郎		
A1A2	集中	08F1306	現代科学技術概論II	中村 征樹	教養学部	シラバス参照
A1A2	集中	08F140614	グローバル教養特別演習II(14)	王 前	教養学部	シラバス参照
A1A2	集中	08F140624	グローバル教養特別演習II(24)	白 佐立	教養学部	シラバス参照
A1A2	集中	08F140813	グローバル教養特別演習IV(13)	アッシュ イアン トーマス	教養学部	シラバス参照
A1A2	集中	08H006412	東西文明学II(思想と批評2)	王 前	教養学部	シラバス参照
A1A2	集中	08H006442	東西文明学II(環境と身体2)	白 佐立	教養学部	シラバス参照
A1A2	集中	08H006512	東西文明学III(思想と批評2)	前島 志保	教養学部	シラバス参照
A1A2	集中	08H006522	東西文明学III(言語と歴史2)	前島 志保	教養学部	シラバス参照
A1A2	集中	08H006532	東西文明学III(国際社会科学2)	前島 志保	教養学部	シラバス参照
A1A2	集中	08H006542	東西文明学III(環境と身体2)	前島 志保	教養学部	シラバス参照
A1A2	集中	08X400201	高度教養特殊演習(こころの総合人間科学演習)	小池 進介	教養学部	シラバス参照
				明地 洋典		
A1A2	集中	08X400204	高度教養特殊演習(進化認知科学実習)	中谷 裕教	教養学部	シラバス参照
				小池 進介		
				明地 洋典		
A1A2	集中	08X4002071	高度教養特殊演習(ブランドデザインスタジオ)	真船 文隆	教養学部	シラバス参照
				岡本 佳子		
A1A2	集中	08X400208	高度教養特殊演習(子どもと学ぶ学び方)	坂口 菊恵	教養学部	シラバス参照
				中邑 賢龍		
A1A2	集中	08X400210	高度教養特殊演習(都市生活誌フィールドワーク実習於東京)	白 佐立	教養学部	シラバス参照
A1A2	集中	08X500105	後期国際研修(5)	村松 真理子	教養学部	シラバス参照
A1A2	集中	08X500108	後期国際研修(8)	伊藤 徳也	教養学部	シラバス参照
A1A2	集中	08X500109	後期国際研修(9)	白 佐立	教養学部	シラバス参照

教養学部後期課程係：03-5454-6056

平成30年度 Aセメスター (A1・A2) 専門科目一覧表

教育学部

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A1A2	月1	09188001	学校はデータでどう描けるか	藤田 武志	駒場5号館	513
A 1	月1	09188009	身体教育学概論I	森田 賢治	教育学部棟	158講義室
				山本 義春		
				野崎 大地		
A 2	月1	09188010	身体教育学概論II	多賀 巖太郎	教育学部棟	158講義室
				佐々木 司		
				東郷 史治		
A 2	月3	09188002	学校教育学概論	斎藤 兆史	駒場5号館	531
	月4			藤江 康彦		
				浅井 幸子		
A 1	月3 月4	09188004	社会教育論I	李 正連	駒場5号館	531
A1A2	月5	09189211	教育相談I	高岡 佑壮	駒場12号館	1225
A1A2	月5	09188011	機能解剖学 (人体の構造と機能及び疾病)	川内 基裕	教育学部棟	109講義室
				佐々木 司		
A1A2	火1	09189111	数学科教育法III	加々美 勝久	教育学部棟	357講義室
A1A2	火2	09188003	教育行財政学	勝野 正章	駒場5号館	522
				村上 祐介		
A1A2	火4	09189106	社会科教育法IV	野崎 雅秀	教育学部棟	356演習室
A1A2	火4	09189121	特別活動の指導法	森 俊二	教育学部棟	158講義室
A1A2	火4	09189207	教育と社会	西島 央	駒場5号館	525
A1A2	火4	09181304	教育と交感性を考える	田中 智志	教育学部棟	109講義室
A1A2	火6	09189204	特別活動論	福島 昌子	駒場13号館	1313
A1A2	水2	09188013	発展途上国における教育	ウォルター・ドーソン	駒場12号館	1214
A 1	木1	09188009	身体教育学概論I	森田 賢治	教育学部棟	158講義室
				山本 義春		
				野崎 大地		
A 2	木1	09188010	身体教育学概論II	多賀 巖太郎	教育学部棟	158講義室
				佐々木 司		
				東郷 史治		
A1A2	木3	09188008	教育心理学実験演習 I	藤村 宣之	教育学部棟	159講義室
				市川 伸一		
				能智 正博		
				下山 晴彦		
				秋田 喜代美		
				針生 悦子		
	木4			高橋 美保		
				南風原 朝和		
				岡田 猛		
				滝沢 龍		
				遠藤 利彦		
				植阪 友理		
A1A2	木4	09188005	情報・資料分析論演習	影浦 峽	情報教育棟	E42
A1A2	木5	09188006	教育資料調査法演習	影浦 峽	情報教育棟	E42
A1A2	金1	09189127	教育相談II	伊藤 直樹	赤門総合研究棟	A200講義室
A1A2	金2	09189108	地理歴史科教育法III	田中 暁龍	教育学部棟	357講義室
A1A2	金2	09188012	Philosophical Issues in Education	山辺 恵理子	駒場1号館	114
A1A2	金2	09188007	心理学統計法 I	岡田 謙介	駒場11号館	1108
A1A2	金4	09181303	価値と教育Ⅲ	片山 勝茂	教育学部棟	158講義室
A1A2	金4	09188014	日本の教育研究	クリストファー・ボンディー	駒場12号館	1222
集中	集中	09189104	社会科教育法III	小林 汎	教育学部棟	159講義室
集中	集中	09189131	英語科教育法III	越智 豊	教育学部棟	159講義室

※教育学部学生支援チーム：03-5841-3907

平成30年度 Aセメスター (A1・A2) 専門科目一覽表

薬学部

開講区分名	開講曜限	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設
A 1	月2	1011126	機能形態学	岸 雄介	薬学部	西館1F 西講義室
				名黒 功		
				小山 隆太		
				富田 泰輔		
				池谷 裕二		
				一條 秀憲		
A 2	月2	1012128	製剤設計学	楠原 洋之	薬学部	西館1F 西講義室
A 1	月3	1012129	薬事法・特許法	前田 和哉	薬学部	西館1F 西講義室
				榎田 祥子		
A 2	月3	1012127	微生物学・化学療法学	小野 俊介	薬学部	西館1F 西講義室
				垣内 力		
A 1	月4	1011129	薬理学I	堀 昌平	薬学部	西館1F 西講義室
A 2	月4	1011115	物理化学III	池谷 裕二	薬学部	西館1F 西講義室
				清水 敏之		
A 1	火2	1011146	分子生物学	大戸 梅治	薬学部	西館1F 西講義室
				村田 茂徳		
A 2	火2	1012253	医薬品・医療ビジネス	八代田 英樹	薬学部	西館1F 西講義室
A 1	火3	1011147	薬物動態制御学	今村 恭子	薬学部	西館1F 西講義室
A 2	火3	1011159	病理学	楠原 洋之	薬学部	西館1F 西講義室
A 1	火4	1012236	生物統計学	前田 和哉	薬学部	西館1F 西講義室
A 2	火4	1012304	構造分子薬学	富田 泰輔	薬学系研究科	講堂
				五十嵐 中		
				清水 敏之		
A 1	水2	1012204	免疫学	嶋田 一夫	薬学部	西館1F 西講義室
				大戸 梅治		
A 2	水2	1011156	機能生物学	東 伸昭	薬学部	西館1F 西講義室
A 1	水3	1011148	有機化学I	堀 昌平	薬学部	西館1F 西講義室
A 2	水3	1011150	有機化学III	岸 雄介	薬学部	西館1F 西講義室
				後藤 由季子		
A 1	水4	1011113	物理化学I	井上 将行	薬学部	西館1F 西講義室
				内山 真伸		
A 2	水4	1012130	医薬品評価科学	宮本 和範	薬学部	西館1F 西講義室
A 1	木2	1011158	放射化学	嶋田 一夫	薬学部	西館1F 西講義室
A 2	木2	1011157	医療薬学	西田 紀貴	薬学部	西館1F 西講義室
				小野 俊介		
A 1	木3	1011114	物理化学II	秋光 信佳	薬学部	西館1F 西講義室
				高田 龍平		
A 2	木3	1011151	有機化学IV	鈴木 洋史	薬学部	西館1F 西講義室
A 1	木4	1011154	分析化学I	角田 誠	薬学部	西館1F 西講義室
A 2	木4	1012126	公衆衛生学	船津 高志	薬学部	西館1F 西講義室
A 1	金2	1011153	細胞生物学	金井 求	薬学部	西館1F 西講義室
				新井 洋由		
A 2	金2	1012233	発生遺伝学	富田 泰輔	薬学部	西館1F 西講義室
A 1	金3	1011101	薬学概論	福山 征光	薬学部	西館1F 西講義室
A 2	金3	1011155	分析化学II	三浦 正幸	薬学部	西館1F 西講義室
				船津 高志		
A 1	金4	1011149	有機化学II	角田 誠	薬学部	西館1F 西講義室
				船津 高志		
A 2	金4	1011301	創薬科学	大和田 智彦	薬学部	西館1F 西講義室
				尾谷 優子		
				池谷 裕二	薬学部	西館1F 西講義室
				金井 求	薬学部	西館1F 西講義室

※薬学部教務チーム：03-5841-4703

平成30年度 Aセメスター (A1・A2) 専門科目 (教職科目) 一覧表

開講区分名	開講曜日	時間割コード	開講科目名称	担当教員名	建物	施設	対象	開講学部
A1A2	月3	08G0002	国語科教育法II	齋藤 知也	駒場1号館	155	2年	教養学部
A1A2	月5	09189211	教育相談I	高岡 佑壮	駒場12号館	1225	1年 2年	教育学部
A1A2	火1	09189111	数学科教育法III	加々美 勝久	教育学部棟	357講義室	2年	教育学部
A1A2	火4	09189207	教育と社会	西島 央	駒場5号館	525	1年 2年	教育学部
A1A2	火4	09189121	特別活動の指導法	森 俊二	教育学部棟	158講義室	1年 2年	教育学部
A1A2	火4	09189106	社会科教育法IV	野崎 雅秀	教育学部棟	356演習室	2年	教育学部
A1A2	火5	0590005	情報科教育法II(※2)	辰巳 丈夫	理7号館	102号室	1年 2年	理学部
A1A2	火6	09189204	特別活動論	福島 昌子	駒場13号館	1313	1年 2年	教育学部
A 1	木3	08G0012	英語科教育法I	奥 聡一郎	駒場1号館	120	2年	教養学部
	木4							
A1A2	金1	09189127	教育相談II	伊藤 直樹	赤門総合研究棟	A200講義室	1年 2年	教育学部
A1A2	金2	09189108	地理歴史科教育法III	田中 暁龍	教育学部棟	357講義室	2年	教育学部
集中	集中	09189104	社会科教育法III	小林 汎	教育学部棟	159講義室	2年	教育学部
集中	集中	09189131	英語科教育法III	越智 豊	教育学部棟	159講義室	2年	教育学部

※1 お問い合わせは開講学部の教務担当まで

※2 「情報科教育法II」の履修登録はUTASではなく理学部学務課にて受け付けします。詳細はUTASシラバスを参照して下さい。

(連絡先: kyomus@gs.mail.u-tokyo.ac.jp)

法学部 専門科目時間割表

※法学部教務係：03-5841-3109

月曜日						
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限						
2時限	0118071	SIS2 A1A2	刑法第1部	樋口 亮介	講堂	900
3時限						
4時限	0118021	SIS2 A1A2	民法第1部	沖野 眞巳	講堂	900
5時限	0118141	A1A2	国際法第1部	寺谷 広司 森 肇志	講堂	900

火曜日						
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限	0118003	SIS2 A1A2	憲法	石川 健治	講堂	900
2時限	0118381	A1A2	経済学基礎	柳川 範之	講堂	900
3時限	0118201	A1A2	政治学	加藤 淳子	講堂	900
4時限	0118561	A1A2	国際政治	藤原 帰一	講堂	900
5時限						

法学部 専門科目時間割表

水曜日						
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限						
2時限	0118231	A1A2	ヨーロッパ政治史	中山 洋平	講堂	900
3時限						
4時限						
5時限						

木曜日						
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限	0118561	A1A2	国際政治	藤原 帰一	講堂	900
2時限	0118141	A1A2	国際法第1部	寺谷 広司, 森 肇志	講堂	900
3時限	0118381	A1A2	経済学基礎	柳川 範之	講堂	900
4時限	0118862 0118863	A1 A2	統計学I 統計学II	久保川 達也 久保川 達也	駒場13号館 駒場13号館	1323 1323
5時限	0118862 0118863	A1 A2	統計学I 統計学II	久保川 達也 久保川 達也	駒場13号館 駒場13号館	1323 1323

法学部 専門科目時間割表

金曜日						
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限	0118661	A1A2	日本近代法史	和仁 陽	講堂	900
2 時 限	0118201	A1A2	政治学	加藤 淳子	講堂	900
3 時 限						
4 時 限	0118231	A1A2	ヨーロッパ政治史	中山 洋平	講堂	900
5 時 限	0118003	SIS2 A1A2	憲法	石川 健治	講堂	900

医学部 専門科目時間割表

※ 医学部教務係：03-5841-3308

※ 医学部開講科目は日程が変動的なため、開講場所と同様に医学部の時間割冊子等を確認してください。

月曜日						
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限	02219	A2	生命科学・ゲノム学 I	渡邊 洋一	医学部3号館	S101
2時限	02211	A1A2	健康総合科学概論	松山 裕	医学部3号館	S101
3時限	02203	A1	解剖学	渡邊 洋一	医学部3号館	S101
	02213	A2	社会と健康	高木 大貴, 橋本 英樹	医学部3号館	S101
4時限	02212	A1	国際保健学	梅崎 昌裕, 小坂 理子	医学部3号館	S101
	02213	A2	社会と健康	高木 大貴, 橋本 英樹	医学部3号館	S101
5時限						

火曜日						
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限	02225	A2	薬理学・毒性学	梅崎 昌裕	医学部3号館	S101
2時限	02206	A1	看護学概論	國江 慶子, 武村 雪絵, 市川 奈央子, 木田 亮平	医学部3号館	S101
	02225	A2	薬理学・毒性学	梅崎 昌裕	医学部3号館	S101
3時限	02214	A2	人類遺伝学 I	馬淵 昭彦, 徳永 勝士	医学部3号館	S101
	02234	A1	発生発達学	星野 愛, 水口 雅, 高梨 さやか	医学部3号館	S101
4時限	02204	A2	科学論文・表現技術	近藤 尚己	医学部3号館	S101
	02234	A1	発生発達学	星野 愛, 水口 雅, 高梨 さやか	医学部3号館	S101
5時限	02210	A1	健康総合科学英語 I	山本 則子, ミリノダ ハル	医学部3号館	S101
	02232	A2	生命環境科学のトピックス	星野 愛, 水口 雅, 高梨 さやか	医学部3号館	S101

医学部 専門科目時間割表

水曜日						
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限						
2時限						
3時限						
4時限						
5時限						

木曜日						
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限	02205	A2	環境と健康	梅崎 昌裕, 小西 祥子	医学部3号館	S101
	02226	A1	基礎生命科学	渡邊 洋一	医学部3号館	S101
2時限	02205	A2	環境と健康	梅崎 昌裕, 小西 祥子	医学部3号館	S101
	02226	A1	基礎生命科学	渡邊 洋一	医学部3号館	S101
3時限	02216	A1	生物統計学	松山 裕	医学部本館	大講堂
	02250	A2	基礎看護学 I	國江 慶子, 武村 雪絵, 木田 亮平, 市川 奈央子	医学部3号館, 医学部5号館	S201, S202, 201
4時限	02216	A1	生物統計学	松山 裕	医学部本館	大講堂
	02250	A2	基礎看護学 I	國江 慶子, 武村 雪絵, 木田 亮平, 市川 奈央子	医学部3号館, 医学部5号館	S201, S202, 201
5時限						

医学部 専門科目時間割表

金曜日						
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限	02207	A1	感染症	星野 愛, 水口 雅, 高梨 さやか	医学部3号館	S101
	02218	A2	生命・医療倫理 I	山本 圭一郎, 赤林 朗, 澁本 慎之, 中澤 栄輔	医学部3号館	S101
2 時 限	02209	A1	健康心理学	川上 憲人	医学部3号館	S101
	02218	A2	生命・医療倫理 I	赤林 朗, 澁本 慎之, 中澤 栄輔	医学部3号館	S101
3 時 限	02221	A1	生理学	梅崎 昌裕, 小西 祥子	医学部3号館	S101
	02241	A2	公共健康科学統合講義 I	橋本 英樹	医学部3号館	S101
4 時 限	02221	A1	生理学	梅崎 昌裕, 小西 祥子	医学部3号館	S101
	02241	A2	公共健康科学統合講義 I	橋本 英樹	医学部3号館	S101
5 時 限	02290	A1A2	ゼミナール	山本 則子	医学部	シラバス 参照

工学部 専門科目時間割表

※ 工学部学務課学部チーム：03-5841-6036

※ 最新の開講場所については、UTASシラバス、工学部の時間割冊子等を確認してください。

	月曜日						
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室	
1 時限	FEN-AR2q07L1	A 2	建築弾性学	伊山 潤	工 1 号館	工12号講義室	
	FEN-CH200L1	A 1	生命化学I	山口 哲志, 畑中 研一	駒場13号館	1313	
	FEN-CH201L1	A 2	生命化学II	岡本 晃光	駒場13号館	1313	
	FEN-EE2102L1	A1A2	信号解析基礎	苗村 健	駒場5号館	525	
	FEN-MA2e07L1	A 1	材料力学I	南部 将一, 榎 学	駒場5号館	511	
	FEN-UE2m03L1	A 1	地球環境工学	滝沢 智	工14号館	144講義室	
2 時限	FEN-AA2a41L1	A1A2	航空宇宙情報システム学第一	堀 浩一	駒場5号館	513	
	FEN-AM2220L1	A1A2	統計熱力学	岩佐 義宏	駒場11号館	1108	
	FEN-AR2q01L1	A1A2	建築構造解析第一	藤田 香織, 塩原 等, 高田 毅士	工 1 号館	工12号講義室	
	FEN-CE2a02L1	A2	社会技術論	加藤 浩徳, 小松崎 俊作	工 1 号館	工15号講義室	
	FEN-CE2a03L1	A1	基礎流体力学	下園 武範	工学部新2号館	工213号講義室	
	FEN-CH2200L1	A1	電気工学大要第一	杉山 正和	駒場11号館	1102	
	FEN-CH2306L1	A2	化学工I	酒井 康行	駒場7号館	761	
	FEN-EE2e02L1	A1A2	デジタル回路	入江 英嗣	駒場7号館	721	
	FEN-MA2201L1	A1	材料量子力学	渡邊 聡	駒場5号館	511	
	FEN-MA2301L1	A2	有機材料化学	山崎 裕一, 吉田 亮	駒場5号館	511	
	FEN-MX2b01L1	A1A2	流れ学第一	高木 周, 軒澤 郁也	工学部新2号館	工221号講義室	
	FEN-SI2b11L1	A1	材料力学1	村山 英品	駒場5号館	533	
	FEN-SI2b12L1	A2	材料力学2	村山 英品	駒場5号館	533	
	FEN-UE2m04L1	A2	環境公衆衛生	福士 謙介	工14号館	144講義室	
	3 時限	FEN-AM2150L1	A1A2	最適化手法	谷川 眞一	駒場11号館	1108
		FEN-AR2e01L1	A1A2	建築構法概論	清家 剛	工 1 号館	工12号講義室
FEN-CE2a06L1		A1	基盤技術設計論I	長山 智則, 高橋 佑弥, 古岡 潤一	工 1 号館	工15号講義室	
FEN-CE2a07L1		A2	基盤技術設計論II	長山 智則, 高橋 佑弥, 古岡 潤一	工 1 号館	工15号講義室	
FEN-CH2307L1		A1	有機化学I	工藤 一秋, 吉江 尚子	駒場13号館	1311, 1312	
FEN-CH2308L1		A2	有機化学II	相川 光介, 藤田 誠	駒場13号館	1311, 1331	
FEN-CO2927S1		A1A2	数学及力学演習 G	矢入 健久	駒場5号館	521	
FEN-EE2201L1		A1A2	電気磁気学I	小野 亮種, 村 拓夫	駒場7号館	761	
FEN-MX2b02L1		A1A2	計測の原理と応用	下山 勲, 米谷 玲皇, 朝澤 伸一	工学部新2号館	工221号講義室	
FEN-PE2801S1		A2	設計演習II	深野 暁雄, 浅間 一	情報教育棟	E26	
FEN-PE2d00L1		A1	プログラミング基礎I	田村 雄介, 木下 裕介	情報教育棟	E26	
FEN-SI2w53L1		A1	社会システム工学基礎	吉田 好邦	駒場5号館	533	
FEN-SI2w54L1		A2	知識と知能	青山 和浩, 西野 成昭, 大澤 幸生	2IKOMCEE East	K213	
FEN-AM2d10L1		A1A2	数値解析	松尾 宇泰	駒場11号館	1108	
FEN-CE2101L1		A1	数理分析の基礎	市村 強, 本田 利器	工 1 号館	工15号講義室	
FEN-CH2301L1		A1	物理化学I	眞弓 皓一	駒場12号館	1225	
FEN-CH2302L1	A2	量子化学I	田村 宏之, 石北 央	駒場12号館	1225		
FEN-CO2922L1	A1	数学及力学演習 B	伊山 潤	工 1 号館	工12号講義室		
FEN-CO2927S1	A1A2	数学及力学演習 G	矢入 健久	駒場5号館	521		
FEN-EE2202L1	A1A2	電気磁気学II	小野 亮種, 村 拓夫	駒場7号館	761		
FEN-MX2601L1	A1A2	システム制御 1	長 隆之, 杉田 直彦, 福井 類, 山本 江	工学部新2号館	工221号講義室		
FEN-PE2801S1	A2	設計演習II	深野 暁雄, 浅間 一	情報教育棟	E26		
FEN-PE2d00L1	A1	プログラミング基礎I	田村 雄介, 木下 裕介	情報教育棟	E26		
FEN-SI2503L1	A2	環境・エネルギー材料科学概論	寺井 隆幸, 阿部 弘亨	駒場13号館	1331		
FEN-SI2w01L1	A1	システム創成学基礎	古田 一雄	駒場5号館	533		
FEN-UE2101L1	A1	基礎統計	中谷 隼	工14号館	144講義室		
FEN-UE2102L1	A2	社会調査法	浅見 泰司, 榎野 公宏, 廣井 悠	工14号館	144講義室		

	火曜日					
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時限	FEN-AR2e04L1	A2	荷重外力論第一	高田 毅士	工 1 号館	工11号講義室
	FEN-CH2305L1	A1	コンピュータ科学	大久保 将史	駒場13号館	1331
	FEN-CH2m00S1	A2	コンピュータ及び演習	小寺 正明	情報教育棟	E21
	FEN-EE2d04L1	A1A2	情報通信理論	相澤 清晴	駒場11号館	1108
	FEN-MX2b06L1	A1A2	機械力学	金子 成彦, 小竹 元基, 山崎 由大, 荒 超鉄	工学部新2号館	工221号講義室
	FEN-PE2e00L1	A1A2	材料工I	伊藤 寿浩, 高松 誠一	工14号館	142講義室
FEN-SI2e02L1	A1	ビジネス入門	元橋 一之	駒場13号館	1312	
2 時限	FEN-AA2a46L1	A1A2	航空機力学第一	今村 太郎	駒場1号館	164
	FEN-AM2211L1	A1A2	電磁気学第一	芝内 孝慎	駒場7号館	724
	FEN-AR2e01L1	A1A2	環境工学概論	前 真之, 平手 小太郎, 佐久間 哲哉, 赤司 泰義	工 8 号館	工83号講義室
	FEN-CE2a02L1	A1	構造の力学	長山 智則, 本田 利器	工学部新2号館	工213号講義室
	FEN-CE2a05L1	A2	水理学	如花 武住, 池内 幸司	工 1 号館	工14号講義室
	FEN-CH2303L1	A1	分析化学I	田端 和仁	駒場5号館	525
	FEN-CH2309L1	A2	分析化学II	北森 武彦, 馬渡 和良	駒場5号館	525
	FEN-EE2601L1	A1A2	電気電子計測	廣瀬 明	駒場11号館	1108
	FEN-MA2e02L1	A1	材料速度論	長沙 見輔, 神原 淳	工 4 号館	工12号講義室
	FEN-MA2e03L1	A2	材料相平衡論	松浦 宏行	工 4 号館	工12号講義室
	FEN-MX2903S1	A1A2	機械力学演習	高橋 宏知, 山崎 由大, 二瓶 美里, 荒 超鉄, 宇料 長	工学部新2号館	工221号講義室
	FEN-PE2e00L1	A1A2	電気回路基礎	神保 泰彦	工14号館	142講義室
	FEN-SI2501L1	A2	環境・エネルギー概論	寺井 隆幸, 鈴木 英之, ドロババジョン	駒場5号館	523
	FEN-SI2504L1	A1	地球科学	徳永 朋洋, 中村 謙太郎, 加藤 泰浩	駒場5号館	524
	FEN-SI2d08L1	A1	データ指向モデリング	和泉 潔, 島海 不二夫	駒場12号館	1214
	FEN-SI2e02L1	A1	ビジネス入門	元橋 一之	駒場13号館	1312
3 時限	FEN-AA2a62L1	A1A2	航空宇宙推進学第一	中谷 辰爾	2IKOMCEE East	K212
	FEN-AM2100L1	A1	基礎数学I	岩田 覚	駒場7号館	761
	FEN-AM2240L1	A2	半導体概論	千葉 大地	駒場11号館	1102
	FEN-AR2e01L1	A1	建築材料科学概論	野口 貴文	工 1 号館	工12号講義室
	FEN-CE2a04L1	A2	材料の力学	長 賢洋, 廣 晋一, 藤 龍也	工学部新2号館	工211号講義室
	FEN-CH2300L1	A2	物性論I	竹谷 純一	駒場11号館	1101
	FEN-CH2304L1	A1	無機化学I	宮山 勝	駒場5号館	525
	FEN-EE2e01L1	A1A2	電気回路理論第一	藤本 博志, 小関 泰之	駒場11号館	1108
	FEN-MA2302L1	A2	無機材料化学	喜多 浩之	工 4 号館	工12号講義室
	FEN-MA2303L1	A1	材料結晶学	阿部 英司	工 4 号館	工12号講義室
	FEN-MX2902S1	A1A2	機械数学演習	相澤 郁也, 中村 祥孝, 宇料 長	工学部新2号館	工221号講義室
	FEN-PE2b00L1	A1	機械振動学基礎	坂坂 寛	工14号館	142講義室
	FEN-SI2900S1	A1A2	動機付けプロジェクト	愛知 正温, 藤田 豊久, 青山 和浩, 早稲田 卓爾, 沖田 泰良, 菅野 太郎, 中村 謙太郎, 柴田 和也, 松尾 豊, 藤井 康正, 橋本 学	駒場1号館, 駒場11号館, 情報教育棟	109, 1105, 112, 113, 115, 151, 167, 184, E25, E35, E39, E42
	FEN-UE2m07L1	A1A2	緑地計画概論	横張 真	工14号館	141講義室
	FEN-AM2610L1	A1	回路とシステムの基礎	榎山 敦	駒場7号館	761
	FEN-AR2m05L1	A1A2	都市建築史概論	加藤 耕一, 教員	工 1 号館	工11号講義室
FEN-CA2900L1	A1	応用化学基礎論	渡邊 力也, 各教員	駒場5号館	531	
FEN-CB2901L3	A1A2	Introductory lectures for chemistry and biotechnology	池内 与志徳, 各教員	駒場12号館	1214	
FEN-CE2m23L1	A1A2	社会基盤学序論	石田 哲也, 布施 孝志, 田島 芳満, 羽藤 英二	工 1 号館	工14号講義室	
FEN-CS2901L1	A1A2	化学システム工学基礎論	山田 淳夫, 各教員	駒場12号館	1212	
FEN-EE2e01L1	A1A2	電気回路理論第一	藤本 博志, 小関 泰之	駒場11号館	1108	
FEN-MA2202L1	A2	材料統計力学	木村 薫	工 4 号館	工12号講義室	
FEN-MA2e01L1	A1	基礎熱力学	山口 周	工 4 号館	工12号講義室	
FEN-MP2710L1	A2	認識行動システムの基礎	稲見 昌彦	2IKOMCEE East	K212	
FEN-MX2b03L1	A1A2	熱工学第一	飛原 英治, 大宮司 啓文	工学部新2号館	工221号講義室	
FEN-PE2b00L1	A1	機械振動学基礎	坂坂 寛	工14号館	142講義室	
FEN-SI2900S1	A1A2	動機付けプロジェクト	愛知 正温, 藤田 豊久, 青山 和浩, 早稲田 卓爾, 沖田 泰良, 菅野 太郎, 中村 謙太郎, 柴田 和也, 松尾 豊, 藤井 康正, 橋本 学	駒場1号館, 駒場11号館, 情報教育棟	109, 1105, 112, 113, 115, 151, 167, 184, E25, E35, E39, E42	
FEN-UE2m08L1	A1A2	都市居住概論	榎野 公宏	工14号館	141講義室	
5 時限	FEN-CE2a17L1	A1	水圏デザイン基礎	如花 武住, 田島 芳満, 池内 幸司, 芳村 圭, 野間 幸生	工 1 号館	工14号講義室
	FEN-CO2145L1	A1A2	数理手法V(Aクラス)	藤原 毅夫	駒場7号館	761
	FEN-MA2e08L1	A1A2	マテリアル工学概論	渡邊 聡, 小関 敏彦, 榎 学, 石原 一彦	工 4 号館	工12号講義室
	FEN-SI2900S1	A1A2	動機付けプロジェクト	愛知 正温, 藤田 豊久, 青山 和浩, 早稲田 卓爾, 沖田 泰良, 菅野 太郎, 中村 謙太郎, 柴田 和也, 松尾 豊, 藤井 康正, 橋本 学	駒場1号館, 駒場11号館, 情報教育棟	109, 1105, 112, 113, 115, 151, 167, 184, E25, E35, E39, E42
	FEN-UE2d01L1	A1	情報学概論	各教員	工14号館	144講義室

専門科目時間割表

工学部 専門科目時間割表

水曜日					
時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限	FEN-CO200L1	A1A2 生命科学概論(電気系・物工・計数)	高橋 浩之, 高木 周, 酒井(占) 克子, 成瀬 明, 田畑 仁	駒場11号館	1101
	FEN-CO201L1	A1A2 生命科学概論(マテ・応化・化シス)	大庭 伸介, 鈴木 健夫, 野地 博行, 石北 央	駒場11号館	1102
	FEN-MX240L1	A1A2 ソフトウェア第一	岡田 慧, 森本 賢一, 山本 江	情報教育棟	E21
	FEN-UE2m05L1	A1 都市計画概論	大方 潤一郎	駒場13号館	1311
2時限	FEN-CE2m24L1	A1A2 社会基盤史	北河 大次郎, 中井 祐	駒場13号館	1312
	FEN-CO260L1	A1A2 計測通論A	並木 明夫	2KOMCEE East	K214
	FEN-CO260ZL1	A1A2 計測通論B	池内 真志	2KOMCEE East	K213
	FEN-CO260SL1	A1A2 計測通論C	渡辺 義浩	2KOMCEE East	K212
	FEN-EE2403S1	A1A2 プログラミング基礎演習	長谷川 禎彦	情報教育棟	E31
	FEN-MX290S1	A1A2 機械ソフトウェア演習	岡田 慧, 森本 賢一, 山本 江	情報教育棟	E21
	FEN-PE2600L1	A1A2 計測と加工の基礎	梶原 優介	駒場12号館	1221
	FEN-SI2e01L1	A1A2 物性学基礎	長谷川 秀一, 沖田 泰良	駒場13号館	1321
	FEN-SI2t04S1	A1 力学演習1	早稲田 卓爾, 羽柴 公博, 尾崎 雅彦	2KOMCEE East	K114, K211
	FEN-SI2t05S1	A2 力学演習2	早稲田 卓爾, 羽柴 公博, 北澤 大輔, 尾崎 雅彦	2KOMCEE East	K114, K211
	FEN-UE2m05L1	A1 都市計画概論	大方 潤一郎	駒場13号館	1311
3時限	FEN-AM2231L1	A1A2 量子力学第一	鹿野田 一司	駒場7号館	741
	FEN-AR2w01S1	A1 造形第一	小淵 祐介	工.8号館	工.83号講義室
	FEN-AR2w02S1	A2 造形第二	高木 秀太, 隈 研吾	工.8号館	工.83号講義室
	FEN-CE2m25L1	A1A2 国際プロジェクト序論	加藤 浩徳, 石田 哲也, 田島 芳義, 小松崎 俊作, 本田 利器	駒場13号館	1312
	FEN-CO2141L1	A1A2 数理手法I	合田 隆, 縄田 和満	駒場7号館, 情報教育棟	743, E26, E21, E41, E42
	FEN-CO2e01L1	A1A2 電気工学通論第一	山下 真司	駒場12号館	1225
	FEN-PE2100L1	A1A2 精密数理I-1	小谷 潔	駒場12号館	1221
	FEN-UE2m02L1	A1A2 環境水質化学	中島 典之, 小熊 久美子	駒場12号館	1214
4時限	FEN-AR2w01S1	A1 造形第一	小淵 祐介	工.8号館	工.83号講義室
	FEN-AR2w02S1	A2 造形第二	高木 秀太, 隈 研吾	工.8号館	工.83号講義室
	FEN-CO2111L1	A1A2 数学1 A	佐々 成正	駒場7号館	741
	FEN-CO2112L1	A1A2 数学1 B	井上 純一	駒場5号館	525
	FEN-CO2114L1	A1A2 数学1 D	江澤 雅彦	駒場7号館	743
	FEN-CO2115L1	A1A2 数学1 E	妹尾 仁嗣	駒場11号館	1106
	FEN-SI2101S1	A1A2 数理演習1	愛知 正温, 阿部 弘亨, 早稲田 卓爾, 松島 潤, 松崎 浩之, 多部田 茂, 井原 智彦, 橋本 学	2KOMCEE East	K212, K213, K214
5時限	FEN-AA2401L1	A1A2 空気力学第一	李家 賢一	駒場5号館	511
	FEN-AR2402L1	A1 建築構造計画概論	佐藤 淳	工.1号館	工.11号講義室
	FEN-CO2148L1	A1A2 数理手法V(Bクラス)	島田 尚	駒場5号館	532
	FEN-SI2101S1	A1A2 数理演習1	愛知 正温, 阿部 弘亨, 早稲田 卓爾, 松島 潤, 松崎 浩之, 多部田 茂, 井原 智彦, 橋本 学	2KOMCEE East	K212, K213, K214

木曜日					
時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限	FEN-AR2407L1	A2 建築弾性学	伊山 潤	工.1号館	工.12号講義室
	FEN-CH2301L1	A1 物理化学I	眞弓 皓一	駒場12号館	1225
	FEN-CH2308L1	A2 有機化学II	相川 光介, 藤田 誠	駒場13号館	1311, 1331
	FEN-EE2203L1	A1A2 電子基礎物理	杉山 正和, 山下 真司	駒場5号館	525
	FEN-MA2407L1	A1 材料力学I	南部 将一, 櫻 学	駒場5号館	511
	FEN-MX2602L1	A1A2 材料力学第一	波田野 明日可, 泉 聡志	工学部新2号館	工.221号講義室
	FEN-PE2101L1	A2 精密数理I-2	中川 桂一	工.14号館	142講義室
	FEN-PE2104L1	A1 確率・統計	高松 誠一, 木下 裕介	工.14号館	142講義室
	FEN-UE2m09L1	A2 都市デザイン概論	出口 敦	工.14号館	141講義室
2時限	FEN-AR2402L1	A1A2 建築熱環境	赤司 泰義	工.1号館	工.12号講義室
	FEN-CE2402L1	A2 社会技術論	加藤 浩徳, 小松崎 俊作	工.1号館	工.15号講義室
	FEN-CE2403L1	A1 基礎流体力学	下園 武範	工学部新2号館	工.213号講義室
	FEN-CH2302L1	A2 量子化学I	田村 宏之, 石北 央	駒場12号館	1225
	FEN-CH2307L1	A1 有機化学I	工藤 一秋, 吉江 高子	駒場13号館	1311, 1312
	FEN-EE2203L1	A1A2 電子基礎物理	杉山 正和, 山下 真司	駒場5号館	525
	FEN-MA2201L1	A1 材料量子力学	渡邊 聡	駒場5号館	511
	FEN-MA2301L1	A2 有機材料化学	山崎 裕一, 吉田 亮	駒場5号館	511
	FEN-MX2604L1	A1A2 機構学	下山 勲, 高畑 智之	工学部新2号館	工.221号講義室
	FEN-PE2101L1	A2 精密数理I-2	中川 桂一	工.14号館	142講義室
	FEN-PE2104L1	A1 確率・統計	高松 誠一, 木下 裕介	工.14号館	142講義室
	FEN-SI2b21L1	A1 流体力学1	柴田 和也, 平林 紳一郎	駒場13号館	1331
	FEN-SI2b22L1	A2 流体力学2	山口 一, 柴田 和也	駒場13号館	1331
	FEN-UE2m09L1	A2 都市デザイン概論	出口 敦	工.14号館	141講義室
	FEN-AA2801S1	A1A2 航空宇宙学製図第一	姫野 武洋	駒場1号館	167
3時限	FEN-AR2401S1	A1A2 建築総合演習	清家 剛, 建築全教員	工.1号館	工.12号講義室
	FEN-CE2406L1	A1 基盤技術設計論I	長山 智剛, 高橋 佑弥, 古岡 潤一	工.1号館	工.15号講義室
	FEN-CE2407L1	A2 基盤技術設計論II	長山 智剛, 高橋 佑弥, 古岡 潤一	工.1号館	工.15号講義室
	FEN-CH2001L1	A1 生命化学I	山口 哲志, 畑中 研一	駒場13号館	1313
	FEN-CH2011L1	A2 生命化学II	岡本 見充	駒場13号館	1313
	FEN-CO2929S1	A1A2 数学及力学演習I	江澤 雅彦	駒場7号館	722, 742
	FEN-EE2401L1	A1 ソフトウェアI	川原 圭博	情報教育棟	E21
	FEN-EE2402L1	A2 ソフトウェアII	齋藤 大輔	情報教育棟	E21
	FEN-PE2800S1	A1 設計演習I	二瓶 一裕, 鈴木 宏正	工.14号館	142講義室
	FEN-PE2401L1	A2 プログラミング基礎II	田村 雄介, 木下 裕介	情報基盤センター	情報基盤センター大演習室1
	FEN-SI2w53L1	A1 社会システム工学基礎	吉田 好邦	駒場5号館	533
	FEN-SI2w54L1	A2 知識と知能	青山 和浩, 西野 成昭, 大澤 幸生	2KOMCEE East	K213
4時限	FEN-AR2401S1	A1A2 建築総合演習	清家 剛, 建築全教員	工.1号館	工.12号講義室
	FEN-CE2101L1	A1 数理分析の基礎	市村 強, 本田 利器	工.1号館	工.15号講義室
	FEN-CH2200L1	A1 電気工学大要第一	杉山 正和	駒場11号館	1102
	FEN-CH2306L1	A2 化学工学I	酒井 康行	駒場7号館	761
	FEN-CO2929S1	A1A2 数学及力学演習I	江澤 雅彦	駒場7号館	722, 742
	FEN-EE2401L1	A1 ソフトウェアI	川原 圭博	情報教育棟	E21
	FEN-EE2402L1	A2 ソフトウェアII	齋藤 大輔	情報教育棟	E21
	FEN-PE2800S1	A1 設計演習I	二瓶 一裕, 鈴木 宏正	工.14号館	142講義室
	FEN-PE2401L1	A2 プログラミング基礎II	田村 雄介, 木下 裕介	情報基盤センター	情報基盤センター大演習室1
	FEN-SI2w01L1	A1 システム創成学基礎	古田 一雄	駒場5号館	533
	FEN-UE2901S1	A1A2 環境計画基礎演習	古田 一雄, 各教員	工.14号館	145講義室
	FEN-UE2902S1	A1A2 都市工学設計製図	中谷 年, 各教員	工.14号館	141講義室
5時限	FEN-CE2401L1	A1 基礎情報学	石原 孟, 山口 敦	情報基盤センター	情報基盤センター大演習室1
	FEN-PE2800S1	A1 設計演習I	二瓶 一裕, 鈴木 宏正	工.14号館	142講義室
	FEN-SI2701L1	A1 安全学基礎	古田 一雄	駒場5号館	533
	FEN-UE2901S1	A1A2 環境計画基礎演習	中谷 年, 各教員	工.14号館	145講義室
	FEN-UE2902S1	A1A2 都市工学設計製図	中谷 年, 各教員	工.14号館	141講義室

工学部 専門科目時間割表

金曜日						
時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室	
1時限	FEN-AA2a61L1	A1A2 高速内燃機関	津江 光洋	工 8 号館	工83号講義室	
	FEN-CH2300L1	A2 物性論I	竹谷 純一	駒場11号館	1101	
	FEN-CH2304L1	A1 無機化学I	宮山 勝	駒場5号館	525	
	FEN-EE2501L1	A1A2 エネルギー工学	松橋 隆治, 日高 邦彦	駒場11号館	1108	
	FEN-MX2901S1	A1A2 機械工学総合演習第一	中尾 政之, 学科長	工学部新2号館	工221号講義室	
	FEN-PE2b03L1	A1A2 連続体力学基礎	三村 秀和	工14号館	142講義室	
FEN-SI2z02L1	A1 ビジネス入門	元橋 一之	駒場13号館	1312		
FEN-UE2m06L1	A1A2 都市交通論	原田 昇	工14号館	144講義室		
2時限	FEN-AA2a21L1	A1A2 基礎材料力学	上西 幸司	工 8 号館	工83号講義室	
	FEN-AM2900S1	A1A2 物理数学	鹿野田 一司, 岩佐 義宏, 芝内 孝慎	工学部新2号館	工212号講義室	
	FEN-AR2n08L1	A1 建築設計基礎第一	西出 和彦, 松田 雄二, 大月 敏雄	工 1 号館	工15号講義室	
	FEN-AR2n09L1	A2 建築設計基礎第二	西出 和彦, 松田 雄二, 大月 敏雄	工 1 号館	工15号講義室	
	FEN-CE2a02L1	A1 構造の力学	長山 智明, 本田 利器	工学部新2号館	工213号講義室	
	FEN-CE2a05L1	A2 水理学	知花 武佳, 池内 幸司	工 1 号館	工14号講義室	
	FEN-CH2303L1	A1 分析化学I	田端 和仁	駒場7号館	761	
	FEN-CH2309L1	A2 分析化学II	北森 武彦, 馬渡 和真	駒場5号館	525	
	FEN-EE2z03L1	A1A2 電子デバイス基礎	竹中 充, 柴谷 隆夫	駒場11号館	1102	
	FEN-MA2z02L1	A1 材料速度論	長沙 見輔, 神原 淳	工 4 号館	工42号講義室	
	FEN-MA2z03L1	A2 材料相平衡論	松浦 宏行	工 4 号館	工42号講義室	
	FEN-MX2901S1	A1A2 機械工学総合演習第一	中尾 政之, 学科長	工学部新2号館	工221号講義室	
	FEN-PE2604L1	A1A2 信号処理工学	山本 見生	工14号館	142講義室	
	FEN-SI2501L1	A2 環境・エネルギー概論	寺井 隆幸, 鈴木 英之, ドトビジョルジ	駒場5号館	523	
	FEN-SI2504L1	A1 地球科学	徳永 朋洋, 中村 謙太郎, 加藤 泰浩	駒場5号館	524	
	FEN-SI2d08L1	A1 データ指向モデリング	和泉 潔, 島海 不二夫	駒場12号館	1214	
	FEN-SI2z02L1	A1 ビジネス入門	元橋 一之	駒場13号館	1312	
	FEN-UE2a02L1	A2 都市情報科学概論	貞廣 幸雄	工14号館	144講義室	
	3時限	FEN-AA2a21L1	A1A2 基礎材料力学	上西 幸司	工 8 号館	工83号講義室
		FEN-AA2a43L1	A1 宇宙工学入門	中須賀 真一, 小泉 宏之, 岩崎 晃	工 8 号館	工83号講義室
		FEN-AM2100L1	A1 基礎数理	岩田 覚	工学部新2号館	工212号講義室
		FEN-AM2240L1	A2 半導体概論	千葉 大地	工学部新2号館	工212号講義室
FEN-AR2n01S1		A1 建築設計製図第一	千葉 学, 建築全教員	工 1 号館	工 1 号館 製図室	
FEN-AR2n02S1		A2 建築設計製図第二	千葉 学, 建築全教員	工 1 号館	工 1 号館 製図室	
FEN-CE2a04L1		A2 材料の力学	長井 安平, 古岡 潤一, 酒井 雄也	工学部新2号館	工211号講義室	
FEN-CE2m01S1		A1 導入プロジェクト	中井 祐	工 1 号館	土木設計演習室	
FEN-CH2305L1		A1 コンピュータ科学	大久保 將史	駒場13号館	1331	
FEN-CH2m00S1		A2 コンピュータ及び演習	小寺 正明	情報教育棟	E21	
FEN-EE2101S1		A1A2 電気電子数学演習	横田 知之, 矢谷 浩司, 落合 秀也	駒場13号館	1311, 1321, 1322	
FEN-MA2302L1		A2 無機材料化学	喜多 浩之	工 4 号館	工42号講義室	
FEN-MA2303L1		A1 材料結晶学	阿部 英司	工 4 号館	工42号講義室	
FEN-MX2b05L1		A1A2 メカトロニクス	高畑 智之	工学部新2号館	工221号講義室	
FEN-PE2900S1		A1A2 精密工学基礎演習	高増 潔, 太田 順, 大竹 豊, 浅間 一, 伊藤 寿浩, 高橋 哲	工14号館	142講義室	
FEN-SI2d01S1		A1A2 プログラミング基礎	今野 義浩, 小林 肇, 藤井 秀樹	情報教育棟	E21, E38, E41, E42	
FEN-UE2m01L1		A1A2 都市環境概論	古米 弘明, 福士 謙介, 森口 祐一	工14号館	144講義室	

金曜日					
時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
4時限	FEN-AA2a43L1	A1 宇宙工学入門	中須賀 真一, 小泉 宏之, 岩崎 晃	工 8 号館	工83号講義室
	FEN-AM2610L1	A1 回路とシステムの基礎	榎山 敦	工学部新2号館	工212号講義室
	FEN-AR2a01S1	A1 建築設計製図第一	千葉 学, 建築全教員	工 1 号館	工 1 号館 製図室
	FEN-AR2a02S1	A2 建築設計製図第二	千葉 学, 建築全教員	工 1 号館	工 1 号館 製図室
	FEN-CA2900L1	A1 応用化学基礎論	渡邊 力也, 各教員	駒場5号館	531
	FEN-CE2m01S1	A1 導入プロジェクト	中井 祐	工 1 号館	土木設計演習室
	FEN-CS2902L1	A1A2 環境システム工学概論	戸野倉 賢一, 各教員	駒場5号館	532
	FEN-EE2101S1	A1A2 電気電子数学演習	横田 知之, 矢谷 浩司, 落合 秀也	駒場13号館	1311, 1321, 1322
	FEN-MA2202L1	A2 材料統計力学	木村 薫	工 4 号館	工 4 号館 講義室
	FEN-MA2z01L1	A1 基礎熱力学	山口 周	工 4 号館	工 4 号館 講義室
	FEN-MP2710L1	A2 認識行動システムの基礎	稲見 昌彦	工学部新2号館	工212号講義室
	FEN-MX2801L1	A1A2 機械設計	村上 存, 草加 浩平, 柳吉 秀吉	工学部新2号館	工221号講義室
	FEN-PE2900S1	A1A2 精密工学基礎演習	高増 潔, 太田 順, 大竹 豊, 浅間 一, 伊藤 寿浩, 高橋 哲	工14号館	142講義室
	FEN-SI2d01S1	A1A2 プログラミング基礎	今野 義浩, 小林 肇, 藤井 秀樹	情報教育棟	E21, E38, E41, E42
5時限	FEN-UE2901S1	A1A2 環境計画基礎演習	中谷 隼, 各教員	工14号館	145講義室
	FEN-UE2902S1	A1A2 都市工学設計製図	中谷 隼, 各教員	工14号館	141講義室
	FEN-AR2n01S1	A1 建築設計製図第一	千葉 学, 建築全教員	工 1 号館	工 1 号館 製図室
	FEN-AR2n02S1	A2 建築設計製図第二	千葉 学, 建築全教員	工 1 号館	工 1 号館 製図室
	FEN-CE2m01S1	A1 導入プロジェクト	中井 祐	工 1 号館	土木設計演習室
	FEN-MA2901L1	A1A2 マテリアル工学自由研究	学科長	工 4 号館	工 4 号館 講義室
	FEN-MX2802L1	A1A2 生産の技術	中尾 政之, 長藤 圭介	工学部新2号館	工213号講義室
	FEN-PE2900S1	A1A2 精密工学基礎演習	高増 潔, 太田 順, 大竹 豊, 浅間 一, 伊藤 寿浩, 高橋 哲	工14号館	142講義室
	FEN-SI2202L1	A1 応用のための物理I(古典論)	吉田 善章	駒場13号館	1322
	FEN-SI2203L1	A2 応用のための物理II(熱力学)	吉田 善章	駒場13号館	1322

専門科目時間割表

文学部 専門科目時間割表

※ 文学部教務係：03-5841-3709

※ 最新の開講場所については、UTASシラバス、文学部の時間割冊子等を確認してください。

月曜日						
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限						
2時限	04180442	A1A2	倫理学特殊講義II	頼住 光子,池松 辰男	駒場1号館	156
	04181155	A1A2	日本史学特殊講義XV	村 和明, 野島(加藤) 陽子	法文1号館	113
	04181211	A1A2	東洋史学研究入門	佐川 英治,守川 知子	駒場1号館	119
	04181401	A1A2	考古学概論I	設楽 博己	法文1号館	319
	04183801	A1A2	比較文学概論	河野 至恩	法文1号館	315
3時限	04182202	A1A2	国語学概論II	肥爪 周二	法文1号館	312
	04183042	A1A2	英語学英米文学特殊講義II	大橋 洋一	法文1号館	113
	04183266	A1A2	フランス語学フランス文学演習VI	野崎 敏	法文1号館	316
	04184272	A1A2	社会心理学実習II	橋本 剛明,唐沢 かおり, 白岩 祐子	法文1号館	215, 216
	04184311	A1A2	社会調査	白波瀬 佐和子,藤原 翔	法文2号館	1番大教室
	04185624	A1A2	フランス語後期II	秋山 伸子	法文1号館	314
4時限	04180621	A1A2	原典講読I	渡辺 裕	法文1号館	316
	04183047	A1A2	英語学英米文学特殊講義VII	阿部 公彦,後藤 和彦	法文2号館	2番大教室
	04184272	A1A2	社会心理学実習II	橋本 剛明,唐沢 かおり, 白岩 祐子	法文1号館	215, 216
	04184311	A1A2	社会調査	白波瀬 佐和子,藤原 翔	法文2号館	1番大教室
	04185703	A1A2	原典を読むIII	阿部 公彦,後藤 和彦	法文2号館	2番大教室
5時限	04180301	A1	インド哲学概論	高橋 晃一	駒場1号館	104
	04180511	A1A2	宗教史概説I	池澤 優	法文1号館	113
	04182367	A1A2	国文学演習VII	鉄野 昌弘	法文2号館	2430 研究室
	04182512	A1	印度文学史概説II	高橋 晃一	駒場1号館	104
	04183164	A1A2	ドイツ語学ドイツ文学演習IV	宮田 眞治	駒場1号館	108
	04185632	A1A2	イタリア語中級II	倉重 克明	法文1号館	112
6時限						

火曜日							
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室	
1時限							
2時限	04180322	A1A2	仏教概論II	荻輪 顕量	法文1号館	212	
	04180514	A1A2	宗教史概説IV	市川 裕	法文2号館	2番大教室	
	04180643	A1A2	美学芸術学特殊講義III	伊藤 亜紗	法文1号館	316	
	04181001	A1A2	史学概論	橋場 弦	駒場1号館	1102	
	04183211	A1A2	フランス文学史概説	塩塚 秀一郎	法文1号館	216	
	04183311	A1A2	スラヴ文学史概説	楢岡 求美	文学部3号館	スラヴ 演習室	
	04183844	A1A2	近代文学特殊講義I V	柳原 孝敦	法文1号館	219	
	04185301	A1A2	文化交流特殊講義I	小島 毅	法文1号館	317	
	04185611	A1A2	英語後期V	兼武 道子	法文1号館	115	
	3時限	04180512	A1A2	宗教史概説II	藤原 聖子	法文2号館	2番大教室
04180626		A1A2	原典講読VI	小田部 胤久	法文1号館	217	
04181241		A1A2	東洋史学特殊講義I	佐川 英治	法文1号館	214	
04182366		A1A2	国文学演習VI	渡部 泰明	法文2号館	2430 研究室	
04182502		A1A2	印度語学概論II	梶原 三恵子	法文1号館	112	
04183267		A1A2	フランス語学フランス文学演習VII	塚本 昌則	法文1号館	216	
04184171		A1A2	心理学実験演習I	鈴木 敦命,横澤 一彦, 村上 郁也,今水 寛, 中島 亮一,李 琦	法文1号館	113	
04184271		A1A2	社会心理学実習I	橋本 剛明,亀田 達也, 白岩 祐子	法文1号館	113	
04185511		A1A2	漢文学	長尾 直茂	法文1号館	212	
4時限		04180201	A1A2	中国思想文化学概論I	横手 裕	法文1号館	314
	04182142	A1A2	言語学特殊講義II	西村 義樹	法文3号館	言語学 演習室 3604	
	04182246	A1A2	国語学特殊講義VI	肥爪 周二	法文1号館	312	
	04182342	A1A2	国文学特殊講義II	安藤 宏	法文2号館	1番大教室	
	04183265	A1A2	フランス語学フランス文学演習V	SIMON-OIKAWA Marianne	法文1号館	216	
	04183845	A1A2	近代文学特殊講義V	阿部 賢一	法文1号館	219	
	04184171	A1A2	心理学実験演習I	鈴木 敦命,横澤 一彦, 村上 郁也,今水 寛, 中島 亮一,李 琦	法文1号館	113	
	04184271	A1A2	社会心理学実習I	橋本 剛明,亀田 達也, 白岩 祐子	法文1号館	113	
	5時限	04180563	A2	宗教学演習III	藤原 聖子	法文1号館	219
		04184101	A1A2	心理学概論I	村上 郁也	国際学術 総合研究棟	3番大教室
6時限	04180563	A2	宗教学演習III	藤原 聖子	法文1号館	219	

文学部 専門科目時間割表

		水曜日				
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限						
2時限	04180312	A1A2	インド哲学史概説II	加藤 隆宏	法文1号館	214
	04180502	A1A2	宗教学概論II	西村 明	国際学術総合研究棟	3番大教室
	04181311	A1A2	西洋史学研究入門	藤田 俊輔, 橋場 弦, 高山 博, 長井 伸仁, 池田 嘉郎	駒場11号館	1102
	04182101	A1	言語学概論I	梅谷 博之, 西村 義樹, 小林 正人	法文1号館	314
	04182102	A2	言語学概論II	梅谷 博之, 西村 義樹, 小林 正人	法文1号館	314
	04182345	A1A2	国文学特殊講義V	鉄野 昌弘	法文1号館	212
	04182464	A1A2	中国語学中国文学演習IV	齋藤 希史	赤門総合研究棟	赤門738
	04183942	A1A2	西洋古典学特殊講義II	葛西 康德	本郷	各研究室等
	3時限	04180112	A1A2	西洋哲学史概説第1部II	納富 信留	法文1号館
04180212		A1A2	中国思想文化史概説II	陳 捷	赤門総合研究棟	赤門721
04180642		A1A2	美学芸術学特殊講義II	三浦 俊彦	法文1号館	212
04180764		A1A2	イスラム学演習IV	菊地 達也	赤門総合研究棟	赤門840
04181243		A1A2	東洋史学特殊講義III	鳥田 竜登	法文2号館	2番大教室
04182112		A1A2	音声学II	梅谷 博之	文学部3号館	言語学演習室3604
04182242		A1A2	国語学特殊講義II	月本 雅幸	法文1号館	314
04182350		A1A2	国文学特殊講義X	長島 弘明	法文1号館	112
04183112		A1A2	ドイツ文学史概説II	大宮 勘一郎	法文1号館	318
4時限	04180262	A1A2	中国思想文化学演習II	横手 裕	赤門総合研究棟	赤門721
	04180565	A1A2	宗教学演習V	西村 明	法文1号館	210
	04183221	A1A2	フランス語圏言語文化	野崎 敏	法文1号館	217
	04180702	A1A2	イスラム学概論II	菊地 達也	法文1号館	212
5時限	04181541	A2	美術史学特殊講義I	佐藤 康宏	法文1号館	211
	04182344	A1A2	国文学特殊講義IV	高木 和子	法文1号館	113
	04183243	A1A2	フランス語学フランス文学特殊講義III	塚本 昌則	法文1号館	216
	04181541	A2	美術史学特殊講義I	佐藤 康宏	法文1号館	211

		木曜日				
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限	04182122	A1A2	比較言語学II	小林 正人	文学部3号館	言語学演習室3604
2時限	04180122	A1A2	西洋哲学史概説第2部II	鈴木 泉	法文1号館	112
	04180301	A1	インド哲学概論	高橋 晃一	駒場1号館	104
	04180402	A1A2	倫理学概論II	頼住 光子	法文1号館	113
	04180762	A1A2	イスラム学演習II	柳橋 博之	赤門総合研究棟	赤門840
	04182101	A1	言語学概論I	梅谷 博之, 西村 義樹, 小林 正人	法文1号館	314
	04182102	A2	言語学概論II	梅谷 博之, 西村 義樹, 小林 正人	法文1号館	314
	04182352	A1A2	国文学特殊講義XII	佐藤 至子	法文1号館	312
	04182512	A1	印度文学史概説II	高橋 晃一	駒場1号館	104
	3時限	04180412	A1A2	西洋倫理思想史概説II	古田 徹也	法文1号館
04183053		A1A2	英語学英米文学特殊講義XIII	貞廣 真紀	法文1号館	113
04185628		A1A2	ロシア語中級II	中澤 佳陽子	法文1号館	114
4時限	04180023	A1A2	多分野講義III	David PEACE	法文1号館	217
	04180628	A1A2	原典講読VIII	柳澤 史明, 小田部 胤久	法文1号館	317
	04181453	A1	考古学特殊講義XIII	近藤 修	駒場12号館	1214
	04183050	A1A2	英語学英米文学特殊講義X	STEPHEN H CLARK	法文1号館	215
	04183444	A1A2	イタリア語学イタリア文学特殊講義IV	長野 徹, Lorenzo Amato	文学部3号館	南欧文学研究室3804
5時限	04181453	A1	考古学特殊講義XIII	近藤 修	駒場12号館	1214
	04183364	A1A2	スラヴ語学スラヴ文学演習IV	楯岡 求美	法文1号館	112
6時限						

文学部 専門科目時間割表

金曜日						
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限	04184301	A1A2	社会学概論	井口 高志, 武川 正吾, 佐藤 健二, 中村 雄祐, 本田 洋, 金 成垣, 白波瀬 佐和子, 赤川 亨, 祐成 保志, 出口 剛司	駒場1号館	113
2 時 限	04182364	A1A2	国文学演習IV	高木 和子	法文1号館	115
	04182511	A1A2	印度文学史概説I	水野 善文	法文1号館	112
	04183270	A1A2	フランス語学フランス文学演習X	SIMON-OIKAWA Marianne	法文1号館	216
	04184121	A1A2	心理学統計I	岡田 謙介	駒場11号館	1108
	04184231	A1A2	社会心理学統計I	岡田 謙介	駒場11号館	1108
	04184301	A1A2	社会学概論	井口 高志, 武川 正吾, 佐藤 健二, 中村 雄祐, 本田 洋, 金 成垣, 白波瀬 佐和子, 赤川 亨, 祐成 保志, 出口 剛司	駒場1号館	113
3 時 限	04180601	A1A2	美学概論	小田部 胤久	法文2号館	2番大教室
	04182301	A1A2	国文学概論	佐藤 至子, 渡部 泰明	駒場5号館	521
	04183268	A1A2	フランス語学フランス文学演習VIII	塩塚 秀一郎	法文1号館	216
	04185616	A1A2	英語後期X	古屋 耕平	文学部3号館	英文 辞書室
	04185622	A1A2	フランス語前期II	横山 安由美	法文1号館	214
4 時 限	04180624	A1A2	原典講読IV	天内 大樹	法文1号館	217
	04181565	A1A2	美術史学演習V	秋山 聰	赤門総合 研究棟	赤門 738
	04184111	A1A2	心理学研究法	四本 裕子	駒場12号館	1225
5 時 限	04180102	A1A2	哲学概論II	榊原 哲也	法文2号館	2番大教室
	04180422	A1A2	東洋倫理想史概説II	頼住 光子	法文1号館	113
	04182247	A1A2	国語学特殊講義VII	月本 雅幸	駒場1号館	155
6 時 限						

理学部 専門科目時間割表

※ 理学部教務チーム (学部担当) : 03-5841-4003

※ 最新の開講場所については、UTASシラバス、理学部の時間割冊子等を確認してください。

月曜日						
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限	0528073	A1A2	層序地質学	狩野 彰宏, 對比地 孝巨, WALLIS, Simon Richard	駒場1号館	112
2時限	0515009	A1A2	電磁気学I	櫻井 博儀	駒場11号館	1106
	0560501	A1A2	生物情報学基礎論I	笠原 雅弘, 浅井 潔, 津田 宏治, 岩崎 渉	駒場1号館	113
3時限	0515085	A1	解析力学	常行 真司	駒場11号館	1106
	0515086	A2	量子力学I	福嶋 健二	駒場11号館	1106
	0528002	A1A2	地球システム進化学	廣瀬 敬, 田近 英一, 遠藤 一佳	駒場1号館	150
	0540016	A1A2	植物形態学	川北 篤, 塚谷 裕一	駒場1号館	156
4時限	0510006	A1A2	ハードウェア構成法	小林 芳直	駒場5号館	511
	0515085	A1	解析力学	常行 真司	駒場11号館	1106
	0515086	A2	量子力学I	福嶋 健二	駒場11号館	1106
	0528005	A1A2	地球惑星環境学基礎演習I	田近 英一	駒場1号館	150
	0540004	A1A2	遺伝学	角谷 徹仁, 小林 武彦, 斎藤 成也	駒場1号館	157
5時限	0530003	A1A2	量子化学I	山内 薫	駒場11号館	1101
	0560502	A1A2	生物情報学基礎論II	黒田 真也, 程 久美子, 鈴木 龍, 大島 健志朗	駒場1号館	113

火曜日						
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限	0505001	A1A2	代数と幾何	今井 直毅	駒場7号館	742
	0528072	A1A2	固体地球惑星科学概論	櫻庭 中, 飯塚 毅, 沖野 郷子	駒場1号館	156
2時限	0505001	A1A2	代数と幾何	今井 直毅	駒場7号館	742
	0515003	A1A2	物理実験学	藤森 淳, 酒井 広文	駒場11号館	1106
	0540001	A1A2	細胞生理学	榎本 和生, 岡 良隆	駒場5号館	532
3時限	0510007	A1A2	アルゴリズムとデータ構造	五十嵐 健夫	2IKOMCEE East	K011
	0515008	A1A2	物理学演習II	常行 真司, 西岡 辰磨, 櫻山 和己, 福嶋 健二	駒場1号館	157, 166
	0526003	A1A2	地球惑星物理学基礎演習II	横山 央明, 櫻庭 中, 田中 祐希	2IKOMCEE East	K113
4時限	0505007	A1A2	代数と幾何演習	今井 直毅	駒場7号館	721, 722
	0510003	A1A2	計算機システム	吉本 芳英	駒場12号館	1213
	0515008	A1A2	物理学演習II	常行 真司, 西岡 辰磨, 櫻山 和己, 福嶋 健二	駒場1号館	157, 166
	0526003	A1A2	地球惑星物理学基礎演習II	横山 央明, 櫻庭 中, 田中 祐希	2IKOMCEE East	K113
	0540005	A1A2	進化生物学	平野 博之, 近藤 修, 大崎 順, 遠藤 一佳, 野崎 久義, 對比地 孝巨, 入江 直樹, 三浦 徹, 上島 励	駒場5号館	533
5時限	0510008	A1A2	情報科学基礎実験	萩谷 昌己	情報教育棟	E41
	0540015	A1A2	動物系統分類学	上島 励	駒場1号館	121

理学部 専門科目時間割表

水曜日						
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限	0540017	A1A2	生態学概論	寺島 一郎	駒場5号館	515
2時限	0515093	A1A2	物理学のための科学英語基礎	小野 義正	駒場12号館	1222
	0542030	A1A2	植物細胞生理学	杉山 宗隆	駒場12号館	1212
3時限						
4時限						
5時限						

木曜日						
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限	0505003	A1A2	集合と位相	金井 雅彦	駒場5号館	532
	0528001	A1A2	地球環境学	板井 啓明, 茅根 創, 阿部 彩子	駒場1号館	151
2時限	0505003	A1A2	集合と位相	金井 雅彦	駒場5号館	532
	0515007	A1	物理数学I	松尾 泰	駒場11号館	1106
	0515076	A2	物理数学II	吉田 直紀	駒場11号館	1106
	0528003	A1A2	地球惑星物質科学	小澤 一七, 三河内 岳	駒場5号館	514
	0535001	A1A2	生物化学概論I	瀧木 理, 深田 吉孝	駒場11号館	1108
3時限	0515007	A1	物理数学I	松尾 泰	駒場11号館	1106
	0515076	A2	物理数学II	吉田 直紀	駒場11号館	1106
	0540058	A1A2	生化学・分子生物学	近藤 真理子, 阿部 光知	駒場5号館	524
4時限	0505008	A1A2	集合と位相演習	金井 雅彦	駒場5号館	532
	0515004	A1A2	物理学演習I	櫻井 博儀, 松尾 泰, 吉田 直紀, 赤城 裕, 中山 和則	駒場1号館	157,162
	0520002	A1A2	天体物理学演習I	松永 典之	駒場5号館	516
	0526002	A1A2	地球惑星物理学基礎演習I	横山 央明, 河原 創, 桂華 邦裕	2IKOMCEE West	K303
	0540055	A2	霊長類学	河村 正二, 石田 貴文	駒場1号館	105
	0543001	A1	人類生物学	萩原 直道, 近藤 修, 大橋 順, 井原 泰雄, 石田 貴文	駒場12号館	1214
5時限	0515004	A1A2	物理学演習I	櫻井 博儀, 松尾 泰, 吉田 直紀, 赤城 裕, 中山 和則	駒場1号館	157, 162
	0520002	A1A2	天体物理学演習I	松永 典之	駒場5号館	516
	0526002	A1A2	地球惑星物理学基礎演習I	横山 央明, 河原 創, 桂華 邦裕	2IKOMCEE West	K303
	0530005	A1A2	分析化学I(総論)	小澤 岳昌	駒場5号館	513
	0540055	A2	霊長類学	河村 正二, 石田 貴文	駒場1号館	105
	0543001	A1	人類生物学	萩原 直道, 近藤 修, 大橋 順, 井原 泰雄, 石田 貴文	駒場12号館	1214

理学部 専門科目時間割表

金曜日						
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限	0505005	A1A2	複素解析学I	坂井 秀隆	駒場5号館	513
	0528074	A1A2	自然地理学	小口 高, 茅根 創, 須貝 俊彦, 阿部 彩子	駒場1号館	104
	0530006	A1A2	有機化学I	原野 幸治, 中村 栄一	駒場5号館	512
2時限	0505005	A1A2	複素解析学I	坂井 秀隆	駒場5号館	513
	0526005	A1A2	地球惑星物理学概論	横山 央明, 東塚 知己, 井出 哲, 生駒 大洋	21KOMCEE East	K211
	0528006	A1A2	地域論	荒井 良雄	駒場1号館	149
	0530006	A1A2	有機化学I	原野 幸治, 中村 栄一	駒場5号館	512
3時限	0510001	A1A2	情報数学	國廣 昇	駒場11号館	1108
	0535002	A1A2	生物化学概論II	飯野 雄一, 塩見 美喜子	駒場1号館	157
4時限	0505009	A1A2	複素解析学I演習	坂井 秀隆	駒場5号館	513
	0510002	A1A2	形式言語理論	蓮尾 一郎	駒場5号館	511
	0520003	A1A2	天文学概論	田村 元秀, 戸谷 友則, 相川 祐理	駒場11号館	1102
	0530004	A1A2	無機化学I	西原 寛	駒場5号館	512
	0540018	A1A2	骨格人類学実習	近藤 修	理学部2号館	402
5時限	0510008	A1A2	情報科学基礎実験	萩谷 昌己	情報教育棟	E41
	0530002	A1A2	化学熱力学I	大越 慎一	駒場5号館	525
	0540018	A1A2	骨格人類学実習	近藤 修	理学部2号館	402

土曜日						
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限	0530084	A1A2	初級化学英語演習	化学専攻各教員	化学東館	202号室, 220号室
2時限	0530084	A1A2	初級化学英語演習	化学専攻各教員	化学東館	202号室, 220号室

農学部 専門科目時間割表

※ 農学部教務課学生支援チーム：03-5841-5008

※ 最新の開講場所については、UTASシラバス、農学部の時間割冊子等を確認してください。

月曜日						
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限	060310051	A1A2	植物栄養学	藤原 徹, 神谷 岳洋	農学部1号館	第8講義室
2時限	060200051	A1A2	基礎生物化学	東原 和成	農学部1号館	第8講義室
	060200071	A1A2	植物生理学	青木 直大	農学部2号館	化学第2講義室
	060200126	A1A2	森林環境科学汎論	尾張 敏章, 熊谷 朝臣, 仁多見 俊夫, 龍原 哲, 白石 剛彦, 廣嶋 卓也, 堀田 紀文, 古井戸 宏通, 安村 直樹, 蔵治 光一郎	農学部1号館	第7講義室
	060200181	A1A2	流れ学	飯田 俊彰	農学部2号館	化学第3講義室
3時限	060100111	A1A2	放射線環境学	二瓶 直登, 田野井 慶太郎	農学部2号館	化学第3講義室
	060200091	A1A2	遺伝学	高野 哲夫	農学部1号館	第8講義室
	060200149	A1A2	基礎高分子化学	岩田 忠久, 竹村 彰夫	農学部5号館	5-105
	060200251	A1A2	応用動物科学概論	中山 裕之, 堀 正敏, 杉浦 晴明, 松田 二子	農学部2号館	化学第2講義室
4時限	060200081	A1A2	細胞生物学	有村 慎一	農学部2号館	化学第2講義室
	060200165	A1A2	木質構造科学概論	恒次 祐子, 信田 聡, 青木 謙治, 稲山 正弘	農学部1号館	第7講義室
	060200241	A1A2	動物生理学	遠藤 秀紀, 大久保 範聡, 桑原 正貴, 西原 真杉, 武内 ゆかり, 田中 智, 山内 啓太郎, 菊池 潔, 後藤 康之, 金子 豊二, 高橋 伸一郎	農学部2号館	化学第3講義室
5時限	060500011	A1	環境倫理	山本 剛史	農学部1号館	第8講義室

火曜日						
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限	060320320	A1A2	構造力学	稲山 正弘	農学部5号館	5-105
2時限	060200147	A1	基礎物理化学	齋藤 継之	農学部5号館	5-105
	060200215	A1A2	ミクロ経済学	齋藤 勝宏	農学部1号館	第8講義室
	060310002	A1	農芸化学概論 I	東原 和成, 堀内 裕之, 関係各教員	農学部2号館	化学第1講義室
3時限	060100011	A1A2	人口と食糧	井澤 毅, 飯田 俊彰, 齋藤 勝宏, 妹尾 啓史, 中嶋 康博, 山次 康幸, 山川 卓, 良永 知義, 篠崎 和子, 佐藤 隆一郎, 芳賀 匡	農学部1号館	第8講義室
	060311240	A1A2	生物素材化学概論	齋藤 継之	農学部5号館	5-105
4時限	060200201	A1A2	農業資源経済学汎論	中嶋 康博	農学部1号館	第8講義室
5時限	060200065	A1A2	植物分類・形態学	根本 圭介	農学部1号館	第7講義室
	060320440	A1A2	ポストハーベスト工学	牧野 義雄	農学部2号館	化学第3講義室

農学部 専門科目時間割表

水曜日						
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限	060320666	A2	ゲーム理論基礎	櫻井 武司	農学部1号館	第9講義室
2時限	060100061	A1A2	生物の多様性と進化	佐野 光彦, 福田 健二, 久保田 耕平, 尾仲 宏康, 宮下 直	農学部1号館	第8講義室
3時限	060100075	A1	環境と生物の情報科学	吉野 邦彦, 飯田 俊彰, 露木 聡, 清水 庸, 山川 卓	農学部1号館	第4講義室
	060100083	A1	化合物の多様性と生理機能I	松本 雄二, 岡田 茂, 中嶋 正敏, 五十嵐 圭子, 浅見 忠男, 岡田 憲典	農学部1号館	第8講義室
	060100086	A2	化合物の多様性と生理機能II	東原 和成, 片岡 宏誌, 松永 茂樹, 浅見 忠男, 溝 秀樹	農学部1号館	第8講義室
	060200131	A1A2	動物分類学	武田 正倫	農学部7号館 A棟	7A-104/105
4時限	060100031	A1A2	土壌圏の科学	妹尾 啓史, 西村 拓, 藤原 徹, 丹下 健, 溝口 勝, 岡田 謙介	農学部2号館	化学第3講義室
	060200011	A1A2	基礎有機化学	滝川 浩郷	農学部1号館	第8講義室
	060200106	A1A2	昆虫学	松尾 隆嗣, 石川 幸男, 嶋田 透	農学部7号館 A棟	7A-104/105
5時限	060100101	A1A2	食の安全科学	小林 奈通子, 中山 裕之, 中嶋 康博, 八村 敏志, 山次 康幸, 有村 慎一, 浅見 忠男, 鈴木 道生, 関崎 勉, 杉浦 勝明, 小野寺 節, 安水 円理子, 山下 倫明	農学部1号館	第8講義室, 第9講義室, 第10講義室

木曜日						
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限	060200021	A1A2	基礎分析化学	鈴木 道生	農学部1号館	第8講義室
	060320663	A1	農業経営概論	木南 章	農学部1号館	第9講義室
2時限	060200031	A1A2	基礎微生物学	大西 康夫	農学部1号館	第8講義室
	060310310	A1A2	栽培植物学	柴田 道夫, 山岸 順子	農学部1号館	第9講義室
	060412010	A1A2	農業・資源経済学演習 I	安藤 光義, 松本 武祝, 中嶋 康博, 櫻井 武司, 関係各教員	本郷	研究室
3時限	060100093	A1	バイオマス利用学概論	芋生 憲司, 石井 正治, 岡田 茂, 岩田 忠久, 齋藤 継之, 木南 章	農学部1号館	第8講義室
	060100096	A2	森林資源と木材利用	飯島 正浩, 七多見 俊夫, 白石 則彦, 稲山 正弘, 井上 雅文	農学部1号館	第8講義室
	060311161	A2	薬理学総論	堀 正敏	農学部7号館 A棟	7A-104/105
4時限	060100055	A1	環境と景観の生物学	大黒 俊哉, 山本 清龍, 橋本 禰	農学部1号館	第8講義室
	060200191	A1A2	情報工学	中村 典裕	農学部7号館	7A-620 (PCラボ室), 情報基盤センター1階大演習室2
	060311121	A2	神経生理学	西原 眞杉, 山内 啓太郎	農学部7号館 A棟	7A-104/105
5時限	060100025	A1	生態系の中の人類	萬木 孝雄, 斎藤 幸恵, 八木 信行, 杉浦 勝明, 宮沢 佳恵, 鈴木 宣弘	農学部1号館	第8講義室
	060412015	A2	農村調査概論	戸石 七生	農学部1号館	第9講義室

農学部 専門科目時間割表

金曜日						
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限	060310031	A1A2	環境土壌学	妹尾 啓史	農学部1号館	第8 講義室
2 時 限	060200041	A1A2	分子生物学	日高 真誠, 伏信 達矢	農学部1号館	第8 講義室
	060200225	A1A2	農業史概論	松本 武祝	農学部2号館	化学第2 講義室
	060320430	A1A2	土壌物理学	濱本 昌一郎, 西村 拓	農学部7号館 A棟	7A-113
3 時 限	060200121	A1A2	動物生態学	久保田 耕平	農学部2号館	化学第3 講義室
	060330041	A1A2	細菌学	関崎 勉	農学部7号館 A棟	7A- 104/105
4 時 限	060100041	A1A2	水の環境科学	熊谷 朝臣, 飯田 俊彰, 高橋 一生, 木村 伸吾	農学部1号館	第8 講義室
	060200151	A1A2	植物生態学	鈴木 牧, 大黒 俊哉, 小山 明日香	農学部2号館	化学第2 講義室
	060330051	A1A2	ウイルス学	堀本 泰介	農学部7号館 A棟	7A- 104/105
5 時 限	060200103	A1A2	生物統計学	岸野 洋久, 大森 宏, 岩田 洋佳	情報基盤 センター	情報基盤 センター 大演習室1
	060311071	A1A2	発生学	金井 克晃	農学部7号館 A棟	7A- 104/105

経済学部 専門科目時間割表

※ 経済学部教務係：03-5841-5552

月曜日						
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限						
2時限						
3時限						
4時限	0701101-01 0701101-02	A1 A2	経済原論Ⅰ 経済原論Ⅱ	清水 真志 清水 真志	駒場13号館 駒場13号館	1323 1323
5時限	0701101-01 0701101-02	A1 A2	経済原論Ⅰ 経済原論Ⅱ	清水 真志 清水 真志	駒場13号館 駒場13号館	1323 1323

火曜日						
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限	0701302-01	A1	ファイナンス	齋藤 大河	駒場13号館	1323
2時限	0701302-01	A1	ファイナンス	齋藤 大河	駒場13号館	1323
3時限	0701301-01 0701401-01	A1 A2	経営 経済史Ⅰ	稲水 伸行 馬場 哲, 谷本 雅之	駒場13号館 駒場13号館	1323 1323
4時限	0701301-01 0701401-01	A1 A2	経営 経済史Ⅰ	稲水 伸行 馬場 哲, 谷本 雅之	駒場13号館 駒場13号館	1323 1323
5時限						

経済学部 専門科目時間割表

水曜日						
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1時 限						
2時 限						
3時 限						
4時 限						
5時 限						

木曜日						
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1時 限	0701102-01	A1	ミクロ経済学Ⅰ	神取 道宏	駒場13号館	1323
	0701102-02	A2	ミクロ経済学Ⅱ	神取 道宏	駒場13号館	1323
2時 限	0701102-01	A1	ミクロ経済学Ⅰ	神取 道宏	駒場13号館	1323
	0701102-02	A2	ミクロ経済学Ⅱ	神取 道宏	駒場13号館	1323
3時 限						
4時 限	0701104-01	A1	統計Ⅰ	久保川 達也	駒場13号館	1323
	0701104-02	A2	統計Ⅱ	久保川 達也	駒場13号館	1323
5時 限	0701104-01	A1	統計Ⅰ	久保川 達也	駒場13号館	1323
	0701104-02	A2	統計Ⅱ	久保川 達也	駒場13号館	1323

経済学部 専門科目時間割表

金曜日						
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限	0701303-01	A1	会計	大日方 隆	駒場13号館	1323
2 時 限	0701303-01	A1	会計	大日方 隆	駒場13号館	1323
3 時 限	0701103-01	A1	マクロ経済学Ⅰ	渡辺 努	駒場13号館	1323
	0701103-02	A2	マクロ経済学Ⅱ	中嶋 智之	駒場13号館	1323
4 時 限	0701103-01	A1	マクロ経済学Ⅰ	渡辺 努	駒場13号館	1323
	0701103-02	A2	マクロ経済学Ⅱ	中嶋 智之	駒場13号館	1323
5 時 限						

教養学部 専門科目時間割表

※ 教養学部後期課程係：03-5454-6057

※ 最新の開講場所については、UTASシラバス、教養学部後期課程の時間割冊子等を確認してください。

	月曜日					
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時限	08A9304	A1A2	共通ラテン語(4)	井上 秀太郎	駒場1号館	114
	08A9701A1	A 1	共通日本語(1)a	藤井 聖子, 宇佐美 洋	駒場10号館	10-201
	08A9701B1	A 2	共通日本語(1)b	藤井 聖子, 宇佐美 洋	駒場10号館	10-201
	08E1404	A1A2	適応生命科学	石井 直方	駒場3号館	113室
	08X2003	A1A2	生命科学概論	若杉 桂輔		136室, 127室
2 時限	08A9302	A1A2	共通ラテン語(2)	井上 秀太郎	駒場8号館	8-416
	08B2015	A1A2	専門ドイツ語(15)	古荘 真敬	駒場14号館	708室
	08C1105	A1A2	表象文化史	河合 祥一郎	駒場8号館	3階・8-323室
	08C1233	A1A2	比較文学比較文化論演習III	伊藤 徳也	駒場8号館	8-317
	08C1316	A1A2	現代思想特殊研究III	古荘 真敬	駒場14号館	708室
	08C1517	A1A2	言語情報処理II[学際言語科学コース]	加藤 恒昭	駒場8号館	8-207
	08C2510	A1A2	イタリア地中海表象芸術論	水野 千依	駒場1号館	105
	08C2758	A 1	ラテンアメリカ地理I	丸山 浩明	駒場1号館	155
	08C2759	A 2	ラテンアメリカ地理II	丸山 浩明	駒場1号館	155
	08C2830	A1A2	朝鮮地域特殊演習	木宮 正史	駒場8号館	8-205
	08C2842	A1A2	特殊研究演習VIII[アジア・日本研究コース]	大塚 修	駒場8号館	8-206
	08C2932	A1A2	韓国朝鮮政治経済論	木宮 正史	駒場8号館	8-205
	08C312216	A1A2	特殊研究演習「社会統計分析」	倉田 博史	駒場12号館	1221
	08C322506	A1A2	特殊研究演習「国際関係データ分析」	倉田 博史	駒場12号館	1221
	08C3229	A1A2	国際政治理論	石田 淳	駒場8号館	8-210
	08D1125	A1A2	ラテンアメリカの自然と社会	丸山 浩明	駒場1号館	155
	08D1219	A1A2	統計学[総合情報学コース]	嶋田 正和	情報教育棟	E38
	08D1306	A1A2	統計学II[広域システムコース]	嶋田 正和	情報教育棟	E38
	08D1430	A1A2	物質循環科学I	中村 高, 小坂 優, 田口 文明	2IKOMCEE East	K113
	08D1442	A1A2	現代の食料消費	岡田 謙介	教養学部	シラバス参照
	08E1059	A1A2	統合自然科学セミナー[数理自然科学コース]	寺嶋 友希, 金子 邦彦, 稲葉 素	教養学部	シラバス参照
	08E1164	A1A2	統合自然科学セミナー[物質基礎科学コース]	平岡 秀一, 島井 寿夫, 松田 恭幸	教養学部	シラバス参照
	08E1244	A1A2	統合自然科学セミナー[統合生命科学コース]	矢島 潤一郎, 若杉 桂輔	教養学部	シラバス参照
	08E1335	A1A2	統合自然科学セミナー[認知行動科学コース]	四本 裕子, 各教員	教養学部	シラバス参照
	08E1411	A1A2	スポーツ生化学	八田 秀雄	駒場9号館	会議室

	月曜日						
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室	
4 時限	08A0204	A1A2	共通英語(Adv ALE 4)	BUENO Alex Falcon	駒場17号館	KALS (17号館2階)	
	08A1009	A1A2	共通フランス語(9)(会話)	アガエス ジュリアン	駒場10号館	10-203	
	08A2002	A1A2	共通ドイツ語(2)(文法)	三宅 晶子	駒場1号館	119	
	08A7018	A1A2	共通イタリア語(18)	山崎 彩	駒場1号館	102	
	08B0081	A1A2	専門英語(81)	大坪 玲子	駒場11号館	1103	
	08C102404	A1A2	文化人類学特殊演習(中東の民族誌を読む)	大坪 玲子	駒場11号館	1103	
	08C1101	A1A2	表象文化基礎論	田中 純	駒場8号館	3階・8-323室	
	08C1208	A1A2	テキスト精読法IV	岩田 美喜	駒場8号館	319室	
	08C131302	A1A2	現代哲学特殊研究III(2)	原 和之	駒場8号館	8-208	
	08C131902	A1A2	現代哲学特殊演習III(2)	村瀬 鋼	駒場8号館	8-206	
	08C1411	A1A2	メディア文化論[国際日本文化論コース]	佐藤 温	駒場1号館	156	
	08C1518	A1A2	言語と社会I	松本 和子	駒場18号館	10号館177号	
	08C2103	A1A2	イギリス政治文化論	小川 浩之	駒場8号館	8-209	
	08C2541	A1A2	イタリア地中海思想文学テキスト分析II	高橋 英海	駒場8号館	8-322	
	08C2545	A1A2	イタリア歴史社会論演習II	藤崎 衛	駒場8号館	8-324	
	08C2747	A 1	ラテンアメリカ政治・経済I	大串 和雄	駒場8号館	8-317	
	08C2748	A 2	ラテンアメリカ政治・経済II	大串 和雄	駒場8号館	8-317	
	08C2841	A1A2	特殊研究演習VII[アジア・日本研究コース]	高橋 英海	駒場8号館	8-322	
	08C312215	A1A2	特殊研究演習「現代社会論演習」	内山 融	駒場11号館	1109	
	08C3201	A1A2	国際政治	古城 佳子	駒場8号館	8-210	
	08C32164	A1A2	特殊講義「ラテンアメリカの政治」	大串 和雄	駒場8号館	8-317	
	08D1102	A1A2	地理情報分析基礎I	松原 宏	駒場2号館	202室	
	08E1024	A1A2	電磁気学[数理自然科学コース]	島井 寿夫	駒場16号館	109室	
	08E1118	A1A2	電磁気学[物質基礎科学コース]	島井 寿夫	駒場16号館	109室	
	08E1231	A1A2	電磁気学[統合生命科学コース]	島井 寿夫	駒場16号館	109室	
	08E1251	A1A2	脳神経科学[統合生命科学コース]	酒井 邦嘉		126室, 127室	
	08E1337	A1A2	脳神経科学[認知行動科学コース]	酒井 邦嘉		126室, 127室	
	08F1303	A1A2	科学技術リテラシー論I	佐野 和美	駒場1号館	120	
	08X000202	A1A2	地域文化研究高度教養(ヨーロッパ)	原 和之	駒場8号館	8-208	
	08X1007	A1A2	プログラミング基礎	土井 靖生, 金井 崇	情報教育棟	E42	
	5 時限	08A9458	A1A2	台湾語(2)(初級)	王 嵐	駒場1号館	106
		08A9704A1	A 1	共通日本語(4)a	藤井 聖子, 大久保 雅子	駒場10号館	10-205
		08A9704A2	A 2	共通日本語(4)a	藤井 聖子, 大久保 雅子	駒場10号館	10-205
		08B0121	A1A2	専門英語(121)	中西 徹, 受田 宏之	駒場8号館	8-209
08B0121A		A 1	専門英語(121)a	受田 宏之	駒場8号館	8-209	
08B0121B		A 2	専門英語(121)b	中西 徹	駒場8号館	8-209	
08C102401		A1A2	文化人類学特殊演習(社会調査法)	大崎 裕子	情報教育棟	E42	
08C1419		A1A2	東アジア文化資料研究II	緑川 明憲	駒場1号館	114	
08C2846		A1A2	特殊研究演習XII	岡田 泰平	駒場14号館	605号室	
08C3201		A1A2	国際政治	古城 佳子		8-416, 8-418, 8-420, 8-422	
08C4021		A1A2	国際社会分析の基礎I	中西 徹, 受田 宏之	駒場8号館	8-209	
08C4021A		A 1	国際社会分析の基礎Ia	受田 宏之	駒場8号館	8-209	
08C4021B		A 2	国際社会分析の基礎Ib	中西 徹	駒場8号館	8-209	
08D1029		A1A2	応用倫理学特論II[科学技術論コース]	吉永 明弘	2IKOMCEE West	K302	
08D1104		A1A2	地理・空間調査設計I	松原 宏	駒場2号館	202室	
08D1433		A1A2	物質循環科学IV	岡 顕, 横山 祐典, 岡 英太郎, 近藤 豊	2IKOMCEE East	K113	
08E1319		A1A2	認知心理学	永井 淳一	駒場1号館	162	
08F1008		A1A2	応用倫理学特論II[グローバル・エシックス]	吉永 明弘	2IKOMCEE West	K302	
08F1301		A1A2	科学技術インタープリター概論	見上 公一	駒場1号館	120	
08F140602A		A 1	グローバル教養特別演習II(2)a	受田 宏之	駒場8号館	8-209	
08F140603B		A 2	グローバル教養特別演習II(3)b	中西 徹	駒場8号館	8-209	
08X2002	A1A2	物質科学概論	長谷川 宗良, 酒井 邦嘉	駒場16号館	109室		
6 時限							

教養学部 専門科目時間割表

Table with columns: 水曜日 (水曜日), 時間割コード (時間割コード), 開講区分 (開講区分), 科目名 (科目名), 教員名 (教員名), 建物 (建物), 教室 (教室). Rows include subjects like 専門英語 (8), テキスト分析演習I (13), 論文指導III (ロシア東欧研究コース), etc.

Table with columns: 水曜日 (水曜日), 時間割コード (時間割コード), 開講区分 (開講区分), 科目名 (科目名), 教員名 (教員名), 建物 (建物), 教室 (教室). Rows include subjects like 共通英語 (17), 共通フランス語 (6) (作文), 共通ドイツ語 (5) (論文), etc.

専門科目時間割表

教養学部 専門科目時間割表

		木曜日					
		時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時限	08A9204	A1A2	共通ギリシア語 (4)	上野 徹也	駒場1号館	156 126室, 127室	
	08E1208	A1A2	生命科学研究法	矢島 潤一郎, 若杉 桂輔			
2 時限	08A0006	A1A2	共通英語 (6)	田中 伸一	駒場8号館	8-112	
	08A4011	A1A2	共通中国語 (11) (会話)	鮎 敏	駒場1号館	156	
	08A7008	A1A2	共通イタリア語 (8)	マルコ ビオンディ	2IKOMCEE West	K301	
	08A9202	A1A2	共通ギリシア語 (2)	上野 徹也	駒場8号館	8-420	
	08B0084	A1A2	専門英語 (8 4)	WILSON BRENDAN	駒場8号館	8-205	
	08B0124	A1A2	専門英語 (1 2 4)	北村 朋史, 井上 彰	駒場1号館	117	
	08B0124A	A 1	専門英語 (1 2 4)a	井上 彰	駒場1号館	117	
	08B0124B	A 2	専門英語 (1 2 4)b	北村 朋史	駒場1号館	117	
	08B0144	A1A2	専門英語 (1 4 4)	KURASHIGE Lon. 土屋 和代	2IKOMCEE West	K303	
	08B1023	A1A2	専門フランス語 (2 3)	森元 庸介	駒場8号館	8-317	
	08B2021	A1A2	専門ドイツ語 (2 1)	石田 勇治	駒場8号館	8-321	
	08C1001	A1A2	文化人類学基礎論	渡邊 日夕	駒場5号館	518	
	08C102305	A1A2	文化人類学特殊講義 (民族誌作成)	津田 浩司	駒場14号館	304室	
	08C1222	A1A2	比較文学比較文化論演習II	菅原 克也	駒場8号館	319室	
	08C1308	A1A2	文化社会論(現代思想コース)	野矢 茂樹	駒場8号館	8-324	
	08C1422	A1A2	学際日本文化論演習III	出口 智之	駒場11号館	1107	
	08C151101	A1A2	原典講読特殊演習I[学際言語学コース]	WILSON BRENDAN	駒場8号館	8-205	
	08C161926	A1A2	言語文化論特殊研究 (2 6)	中谷 彩一郎	駒場8号館	8-113	
	08C2222	A1A2	フランス表象芸術論演習	森元 庸介	駒場8号館	8-317	
	08C2346	A1A2	ドイツ歴史社会論演習I	石田 勇治	駒場8号館	8-321	
	08C2533	A1A2	特殊研究演習IV[イタリア地中海研究コース]	中谷 彩一郎	駒場8号館	8-113	
	08C2631	A1A2	特殊研究演習III[北アメリカ研究コース]	KURASHIGE Lon. 土屋 和代	2IKOMCEE West	K303	
	08C2750	A 1	スペイン研究I	下山 静香	駒場8号館	8-207	
	08C2751	A 2	スペイン研究II	下山 静香	駒場8号館	8-207	
	08C2819	A1A2	特殊講義II[アジア・日本研究コース]	山口 輝臣	駒場12号館	1221	
	08C2914	A1A2	特殊講義II[韓国朝鮮研究コース]	山口 輝臣	駒場12号館	1221	
	08C3109	A1A2	法学研究[国際社会科学コース]	田高 寛貴	駒場12号館	1214	
	08C3232	A1A2	法学研究[国際関係論コース]	田高 寛貴	駒場12号館	1214	
	08C4027	A1A2	国際社会分析特論I	北村 朋史, 井上 彰	駒場1号館	117	
	08C4027A	A 1	国際社会分析特論Ia	井上 彰	駒場1号館	117	
	08C4027B	A 2	国際社会分析特論Ib	北村 朋史	駒場1号館	117	
	08D1237901	A1A2	人間情報学I(1)	増田 建	駒場15号館	15-104	
	08D1330	A1A2	生徳・進化学I	増田 建	駒場15号館	15-104	
	08D1402	A1A2	統計学[国際環境学コース]	リチャード シェファーン		E42	
	08E1168	A1A2	有機化学I	豊田 太郎	駒場16号館	109室	
	08E1245	A 1	細胞生物学I	坪井 貴司	駒場3号館	113室	
	08E1246	A 2	細胞生物学II	大杉 美穂	駒場3号館	113室	
	08E1311	A1A2	行動適応論	石川 亮太郎, 石垣 琢磨	駒場1号館	192	
	08E1410	A1A2	スポーツバイオメカニクス	深代 千之	駒場9号館	会議室	
	08F1004	A1A2	文化社会論[グローバル・エシックス]	野矢 茂樹	駒場8号館	8-324	
	08F140615	A1A2	グローバル教養特別演習II(1 5)	ネルソン シャリティー	2IKOMCEE West	K402	
08F140604A	A 1	グローバル教養特別演習II(4)a	井上 彰	駒場1号館	117		
08F140605B	A 2	グローバル教養特別演習II(5)b	北村 朋史	駒場1号館	117		
08H006324	A1A2	東西文明学I[言語と歴史4]	ネルソン シャリティー	2IKOMCEE West	K402		
08X000203	A1A2	地域文化研究高度教養(アジア)	山口 輝臣	駒場12号館	1221		

専門科目時間割表

		木曜日					
		時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
4 時限	08A3006	A1A2	共通ロシア語 (6)	フロウイナ クセーニヤ	駒場1号館	151	
	08A5027	A1A2	共通スペイン語 (2 7) (会話)	FERNANDEZ HERBOSO	駒場1号館	152	
	08A6002	A1A2	共通ポルトガル語 (2) (初級)	牧野 真也	駒場1号館	155	
	08A9420	A1A2	ヒンディー語 (4)	藤井 敏	駒場12号館	1211	
	08A9448	A1A2	インドネシア語 (4)	高地 薫	駒場8号館	8-320	
	08B0113	A1A2	専門英語 (1 1 3)	池内 志	駒場8号館	8-320	
	08B0139	A1A2	専門英語 (1 3 9)	東 大作	2IKOMCEE East	K214	
	08C1321	A1A2	現代思想特殊演習II	湯浅 正彦	駒場1号館	154	
	08C2824	A1A2	東アジア地域研究演習	須川 英徳	駒場1号館	156	
	08D2843	A1A2	特殊研究演習IX	池内 志	駒場8号館	8-320	
	08E2933	A1A2	韓国朝鮮史	須川 英徳	駒場1号館	156	
	08C32507	A1A2	特殊研究演習「外交政策演習」	東 大作	2IKOMCEE East	K214	
	08C403321	A1A2	国際日本研究特論XXI	Kartika Diana	駒場5号館	518	
	08D1023	A1A2	科学哲学特論III	稲垣 諭	駒場11号館	1103	
	08D1436	A1A2	エネルギー資源論I	岡田 至崇	駒場8号館	8-112	
	08D1509P	A 1	人類進化学	近藤 修	駒場12号館	1214	
	08E1011	A1A2	常微分方程式論	米田 剛	駒場16号館	109室	
	08E1302	A1A2	認知行動科学方法論	四本 裕子, 各教員	駒場3号館	116室	
	08F1105	A 1	進化人類学	近藤 修	駒場12号館	1214	
	08F140609	A1A2	グローバル教養特別演習II(9)	Kartika Diana	駒場5号館	518	
	08F140801	A1A2	グローバル教養特別演習IV(1)	東 大作	2IKOMCEE East	K214	
	08G0012	A 1	英語科教育法I	奥 聡一郎	駒場1号館	120	
	08H006334	A1A2	東西文明学II(国際社会科学4)	Kartika Diana	駒場5号館	518	
	08X11010	A1A2	エネルギー科学概論	瀬川 浩司, 松本 真由美	駒場15号館	15-104	
	08X400105A	A 1	高度教養特殊講義(国連とインクルージョン)	井筒 節	2IKOMCEE West	K402	
	5 時限	08A4062	A1A2	共通中国語 (6 2) (作文)	王 前	法文1号館	213
		08A6004	A1A2	共通ポルトガル語 (4) (中級)	牧野 真也	駒場1号館	155
		08A8002	A1A2	共通韓国朝鮮語 (2)	崔 泰源	駒場12号館	1211
		08A9704A3	A 1	共通日本語 (4)a	藤井 聖子, 大久保 雅子	駒場10号館	10-205
		08A9704A4	A 2	共通日本語 (4)a	藤井 聖子, 大久保 雅子	駒場10号館	10-205
		08C1022	A1A2	日本文化研究II	重信 幸彦	駒場8号館	8-205
		08C1113	A1A2	造形空間芸術論I	中田 健太郎	駒場8号館	8-317
		08C11511	A1A2	特殊講義「地域政策論」	梶 元伸	駒場12号館	1212
		08C321615	A1A2	特殊講義「アジア太平洋の国際関係」	川島 真	駒場8号館	8-210
		08D1220	A1A2	統計学実習[総合情報学コース]	嶋田 正和	情報教育棟	E38
		08D1310	A1A2	統計学実習[広域システムコース]	嶋田 正和	情報教育棟	E38
		08D1509P	A 1	人類進化学	近藤 修	駒場12号館	1214
		08E1012	A1A2	常微分方程式論演習	米田 剛	駒場16号館	109室
08F1105		A 1	進化人類学	近藤 修	駒場12号館	1214	
08F1315		A1A2	科学技術インタープリター実験実習I	川越 至桜	2IKOMCEE West	K401	
08X000303		A1A2	総合社会科学高度教養(地域政策論)	梶 元伸	駒場12号館	1212	
08X000304	A1A2	総合社会科学高度教養(アジア太平洋の国際関係)	川島 真	駒場8号館	8-210		
08X4001041	A1A2	高度教養特殊講義(現象学における問題発見の体験型学習)	柴山 洋平	2IKOMCEE West	K302		
6 時限							

教養学部 専門科目時間割表

金曜日						
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時間	08C2851	A1A2	アジア地域史II	外村 大	駒場1号館	152
	08C2851A	A 1	アジア地域史IIa	外村 大	駒場1号館	152
	08C2851B	A 2	アジア地域史IIb	外村 大	駒場1号館	152
	08D1101	A1A2	自然環境論	松山 洋	駒場1号館	155
2時間	08A0004	A1A2	共通英語(4)	オデイ ジョン	駒場8号館	8-208
	08A0008	A1A2	共通英語(8)	ボクター サイモン	駒場8号館	8-205
	08A4017	A1A2	共通中国語(17)(精読)	橋本 陽介	駒場1号館	150
	08A7004	A1A2	共通イタリア語(4)	アンドレア チヴィーレ	2IKOMCEE West	K401
	08A7006	A1A2	共通イタリア語(6)	マルコ ビオンディ	2IKOMCEE West	K301
	08A8008	A1A2	共通韓国朝鮮語(8)	橋本 繁	駒場1号館	103
	08A9454	A1A2	上海語(2)(初級)	王 英輝	駒場1号館	155
	08C130302	A1A2	現代哲学演習(2)	西山 雄二	駒場8号館	8-320
	08C1414	A1A2	日本語学	矢田 勉	駒場8号館	8-110
	08C1522	A1A2	日本語学I	矢田 勉	駒場8号館	8-110
	08C2110	A1A2	イギリス表象芸術論	新井 潤美	駒場8号館	8-324
	08C2402	A1A2	ロシア東欧文学テキスト分析	安岡 治子	駒場8号館	8-321
	08C2640	A 1	アメリカ近代史	遠藤 泰生	駒場8号館	8-113
	08C2822	A1A2	特殊講義IV[アジア・日本研究コース]	後藤 絵美	駒場1号館	120
	08C3203	A1A2	国際経済	竹野 太三	2IKOMCEE East	K214
	08C403320	A1A2	国際日本研究特論XX	片山 晶子	情報教育棟	E35
	08D1043	A1A2	科学技術社会論特論VI	田中 幹人	2IKOMCEE West	K302
	08D1414	A1A2	環境経済学	成田 大樹	駒場12号館	1221
	08D1507P	A 2	生命化学論	豊田 太郎, 澤井 哲, 若本 祐一		126室, 127室
	08E1013	A1A2	物理数学II[数理自然科学コース]	國場 敦夫	駒場16号館	109室
	08E1039	A 2	構成・システム生物学数理自然科学コース]	豊田 太郎, 澤井 哲, 若本 祐一		126室, 127室
	08E1107	A1A2	物理数学II物質基礎科学コース]	國場 敦夫	駒場16号館	109室
	08E1220	A 2	構成・システム生物学統合生命科学コース]	豊田 太郎, 澤井 哲, 若本 祐一		126室, 127室
	08E1324	A1A2	心理統計学	岡田 謙介	駒場11号館	1108
	08F140617	A1A2	グローバル教養特別演習II(17)	片山 晶子	情報教育棟	E35
	08H006322	A1A2	東西文明学I[言語と歴史2]	片山 晶子	情報教育棟	E35
	08X1003	A1A2	地理・空間基礎論I	荒井 良雄	駒場1号館	149
	08X400209	A1A2	高度教養特殊演習(ダイバーシティ社会をつくる技術)	開 一夫, 坂口 菊恵	2IKOMCEE West	K303

金曜日						
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
4時間	08A1004	A1A2	共通フランス語(4)(会話)	ビゼ フランソワ	駒場1号館	121
	08A9426	A1A2	ベトナム語(2)	加藤 栄	駒場1号館	117
	08A9443	A1A2	広東語(3)(初級)	吉川 雅之	駒場10号館	10-204
	08B0106	A1A2	専門英語(106)	小原 優貴	駒場17号館	KALS (17号館2階)
	08B0133	A1A2	専門英語(133)	野網 摩利子	駒場1号館	115
	08B3004	A1A2	専門ロシア語(4)	西中村 浩	駒場8号館	8-321
	08C1311	A1A2	現代哲学特殊研究I	石原 孝二	駒場12号館	1221
	08C1408	A1A2	国際日本文化研究	野網 摩利子	駒場1号館	115
	08C1508	A1A2	言語と人間II	藤井 聖子	駒場18号館	15
	08C160915	A1A2	テキスト分析演習II(15)	西中村 浩	駒場8号館	8-321
	08C2408	A1A2	ロシア東欧民族関係論	篠原 琢	駒場8号館	8-320
	08C2447	A1A2	ロシア東欧研究V	雲 和広	駒場1号館	155
	08C2449	A1A2	ロシア東欧文学テキスト演習	西中村 浩	駒場8号館	8-321
	08C2735	A 1	ラテンアメリカ史I	高橋 均	駒場8号館	8-317
	08C2736	A 2	ラテンアメリカ史II	高橋 均	駒場8号館	8-317
	08C2815	A1A2	南アジア地域文化研究	小原 優貴	駒場17号館	KALS (17号館2階)
	08C311508	A1A2	特殊講義「開発経済学」	中西 徹	駒場8号館	8-210
	08C3213	A1A2	経済発展	中西 徹	駒場8号館	8-210
	08C403310	A1A2	国際日本研究特論X	野網 摩利子	駒場1号館	115
	08C4047	A1A2	文化・思想研究特殊演習I	ベティート ジョシュア	駒場8号館	8-113
	08D1001	A1A2	科学哲学概論	石原 孝二	駒場12号館	1221
	08D1206	A1A2	情報数理科学演習I	中村 政隆, 柏原 賢二	駒場15号館	15-104
	08D1340901	A1A2	広域システム特論III(1)	中村 政隆, 柏原 賢二	駒場15号館	15-104
	08D1427	A1A2	環境評価特論	TAJVIDI Nader, ウッドワード・ジョナサン・ロジャー	2IKOMCEE West	K303
	08E1010	A1A2	複素解析学演習	石村 直之	駒場16号館	109室
	08E1015	A1A2	量子力学II[数理自然科学コース]	深津 晋	駒場16号館	119室
	08E1109	A1A2	量子力学II物質基礎科学コース]	深津 晋	駒場16号館	119室
	08E1234	A1A2	量子力学II統合生命科学コース]	深津 晋	駒場16号館	119室
	08E1301	A1A2	認知行動科学研究法	四本 裕子, 各教員	駒場12号館	1225
	08F140612	A1A2	グローバル教養特別演習III(12)	ベティート ジョシュア	駒場8号館	8-113
	08F140812	A1A2	グローバル教養特別演習IV(12)	野網 摩利子	駒場1号館	115
	08X400102	A1A2	高度教養特殊講義(こころの総合人間科学特論)	小池 進介, 明地 洋典	駒場11号館	1101
5時間	08B0098	A1A2	専門英語(98)	ミルズ アンソニー	駒場10号館	10-303
	08B0105	A1A2	専門英語(105)	佐藤 安信	2IKOMCEE East	K112
	08B0143	A1A2	専門英語(143)	エリス 俊子	駒場8号館	8-207
	08C1412	A1A2	日本思想	高山 大毅	駒場1号館	156
	08C1551	A1A2	言語科学への招待	吉川 雅之	駒場5号館	514
	08C2126	A1A2	イギリス思想テキスト演習	ミルズ アンソニー	駒場10号館	10-303
	08C2813	A1A2	東南アジア地域文化研究	佐藤 安信	2IKOMCEE East	K112
	08C3131	A1A2	法学演習	福岡 安都子	駒場12号館	1233
	08C4049	A1A2	歴史・地域研究の基礎I	佐藤 安信	2IKOMCEE East	K112
	08D1201	A1A2	情報数理科学II[総合情報学コース]	山口 和紀	駒場15号館	15-104
	08D1303	A1A2	情報数理科学II[広域システムコース]	山口 和紀	駒場15号館	15-104
	08D1437	A 2	エネルギー資源論II	時松 宏治	駒場1号館	115
	08F140102	A1A2	グローバル教養実践演習(2)	エリス 俊子	駒場8号館	8-207
	08F1404	A1A2	グローバル教養特別講義III	佐藤 安信	2IKOMCEE East	K112
	08X000102	A1A2	超域文化科学高度教養(言語科学への招待)	吉川 雅之	駒場5号館	514
	08X2006	A1A2	Advanced ALESS I	SEDDON Ryan John	2IKOMCEE West	K302
08X400101	A1A2	高度教養特殊講義(こころの総合人間科学概論)	開 一夫, 小池 進介, 明地 洋典	駒場11号館	1101	
6時間	08C1215	A1A2	比較芸術論I	東谷 護	アドミニストレーション棟	学際交流ホール
	08D1437	A 2	エネルギー資源論II	時松 宏治	駒場1号館	115

教育学部 専門科目時間割表

※ 教育学部学生支援チーム：03-5841-3907

※ 最新の開講場所については、UTASシラバス、教育学部の時間割冊子等を確認してください。

月曜日					
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物 教室
1時限	09188001	A1A2	学校はデータでどう描けるか	藤田 武志	駒場5号館 513
	09188009	A1	身体教育学概論I	森田 賢治, 山本 義春, 野崎 大地	教育学部棟 158講義室
	09188010	A2	身体教育学概論II	多賀 巖太郎, 佐々木 司, 東郷 史治	教育学部棟 158講義室
2時限					
3時限	09188004	A1	社会教育論I	李 正連	駒場5号館 531
	09188002	A2	学校教育学概論	斎藤 光史, 藤江 康彦, 浅井 幸子	駒場5号館 531
4時限	09188004	A1	社会教育論I	李 正連	駒場5号館 531
	09188002	A2	学校教育学概論	斎藤 光史, 藤江 康彦, 浅井 幸子	駒場5号館 531
5時限	09188011	A1A2	機能解剖学(人体の構造と機能及び疾病)	川内 基裕, 佐々木 司	教育学部棟 109講義室
	09189211	A1A2	教育相談I	高岡 佑壮	駒場12号館 1225
6時限					

火曜日					
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物 教室
1時限	09189111	A1A2	数学科教育法III	加々美 勝久	教育学部棟 357講義室
2時限	09188003	A1A2	教育行財政学	勝野 正章, 村上 祐介	駒場5号館 522
3時限					
4時限	09181304	A1A2	教育と交感性を考える	田中 智志	教育学部棟 109講義室
	09189207	A1A2	教育と社会	西島 央	駒場5号館 525
	09189106	A1A2	社会科教育法IV	野崎 雅秀	教育学部棟 356演習室
	09189121	A1A2	特別活動の指導法	森 俊二	教育学部棟 158講義室
5時限					
6時限	09189204	A1A2	特別活動論	福島 昌子	駒場13号館 1313

教育学部 専門科目時間割表

水曜日						
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限						
2時限	09188013	A1A2	発展途上国における教育	ウオルター・ドーソン	駒場12号館	1214
3時限						
4時限						
5時限						
6時限						

木曜日						
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限	09188009	A1	身体教育学概論I	森田 賢治, 山本 義春, 野崎 大地	教育学部棟	158講義室
	09188010	A2	身体教育学概論II	多須 徹太郎, 佐々木 司, 東郷 史治	教育学部棟	158講義室
2時限						
3時限	09188008	A1A2	教育心理学実験演習 I	藤村 宣之, 市川 伸一, 能智 正博, 下山 晴彦, 秋田 喜代美, 針生 悦子, 高橋 美保, 南風原 朝和, 岡田 猛, 滝沢 龍, 遠藤 利彦, 植阪 友理	教育学部棟	159講義室
4時限	09188005	A1A2	情報・資料分析論演習	影浦 峯	情報教育棟	E42
	09188008	A1A2	教育心理学実験演習 I	藤村 宣之, 市川 伸一, 能智 正博, 下山 晴彦, 秋田 喜代美, 針生 悦子, 高橋 美保, 南風原 朝和, 岡田 猛, 遠藤 利彦, 植阪 友理	教育学部棟	159講義室
5時限	09188006	A1A2	教育資料調査法演習	影浦 峯	情報教育棟	E42
6時限						

教育学部 専門科目時間割表

金曜日						
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1 時 限	09189127	A1A2	教育相談II	伊藤 直樹	赤門総合 研究棟	A200 講義室
2 時 限	09188007	A1A2	心理学統計法 I	岡田 謙介	駒場11号館	1108
	09188012	A1A2	Philosophical Issues in Education	山辺 恵理子	駒場1号館	114
	09189108	A1A2	地理歴史科教育法III	田中 暁龍	教育学部棟	357講義室
3 時 限						
4 時 限	09181303	A1A2	価値と教育Ⅲ	片山 勝茂	教育学部棟	158講義室
	09188014	A1A2	日本の教育研究	カストファー・ボンディー	駒場12号館	1222
5 時 限	0999120	A1A2	特別活動の指導法	森 俊二	教育学部棟	109講義室
6 時 限						

薬学部 専門科目時間割表

※ 薬学部教務チーム：03-5841-4703

※ 最新の開講場所については、UTASシラバス、薬学部の時間割冊子等を確認してください。

月曜日						
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限						
2時限	1011126	A1	機能形態学	岸 雄介, 名黒 功, 小山 隆太, 富田 泰輔, 池谷 裕二, 一條 秀憲, 三浦 正幸	薬学部	西館1F 西講義室
	1012128	A2	製剤設計学	楠原 洋之, 前田 和哉	薬学部	西館1F 西講義室
3時限	1012127	A2	微生物学・化学療法学	垣内 力, 堀 昌平	薬学部	西館1F 西講義室
	1012129	A1	薬事法・特許法	髙田 祥子, 小野 俊介	薬学部	西館1F 西講義室
4時限	1011115	A2	物理化学III	清水 敏之, 大戸 梅治	薬学部	西館1F 西講義室
	1011129	A1	薬理学I	池谷 裕二	薬学部	西館1F 西講義室
5時限						

火曜日						
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限						
2時限	1011146	A1	分子生物学	村田 茂徳, 八代田 英樹	薬学部	西館1F 西講義室
	1012253	A2	医薬品・医療ビジネス	今村 恭子	薬学部	西館1F 西講義室
3時限	1011147	A1	薬物動態制御学	楠原 洋之, 前田 和哉	薬学部	西館1F 西講義室
	1011159	A2	病理学	富田 泰輔	薬学部	西館1F 西講義室
4時限	1012236	A1	生物統計学	五十嵐 中	薬学部	講堂
	1012304	A2	構造分子薬学	清水 敏之, 嶋田 一夫, 大戸 梅治	薬学部	西館1F 西講義室
5時限						

薬学部 専門科目時間割表

水曜日						
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限						
2時限	1011156	A2	機能生物学	岸 雄介, 後藤 由季子	薬学部	西館1F 西講義室
	1012204	A1	免疫学	東 伸昭, 堀 昌平	薬学部	西館1F 西講義室
3時限	1011148	A1	有機化学I	井上 将行	薬学部	西館1F 西講義室
	1011150	A2	有機化学III	内山 真伸, 宮本 和範	薬学部	西館1F 西講義室
4時限	1011113	A1	物理化学I	嶋田 一夫, 西田 紀貴	薬学部	西館1F 西講義室
	1012130	A2	医薬品評価科学	小野 俊介	薬学部	西館1F 西講義室
5時限						

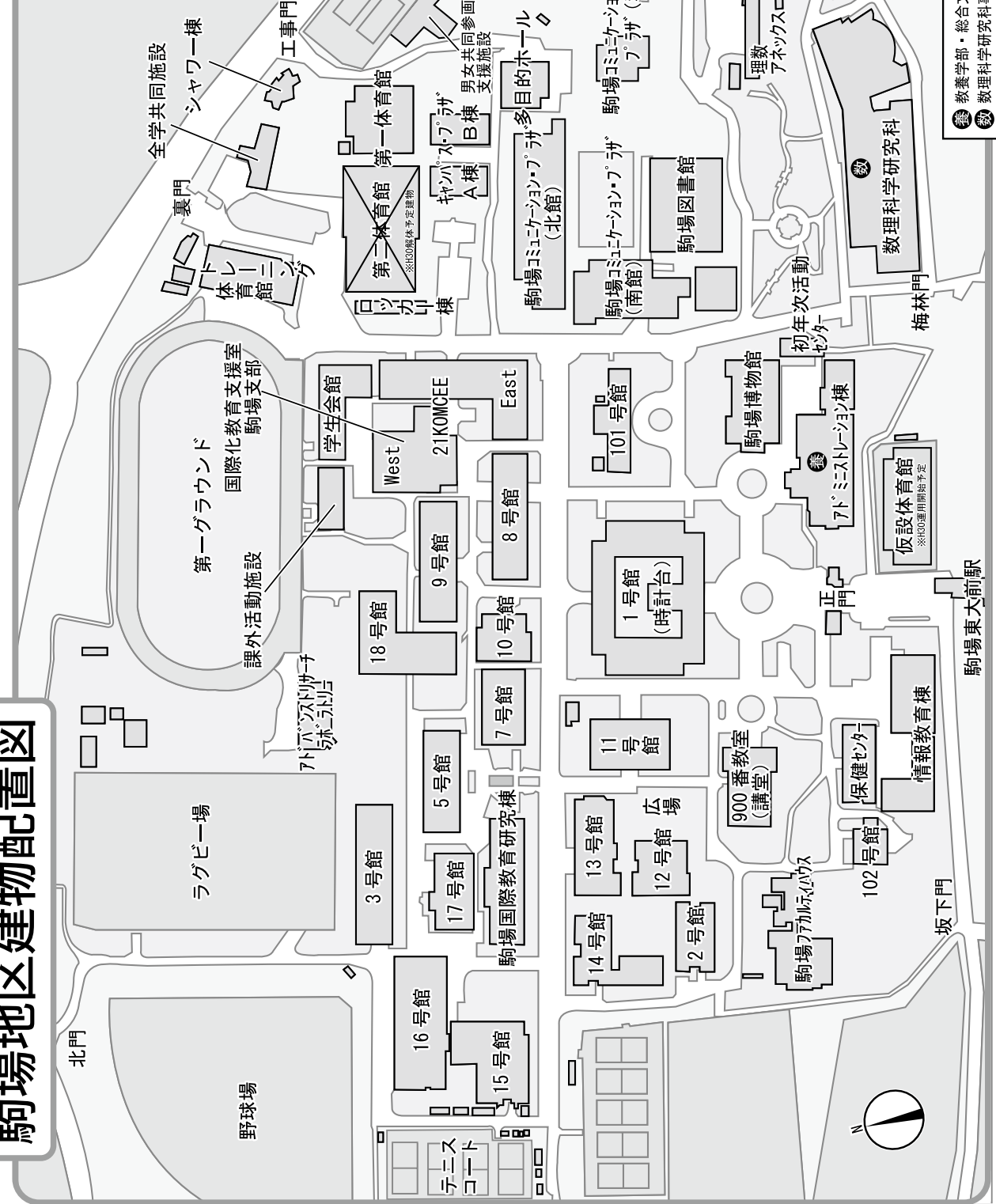
木曜日						
	時間割コード	開講区分	科目名	教員名	建物	教室
1時限						
2時限	1011157	A2	医療薬学	高田 龍平, 鈴木 洋史	薬学部	西館1F 西講義室
	1011158	A1	放射化学	秋光 信佳	薬学部	西館1F 西講義室
3時限	1011114	A1	物理化学II	角田 誠, 船津 高志	薬学部	西館1F 西講義室
	1011151	A2	有機化学IV	金井 求	薬学部	西館1F 西講義室
4時限	1011154	A1	分析化学I	三田 智文	薬学部	西館1F 西講義室
	1012126	A2	公衆衛生学	五十嵐 中	薬学部	西館1F 西講義室
5時限						

薬学部 専門科目時間割表

金曜日						
	時間割 コード	開講 区分	科目名	教員名	建物	教室
1時 限						
2時 限	1011153	A1	細胞生物学	新井 洋由, 富田 泰輔, 福山 征光	薬学部	西館1F 西講義室
	1012233	A2	発生遺伝学	三浦 正幸	薬学部	西館1F 西講義室
3時 限	1011101	A1	薬学概論	船津 高志	薬学部	西館1F 西講義室
	1011155	A2	分析化学II	角田 誠, 船津 高志	薬学部	西館1F 西講義室
4時 限	1011149	A1	有機化学II	大和田 智彦, 尾谷 優子	薬学部	西館1F 西講義室
	1011301	A2	創薬科学	池谷 裕二, 金井 求	薬学部	西館1F 西講義室
5時 限						

駒場地区建物配置図

建物等名称	教室名称
1号館	101～192
3号館	生命・認知科学科
5号館	学生講義室
7号館	511～534
8号館	721～762
10号館	8-110～8-422
11号館	10-101～10-405
12号館	1101～1109
13号館	1211～1233
15号館	1311～1341
16号館	広域科学科学生講義室・ 実験室・ゼミ室 基礎科学科学生講義室・ 実験室・ゼミ室
17号館	KALS
21KOMCEE West	K101～K302 レクチャールーム ホール
21KOMCEE East	K011～K214
18号館1階	実験室
18号館ホール	メディアラボ1 メディアラボ2
講堂	900
情報教育棟	E21～E49
7Fミナストレーン棟3階	学際交流ホール
第一体育館	剣道場
ミュージアム3F7F(北館)	音楽鑑賞室 舞台芸術実習室 多目的教室1～4 身体運動実習室1～3

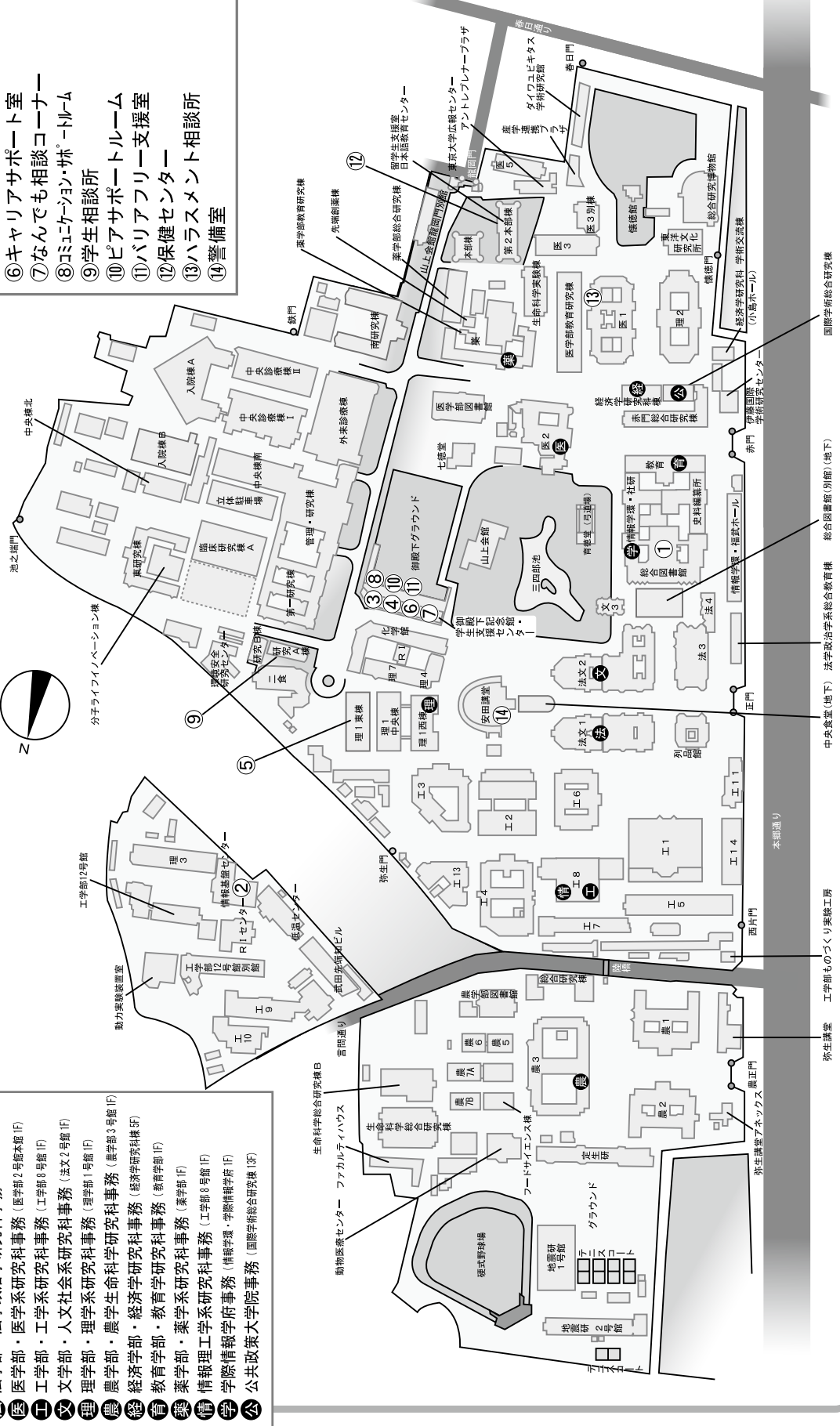
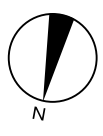


教養学部・総合文化研究科事務 (7Fミナストレーン棟1F)
 数理科学研究科事務 (数理科学研第4棟1F)

本郷地区建物配置図

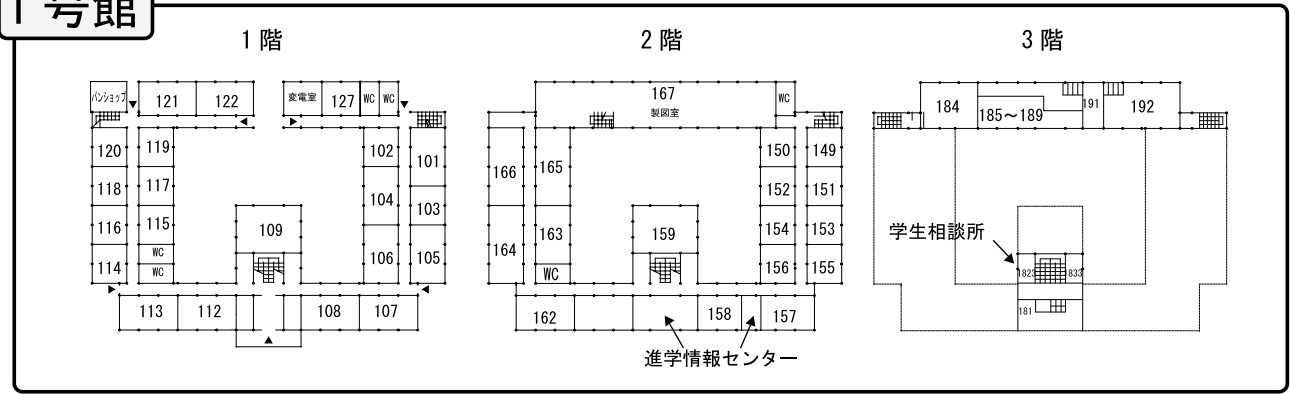
- 法 法学部・法政治学政学政研究科事務 (法文1号館2F)
- 医 医学部・医学系研究科事務 (医学部2号館本館1F)
- 工 工学部・工学系研究科事務 (工学部8号館1F)
- 文 文学部・人文社会系研究科事務 (法文2号館1F)
- 理 理学部・理学系研究科事務 (理学部1号館1F)
- 農 農学部・農学生命科学研究科事務 (農学部3号館1F)
- 経 経済学部・経済学研究科事務 (経済学研究科棟3F)
- 教 教育学部・教育学研究科事務 (教育学部1F)
- 薬 薬学部・薬学研究科事務 (薬学部1F)
- 情 情報理工学系研究科事務 (情報学環・学際情報学府1F)
- 学 学際情報学府事務 (情報学環・学際情報学府1F)
- 公 公共政策大学院事務 (国際学術総合研究棟13F)

- ① 総合図書館
- ② 情報基盤センター
- ③ 教育・学生支援部 (学生支援課)
- ④ 教育・学生支援部 (奨学厚生課)
- ⑤ Go Globalセンター (国際支援課・国際交流課)
- ⑥ キャリアサポート室
- ⑦ なんでも相談コーナー
- ⑧ コミュニケーション・林・ホールム
- ⑨ 学生相談所
- ⑩ ピアサポートルーム
- ⑪ バリアフリー支援室
- ⑫ 保健センター
- ⑬ ハラスメント相談所
- ⑭ 警備室

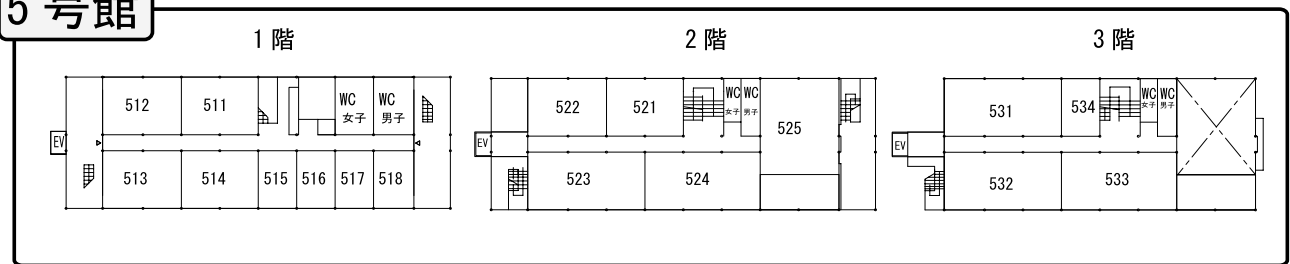


教養学部 教室配置図

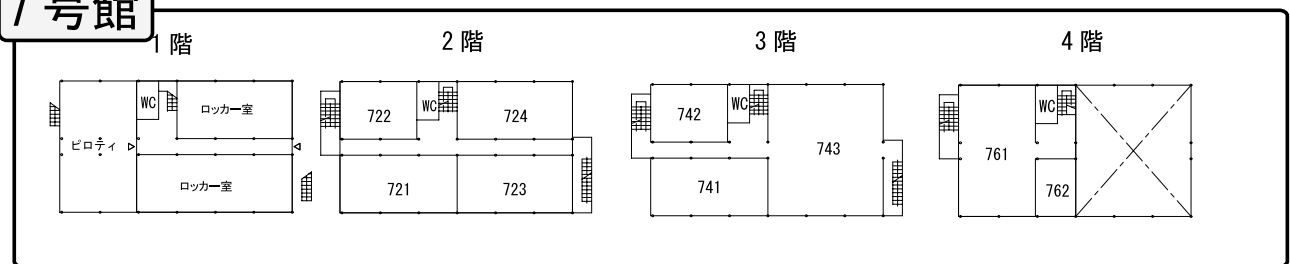
1号館



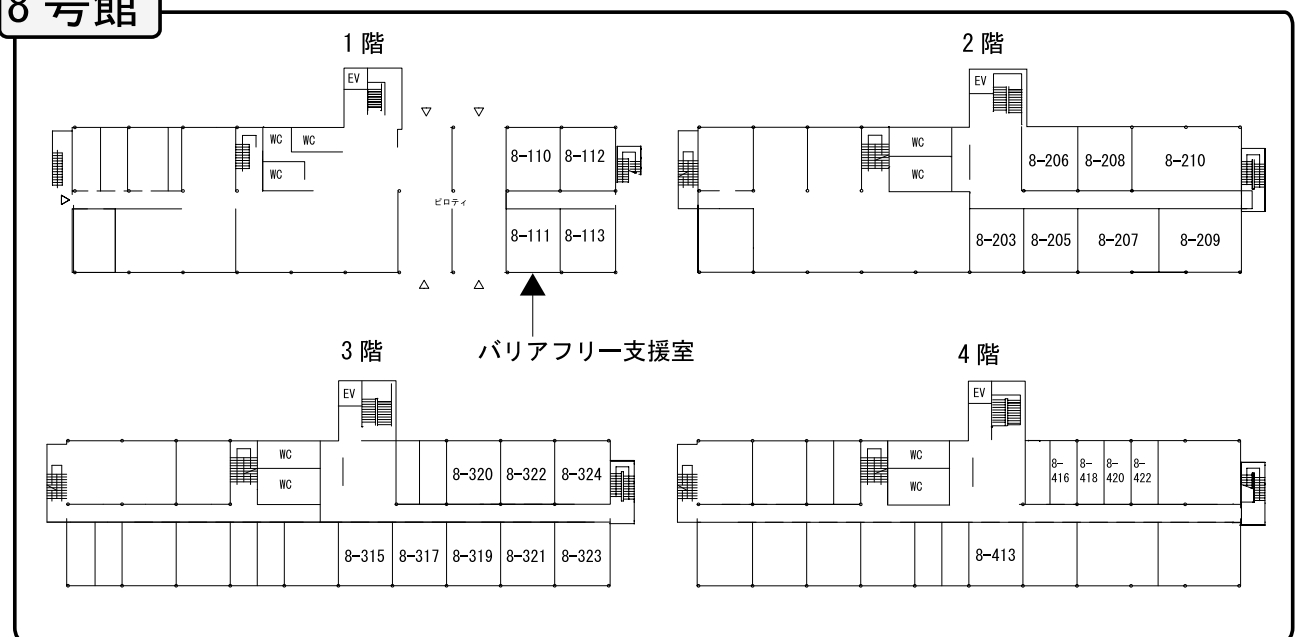
5号館



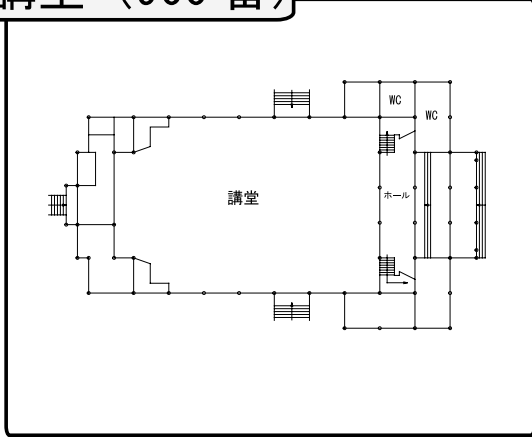
7号館



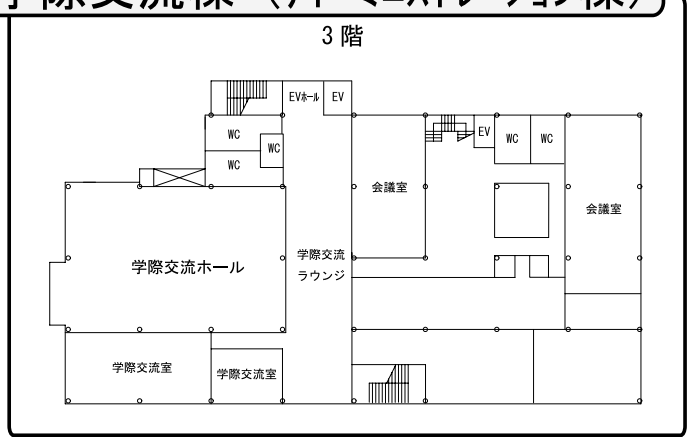
8号館



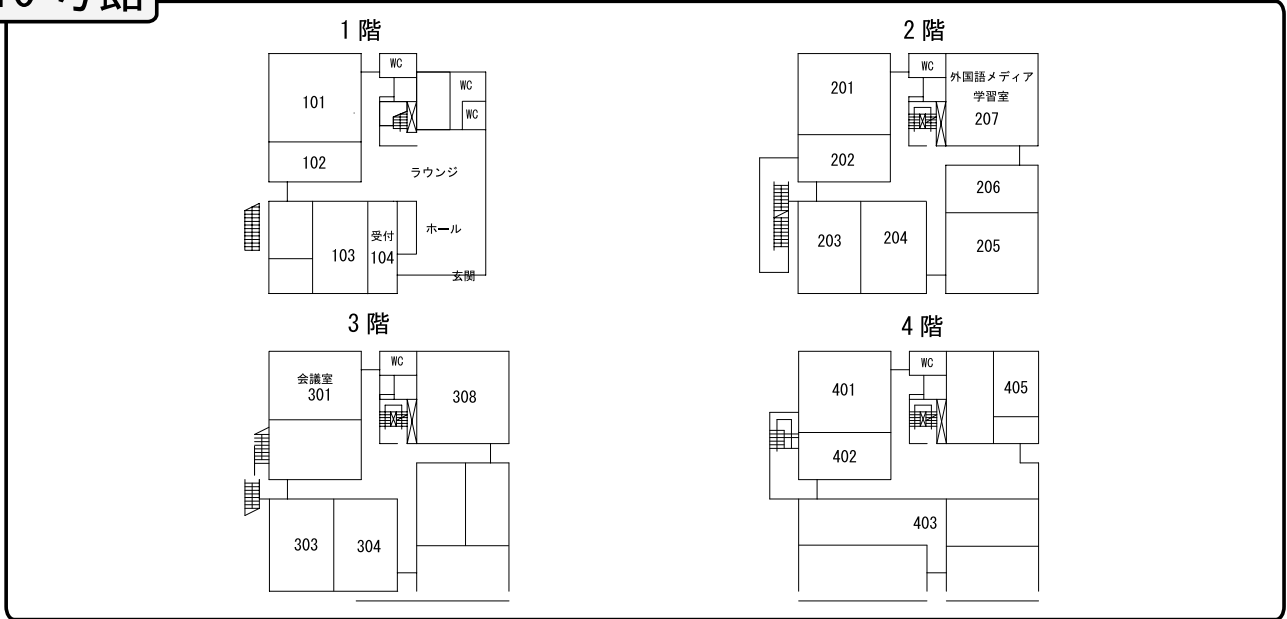
講堂 (900 番)



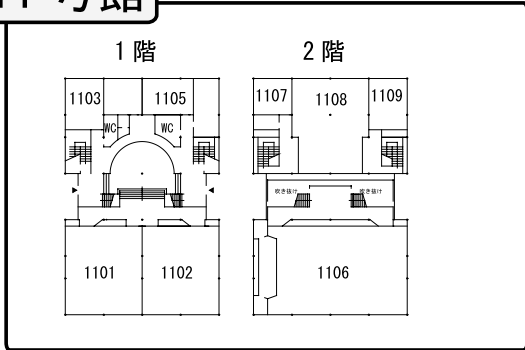
学際交流棟 (アドミニストレーション棟)



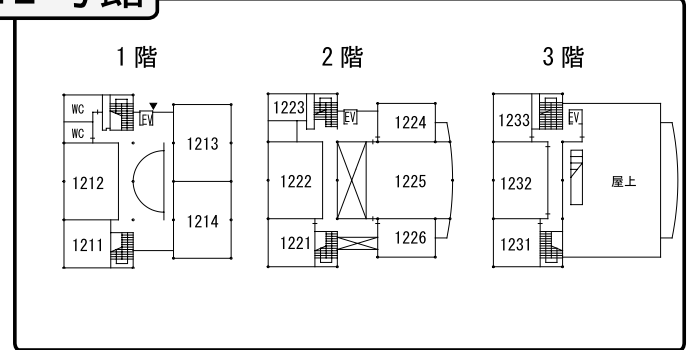
10 号館



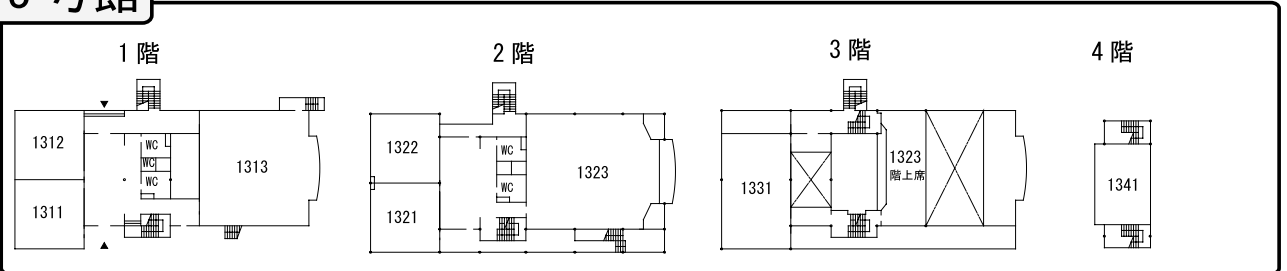
11 号館



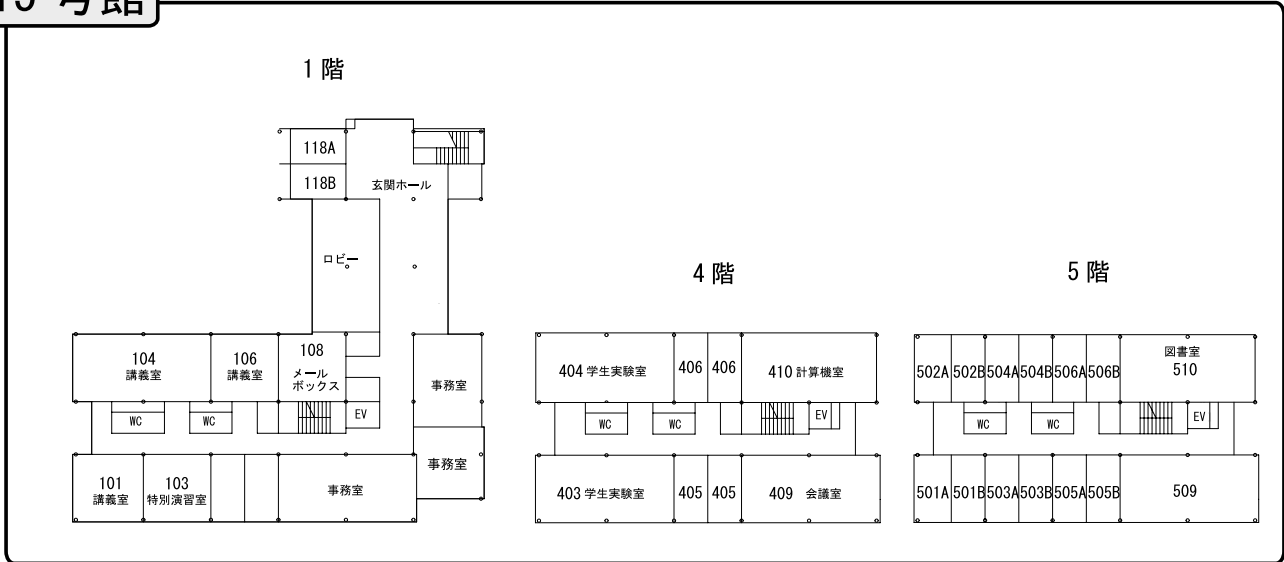
12 号館



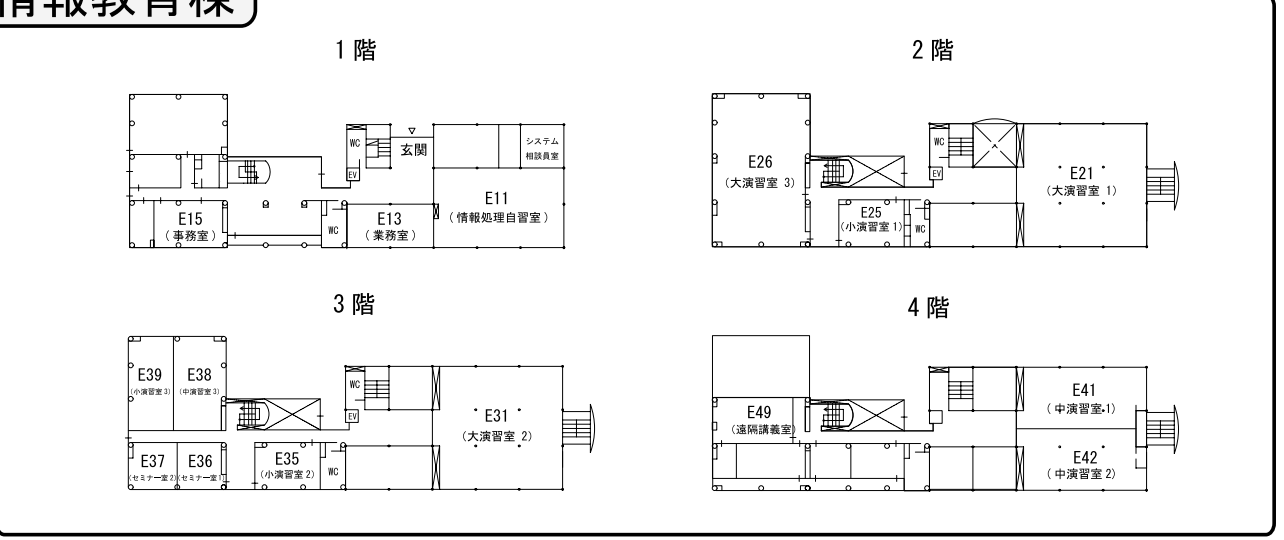
13 号館



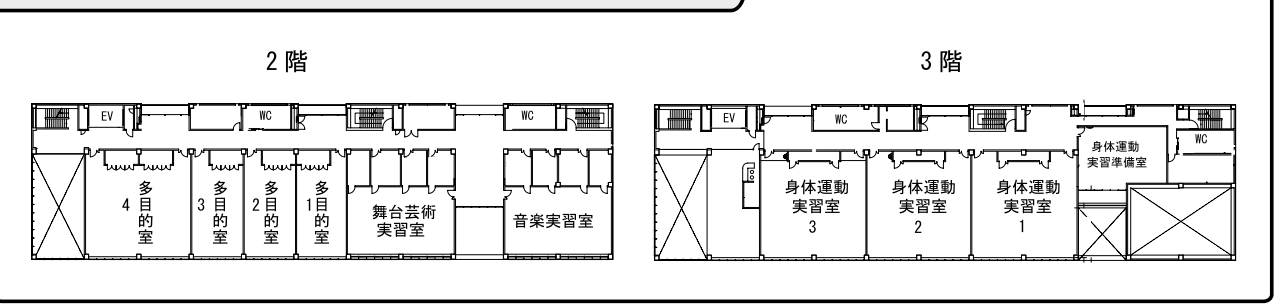
15号館



情報教育棟

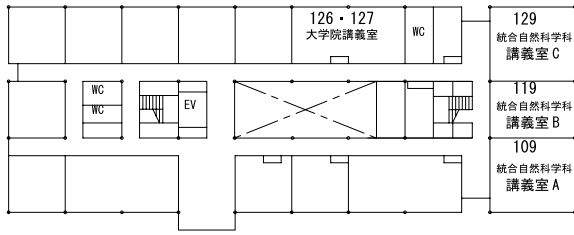


コミュニケーションプラザ (北館)

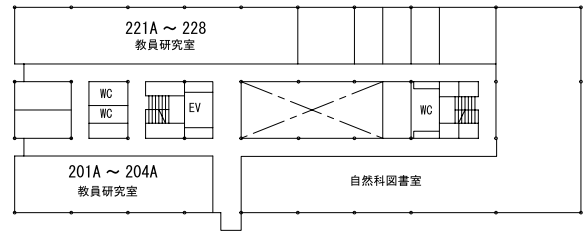


16号館

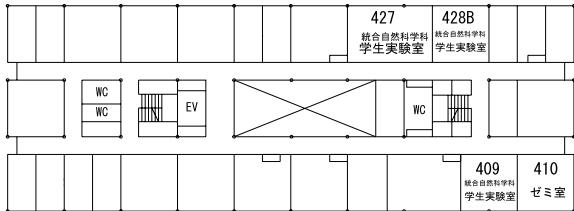
1階



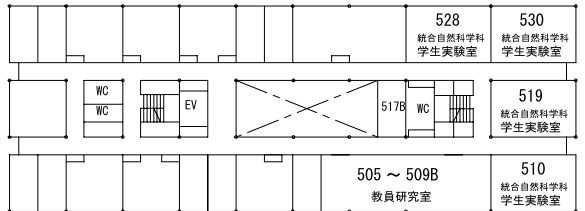
2階



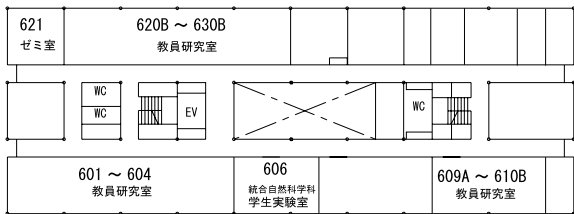
4階



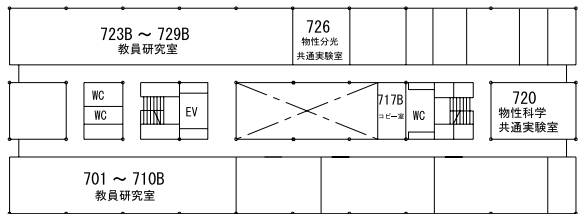
5階



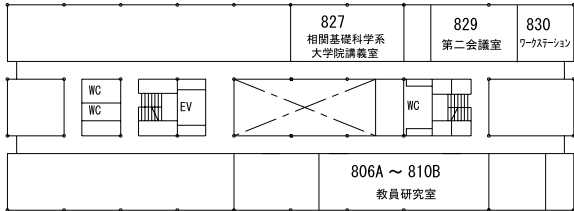
6階



7階

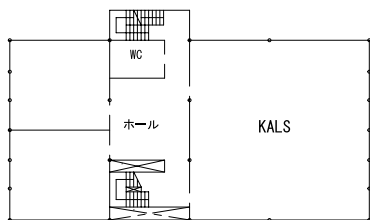


8階

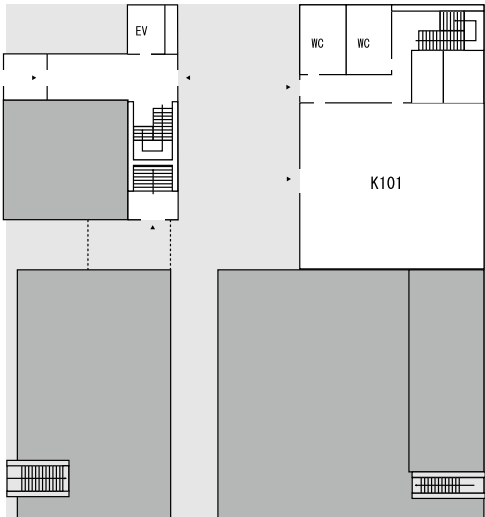


17号館

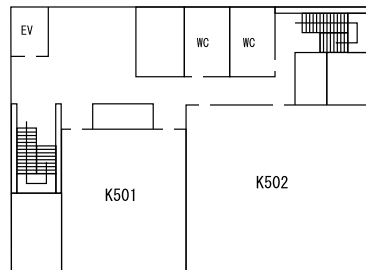
2階



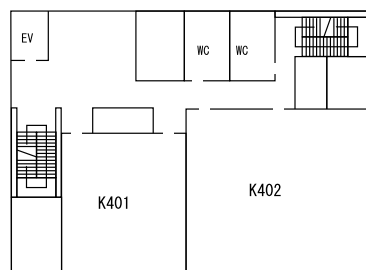
21KOMCEE West



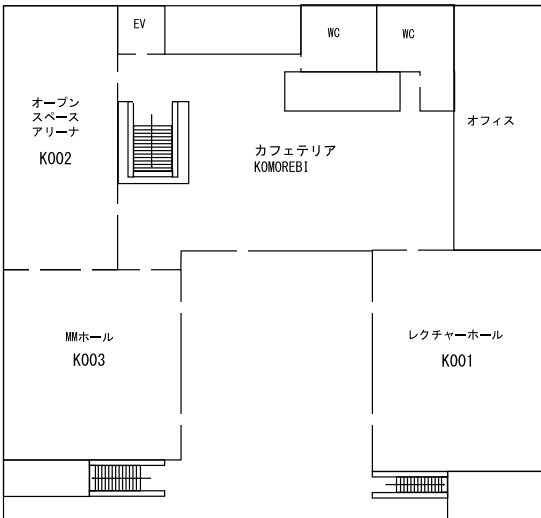
1階



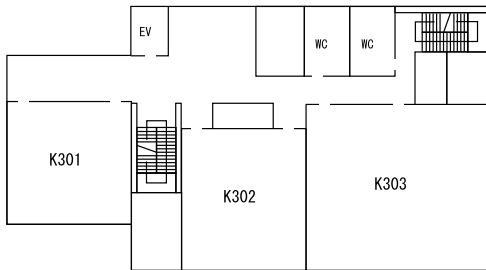
5階



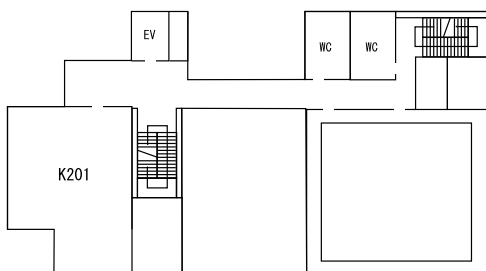
4階



B1階

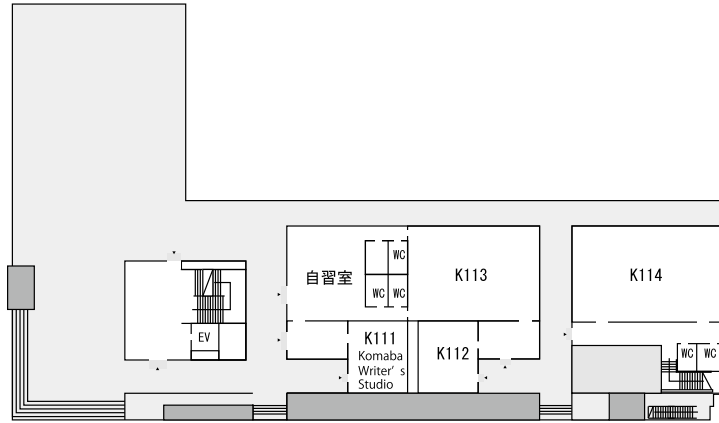


3階

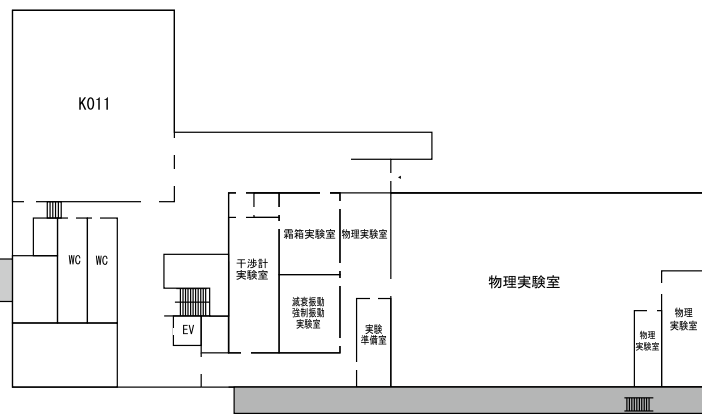


2階

21KOMCEE East

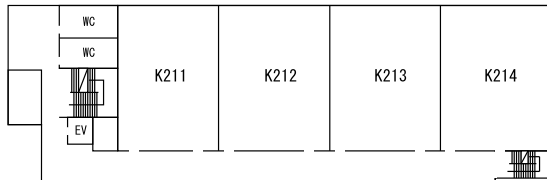


1階

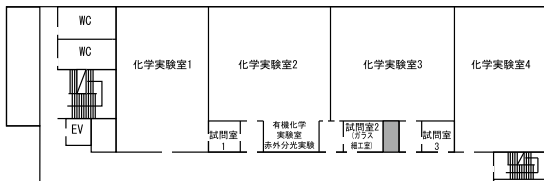


B1階

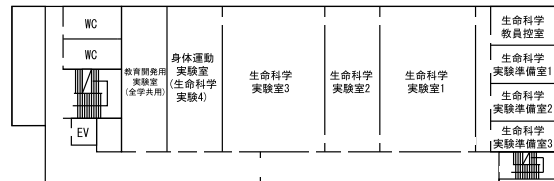
2階



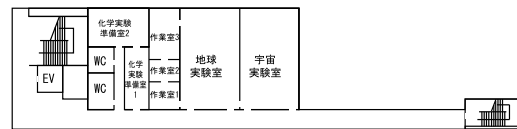
4階



3階

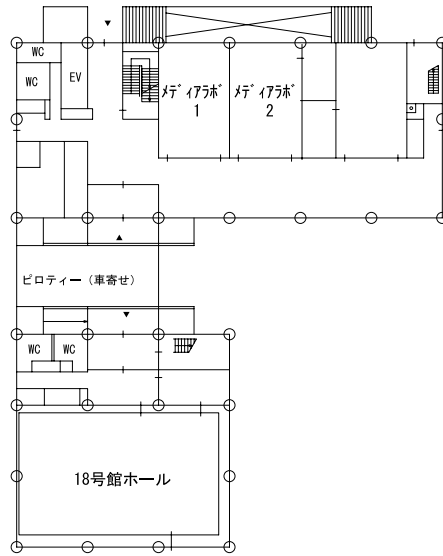


5階

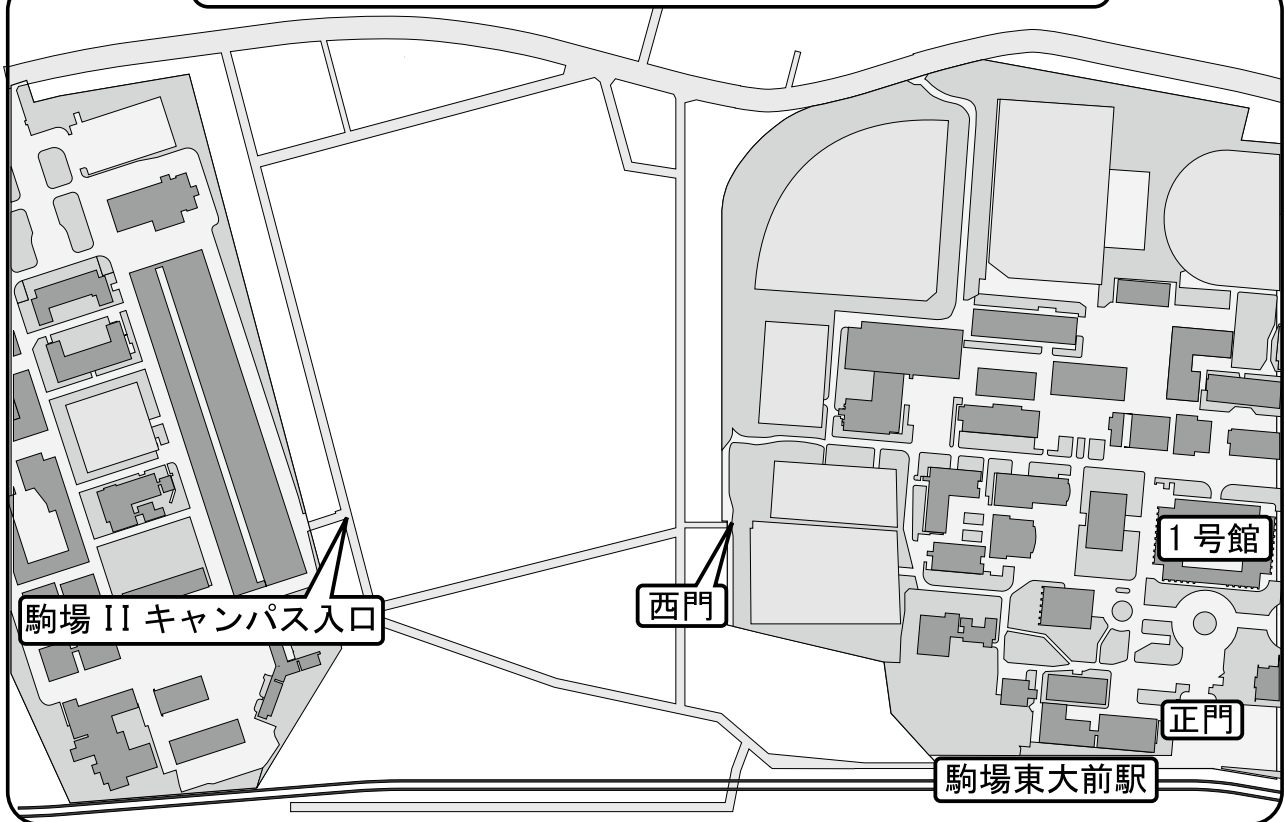


18号館

1階



駒場 I キャンパス ↔ 駒場 II キャンパス 位置関係図



□年

A semester A1/A2 時間割表

どの授業を
とろうかな？



6限と集中
の時間割は
裏面へ！



月

火

水

木

金

1

0830
1015
1215

先生 教室
由 A A1 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A2 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A A1 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A2 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A A1 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A2 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A A1 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A2 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A A1 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A2 教
基 展 由 主
総

2

1025
1210

先生 教室
由 A A1 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A2 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A A1 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A2 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A A1 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A2 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A A1 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A2 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A A1 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A2 教
基 展 由 主
総

3

1300
1445

先生 教室
由 A A1 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A2 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A A1 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A2 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A A1 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A2 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A A1 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A2 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A A1 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A2 教
基 展 由 主
総

4

1455
1640

先生 教室
由 A A1 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A2 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A A1 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A2 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A A1 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A2 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A A1 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A2 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A A1 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A2 教
基 展 由 主
総

5

1650
1835

先生 教室
由 A A1 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A2 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A A1 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A2 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A A1 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A2 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A A1 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A2 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A A1 教
基 展 由 主
総

先生 教室
由 A2 教
基 展 由 主
総

平成30年度 教養学部前期課程事務手続き等日程

* 日程を変更する場合UTAS・掲示板等で発表しますので、最新情報を必ず確認するようにしてください。

【1年生】

平成30年	3月29日(木) ~	30日(金)	入学諸手続、Sセメスター科目紹介・時間割表配付
	31日(土) ~	4月1日(日)	新入生学部ガイダンス
	4月13日(金) ~	5月1日(火)	Sセメスター/S1ターム要履修許可科目登録
	19日(木) ~	23日(月)	Sセメスター/S1・S2ターム履修科目登録
	26日(木) ~	5月1日(火)	Sセメスター/S1・S2ターム履修科目確認・訂正期間
	6月13日(水) ~	18日(月)	S2ターム要履修許可科目登録
	13日(水) ~	18日(月)	S2ターム履修科目確認・訂正期間
	7月4日(水) ~	5日(木)	S1ターム成績確認・成績評価の確認願受付
	31日(火) ~	8月21日(火)	受験資格A追試験願受付
	9月10日(月) ~	11日(火)	Sセメスター/S2ターム成績確認、成績評価の確認願受付
	10日(月) ~	12日(水)	受験資格C追試験願登録
	18日(火) ~	21日(金)	Aセメスター科目紹介・時間割表配付
平成31年	10月2日(火) ~	19日(金)	Aセメスター/A1ターム要履修許可科目登録
	9日(火) ~	11日(木)	Aセメスター/A1・A2ターム履修科目登録
	16日(火) ~	19日(金)	Aセメスター/A1・A2ターム履修科目確認・訂正期間
	25日(木) ~	26日(金)	Sセメスター/S1・S2ターム追試験成績確認、成績評価の確認願受付
	11月30日(金) ~	12月13日(木)	A2ターム要履修許可科目登録
	12月7日(水) ~	13日(木)	A2ターム履修科目確認・訂正期間
	1月30日(水) ~	2月4日(月)	受験資格A追試験願受付
	3月7日(木) ~	8日(金)	Aセメスター/A1・A2ターム成績確認、成績評価の確認願受付
	7日(金) ~	15日(金)	自主留年届受付

【2年生】

平成30年	3月29日(木) ~	4月4日(水)	Sセメスター科目紹介・時間割表配付
	4月3日(火) ~	5日(木)	1Aセメスター受験資格C追試験願登録
	13日(金) ~	5月1日(火)	Sセメスター/S1ターム他クラス聴講・補修願、要履修許可科目登録
	4月16日(月) ~	18日(水)	Sセメスター/S1・S2ターム履修科目登録
	26日(木) ~	5月1日(火)	Sセメスター/S1・S2ターム履修科目確認・訂正期間
	5月16日(水) ~	17日(木)	1Aセメスター追試験成績確認、成績評価の確認願受付
	6月4日(月) ~	8日(金)	「物性化学」「生命科学」(理科一類生対象)受験資格A追試験願受付
	13日(水) ~	18日(月)	S2ターム他クラス聴講願、要履修許可科目登録
	13日(水) ~	18日(月)	S2ターム履修科目確認・訂正期間
	18日(月) ~	19日(火)	S1ターム成績確認・成績評価の確認願受付
	18日(月) ~	20日(水)	「物性化学」「生命科学」(理科一類生対象)受験資格C追試験願登録
	7月31日(火) ~	8月21日(火)	受験資格A追試験願受付
平成31年	8月15日(水) ~	16日(木)	Sセメスター/S2ターム成績確認、成績評価の確認願受付
	9月10日(月) ~	12日(水)	受験資格C追試験願登録
	18日(火) ~	21日(金)	Aセメスター科目紹介・時間割表配付
	10月2日(火) ~	19日(金)	Aセメスター/A1ターム他クラス聴講・補修願、要履修許可科目登録
	3日(水) ~	5日(金)	Aセメスター/A1・A2ターム履修科目登録
	16日(火) ~	19日(金)	Aセメスター/A1・A2ターム履修科目確認・訂正期間
	25日(木) ~	26日(金)	Sセメスター追試験成績確認、成績評価の確認願受付
	11月30日(金) ~	12月13日(木)	A2ターム他クラス聴講・補修願、要履修許可科目登録
	12月7日(水) ~	13日(木)	A2ターム履修科目確認・訂正期間
	1月30日(水) ~	2月4日(月)	受験資格A追試験願受付
	2月21日(木) ~	27日(水)午前	外国語認定試験対象者発表(平成26年度以前入学の文科三類生)
	3月7日(木) ~	7日(木) ~	8日(金)

【2年生進学選択関係】

平成30年	4月18日(水) ~	5月17日(木)	進学選択各学部ガイダンス
	4月中旬		進学選択の手引き配付
	6月18日(月) ~	20日(水)	第一段階定数発表、第一段階進学志望・不志望登録
	29日(金)		第一段階進学志望集計表発表
	8月1日(水) ~	28日(火)正午	第二段階進学志望登録
	15日(水) ~	21日(火)正午	第一段階進学志望登録変更
	15日(水) ~	16日(木)	進学処置願登録(2014年度以前入学者のみ)
	24日(金)		第一段階進学内定者発表
	9月10日(月) ~	11日(火)正午	第二段階進学内定者・第三段階定数発表
	10日(月) ~	11日(火)正午	第三段階進学志望登録
	18日(火)		第三段階進学内定者発表
	20日(木)・21日(金)		進学内定者各学部ガイダンス開始
平成31年	1月7日(月) ~	17日(木)	進学内定辞退届受付

